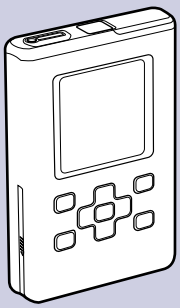
SONY

ポータブルハードディスク
オーディオプレーヤー

Network Walkman

取扱説明書



WALKMAN
Atrac3plus
MP3

NW-HD5/NW-HD5H

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

“ウォークマン”、“WALKMAN”はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。

WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。

© 2005 Sony Corporation

2-629-002-**12** (1)

目次

索引

▶ 準備する 13

▶ 本機に音楽を転送する 21

▶ 音楽を再生する 31

▶ その他の使いかた 53

▶ 困ったときは 68

▶ その他 82

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

8~12ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



❶ ACパワーアダプターを使用中の場合は、コンセントから抜く。

❷ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電


破裂

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示

目次

安全のために 2
目次 4
使用上のご注意 12

準備する

付属品を確かめる 13
各部の名前 14
充電する 15
電池残量を確認する 17
SonicStageをパソコンにインストールする 18
必要な環境を準備する 18
インストールする 19

本機に音楽を転送する

パソコンに音楽データを取り込む 21
SonicStageで曲を管理する 24
プレイリストを編集する 24
本機に音楽データを転送する 26
音楽データをパソコンに戻す 29

音楽を再生する

再生する 31
誤操作を防ぐ（HOLD機能） 33
再生の基本操作一覧（再生、停止、頭出しなど） 33
表示窓の情報を確認する 34
音楽を選んで聞く
（アーティスト、アルバム、ジャンルなど） 35
検索画面のフォルダ構造 37
「新しい曲」から曲を選ぶ 38
曲の最初の文字で曲を選ぶ（イニシャルサーチ） 38
「プレイリスト」から曲を選ぶ 40

次のページにつづく ⇩

本機でブックマークを編集する 41
ブックマークに曲を登録する
（ブックマークトラック再生） 41
ブックマークの曲順を変える 42
ブックマークの曲を解除する 44
ブックマークのアイコンを変更する 46
再生方法（プレイモード）を変えて聞く 47
プレイモード項目一覧 49
選んだ再生範囲の曲を聞く（ユニット再生） 49
繰り返し聞く（リピート再生） 51

その他の使いかた

音質や表示の設定を変える 53
音質や表示の設定項目一覧 54
好みの音質に細かく設定する
（6バンドイコライザ – カスタム） 57
高音や低音を強調する
（デジタルサウンドプリセット） 58
他の機器に接続する 61
音楽以外のデータを保存する 62
お買い上げ時の設定に戻す 63
初期化する 65
SonicStageをアンインストールする 67

困ったときは

故障かな？と思ったら 68
SonicStageのヘルプを見る 76
メッセージ一覧 78

その他

お手入れ 82
保証書とアフターサービス 83
主な仕様 84
索引 86

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- □ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- □ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- □ 付属のソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- □ 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - – 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - – ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。
- □ この取扱説明書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。
  パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft および Windows、Windows NT、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.
  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. United States Patent 6,304,523.
  Gracenote is a registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

Program © 2001, 2002, 2003, 2004, 2005 Sony Corporation
Documentation © 2005 Sony Corporation

この度はソニー製品をご購入頂き 誠にありがとうございます。
本製品は、店頭でお客様に実際に手にとってご試聴・ご体験頂くことを目的として、あらかじめ試聴用楽曲データをプリインストールしております。
この楽曲データは店頭での試聴用途のためのものですので、お客様がお使いのPCに転送することはできません。楽曲を削除される場合は、SonicStage3.1上で行って頂きますようお願いいたします。
（地域によっては試聴用楽曲データがプリインストールされていない場合があります。）

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により大けがの原因となります。

運転中は使用しない。

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプターとUSBケーブルを本体から抜き、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。



海外で使用しない。

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。

感電の原因となります。



次のページにつづく ⇩

指定以外のACパワーアダプターを使わない。

破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。



内部をむやみに開けない。

本体および付属の機器は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。



ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。

感電の原因となることがあります。





本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。





⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。



耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない。



突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない。



長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ、破裂、発熱、発火、誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険 充電式電池が液漏れしたときは

充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定されたACパワーアダプター以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かない。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離す。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談する。
- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



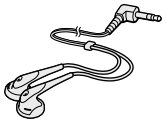
  - 本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

ご注意

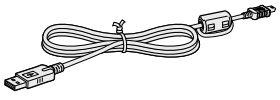
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

付属品を確かめる

- ヘッドホン（NW-HD5のみ付属）（1）*



- 専用USB接続ケーブル（1）



- ACパワーアダプター（1）
- キャリングケース（1）
- CD-ROM（1）**
（SonicStage（ソニックステージ） ソフトウェア、取扱説明書のPDF）
- はじめにお読みください（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- カスタマー登録のお願い（1）
- 安全のために（1）

（充電池はあらかじめ本体にセットされています。）

* 日本モデルのNW-HD5Hにヘッドホンは付属していません。

**CD-ROMは、音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

推奨アクセサリーのご案内

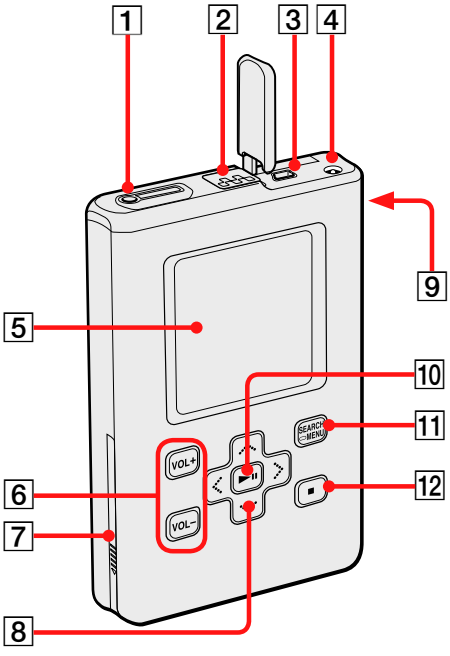
本機用の推奨アクセサリーとして、下記のアクセサリーをご案内いたします。

- 漢字表示対応3行ジョグダイヤルリモコン
RM-MC40ELK
- 漢字表示対応スティック・コントローラー
RM-MC35ELK

別売りリモコン使用時のご注意

- 推奨のリモコンに表示されていても、本機では、一部使えない機能があります。
- 詳細な使いかたは、下記URLのPDFをご覧ください。
  －http://www.sony.co.jp/sd/pr/manual/hddwm.html
- 各アクセサリーについて詳しくは下記URLをご覧ください。
  －http://www.ecat.sony.co.jp/audio/walkmanacc/acc/index.cfm?PD=17150&KM=RM-MC40ELK
  －http://www.ecat.sony.co.jp/audio/walkmanacc/acc/index.cfm?PD=10824&KM=RM-MC35ELK

各部の名前



1 ∩（ヘッドホン）/LINE（ライン） OUT（アウト）ジャック（☞31ページ）
2 HOLD（ホールド）スイッチ（☞33ページ）
3 USBジャック（☞26ページ）
4 DC INジャック（☞15、26ページ）
5 表示窓（☞34ページ）
6 VOL＋*/VOL－（音量）ボタン（☞32ページ）
7 電池カバー（☞16ページ）
8 ∧/∨/＜/＞ボタン（☞31ページ）
9 ハンドストラップ穴**
10 ▶II（再生/一時停止）ボタン（☞31ページ）
11 SEARCH（サーチ）/●MENU（メニュー）ボタン（☞35ページ）
12 ■（停止）ボタン（☞33ページ）

* 凸点（突起）が付いています。操作の目印として使ってください。
**お手持ちのハンドストラップを付けられます。

シリアルナンバーについて

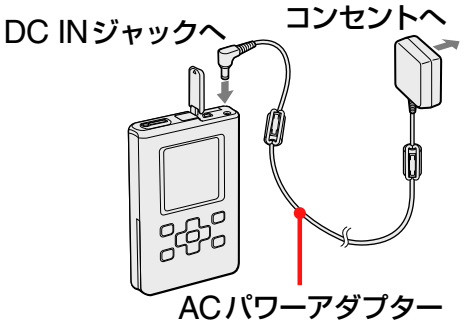
カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは、本体底面のラベルに印刷されています。ラベルをはがさないようにしてください。

充電する

初めて使うときや電池が消耗したときは、充電式電池（充電池）を充電してください。

ACパワーアダプターを本機のDC IN ジャックに接続する。

先にACパワーアダプターを接続して、次にコンセントに差し込む。



表示窓の電池マークが「充電中」の表示に変わり、充電が始まります。
充電は約3時間*で終わり、「充電完了」と [充電] が点灯します。
約1.5時間*で約80%充電されます。

* 室温で電池残量がない状態から充電したときの目安です。電池残量や電池の使用状況により、充電時間は異なります。また、充電時の温度が低い場合は、充電時間は長くなります。

USB接続で充電するには

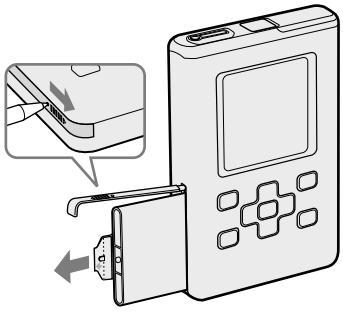
パソコンの電源を入れて、USB接続ケーブルをパソコンに接続する（☞26ページ）。
表示窓の電池マークが変わり、充電が始まります。
約6時間*で充電が完了します。なお、ACパワーアダプターが接続されているときは、ACパワーアダプターから充電されますが、充電時間は長くなります。
ACパワーアダプターを接続せずにUSB接続した状態で、パソコンがサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）に入ると、充電されずに電池が消耗します。

* 電池が消耗しきっている場合は、充電時間は長くなります。また充電中は本体を操作したときだけ、充電の表示をします。なお、充電の表示がない場合は、ACパワーアダプターを接続して充電してください。

次のページにつづく ⇩

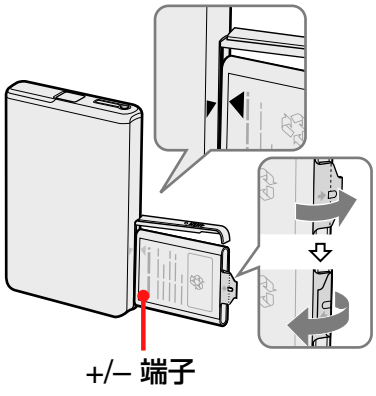
充電池を取り出すには

電池カバーの穴に、ペン先のような先の細いものを差し込み、▷の方向へスライドさせて電池カバーを開ける。充電池のラベルを手でつまんで充電池を取り出す。
充電池を取り出すと、ACパワーアダプターを接続していても電源が入りません。



充電池を入れるには

電池カバーを開け、充電池の▶（表面）と本機の▶（側面）が合うようにして充電池を入れ、充電池のラベルを折りたたんで電池カバーを閉める。



ご注意

- USB接続で充電する場合、パソコンの電源が充分でないと、充電時間が長くなることがあります。
- USB接続で充電中に、パソコンの状態によっては、充電が停止します。
- 充電中に長時間パソコンとUSB接続していると、本体の温度上昇を抑えるために一時的に充電を停止することがあります。USB接続ケーブルを外し、しばらくたってから再び充電をしてください。
- 3か月以上お使いにならないときは、充電池を取り出してください。
- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。

ACパワーアダプターについてのご注意

- 本機には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使うと、故障の原因となることがあります。



- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合はすみやかにコンセントから抜いてください。
- 充電には付属のACパワーアダプターをお使いください。

次のページにつづく ⇩

リチウムイオン電池の廃棄について



リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。

URL: http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

電池残量を確認する

表示窓に電池残量が表示されます。黒い目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。



* 表示窓に「電池残量がありません」と表示され、「ピー」という音がします。

電池が消耗しきったら、充電池を充電してください。

ご注意

- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況および使用環境により、残量表示は増減します。
- ACパワーアダプターを接続していても、充電池を取り出すと本体の電源が切れます。

電池の使用可能時間（連続再生時）*

ATRAC3plus（アトラックスリープラス） 48kbps再生時で約40時間、MP3（エムピースリー） 128kbps再生時で約30時間です。再生時間は、使用状況によって変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

SonicStageをパソコンにインストールする

付属のCD-ROMを使って、パソコンにSonicStageをインストールします。

必要な環境を準備する

以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

パソコン	IBM PC/AT互換機
	• CPU：Pentium III 450MHz以上 • ハードディスクの空き容量：200MB以上（1.5GB以上推奨）（お使いのWindowsのバージョンや音楽ファイルの扱う量に比例して空き容量が必要です。） • RAM：128MB以上
	その他 • CDドライブ（WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブ）（CD書き込みには、CD-R/RWドライブが必要です。） • サウンドボード • USBポート
OS	下記、日本語版標準インストールのみ Windows XP Media Center Edition 2005/ Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/ Windows 2000 Professional（Service Pack 3以上）/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition
ディスプレイ	ハイカラー（16ビットカラー）以上、 800×600ドット以上（1024×768ドット以上推奨）
その他	• 音楽CDのデータベースサービス（CDDB）、インターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合は、インターネットへの接続環境 • WMAファイルを再生する場合は、Windows Media Player 7.0上がインストールされた環境

次のページにつづく ⇩

ご注意

- 以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
  - ―☞18ページ記載のOS以外のOS
  - ―自作PC
  - ―標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
  - ―マルチブート環境
  - ―マルチモニタ環境
  - ―Macintosh
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Windows XP/2000のNTFSフォーマットは、標準インストール（お買い上げ時）でのみ使えます。
- すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）などの動作を保証するものではありません。

インストールする

インストールする前に、以下をお読みください。

- 他のすべてのWindowsのプログラムを終了させてください。
- 本機を使うときは、必ず附属のCD-ROMを使ってインストールしてください。
  - – すでにOpenMG Jukebox、SonicStageがインストールされている場合は、上書きインストールされます。それまでにお使いいただいていた機器の機能は引き継がれ、新たに必要な機能が追加されます。ただし、MUSIC NAVIを利用していた場合は、その機能は使えなくなります。
  - – SonicStage Premium、SonicStage Simple Burner、MD Simple Burnerがインストールされている場合は、共存します。
  - – 登録した音楽データは、そのまま引き継がれます。念のため、音楽データのバックアップをとることをおすすめします。バックアップについては、SonicStageのヘルプ「マイ ライブラリをバックアップする」をご覧ください。
    音楽データの管理方法が一部従来と異なります。詳しくは、SonicStageのヘルプ「以前のバージョンのSonicStageをお使いの方へ」をご覧ください。
- 本機を専用USB接続ケーブルでパソコンに接続している場合は、USBケーブルを抜いてからインストールしてください。

次のページにつづく ⇩

1 パソコンで起動中の他のプログラムをすべて終了する。

以下の場合はインストールがうまくいかないことがあるため、インストールの前に、当てはまる項目がないか確認してください。

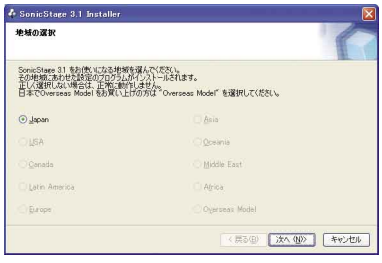
- Administrator権限/コンピューターの管理者でログオンしていない（Windows 2000/Windows XPのとき）。
- ウィルスチェックソフトが起動している（起動中の負担が大きいため）。

2 パソコンのドライブに付属のCD-ROMを入れる。

インストーラが起動し、インストールガイドが表示されます。

3 右の画面が表示された場合は、使用する地域または国を選択しクリックする。

表示されなかった場合は、手順4に進む。

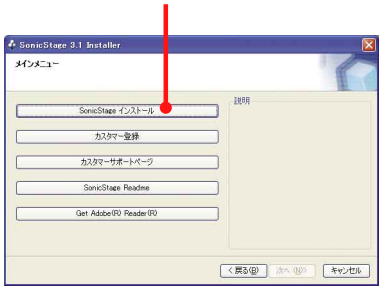


4 「SonicStageインストール」をクリックし、画面の指示に従って操作する。

注意事項をよくお読みください。お使いの環境によっては20～30分かかることがあります。インストールが終わったら、必ずパソコンを再起動してください。

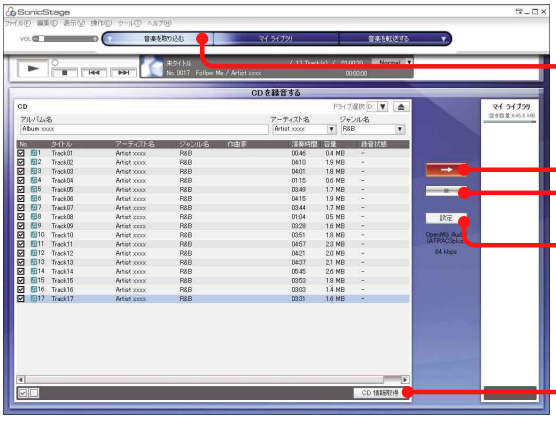
インストールできないときは、「困ったときは」（☞71ページ）をご覧ください。

SonicStageインストール



パソコンに音楽データを取り込む

音楽CDの曲をSonicStageのマイ ライブラリに取り込んで、録音します。CD情報（曲名やアーティスト名など）を自動で取得したい場合は、あらかじめインターネットに接続しておきます。
音楽CD以外に、インターネットやパソコンの音楽ファイル（MP3ファイル）も取り込めます。
詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください（☞76ページ）。



1 デスクトップにある（SonicStage）をダブルクリックする。または、「スタート」－「すべてのプログラム」*－「SonicStage」－「SonicStage」の順にクリックする。

SonicStageが起動します。
以前のバージョンのSonicStageをお使いになっていた場合、インストール後、初めてSonicStageを起動したときは、「SonicStageファイル一括変換ツール」**の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

* Windows ME/2000/98SEでは「プログラム」

**本機に高速で音楽データを転送できるように、SonicStage2.0以前で録音した音楽ファイルの形式（OpenMG）を、本機に最適な形式（OpenMG Audio）に変換するツールです。



次のページにつづく ⇩

② 録音したい音楽CDをパソコンのドライブに入れる。

③ 「▼音楽を取り込む」の▼にポインタを合わせ、メニューから「CDを録音する」をクリックする。

音楽CDのCD情報が一覧表示されます。

CD情報（詳細は下記）を自動で取得できなかったときは、インターネットに接続してから画面右下の「CD情報取得」をクリックして、CDDBからアルバム名やアーティスト名、タイトルなどを曲の一覧に取り込みます。

④ → をクリックする。

録音が始まります。

録音したくない曲があるときは、→ を押す前に、SonicStage画面で、トラック番号をクリックして ☑ を外す。

フォーマットとビットレート（☞23ページ）を変更するには

手順④で → を押す前に、SonicStage画面右側の「設定」をクリックして、「CD録音フォーマットの設定」の画面を表示する。

お買い上げ時の設定では、フォーマットはOpenMG Audio（ATRAC3plus）、ビットレートは64kbpsです。

録音を途中でやめるには

SonicStage画面の ■ をクリックする。

ご注意

SonicStageで使える音楽CDは、DIGITAL AUDIO マークが入っているCDのみです。コピーコントロールCDでの動作保証はいたしません。

次のページにつづく ⇩

CD情報とは？

CDに含まれている曲名、アルバム名、アーティスト名などです。SonicStageでは、CDをパソコンのドライブに入れると、CD情報のデータベースサービス：CDDB（Gracenote CD DataBase）から、インターネット経由で自動的に無償でCD情報を取り込みます。
CDがCDDBに未登録のときは、CD情報を取り込めません。CD情報は、SonicStageでのみ変更できます。

ATRAC3/ATRAC3plusとは？

Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding（コーディングスリー）3の略で、高音質と高圧縮を両立させた音声圧縮技術です。ATRAC3plusは、ATRAC3を更に発展させ、音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64kbpsのとき）に圧縮する音声圧縮技術です。

フォーマットとビットレートとは？

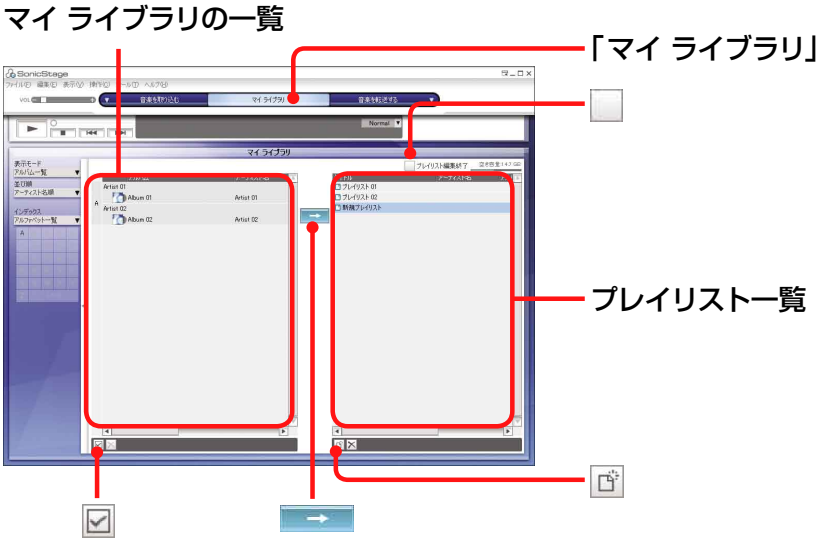
フォーマットとは音楽CD録音時のファイル形式（例：WAV、ATRAC3plusなど）で、ビットレート は転送時の1秒あたりのデータ量です。ビットレートは、数値が高いほど高音質になる反面、変換後の曲のデータ容量は大きくなります。
お買い上げ時の設定では、フォーマットはOpenMG Audio（ATRAC3plus）、ビットレートは64kbpsです。
フォーマットとビットレートを変更するには、SonicStageの転送画面で「設定」をクリックしてください。

SonicStageで曲を管理する

SonicStageのマイ ライブラリ画面で、曲の管理や編集ができます。雰囲気に合った曲をまとめたり、テーマごとに曲を1つのグループにまとめてプレイリストを作成すると便利です。プレイリストは、アルバムとして管理できます。

SonicStageについて詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください（☞76ページ）。

マイライブラリ画面の見かた



プレイリストを編集する

プレイリストは、雰囲気に合った曲をまとめたり、テーマごとに曲を1つのグループにまとめて再生したいときに作ると便利です。

1 「マイ ライブラリ」をクリックする。

マイ ライブラリ画面に切り換わります。

2 □（プレイリスト 編集）をクリックする。

プレイリスト編集画面に切り換わります。

次のページにつづく ⇩

3 画面左側のマイ ライブラリの一覧で、プレイリストに追加したい曲をクリックする。

複数の曲を選択する場合は、Ctrlキーを押しながら曲を選ぶ。
表示されているすべての曲を選択する場合は、☑（すべて選択）をクリックする。

4 画面右側のプレイリスト一覧で、曲を追加するプレイリストをクリックする。

新しいプレイリストを作成して曲を追加するときは、（新規作成）をクリックする。
新しいプレイリストが表示されます。このとき、プレイリストの名前を入力できます。

5 → をクリックする。

選択した曲がプレイリストに追加されます。

6 すべての曲を追加したら、□（プレイリスト編集終了）をクリックする。

マイ ライブラリ画面に戻ります。

ドラッグ アンド ドロップで追加するには

アルバムや曲をマイ ライブラリの一覧からプレイリスト一覧にドラッグ アンド ドロップして、プレイリストに追加できます。曲をドラッグ アンド ドロップすると、ドロップした位置に曲が追加されます。

アルバムや曲の詳細情報を見るには

詳細情報を見たいアルバム、または曲をSonicStage画面で右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択する。
「アルバムのプロパティ」、または「曲のプロパティ」画面が表示され、詳細情報を確認、編集できます。プロパティ画面で編集した内容は、マイ ライブラリ画面に反映されます。

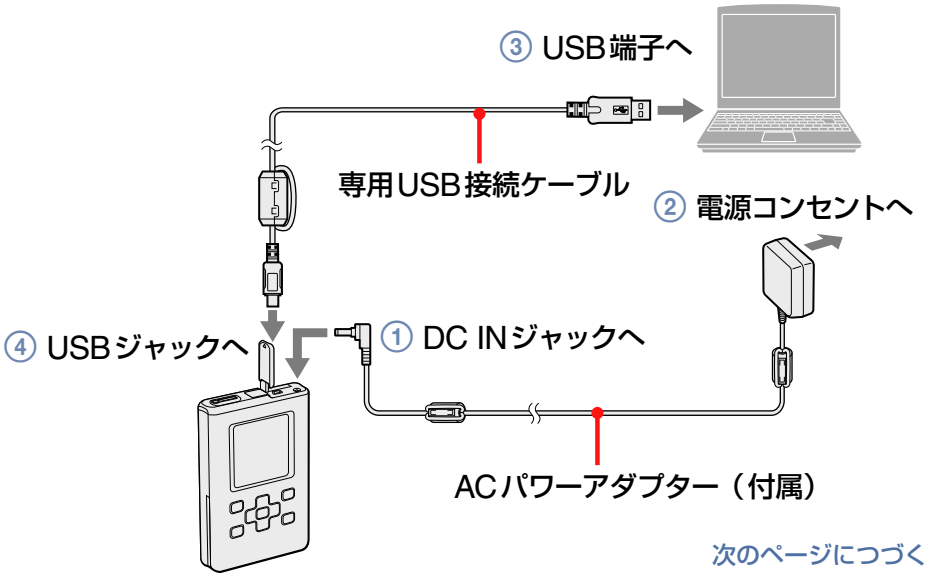
本機に音楽データを転送する

SonicStageのマイ ライブラリに録音した曲（音楽データ）を、ATRAC3plusまたはMP3のフォーマットで本機に転送します。
転送する音楽データには、CD情報に入っているアーティスト名やアルバム名などの情報が含まれています。



1 本体をパソコンと電源に、① ～ ④ の順番で接続する。

本体表示窓に「PC 接続中」と表示されます。
SonicStage画面に「自動転送の設定」画面が表示され、自動転送ができます。画面の指示に従って操作してください。詳しくはSonicStageのヘルプをご覧ください（☞76ページ）。



次のページにつづく ⇩

② 「音楽を転送する▼」の▼にポインタを合わせ、メニューから「ATRAC Audio Device」をクリックする。

本機に音楽データを転送する画面に切り換わります。

③ SonicStage画面左側（マイ ライブラリ側）の一覧で、転送したいアルバムをクリックして選ぶ。

選んだ曲だけを転送したい場合は、曲をクリックして選ぶ。複数のアルバムや曲を一度に転送する場合は、「Ctrl」キーを押しながら曲を選ぶ。

編集したプレイリストもプレイリスト一覧から選択して、転送できます。転送できるプレイリストは8,187個まで、1リストあたり999曲までです。

また、プレイリストを転送するときに、プレイリストにある曲がすでに本機に転送されている場合は、その曲は転送されず、プレイリスト情報のみが転送されます。

④ → をクリックする。

選んだアルバムや曲の転送が始まります。

転送の状態は、SonicStage画面で確認できます。

転送を途中でやめるには

SonicStage画面の ― をクリックする。

ご注意

- 転送中は、本機に振動や衝撃を加えないでください。また磁気を帯びたものを、近づけないでください。
- SonicStage画面でデータ転送中の表示が出ている間は、USB接続ケーブルを抜いたり、充電池を取り出さないでください。転送中のデータが壊れることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしません。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本機での操作はできません。本機で再生中に、パソコンと接続すると、再生が停止し、本体表示窓に「PC 接続中」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

- 本機の空き容量が転送しようとした曲の容量よりも少ない場合、転送できません。
- 転送できる回数は、著作権保護のため制限される場合があります。
- 再生期限付きの曲の場合、転送できないことがあります。
- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は働きません。
- SonicStageで入力した文字は、文字の種類や文字数によって、本機で表示できないことがあります。これは本機の制限によるものです。
- パソコンが起動した状態で本機をパソコンに接続したままにしたり、本機に大量のデータを転送した後は、本体が温かくなる場合がありますが故障ではありません。ACパワーアダプターと専用USB接続ケーブルを抜いてしばらく放置しておくと常温に戻ります。
  比較的低い温度でも、本体の発熱部位が皮膚の同じ場所に触れたままの状態でいると、低温やけどの原因となる場合があります。特に肌の弱い方などは、長時間本体を保持することは避けてください。
- 本機のハードディスクの空き容量が少ない場合、転送が正常に終わっても「データベースがありません」というメッセージが表示されることがあります。
  この場合、再度本体をパソコンに接続し、聞かなくなった曲をパソコンに戻して空き容量を増やしてください。

音楽データをパソコンに戻す

音楽データをSonicStageのマイ ライブラリに戻します。



1 本機をパソコンに接続する（「本機に音楽データを転送する」の手順1、☞26ページ）。

2 「音楽を転送する▼」の▼にポインタを合わせ、メニューから「ATRAC Audio Device」をクリックする。

SonicStageに音楽データを転送する画面が表示されます。

3 SonicStage画面右側（本機）の一覧で、マイ ライブラリに戻したいアルバムをクリックして選ぶ。

選んだ曲だけを戻したい場合は、曲をクリックして選ぶ。

複数のアルバムや曲を一度に転送する場合は、「Ctrl」キーを押しながら曲を選ぶ。

4 ← をクリックする。

選んだアルバムの転送が始まります。

転送の状態は、SonicStage画面で確認できます。

次のページにつづく ⇩

転送を途中でやめるには

SonicStage画面の  をクリックする。

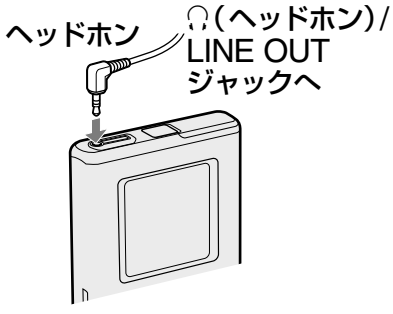
ご注意

- パソコンから本機に転送した曲は、同じパソコンにしか戻せません。
- SonicStage画面でデータ転送中の表示が出ている間は、USB接続ケーブルを抜いたり、充電池を取り出さないでください。転送中のデータが壊れることがあります。

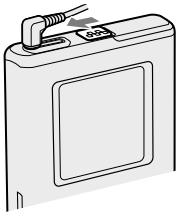
再生する

SonicStageを使って本機に転送した音楽データを再生できます（☞26ページ）。
本体の表示窓に表示されるメニューやメッセージなどの言語を変えられます（☞56ページ）。

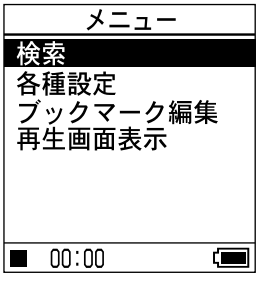
1 ヘッドホンを🎧（ヘッドホン）/LINE（ライン）OUT（アウト）ジャックに接続する。



2 HOLDスイッチを図の矢印の方向へスライドさせてHOLDを解除する。



3 ▶II以外のいずれかのボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。



4 ^/v で「検索」を選び、▶II を押して決定する。
検索画面が表示されます。



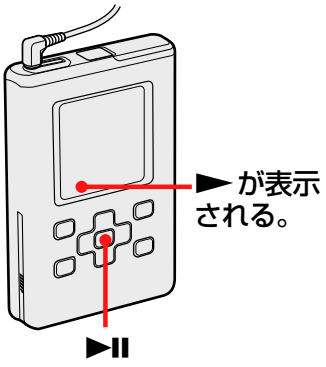
次のページにつづく ⇩

5 **/で、検索モードを選ぶ。**

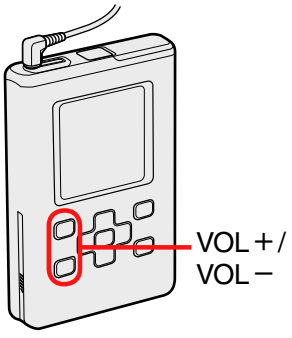
更に詳しく検索するときは、を押す。

6 **▶IIを押す。**

表示窓の左下に▶が表示され、再生が始まります。もう1度▶IIを押すと、再生一時停止になります。



7 **VOL+/VOL− を押して音量を調節する。**



再生できる音楽データは？

本機では、ATRAC3plus/MP3フォーマットの音楽データを再生できます。
また、本機で再生できるMP3フォーマットは、次の通りです。

– MPEG-1 Audio Layer-3
– ビットレート32 ～ 320kbps（CBR/VBR）
– サンプリング周波数32/44.1/48 kHz

ご注意

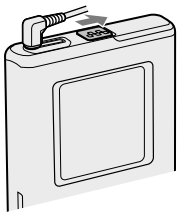
- 本機で再生できないMP3フォーマットの曲も、本機に転送されます。
- 本機で再生できないMP3フォーマットの曲を再生しようとすると、再生が止まります。その場合は、を押して別の曲を選び、再生してください。
- 電池で使用しているときに、停止状態のまま約30秒間操作がないと、自動的に表示が消えます。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから約30秒後に表示が消えます。
- 再生が始まらないときは、HOLD（誤操作防止）スイッチが解除されているのを確認してください（☞33ページ）。

次のページにつづく ⇩

誤操作を防ぐ（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、誤操作するのを防ぎます。HOLD機能が働いているときは、操作しても表示窓に「HOLD中です」と表示され、操作が無効になります。

HOLDスイッチを図の矢印の方向にスライドする。



HOLDを解除するには

HOLDスイッチを図の矢印と反対の方向にスライドする。

再生の基本操作一覧（再生、停止、頭出しなど）

こんなときは	本体操作
続きから再生する	▶II を押す。 前回再生を止めたところから始まる。
再生を止める	■を押す。
今聞いている曲を頭出しする	⏮ を1度押す。
前の曲、更に前の曲を頭出しする*	⏮ を繰り返し押す。
次の曲を頭出しする*	⏭ を1度押す。
更に次の曲を頭出しする*	⏭ を繰り返し押す。
早戻しする	⏮ を押したままにする。
早送りする	⏭ を押したままにする。

* プレイモードがトラックシャッフル、またはアイテムシャッフル（☞49ページ）の場合は、動きが異なります。

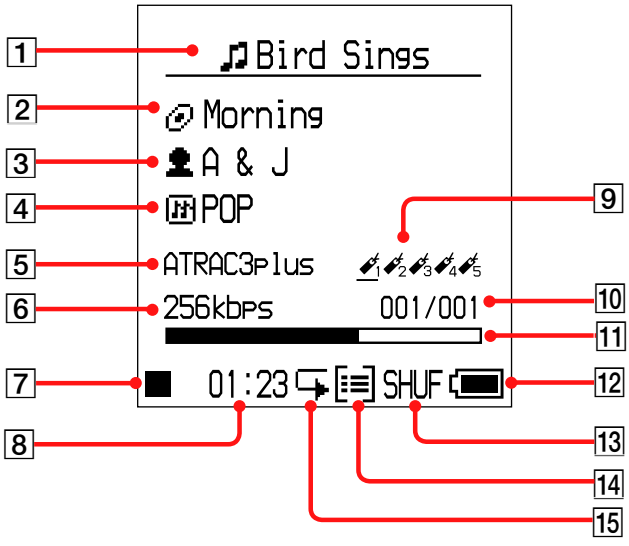
電源を切るには

表示が消えるまで■を押したままにする。
電源を入れるには、いずれかのボタンを押す。

次のページにつづく ⇩

表示窓の情報を確認する

再生中に音楽データや再生状態の詳しい情報を確認できます。



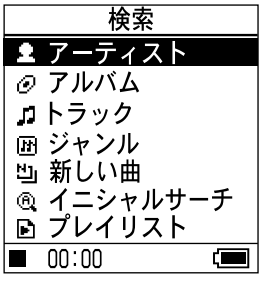
1 曲名
2 アルバム名
3 アーティスト名
4 ジャンル名
5 ATRAC3/ATRAC3plus/MP3（☞23ページ）
6 ビットレート*（☞23ページ）
7 再生状態
►:再生
■:停止
►►:早送り
◄◄:早戻し
I◄◄/►►I:頭出し
8 再生時間
9 ブックマーク（☞41ページ）
10 曲番
11 再生位置
12 電池残量（☞17ページ）
13 プレイモード（☞47ページ）、サウンド表示（音量調節時のみ、☞54ページ）
14 ユニット表示（☞49ページ）
15 リピート（☞51ページ）

* MP3で可変ビットレート（VBR）の曲の場合、表示されるビットレートはSonicStageで表示されるビットレートと一致しないことがあります。

音楽を選んで聞く
（アーティスト、アルバム、ジャンルなど）

「アーティスト」や「アルバム」などで検索して、聞きたい曲を選べます。
表示される画面について詳しくは、「検索画面のフォルダ構造」（☞37ページ）をご覧ください。

1 SEARCH/–MENUを押す。
検索画面が表示されます。



2 /で検索モードを選ぶ。
「プレイリスト」、「イニシャルサーチ」以外を選んだ場合、►IIを押すと再生が始まります。
例えば「アーティスト」を選んだ場合、アーティストの最初のアルバムの1曲目から順に再生し、その後に続く全アーティストのアルバムの全曲を再生します。

3 更に細かく検索するには、を押す。

4 /で再生したい項目を選び、►IIを押して決定する。
選んだ曲や項目（アルバム、アーティストなど）の1曲目から順に再生し、その後に続く全曲を再生します。

次のページにつづく ⇩

検索画面に戻るには

SEARCH/●MENUを押す。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/●MENUを押したままにする。
再び再生画面に戻りたいときは、メニュー画面から「再生画面表示」を選び▶IIを押す。

トラックー覧の画面に戻るには

へ または ﹀ を押す。

検索画面で再生を止めるには

■を押す。

高速スクロールするには

検索画面で へ または ﹀ を2回すばやく押し、2回目で押したままにする。
項目数に応じて大きくスクロールします。
また、しばらくへ または ﹀ を押したままにすると、スクロールが早くなります。

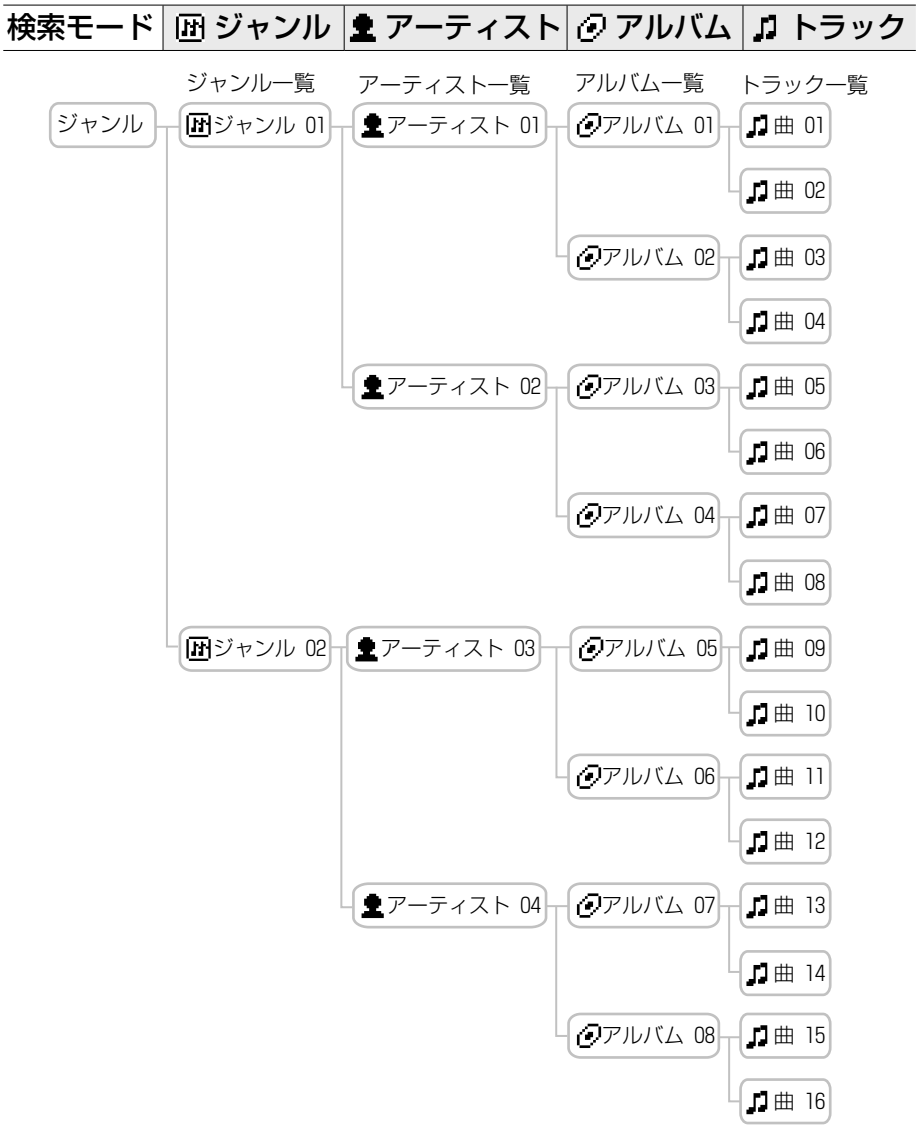
次のページにつづく ⇩

検索画面のフォルダ構造

検索画面には、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」、「トラック」、「新しい曲」、「イニシャルサーチ」、「プレイリスト」の検索モードがあります。ジャンル、アーティスト、アルバム、トラックは以下の図のとおり構成されています。

アーティスト、アルバム、トラック、ジャンル、新しい曲では、▶II を押せば、どの検索画面からでも再生が始まります。

新しい曲から選んで聞くときは☞38ページ、イニシャルサーチから選んで聞くときは☞38ページ、プレイリストから選んで聞くときは☞40ページをご覧ください。



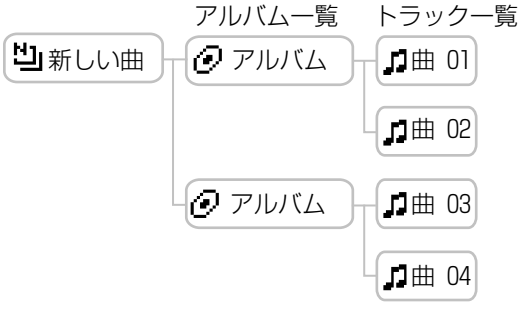
次のページにつづく ⇩

「新しい曲」から曲を選ぶ

新しく転送された（最近5回）アルバムに含まれる曲を選べます。

1 検索画面（☞35ページの手順2）で「新しい曲」を選び、＞を押す。

新しい曲一覧が表示されます。新しい曲は以下のとおり構成されています。



2 ＜/＞で再生したい項目を選び、▶IIを押す。

選んだ曲やアルバムの1曲目から再生し、その後に続く全曲を再生します。

曲の最初の文字で曲を選ぶ（イニシャルサーチ）

曲の最初の文字で曲を検索し、聞きたい曲を選べます。
SonicStageの曲情報に入っている曲名で検索します。

1 SEARCH/－MENUを押す。

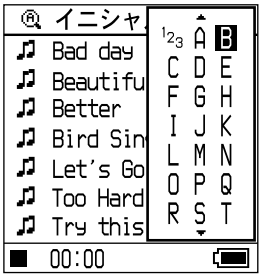
検索画面が表示されます。



次のページにつづく ⇩

2 **/ で「イニシャルサーチ」を選び、►II を押して決定する。**

トラック一覧が表示され、文字選択画面が表示されます。



3 **/ / / で曲の最初の文字を選び、►II を押して決定する。**

選んだ文字から始まる最初の曲が表示されます。

該当する曲がない場合は、選んだ文字以降の最初の曲が表示されます。



4 **/ で再生したい曲を選び、►II を押す。**

選んだ曲から順に再生し、その後に続く全曲を再生します。

検索画面に戻るには

SEARCH/●MENU を押す。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/●MENU を押したままにする。

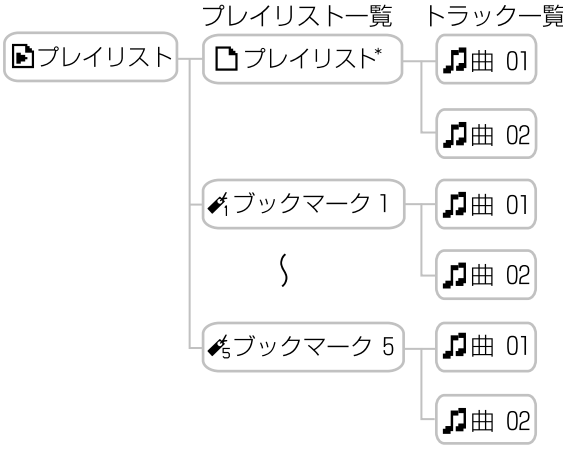
次のページにつづく ⇩

「プレイリスト」から曲を選ぶ

SonicStageで編集したプレイリストや本機でブックマーク1～5に登録した曲を選べます。ブックマークに曲を登録するには、☞41ページをご覧ください。

1 検索画面（☞35ページの手順2）で「プレイリスト」を選び、› を押す。

プレイリスト一覧が表示されます。プレイリストは以下のとおり構成されています。



* プレイリスト一覧で表示されるプレイリスト名は、SonicStageでつけた名称になります。

2 ‹/›で再生したい項目を選び、▶II を押す。

選んだプレイリストやブックマークの1曲目から再生が始まります。

本機でブックマークを編集する

プレイリストには、SonicStageのプレイリストと本機のプレイリストがあります。本機のプレイリストには、SonicStageのプレイリストと本機で作成するブックマークが含まれます。プレイリストの階層については、☞40ページをご覧ください。
SonicStageのプレイリストは本機で編集できません。また、本機で作成したブックマークはSonicStageで見たり、編集したりできません。

ブックマークに曲を登録する（ブックマークトラック再生）

好きな曲をブックマークに登録できます。ブックマークに登録した曲は、検索画面で「プレイリスト」を選んで再生します（☞40ページ）。

❶ ブックマークに登録したい曲の再生中に、⏮を押したままにする。
ブックマーク登録画面が表示されます。



❷ ⏮/⏭ で登録先のブックマークを選び、▶II を押す。
「ブックマーク 登録しました」とブックマーク数（登録数/登録可能数）が表示され、ブックマークのアイコンが点灯します。

❸ 複数の曲にブックマークを付けたいときは、手順❶と❷を繰り返す。
1つのブックマークに100曲まで付けられます。

次のページにつづく ⇩

ブックマークに登録した曲を再生するには

1 SEARCH/●MENUを押す。
検索画面が表示されます。

2 ∧/∨ で「プレイリスト」を選び、▶II を押す。

3 ∧/∨ で「ブックマーク」を選び、› を押す。
▶II を押すと、選んだブックマークに登録されている最初の曲から再生が始まります。

4 ∧/∨ で聞きたい曲を選び、▶II を押す。
再生中のブックマークのアイコンに下線が表示されます。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲を上記の手順で再生中に、∨ を押したままにする。
「ブックマーク 解除しました」と表示され、ブックマークのアイコンが消えます。

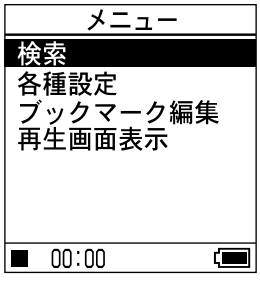
ご注意

- ブックマークに登録できるのは、再生中のときのみです。
- ブックマークを消せるのは、ブックマークに登録した曲を上記の手順で再生している場合のみです。

ブックマークの曲順を変える

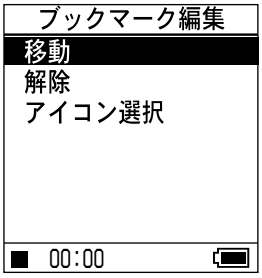
ブックマークに登録されている曲の曲順を変えられます。

1 SEARCH/●MENUを押したままにする。
メニュー画面が表示されます。



次のページにつづく ⇩

2 **/ で「ブックマーク編集」を選び、▶II または を押して決定する。**
ブックマーク編集画面が表示されます。



3 **/ で「移動」を選び、▶II または を押して決定する。**
ブックマーク一覧が表示されます。



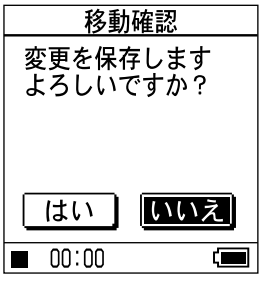
4 **/ で編集したいブックマークを選び、▶II または を押して決定する。**
選んだブックマークのトラック一覧が表示されます。



5 **/ で移動する曲を選び、▶II を押して決定する。**
選択した曲が点滅表示します。

6 **/ で移動先を選び、▶II を押して決定する。**
手順5で選んだ曲が、手順6で選んだ位置に移動します。複数の曲を移動させる場合は、手順5と手順6を繰り返します。

7 **または ■ を押す。**
確認画面が表示されます。



次のページにつづく ⇩

8 ＜/＞で「はい」を選び、▶IIを押して決定する。

表示窓に「変更を保存しました」と表示されます。

「いいえ」を選ぶと編集を中止し、ブックマーク編集画面に戻ります。

ブックマークの曲を解除する

ブックマークに登録されている曲をリスト一覧から外せます。

1 「ブックマークの曲順を変える」(☞42ページ) の手順3で「解除」を選び、▶IIまたは＞を押して決定する。

解除選択画面が表示されます。



2 ∧/∨で「♫ トラック」または「✓ ブックマーク」を選び、▶IIまたは＞を押して決定する。

ブックマーク一覧が表示されます。



3 ∧/∨でブックマークを選び、▶IIまたは＞を押して決定する。

手順2で「トラック」を選ぶと、トラック一覧が表示されます。

手順2で「ブックマーク」を選んだ場合は、手順6へ進みます。



次のページにつづく ⇩

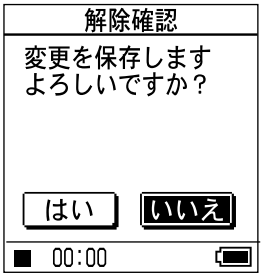
4 ^/v で解除する曲を選び、▶II を押して決定する。

選択した曲がトラック一覧から消えます。

複数の曲を解除する場合は、この手順を繰り返します。

5 > または ■ を押す。

確認画面が表示されます。



6 < / > で「はい」を選び、▶II を押して決定する。

表示窓に「変更を保存しました」と表示され、ブックマーク編集画面に戻ります。

手順 2 で「 ブックマーク」を選んだときは

「登録されている曲を全て解除します よろしいですか？」と表示されるので、確認後「はい」を選ぶ。

「いいえ」を選ぶと編集を中止し、ブックマーク編集画面に戻ります。

高速スクロールするには

「ブックマークの曲順を変える」（☞42ページ）と「ブックマークの曲を解除する」（☞44ページ）のトラック一覧の画面で、^ または v を2回すばやく押し、2回目で押したままにする。

項目数に応じて大きくスクロールします。

また、しばらく ^ または v を押したままにすると、スクロールが早くなります。

ご注意

ブックマークに登録されている曲を再生中または一時停止中は、その曲が登録されているブックマークは編集できません。

次のページにつづく ⇩

ブックマークのアイコンを変更する

ブックマークに登録した曲に付くアイコンを選べます。ブックマーク1～5に別のアイコンを付けると便利です。

1 「ブックマーク内の曲順を変える」(☞42ページ) の手順3で「アイコン選択」を選び、▶IIまたは 〉を押して決定する。

ブックマーク選択画面が表示されます。



2 へ/〜 でアイコンを変更したいブックマークを選び、▶IIを押して決定する。

アイコン選択画面が表示されます。



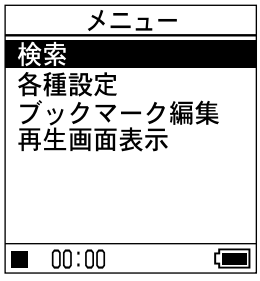
3 へ/〜/〈/〉でアイコンを選択し、▶IIを押して決定する。

選んだアイコンがブックマークとして表示されます。

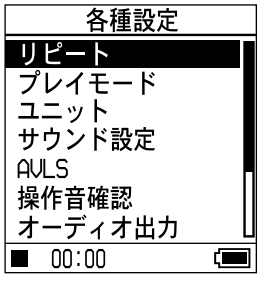
再生方法（プレイモード）を変えて聞く

再生方法（プレイモード）を変えて、好きな曲だけを聞いたり、曲を順不同に聞けます。
再生方法や再生範囲について詳しくは、「プレイモード項目一覧」をご覧ください。
また、シャッフル再生したり（☞49、51ページ）、選んだ再生方法を繰り返して聞けます（リピート再生、☞51ページ）。

1 **SEARCH/－MENUを押したままにする。**
メニュー画面が表示されます。



2 **へ/ヘで「各種設定」を選び、►IIを押して決定する。**
各種設定画面が表示されます。



3 **へ/ヘで「プレイモード」を選び、►IIを押して決定する。**
プレイモード一覧が表示されます。



4 **へ/ヘで再生方法を選び、►IIを押して決定する。**
初期設定は「通常再生」です。

次のページにつづく ⇩

5 SEARCH/●MENUを押して検索画面を表示し、再生範囲を選ぶ（☞35ページ）。

再生範囲を限定していくときは、>を押して更に細かく選びます。

6 ▶IIを押す。

選んだプレイモードで再生が始まります。

再生方法の変更を途中でやめるには

■を押すと、各種設定画面に戻る。

通常再生に戻るには

手順4で、「通常再生」を選ぶ。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/●MENUを押したままにする。

次のページにつづく ⇩

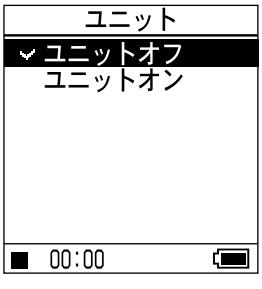
プレイモード項目一覧

本体 / 本体のアイコン	説明
通常再生/表示なし	選んだ曲の後に続くすべての曲を、順に1回再生します。 曲以外（アルバムやアーティストなど）を選んだときは、最初の曲やアルバムの1曲目から、順に1回再生します。
1曲再生/1	選んだ曲だけを、1回再生します。 曲以外（アルバムやアーティストなど）を選んだときは、最初の曲だけを、1回再生します。
トラックシャッフル/SHUF	すべての曲を、順不同に1回再生します（全曲シャッフル）。
アイテムシャッフル/SHUF	すべてのアルバムを、順不同に1回再生します（アルバムシャッフル）。アルバム内の曲は順に再生します。「ユニット」が「ユニットオン」に設定されているときは（☞49ページ）、ユニットシャッフル（☞51ページ）になります。

選んだ再生範囲の曲を聞く（ユニット再生）

1 「再生方法（プレイモード）を変えて再生する」（☞47ページ）の手順3で「ユニット」を選び、▶II を押して決定する。

ユニット画面が表示されます。



2 ヘ/ヘで「ユニットオン」を選び、▶II を押して決定する。

次のページにつづく ⇩

3 SEARCH/–MENUを押して検索画面を表示し、再生範囲を選ぶ（☞35ページ）。

4 ▶IIを押す。
ユニット内の全曲を、順に再生します。

ユニット（再生範囲）とは

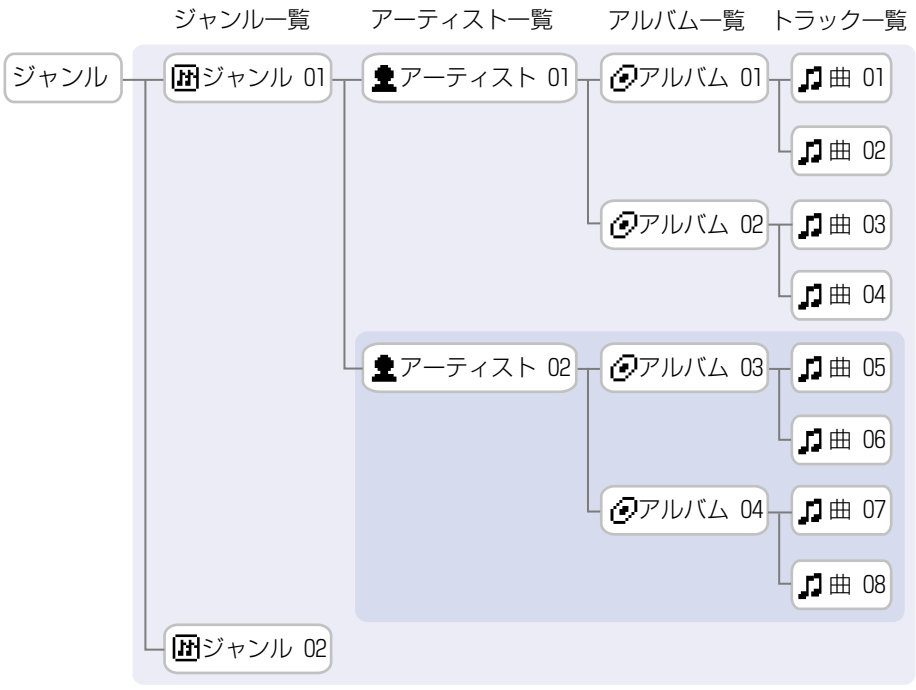
再生を始めたときに選んだ項目に属しているすべての項目（アーティスト、アルバム、曲など）です。

例：「ジャンル01」を選んで再生を始めた場合

曲01から曲08までがユニットとなります。

「アーティスト02」を選んで再生を始めた場合

曲05から曲08までがユニットとなります。



ご注意

- 「ユニット」を「ユニットオン」から「ユニットオフ」、または「ユニットオフ」から「ユニットオン」に切り換えると、ユニットは全曲に再設定されます。
- 手順3で再生範囲に曲を選ぶと、選んだ曲が含まれているアルバムがユニットとなります。

次のページにつづく ⇩

ユニット内トラックシャッフル（ユニットオン選択時のトラックシャフル）について

各種設定画面の「ユニット」で「ユニットオン」を選ぶと、
再生を始めた位置のユニットに属するすべての曲を順不同に再生します。

ユニットシャッフル（ユニットオン選択時のアイテムシャッフル）について

各種設定画面の「ユニット」で「ユニットオン」を選ぶと、ユニット内の一番上の階層の項目を順不同に再生します。項目内の曲は曲順で再生されます。

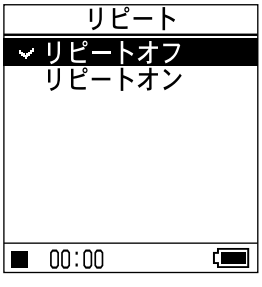
ご注意

- 検索画面から「♫ トラック」を選んでシャッフルモードにすると、「ユニットオン/オフ」、「トラック/アイテムシャッフル」に関係なくすべての曲を順不同に再生します。
- 検索画面の「プレイリスト」から「プレイリスト」または「ブックマーク」を選んでシャッフルモードにすると、「ユニットオン/オフ」、「トラック/アイテムシャッフル」に関係なく、プレイリストまたはブックマーク内のすべての曲を順不同に再生します。

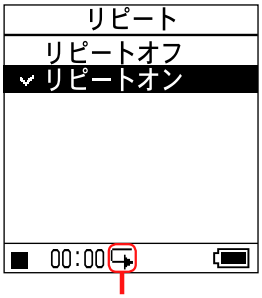
繰り返し聞く（リピート再生）

☞49ページで選んだ再生方法を繰り返して再生します。

1 「再生方法（プレイモード）を変えて再生する」（☞47ページ）の手順3で「リピート」を選び、▶II を押して決定する。
リピート画面が表示されます。



2 /で「リピートオン」を選び、▶II を押して決定する。



が表示される。

次のページにつづく ⇩

3 SEARCH/●MENUを押して検索画面を表示し、再生範囲を選ぶ（☞35ページ）。

4 **▶II を押す。**
選んだ再生方法が繰り返されます。

再生方法の変更を途中でやめるには

■を押すと、各種設定画面に戻る。

リピート再生をやめるには

手順2のリピート画面で「リピートオフ」を選ぶ。

検索画面に戻るには

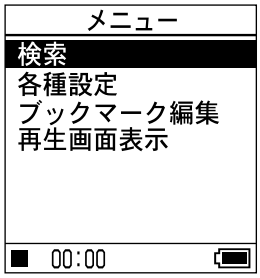
SEARCH/●MENUを押す。

音質や表示の設定を変える

設定項目と内容について詳しくは、☞54ページをご覧ください。

1 SEARCH/●MENUを押したままにする。

メニュー画面が表示されます。



2 ∧/∨で「各種設定」を選び、►IIを押して決定する。

各種設定画面が表示されます。



3 ∧/∨で設定内容を選び、►IIを押して決定する。

音質を変えるときは（サウンド設定）

手順3の後、∧/∨で設定内容（☞54ページ）を選び、►IIを押して決定する。

前の画面に戻るには

<を押す。

操作を途中でやめるには

■を押すと、各種設定画面に戻る。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/●MENUを押したままにする。

次のページにつづく ⇩

音質や表示の設定項目一覧

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）		
サウンド設定	●サウンドオフ		通常の音質になります。
	VPTアコースティックエンジン[1)2)]	スタジオ（VS）	録音スタジオで聞いているような音質になります。
		ライブ（VL）	ライブハウスで聞いているような音質になります。
		クラブ（VC）	クラブで聞いているような音質になります。
		アリーナ（VA）	アリーナ会場で聞いているような音質になります。
	6バンドイコライザ[1)2)]	ヘビー（SH）	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
		ポップス（SP）	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
		ジャズ（SJ）	低域と高域を強調したメリハリのある音質になります。
		ユニーク（SU）	低域と高域を強調し中域もある程度強調した音質になります。
		カスタム1（S1）	自分で設定した音質になります。音域ごとに更に細かく設定できます（設定方法は☞57ページ）。
		カスタム2（S2）	
	デジタルサウンドプリセット[2)]	カスタム3（S3）	高音や低音を強調して、あらかじめお好みの音質を2種類設定できます（設定方法は☞58ページ）。
		カスタム4（S4）	

1）ATRAC3plusフォーマットの曲を再生している時に設定できます。MP3フォーマットの曲を再生している時は、音質は変わりません。

2）設定内容が表示窓に（ ）内の文字で表示されます（☞34ページ）。

次のページにつづく ⇩

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
AVLS[1]（快適音量）	●AVLS オフ	音量の制限無しで、操作に合わせて音量が変わります。
	AVLS オン	音もれや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がりません。
操作確認音	●操作音オン	操作時の確認音（ピッなど）が鳴ります。
	操作音オフ	確認音は鳴りません。
オーディオ出力（外部出力音声）	●ヘッドホン	付属のヘッドホンを接続しているときに選びます。
	ラインアウト	スピーカーなどの他機を音声コードで接続しているときに選びます（☞61ページ）。
バックライト設定[2]	●10秒	操作直後に選んだ時間点灯します。また、表示をスクロールしている間点灯します。
	30秒	
	常時消灯	消灯し、電池の消耗を極力抑えます。
コントラスト調整[3]	●中央	適度な明るさで表示します。
	−〜＋	−に設定すると薄く、＋に設定すると濃く表示します。どの画面でも、SEARCH/●MENUを押しながら ⋰ を押すと「中央」に戻ります。
画面反転表示	●ネガティブ	文字やアイコンは白、背景色は黒で表示します。
	ポジティブ	文字やアイコンは黒、背景色は白で表示します。

1) Automatic（オートマチック） Volume（ボリューム） Limiter（リミッター） System（システム）の略です。

2) バックライトが消灯しているときは、VOL+/VOL−を押すと点灯します。

3) SEARCH/●MENUを押しながら⋰を押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

次のページにつづく ⇩

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
画面表示向き	●縦	画面表示方向が縦に固定されます。
	自動	Gセンサー[1]により表示向きを自動調整します。画面の向きは、本機に電源を入れたときの向きに設定されます。
	右	画面表示方向が左に固定され、右手で操作できるようにします。
	左	画面表示方向が右に固定され、左手で操作できるようにします。
表示言語	●日本語	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。
	Français	フランス語で表示します。
	Deutsch	ドイツ語で表示します。
	Italiano	イタリア語で表示します。
	Español	スペイン語で表示します。
システム初期化[2]	工場出荷時設定	お買い上げ時の設定に戻します（☞63ページ）。
	ハードディスク初期化	内蔵ハードディスクを初期化します。初期化すると、保存していたデータはすべて消去されます（☞65ページ）。
	ファームウェア更新	本機のファームウェアを更新できます。[3]

1) Gセンサーとは、本体の向きを感知する機能です。

2) 再生中または再生一時停止中には設定できません。

3) 現在この機能は使えません。ご案内があるまでお待ちください。

次のページにつづく ⇩

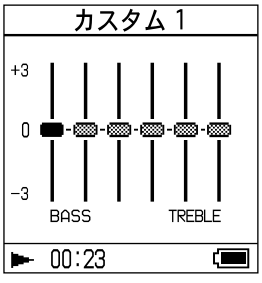
好みの音質に細かく設定する（6バンドイコライザ – カスタム）

表示窓を見ながら、音域ごとに更に細かく音質を調節できます。

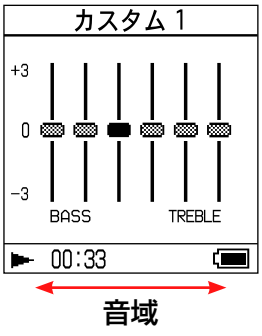
1 **「音質や表示の設定を変える（☞53ページ）の手順3で「サウンド設定」を選んだあとに、「6バンドイコライザ」を選び、▶II を押して決定する。**



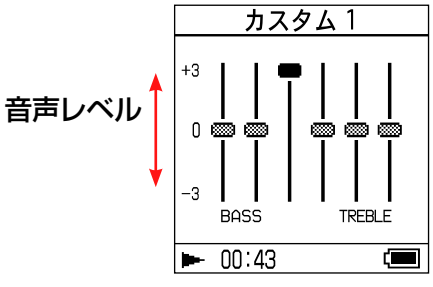
2 **へ/ヘ で「カスタム 1」または「カスタム 2」を選び、▶II を押して決定する。**



3 **く / > で音域を選ぶ。**
6つの音域があります。



4 **へ/ヘ で音声レベルを選ぶ。**
7段階の中から選びます。



次のページにつづく ⇩

5 手順❸と❹を繰り返して残りの音域の設定を行う。

6 ▶IIを押して決定する。
6バンドイコライザ設定画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

■を押すと、6バンドイコライザ設定画面に戻る。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/●MENUを押したままにする。

ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「カスタム1」または「カスタム2」を選んだときとそれ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。
- MP3フォーマットの曲を再生しているときは、音質は変わりません。

高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）

高音や低音を強調して、あらかじめお好みの音質を設定できます。表示窓を見ながら音質を調節し、記憶させることができます。

1 「音質や表示の設定を変える（☞53ページ）の手順❸で「サウンド設定」を選んだあとに、「デジタルサウンドプリセット」を選び、▶IIを押して決定する。

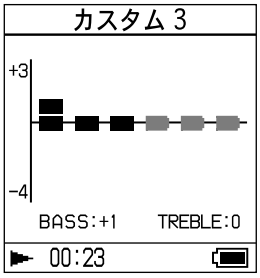


次のページにつづく⇩

2 **∧/∨ で「カスタム 3」または「カスタム 4」を選び、▶II を押して決定する。**

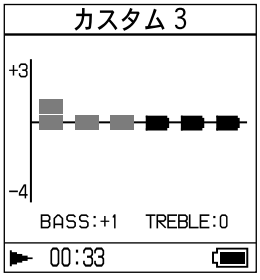
お買い上げ時の設定

音質	カスタム 3（S3）	カスタム 4（S4）	サウンドオフ（通常の音質）
Bass（低音）	＋1	＋3	±0
Treble（高音）	±0	±0	±0



3 **</> で「Treble」または「Bass」を選ぶ。**

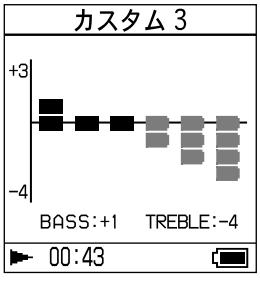
Treble（高音）とBass（低音）の音質を調整できます。



4 **∧/∨ で音声レベルを選ぶ。**

8段階の中から選びます。

音質	数値の設定
Bass（低音）	−4 ～＋3
Treble（高音）	−4 ～＋3



4 **▶II を押して決定する。**

デジタルサウンドプリセット設定画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

■を押すと、デジタルサウンドプリセット設定画面に戻る。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/●MENUを押したままにする。

次のページにつづく ⇩

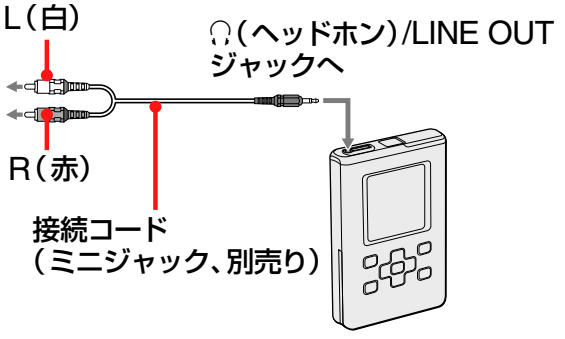
ご注意

- 設定するTreble（高音）とBass（低音）の値は、画面の左右両端に表示されます。中央の4つの値は、両端の値に連動して自動的に設定されます。選んで設定することはできません。
- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「カスタム 3」または「カスタム 4」を選んだときと、それ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

他の機器に接続する

他のステレオ機器に接続して曲を聞いたり、本機で再生した曲をMDやテープに録音できます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。接続する機器の電源を必ず切ってから、以下のように接続、設定してください。

MDデッキ、AVアンプ、アクティブスピーカー、カセットデッキ、など



接続した機器に音声が出力されるように、各種設定画面で「オーディオ出力」の設定を必ず変更してください。「オーディオ出力」の設定は以下のとおりです。設定方法は、☞53ページをご覧ください。

接続機器	設定
ヘッドホン	ヘッドホン
接続コードで接続した機器	ラインアウト

他機に接続したときは、「ラインアウト」に設定します。
「ラインアウト」に設定すると、音量調節と「サウンド」の設定はできないだけでなく、働きません。

ご注意

- 付属のヘッドホンを接続しているときは、（ヘッドホン）/LINE OUT出力の設定「オーディオ出力」を「ラインアウト」に切り換えないでください。音量調節ができなくなり、ひずんだ大きな音が出ます。
- 曲を聞く前に、接続した機器の音量を下げてください。音がひずんだり、思わぬ大音量が出てスピーカーが破損するおそれがあります。

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを、本機の内蔵ハードディスクに転送できます。
Windowsのエクスプローラ上にリムーバブルディスクとして、本機の内蔵ハードディスクが表示されます。

ご注意

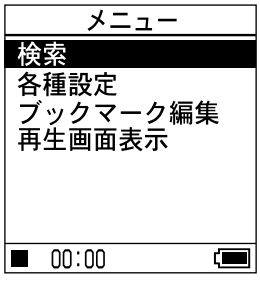
- Windowsのエクスプローラを使って本機内蔵ハードディスクを操作している間、SonicStageは使わないでください。
- エクスプローラを使ってWAVやMP3などのファイルを転送しても本機では再生できません。SonicStageを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。データを転送中にUSB接続ケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。

お買い上げ時の設定に戻す

設定項目の内容をお買い上げ時の設定に戻します。

1 停止中に、SEARCH/−MENUを押したままにする。

メニュー画面が表示されます。



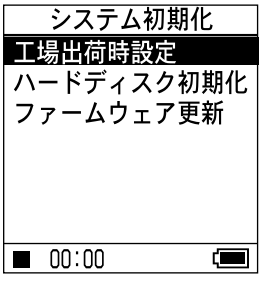
2 ∧/∨ で「各種設定」を選び、▶II を押して決定する。

各種設定画面が表示されます。



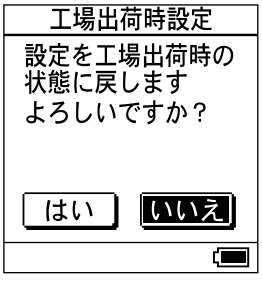
3 ∧/∨ で「システム初期化」を選び、▶II を押して決定する。

システム初期化画面が表示されます。



4 ∧/∨ で「工場出荷時設定」を選び、▶II を押して決定する。

工場出荷時設定画面が表示されます。



5 < / > で「はい」を選び、▶II を押して決定する。

「設定を工場出荷時の状態に戻しました」と表示され、システム初期化画面に戻ります。

次のページにつづく ⇩

操作を途中でやめるには

■を押す。または、手順5で「いいえ」を選び、▶IIを押すと、システム初期化画面に戻る。

ご注意

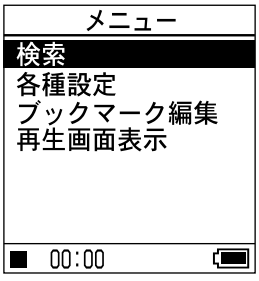
再生中は、お買い上げ時の設定に戻せません。

初期化する

内蔵ハードディスクを初期化できます。初期化すると、記録された音楽やデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

1 停止中に、SEARCH/MENUを押したままにする。

メニュー画面が表示されます。



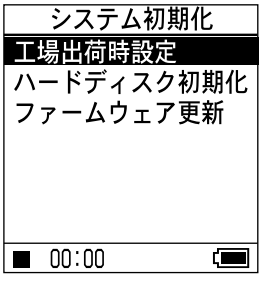
2 /で「各種設定」を選び、▶IIを押して決定する。

各種設定画面が表示されます。



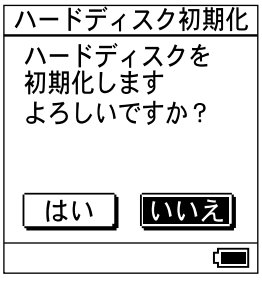
3 /で「システム初期化」を選び、▶IIを押して決定する。

システム初期化画面が表示されます。



4 /で「ハードディスク初期化」を選び、▶IIを押して決定する。

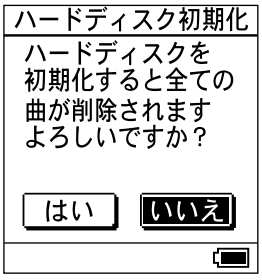
ハードディスク初期化画面が表示されます。



次のページにつづく

5 **〈/〉で「はい」を選び、►IIを押して決定する。**

確認画面が表示されます。



6 **〈/〉で「はい」を選び、►IIを押して決定する。**

「ハードディスクを初期化しました」と表示され、システム初期化画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

■を押す。または、手順6で「いいえ」を選び、►IIを押すと、システム初期化画面に戻る。

ご注意

- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。
- 再生中は初期化できません。
- 初期化すると、すべてのファイルがすべて削除されます。
- 本機を転送元のパソコンに接続すると、初期化により消した曲は、SonicStageで曲を戻したとみなされ、残りの転送回数が増えます。

SonicStageをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」*をクリックする。

* Windows ME/2000/98SEでは「設定」→「コントロールパネル」

2 「プログラムの追加と削除」*をダブルクリックする。

* Windows ME/2000/98SEでは「アプリケーションの追加と削除」

3 一覧から「SonicStage 3.1」を選び、「変更と削除」*をクリックする。

メッセージに従って再起動を行う。再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

＊ Windows ME/98SEでは「追加と削除」

ご注意

SonicStage 3.1をインストールすると、「OpenMG Secure Module 4.1」もインストールされます。「OpenMG Secure Module 4.1」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、あわてずに以下の手順にしたがってください。

1 充電池を取り出して、再び入れる。
2 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。
3 SonicStageを使用しているときは、SonicStageのヘルプで調べる。
4 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページ http://www.sony.co.jp/support-pa/ で調べる。
5 手順1 ～ 4を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞89ページ）またはお買い上げ店に相談する。

電源

症状	原因/ 処置
電池の持続時間が短い。	→ 5 ℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。
	→ 長期間使用していなかった。何回か充放電を行うと、電池性能が回復する。
	→ 充電池が寿命の場合がある。新しい充電地と交換する。
	→ 充電時間が短い。⚡ が表示されるまで、充電をする。

次のページにつづく ⇩

音声

症状	原因/ 処置
再生音が出ない。 雑音が入る。	➔ 音量がゼロになっている。音量を上げる（☞32ページ）。
	➔ ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。 ☊（ヘッドホン）/LINE OUTジャックにしっかり差し込む（☞31ページ）。
	➔ ヘッドホンのプラグが汚れている。乾いた柔らかい布などでプラグの汚れを拭く。
	➔ 本体に曲が入っていない。
再生音が大きくならない。	➔「AVLS」が「AVLS オン」に設定されている。「AVLS」を「AVLS オフ」に設定する（☞55ページ）。
右チャンネルから音が出ない。	➔ ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。 ☊（ヘッドホン）/LINE OUTジャックにしっかり差し込む（☞31ページ）。
音量を調節できない。	➔「オーディオ出力」が「ラインアウト」に設定されている。接続した機器側で音量を調節する。または「オーディオ出力を「ヘッドホン」に設定する（☞55ページ）。
接続したステレオ機器で、音がひずんだり雑音が聞こえる。	➔「オーディオ出力」が「ヘッドホン」に設定されている。「オーディオ出力」を「ラインアウト」に設定する（☞55ページ）。

次のページにつづく ⇩

操作/再生

症状	原因/ 処置
ボタン操作に反応しない。	→ HOLDになっている（誤操作防止状態）。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして、HOLDを解除する（☞33ページ）。
	→ 結露（本機を寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などに内部に水滴が付着）している。そのまま約2、3時間おく。
	→ 電池の残量が少ない。充電をする（☞15ページ）。
再生していたら急に音が止まった。	→ 電池が消耗している。充電をする（☞15ページ）。
	→ 本機で再生できない音楽データを、再生しようとしている（☞32ページ）。 を押して別の曲を選び、再生する。
	→ 長時間振動を与え続けた。振動をなくし、再度再生する。
表示窓のバックライトがつかない。	→「バックライト設定」が「常時消灯」に設定されている。「バックライト設定」を「10秒」、「30秒」のいずれかに設定する（☞55ページ）。
タイトル欄に「□」と表示される。	→ 本機で表示できない文字が使用されている。付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換える。
表示が消える。	→ 停止状態のまま、電池使用時に約30秒間操作がないと、自動的に表示が消える。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから、電池使用時は約30秒後に表示が消える。更に、■を押したままにすると表示が消える。いずれの場合も、操作ボタンを押すと再び表示される。

次のページにつづく ⇩

症状	原因/ 処置
インストールできない。	➔ 対応のOS以外のOSを使っている（☞18ページ）。 ➔ すべてのWindowsのプログラムを終了していない。他のプログラムが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがある。特にウィルスチェックソフトは負担が大きいため、必ず終了する。 ➔ ハードディスクの空き容量が足りない。ハードディスクの空き容量は200MB以上必要のため、不要なファイルなどを削除する。
インストール作業が止まっているように見える。	➔ 警告などのメッセージダイアログが、インストール画面の後ろに隠れている。「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押し、メッセージが表示されたら画面に従って操作する。メッセージが表示されないときは、インストール作業中のため、そのまま待つ。
画面上のバーが動いていない。または、CDドライブやハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない。	➔ インストール作業は正常に行われているため、そのまま待つ。お使いのパソコン、CDドライブによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合がある。
SonicStageが起動しない。	➔ WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更した。「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。

次のページにつづく ⇩

USB接続ケーブルでパソコンに接続しても、本機の表示窓に「PC 接続中」と表示されない。	→ SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合がある。しばらく待つ。 → パソコン上で他のアプリケーションが起動している。しばらくしてから、USB接続ケーブルを接続し直す。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動する。 → USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → USBハブを使用している。動作保証外のため、パソコンUSB端子に接続する。 → ソフトウェアのインストールに失敗している。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう1度ソフトウェアをインストールする（☞19ページ）。登録した音楽データは引き継がれる。 → 電池が消耗しきっている。ACパワーアダプターを接続して充電池を充電する。
パソコンに接続したとき、本機がパソコンに認識されない。	→ USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → USBハブを使用している。動作保証外のため、パソコンUSB端子に接続する。 → 本機用のドライバをインストールしていない。付属のCD-ROMを使って、もう1度SonicStageをパソコンにインストールすると、ドライバもインストールされる（☞19ページ）。 → ソフトウェアのインストールに失敗している。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう1度ソフトウェアをインストールする（☞19ページ）。登録した音楽データは引き継がれる。

次のページにつづく ⇩

転送できない。	➔ USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 ➔ 本体内の空き容量が不足している。聞かなくなった曲をパソコンに戻して（☞29ページ）、空き容量を増やす。 ➔ 本機に65,535曲を超える曲数、または8,187を超えるプレイリストを転送しようとしている。または1プレイリストにつき999曲を超える曲数を転送しようとしている。 ➔ 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できないことがある。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者に問い合わせる。 ➔ ソフトウェアのインストールに失敗している。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう1度ソフトウェアをインストールする（☞19ページ）。登録した音楽データは引き継がれる。
転送できる曲数が少ない。 （録音できる時間が短い。）	➔ 本体内の空き容量が不足している。聞かなくなった曲をパソコンに戻して（☞29ページ）、空き容量を増やす。 ➔ 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減る。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本体内の空き容量を増やす。
パソコンに戻せない。	➔ 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている。転送元のパソコン以外には、曲を戻せない。 ➔ 転送元のパソコンで曲を削除した。パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せない。

次のページにつづく ⇩

本機をパソコンに接続すると勝手に曲の転送回数が戻ることがある。	➔ SonicStageソフトウェアをインストールした他のパソコンで本機の曲を削除した場合、自分のパソコンに本機を接続すると、SonicStageは削除された曲を戻したものと自動的にみなし、残りの転送回数を元に戻す。
パソコン接続中の動作が安定しない。	➔ USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している。動作保証外のため、付属のUSB接続ケーブルのみで直接パソコンと接続する。
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される。	➔ パソコンと本機が正しく接続されていない。SonicStageを終了し、USB接続ケーブルでの接続を確認した後、再びSonicStageを起動する。

次のページにつづく ⇩

その他

症状	原因/ 処置
操作時の確認音が鳴らない。	➔「操作確認音」が「操作音オフ」に設定されている。「操作確認音」を「操作音オン」に設定する(☞55ページ)。
本体が温かくなる。	➔ 充電中または充電直後である。急速充電のため、充電中および充電直後は本体が一時的に温かくなることがある。また、大量の曲を転送した場合も、本体が一時的に温かくなることがある。しばらく放置する。
本体から「キーン」という音がする。または、本体が震えることがある。	➔ 本体内蔵ハードディスクの動作時の音または振動で、故障ではありません。

SonicStageのヘルプを見る

SonicStageのヘルプでは、SonicStageの使いかたについて詳しく説明しています。調べたいことがらを「音楽を取り込む」、「音楽を転送する」といった操作の目的から探したり、あらかじめ設定されている「キーワード」から探したりできます。
また、ヘルプ内の説明を思いついた単語で「検索」することもできます。

SonicStageを起動した状態で、「ヘルプ」から「SonicStageのヘルプ」をクリックする。
ヘルプが表示されます。
ヘルプでは、本機を「ATRAC Audio Device」として説明しています。



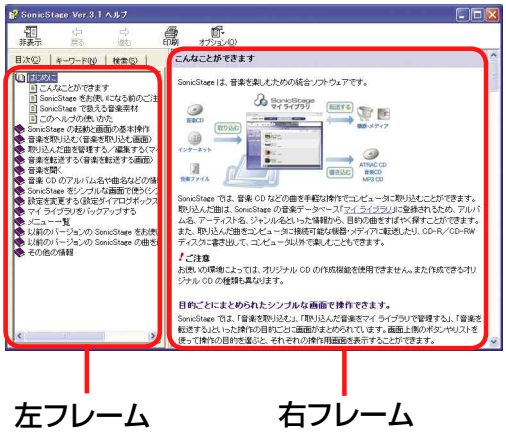
「SonicStageのヘルプ」

ご注意

- ヘルプでは、ネットワークウォークマンやMDウォークマンを総称して、「機器・メディア」と呼んでいます。
- 音楽配信サイトを利用するときは、プロバイダーが推奨する使用環境などの指示に従ってください。

次のページにつづく ⇩

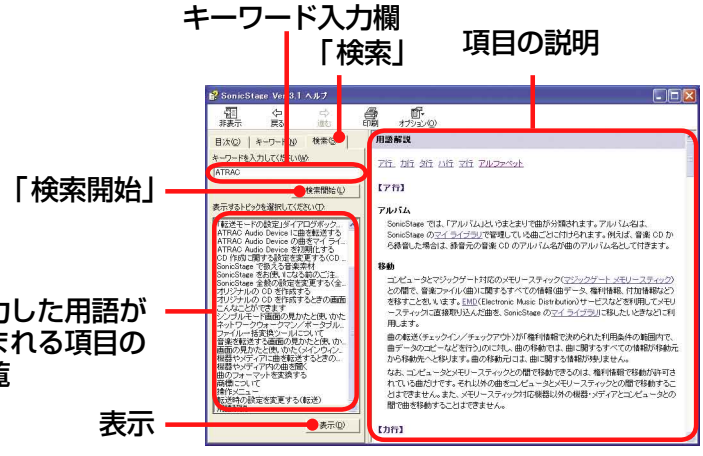
ヘルプの使いかたを見るには



1 左フレームの「はじめに」をダブルクリックする。

2 「このヘルプの使いかた」をクリックする。
右フレームに説明が表示されます。必要に応じてスクロールしてください。下線付きの用語をクリックすると、その用語の説明にジャンプします。

思いついた用語を入力して調べるには



1 「検索」をクリックする。

2 キーワード入力欄に調べたい用語を入力する。

3 「検索開始」をクリックする。
入力した用語が含まれる項目の一覧が表示されます。

4 表示された項目から、内容を見たい項目をクリックする。

5 「表示」をクリックする。選んだ項目の説明が表示されます。

メッセージ一覧

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてください。

表示	意味	処置
解除できません エラーです	エラーが発生したため、ブックマークが解除できない。	→ もう一度解除を行う。
グループ数制限を超えました	グループ（アルバムやアーティスト）の数が制限数（8,192）を超えた。	→ 一覧画面（曲一覧を除く）での合計項目数が8,192を超えている。不要な音楽データをSonicStageのマイライブラリに戻す（☞29ページ）。
キャンセルします	設定や操作を中止した。	—
更新できません 電池残量が足りません	ファームウェアー更新時に、電池残量が充分でなかった。	→ 充電池を充分に充電してから更新を行ってください。
再生中のブックマークは編集できません	再生または一時停止中のブックマークの編集をしようとした。	→ 再生または一時停止中のブックマークの編集はできません。
再生できません 再生可能期間外です	● 再生期限開始前に再生しようとした。 ● 再生期限が切れた後に再生しようとした。	→ 再生期限外の曲は再生できない。
再生できません トラックエラーです	音楽データが壊れている。	→ 本機に音楽データを転送し直す（☞26ページ）。
再生できません PC に接続して下さい	本機の時刻設定が無効になっている。	→ パソコンに接続する（☞26ページ）。
再生を停止しないと操作できません	再生中に「各種設定」の「システム初期化」を選んだ。	→ 再生を停止してから、「システム初期化」を選び直す。

次のページにつづく ⇩

システムエラーです <No.***> (***には番号が表示されます。)	システムエラーが発生した。	→ エラー番号をメモして、お客様ご相談センター（☞89ページ）またはお買い上げ店に相談する。
システムファイルに不整合があります	システムファイルに不整合がある。	→ ハードディスクを初期化し（☞65ページ）、本機に音楽データを転送しなおす（☞26ページ）。
全てのブックマークに登録済みです	ブックマーク1～5の全てに登録されている曲を、再びいずれかのブックマークに登録しようとした。	→ブックマークは1曲につき、ブックマーク1～5に1回のみ登録できます。
停止中は操作できません	停止中にブックマークを設定しようとした。	→ 再生中に設定する（☞42ページ）。
データベースがありません	パソコン接続終了時に本機に曲や必要な情報がない。	→ 再度パソコンに接続し、はずす。 → 本機に音楽データを転送する（☞26ページ）。
データベースの作成に失敗しました	本機でのデータベースの更新に失敗した。	→ しばらくしてから操作する。データベースの再構築が行われます。
電池が入っていません	● 充電池が本機に入っていない状態で、ACパワーアダプターを接続し、操作を行った。 ● 本機をパソコンに接続中に充電池を取り出した。	→ ACパワーアダプターを接続するときは、必ず充電池を本機に入れてください。
電池残量がありません	電池残量がない。	→ 充電池を充電する（☞15ページ）。
登録制限数を超えています	ブックマークの登録制限数を超えた。	→ 不要なブックマークを消し（☞42ページ）制限数以内でブックマークをつける。

次のページにつづく ⇩

登録できません エラーです	エラーが発生したため、ブックマークが登録できない。	→ もう一度登録を行う。
トラックがありません	曲一覧で曲が表示されていない状態で、再生しようとした。	→ 曲が表示されている曲一覧で再生する。 → 本機に音楽データを転送する（☞26ページ）
ブックマーク再生中に解除して下さい	ブックマーク再生中以外に、ブックマークを解除しようとした。	→ブックマークは、再生中の曲が登録されているブックマーク１～５を、プレイリスト一覧から選び、再生しているときのみ解除できます。
本機では再生できないトラックです	● 本機で再生が許可されていない曲を再生しようとした。 ● 回数制限付きの曲を再生しようとした。	→ 本機で再生が許可されていない曲は再生できない。
ラインアウト設定のため変更できません	「オーディオ出力」の設定が「ラインアウト」のときに、音量または「サウンド」の設定を変更しようとした。	→「オーディオ出力」の設定を「ヘッドホン」にする（☞55ページ）。
AC パワーアダプターをつないで下さい	ACパワーアダプターを接続せずに、ファームウェアを更新しようとした。	→ ACパワーアダプターを接続する（☞15ページ）。
AVLS ON 音量を上げられません	音量がAVLSの制限値まで上がった。	→「AVLS」の設定を「AVLSオフ」にする（☞55ページ）。
HDD が正しく初期化されていません	● ハードディスクが正しく初期化されていない。 ● パソコンで初期化されている。 ● ハードディスク交換などで初期化していない。	→ ハードディスクを初期化しなおす（☞65ページ）。

次のページにつづく ⇩

HDD は 5℃～35℃で書き込み可能です	書き込み可能温度（5 ～ 35℃）の範囲外で操作しようとした。	➔ 5 ～ 35℃の範囲内で操作する。
HOLD 中です	HOLDスイッチがONになっているため、本機の操作ができない。	➔ HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして、HOLDを解除する（☞33ページ）。
5℃～ 35℃内で充電して下さい	充電可能温度（5 ～ 35℃）の範囲外で充電しようとした。	➔ 5 ～ 35℃の範囲内で充電する。

お手入れ

キャビネットの汚れは

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、乾ぶきします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾ぶきしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルハードディスクオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後６年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

記録できる最大曲数* の目安

NW-HD5:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5,000曲（132kbps）	2,500曲（256kbps）	5,000曲（128kbps）
6,000曲（105kbps）	10,000曲（64kbps）	10,000曲（64kbps）
10,000曲（66kbps）	13,000曲（48kbps）	

NW-HD5H:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
7,500曲（132kbps）	3,500曲（256kbps）	7,500曲（128kbps）
9,000曲（105kbps）	15,000曲（64kbps）	15,000曲（64kbps）
15,000曲（66kbps）	20,000曲（48kbps）	

* 1曲4分の曲を転送した場合

サンプリング周波数

44.1 kHz（Atrac3plus）
32/44.1/48 kHz（MP3）

再生信号圧縮方式

アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3plus（ATRAC3plus）
MPEG-1 Audio Layer-3（MP3）

次のページにつづく ⇩

周波数特性 *

20 Hz ～ 20,000 Hz（再生時、単信号測定）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

出力端子

🎧（ヘッドホン）/LINE OUT* :

ステレオミニジャック/180 mV（10k Ω）

* ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャックです。

動作温度

5 ～ 35℃

電源

充電式リチウムイオン電池 :

LIP-880PD、3.7 V、880 mAh、Li-ion 1個

ACパワーアダプター : DC IN 6V

電池持続時間（連続再生時）

ATRAC3plus形式（48kbps）: 約40時間

MP3形式（128kbps）: 約30時間

本体寸法（幅×高さ×奥行き）

約59.9 × 88.7 × 14.2 mm

（最大突起部を含まず）

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）

約59.9 × 89.3 × 14.5 mm

質量

本体 : 約135 g（JEITA*）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

索引

あ行

アイテムシャッフル　49
頭出し　33
新しい曲　38
アリーナ　54
アルバムシャッフル　49
アンインストール　67
移動（ブックマーク）　42
イニシャルサーチ　38
オーディオ出力　55
音楽データを取り込む　21
音量　14

か行

解除（ブックマーク）　44
画面反転表示　55
画面表示向き　56
キャリングケース　13
曲の詳細情報　25
曲の転送　26
曲を管理する　24
クラブ　54
検索　35
検索（SonicStage）　77
検索モード　37
工場出荷時設定　63
高速スクロール　36
コントラスト調整　55
フォルダ構造（検索画面）　37

さ行

再生期限付きの曲　78
再生方法（プレイモード）　47
サウンド設定　54
ジャズ　54
充電時間　15
充電池（取り出す）　16
初期化　65
スタジオ　54
全曲シャッフル　49
操作確認音　55

た行

縦　56
通常再生　49
停止　14, 33
デジタルサウンドプリセット　54, 58
電池残量　17
電池の使用可能時間　17
トラックシャッフル　49

な行

日本語　56
ネガティブ　55

次のページにつづく ⇩

は行

ハードディスク初期化　56
バックライト設定　55
早送り　33
早戻し　33
左　56
ビットレート　23
表示言語　56
表示窓　14
ファームウェア更新　56
フォーマット　23
ブックマーク　41
ブックマークアイコン　46
ブックマークトラック再生　41
ブックマーク編集　41
プレイモード項目一覧　49
プレイリスト（SonicStage）　24
プレイリスト編集　24
プレイリスト（本機）　40
ヘッドホン　13, 14
ヘビー　54
ポジティブ　55
ポップス　54

ま行

マイライブラリ　24
右　56

や行

ユニーク　54
ユニット　50
ユニット再生　49
ユニットシャッフル　51
ユニット内トラックシャッフル　51

ら行

ライブ　54
ラインアウト　55
リピート　51

A、B、C、D

ACパワーアダプター　13
ATRAC3/ATRAC3plus　23, 32
AVLS（快適音量）　55
CD情報　23
CD-ROM　13
Deutsch　56

E、F、G、H

English　56
Español　56
Français　56
Gセンサー　56
HOLD機能　33
HOLDスイッチ（誤操作防止）　14

次のページにつづく ⇩

I、J、K、L

Italiano　56

M、N、O、P

MP3　32

Q、R、S、T

SonicStage　18

U、V、W、X、Y、Z

USB接続ケーブル　13
VOL+/VOL−　32
VPTアコースティックエンジン　54
Windowsのエクスプローラ　62

記号

1（1曲再生）　49
（アーティスト）　37
SHUF（アイテムシャフル）　49
（新しい曲）　38
（アルバム）　37
（イニシャルサーチ）　38
（ジャンル）　37
（電池残量）　17
（トラック）　37
SHUF（トラックシャッフル）　49
（プレイリスト）（本機）　40
SHUF（ユニットシャッフル）　51
SHUF（ユニット内トラックシャッフル）　51
（リピート）　51

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.co.jp/support-pa/）
  ネットワークウォークマンに関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］－［ウォークマン］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    - ◆ セット本体に関するご質問時：
      - 型名：NW-HD5/NW-HD5H
      - 製造（シリアル）番号：本体底面のラベルに記載
      - ご相談内容：できるだけ詳しく
      - お買い上げ年月日
    - ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
      質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境（「必要な環境を準備する」☞18ページ）を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● **ナビダイヤル** ····· 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● **携帯電話・PHSでのご利用は**···03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● **FAX** ····· 0466-31-2595
受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

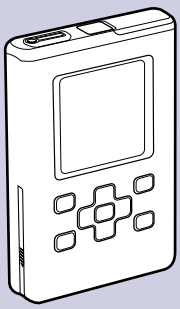
ソニー株式会社 〒141-0001 **東京都品川区北品川 6-7-35**

SONY

Portable Hard Disk Audio Player

Network Walkman

Operating Instructions



WALKMAN

Atrac3plus

MP3

NW-HD5/NW-HD5H

"WALKMAN" is a registered trademark of Sony Corporation to represent Headphone Stereo products. WALKMAN is a trademark of Sony Corporation.

© 2005 Sony Corporation

Table of Contents

Index

▶ Getting Started 11

▶ Transferring Audio Data to the Player 19

▶ Playing Back Music 29

▶ Other Functions 51

▶ Troubleshooting 65

▶ Additional information 79

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the bottom of the player. Record the serial number in the space provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.
Model No. NW-HD5
Serial No. _____

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

Do not install the appliance in a confined space, such as a bookcase or built-in cabinet.

To prevent fire, do not cover the ventilation of the apparatus with newspapers, table cloths, curtains, etc. And don't place lighted candles on the apparatus.

To prevent fire or shock hazard, do not place objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.

For the customers in the USA

INFORMATION:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.

Continued ⇩

– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

If you have any questions about this product:

Visit: www.sony.com/walkmansupport

Contact:
Sony Customer Information Service Center at 1-(866)-456-7669

Write:
Sony Customer Information Services Center
12451 Gateway Blvd.,
Fort Myers, FL 33913

Model NW-HD5 only

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model No.:	NW-HD5
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16450 W. Bernardo Dr, San Diego, CA 92127 USA
Telephone Number:	858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Continued ⇩

For the customers in the USA and Canada

RECYCLING LITHIUM-ION BATTERIES

Lithium-ion batteries are recyclable.
You can help preserve our environment by returning your used rechargeable batteries to the collection and recycling location nearest you.

For more information regarding recycling of rechargeable batteries, call toll free 1-800-822-8837, or visit **http://www.rbrc.org/**.

Caution: Do not handle damaged or leaking Lithium-ion batteries.

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.
Applicable accessories: Headphones

For the customers in Russia

Для покупателей в России

Этот знак относится только к адаптеру переменного тока.

Портативный плеер со встроенным жёстким диском

Произведено в Малайзии

Изготовитель: Сони Корпорейшн
Адрес: 6-7-35 Киташинагава, Шинагава-ку,
Токио 141-0001, Япония

Table of Contents

Table of Contents 5
Notice for Users 7
Precautions 9
On safety 9
On installation 9
On heat build-up 9
On the headphones 9
On cleaning 10

Getting Started

Checking the Supplied Accessories 11
Guide to Parts and Controls 12
Preparing a Power Source 13
Checking the remaining power of the battery 15
Installing SonicStage on Your Computer 16
Preparing the required system 16
Installing SonicStage 17

Transferring Audio Data to the Player

Importing Audio Data to Your Computer 19
Managing Tracks Using SonicStage 22
Editing a playlist 22
Transferring Audio Data to the Player 24
Transferring Audio Data Back to Your Computer 27

Playing Back Music

Playing Back 29
Locking the controls (HOLD) 31
Basic playback operations (Play, stop, search) 31
Checking information in the display 32
Selecting Tracks to Playback (Artist, Album, Genre, etc.) 33
On folder structure of the Find display 35

Continued ⇩

Selecting tracks from "New Tracks" 36
Selecting a track by the first letter of the track (Initials Search) 36
Selecting tracks from "Playlist" 38
Editing Bookmarks on the Player 39
Registering a track in a Bookmark (Bookmark track play) 39
Rearranging the track order in a Bookmark 40
Clearing bookmarked tracks 42
Changing a bookmark icon 44
Changing Playback Options (Play Mode) 45
Playback options (Play Mode) 47
Playing back tracks in a selected search category (Unit play) 47
Playing tracks repeatedly (Repeat play) 49

Other Functions

Changing Sound Quality and Settings 51
Setup items for sound quality and displays 52
Customizing sound quality (6-Band Equalizer – Custom) 55
Adjusting treble and bass emphasis (Digital Sound Preset) 56
Connecting Other Devices 58
Storing Data Other Than Audio Files 59
Resetting to the Factory Settings 60
Initializing Hard Disk 62
Uninstalling SonicStage 64

Troubleshooting

Troubleshooting 65
Using SonicStage Help 73
Error Messages 75

Additional Information

Specifications 79
Index 81

Notice for Users

On the supplied software

- Copyright laws prohibit reproducing the software or the manual accompanying it in whole or in part, or renting the software without the permission of the copyright holder.
- In no event will SONY be liable for any financial damage, or loss of profits, including claims made by third parties, arising out of the use of the software supplied with this player.
- In the event a problem occurs with this software as a result of defective manufacturing, SONY will replace it. However, SONY bears no other responsibility.
- The software provided with this player cannot be used with equipment other than that which is so designated.
- Please note that, due to continued efforts to improve quality, the software specifications may be changed without notice.
- Operation of this player with software other than that provided is not covered by the warranty.
- The ability to display the languages on your SonicStage will depend on the installed OS on your PC. For better results, please ensure that the installed OS is compatible with the desired language you want to display.
  - We do not guarantee all the languages will be able to be displayed properly on your SonicStage.
  - User-created characters and some special characters may not be displayed.
- Depending on the type of the text and characters, the text shown on SonicStage may not be displayed properly on device. This is due to:
  - The capability of the connected player.
  - The player is not functioning normally.
- The explanations in this manual assume that you are familiar with the basic operations of Windows.

  For details on the use of your computer and operating system, please refer to the respective manuals.

Program ©2001, 2002, 2003, 2004, 2005 Sony Corporation
Documentation ©2005 Sony Corporation

Continued ⇩

- SonicStage and SonicStage logo are trademarks or registered trademarks of Sony Corporation.
- OpenMG, ATRAC, ATRAC3, ATRAC3plus and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- Microsoft, Windows, Windows NT and Windows Media are trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- IBM and PC/AT are registered trademarks of International Business Machines Corporation.
- Macintosh is a trademark of Apple Computer, Inc. in the United States and/or other countries.
- Pentium is a trademark or a registered trademark of Intel Corporation.
- Adobe and Adobe Reader are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- US and foreign patents licensed from Dolby Laboratories.
- MPEG Layer-3 audio coding technology and patents licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- All other trademarks and registered trademarks are trademarks or registered trademarks of their respective holders.
- In this manual, ™ and ® marks are not specified.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.

  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. Untied States Patent 6,304,523.

  Gracenote is a registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.

Thank you for purchasing this Sony product.
The Network Walkman is pre-installed with sample audio data so that you can try it out right away. The pre-installed sample audio data is for the purpose of trial listening only, therefore, you cannot transfer it to you computer. To delete this audio data, delete it using SonicStage3.1. Depending on your region, sample audio data may not be pre-installed in the player.

Precautions

On safety

- Do not put any foreign objects in the DC IN jack of the player.
- Be sure not to short-circuit the terminals of the player with other metallic objects.

On installation

- Never use the player where it will be subjected to extremes of light, temperature, moisture or vibration.
- Never wrap the player in anything when it is being used with the AC power adaptor. Heat build-up in the player may cause malfunction or damage.

On heat build-up

Heat may build up in the player while charging if it is used for an extended period of time.

On the headphones

Road safety

Do not use headphones while driving, cycling, or operating any motorized vehicle. It may create a traffic hazard and is illegal in many areas. It can also be potentially dangerous to play at a high volume while walking, especially at pedestrian crossings. You should exercise extreme caution or discontinue use in potentially hazardous situations.

Preventing hearing damage

Avoid using the headphones at a high volume. Hearing experts advise against continuous, loud and extended play. If you experience a ringing in your ears, reduce the volume or discontinue use.

Caring for others

Keep the volume at a moderate level. This will allow you to hear outside sounds and to be considerate to the people around you.

Warning

If there is lightning when you are using the player, take off the headphones immediately.

Continued ⇩

On cleaning

- Clean the player casing with a soft cloth slightly moistened with water or a mild detergent solution.
- Clean the headphone plug periodically.

Notes

- Do not use any type of abrasive pad, scouring powder or solvent such as alcohol or benzene as it may mar the finish of the casing.
- Be careful not to let water into the player from the opening near the connector.

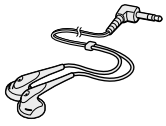
If you have any questions or problems concerning the player, consult your nearest Sony dealer.

NOTES

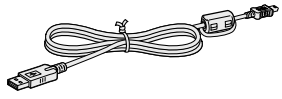
- The recorded music is limited to private use only. Use of the music beyond this limit requires permission of the copyright holders.
- Sony is not responsible for incomplete recording/downloading or damaged data due to problems of the player or computer.

Checking the Supplied Accessories

- Headphones (1)



- Dedicated USB cable (1)



- AC power adaptor (1)
- Carrying case (1)
- CD-ROM (1)*
  (SonicStage software, PDF of Operating Instructions)
- Quick Start Guide (1)

* Do not play this CD-ROM on an audio CD player.
(The rechargeable battery has been installed in the player beforehand).

For customers in the US

The AC power adaptor supplied with this unit is not intended to be serviced. Should the AC power adaptor cease to function in its intended manner during the warranty period, the adaptor should be returned to your nearest Sony Service Center or Sony Authorized Repair Center for replacement, or if a problem occurs after the warranty period has expired, the adaptor should be discarded.

Notes

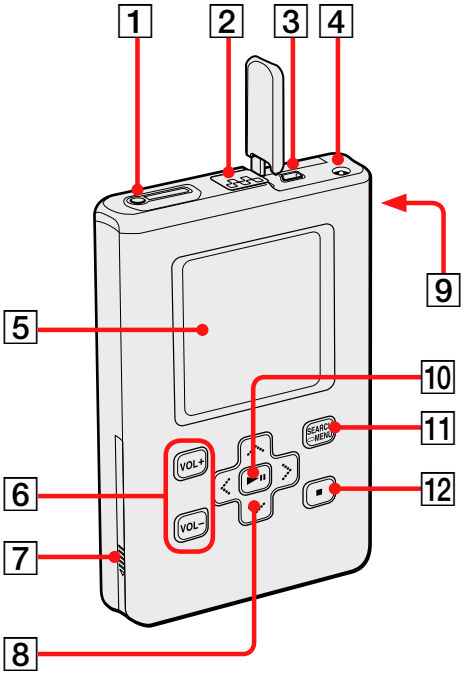
When using this unit, remember to follow the precautions below in order to avoid warping the cabinet or causing the unit to malfunction.

– Make sure not to sit down with the unit in your back pocket.



– Make sure not to put the unit into a bag with the headphones/earphones cord wrapped around it and then subject the bag to strong impact.

Guide to Parts and Controls



1 ∩ (headphones)/LINE OUT jack (☞ page 29)
2 HOLD switch (☞ page 31)
3 USB connector (☞ page 24)
4 DC IN jack (☞ page 13, 24)
5 Player display (☞ page 32)
6 VOL +*/VOL – (volume) buttons (☞ page 30)
7 Battery compartment lid (☞ page 14)
8 ⏮/⏭/ ◀ / ▶ buttons (☞ page 29)
9 Hole for hand strap**
10 ▶II (play/pause) button (☞ page 31)
11 SEARCH/MENU button (☞ page 33)
12 ■ (stop) button (☞ page 31)

* Use the tactile dot as a reference when operating the player.
** You can attach your own hand strap.

About the serial number

The serial number provided for this player is required for the customer registration. The number is on a label on the bottom of the player. Do not remove the label.

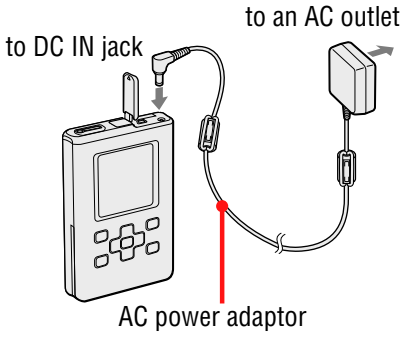
Preparing a Power Source

Charge the rechargeable lithium-ion battery before using it for the first time or when it is depleted.

Connect the AC power adaptor to the DC IN jack.

Connect the AC power adaptor first, then connect it to an AC outlet.

The battery indicator in the display changes to “Charging,” and charging of the battery starts.
Charging is completed in approximately 3 hours*, and then “Charged” and ⚡ light up.
The battery will be charged about 80 % in approximately 1.5 hour*.



* This is the approximate charging time for an empty battery charged under room temperature. The charging time will differ depending on the remaining power and battery condition. If the battery is charged in a low-temperature environment, the charging time will be longer.

Charging the battery using a USB connection

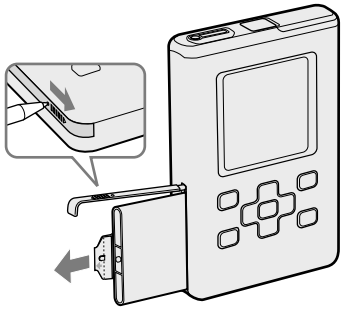
Turn on your computer and connect the USB cable to your computer (☞ page 24). The battery indicator changes in the display and charging of the battery starts. It takes approximately 6 hours* to charge. When the player is connected to the AC power adaptor, the power is supplied from the AC power adaptor. However, the charging time gets longer.
If the computer enters the system suspend, sleep, or hibernation mode when the player is connected to the computer via the USB cable, without an AC power adaptor, the battery discharges without being charged.

* When the battery wears down, the charging time gets longer.
The battery charging indication appears on the screen only when you operate the player while charging. If the battery charging indication does not appear, charge the battery using the AC power adaptor.

Continued ⇩

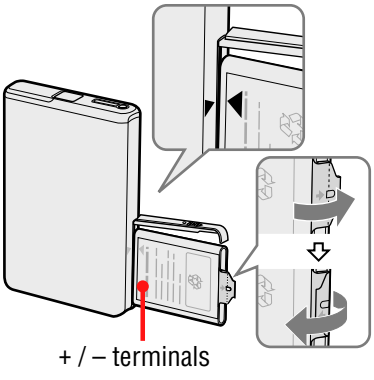
To remove the battery

Insert a thin, pointed tool, such as the point of a mechanical pencil, into the hole of the battery compartment lid and slide the lid in the direction of the "▷" mark to open it. Then pull the label on the battery out in the direction of the arrow to remove the battery. The power does not turns on if you remove the battery from the player even when the player is connected to an AC power adaptor.



To insert the battery

Open the battery compartment lid, and then insert the battery by matching the "▶" mark on the side of the player to the one on the battery. After folding the label into the battery compartment lid, close the lid.



Notes

- When charging the battery using a USB connection, if your computer's power supply is insufficient, the charging time will be longer.
- When charging the battery using a USB connection, the charging will stop depending on your system environment.
- If the player is connected to the computer for a long time while charging, charging may stop to prevent the temperature of the player from increasing too much. Remove the USB cable from the player and start charging again after a while.
- If the player will not be used for three months or more, remove the battery from the player.
- Charge the battery in an ambient temperature of between 5 to 35ºC (41 to 95ºF).

Continued ⇩

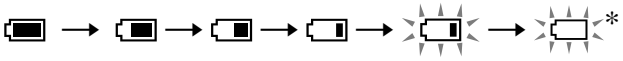
Notes on the AC power adaptor



- Use only the AC power adaptor supplied with the player. Do not use any other AC power adaptor since this may cause the player to malfunction.
- The player is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the player itself has been turned off.
- If you are not going to use the player for a long time, be sure to disconnect the power supply. To remove the AC power adaptor from the wall outlet, grasp the adaptor plug itself; never pull the cord.

Checking the remaining power of the battery

The remaining power of the battery is indicated in the display. As the black indicator section decreases, the remaining power is depleted further.



* “LOW BATTERY” appears in the display and beep sounds.

When the battery is depleted, recharge the battery.

Notes

- The display shows the approximate battery power remaining. For example, one section does not always indicate one-fourth of the battery power.
- Depending on the operating conditions and environment, the display may increase or decrease relative to the actual power remaining.
- The player turns off if you remove the battery, even when the player is connected to the AC power adaptor.

Battery life (continuous use)

Playing time for ATRAC3plus 48 kbps is approximately 40 hours. Playing time for MP3 128 kbps is approximately 30 hours.
The amount varies depending on how the player is used.

Installing SonicStage on Your Computer

Using the supplied CD-ROM, install the SonicStage on your computer.

Preparing the required system

The following system environment is required.

Computer	IBM PC/AT or Compatible
	• CPU: Pentium III 450 MHz or higher • Hard disk drive space: 200 MB or more (1.5 GB or more is recommended.) (The amount of space will vary according to the Windows version and the number of music files stored on the hard disk.) • RAM: 128 MB or more
	Others • CD drive (capable of digital playback by WDM) (CD-R/RW drive is necessary for CD writing.) • Sound Board • USB port
Operating System	Factory installed: Windows XP Media Center Edition 2005/ Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/ Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/ Windows 2000 Professional (Service Pack 3 or later)/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition
Display	High Color (16 bit) or higher, 800 × 600 dots or better (1024 × 768 dots or better is recommended.)
Others	• Internet access: for Web registration, EMD services and CDDB • Windows Media Player (version 7.0 or higher) installed for playing WMA files

Continued ⇩

Notes

- SonicStage is not supported by the following environments:
  - OSs other than the indicated on page 16.
  - Personally constructed PCs or operating systems
  - An environment that is an upgrade of the original manufacturer-installed operating system
  - Multi-boot environment
  - Multi-monitor environment
  - Macintosh
- We do not guarantee trouble-free operation on all computers that satisfy the system requirement.
- The NTFS format of Windows XP/Windows 2000 Professional can be used only with the standard (factory) settings.
- We do not guarantee trouble-free operation of the system suspend, sleep, or hibernation function on the computers.

Installing SonicStage

Read the following before installing the SonicStage software.

- Make sure to close all other software, including any virus-check software.
- Make sure to use the supplied CD-ROM for installing SonicStage.
  - If OpenMG Jukebox or SonicStage has been installed, the existing software will be overwritten by the new version with the new functions.
  - If SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner, or MD Simple Burner has been installed, the existing software will co-exist with SonicStage.
  - You will still be able to use audio data registered by the existing software. As a precaution, we recommend that you back up your audio data. To back up the data, refer to “Backing Up My Library” on SonicStage Help. The method for managing music data differs in part from conventional methods. For details, refer to “For Users of Earlier Versions of SonicStage” in SonicStage Help.
- If the player is connected to a computer via the dedicated USB cable, disconnect the USB cable from the player, and then install the supplied CD-ROM on the computer.

Continued ⇩

1 Close all other running software.

Check the following to see whether or not there are any applicable items before installing the SonicStage software as they may cause the software installation to fail.

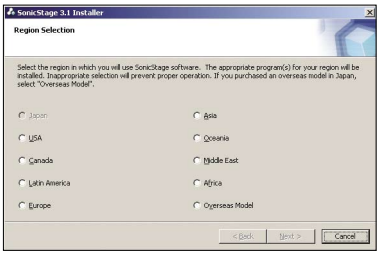
- You are not logged on as an “Administrator” (when using Windows 2000/Windows XP).
- Virus-check software is running. (Such software usually demands a large amount of system resources.)

2 Insert the supplied CD-ROM into the CD drive of your computer.

The setup program starts up automatically and the installation window appears.

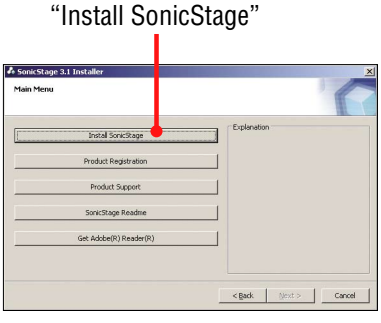
3 When the window on the right appears, click the region in which you will use SonicStage software.

If no window appears, proceed to step 4.



4 Click “Install SonicStage,” and then follow the displayed instructions.

Read the instructions carefully. Depending on your region, the buttons other than “Install SonicStage” may differ from those in the illustration on the right.

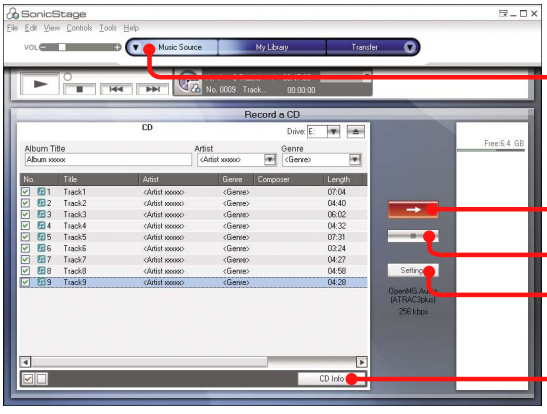


The installation may take 20 to 30 minutes, depending on your system environment. Make sure to restart your computer only after the installation is completed.

If any trouble occurs during the installation, see “Troubleshooting” (☞ page 68).

Importing Audio Data to Your Computer

Record and store tracks (audio data) from an audio CD to the SonicStage "My Library" on the hard disk drive of your computer.
If you want to obtain CD information (artist name, track titles, etc.) automatically, connect your computer to the Internet beforehand.
You can record or import tracks from other sources such as the Internet and your computer's hard disk (MP3 files).
Refer to SonicStage Help for details (☞ page 73).



1 Double-click (SonicStage) on the desktop. Alternatively, select "Start" – "All Programs"* – "SonicStage" – "SonicStage."

SonicStage starts up.
If you use the earlier version of SonicStage, the "SonicStage file conversion tool"** window appears when you start up SonicStage for the first time after installing it. Follow the instructions in the window.

* "Programs" in the case of Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition

** This tool converts the audio files that were imported to your computer with SonicStage2.0 or a prior version into the optimum data format (OpenMG) for this player, in order to transfer audio data to the player at high speed.



Continued ⇩

2 Insert the audio CD that you want to record into the CD drive of your computer.

3 Point to ▼ of "▼ Music Source," and select "Import a CD" from the menu.

The contents of the audio CD appear in the music source list.
If the CD information (☞ page 21), such as album name, artist's name, and track titles could not be obtained automatically, connect your computer to the Internet and click "CD Info" on the right side of the window to obtain it from CDDB.

4 Click →.

The recording of the selected tracks starts.
If you do not want to record some tracks, click the track number to uncheck ☑ on the SonicStage window before you click →.

To change the format and bit rate (☞ page 21) for audio CD recording

Click "Settings" on the right side of the SonicStage window to display "CD Importing Format [My library]" dialog box before clicking → in step 4.
The default setting is OpenMG Audio (ATRAC3plus) for format and 64 kbps for bit rate.

To stop recording

Click ■ on the SonicStage window.

Note

Only audio CDs with a mark can be used with SonicStage. We do not guarantee normal operation in the case of the copy-controlled CDs.

Continued ⇩

What is CD information?

CD information refers to information about audio CDs, such as an album name, an artist's name, track titles, etc. Using SonicStage, you can obtain CD information for free from the Gracenote CDDB (Gracenote Compact Disc DataBase) service automatically via the Internet when you insert the audio CD into the CD drive of your computer.
Note that you cannot obtain CD information of CDs that are not registered with CDDB.

What is ATRAC3/ATRAC3plus?

ATRAC3 (Adaptive Transform Acoustic Coding3) is an audio compression technology that satisfies the demand for high sound quality and high compression rates. ATRAC3plus is a more advanced version of ATRAC3, and it can compress audio files to about 1/20 of their original size at 64 kbps.

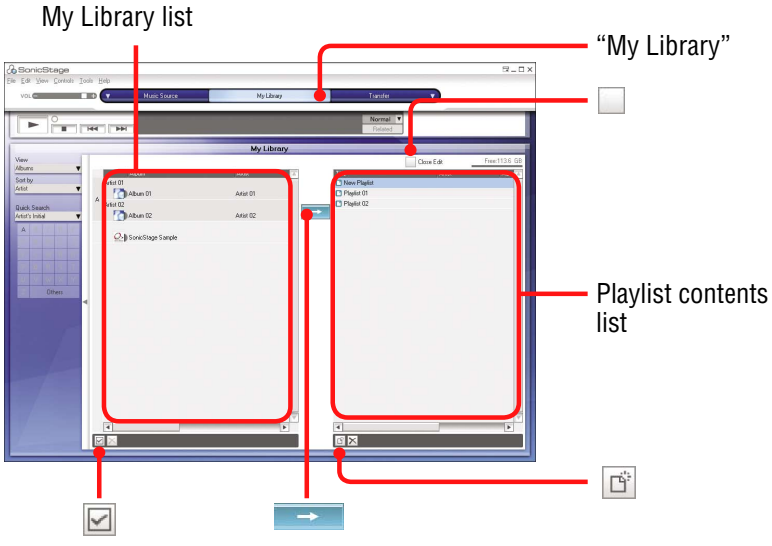
What is format and bit rate?

Format refers to the recording format, such as WAV or ATRAC3plus.
Bit rate refers to the amount of data processed per second. The larger bit rates provide, better sound quality. However, the larger bit rates require more capacity to store the data.
The default setting is OpenMG Audio (ATRAC3plus) for format and 64 kbps for bit rate.
To change the format and bit rate, click "Settings" on the right side of the SonicStage window.

Managing Tracks Using SonicStage

You can manage or edit tracks on the “My Library” screen in SonicStage. You can also group your favorite tracks or tracks by theme to create playlists, and manage them as an album.
Refer to SonicStage Help for details on SonicStage (☞ page 73).

My Library screen



Editing a playlist

A playlist enables you to group and play back your favourite tracks or tracks that are sorted by a certain theme, such as movie, etc.

1 Click “My Library.”
The screen switches to the My Library screen.

2 Click ☐ (Create/Edit Playlist).
The Main Window switches to the Create/Edit Playlist screen.

3 Select tracks from the contents list on the left.
To select multiple tracks, click the tracks while holding the “Ctrl” key down.
To select all the tracks in the contents list, click ☑ (Select All).

Continued ⇩

4 Select the playlist to add to from the list on the right.

To add the track to a new playlist, click (New playlist).
A new playlist is created and is displayed in the Playlist contents list.
You can now input a name for the playlist.

5 Click → .

The selected tracks are added to the Playlist contents list.

6 When you have finished adding all the desired tracks, click (Close Edit).

The screen returns to My Library screen.

To add a track using drag and drop

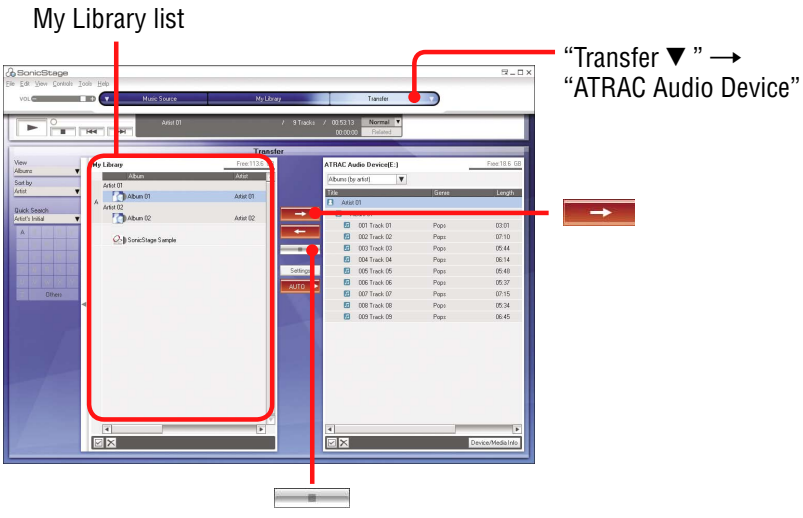
You can add a track by dragging it from the My Library list on the left to Playlist contents list on the right. In this case, the track is added to the list at the position where it was dropped.

To check the detailed information on albums or tracks

Right-click the album or the track you want to check for detailed information on the SonicStage window, then select “Properties” from the menu.
The “Album Properties” window or the “Track Properties” window appears. You can check and edit the information in the window. The contents you edit in the “Properties” window will be applied to the My Library screen.

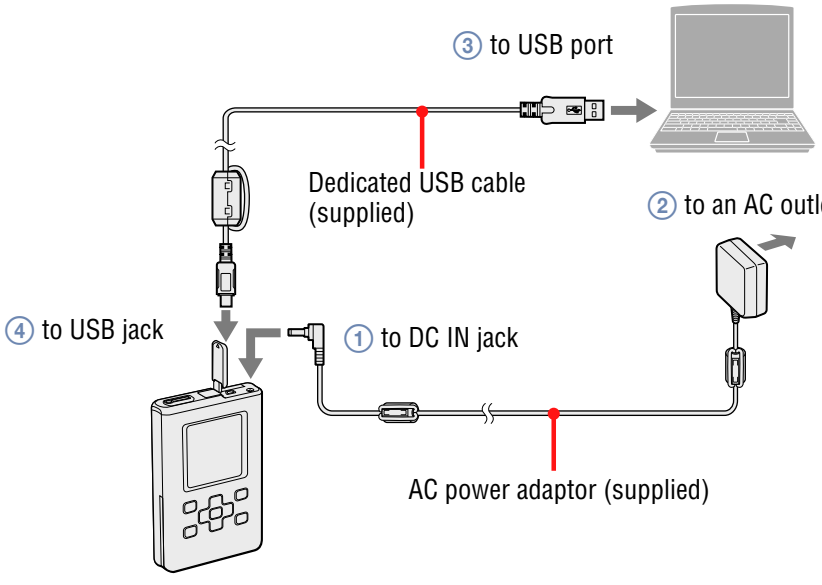
Transferring Audio Data to the Player

Transfer the tracks (audio data) stored in SonicStage “ My Library” on your computer to the player in ATRAC3plus/MP3 format.
The audio data to be transferred includes the information, such as an artist name and an album name in the CD information.



1 Connect the player to your computer and the AC power adaptor in the following order from ① to ④.

“Connecting to PC” appears in the display.
The setup display for automatic transfer appears in the SonicStage window. Follow the instructions in the window. For details, refer to the SonicStage Help (☞ page 73).



Continued ⇩

2 Point to ▼ of "Transfer ▼," and select "ATRAC Audio Device" from the list.

The screen is switched to the window on which tracks are transferred from SonicStage to the player.

3 Click the album you want to transfer from the My Library list on the left side of the SonicStage window.

When you want to transfer only selected tracks, click the tracks you want to transfer. To transfer multiple tracks or albums, click the tracks or albums while holding the "Ctrl" key down.

You can also transfer playlists to the player (up to 8,187 playlists and 999 tracks per playlist).

When you try to transfer a playlist that contains a track transferred to the player already, only the playlist data of that track is transferred.

4 Click →.

Transfer of the selected tracks or albums starts.

You can check the transferring status on the SonicStage window.

To stop transferring

Click ▬ on the SonicStage window.

Notes

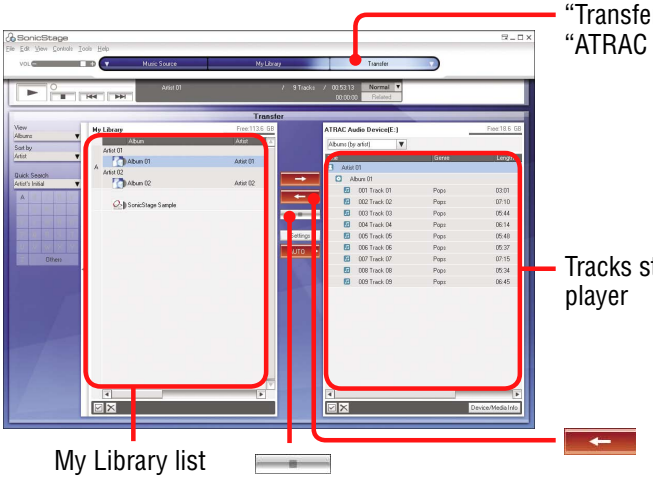
- Do not use the player where it will be subjected to vibration when transferring audio data. Also, do not place the player near magnetic objects.
- Do not disconnect the USB cable, or remove the battery from the player while the data is being transferred. If you do, the data being transferred may be destroyed.
- Use of the player with a USB hub or a USB extension cable is not guaranteed. Always connect the player to the computer directly using the supplied USB cable.
- Some USB devices connected to the computer may interfere with the proper operation of the player.
- The control buttons on the player are all disabled while it is connected to a computer. If you connect the player to the computer during playback, playback stops and "Connecting to PC" appears in the player display.

Continued ⇩

- When there is not enough free space on the player for audio data to be transferred, the transfer will fail.
- The number of transfers for a track may be limited for reasons of copyright.
- Tracks with a limited playing period or playing count may not be transferred due to restrictions set by copyright holders.
- During the transfer, the system suspend, sleep, or hibernation function will not operate.
- Depending on the type of the text and number of characters, the text entered by SonicStage may not be displayed on the player. This is due to the limitations of the player.
- If the player is connected for a while to a computer that is powered, or after lots of data is transferred to the player, the player may get warm. However, this is not a malfunction. Disconnect the AC power adaptor and the dedicated USB cable from the player and leave it aside for a while.
  If you keep the heated part of the player in contact with the same part of your body for a long period of time, even if the player is at a relatively low temperature, it may cause a low-temperature burn. Avoid keeping the player against your skin for a long time, especially if you have sensitive skin.
- When there is not enough space on the hard disk of the player, "NO DATABASE FOUND" may appear even if the transfer of audio data is completed properly. In this case, connect the player to your computer again, and then transfer back any unnecessary tracks to your computer to increase the free space.

Transferring Audio Data Back to Your Computer

Audio data can be transferred back to SonicStage “ My Library” on your computer.



1 Connect the player to your computer (see step 1 in “Transferring Audio Data to the Player,” ☞ page 24).

2 Point to ▼ of “Transfer ▼,” and then select “ATRAC Audio Device” from the list.

The screen is switched to the window on which tracks are transferred from the player to SonicStage.

3 Click the album you want to transfer to My Library list on right side of the SonicStage window.

When you want to transfer only selected tracks, click the tracks you want to transfer.

To transfer multiple tracks or albums, click the tracks or albums while holding the “Ctrl” key down.

4 Click ←.

Transfer of the selected album starts.

You can check the transferring status on the SonicStage window.

Continued ⇩

To stop transferring

Click  on the SonicStage window.

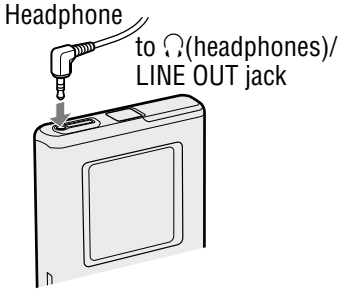
Notes

- Tracks transferred to the player from another computer cannot be transferred to My Library on your computer.
- Do not disconnect the USB cable, or remove the battery from the player while the data is being transferred. If you do, the data being transferred may be destroyed.

Playing Back

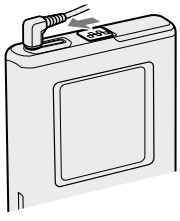
You can play back tracks transferred to the player using SonicStage (☞ page 19).
You can change the language to your own for the menu and the messages in the display (☞ page 54).

1 Connect headphones to the ∩ (headphones)/LINE OUT jack of the player.



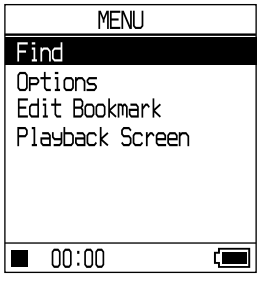
2 Slide the HOLD switch in the direction of the arrow show in the illustration to unlock the controls.

All the buttons are unlocked.



3 Press any button other than ►II on the player.

The MENU display appears.



4 Press ^/v to select "Find," and then press ►II.

The Find display appears.



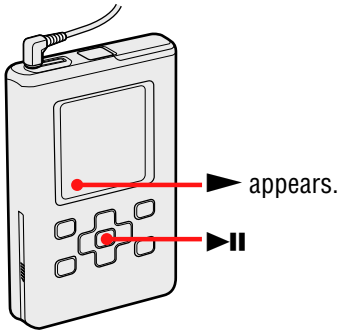
5 Press ^/v to select the search mode.

To search a track more, press >.

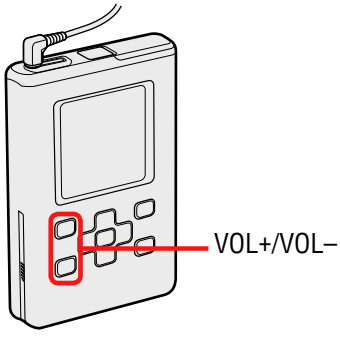
Continued ⇩

6 Press ►II.

► appears on the left bottom of the display and the player starts playback. Press ►II again to pause.



7 Press VOL+/VOL− to adjust the volume.



What type of audio data can I play back?

This player can play audio data compressed in the ATRAC3plus/MP3 formats.
Playable MP3 file formats are as follows:

– MPEG-1 Audio Layer-3
– Bit rate 32 to 320 kbps (CBR/VBR)
– Sampling frequencies 32/44.1/48 kHz

Notes

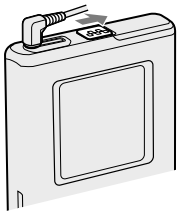
- MP3 format files that are not playable on the player can still be transferred to the player.
- When trying to play an MP3 audio track that cannot be played on this player, playback will stop. Press ⏭ to select other tracks.
- When using the rechargeable lithium-ion battery, if the player is not operated for about 30 seconds while in stop mode, the display automatically turns off. When scrolling track titles, etc., the display turns off about 30 seconds after scrolling is finished.
- If playback does not start, make sure that the HOLD switch is set to off (☞ 31).

Continued ⇩

Locking the controls (HOLD)

You can prevent accidental button presses while carrying the player by locking the controls. “HOLD” flashes on the display if you press any button when the HOLD function is activated.

Slide the HOLD switch in the direction of the arrow show in the illustration.



To unlock the controls

Slide the HOLD switch in the direction opposite to that of the arrow show in the illustration above.

Basic playback operations (Play, stop, search)

To	Operation
Play from a point where you stopped the player previously	Press ▶II. Playback starts from the point where you stopped.
Stop playback	Press ■.
Find the beginning of the current track	Press ⏮ once.
Find the beginning of previous tracks*	Press ⏮ repeatedly.
Find the beginning of the next track*	Press ⏭ once.
Find the beginning of succeeding tracks*	Press ⏭ repeatedly.
Go backwards quickly	Press and hold ⏮.
Go forward quickly	Press and hold ⏭.

* When Shuffle tracks play or Shuffle items play (☞ page 47) is selected, playback order is different.

To turn off the player

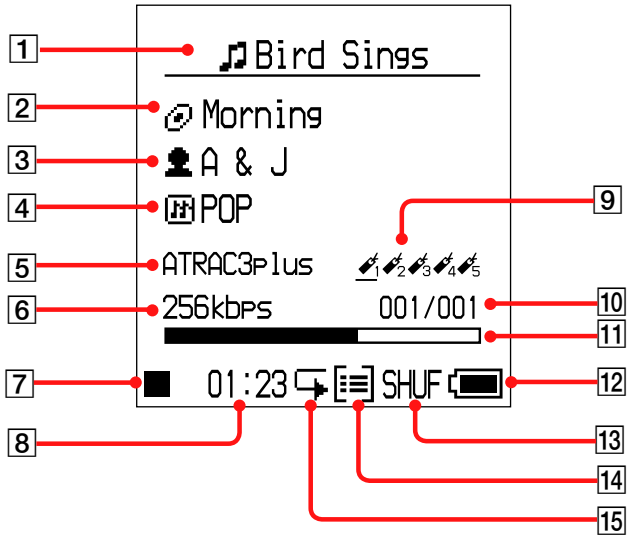
Press and hold ■ until the display disappears.
To turn on the player again, press any button.

Continued ⇩

Checking information in the display

You can check audio data and the playback status in the player display.

Player display during playback



1 Track title
2 Album name
3 Artist name
4 Genre
5 ATRAC3/ATRAC3plus/MP3 (☞ page 21)
6 Bit rate* (☞ page 21)
7 Playing status
►: Playback
■: Stop
►►: Fast forward
◄◄: Fast reverse
I◄◄/►►I: Locating the beginning of the track
8 Elapsed playing time
9 Bookmark (☞ page 39)
10 Track number
11 Playback progress bar
12 Remaining power of the battery (☞ page 15)
13 Play mode (☞ page 45), Sound indicator (when adjusting the volume, ☞ page 52)
14 Unit indicator (☞ page 48)
15 Repeat (☞ page 49)

* In the case of an MP3 track that supports VBR (Variable Bit Rate), the bit rate that appears here may not match the one displayed by the SonicStage software.

Note

The characters A to Z, a to z, 0 to 9, and symbols (except /) can be displayed.

Selecting Tracks to Playback
(Artist, Album, Genre, etc.)

By searching for tracks in the player by "Artist" or "Album," etc., you can select the tracks you want to listen to.
For details about the displays, see "On folder structure of the Find display" (☞ page 35).

1 Press SEARCH/MENU.
The Find display appears.



2 Press / to select a search mode.
If you press ▶II in any mode other than "Playlist" or "Initials Search" mode, playback starts.
For example, when you select "Artist," playback starts from the first track in the first album of the artist you selected.
All the albums of all the artists listed after the selected artist are played in the track number order.

3 To search for more tracks, press .

4 Press / to select an item to play back, and then press ▶II.
Playback starts from the track you selected or the first track of the item (artist, album, etc.) you selected. All the tracks listed after the selected items are played in the track number order

Continued ⇩

To return to the Find display

Press SEARCH/⬬MENU.

To return to the MENU display

Press and hold SEARCH/⬬MENU.
To return to the playback screen, select “Playback Screen” on the MENU display, and then press ▶II.

To return to the track list

Press ^/v.

To stop playback in the Find display

Press ■.

To scroll multiple items at once

Press ^ or v twice quickly on the Find display, and then press and hold it for a few seconds.
All the items listed in the display are scrolled up several items at a time.
When you press and hold ^ or v for a few seconds, items are scrolled up at faster than normal speed.

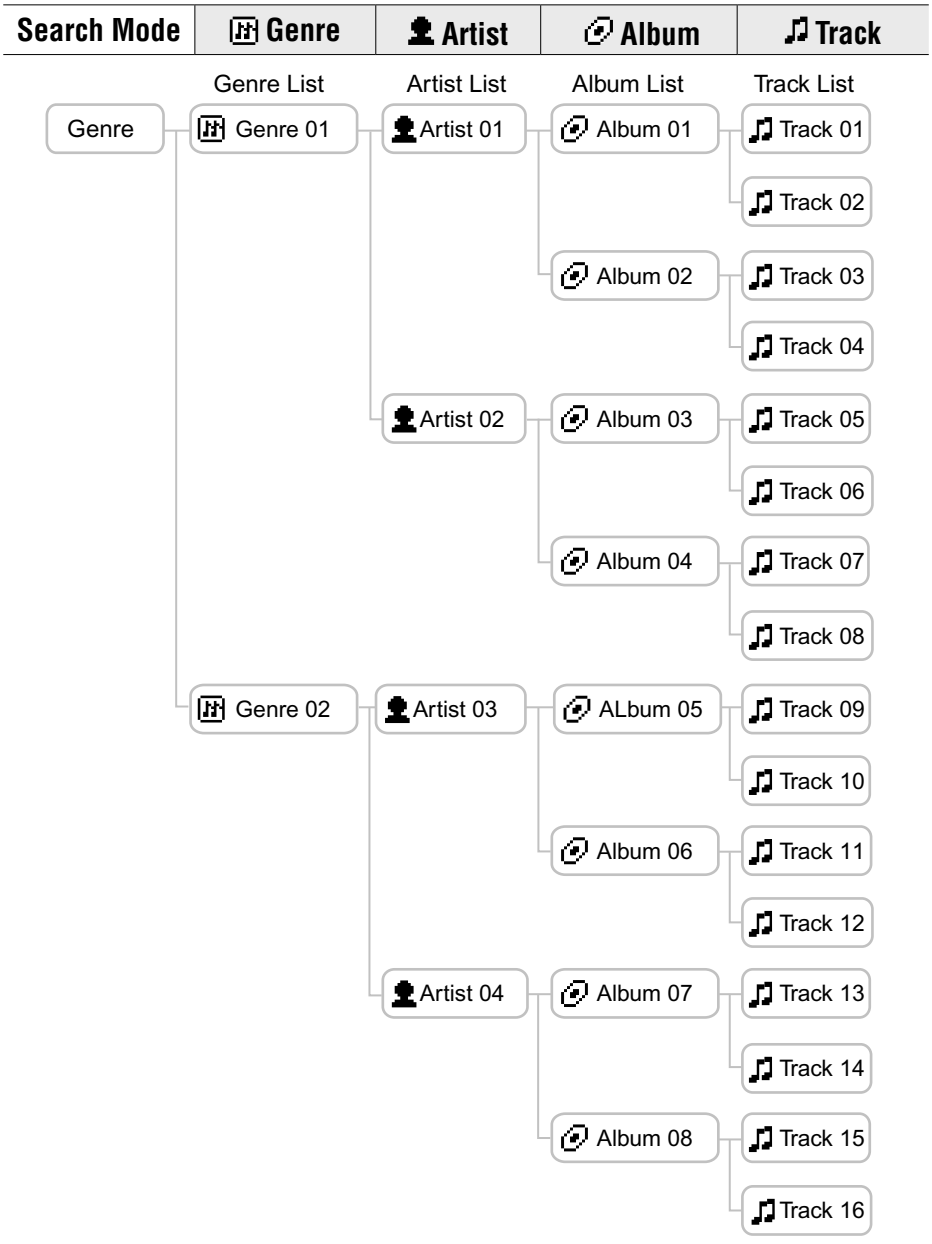
Continued ⇩

On folder structure of the Find display

There are the following search modes on the Find display, – “Artist,”– “Album,”–“Track,”– “Genre,” –“New Tracks,” – “Initials Search” and “Playlist.” The structure of Genre, Artist, Album, and Track is as follows.

On any of the Find displays in Artist, Album, Track, Genre, and New Tracks, you can start playback by pressing ►II.

To select and play back tracks from New Tracks, see ☞ page 36, from Initials Search, see ☞ page 36, from Playlist, see ☞ page 38.



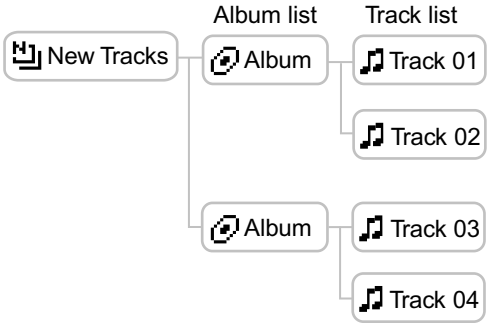
Continued ⇩

Selecting tracks from "New Tracks"

You can select tracks from albums that are newly transferred to the player (the 5 latest times).

1 Select "New Tracks" in the Find display (in step 2, page 33), and then press .

The list of new tracks appears. The following is the structure of "New Tracks."



2 Press / to select an item to play back, and then press ►II.

Playback starts from the selected track or the first track in the selected album. All the tracks listed after the selected items are played in the track number order.

Selecting a track by the first letter of the track (Initials Search)

You can select tracks by searching for the first letter of a track title.
The player searches for a track title in the CD information in SonicStage.

1 Press SEARCH/MENU.

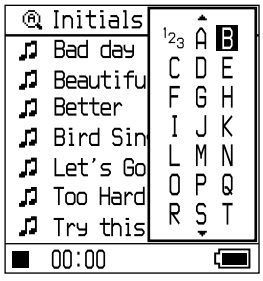
The Find display appears.



Continued ⇩

2 Press ∧/∨ to select "Initials Search," and then press ►II.

The track list appears, and then the character select display appears.



3 Press ∧/∨/</>/> to select the initial of the track title, and then press ►II.

The tracks that start with the initial you have selected appear in the list. If there are no tracks with the initial you have selected, the tracks listed after the initial appear.



4 Press ∧/∨ to select the track to play back, and then press ►II.

Playback starts from the track you selected. All the tracks listed after the selected track are played back in the track number order.

To return to the Find display

Press SEARCH/●MENU.

To return to the MENU display

Press and hold SEARCH/●MENU.

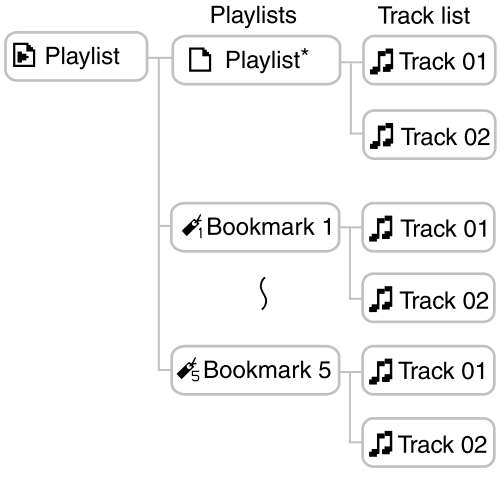
Continued ⇩

Selecting tracks from "Playlist"

You can select tracks from playlists edited using SonicStage or tracks registered in bookmark types (Bookmark 1 to Bookmark 5) on the player. To register a track in a Bookmark, see ☞ page 39.

1 Select "Playlist" in the Find display (in step 2, ☞ page 33), and then press .

The list of Playlist appears. The following is the structure of Playlist.



* A Playlist name in the Playlist contents list appears with the name you created in SonicStage.

2 Press / to select an item to play back, and then press ►II.

Editing Bookmarks on the Player

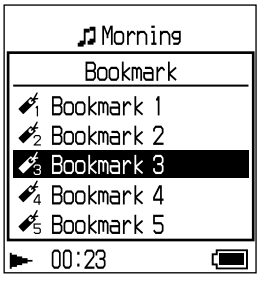
There are two kinds of playlists, that is, the playlists in SonicStage and the playlists in the player. A playlist in the player includes playlists created in SonicStage and bookmark types created on the player. For details on the structure of the playlist, see ☞ page 38. You can only edit playlists using the equipment they were created on. The bookmark types created on the player cannot be edit or displayed in SonicStage.

Registering a track in a Bookmark (Bookmark track play)

You can register your favourite tracks in Bookmarks. To play back registered tracks, select "Playlist" in the Find display (☞ page 33).

1 During playback of the track that you want to register in a Bookmark, press and hold .

The Bookmark display appears.



2 Press / to select a bookmark type where the track is registered, and press ►II.

"Bookmarked" and the number of bookmarks (the number of bookmarked tracks/the number of possible bookmarks) appear, and then the bookmark icon lights up.

3 If you want to add a bookmark to two or more tracks, repeat steps 1 and 2.

You can register to up to 100 tracks in each of Bookmark.

Continued ⇩

To play tracks registered in Bookmarks

1 Press SEARCH/⬬MENU.
The Find display appears.
2 Press ⏮/⏭ to select "Playlist," and then press ▶II.
3 Press ⏮/⏭ to select "Bookmark," and then press ⏩.
When you press ▶II instead of pressing ⏩ here, playback starts from the first track of the selected Bookmark.
4 Press ⏮/⏭ to select a track, and then press ▶II.
A line appears under the bookmark icon on the playback display.

To remove bookmarks

During playback of the track that you want to remove the bookmark from, following the steps above, press and hold ⏭.
"Bookmark cleared" appears and the bookmark icon disappears from the display.

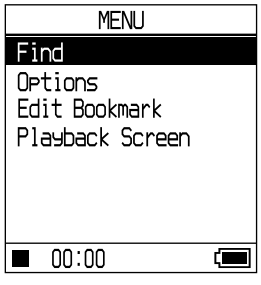
Notes

- You can register a track in a Bookmark only during playback.
- You can remove a bookmark from a track only while playing back the track, following the steps above.

Rearranging the track order in a Bookmark

You can rearrange the order of tracks registered in a bookmark type.

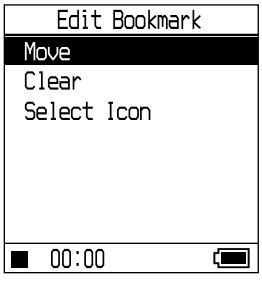
1 Press and hold SEARCH/⬬MENU.
The MENU display appears.



Continued ⇩

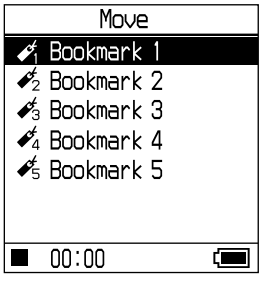
2 Press ⏮/⏭ to select "Edit Bookmark," and then press ▶II or ⏭.

The Edit Bookmark display appears.



3 Press ⏮/⏭ to select "Move," and then press ▶II or ⏭.

The Bookmark list appears.



4 Press ⏮/⏭ to select Bookmark to edit, and then press ▶II or ⏭.

The track list of the selected Bookmark appears.



5 Press ⏮/⏭ to select the track to move, and then press ▶II.

The selected track flashes.

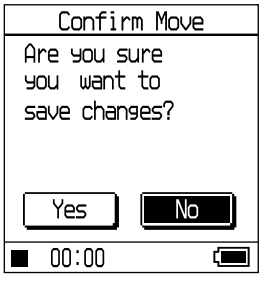
6 Press ⏮/⏭ to select the destination where the track will be moved, and then press ▶II.

The track you selected in step 5 moves to the place you selected in step 6.

When you want to move other tracks, repeat steps 5 and 6.

7 Press ⏭ or ■.

The confirmation dialog box appears.



Continued ⇩

8 Press ⏮/⏭ to select "Yes," and then press ▶II.

"Changes saved." appears in the player display.
If you select "No," the editing of the playlist is cancelled, and the display returns to the Edit Bookmark display.

Clearing bookmarked tracks

You can clear tracks registered in a bookmark type.

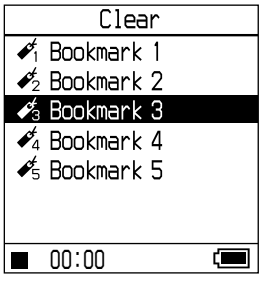
1 Select "Clear" in step 3 in the "Rearranging track order in a Bookmark" (☞ page 40), and then press ▶II or ⏭.

The Clear display appears.



2 Press ⏮/⏭ to select "♫Track" or "Bookmark," and then press ▶II.

The Bookmark list appears.



3 Press ⏮/⏭ to select Bookmark, and then press ▶II or ⏭.

When you select "Track" in step 2, the track list appears.
When you select "Bookmark" in step 2, proceed to step 6.



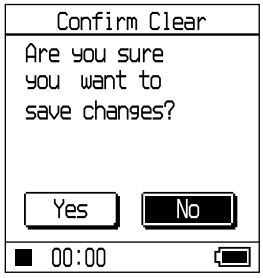
Continued ⇩

4 Press ^/v to select a track to be cleared, and then press ▶II.

The selected track is removed from the list.
When you want to clear multiple tracks from a Bookmark, repeat this step.

5 Press > or ■.

The confirmation dialog box appears.



6 Press < / > to select "Yes," and then press ▶II.

"Changes saved" appears in the display and the display returns to the Edit Bookmark display.

When you have selected "Bookmark" in step 2

"Are you sure you want to clear all bookmarked tracks?" appears in the display. Select "Yes."
If you select "No" here, the editing of bookmarks is cancelled and display returns to the Edit Bookmark display.

To scroll multiple items at once

Press ^ or v twice quickly on the display of a track list in "Rearranging the track order in a Bookmark" (☞ page 40), or in "Clearing bookmarked tracks" (☞ page 42), and then press and hold it for a few seconds.
All the items listed in the display are scrolled up several items at a time.
When you press and hold ^ or v for a few seconds, items are scrolled up at faster than normal speed.

Note

You cannot edit Bookmarks while playing back or pausing the tracks that are registered to them.

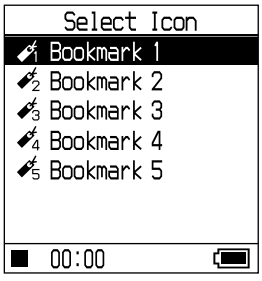
Continued ⇩

Changing a bookmark icon

You can select a bookmark icon to appear on bookmarked tracks. It is convenient to use a different bookmark icon for each Bookmark (Bookmark 1 to 5).

1 Select "Select Icon" in step 3 in the "Rearranging track order in a Bookmark" (☞ page 40), and then press ►II or .

The Bookmark list appears.



2 Press / to select the bookmark type whose icon you want to change, and then press ►II.

The Select Icon display appears.



3 Press / / / to select an icon, and then press ►II.

The icon you have selected appears with the bookmarked track.

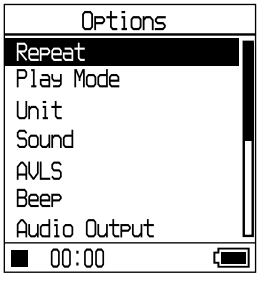
Changing Playback Options (Play Mode)

You can use various playback options (Play Mode), such as selecting tracks you want to listen to and playing tracks in random order.
For details about playback options and the playback range, see “Playback options” (☞ page 47).
You can also play back tracks in random order (☞ page 47, 49) or repeat tracks using playback options you selected (repeat play, ☞ page 49).

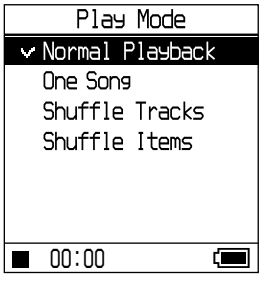
1 Press and hold SEARCH/–MENU.
The MENU display appears.



2 Press ^/v to select “Options,” and then press ►II.
The Options display appears.



3 Press ^/v to select “Play Mode,” and then press ►II.
The list of Play Mode appears.



Continued ⇩

4 Press ^/v to select a playback option, and then press ►II.
The default setting is “Normal Playback” (normal play).

5 Press SEARCH/MENU to display the Find display, and then select the search category for playback (☞ page 33).
To narrow down the search category for playback, press .

6 Press ►II.
Playback starts in the selected playback option.

To cancel set up
Press ■ to return to the Options display.

To return to normal play
In step 4, select “Normal Playback.”

To return to the MENU display
Press and hold SEARCH/MENU.

Continued ⇩

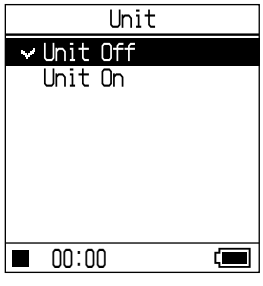
Playback options (Play Mode)

Player display/icon	Explanation
Normal Playback/ No icon (Normal play)	All the tracks after the selected track are played once in the track number order. When you select an item (album, artist, etc.) other than a track, all the tracks are played once from the first track of the item in the track number order.
One Song/ 1 (Single play)	The selected track is played once. When you select an item (album, artist, etc.) other than a track, only the first track is played once.
Shuffle Tracks/ SHUF	All the tracks are played once in random order.
Shuffle Items/ SHUF	All the albums are played once in random order (Album Shuffle). The playback order in the albums is track number order. When "Unit" is set to "Unit On" (☞ page 47), tracks are played back in Unit shuffle (☞ page 49).

Playing back tracks in a selected search category (Unit play)

1 Select "Unit" in step 3 in the "Changing Playback Options" (☞ page 45), and then press ►II.

The Unit display appears.



2 Press ⋀/⋁ to select "Unit On," and then press ►II.

Continued ⇩

3 Press SEARCH/–MENU to display the Find display, and then select the search category for playback (☞ page 33).

4 Press ►II.

Playback starts in the unit in the track number order.

What is a unit (search category for playback)?

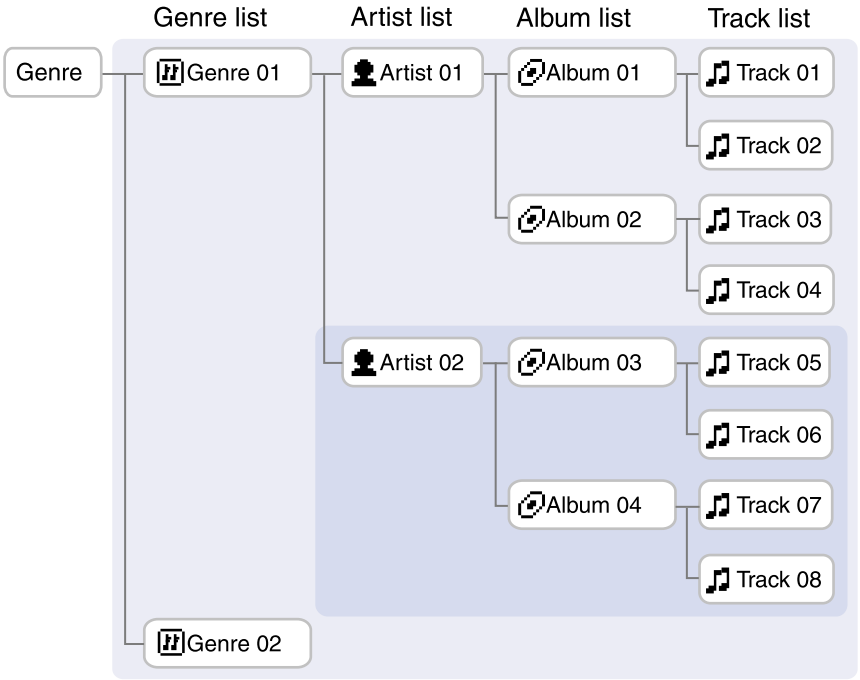
All the items (an artist, an album, a track, etc.) that belong to the selected item when you start playback are called a "unit."

e.g: When you start playback after selecting "Genre 01"

Tracks from Track 01 to 08 will make up one unit.

When you start playback after selecting "Artist 02"

Tracks from Track 05 to 08 will make up one unit.



Notes

- When you switch "Unit on" to "Unit off," or "Unit off" to "Unit on," the unit is reset to include all the tracks on the player.
- When you select a track as the search category for playback in step 3, the album that contains the track is designated as the unit.

Continued ⇩

On Track shuffle within the unit (“Shuffle Tracks” play mode when the “Unit” is set to “Unit On”)

If you set “Unit” to “Unit On” on the Options display, all the items (an artist, an album, a track) listed in the unit when you start playback are played in random order.

On Unit shuffle (“Shuffle Items” play mode when the “Unit” is set to “Unit On”)

If you set “Unit” to “Unit On” on the Options display, items in the first hierarchy in the unit are played back in random order. The playback order in the units is track number order.

Notes

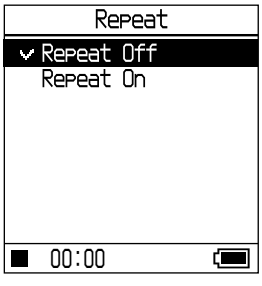
- When you select “♫ Track” on the Find display and start playback in Shuffle mode, all the tracks on the player are played back in random order, regardless of the settings of “Unit On/Off” or “Track/Item shuffle” mode.
- When you select “Playlist” on the Find display, then select “Playlist” or “Bookmark” to start playback in Shuffle mode, all the tracks in the Playlist or the Bookmark are played back in random order, regardless of the settings of “Unit On/Off” or “Track/Item shuffle” mode.

Playing tracks repeatedly (Repeat play)

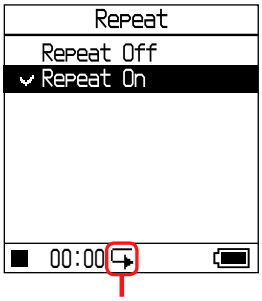
Playback of tracks is repeated in the playback option selected on ☞ page 47.

1 Select “Repeat” in step 3 in the “Changing Playback Options” (☞ page 45), and then press ▶II.

The Repeat display appears.



2 Press ^/v to select “Repeat On,” and then press ▶II.



appears.

Continued ⇩

3 Press SEARCH/MENU to display the Find display, and then select the search category for playback (☞ page 33).

4 Press ►II.

Playback starts in the selected playback option.

To cancel set up at any time during operation

Press ■ to return to the Options display.

To cancel Repeat play

In step 2, select “Repeat Off.”

To return to the Find display

Press SEARCH/MENU.

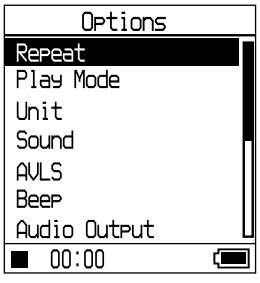
Changing Sound Quality and Settings

For details about various setting items, see ☞ page 52.

1 Press and hold SEARCH/⬬MENU.
The MENU display appears.



2 Press ^/v to select "Options," and then press ►II.
The Options display appears.



3 Press ^/v to select an option, and then press ►II.

To change sound quality

After step 3, press ^/v to select "Sound" (☞ page 52), and then press ►II.

To return to the previous display

Press <.

To cancel set up

Press ■ to return to the Options display.

To return to the MENU display

Press and hold SEARCH/⬬MENU.

Continued ⇩

Setup items for sound quality and displays

Item	Options (●: Default setting)		
Sound	●Sound Off		Plays tracks in normal sound quality.
	VPT Acoustic Eng. [1) 2)]	Studio (VS)	Recreates the sound of a recording studio.
		Live (VL)	Recreates the sound of a concert hall.
		Club (VC)	Recreates the sound of a dance hall.
		Arena (VA)	Recreates the sound of a stadium.
	6-Band Equalizer [1) 2)]	Heavy (SH)	Plays tracks in powerful sounds, further emphasizing high and low ranges compared with Pops sound
		Pop (SP)	Plays tracks in sound for vocal, stressing middle range audio.
		Jazz (SJ)	Plays tracks in lively sounds, emphasizing high and low range audio.
		Unique (SU)	Plays tracks in special sounds, emphasizing high and low range audio more than middle range.
		Custom 1 (S1)	Plays tracks in customized sound (☞ page 55 for detail).
		Custom 2 (S2)	
	Dgtl. Snd. Presets [2)]	Custom 3 (S3)	Plays tracks with preset treble and bass sound (☞ page 56 for details).
		Custom 4 (S4)	

1) The settings work only when playing ATRAC3plus audio tracks. When playing an MP3 audio track, the settings do not work.
2) The sound settings appear in the display as the letters in parentheses (☞ page 32).

Continued ⇩

Item	Options (●: Default setting)	
AVLS [1]	●AVLS Off	The volume changes without limiting the volume level.
	AVLS On	The maximum volume is limited to protect your hearing.
Beep	●Beep On	The beep sounds when you operate the player.
	Beep Off	The beep is turned off.
Audio Out	●Headphone	Select this when you connect the supplied headphones.
	Line Out	Select this when you connect other devices such as speakers with an audio cord (☞ page 58).
Backlight [2]	●10 sec	The backlight lights up for the selected time when you press a button or while scrolling.
	30 sec	
	Always Off	The backlight is turned off to save power.
Contrast [3]	●Center	The display is moderately bright. If the body color of the player is black, the default setting is second from the left.
	– to +	Set toward – to make the display brighter and toward + to make it darker. The level is set to center when you press ⏮ while pressing SEARCH/●MENU on any display.
Invert Screen	●Negative	Characters and icons appear in white and the background in black.
	Positive	Characters and icons appear in black and the background in white.

1) AVLS is an abbreviation of the Automatic Volume Limiter System.

2) When you press VOL+/VOL− when the backlight is off, the backlight turns on.

3) The settings returns to the Factory settings when you press ⏮ while pressing SEARCH/●MENU.

Continued ⇩

Item	Options (●: Default setting)	
Orient Screen	●Vertical	Fixes the display vertically.
	Auto	Adjusts the display orientation automatically using the G-Sensor [1] function. The orientation of the display is fixed to the appropriate direction when you turn the player on.
	Right	Rotates the display to the left so that you can operate the player with your right hand.
	Left	Rotates the display to the right so that you can operate the player with your left hand.
Language	日本語	The messages and the menus are in Japanese.
	●English	The messages and the menus are in English.
	Français	The messages and the menus are in French.
	Deutsch	The messages and the menus are in German.
	Italiano	The messages and the menus are in Italian.
	Español	The messages and the menus are in Spanish.
	簡体中文 [2]	The messages and the menus are in Simple Chinese.
	繁體中文 [2]	The messages and the menus are in Traditional Chinese.
	한글 [2]	The messages and the menus are in Korean.
Initialize System [3]	Factory Settings	All of the settings on the MENU display are set to the factory setting (☞ page 60).
	Initialise HDD	All of the data on the player are erased (☞ page 62).
	Update Firmware	Updates the player firmware.[4]

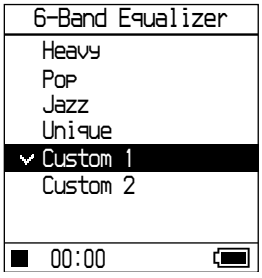
1) G-Sensor is the function that senses the direction of the player.
2) These languages are not displayed depending on the country where you use the player.
3) You cannot reset to the settings during playback or pause.
4) This function is not available at this time. Please wait until the information is announced.

Continued ⇩

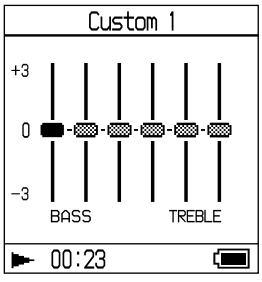
Customizing sound quality (6-Band Equalizer – Custom)

You can adjust the sound quality for each frequency range individually, checking the settings on the display.

1 After selecting "Sound" in step 3 in "Changing Sound Quality and Settings" (☞ page 51), select "6-Band Equalizer," and then press ►II.

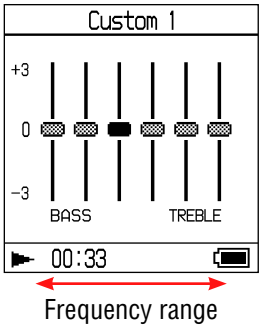


2 Press ^/v to select "Custom 1" or "Custom 2," and then press ►II.



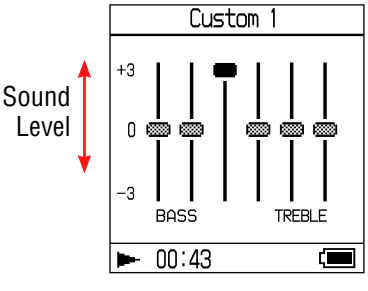
3 Press < / > to select the frequency range.

There are six frequency ranges.



4 Press ^/v to select the sound level.

The sound level can be adjusted in seven levels.



Continued ⇩

5 Repeat steps 3 and 4 to make adjustments for the remaining frequency ranges.

6 Press ►II.

The display returns to the 6-Band Equalizer display.

To cancel set up

Press ■ to return to the 6-Band Equalizer display.

To return to the MENU display

Press and hold SEARCH/⬬MENU.

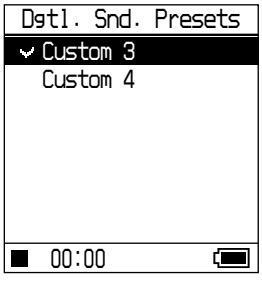
Notes

- If the sound is distorted by your sound settings when you turn up the volume, turn the volume down.
- If you feel difference in sound volume between the "Custom 1" or "Custom 2" sound setting and other sound settings, adjust the volume to your preference.
- When playing an MP3 audio track, the settings do not work.

Adjusting treble and bass emphasis (Digital Sound Preset)

You can preset the treble and bass levels to your preference. While checking the display, adjust the emphasis settings.

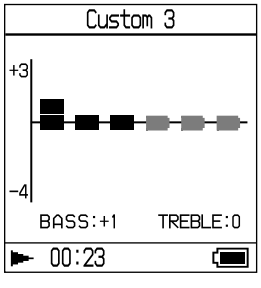
1 After selecting "Sound" in step 3 in "Changing Sound Quality and Settings" (☞ page 51), select "Dgtl. Snd. Presets," and then press ►II.



2 Press ⌒/⌒ to select "Custom 3" or "Custom 4," and then press ►II.

Default setting

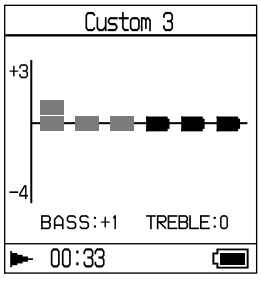
Sound Quality	Custom 3 (S3)	Custom 4 (S4)	OFF (NORMAL SOUND)
Bass	+1	+3	±0
Treble	±0	±0	±0



Continued ⇩

3 Press ‹ / › to select “Treble” or “Bass.”

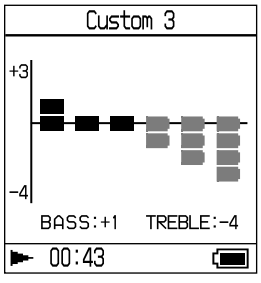
You can adjust the sound quality of the treble and bass.



4 Press ^/v to select the sound level.

The sound level can be adjusted in eight levels.

Sound Quality	Emphasis level
Bass	-4 to +3
Treble	-4 to +3



5 Press ►II.

The screen returns to the Dgtl. Snd. Presets display.

To cancel set up

Press ■ to return to the Dgtl. Snd. Presets display.

To return to the MENU display

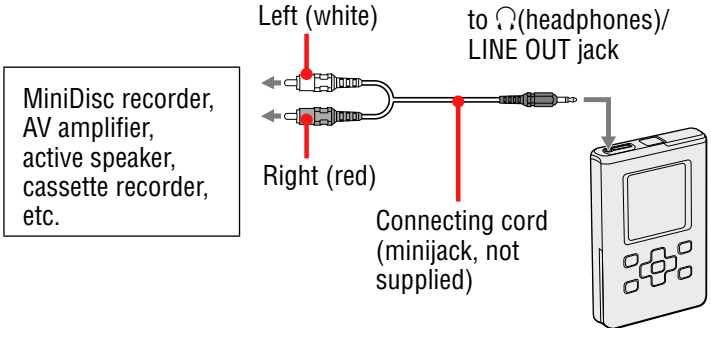
Press and hold SEARCH/⬬MENU.

Notes

- The treble and bass sound levels appear on the right and left ends of the “Custom 3” or “Custom 4” chart. You cannot adjust the in-between levels individually because they are linked to the treble and bass levels and change automatically.
- If the sound is distorted by your sound settings when you turn up the volume, turn the volume down.
- If you feel difference in sound volume between the “Custom 3” or “Custom 4” sound setting and other sound settings, adjust the volume to your preference.

Connecting Other Devices

You can listen to tracks through a stereo system and record tracks in the player onto a MiniDisc or a cassette tape. See the instruction manual that comes with the device you want to connect.
Be sure to turn off all devices before making the connections and changing the settings and explained below.



You need to change the setting for “Audio Output” in the Options display to output sound to the connected device. The settings of “ Audio Output” are shown below. To make those settings, see ☞ page 51.

Connected device	Setting
Headphones	Headphone
Device connected using the connecting cord	Line Out

When you connect another device, set this to “Line Out.” When the setting is “Line Out,” volume cannot be adjusted, and the settings in “Sound” is not available and do not work.

Notes

- When the supplied headphone is connected to the player, do not set “Audio Output” to “Line Out.” If it is set to “Line Out,” the volume cannot be adjusted and the sound will be distorted and noisy.
- Before playback, turn down the volume of the connected device to avoid damaging the connected speaker.

Storing Data Other Than Audio Files

You can transfer data from the hard disk of a computer to the built-in hard disk of this player using Windows Explorer.
The built-in hard disk of the player is displayed in Windows Explorer as an external drive (as a removable storage).

Notes

- Do not use SonicStage while operating the hard disk of the player using Windows Explorer.
- If WAV and MP3 files are transferred to the player using Explorer, they cannot be played. Transfer them using SonicStage.
- Do not disconnect the USB cable while the data is transferred. The data being transferred may be destroyed.
- Do not initialize the hard disk of the player on the computer.

Resetting to the Factory Settings

Reset all the settings in the MENU display to the factory settings.

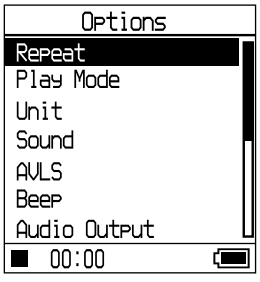
1 While the player is stopped, press and hold SEARCH/–MENU.

The MENU display appears.



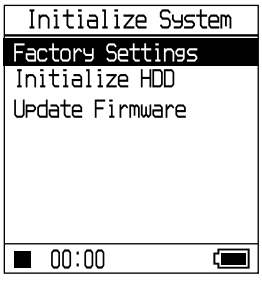
2 Press ^/v to select "Options," and then press ►II.

The Options display appears.



3 Press ^/v to select "Initialize System," and then press ►II.

The Initialize System display appears.



4 Press ^/v to select "Factory Settings," and then press ►II.

The Factory Settings display appears.



Continued ⇩

5 Press ‹ / › to select “Yes,” and then press ►II.

The message appears, and then the display returns to the Initialize System display.

To cancel set up

Press ■. Alternatively, select “No” in step 5, and then press ►II.
The display returns to the Format display.

Note

You cannot reset to the factory settings during playback.

Initializing Hard Disk

You can initialize the built-in hard disk of the player. If the hard disk is initialized, all the audio data and the other data stored will be erased. Be sure to verify the data stored in the hard disk prior to initializing.

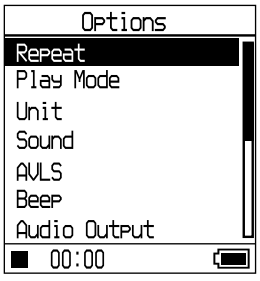
1 While the player is stopped, press and hold SEARCH/–MENU.

The MENU display appears.



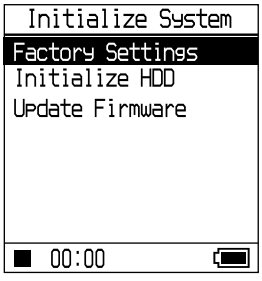
2 Press ^/v to select "Options," and then press ►II.

The Options display appears.



3 Press ^/v to select "Initialize System," and then press ►II.

The Initialize System display appears.



4 Press ^/v to select "Initialize HDD," and then press ►II.

The Initialize HDD display appears.



Continued ⇩

5 Press ⟨ / ⟩ to select "Yes," and then press ►II.

A confirmation dialog appears.



6 Press ⟨ / ⟩ to select "Yes," and then press ►II.

The message appears, and then the display returns to the Initialize System display.

To cancel set up

Press ■. Alternatively, select "No" in step 6, and then press ►II.
The display returns to the Initialize System display.

Notes

- Do not initialize the hard disk of the player on the computer.
- You cannot format the hard disk during playback.
- All the audio data and the files other than audio data are deleted if the player is initialized.
- If tracks are erased by initializing, SonicStage recognizes them as tracks to be transferred back to the computer when the player is connected to your computer. Therefore, the remaining transferable count increases automatically.

Uninstalling SonicStage

To uninstall SonicStage, follow the procedures below.

1 Click "Start"– "Control Panel."*

* "Settings" – "Control Panel" in the case of Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition

2 Double-click "Add/Remove Programs."

3 Click "SonicStage 3.1" in the "Currently Installed Programs" list, and then click "Change and Remove."*

Follow the displayed instruction and restart your computer. The uninstallation is completed when the computer has restarted.

* "Change/Remove" in the case of Windows 2000 Professional, "Add/Remove" in the case of Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition

Note

When you install SonicStage Ver. 3.1, OpenMG Secure Module 4.1 is installed at the same time. Do not delete OpenMG Secure Module 4.1 since it may be used by other software.

Troubleshooting

If you experience trouble with your player, try the following solutions.

1 Remove the battery and insert it again.
2 Check the symptoms in “Troubleshooting.”
3 Check the symptoms in the SonicStage Help when using SonicStage.
4 If the problem cannot be solved after checking the above references, check the following table and then consult your nearest Sony dealer.

Power

Symptom	Case and/or corrective action
Battery life is short	→ The operating temperature is below 5°C (41°F). This is due to the battery characteristics and not a malfunction.
	→ You have not used the player for a prolonged period. Efficiency of the battery will be improved by repeatedly charging and discharging.
	→ The battery pack may have reached the end of its useful life. Replace it with a new one.
	→ Battery charging time is insufficient. Keep charging the battery until ⚡ appears.

Continued ⇩

Sound

Symptom	Case and/or corrective action
There is no sound. Noise is heard.	→ The volume level is set to zero. Turn the volume up (☞ page 30). → The headphone plug is not connected properly. Connect it to ∩(headphones)/LINE OUT jack securely (☞ page 29). → The headphone plug is dirty. Clean the headphone plug with a soft dry cloth. → No audio data is stored in the hard disk.
The volume does not increase	→ "AVLS" is set to "AVLS On." Set it to "AVLS Off" (☞ page 53).
There is no sound from the right channel of the headphones.	→ The headphone plug is not connected properly. Connect it to ∩(headphones)/LINE OUT jack securely (☞ page 29).
The volume cannot be adjusted.	→ "Audio Out" is set to "Line Out." Adjust the volume using the volume control on the connected device, or set "Audio Out" to "Headphone" (☞ page 53).
When using the player with a stereo system connected, the sound is distorted or noisy.	→ "Audio Out" is set to "Headphone." Set it to "Line Out" (☞ page 53).

Continued ⇩

Operation/Playback

Symptom	Case and/or corrective action
Buttons do not work.	→ The buttons are locked. Slide the HOLD switch back (☞ page 31). → Moisture condensation has occurred (Moisture may condense inside the player if the player is brought directly from a cold place to a warm place). Leave the player aside for a few hours until the moisture evaporates. → The remaining battery power is insufficient. Charge the battery (☞ page 13).
Playback has stopped suddenly.	→ The remaining battery power is insufficient. Charge the battery (☞ page 13). → When trying to play an MP3 audio track that cannot be played on this player, playback will stop. Press ⏭ to select other tracks (☞ page 30). → The player has been subjected to vibration for a long time. Stop the vibration and start playback again.
The backlight is not turned on.	→ "Backlight" is set to "Always Off." Set it to "10 sec" or "30 sec" (☞ page 53).
"□" is displayed for a title.	→ Characters that cannot be displayed on the player are involved. Use the SonicStage software to rename the title with appropriate.
The display turns off.	→ The display automatically turns off if there is no operation for about 30 seconds in stop mode when using the battery. When scrolling track titles, etc., the display turns off about 30 seconds after scrolling is finished. Also, the display turns off when pressing and holding ■. For all the cases, press any button to turn on the display again.

Continued ⇩

Connection with the computer/SonicStage

Symptom	Case and/or corrective action
The SonicStage software cannot be installed.	→ An operating system not compatible with the software is used (☞ page 16). → All Windows applications are not closed. If you start the installation while other programs are running, a malfunction may occur. This is especially true for programs that require large amounts of system resources, such as virus-check software. → There is not enough space on the hard disk of your computer. You need 200 MB or more free space. Delete the unnecessary files on your computer.
The installation appears to have stopped before it has finished.	→ Check for the appearance of an error message beneath the installation window. Press the “Tab” key while holding down the “Alt” key. If an error message has appeared, press the “Enter” key. The installation will resume. If there is no message, the installation is still in progress. Wait for a little while longer.
The progress bar on the display of your computer is not moving. The access lamp of your computer has not lit for a few minutes.	→ The installation is progressing normally. Please wait. The installation may take 30 minutes or more, depending on your CD drive or system environment.
SonicStage does not start up.	→ The system environment has been changed by updating Windows OS, etc. Consult your nearest Sony dealer.

Continued ⇩

Connection with the computer/SonicStage (continued)

"Connecting to PC" is not displayed when connecting to the computer with the USB cable.	→ Please wait for the authentication of the SonicStage software. → Another application is running on the computer. Wait for a while and reconnect the USB cable. If the problem persists, disconnect the USB cable, restart the computer, and then reconnect the USB cable. → The USB cable is not connected properly. Disconnect the USB cable and then reconnect it. → A USB hub is used. Connecting via a USB hub is not guaranteed. Connect the USB cable directly to the computer. → The installation of the SonicStage software had been failed. Disconnect the player and your computer, and then reinstall the software again using the supplied CD-ROM (☞ page 17). You will still be able to use audio data registered by the existing software. → The battery is running out. Charge the battery using the AC power adaptor.
The player is not recognized by the computer when it is connected to the computer.	→ The USB cable is not connected properly. Disconnect the USB cable and then reconnect it. → A USB hub is used. Connecting via a USB hub is not guaranteed. Connect the USB cable directly to the computer. → The driver file for the player has not been installed. Reinstall the SonicStage software for the player using the supplied CD-ROM (☞ page 17) to install the driver together. → The installation of the SonicStage software had been failed. Disconnect the player and your computer, and then reinstall the software again using the supplied CD-ROM (☞ page 17). You will still be able to use audio data registered by the existing software.

Continued ⇩

Connection with the computer/SonicStage (continued)

Audio data cannot be transferred to the player from your computer.	→ The USB cable is not connected properly. Disconnect the USB cable and then reconnect it. → The free space of the hard disk in the player is insufficient. Transfer back any unnecessary tracks to your computer to increase the free space (☞ page 27). → You have already transferred over 65,535 tracks or over 8,187 playlists to the hard disk of the player. Or you are trying to transfer a playlist that contains over 999 tracks for a playlist. → Tracks with a limited playing period or playing count may not be transferred due to restrictions set by copyright holders. For details on the settings of each audio file, contact the distributor. → The installation of the SonicStage software had been failed. Disconnect the player and your computer, and then reinstall the software again using the supplied CD-ROM (☞ page 17). You will still be able to use audio data registered by the existing software.
The number of tracks that can be transferred to the player is not much. (Available recording time is short.)	→ The free space in the hard disk of the player is not enough for the size of audio data you tried to transfer. Transfer back any unnecessary tracks to increase the free space (☞ page 27). → Data other than audio data is stored in the hard disk of the player. Move data other than audio data to the computer to increase the free space.
Audio data cannot be transferred back to your computer from the player.	→ A computer other than the one used for transfer to the player is selected as the transfer target. Audio data cannot be transferred back to a computer other than the one used for transfer to the player. → The audio data has been deleted from computer you used to transfer to the player. The audio data cannot be transferred back to your computer if the track is deleted from the computer used to transfer to the player.

Continued ⇩

Connection with the computer/SonicStage (continued)

Audio data is transferred back to your computer and remaining transferable count increases without operations occasionally when the player is connected to the computer.	➔ If a track is deleted from the player using the SonicStage software installed on a computer other than the one used for transfer to the player, the track will be transferred back automatically when the player is connected to the computer that you used for transfer to the player. Therefore, the remaining transferable count increases automatically.
The operation of the player becomes unstable while it is connected to the computer.	➔ A USB hub or USB extension cable is used. Connecting via a USB hub or USB extension is not guaranteed. Connect the USB cable directly to the computer.
“Failed to authenticate Device/Media.” is displayed on the computer screen when the player is connected to the computer.	➔ The player is not connected to the computer properly. Quit the SonicStage software and verify the connection of the USB cable. Restart the SonicStage software.

Continued ⇩

Others

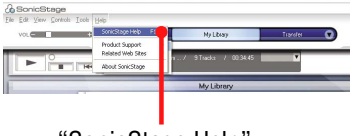
Symptom	Case and/or corrective action
There is no beep sound when the player is operated.	→ “Beep” is set to “Beep Off.” Set it to “Beep On” (☞ page 53).
The player gets warm.	→ The player may get warm when the battery is being charged and just after charging because of quick charge. Besides, the player may get warm when transferring a large number of tracks. Leave the player aside for a while.
The sound is heard from the inside of the player. The player shakes.	→ When the built-in hard disk of the player moves, the sound of operation may be heard, and the vibration of the player occurs. This is not a malfunction.

Using SonicStage Help

SonicStage Help provides further details on how to use SonicStage. SonicStage Help allows you to search easily for information from a list of operations, such as “Importing audio data” or “Transferring audio data,” or from large list of keywords, or by typing in words that might lead you to the appropriate explanations.

Click “Help” – “SonicStage Help” while SonicStage is running.

Help appears.
The player is explained as “ATRAC Audio Device” in SonicStage Help.

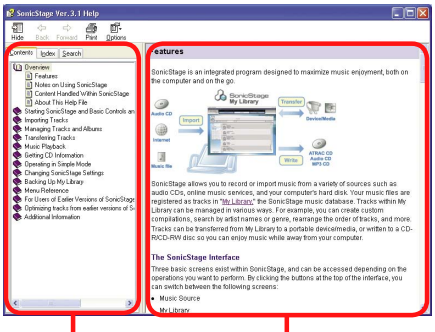


“SonicStage Help”

Notes

- In SonicStage Help, “Device/Media” is the general term for a Network Walkman or MD Walkman.
- Follow the instructions of your internet provider regarding such things as recommended system.

To understand SonicStage Help

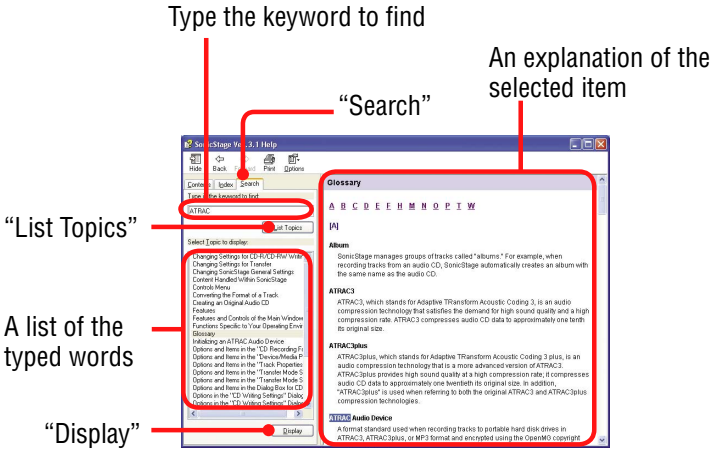


Left frame Right frame

1 Double click “Overview” in the left side frame of SonicStage Help.
2 Click “About This Help File.”
The explanation will appear in the right side frame.
Scroll the display if necessary. Click underlined words to jump to their explanations.

Continued ⇩

To search for a word inside an explanation



1 Click “Search.”
2 Type in the words.
3 Click “List Topics.”
A list of the typed words is displayed.
4 Click to select the desired item among those displayed.
5 Click “Display.”
An explanation of the selected item is displayed.

Error Messages

Follow the instructions below if an error message appears in the display.

Message	Meaning	Corrective action
AVLS NO VOLUME OPERATION	The volume exceeds the maximum volume of AVLS.	➔ Set “AVLS” to “AVLS Off” (☞ page 53).
ALL BOOKMARKED	You are trying to add a bookmark that have already been registered to all of the bookmark types.	➔ A track can be registered once only in each of Bookmark 1 to 5.
BATTERY IS MISSING	• You are trying to operate the player via the AC power adaptor connection without inserting the battery. • You removed the battery from the player while it was connected to a computer.	➔ Insert the battery when you connect the AC power adaptor to an AC outlet.
BOOKMARK FULL	The number of bookmarks exceeds the limit.	➔ Remove unnecessary bookmarks (☞ page 40).
CANCEL	Setup or operation is cancelled.	—
CANNOT EDIT BOOKMARK PLAYING	You are trying to edit a Bookmark during playback.	➔ You cannot edit Bookmarks during playback or stop mode.
CANNOT OPERATE STOP	“Initialize System” in the Options display is selected during playback.	➔ Stop playback and select “Initialize System” again.
CANNOT OPERATE WHEN STOPPED	You are trying to add a bookmark while the player is stopped.	➔ Add a bookmark during playback (☞ page 39).
CANNOT PLAY CONNECT TO PC	The clock in the player is not working.	➔ Connect to the computer (☞ page 24).
CANNOT PLAY TRACK ERROR	Audio data is broken.	➔ Transfer audio data to the player again (☞ page 24).

Continued ⇩

CANNOT PLAY TRACK ON THIS DEVICE	• The track is not permitted to be played back on the player. • The tracks with a limited playing count are playing.	→ You cannot play back tracks that are not permitted to be played back on the player.
CANNOT PLAY UNAVAILABLE FOR PLAYBACK	You are trying to play a track before or after its limited playing period.	→ Tracks with a limited playing time can only be played back within the designated playing period.
CANNOT UPDATE LOW BATTERY	The battery is insufficient while uploading the firmware.	→ Charge the battery fully and try to upload it again.
CHARGE 5°C – 35°C 41F – 95F	You are charging the player in an ambient temperature out of the 5 to 35°C (41 to 95ºF) range.	→ Charge in an ambient temperature of between 5 to 35°C (41 to 95ºF).
CLEAR BOOKMARK PLAYING	You are trying to clear a bookmarked track while it is being played back..	→ A bookmarked track can be cleared only when you try to clear the track from registered bookmark type by selecting it in the list of Playlist while the track is being played back.
CONNECT AC POWER ADAPTER	You have tried to update the firmware without using the AC power adaptor.	→ Connect the AC power adaptor to the player (☞ page 13).
ERROR: CANNOT BOOKMARK	A track cannot be add to Bookmark due to some error.	→ Try to add the track to Bookmark again.
ERROR: CANNOT CLEAR	A bookmark cannot be cleared due to some error.	→ Try to clear the bookmark again.
FAILED TO CREATE DATABASE	A data base cannot be created.	→ Wait for a while. The data base being updated.
HARD DISK WRITABLE 5°C – 35°C	You are transferring the audio data to the player in an ambient temperature out of the 5 to 35°C (41 to 95ºF) range.	→ Operate in an ambient temperature of between 5 to 35°C (41 to 95ºF).

Continued ⇩

HDD NOT INITIALIZED CORRECTLY	• The hard disk of the player is not correctly initialized. • The hard disk of the player was initialized on the computer. • The hard disk of the player has not been initialized because it was changed.	→ Initialize the hard disk of the player again (☞ page 62).
HOLD	The HOLD switch is set to ON.	→ Unlock the controls by sliding the HOLD switch in the direction opposite to that of the arrow (☞ page 31).
LINE OUT NO OPERATION	When "Audio Out" is set to "Line Out," you are trying to change the volume or the setting of "Sound."	→ Set "Audio Out" to "Headphone" (☞ page 53).
LOW BATTERY	There is no remaining battery power.	→ Charge the battery (☞ page 13).
MAX NO OF GROUPS EXCEEDED	The number of groups (albums, artists, etc.) exceeds the limit (8,192).	→ The total number of items in the Find display (except track list) exceeds 8,192. Transfer any unnecessary tracks back to My Library on SonicStage (☞ page 27).
MISMATCH IN SYSTEM FILES	There is mismatch in the system files.	→ Initialize the hard disk of the player (☞ page 62) and transfer audio data to the player again (☞ page 24).
NO DATABASE FOUND	When disconnecting from the computer, there are no tracks transferred to the player, or there is lack of information.	→ Connect the player to the computer again, and then disconnect it. → Transfer audio data to the player (☞ page 24).
NO TRACK	There are no tracks in the track list.	→ Go to a track list with tracks. → Transfer audio data to the player (☞ page 24).

Continued ⇩

SYSTEM ERROR <No.***> (Number appears in parenthesis.)	There is a system error.	➔ Write down the number and consult your nearest Sony dealer.

Specifications

Maximum recordable number of track (Approx.)*

NW-HD5:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5,000 (132 kbps)	2,500 (256 kbps)	5,000 (128 kbps)
6,000 (105 kbps)	10,000 (64 kbps)	10,000 (64 kbps)
10,000 (66 kbps)	13,000 (48 kbps)	

NW-HD5H:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
7,500 (132 kbps)	3,500 (256 kbps)	7,500 (128 kbps)
9,000 (105 kbps)	15,000 (64 kbps)	15,000 (64 kbps)
15,000 (66 kbps)	20,000 (48 kbps)	

* When transferring four-minute tracks

Sampling frequency

44.1 kHz (ATRAC3plus), 32/44.1/48 kHz (MP3)

Audio compression technology

Adaptive Transform Acoustic Coding3plus (ATRAC3plus)
MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

Frequency response

20 to 20,000 Hz (single signal measurement during playback)

Output

🎧 (headphones)/LINE OUT*:
Stereo minijack/180 mV

* The jack is used for both headphones and LINE OUT.

Operating temperature

5 to 35ºC (41 to 95ºF)

Continued ⇩

Power source

Rechargeable lithium-ion battery: LIP-880PD, 3.7V, 880 mAh, Li-ion
AC power adaptor: DC IN 6 V

Battery life (continuous playback)

ATRAC3plus format (48 kbps): Approx. 40 hours
MP3 format (128 kbps): Approx. 30 hours

Dimension

Not including projecting parts:
Approx. 59.9 × 88.7 × 14.2 mm
(2 3/8 × 3 1/2 × 1/2 inches) (w/h/d)

Including projecting parts:

Approx. 59.9 × 89.3 × 14.5 mm
(2 3/8× 3 1/2 × 5/8 inches) (w/h/d)

Mass

Approx. 135 g (4.82 oz)

Design and specifications are subject to change without notice.

US and foreign patents licensed from Dolby Laboratories.

Index

Symbols

1 (Single Play) 47
Album 35
Artist 35
Genre 35
Initials Search 36
New Tracks 36
Playlist 38
Remaining power 15
Repeat play 49
SHUF Shuffle Items 47
SHUF Shuffle Tracks 47
Track 35
SHUF Track shuffle within the unit 49
SHUF Unit shuffle 49

A

AC power adaptor 11
Album Shuffle 47
Arena 52
ATRAC3/ATRAC3plus 21, 30
Audio Device 58
Audio Out 53
AVLS 53

B

Backlight 53
Battery (Charging time) 13
Battery life 15
Battery (remove/insert) 14
Beep 53
Bit rate 21, 32
Bookmark 39
Bookmark icon 44
Bookmark track play 39

C

Carrying case 11
CD-ROM 11
CD information 21
Clear (Bookmark) 42
Club 52
Contrast 53

D

Detailed information (track) 23
Deutsch 54
Dgtl. Snd. Presets (Digital Sound Preset) 52

E

Edit Bookmark 39
English 54
Español 54

F

Factory Settings 60
Find the beginning of a track 31
Find the beginning of previous tracks 31
Find the beginning of the next track 31
Format 21
Français 54

G

G-Sensor 54

H

Headphone 53
Headphones 11, 12
Heavy 52
Holder structure (Find display) 35
HOLD function 31
HOLD switch 12

I

Importing audio data 19
Initialise HDD 54

Continued ⇩

Initialize Hard Disk 62
Initialize System 54
Initial Search 36
Invert Screen 53
Italiano 54

J

Japanese 54
Jazz 52

K

Korean 54

L

Language 54
Left 54
Line Out 53
Live 52

M

Managing tracks (Playlist) 22
MP3 30
My Library 22
My Library (SonicStage) 19

N

Negative 53
New Tracks 36
Normal Playback (Normal play) 47

O

One Song (Single play) 47
Orient Screen 54

P

Playback options 47
Player display 12, 32
Playlist (on the player) 38
Playlist (SonicStage) 22
Play Mode 45
Pops 52
Positive 53

R

Rearrange (Bookmark) 40
Remaining power of the battery 15
Repeat play 49
Right 54

S

Scroll multiple items 34
Search 31
Search Mode 35
Search (SonicStage) 74
Shuffle Items 47
Shuffle Tracks 47
Simple Chinese 54
SonicStage 16
Sound 52
Stop 12, 31
Studio 52

T

Tracks with a limited playing count 70
Tracks with a limited playing period 70
Track shuffle in the unit 49
Traditional Chinese 54
Transfer audio data 24

U

Uninstall 64
Unique 52
Unit 48
Unit play 47
Unit shuffle 49
USB cable 11

V

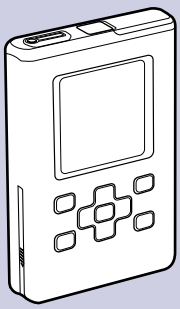
Vertical 54
VOL+/VOL- 30
Volume 12
VPT Acoustic Eng 52

SONY

Portable Hard Disk Audio Player

Network Walkman

Mode d'emploi



WALKMAN

Atrac3plus

MP3

NW-HD5/NW-HD5H

« WALKMAN » est une marque déposée de Sony Corporation pour désigner des produits stéréo dotés d'écouteurs.

WALKMAN est une marque de Sony Corporation.

© 2005 Sony Corporation

Table des matières

Index

▶ Mise en service 11

▶ Transfert de données audio vers le lecteur 19

▶ Lecture de musique 29

▶ Autres fonctionnalités 51

▶ Dépannage 65

▶ Informations complémentaires 79

AVERTISSEMENT

Pour prévenir tout risque d'incendie ou d'électrocution, gardez cet appareil à l'abri de la pluie ou de l'humidité.

N'installez pas l'appareil dans un espace confiné comme dans une bibliothèque ou un meuble encastré.

Pour prévenir tout risque d'incendie, ne recouvrez pas la ventilation de l'appareil avec des journaux, nappes, rideaux, etc. Évitez également de placer des bougies allumées sur l'appareil.

Pour prévenir tout risque d'incendie ou d'électrocution, ne placez pas d'objets remplis de liquides (p. ex. un vase) sur l'appareil.

A pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'oreille de l'utilisateur.

Pour les utilisateurs des Etats-Unis et au Canada

RECYCLAGE DES ACCUMULATEURS AUX IONS DE LITHIUM

Les accumulateurs aux ions de lithium sont recyclables. Vous pouvez contribuer à préserver l'environnement en rapportant les piles usées dans un point de collection et recyclage le plus proche.

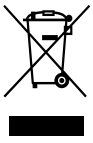


Pour plus d'informations sur le recyclage des accumulateurs, téléphonez le numéro gratuit 1-800-822-8837 (Etats-Unis et Canada uniquement), ou visitez **http://www.rbrc.org/**

Avertissement: Ne pas utiliser des accumulateurs aux ions de lithium qui sont endommagées ou qui fuient.

Suite ⇩

Traitement des appareils électriques et électroniques en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)



Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être remis à un point de collecte approprié pour le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebus de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à conserver les ressources naturelles. Pour toute information supplémentaire au sujet du recyclage de ce produit, vous pouvez contacter votre municipalité, votre déchetterie ou le magasin où vous avez acheté le produit.
Ceci s'applique aux accessoires suivants: Ecouteurs

Table des matières

Table des matières 4
Remarques à l'attention des utilisateurs 6
Précautions 8
Sécurité 8
Installation 8
Surchauffe interne 8
Écouteurs 9
Entretien 10

Mise en service

Vérification des accessoires fournis 11
Guide de localisation des composants et des commandes 12
Préparation d'une source d'alimentation 13
Contrôle de la capacité disponible de la batterie 15
Installation de SonicStage sur votre ordinateur 16
Préparation du système requis 16
Installation de SonicStage 17

Transfert de données audio vers le lecteur

Importation de données audio sur votre ordinateur 19
Gestion des pistes avec SonicStage 22
Modification d'une liste de lecture 22
Transfert de données audio vers le lecteur 24
Transfert de données audio vers votre ordinateur 27

Lecture de musique

Lecture 29
Verrouillage des commandes (HOLD) 31
Fonctions de base en lecture (lecture, arrêt, avance/retour rapide) 31
Vérification des informations affichées sur l'écran 32
Sélection de pistes pour la lecture (artiste, album, genre, etc.) 33
Arborescence de l'écran Rechercher 35

Suite ⇩

Sélection de pistes dans « Nouvelles pistes » 36
Sélection d'une piste par la première lettre de la piste (Recherche initiale) 36
Sélection de pistes dans « Liste de lecture » 38
Modification de signets sur le lecteur 39
Enregistrement d'une piste dans un signet (Lecture d'une piste d'un signet) 39
Redisposition de l'ordre des pistes dans un signet 40
Effacement de pistes avec signet 42
Modification de l'icône d'un signet 44
Changement des options de lecture (Mode de lecture) 45
Options de lecture (Mode de lecture) 47
Lecture de pistes dans une catégorie de recherche sélectionnée (Lecture d'unité) 47
Lecture répétée de pistes (Lecture répétée) 49

Autres fonctionnalités

Modification de la qualité sonore et des réglages 51
Éléments de configuration pour la qualité sonore et les écrans 52
Personnalisation de la qualité sonore (Égaliseur 6 bandes – Personnalisé) 55
Réglage de l'accentuation des aigus et des grave (Préréglage du son numérique) 56
Raccordement d'autres périphériques 58
Stockage de données autres que fichiers audio 59
Rétablissement des paramètres par défaut 60
Initialisation du disque dur 62
Désinstallation de SonicStage 64

Dépannage

Dépannage 65
Utilisation de l'Aide de SonicStage 73
Messages d'erreur 75

Infornmations complémentaires

Spécifications 79
Index 81

Remarques à l'attention des utilisateurs

À propos du logiciel fourni

- La législation sur les droits d'auteur interdit la reproduction complète ou partielle du logiciel ou du manuel qui l'accompagne, de même que le prêt du logiciel, sans l'autorisation du détenteur du droit d'auteur.
- En aucun cas, SONY ne pourra être tenu responsable de dommages financiers ou de pertes de bénéfices, y compris les réclamations de tiers, résultant de l'utilisation du logiciel fourni avec ce lecteur.
- En cas de problème avec ce logiciel résultant d'une fabrication défectueuse, SONY le remplacera. SONY n'assume toutefois aucune autre responsabilité.
- Le logiciel fourni avec le lecteur ne peut être utilisé avec un autre équipement que celui prévu à cet effet.
- Notez que, en raison d'efforts permanents visant à améliorer la qualité, les spécifications du logiciel peuvent être modifiées sans préavis.
- L'utilisation de ce lecteur avec un logiciel autre que celui fourni n'est pas couverte par la garantie.
- La possibilité d'afficher les langues dans SonicStage dépend du système d'exploitation installé sur votre ordinateur. Pour de meilleurs résultats, veuillez vous assurer que le système d'exploitation installé est compatible avec la langue que vous souhaitez afficher.
  - Nous ne garantissons pas que toutes les langues s'afficheront correctement sur votre SonicStage.
  - Les caractères créés par l'utilisateur et certains caractères spéciaux risquent de ne pas s'afficher.
- En fonction du type de texte et des caractères, il se peut que le texte affiché sur SonicStage ne s'affiche pas correctement sur le périphérique. Les causes possibles sont les suivantes :
  - Le lecteur connecté n'est pas compatible.
  - Le lecteur ne fonctionne pas normalement.
- Pour tirer le meilleur parti des explications données dans ce manuel, vous devez être familiarisé avec les fonctions de base de Windows. Pour avoir des détails sur l'utilisation de votre ordinateur et de son système d'exploitation, veuillez vous reporter aux manuels correspondants.

Programme © 2001, 2002, 2003, 2004, 2005 Sony Corporation
Documentation © 2005 Sony Corporation

Suite ⇩

- SonicStage et le logo SonicStage sont des marques ou des marques déposées de Sony Corporation.
- OpenMG, ATRAC, ATRAC3, ATRAC3plus et leurs logos sont des marques de Sony Corporation.
- Microsoft, Windows, Windows NT et Windows Media sont des marques ou des marques déposées de Microsoft Corporation aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- IBM et PC/AT sont des marques déposées d'International Business Machines Corporation.
- Macintosh est une marque d'Apple Computer, Inc. aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- Pentium est une marque ou une marque déposée d'Intel Corporation.
- Adobe et Adobe Reader sont des marques ou des marques déposées d'Adobe Systems Incorporated aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- Brevets américains et internationaux sous licence de Dolby Laboratories.
- Licence de la technologie de codage audio MPEG Layer-3 et des brevets obtenue de Fraunhofer IIS et Thomson.
- Toutes les autres marques et marques déposées sont des marques ou des marques déposées de leurs détenteurs respectifs.
- Les marques ™ et ® n'apparaissent pas dans ce manuel.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.

  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. Untied States Patent 6,304,523.
  Gracenote is a registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

Nous vous remercions d'avoir fait l'acquisition de ce produit Sony. Le Network Walkman est préinstallé avec des échantillons des données de musique. Vous pourrez ainsi l'essayer immédiatement. Les échantillons des données de musique préinstallés ne sont fournis que pour vous permettre de faire des essais d'écoute. Vous ne pourrez donc pas les transférer sur votre ordinateur. Utiliser SonicStage3.1 pour supprimer ces données audio.
Selon votre région, il se peut que des échantillons de musique ne soient pas installés dans le lecteur.

Précautions

Sécurité

- N’introduisez aucun corps étranger dans la prise DC IN du lecteur.
- Veillez à ne pas court-circuiter les bornes du lecteur avec d’autres objets métalliques.

Installation

- N’exposez jamais le lecteur à des conditions extrêmes de luminosité, de température, d’humidité ou de vibrations.
- N’emballez jamais le lecteur lorsque vous l’utilisez avec l’adaptateur secteur. Une surchauffe interne pourrait entraîner un dysfonctionnement du lecteur ou risquerait de l’endommager.

Surchauffe interne

Une surchauffe interne risque de se produire si vous utilisez le lecteur lors de sa charge pendant une période prolongée.

Suite ⇩

Écouteurs

Sécurité routière

N’utilisez pas les écouteurs à vélo ou pendant la conduite d’une voiture ou de tout autre véhicule motorisé. Cette pratique peut être dangereuse et est illégale dans de nombreux pays. Il peut également s’avérer dangereux de l’utiliser à volume élevé en marchant et plus particulièrement lorsque vous traversez un passage piéton. Redoublez de vigilance ou interrompez l’écoute dans les situations à risque.

Prévention des troubles de l’ouïe

Évitez d’utiliser les écouteurs avec un volume sonore élevé. Les médecins déconseillent l’écoute prolongée à volume élevé. Si vous percevez des sifflements dans les oreilles, réduisez le volume ou interrompez l’écoute.

Respect d’autrui

Maintenez le volume à un niveau modéré. Ceci vous permettra d’entendre les sons extérieurs et d’être attentif à votre entourage.

Avertissement

S’il y a de la foudre lorsque vous utilisez le lecteur, retirez immédiatement les écouteurs.

Suite ⇩

Entretien

- Nettoyez le boîtier du lecteur avec un chiffon doux légèrement imprégné d'eau ou d'une solution détergente neutre.
- Nettoyez régulièrement la fiche des écouteurs.

Remarques

- N'utilisez pas de tampon abrasif, de poudre à récurer ni de solvant tel qu'alcool ou benzène, qui risquent de ternir la surface du boîtier.
- Veillez à ne pas laisser entrer d'eau dans le lecteur par l'ouverture située près du connecteur.

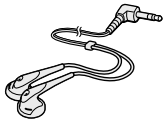
Si vous avez des questions ou des problèmes concernant le lecteur, consultez le revendeur Sony le plus proche.

REMARQUES

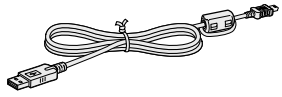
- La musique enregistrée ne peut être utilisée qu'à des fins privées. Toute autre utilisation doit faire l'objet d'une autorisation de la part des détenteurs des droits d'auteurs.
- Sony ne peut être tenu responsable en cas d'enregistrement/de téléchargement incomplet ou de données endommagées en raison de problèmes liés au lecteur ou à l'ordinateur.

Vérification des accessoires fournis

- Écouteurs (1)



- Câble USB dédié (1)



- Adaptateur secteur (1)
- Étui de transport (1)
- CD-ROM (1)*
  (logiciel SonicStage, fichier PDF du mode d'emploi)
- Guide de démarrage rapide (1)

(La batterie rechargeable a été installée dans le lecteur au préalable.)

* Ne lisez pas ce CD-ROM dans un lecteur de CD audio.

Remarques

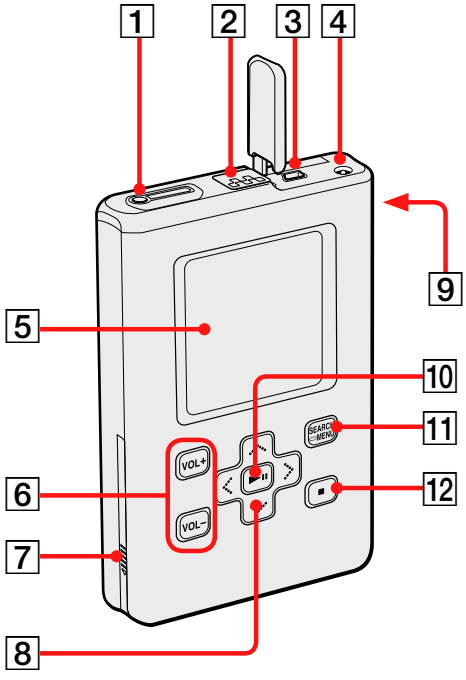
Lorsque vous utilisez cet appareil, observez les mesures de précaution ci-dessous pour éviter de déformer le boîtier ou de provoquer un mauvais fonctionnement de l'appareil.

– Veillez à ne pas vous asseoir sur votre appareil lorsqu'il est dans votre poche arrière.



– Si vous avez placé l'appareil dans un sac après avoir enroulé le cordon du casque ou des écouteurs autour de l'appareil, ne soumettez pas le sac à des chocs violents.

Guide de localisation des composants et des commandes



1 🎧 Prise (écouteurs)/LINE OUT (☞ page 29)

2 Commutateur HOLD (☞ page 31)

3 Prise USB (☞ page 24)

4 Prise DC IN (entrée CC) (☞ page 13, 24)

5 Écran du lecteur (☞ page 32)

6 Touches VOL+*/VOL– (volume) (☞ page 30)

7 Couvercle du compartiment de la batterie (☞ page 13)

8 Touches ⏮/⏭/ ◀ / ▶ (☞ page 29)

9 Orifice pour dragonne**

10 ▶II Touche (lecture/pause) (☞ page 31)

11 Touche SEARCH/MENU (☞ page 33)

12 ■ touche (arrêt) (☞ page 31)

* Utiliser le point en relief comme référence lors de l'utilisation du lecteur.

** Vous pouvez fixer votre propre dragonne.

À propos du numéro de série

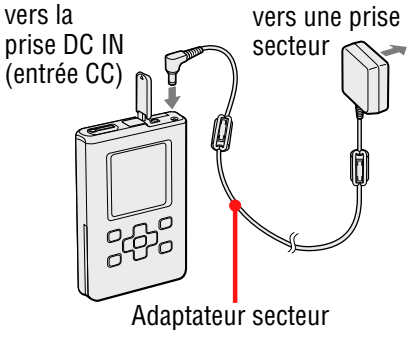
Le numéro de série fourni avec ce lecteur est requis lors de l'enregistrement du client. Ce numéro figure sur une étiquette située sous le lecteur. Ne retirez pas l'étiquette.

Préparation d'une source d'alimentation

Chargez la batterie rechargeable ion-lithium intégrée avant la première utilisation ou lorsqu'elle est à plat.

Raccordez l'adaptateur secteur à la prise DC IN (entrée CC).

Raccordez d'abord l'adaptateur secteur, puis branchez celui-ci dans une prise secteur.



Le témoin de batterie sur l'écran devient « Chargement » et la charge de la batterie commence.
La charge est terminée au bout de 3 heures environ* et la mention « Chargé » ainsi que le témoin s'affichent ⚡.
La batterie est chargée à 80 % environ au bout de 1,5 heure environ*.

* Il s'agit du temps de charge approximatif d'une batterie totalement déchargée, à température ambiante. Le temps de charge peut varier en fonction de la capacité disponible et de l'état de la batterie. Notez également que le temps de charge est plus long à basse température.

Recharge de la batterie à l'aide d'une connexion USB

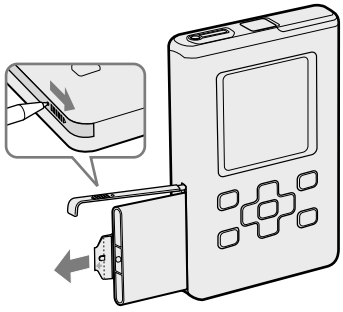
Mettez l'ordinateur sous tension, puis connectez le câble USB à celui-ci (☞ page 24). Le témoin de batterie change d'aspect sur l'écran et la charge de la batterie commence. Il faut compter environ 6 heures* pour une recharge totale. Lorsque le lecteur est relié à l'adaptateur secteur, c'est par ce dernier que le lecteur est alimenté. Toutefois, le temps de charge est plus long.
Si l'ordinateur entre en mode pause, veille ou hibernation alors que le lecteur est raccordé à l'ordinateur par le câble USB sans adaptateur secteur, la batterie se décharge et ne se recharge pas.

* Lorsque la batterie commence à être usée, le temps de charge devient plus long. Le témoin de charge de la batterie ne s'affiche sur l'écran que lorsque vous utilisez le lecteur pendant la charge de la batterie. Si le témoin de charge de la batterie ne s'affiche pas, rechargez la batterie à l'aide de l'adaptateur secteur.

Suite ⇩

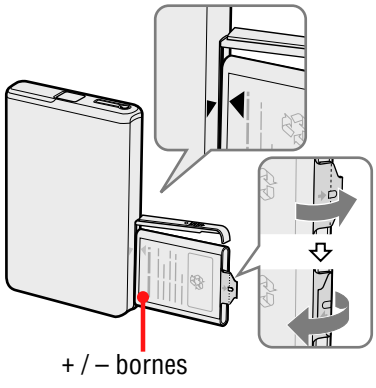
Pour retirer la batterie

Insérez un outil fin et pointu, comme la pointe d'un stylo à bille, dans l'orifice du couvercle du compartiment de la batterie et faites coulisser le couvercle en direction du repère « ▷ » pour l'ouvrir. Ensuite, tirez l'étiquette sur la batterie dans le sens de la flèche pour retirer la batterie.
L'appareil ne peut être mis sous tension si vous retirez la batterie du lecteur, même si celui-ci est relié à l'adaptateur secteur.



Pour insérer la batterie

Ouvrez le couvercle du compartiment de la batterie, puis insérez la batterie en faisant correspondre le repère « ▶ » situé sur le côté du lecteur avec celui de la batterie. Après enfermer l'étiquette dans le couvercle du compartiment de la batterie, fermez le couvercle.



Remarques

- Lors d'une recharge par connexion USB, l'opération peut durer plus longtemps si l'alimentation de l'ordinateur est insuffisante.
- Lors d'une recharge par connexion USB, l'opération s'interrompt en fonction de l'environnement système.
- Il se peut que la charge du lecteur s'interrompe afin d'éviter une surchauffe, par exemple si le lecteur reste longtemps connecté à l'ordinateur pendant la charge. Retirez le câble USB du lecteur et reprenez la charge après quelques instants.
- Si vous ne devez pas utiliser le lecteur pendant une période de plus de trois mois, retirez la batterie.
- Chargez la batterie à une température ambiante comprise entre 5 et 35 °C (41 à 95 °F).

Suite ⇩

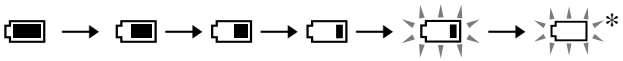
Remarques sur l'adaptateur secteur



- Utilisez uniquement l'adaptateur secteur fourni avec le lecteur. N'utilisez aucun autre type d'adaptateur secteur car cela pourrait provoquer un dysfonctionnement du lecteur.
- Le lecteur n'est pas déconnecté de la source d'alimentation secteur tant qu'il reste raccordé à la prise murale, même s'il a été mis hors tension.
- Si vous prévoyez de ne pas utiliser ce lecteur pendant une période prolongée, débranchez-le de la source d'alimentation. Pour débrancher l'adaptateur secteur de la prise murale, saisissez la fiche ; ne tirez jamais sur le cordon.

Contrôle de la capacité disponible de la batterie

La capacité disponible de la batterie est indiquée sur l'écran. Plus l'indicateur noir diminue, plus la batterie est déchargée.



* « BATT FAIBLE » s'affiche sur l'écran et un bip sonore se fait entendre.

Quand la batterie est à plat, rechargez-la.

Remarques

- La puissance disponible approximative de la batterie est visible sur l'écran. Par exemple, la présence d'une seule section ne signifie par forcément qu'il reste un quart de la capacité de la batterie.
- En fonction des conditions d'utilisation et de l'environnement, la taille du témoin peut indiquer une capacité supérieure ou inférieure à la capacité disponible réelle.
- L'alimentation de l'appareil se coupe si vous retirez la batterie du lecteur, même si celui-ci est relié à l'adaptateur secteur.

Autonomie de la batterie (utilisation continue)

Le temps de lecture pour le format ATRAC3plus 48 kbit/s est d'environ 40 heures. Le temps de lecture pour le format MP3 128 kbit/s est d'environ 30 heures.
L'autonomie varie en fonction du mode d'utilisation du lecteur.

Installation de SonicStage sur votre ordinateur

Installez le logiciel SonicStage sur votre ordinateur à l'aide du CD-ROM fourni.

Préparation du système requis

L'environnement d'exploitation suivant est nécessaire.

Ordinateur	IBM PC/AT ou compatible
	• Processeur : Pentium III 450 MHz ou plus puissant • Espace sur le disque dur : 200 Mo ou plus (1,5 Go ou plus recommandé) (l'espace requis varie en fonction de la version de Windows et du nombre de fichiers musicaux stockés sur le disque dur). • Mémoire RAM : 128 Mo ou plus
	Divers • Lecteur de CD (pouvant assurer la lecture numérique par WDM) (un graveur de CD-R/RW est requis pour graver des CD). • Carte son • Port USB
Système d'exploitation	Installation d'origine : Windows XP Media Center Edition 2005/ Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/ Windows XP Professionnel/Windows XP Édition familiale/Windows 2000 Professionnel (service pack 3 ou ultérieur)/Windows Millennium Edition/Windows 98 Deuxième Édition
Affichage	High Color (16 bits) ou supérieur, 800 × 600 points minimum (1024 × 768 points minimum recommandé).
Divers	• Accès à Internet : pour l'enregistrement Web, les services EMD et CDDB • Windows Media Player (version 7.0 ou plus récente) installé pour la lecture de fichiers WMA

Suite ⇩

Remarques

- SonicStage n'est pas pris en charge par les environnements suivants :
  - Systèmes d'exploitation autres que ceux indiqués à la page 16.
  - Ordinateurs assemblés ou systèmes d'exploitation non standards
  - Environnement obtenu par mise à niveau du système d'exploitation installé à l'origine par le constructeur
  - Environnement à amorçage multiple (multi-boot)
  - Environnement à plusieurs écrans
  - Macintosh
- Nous ne pouvons garantir un fonctionnement satisfaisant sur tous les ordinateurs conformes à la configuration requise.
- Le format NTFS de Windows XP/Windows 2000 Professionnel ne peut être utilisé qu'avec la configuration standard (d'origine).
- Nous ne pouvons garantir un fonctionnement satisfaisant de la fonction pause, mise en veille ou hibernation des ordinateurs.

Installation de SonicStage

Lisez les recommandations suivantes avant d'installer le logiciel SonicStage.

- Veillez à fermer tous les autres logiciels, y compris les anti-virus.
- Veillez à installer SonicStage à partir du CD-ROM fourni.
  - Si OpenMG Jukebox ou SonicStage est déjà installé, le logiciel existant est remplacé par la nouvelle version dotée des nouvelles fonctions.
  - Si SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner ou MD Simple Burner est déjà installé, le logiciel précédent coexiste avec SonicStage.
  - Vous pourrez toujours utiliser les données audio enregistrées par les logiciels précédents. Par mesure de précaution, nous vous conseillons tout de même de sauvegarder vos données audio. Pour sauvegarder les données, reportez-vous aux rubriques « Sauvegarde de Ma bibliothèque » dans l'Aide de SonicStage. La méthode de gestion des données musicales diffère en partie des méthodes conventionnelles. Pour plus de détails, reportez-vous à la rubrique « À l'attention des utilisateurs de versions antérieures de SonicStage » dans l'Aide de SonicStage.
- Si le lecteur est connecté à un ordinateur via le câble USB, débranchez le câble USB du lecteur puis installez le CD-ROM fourni sur l'ordinateur.

Suite ⇩

1 Fermez tous les autres logiciels actifs.

Pour éliminer divers facteurs susceptibles de faire échouer l'installation du logiciel SonicStage, vérifiez que :

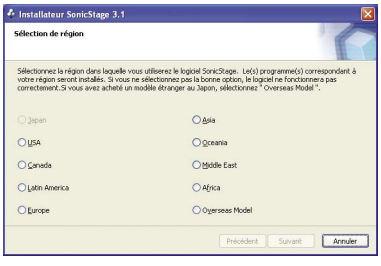
- vous êtes bien connecté en tant qu'Administrateur (si le système d'exploitation est Windows 2000/Windows XP) ;
- aucun logiciel anti-virus n'est actif (ces programmes utilisent habituellement une part importante des ressources système).

2 Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur de CD de l'ordinateur.

Le programme d'installation démarre automatiquement et la fenêtre d'installation s'affiche.

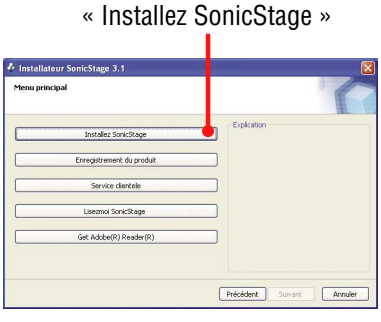
3 Lorsque la fenêtre de droite s'affiche, cliquez sur la région dans laquelle vous utiliserez le logiciel SonicStage.

Si aucune fenêtre ne s'affiche, passez à l'étape 4.



4 Cliquez sur « Installez SonicStage » puis suivez les instructions affichées.

Lisez attentivement ces instructions. Selon la région, il se peut que les boutons autres que « Installez SonicStage » diffèrent de ceux figurant sur l'illustration de droite.

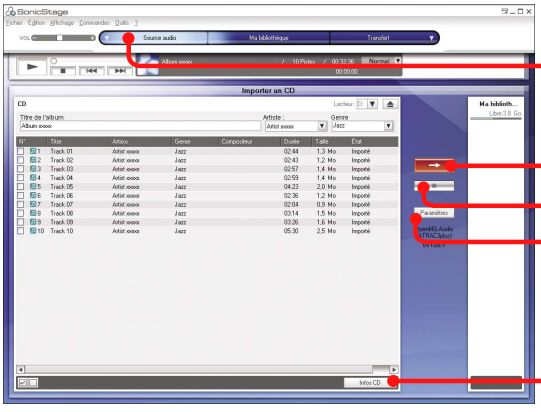


Selon votre environnement système, l'installation peut durer de 20 à 30 minutes. Veillez à ne réamorcer l'ordinateur qu'une fois l'installation terminée.

En cas de problèmes pendant l'installation, reportez-vous à la section « Dépannage » (☞ page 68).

Importation de données audio sur votre ordinateur

Enregistrez et stockez des pistes (données audio) à partir d'un CD audio dans « Ma bibliothèque » de SonicStage sur le disque dur de votre ordinateur.
Si vous voulez obtenir automatiquement des informations relatives au CD (nom de l'artiste, titres, etc.), connectez votre ordinateur à Internet au préalable.
Vous pouvez enregistrer ou importer des pistes d'autres sources, comme Internet et le disque dur de votre ordinateur (fichiers MP3).
Pour plus d'informations, reportez-vous à l'aide de SonicStage (☞ page 73).

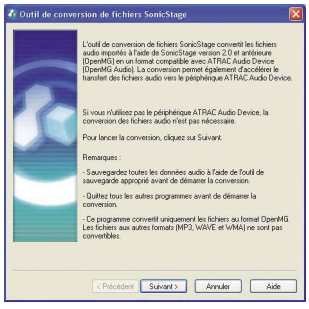


1 Double-cliquez sur (SonicStage) sur le bureau.
Vous pouvez aussi sélectionner « Démarrer », « Tous les programmes »*, « SonicStage », « SonicStage ».

SonicStage démarre.
Si vous utilisez une version précédente de SonicStage, la fenêtre « Outil de conversion de fichiers SonicStage »** s'affiche lorsque vous lancez SonicStage pour la première fois après son installation. Suivez les instructions qui s'affichent dans la fenêtre.

* « Programmes » sous Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professionnel/ Windows 98 Deuxième Édition

** Cet outil convertit les fichiers audio importés sur votre ordinateur avec SonicStage 2.0 ou une version antérieure, en un format de données optimal (OpenMG) pour ce lecteur, afin de transférer ces données à très grande vitesse vers le lecteur.



Suite ⇩

2 Insérez le CD audio à enregistrer dans le lecteur de CD de l'ordinateur.

3 Pointez sur ▼ de « ▼ Source audio » et sélectionnez « Importer un CD » dans le menu.

Le contenu du CD audio s'affiche dans la liste des sources audio.
Si les informations du CD (☞ page 21), telles que le titre de l'album, le nom de l'artiste et les titres des pistes ne peuvent être obtenues automatiquement, connectez l'ordinateur à Internet, puis cliquez sur « Infos CD », sur le côté droit de la fenêtre.

4 Cliquez sur →.

L'enregistrement des pistes sélectionnées commence.
Si vous ne souhaitez pas enregistrer certaines pistes, cliquez sur le numéro de la piste à désélectionner ☑ dans la fenêtre SonicStage avant de cliquer sur →.

Pour modifier le format et le débit binaire (☞ page 21) pour l'enregistrement du CD audio

Cliquez sur « Paramètres » sur la partie droite de l'écran SonicStage pour afficher la boîte de dialogue « Format d'importation de CD [Ma bibliothèque] » avant de cliquer sur → à l'étape 4.
Les paramètres par défaut sont OpenMG Audio (ATRAC3plus) pour le format et 64 kbit/s pour le débit binaire.

Pour arrêter l'enregistrement

Cliquez sur ▬ dans la fenêtre SonicStage.

Remarque

Seuls les CD portant la mention COMPACT DISC DIGITAL AUDIO peuvent être utilisés avec SonicStage. Nous ne garantissons pas un fonctionnement normal en cas d'utilisation de CD protégés contre la copie.

Suite ⇩

Que signifie Infos CD ?

Infos CD se rapporte aux informations relatives aux CD audio, telles que le titre de l'album, le nom de l'artiste, les titres des pistes, etc. En utilisant SonicStage, vous pouvez obtenir gratuitement et automatiquement les informations relatives aux CD par le service Gracenote CDDB (Gracenote Compact Disc DataBase) via Internet lorsque vous insérez le CD audio dans le lecteur de CD de l'ordinateur.
Veuillez noter que vous ne pouvez pas obtenir d'informations relatives aux CD qui ne sont pas enregistrés dans CDDB.

Que signifie ATRAC3/ATRAC3plus ?

ATRAC3 (Adaptive Transform Acoustic Coding3) est une technologie de compression de fichiers audio qui satisfait à des exigences élevées en matière de qualité sonore et de taux de compression. ATRAC3plus est une version plus évoluée de ATTRAC3 qui permet de comprimer des fichiers audio à environ 1/20 de leur taille d'origine à un débit de 64 kbit/s.

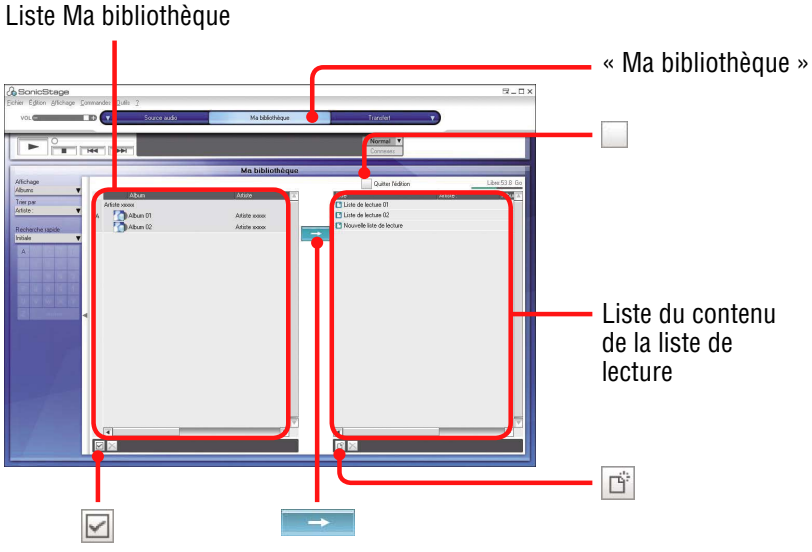
Que signifie format et débit binaire ?

« Format » se rapporte au format d'enregistrement tel que WAV ou ATRAC3plus.
Le débit binaire se rapporte à la quantité de données traitées par seconde. Les débits binaires plus élevés procurent une meilleure qualité sonore. Toutefois, les débits binaires plus élevés requièrent une plus grande capacité de stockage des données.
Les paramètres par défaut sont OpenMG Audio (ATRAC3plus) pour le format et 64 kbit/s pour le débit binaire.
Pour modifier le format et le débit binaire, cliquez sur « Paramètres » sur le côté droit de la fenêtre SonicStage.

Gestion des pistes avec SonicStage

Vous pouvez gérer ou modifier des pistes dans l'écran « Ma bibliothèque » de SonicStage.
Vous pouvez également regrouper vos pistes préférées ou par thèmes pour créer des listes de lecture, puis les gérer comme un album.
Pour plus d'informations sur SonicStage, reportez-vous à l'aide de SonicStage (☞ page 73).

Écran Ma bibliothèque



Modification d'une liste de lecture

Une liste de lecture vous permet de regrouper et de lire vos pistes préférées ou des pistes triées selon un certain thème, comme film, etc.

1 Cliquez sur « Ma bibliothèque ».
L'écran Ma bibliothèque s'affiche.

2 Cliquez sur ☐ (Création/Édition d'une liste de lecture).
La fenêtre principale est remplacée par l'écran Création/Édition d'une liste de lecture.

3 Sélectionnez une ou plusieurs pistes dans la liste Contenu sur la gauche.
Pour sélectionner plusieurs pistes, cliquez sur celles-ci tout en maintenant la touche « Ctrl » enfoncée.
Pour sélectionner toutes les pistes de la liste Contenu, cliquez sur ☑ (Tout sélectionner).

Suite ⇩

4 Sélectionnez la liste de lecture à ajouter dans la liste de droite.

Pour ajouter la piste à une nouvelle liste de lecture, cliquez sur (Créer une nouvelle liste de lecture).
Une liste de lecture vide est créée et s'affiche dans la liste Contenu de la liste de lecture. Vous pouvez maintenant entrer un nom pour la liste de lecture.

5 Cliquez sur →.

Les pistes sélectionnées sont ajoutées au Contenu de la liste de lecture sur la droite.

6 Lorsque vous avez ajouté toutes les pistes souhaitée, cliquez sur (Quitter l'édition).

L'écran Ma bibliothèque s'affiche de nouveau.

Pour ajouter une piste par glisser-déplacer

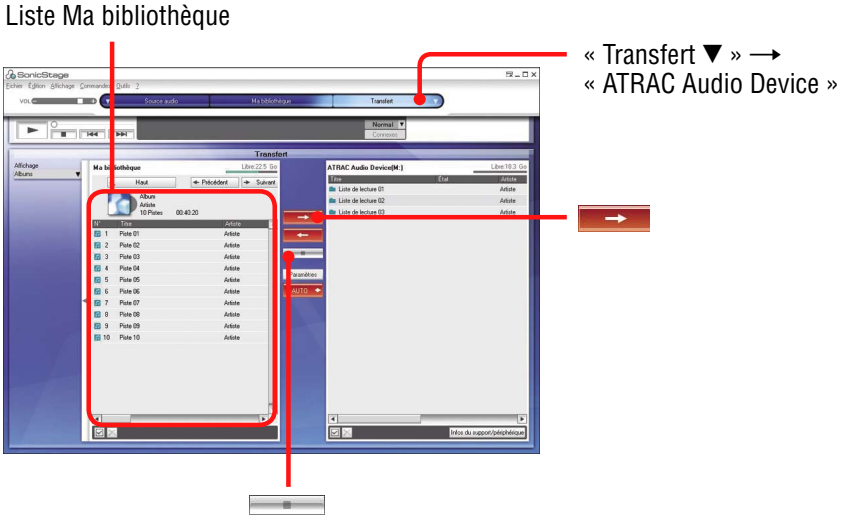
Vous pouvez ajouter une piste en la faisant glisser depuis la liste Ma bibliothèque sur la gauche dans la liste Contenu de la liste de lecture sur la droite. Dans ce cas, la piste est ajoutée dans la liste à la position où elle a été déposée.

Pour vérifier les informations détaillées concernant les albums ou les pistes

Cliquez avec le bouton droit sur l'album ou la piste pour lequel (laquelle) vous voulez des informations détaillées dans la fenêtre SonicStage, puis sélectionnez « Propriétés » dans le menu.
La fenêtre « Propriétés sur l'album » ou « Propriétés sur la piste » s'affiche. Vous pouvez contrôler et modifier les informations dans la fenêtre. Le contenu que vous modifiez dans la fenêtre « Propriétés » sera appliqué à l'écran Ma bibliothèque.

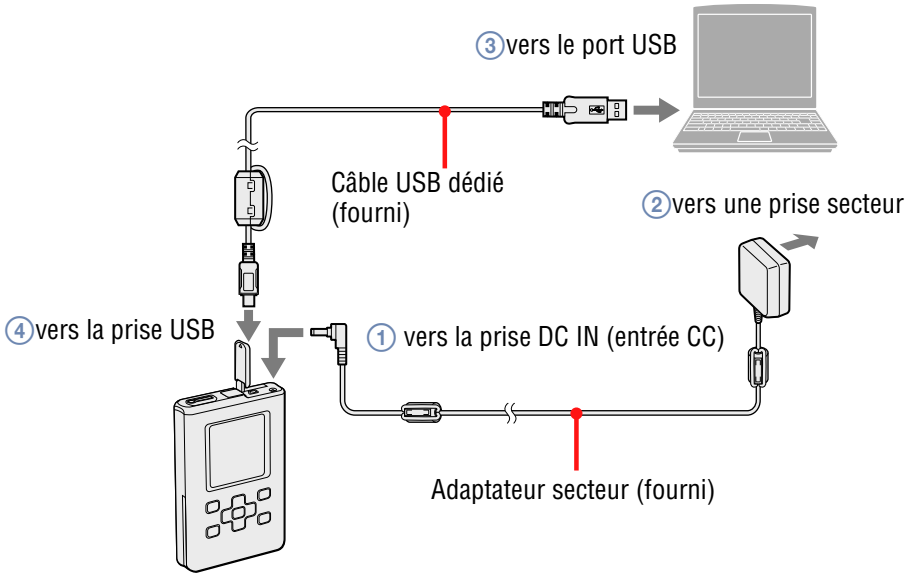
Transfert de données audio vers le lecteur

Transférez les pistes (données audio) stockées dans « Ma bibliothèque » de SonicStage (sur votre ordinateur) vers le lecteur au format ATRAC3plus/MP3. Les données audio à transférer contiennent des informations, telles que le nom de l'artiste et le titre de l'album dans les informations du CD.



1 Raccordez le lecteur à l'ordinateur et à l'adaptateur secteur dans l'ordre croissant de ① to ④.

« Connexion PC » apparaît dans la fenêtre d'affichage.
L'écran de configuration du transfert automatique s'affiche dans la fenêtre SonicStage. Suivez les instructions qui s'affichent dans la fenêtre. Pour plus d'informations, reportez-vous à l'aide de SonicStage (☞ page 73).



Suite ⇩

2 Pointez sur ▼ dans « Transfert ▼ » et sélectionnez « ATRAC Audio Device » dans la liste.

La fenêtre de transfert de pistes de SonicStage au lecteur s'affiche.

3 Dans la liste Ma bibliothèque sur le côté gauche de la fenêtre SonicStage, cliquez sur l'album que vous voulez transférer.

Vous pouvez également transférer uniquement des pistes que vous sélectionnez en cliquant dessus. Pour sélectionner plusieurs pistes ou albums, cliquez sur ces pistes ou albums tout en maintenant la touche « Ctrl » enfoncée.

Vous pouvez également transférer des listes de lecture vers le lecteur (jusqu'à 8 187 listes de lecture et 999 pistes par liste de lecture). Lorsque vous essayez de transférer une liste de lecture qui contient une piste déjà transférée vers le lecteur, seules les données de cette piste sont transférées.

4 Cliquez sur →.

Le transfert des pistes sélectionnées commence.

Vous pouvez vérifier l'état du transfert dans la fenêtre SonicStage.

Pour arrêter le transfert

Cliquez sur dans la fenêtre SonicStage.

Remarques

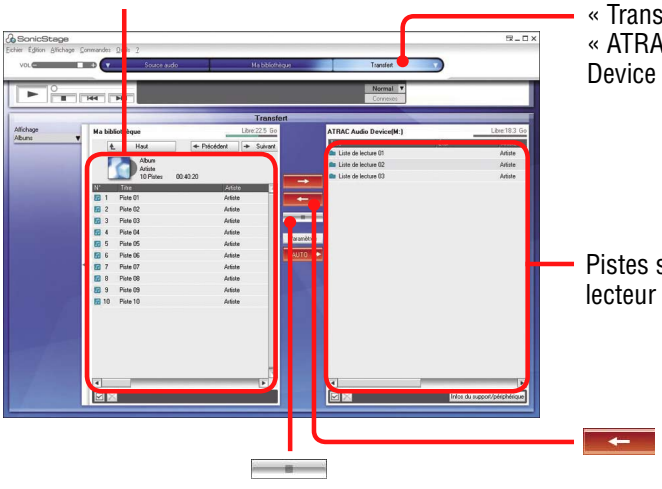
- N'exposez pas le lecteur à des vibrations lors du transfert de données audio. Ne placez pas non plus le lecteur à proximité d'une source de champ magnétique.
- Ne débranchez pas le câble USB et ne retirez pas la batterie pendant le transfert des données. Faute de respecter cette consigne, les données transférées risquent d'être perdues.
- L'utilisation du lecteur par le biais d'un concentrateur USB ou d'une rallonge USB n'est pas garantie. Connectez toujours le lecteur à l'ordinateur à l'aide du câble USB fourni.
- Il est possible que certains périphériques USB connectés à l'ordinateur nuisent au bon fonctionnement du lecteur.
- Les touches de commande du lecteur sont toutes désactivées lorsque celui-ci est connecté à l'ordinateur. Si vous connectez le lecteur à l'ordinateur pendant la lecture, celle-ci s'arrête et la mention « Connexion PC » s'affiche sur l'écran du lecteur.

Suite ⇩

- Le transfert échoue si le lecteur ne dispose pas d'un espace libre suffisant pour les données audio.
- Il se peut que le nombre de transferts d'une piste soit limité pour des raisons de droits d'auteur.
- Il se peut que les pistes à durée ou nombre de lectures limités ne soient pas transférées en raison des restrictions imposées par les détenteurs de droits d'auteur.
- Au cours du transfert, la mise en pause, en veille ou en hibernation du système ne fonctionne pas.
- Selon le type de texte et le nombre de caractères, le texte saisi par SonicStage risque de ne pas s'afficher sur le lecteur en raison des limitations propres au lecteur.
- Une surchauffe peut survenir si le lecteur est connecté trop longtemps à un ordinateur sous tension ou suite au transfert d'une grande quantité de données. Cependant, il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement. Débranchez l'adaptateur secteur et le câble USB dédié du lecteur et ne les rebranchez pas immédiatement.
  Si vous maintenez la partie chaude du lecteur en contact avec une même partie de votre corps pendant un certain temps, même si la température est relativement peu élevée, vous vous exposez à des brûlures du type « basse température ». Évitez de maintenir le lecteur contre la peau pendant des périodes prolongées, notamment si vous avez une peau sensible.
- Lorsqu'il n'y a pas assez de place sur le disque dur du lecteur, le message " PAS DE BDTROUVEE " peut s'afficher, même si le transfert des données audio s'est effectué correctement. Dans ce cas, reconnectez le lecteur à l'ordinateur, puis transférez les données audio inutiles vers l'ordinateur pour libérer de la place sur le lecteur.

Transfert de données audio vers votre ordinateur

Des données audio peuvent être retransférées vers « Ma bibliothèque » SonicStage sur votre ordinateur.



1 Connectez le lecteur à l'ordinateur (voir l'étape 1 de la section « Transfert de données audio vers le lecteur », ☞ page 24).

2 Pointez ▼ dans « Transfert ▼ » et sélectionnez « ATRAC Audio Device » dans la liste.

La fenêtre de transfert de pistes du lecteur à SonicStage s'affiche.

3 Cliquez sur l'album que vous voulez transférer vers Ma bibliothèque sur le côté droit de la fenêtre SonicStage.

Vous pouvez également transférer uniquement des pistes que vous sélectionnez en cliquant dessus.

Pour sélectionner plusieurs pistes ou albums, cliquez sur ces pistes ou albums tout en maintenant la touche « Ctrl » enfoncée.

4 Cliquez sur ←.

Le transfert de l'album sélectionné commence.

Vous pouvez vérifier l'état du transfert dans la fenêtre SonicStage.

Suite ⇩

Pour arrêter le transfert

Cliquez sur  dans la fenêtre SonicStage.

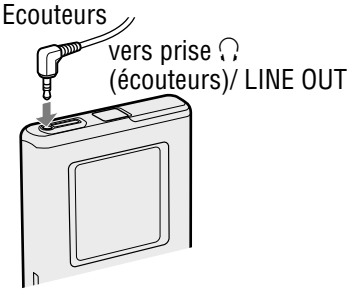
Remarques

- Les pistes transférées vers le lecteur depuis un autre ordinateur ne peuvent être transférées dans le répertoire Ma bibliothèque de votre ordinateur.
- Ne débranchez pas le câble USB et ne retirez pas la batterie pendant le transfert des données. Faute de respecter cette consigne, les données transférées risquent d'être perdues.

Lecture

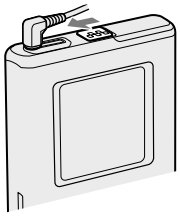
Vous pouvez lire des pistes transférées vers le lecteur à l'aide de SonicStage (☞ page 19).
Vous pouvez sélectionner la langue de votre choix pour le menu et les messages de l'écran (☞ page 54).

1 Connectez les écouteurs à la prise ♫ (écouteurs)/LINE OUT (sortie ligne) du lecteur.



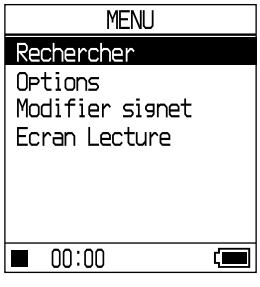
2 Faites coulisser le commutateur HOLD dans le sens de la flèche (voir l'illustration) pour déverrouiller les commandes.

Toutes les touches sont déverrouillées.



3 Appuyez sur n'importe quelle touche du lecteur autre que ▶II.

L'écran MENU s'affiche.



4 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Rechercher », puis appuyez sur ▶II.

L'écran Rechercher s'affiche.



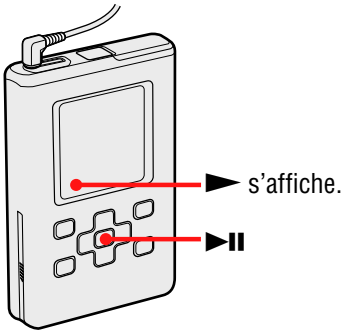
5 Appuyez sur ^/v pour sélectionner le mode de recherche.

Pour rechercher une piste supplémentaire, appuyez sur >.

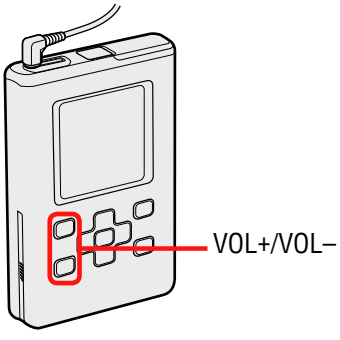
Suite ⇩

6 Appuyez sur ►II.

► s'affiche dans l'angle inférieur gauche de l'écran et la lecture commence.
Pour mettre en pause, appuyez de nouveau sur ►II .



7 Pour régler le volume, appuyez sur VOL+/VOL−.



Quel type de données audio puis-je lire ?

Ce lecteur peut lire les données audio comprimées aux formats ATRAC3plus/MP3.
Les formats de fichiers MP3 pris en charge sont les suivants :
– MPEG-1 Audio Layer-3
– Débit binaire 32 à 320 kbit/s (CBR/VBR)
– Fréquences d'échantillonnage 32/44,1/48 kHz

Remarques

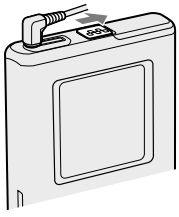
- Les fichiers MP3 non pris en charge par le lecteur peuvent malgré tout être transférés sur celui-ci.
- Si vous essayez de lire des pistes MP3 non compatibles avec ce lecteur, la lecture s'interrompt. Appuyez sur ⁝› pour sélectionner d'autres pistes.
- Lorsque vous utilisez la batterie rechargeable ion-lithium, si le lecteur n'est pas utilisé pendant 30 secondes environ pendant qu'il est à l'arrêt, l'écran s'éteint automatiquement. Lorsque vous faites défiler des titres de piste, etc., l'écran s'éteint 30 secondes environ après la fin du défilement.
- Si la lecture ne démarre pas, vérifiez que le commutateur HOLD est positionné sur off (☞ page 31).

Suite ⇩

Verrouillage des commandes (HOLD)

Vous pouvez éviter d'appuyer par mégarde sur des touches pendant le transport en verrouillant les commandes. « HOLD » clignote sur l'affichage si vous appuyez sur n'importe quelle touche pendant que la fonction HOLD est activée.

Faites coulisser le commutateur HOLD dans le sens de la flèche (voir l'illustration) pour déverrouiller les commandes.



Pour déverrouiller les commandes

Faites coulisser le commutateur HOLD dans le sens opposé à celui de la flèche (voir l'illustration ci-dessus).

Fonctions de base en lecture (lecture, arrêt, avance/retour rapide)

Objectif	Action à effectuer
Reprendre la lecture à l'endroit où vous l'avez arrêtée précédemment	Appuyez sur ▶II. La lecture reprend à l'endroit où vous l'avez arrêtée précédemment.
Arrêter la lecture	Appuyez sur ■.
Rechercher le début de la piste en cours	Appuyez sur ⏮ une fois.
Rechercher le début de pistes précédentes*	Appuyez répétée sur ⏮.
Rechercher le début de la piste suivante*	Appuyez sur ⏭ une fois.
Rechercher le début des pistes suivantes*	Appuyez répétée sur ⏭.
Revenir rapidement en arrière	Maintenez la touché ⏮.
Avancer rapidement	Maintenez la touché ⏭.

* Lorsque la lecture aléatoire de pistes ou d'éléments (☞ page 47) est sélectionnée, l'ordre de lecture est différent.

Pour mettre le lecteur hors tension

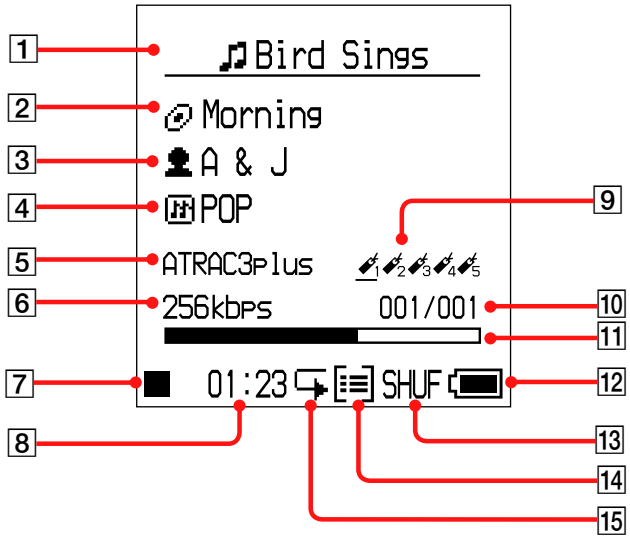
Maintenez la touche ■ enfoncée jusqu'à ce que l'écran s'éteigne.
Pour remettre le lecteur sous tension, appuyez sur n'importe quelle touche.

Suite ⇩

Vérification des informations affichées sur l'écran

Vous pouvez contrôler les données audio et l'état de la lecture sur l'écran du lecteur.

Écran du lecteur pendant la lecture



1 Titre de la piste
2 Titre de l'album
3 Nom de l'artiste
4 Genre
5 ATRAC3/ATRAC3plus/ MP3(☞ page 21)
6 Débit binaire*(☞ page 21)
7 État de la lecture
►: Lecture
■: Arrêter
►►: Avance rapide
◄◄: Retour rapide
I◄◄/►►I: Recherche du début de la piste
8 Temps de lecture écoulé
9 Signet (☞ page 39)
10 Numéro de piste
11 Barre de progression de lecture
12 Capacité disponible de la batterie (☞ page 15)
13 Mode de lecture (☞ page 45), Indicateur de volume sonore (lors du réglage du volume, ☞ page 52)
14 Indicateur d'unité (☞ page 48)
15 Lecture répétée (☞ page 49)

* Si la piste MP3 prend en charge le débit binaire variable (VBR), le débit binaire apparaissant ici peut ne pas correspondre à celui affiché par le logiciel SonicStage.

Remarque

Les caractères A-Z, a-z, 0-9 et les symboles (à l'exception de /) sont pris en charge.

Sélection de pistes pour la lecture (artiste, album, genre, etc.)

En recherchant des pistes dans le lecteur par « Artiste » ou par « Album », etc., vous pouvez sélectionner les pistes que vous souhaitez écouter.
Pour plus de détails sur les écrans correspondants, voir « Arborescence de l'écran Rechercher » (☞ page 35).

1 Appuyez sur SEARCH/–MENU enfoncée.

L'écran Rechercher s'affiche.



2 Appuyez sur ^/v pour sélectionner un mode de recherche.

Si vous appuyez sur ▶II dans un autre mode que « Liste de lecture » ou « Recherche init. », la lecture démarre.
Par exemple, lorsque vous sélectionnez « Artiste », la lecture commence à la première piste du premier album de l'artiste que vous avez sélectionné.
Tous les albums des artistes répertoriés après l'artiste sélectionné sont lus dans l'ordre des numéros de piste.

3 Pour rechercher d'autres pistes, appuyez sur >.

4 Appuyez sur ^/v pour sélectionner un élément à lire, puis appuyez sur ▶II.

La lecture démarre à la piste sélectionnée ou à la première piste de l'élément (artiste, album, etc.) sélectionné. Toutes les pistes répertoriées après les éléments sélectionnés sont lues dans l'ordre des numéros de piste.

Suite ⇩

Pour revenir à l'écran Rechercher

Appuyez sur la touche SEARCH/⬬MENU.

Pour revenir à l'écran MENU

Maintenez la touche SEARCH/⬬MENU enfoncée.
Pour revenir à l'écran de lecture, sélectionnez « Ecran Lecture » dans l'écran MENU, puis appuyez sur ▶II.

Pour revenir à la liste des pistes

Appuyez sur ^/v.

Pour arrêter la lecture dans l'écran Rechercher

Appuyez sur ■.

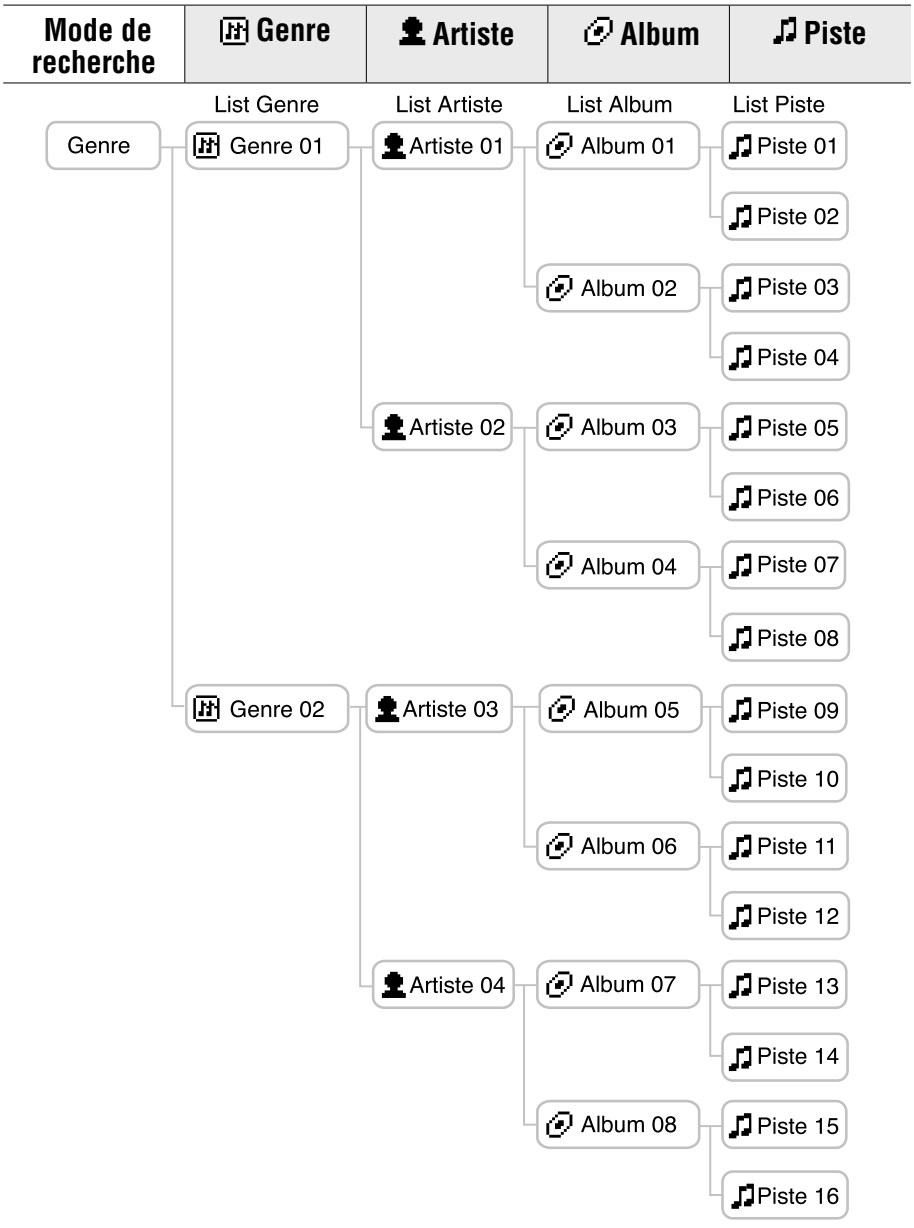
Pour faire défiler plusieurs éléments à la fois

Appuyez deux fois rapidement sur ^ ou sur v dans l'écran Rechercher, puis maintenez la touche enfoncée pendant quelques secondes.
Tous les éléments énumérés dans l'écran défilent par sauts de plusieurs éléments à la fois.
Lorsque vous maintenez la touche ^ ou v enfoncée pendant quelques secondes, les éléments défilent vers le haut plus rapidement.

Suite ⇩

Arborescence de l’écran Rechercher

Les mode de recherche suivants sont disponibles dans l’écran Rechercher : « Artiste », « Album », « “ Genre », « Piste », « Nouvelles pistes », « Recherche init. » et « Liste de lecture ». L’arborescence Genre, Artiste, Album et Piste est la suivante.
Dans n’importe quel écran Rechercher en mode Artiste, Album, Piste, Genre et Nouvelles pistes, vous pouvez commencer la lecture en appuyant sur ▶II.
Pour sélectionner et lire des pistes : dans Nouvelles pistes, voir ☞ page 36, dans Liste de lecture, voir ☞ page 36, voir ☞ page 38, dans Recherche initiale.

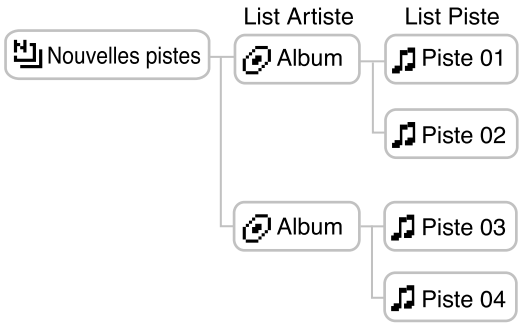


Sélection de pistes dans « Nouvelles pistes »

Vous pouvez sélectionner des pistes d'albums récemment transférés vers le lecteur (les 5 derniers transferts).

1 Sélectionnez « Nouvelles pistes » dans l'écran Rechercher (à l'étape 2, ☞ page 33), puis appuyez sur ⟩.

La liste des nouvelles pistes s'affiche. L'arborescence de « Nouvelles pistes » figure ci-dessous.



2 Appuyez sur ⟨/⟩ pour sélectionner un élément à lire, puis appuyez sur ►II.

La lecture démarre à la piste sélectionnée ou à la première piste de l'album sélectionné. Toutes les pistes répertoriées après les éléments sélectionnés sont lues dans l'ordre des numéros de piste.

Sélection d'une piste par la première lettre de la piste (Recherche initiale)

Vous pouvez sélectionner des pistes en recherchant la première lettre d'un titre de piste.
Le lecteur recherche un titre de piste dans les informations du CD de SonicStage.

1 Appuyez sur SEARCH/–MENU enfoncée.

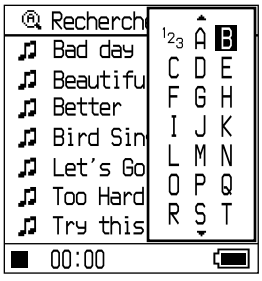
L'écran Rechercher s'affiche.



Suite ⇩

2 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Recherche init. », puis appuyez sur ►II.

La liste des pistes s'affiche, puis la fenêtre de sélection d'un caractère s'affiche.



3 Appuyez sur ^/v/</> pour sélectionner la première lettre du titre de la piste, puis appuyez sur ►II.

Les pistes dont le titre commence par la lettre sélectionnée s'affichent dans la liste. S'il n'y a aucune piste dont le titre commence par la lettre sélectionnée, celles dont le titre commence par les lettres suivantes s'affichent.



4 Appuyez sur ^/v pour sélectionner la piste à lire, puis appuyez sur ►II.

La lecture commence à la piste sélectionnée. Toutes les pistes énumérées après les pistes sélectionnées sont lues dans l'ordre des numéros de piste.

Pour revenir à l'écran Rechercher

Appuyez sur la touche SEARCH/●MENU.

Pour revenir à l'écran MENU

Maintenez la touche SEARCH/●MENU enfoncée.

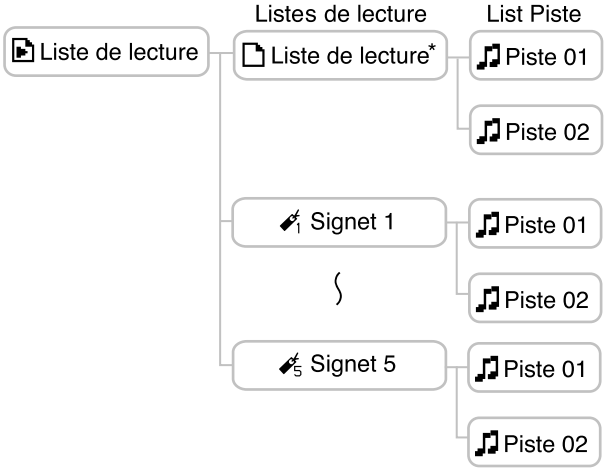
Suite ⇩

Sélection de pistes dans « Liste de lecture »

Vous pouvez sélectionner des pistes dans des listes de lecture modifiées à l'aide de SonicStage ou des pistes enregistrées dans des signets (Signet 1 à Signet 5) sur le lecteur. Pour enregistrer une piste dans un signet, voir ☞ page 39.

1 Sélectionnez « Liste de lecture » dans l'écran Rechercher (à l'étape 2, ☞ page 33), puis appuyez sur .

La liste de lecture s'affiche. L'arborescence de la liste de lecture figure ci-dessous.



* Un nom de liste de lecture affiché dans la liste du contenu de la liste de lecture correspond au nom que vous avez créé dans SonicStage.

2 Appuyez sur /pour sélectionner un élément à lire, puis appuyez sur ►II.

Modification de signets sur le lecteur

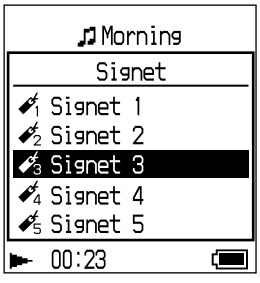
Il y a deux types de listes de lecture, à savoir les listes de lecture de SonicStage et les listes de lecture du lecteur. Une liste de lecture du lecteur comprend des listes de lecture créées dans SonicStage et des signets créés sur le lecteur. Pour plus de détails sur l'arborescence de la liste de lecture, voir ☞ page 38. Vous ne pouvez modifier des listes de lecture que sur l'appareil sur lequel elles ont été créées. Les signets créés sur le lecteur ne peuvent pas être modifiés ou affichés dans SonicStage.

Enregistrement d'une piste dans un signet (Lecture d'une piste d'un signet)

Vous pouvez enregistrer vos pistes préférées dans des signets. Pour lire des pistes enregistrées, sélectionnez « Liste de lecture » dans l'écran Rechercher (☞ page 33).

1 Pendant la lecture de la piste que vous souhaitez enregistrer dans un signet, maintenez la touche .

L'écran Signet s'affiche.



2 Appuyez sur / pour sélectionner un signet dans lequel la piste est enregistrée, puis appuyez sur ►II.

Les indications « Avec signet » et le nombre de signets (le nombre de pistes pourvues d'un signet/le nombre de signets pouvant être ajoutés) s'affichent, puis l'icône de signet s'affiche.

3 Si vous souhaitez ajouter un signet à plusieurs pistes, répétez les étapes 1 et 2.

Vous pouvez enregistrer jusqu'à 100 pistes dans chaque signet.

Suite ⇩

Pour lire des pistes enregistrées dans des signets

1 Appuyez sur la touche SEARCH/MENU.
L'écran Rechercher s'affiche.
2 Appuyez sur /pour sélectionner « Liste de lecture », puis appuyez sur ▶II.
3 Appuyez sur /pour sélectionner « Signet », puis appuyez sur .
Si vous appuyez sur ▶II et non sur , la lecture commence à la première piste du signet sélectionné.
4 Appuyez sur /pour sélectionner une piste, puis appuyez sur ▶II.
Une ligne s'affiche sous l'icône de signet dans l'écran de lecture.

Pour supprimer des signets

Pendant la lecture de la piste de laquelle vous souhaitez supprimer un signet, en suivant les étapes ci-dessus, maintenez la touche enfoncée. La mention « Signet effacé » s'affiche et l'icône de signet disparaît de l'écran.

Remarques

- Vous ne pouvez enregistrer une piste dans un signet que pendant la lecture.
- Vous ne pouvez supprimer un signet d'une piste que pendant la lecture de celle-ci en suivant les étapes ci-dessus.

Redisposition de l'ordre des pistes dans un signet

Vous pouvez redisposer l'ordre des pistes enregistrées dans un signet.

1 Maintenez la touche SEARCH/MENU enfoncée.

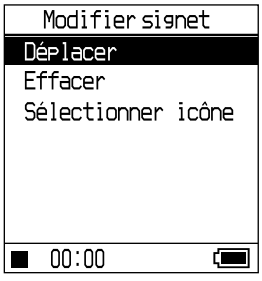
L'écran MENU s'affiche.



Suite ⇩

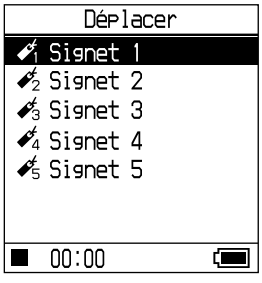
2 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Modifier Signet », puis appuyez sur ►II ou sur >.

L'écran Modifier Signet s'affiche.



3 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Déplacer », puis appuyez sur ►II ou sur >.

La liste des signets s'affiche.



4 Appuyez sur ^/v pour sélectionner le signet à modifier puis appuyez sur ►II ou sur >.

La liste des pistes du signet sélectionné s'affiche.



5 Appuyez sur ^/v pour sélectionner la piste à déplacer, puis appuyez sur ►II.

La piste sélectionnée clignote.

6 Appuyez sur ^/v pour sélectionner la destination de la piste à déplacer, puis appuyez sur ►II.

La piste sélectionnée à l'étape 5 se déplace jusqu'à l'emplacement sélectionné à l'étape 6.

Si vous voulez déplacer d'autres pistes, répétez les étapes 5 et 6.

7 Appuyez sur > ou sur ■.

La boîte de dialogue de confirmation s'affiche.



Suite ⇩

8 Pppuyez sur ⏮/⏭ pour sélectionner « Oui », puis appuyez sur ▶II.

« Modifications enregistrées. » s'affiche sur l'écran du lecteur.
Si vous sélectionnez « Non », la modification de la liste de lecture est annulée et l'écran Modifier Signet s'affiche de nouveau.

Effacement de pistes avec signet

Vous pouvez effacer des pistes enregistrées dans un signet.

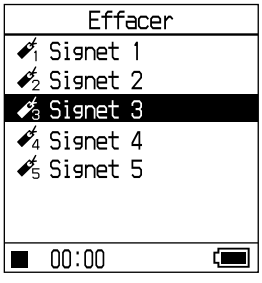
1 Sélectionnez « ♫ Effacer » à l'étape 3 de la section « Redisposition de l'ordre des pistes dans un signet » (☞ page 40), puis appuyez sur ▶II ou sur ⏭.

L'écran Effacer s'affiche.



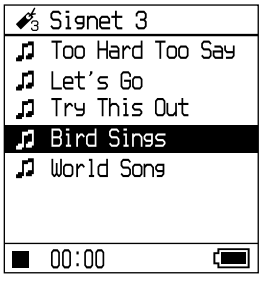
2 Appuyez sur ∧/∨ pour sélectionner « Piste » ou « Signet », puis appuyez sur ▶II.

La liste des signets s'affiche.



3 Appuyez sur ∧/∨ pour sélectionner Signet, puis appuyez sur ▶II ou sur ⏭.

Si vous sélectionnez « Piste »à l'étape 2, la liste des pistes s'affiche.
Si vous sélectionnez « Signet »à l'étape 2, passez à l'étape 6.



Suite ⇩

4 Appuyez sur ^/v pour sélectionner une piste à effacer,puis appuyez sur ▶II.

La piste sélectionnée est supprimée de la liste.
Lorsque vous voulez effacer plusieurs pistes d'un signet, répétez cette étape.

5 Appuyez sur > ou sur ■.

La boîte de dialogue de confirmation s'affiche.



6 Appuyez sur < / > pour sélectionner « Oui », puis appuyez sur ▶II.

« Modifications enregistrées. » s'affiche et l'écran Modifier Signet s'affiche de nouveau.

Si vous avez sélectionné « Signet » à l'étape 2
le message « Confirmer l'effacement de toutes les pistes avec signet ? » s'affiche sur l'écran. Sélectionnez « Oui ».
Si vous sélectionnez « Non », la modification des signets est annulée et l'écran Modifier Signet s'affiche de nouveau.

Pour faire défiler plusieurs éléments à la fois

Appuyez deux fois rapidement sur ^ ou sur v dans l'écran d'une liste de pistes comme indiqué à la section « Redisposition de l'ordre des pistes dans un signet » (☞ page 40), ou à la section « Effacement de pistes avec signet » (☞ page 42), puis maintenez-la enfoncée pendant quelques secondes.
Tous les éléments énumérés dans l'écran défilent par sauts de plusieurs éléments à la fois.
Lorsque vous maintenez la touche ^ ou v enfoncée pendant quelques secondes, les éléments défilent vers le haut plus rapidement.

Remarque

Vous ne pouvez pas modifier un signet pendant la lecture ou la pause d'une piste enregistrée dans ce signet.

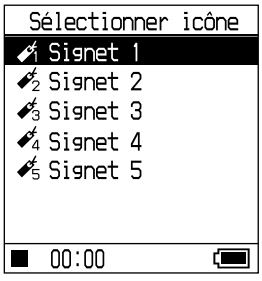
Suite ⇩

Modification de l’icône d’un signet

Vous pouvez sélectionner une icône de signet qui apparaît sur les pistes avec signet. Il est pratique d’utiliser une icône de signet différente pour chaque signet (Signet 1 à 5).

1 Sélectionnez « Sélectionner icône » à l’étape 3 de la section « Redisposition de l’ordre des pistes dans un signet » (☞ page 40), puisappuyez sur ►II ou sur .

La liste des signets s’affiche.



2 Appuyez sur / **pour sélectionner le signet dont vous voulez modifier l’icône, puis appuyez sur ►II.**

L’écran « Sélectionner icône » s’affiche.



3 Appuyez sur / / / pour sélectionner une icône, puis appuyez sur ►II.

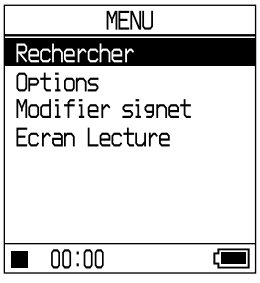
L’icône sélectionnée s’affiche avec la piste avec signet.

Changement des options de lecture (Mode de lecture)

Vous pouvez utiliser diverses options de lecture (Mode de lecture), par exemple sélectionner des morceaux que vous souhaitez écouter ou lire des pistes dans un ordre aléatoire.
Pour plus de détails sur les options de lecture et sur la plage de lecture, voir « Options de lecture » (☞ page 47).
Vous pouvez également lire des pistes dans un ordre aléatoire (☞ page 47, 49) ou répéter des pistes en utilisant les options de lecture sélectionnées (lecture répétée, ☞ page 49).

1 Maintenez la touche SEARCH/–MENU enfoncée.

L'écran MENU s'affiche.



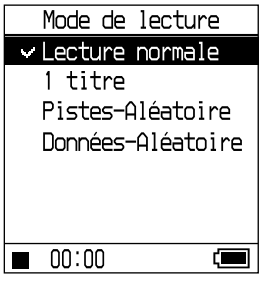
2 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Options », puis appuyez sur ►II.

L'écran Options s'affiche.



3 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Mode de lecture », puis appuyez sur ►II.

La liste du Mode de lecture s'affiche.



Suite ⇩

4 Appuyez sur ⏮/⏭ pour sélectionner une option de lecture, puis appuyez sur ▶II.

Le réglage par défaut est « Lecture normale ».

5 Appuyez sur SEARCH/⬬MENU pour afficher l'écran Rechercher, puis sélectionnez la catégorie de recherche pour la lecture (☞ page 33).

Pour restreindre la catégorie de recherche pour la lecture, appuyez sur ⏭.

6 Appuyez sur ▶II.

La lecture démarre dans l'option de lecture sélectionnée.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur ■ pour revenir à l'écran Options.

Pour revenir à la lecture normale

À l'étape 4, sélectionnez « Lecture normale ».

Pour revenir à l'écran MENU

Maintenez la touche SEARCH/⬬MENU enfoncée.

Suite ⇩

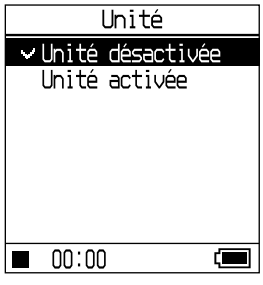
Options de lecture (Mode de lecture)

Écran/icône du lecteur	Explication
Lecture normale/Pas d'icône (Lecture normale)	Toutes les pistes après la piste sélectionnée sont lues une fois dans l'ordre des numéros de piste. Lorsque vous sélectionnez un élément (album, artiste, etc.) autre qu'une piste, toutes les pistes sont lues une fois, à partir de la première piste de l'élément dans l'ordre des numéros de piste.
1 titre/ 1 (Lecture d'un titre)	La piste sélectionnée est lue une seule fois. Lorsque vous sélectionnez un élément (album, artiste, etc.) autre qu'une piste, seule la première piste est jouée une fois.
Pistes-Aléatoire/ SHUF	Toutes les pistes sont lues une fois dans un ordre aléatoire.
Données-Aléatoire/ SHUF	Tous les albums sont lus une fois dans un ordre aléatoire (Album-aléatoire). L'ordre de lecture dans les albums est l'ordre des numéros de piste. Lorsque « Unité » est réglé sur « Unité activée »(☞ page 47), les pistes sont lues en Unité-Aléatoire(☞ page 49).

Lecture de pistes dans une catégorie de recherche sélectionnée (Lecture d'unité)

1 Sélectionnez « Unité » à l'étape 3 de la section « Changement des options de lecture » (☞ page 45), puis appuyez sur ►II.

L'écran Unité s'affiche.



2 Appuyez sur / pour sélectionner « Unité activée », puis appuyez sur ►II.

Suite ⇩

3 Appuyez sur SEARCH/MENU pour afficher l'écran Rechercher, puis sélectionnez la catégorie de recherche pour la lecture (☞ page 33).

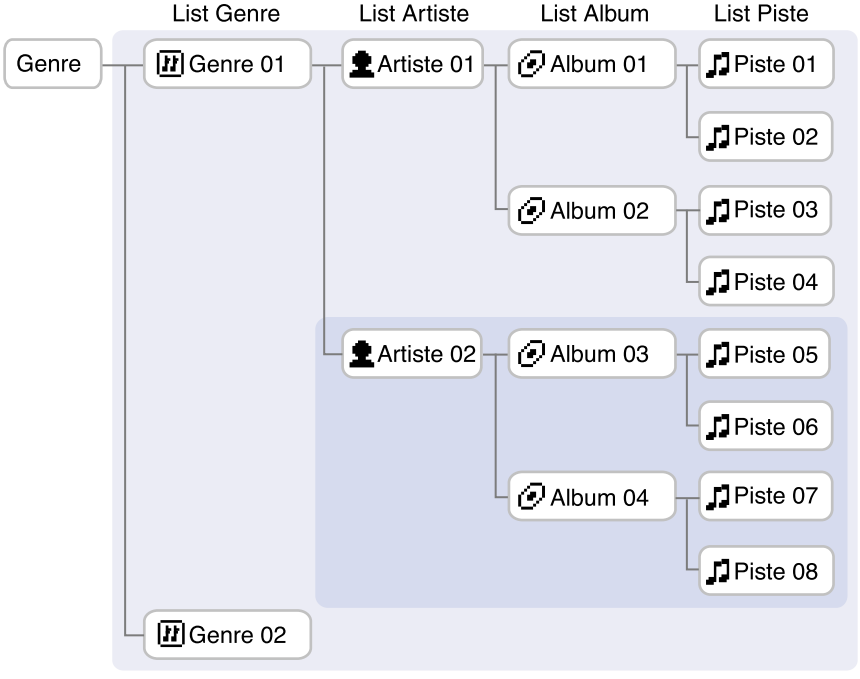
4 Appuyez sur ▶II.

La lecture commence dans l'unité dans l'ordre des numéros de piste.

Qu'est-ce qu'une unité (catégorie de recherche pour la lecture) ?

L'ensemble des éléments (artiste, album, piste, etc.) appartenant à l'élément sélectionné lorsque vous commencez une lecture est appelé « unité ».

ex. : Si vous lancez une lecture après avoir sélectionné « Genre 01 »
Les pistes comprises entre Piste 01 et Piste 08 formeront l'unité.
Si vous lancez une lecture après avoir sélectionné « Artiste 02 »
Les pistes comprises entre Piste 05 et Piste 08 formeront l'unité.



Remarques

- Lorsque vous commutez de « Unité activée » à « Unité désactivée » ou de « Unité désactivée » à « Unité activée », l'unité est réinitialisée afin d'inclure toutes les pistes du lecteur.
- Lorsque vous sélectionnez une piste comme catégorie de recherche pour la lecture à l'étape 3, l'album qui contient la piste devient l'unité.

Suite ⇩

Pistes-Aléatoire dans l'unité (mode de lecture « Pistes-Aléatoire » lorsque l'« Unité » est réglée sur « Unité activée »)

Si vous réglez « Unité » sur « Unité activée » dans l'écran Options, tous les éléments (artiste, album, piste) énumérés dans l'unité lorsque vous lancez la lecture sont lus dans un ordre aléatoire.

Unité-Aléatoire (mode de lecture « Données-Aléatoire » lorsque l'« Unité » est réglée sur « Unité activée")

Si vous réglez « Unité » sur « Unité activée » dans l'écran Options, les éléments de la première arborescence de l'unité sont lues dans un ordre aléatoire. L'ordre de lecture dans les unités est l'ordre des numéros de piste.

Remarques

- Lorsque vous sélectionnez « ♫ Piste » sur l'écran Rechercher et lancez la lecture en mode aléatoire, toutes les pistes du lecteur sont lues dans un ordre aléatoire, quelle que soit la configuration des modes « Unité activée/désactivée » ou « Piste/Données-Aléatoire ».
- Si vous sélectionnez « Liste de lecture » dans l'écran Rechercher et que vous sélectionnez une « Liste de lecture » ou un « Signet » pour lancer une lecture en mode aléatoire, toutes les pistes de la liste de lecture ou du signet sont lues dans un ordre aléatoire, quel que soit le réglage du paramètre « Unité Activée/Désactivée » ou du mode « Pistes/Données-Aléatoire ».

Lecture répétée de pistes (Lecture répétée)

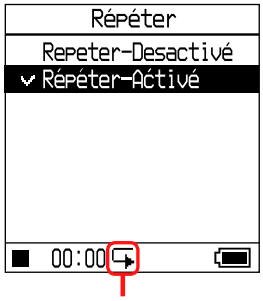
La lecture des pistes est répétée dans les options de lecture sélectionnées ☞ page 47.

1 Sélectionnez « Répéter » à l'étape 3 de la section « Changement des options de lecture » (☞ page 45), puis appuyez sur ►II.

L'écran Répéter s'affiche.



2 Appuyez sur / pour sélectionner « Répéter-Activé », puis appuyez sur ►II.



s'affiche.

Suite ⇩

3 Appuyez sur SEARCH/MENU pour afficher l'écran Rechercher, puis sélectionnez la catégorie de recherche pour la lecture (☞ page 33).

4 Appuyez sur ▶II.
La lecture démarre dans l'option de lecture sélectionnée.

Pour annuler la configuration à tout moment en cours d'utilisation
Appuyez sur ■ pour revenir à l'écran Options.

Pour annuler la lecture répétée
À l'étape 2, sélectionnez « Répéter-Désactivé ».

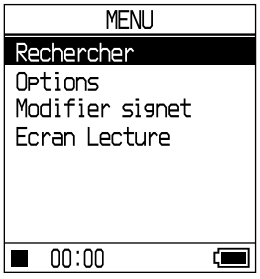
Pour revenir à l'écran Rechercher
Appuyez sur la touche SEARCH/MENU.

Modification de la qualité sonore et des réglages

Pour obtenir des détails sur les différents éléments de réglage, voir ☞ page 52.

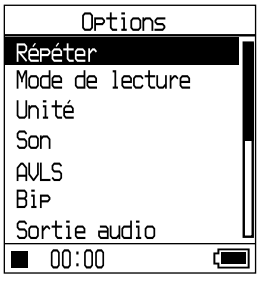
1 Maintenez la touche SEARCH/● MENU enfoncée.

L'écran MENU s'affiche.



2 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Options », puis appuyez sur ►II.

L'écran Options s'affiche.



3 Appuyez sur ^/v pour sélectionner une option, puis appuyez sur ►II.

Pour modifier la qualité sonore

Après l'étape 3, appuyez sur ^/v pour sélectionner « Son » (☞ page 52), puis appuyez sur ►II.

Pour revenir à l'écran précédent

Appuyez sur <.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur ■ pour revenir à l'écran Options.

Pour revenir à l'écran MENU

Maintenez la touche SEARCH/●MENU enfoncée.

Suite ⇩

Éléments de configuration pour la qualité sonore et les écrans

Élément	Options (● : paramètre par défaut)		
Son	●Son désactivé		Lit les pistes en qualité sonore normale.
	Mot acoustiq VPT [1) 2)]	Studio (VS)	Recrée le son d'un studio d'enregistrement.
		Live (VL)	Recrée le son d'une salle de concert.
		Discothèque (VC)	Recrée le son d'une discothèque.
		Arène (VA)	Recrée le son d'un stade.
	Égaliseur 6 bandes [1) 2)]	Fort (SH)	Lecture des pistes avec un son puissant, avec accentuation des aigus et des graves par rapport au mode Pop
		Pop (SP)	Lecture des pistes avec un son adapté aux voix, avec accentuation des fréquences intermédiaires.
		Jazz (SJ)	Lecture des pistes avec un son entraînant, avec accentuation des aigus et des graves.
		Unique (SU)	Lectures des pistes avec un son spécial, avec accentuation des aigus et des graves par rapport aux fréquences intermédiaires.
		Perso 1 (S1)	Lecture des pistes avec un son personnalisé (pour plus d'informations, ☞ page 55).
		Perso 2 (S2)	
	Prérégl son numér [2)]	Perso 3 (S3)	Lecture des pistes avec un niveau d'aigus et de graves prédéfini (pour plus d'informations ☞ page 56).
		Perso 4 (S4)	

1) Les réglages ne sont pris en compte que lors de la lecture de pistes audio ATRAC3plus. Lors de la lecture d'une piste audio MP3, les réglages ne sont pas pris en compte.

2) Les réglages sonores s'affichent sur l'écran sous forme de lettres entre parenthèses (☞ page 32).

Suite ⇩

Élément	Options (● : paramètre par défaut)	
AVLS [1]	●AVLS désactivé	Le volume change sans limitation du niveau.
	AVLS activé	Le volume maximum est limité afin de protéger votre ouïe.
Bip	●Bip activé	Un signal sonore est émis à chaque utilisation du lecteur.
	Bip désactivé	Le signal sonore est désactivé.
Sortie audio	●Ecouteurs	Sélectionnez cette option lorsque vous branchez les écouteurs fournis.
	Line Out	Sélectionnez cette option lorsque vous branchez d'autres périphériques, comme des haut-parleurs, avec un cordon audio (☞ page 58).
Rétroéclairage [2]	●10 s	Le rétroéclairage s'allume pendant la durée sélectionnée lorsque vous appuyez sur une touche ou lorsque vous faites défiler des éléments sur l'écran.
	30 s	
	Tjrs désactivé	Le rétroéclairage s'éteint pour économiser le courant.
Contraste [3]	●Centre	L'écran est modérément lumineux. Si le boîtier du lecteur est noir, le réglage par défaut est le deuxième en partant de la gauche.
	–/+	Positionnez le curseur vers – pour un affichage plus lumineux ou vers + pour un affichage plus sombre. Le niveau est réglé sur centre lorsque vous appuyez simultanément sur ⏜ et sur SEARCH/⬬MENU dans n'importe quel écran.
Inverser l'écran	●Négatif	Les caractères et les icônes s'affichent en blanc sur fond noir.
	Positif	Les caractères et les icônes s'affichent en noir sur fond blanc.

1) AVLS est l'abréviation d'Automatic Volume Limiter System (système de limitation automatique du volume).
2) Si vous appuyez sur VOL+/VOL− lorsque le rétroéclairage est éteint, il s'allume.
3) La valeur par défaut des paramètres est rétablie si vous appuyez simultanément sur ⏜ et sur SEARCH/⬬MENU.

Suite ⇩

Élément	Options (● : réglage par défaut)	
Orienter l'écran	●Vertical	L'écran est lisible lorsque le lecteur est tenu verticalement.
	Auto	Réglage automatique de l'orientation de l'écran à l'aide de la fonction Capteur G [1]. L'orientation de l'écran s'établit dans la direction appropriée lorsque vous mettez le lecteur sous tension.
	Droit	Fait pivoter l'écran vers la gauche pour vous permettre d'exploiter le lecteur avec la main gauche.
	Gauche	Fait pivoter l'écran vers la droite pour vous permettre d'exploiter le lecteur avec la main droite.
Langue	日本語	Les messages et les menus sont en japonais.
	●English	Les messages et les menus sont en anglais.
	Français	Les messages et les menus sont en français.
	Deutsch	Les messages et les menus sont en allemand.
	Italiano	Les messages et les menus sont en italien.
	Español	Les messages et les menus sont en espagnol.
	簡体中文 [2]	Les messages et les menus sont en chinois simplifié.
	繁體中文 [2]	Les messages et les menus sont en chinois traditionnel.
	한글 [2]	Les messages et les menus sont en coréen.
Initialiser système [3]	Param. par défaut	Tous les paramètres de l'écran MENU sont réglés aux valeurs par défaut d'usine (☞ page 60).
	Init. disque dur	Toutes les données du lecteur sont effacées (☞ page 62).
	Màj du micrologiciel	Mise à jour du micrologiciel du lecteur (☞ page 64).

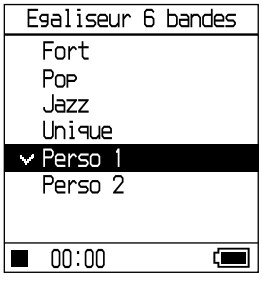
1) Capteur G est la fonction qui détecte l'orientation du lecteur.
2) Selon le pays où vous utilisez le lecteur, ces langues peuvent ne pas s'afficher.
3) Il est impossible de rétablir la valeur par défaut des paramètres pendant la lecture ou la pause.
4) Cette fonction n'est pas disponible pour l'instant. Veuillez patienter jusqu'à que des informations soient communiquées.

Suite ⇩

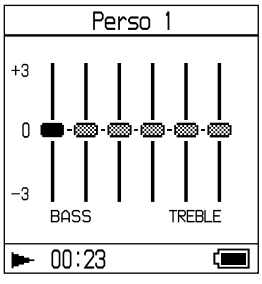
Personnalisation de la qualité sonore (Égaliseur 6 bandes – Personnalisé)

Vous pouvez régler individuellement la qualité sonore pour chacune des plages de fréquence, en vérifiant les réglages sur l'écran.

1 Après avoir sélectionné « Son » à l'étape 3 de la section « Modification de la qualité sonore et des réglages » (☞ page 51), sélectionnez « Égaliseur 6 bandes », puis appuyez sur ►II.

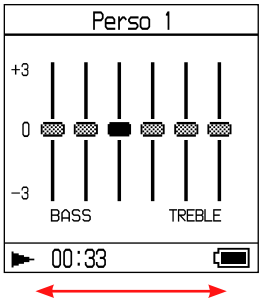


2 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Perso 1 » ou « Perso 2 », puis appuyez sur ►II.



3 Appuyez sur < / > pour sélectionner la plage de fréquences.

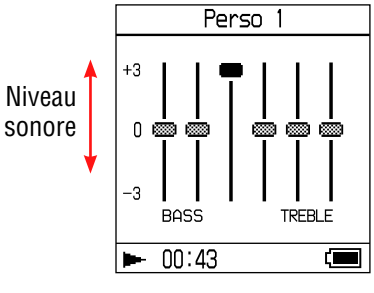
Il existe 6 plages de fréquences.



Plage de fréquences

4 Appuyez sur ^/v pour sélectionner le niveau sonore.

Le volume sonore peut avoir sept niveaux de réglage.



Niveau sonore

Suite ⇩

5 Répétez les étapes 3 et 4 pour régler les plages de fréquences restantes.

6 Appuyez sur ►II.

L'écran Egaliseur 6 bandes s'affiche de nouveau.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur ■ pour revenir à l'écran Egaliseur 6 bandes.

Pour revenir à l'écran MENU

Maintenez la touche SEARCH/⬬MENU enfoncée.

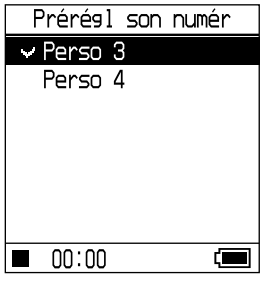
Remarques

- Baissez le volume si vous constatez une distorsion du son due aux réglages lorsque vous montez le volume.
- Si vous remarquez une différence de volume sonore entre les réglages de son « Perso 1 » ou « Perso 2 » et les autres réglages de son, réglez le volume en fonction de vos préférences.
- Lors de la lecture d'une piste audio MP3, les réglages ne sont pas appliqués.

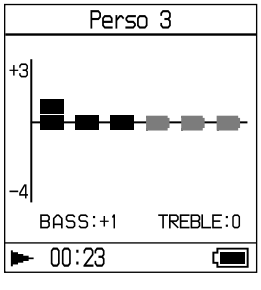
Réglage de l'accentuation des aigus et des grave (Préréglage du son numérique)

Vous pouvez prédéfinir les niveaux d'aigus et de graves à votre convenance. Tout en vérifiant l'écran, réglez les paramètres d'accentuation.

1 Après avoir sélectionné « Son » à l'étape 3 de la section « Modification de la qualité sonore et des réglages » (☞ page 51), sélectionnez « Prérégl son numér », puis appuyez sur ►II.



2 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Perso 3 » ou « Perso 4 », puis appuyez sur ►II.



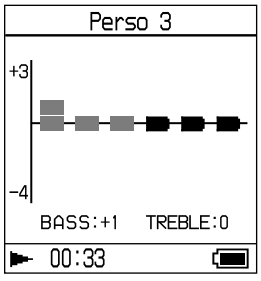
Paramètre par défaut

Qualité sonore	Perso 3 (S3)	Perso 4 (S4)	Arrêt (Son normal)
Bass	+1	+3	±0
Treble	±0	±0	±0

Suite ⇩

3 Appuyez sur ⏮/⏭ pour sélectionner « Treble » ou « Bass ».

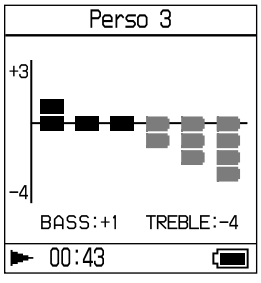
Vous pouvez régler le niveau des aigus et des graves.



4 Appuyez sur ∧/∨ pour sélectionner le niveau sonore.

Le volume sonore peut avoir huit niveaux de réglage.

Qualité sonore	Niveau d'accentuation
Bass	-4 to +3
Treble	-4 to +3



5 Appuyez sur ▶II.

L'écran Prérégl son numér s'affiche de nouveau.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur ■ pour revenir à l'écran Prérégl son numér.

Pour revenir à l'écran MENU

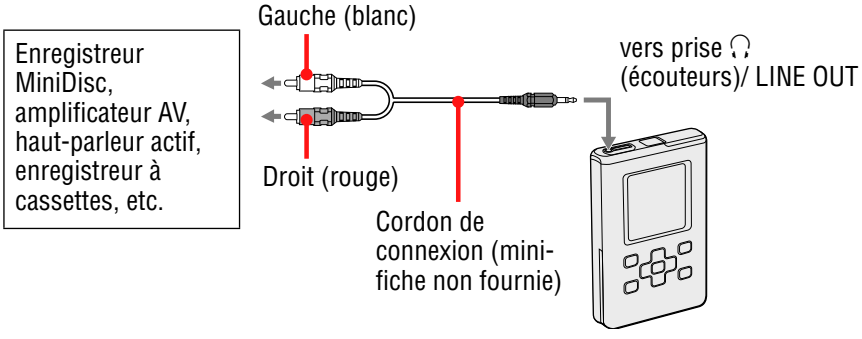
Maintenez la touche SEARCH/⬬MENU enfoncée.

Remarques

- Les niveaux de graves et d'aigus figurent respectivement sur les extrémités gauche et droite des graphiques « Perso 3 » et « Perso 4 ». Vous ne pouvez pas régler les niveaux intermédiaires individuellement car ceux-ci dépendent des niveaux de graves et d'aigus et sont modifiés automatiquement.
- Baissez le volume si vous constatez une distorsion du son due aux réglages lorsque vous montez le volume.
- Si vous remarquez une différence de volume sonore entre les réglages de son « Perso 3 » ou « Perso 4 » et les autres réglages de son, réglez le volume en fonction de vos préférences.

Raccordement d'autres périphériques

Vous avez la possibilité d'écouter des pistes via une chaîne stéréo et d'enregistrer des pistes du lecteur sur un MiniDisc ou une cassette. Reportez-vous au manuel fourni avec le périphérique que vous voulez raccorder.
Veillez à éteindre tous les appareils avant d'effectuer un raccordement et à modifier les paramètres comme indiqué ci-dessous.



Vous devez modifier le réglage de « Sortie audio » dans l'écran Options afin que la sortie audio se fasse vers le périphérique connecté. Les réglages de « Sortie audio » sont indiqués ci-dessous. Pour effectuer ces réglages, voir ☞ page 51.

Périphérique connecté	Réglage
Écouteurs	Ecouteurs
Périphérique connecté au moyen d'un cordon de connexion	Line Out

Réglez ce paramètre sur « Line Out » lorsque vous connectez un autre appareil. Lorsque le réglage est « Line Out », le volume ne peut pas être modifié et les réglages du paramètre « Son » ne sont pas disponibles et ne sont pas pris en compte.

Remarques

- Lorsque les écouteurs fournis sont connectés au lecteur, ne réglez pas le paramètre « Sortie audio » sur « Line Out ». S'il est réglé sur « Line Out », le volume ne peut pas être réglé et le son est déformé et parasité.
- Avant de commencer la lecture, baissez le volume de l'appareil connecté afin d'éviter d'endommager le haut-parleur connecté.

Stockage de données autres que fichiers audio

L'Explorateur Windows vous permet de transférer des données du disque dur d'un ordinateur vers le disque dur intégré du lecteur.
Le disque dur intégré du lecteur s'affiche dans l'Explorateur Windows en tant que lecteur externe (en tant que support amovible).

Remarques

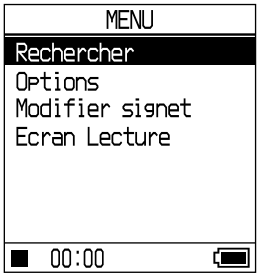
- N'utilisez pas SonicStage pendant que vous exploitez le disque dur du lecteur par le biais de l'Explorateur Windows.
- Si vous transférez des fichiers WAV et MP3 vers le lecteur via l'Explorateur, ils ne pourront pas être lus par ce dernier. Transférez-les à l'aide de SonicStage.
- Ne débranchez pas le câble USB pendant le transfert des données car vous risqueriez d'endommager les données en cours de transfert.
- N'initialisez pas le disque dur du lecteur à partir de l'ordinateur.

Rétablissement des paramètres par défaut

Rétablissez la valeur par défaut de tous les paramètres de l'écran MENU.

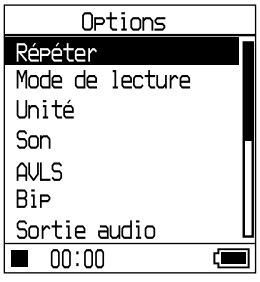
1 Maintenez SEARCH/MENU enfoncée pendant que le lecteur est à l'arrêt.

L'écran MENU s'affiche.



2 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Options », puis appuyez sur ►II.

L'écran Options s'affiche.



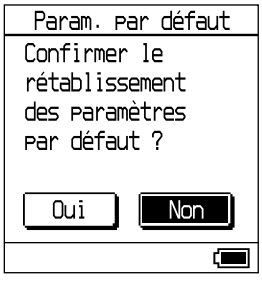
3 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Initialiser système », puis appuyez sur ►II.

L'écran Initialiser système s'affiche.



4 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Param. par défaut », puis appuyez sur ►II.

L'écran Param. par défaut s'affiche.



Suite ⇩

5 Appuyez sur ⟨/⟩ pour sélectionner « Oui », puis appuyez sur ►II.

Le message s'affiche, puis l'écran Initialiser système s'affiche de nouveau.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur ■. Alternativement, sélectionnez « Non » à l'étape 5, puis appuyez sur ►II.
L'écran Initialiser système s'affiche de nouveau.

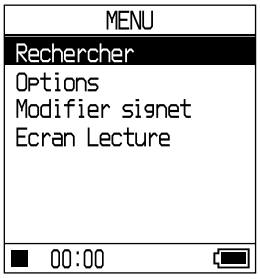
Remarque

Il est impossible de rétablir les paramètres par défaut pendant la lecture.

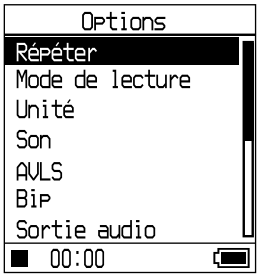
Initialisation du disque dur

Vous avez la possibilité d'initialiser le disque dur intégré au lecteur. Si ce dernier est initialisé, toutes les données stockées, audio ou autre, seront effacées. Vérifiez bien les données stockées sur le disque dur avant de procéder à l'initialisation.

1 Maintenez SEARCH/–MENU enfoncée pendant que le lecteur est à l'arrêt.
L'écran MENU s'affiche.



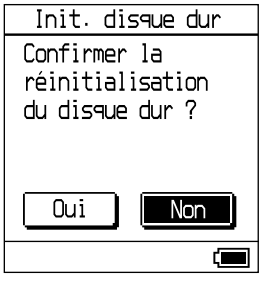
2 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Options », puis appuyez sur ►II.
L'écran Options s'affiche.



3 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Initialiser système », puis appuyez sur ►II.
L'écran Initialiser système s'affiche.



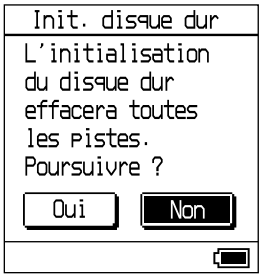
4 Appuyez sur ^/v pour sélectionner « Init. disque dur », puis appuyez sur ►II.
L'écran Init. disque dur s'affiche.



Suite ⇩

5 Appuyez sur ‹ / › pour sélectionner « Oui », puis appuyez sur ►II.

Une boîte de dialogue de confirmation s'affiche.



6 Appuyez sur ‹ / › pour sélectionner « Oui », puis appuyez sur ►II.

Le message s'affiche, puis l'écran Initialiser système s'affiche de nouveau.

Pour annuler la configuration

Appuyez sur ■. Alternativement, sélectionnez « Non » à l'étape 6, puis appuyez sur ►II.
L'écran Initialiser système s'affiche de nouveau.

Remarques

- N'initialisez pas le disque dur du lecteur à partir de l'ordinateur.
- Il est impossible de formater le disque dur pendant la lecture.
- Toutes les données audio et tous les autres fichiers sont supprimés si le lecteur est initialisé.
- Si des pistes sont effacées lors de l'initialisation, SonicStage les reconnaît comme devant être transférées de nouveau vers l'ordinateur lorsque le lecteur est relié à ce dernier. Le nombre de transferts possible augmente alors automatiquement.

Désinstallation de SonicStage

Pour désinstaller SonicStage, procédez comme suit :

1 Cliquez sur « Démarrer », « Panneau de configuration ».*

* « Paramètres », « Panneau de configuration » sous Windows 2000 Professionnel/Windows Millennium Edition/Windows 98 Deuxième Édition

2 Double-cliquez sur « Ajout/Suppression de programmes ».

3 Cliquez sur « SonicStage 3.1 » dans la liste « Programmes actuellement installés », puis cliquez sur « Modifier/Supprimer ».*

Suivez les instructions qui s'affichent et réamorcez l'ordinateur. La désinstallation est terminée après le redémarrage de l'ordinateur.

* « Modifier/Supprimer » sous Windows 2000 Professionnel, « Ajouter/Supprimer » sous Windows Millennium Edition/Windows 98 Deuxième Édition

Remarque

Lorsque vous installez SonicStage 3.1, le logiciel OpenMG Secure Module 4.1 est installé en même temps. Ne supprimez pas OpenMG Secure Module 4.1 car ce programme pourrait être utilisé par d'autres logiciels.

Dépannage

Les solutions suivantes vous aident à résoudre les problèmes éventuels liés à votre lecteur.

1 Retirez la batterie puis remettez-la en place.
2 Consultez les problèmes référencés dans cette section « Dépannage ».
3 Consultez l'aide de SonicStage si vous utilisez ce logiciel.
4 Si le problème subsiste après consultation des références mentionnées ci-dessus, consultez le tableau suivant et contactez au besoin le distributeur Sony le plus proche.

Alimentation

Problème	Cause et/ou solution
L'autonomie de la batterie est courte	→ La température ambiante est inférieure à 5 °C (41 °F). Ce phénomène est lié aux caractéristiques de la batterie et ne constitue pas un dysfonctionnement.
	→ Vous n'avez pas utilisé le lecteur pendant une période prolongée. Le fait de charger puis décharger la batterie de façon répétée améliore son efficacité.
	→ Il se peut que la durée de service de la batterie soit atteinte. La remplacer par une batterie neuve.
	→ Le temps de charge de la batterie est insuffisant. Maintenir la batterie en charge jusqu'à ce que s'affiche.

Suite ⇩

Son

Problème	Cause et/ou solution
Aucun son n'est audible. Des parasites sont perceptibles.	➔ Le niveau du volume est réglé au minimum. Augmentez le volume (☞ page 30). ➔ La fiche des écouteurs n'est pas branchée correctement. Connectez-la fermement à la prise ∩(écouteurs)/LINE OUT (☞ page 29). ➔ La fiche des écouteurs est sale. Nettoyez-la à l'aide d'un chiffon doux et sec. ➔ Le disque dur ne contient aucune donnée audio.
Il est impossible d'augmenter le volume	➔ Le paramètre « AVLS » est réglé « AVLS activé ». Réglez-le sur « AVLS désactivé » (☞ page 53).
Aucun son n'arrive dans le canal droit des écouteurs.	➔ La fiche des écouteurs n'est pas branchée correctement. Connectez-la fermement à la prise ∩(écouteurs)/LINE OUT (☞ page 29).
Il est impossible de régler le volume.	➔ Le paramètre « Sortie audio » est réglé sur « Line Out ». Réglez le volume à l'aide de la commande de volume de l'appareil connecté ou réglez le paramètre « Sortie audio » sur « Ecouteurs » (☞ page 53).
Si vous utilisez le lecteur connecté à une chaîne stéréo, le son est affecté de distorsion ou de parasites.	➔ Le paramètre « Sortie audio » est réglé sur « Ecouteurs». Réglez-le sur « Line Out » (☞ page 53).

Suite ⇩

Utilisation/Lecture

Problème	Cause et/ou solution
Les touches ne fonctionnent pas.	→ Les touches sont verrouillées. Faites coulisser le commutateur HOLD vers l'arrière (☞ page 31). → De la condensation s'est formée (de la condensation peut se former à l'intérieur du lecteur si on le déplace brusquement d'un endroit froid à un endroit chaud). Laissez le lecteur hors tension pendant plusieurs heures jusqu'à ce que la condensation s'évapore. → La capacité disponible de la batterie est insuffisante. Chargez la batterie (☞ page 13).
La lecture s'interrompt subitement.	→ La capacité disponible de la batterie est insuffisante. Chargez la batterie (☞ page 13). → Si vous essayez de lire des pistes MP3 non compatibles avec ce lecteur, la lecture s'interrompt. Appuyez sur ⁝› pour sélectionner d'autres pistes (☞ page 30). → Le lecteur a été exposé à des vibrations pendant longtemps. Faites cesser les vibrations et relancez la lecture.
Le rétroéclairage n'est pas activé.	→ Le paramètre « Rétroéclairage » est réglé sur « Tjrs désactivé ». Réglez-le sur « 10 s » ou « 30 s » (☞ page 53).
« □ » est affiché pour un titre.	→ Ce titre comporte des caractères qui ne peuvent être affichés par le lecteur. Utilisez le logiciel SonicStage pour renommer le titre à l'aide de caractères appropriés.
L'écran s'éteint.	→ L'écran s'éteint automatiquement au bout de 30 secondes d'inactivité en mode d'arrêt lorsque le lecteur est alimenté par la batterie. Lorsque vous faites défiler des titres de piste, etc., l'écran s'éteint 30 secondes environ après la fin du défilement. L'écran s'éteint également si vous maintenez la touche ■ enfoncée. Dans tous les cas, appuyez sur n'importe quelle touche pour rallumer l'écran.

Suite ⇩

Connexion à l'ordinateur/SonicStage

Problème	Cause et/ou solution
Il est impossible d'installer le logiciel SonicStage.	→ Le système d'exploitation de l'ordinateur n'est pas compatible avec le logiciel (☞ page 16). → Toutes les applications Windows ne sont pas fermées. Un dysfonctionnement peut se produire si vous lancez l'installation alors que d'autres programmes sont en cours d'exécution. Ceci est particulièrement vrai pour les programmes qui requièrent beaucoup de ressources système, comme les logiciels anti-virus. → Le disque dur de votre ordinateur ne dispose pas d'un espace suffisant. Il faut au minimum 200 Mo d'espace libre. Supprimez les fichiers inutiles de votre ordinateur.
L'installation semble avoir cessé avant son terme.	→ Vérifiez si un message d'erreur s'affiche sous la fenêtre d'installation. Tout en maintenant la touche « Alt » enfoncée, appuyez sur la touche « Tab ». Si un message d'erreur s'est affiché, appuyez sur la touche « Entrée ». L'installation reprend. En l'absence de message, l'installation est toujours en cours. Patientez encore quelques instants.
La barre de progression affichée sur l'écran de l'ordinateur n'évolue plus. Le témoin d'accès de l'ordinateur ne s'est pas allumé depuis quelques minutes.	→ L'installation se déroule normalement. Veuillez patienter. En fonction du lecteur de CD ou de l'environnement du système, l'installation peut prendre 30 minutes, voire plus.
SonicStage ne démarre pas.	→ L'environnement système a été modifié par mise à jour de Windows, etc. Consultez le revendeur Sony le plus proche.

Suite ⇩

Connexion à l'ordinateur/SonicStage (suite)

« Connexion PC » ne s'affiche pas lorsque le lecteur est relié à l'ordinateur par le câble USB.	→ Attendez l'authentification du logiciel SonicStage. → Une autre application est en cours d'exécution sur l'ordinateur. Patientez quelques instants avant de rebrancher le câble USB. Si le problème persiste, débranchez le câble USB, redémarrez l'ordinateur puis rebranchez le câble USB. → Le câble USB n'est pas connecté correctement. Débranchez le câble USB, puis rebranchez-le. → Un concentrateur USB est utilisé. Un fonctionnement correct n'est pas garanti pour des connexions établies via un concentrateur USB. Connectez directement le câble USB à l'ordinateur. → L'installation du logiciel SonicStage a échoué. Déconnectez le lecteur de l'ordinateur, puis réinstallez le logiciel à l'aide du CD-ROM fourni (☞ page 17). Vous pourrez toujours utiliser les données audio enregistrées par les logiciels précédents. → La batterie est déchargée. Chargez-la à l'aide de l'adaptateur secteur.
Le lecteur n'est pas reconnu par l'ordinateur lorsqu'il est connecté à celui-ci.	→ Le câble USB n'est pas connecté correctement. Débranchez le câble USB, puis rebranchez-le. → Un concentrateur USB est utilisé. Un fonctionnement correct n'est pas garanti pour des connexions établies via un concentrateur USB. Connectez directement le câble USB à l'ordinateur. → Le fichier du pilote du lecteur n'est pas installé. Réinstallez le logiciel SonicStage pour le lecteur à l'aide du CD-ROM fourni (☞ page 17) pour installer le pilote en même temps. → L'installation du logiciel SonicStage a échoué. Déconnectez le lecteur de l'ordinateur, puis réinstallez le logiciel à l'aide du CD-ROM fourni (☞ page 17). Vous pourrez toujours utiliser les données audio enregistrées par les logiciels précédents.

Suite ⇩

Connexion à l'ordinateur/SonicStage (suite)

Il est impossible de transférer des données audio de l'ordinateur au lecteur.	→ Le câble USB n'est pas connecté correctement. Débranchez le câble USB, puis rebranchez-le. → L'espace disponible sur le disque dur du lecteur est insuffisant. Transférez vers l'ordinateur toutes les pistes jugées inutiles afin de libérer de l'espace (☞ page 27). → Vous avez déjà transféré plus de 65 535 pistes ou plus de 8 187 listes de lecture sur le disque dur du lecteur. Ou encore, vous tentez de transférer une liste de lecture qui contient plus de 999 pistes. → Il se peut que les pistes à durée de lecture limitée ou à nombre de lectures limité ne soient pas transférées en raison de restrictions définies par les détenteurs des droits d'auteur. Pour plus d'informations sur les paramètres des fichiers audio, consultez le revendeur. → L'installation du logiciel SonicStage a échoué. Débranchez le lecteur et l'ordinateur, puis réinstallez le logiciel à l'aide du CD-ROM fourni (☞ page 17). Vous pourrez toujours utiliser les données audio enregistrées par les logiciels précédents.
Le nombre de pistes pouvant être transférées vers le lecteur est faible (la durée d'enregistrement disponible est courte).	→ L'espace disponible sur le disque dur du lecteur est insuffisant par rapport à la taille des données audio que vous tentez de transférer. Transférez vers l'ordinateur toutes les pistes jugées inutiles afin de libérer de l'espace (☞ page 27). → Des données autres que des données audio sont stockées sur le disque dur du lecteur. Déplacez vers l'ordinateur les données qui ne sont pas des données audio afin de libérer de la place.

Suite ⇩

Connexion à l'ordinateur/SonicStage (suite)

Il est impossible de re-transférer des données audio vers l'ordinateur depuis le lecteur.	➔ Un ordinateur autre que celui utilisé pour le transfert vers le lecteur est sélectionné comme cible de transfert. Les données audio ne peuvent pas être re-transférées sur un ordinateur différent de celui utilisé pour effectuer le transfert vers le lecteur. ➔ Les données audio ont été supprimées de l'ordinateur que vous avez utilisé lors du transfert vers le lecteur. Les données audio ne peuvent pas être re-transférées vers l'ordinateur si la piste correspondante a été supprimée de l'ordinateur utilisé lors du transfert vers le lecteur.
Les données audio sont re-transférées vers l'ordinateur et le nombre de transferts autorisés restants augmente automatiquement, de temps à autre, lorsque le lecteur est connecté à l'ordinateur.	➔ Si une piste est supprimée du lecteur à l'aide du logiciel SonicStage installé sur un ordinateur autre que celui utilisé lors du transfert vers le lecteur, la piste sera de nouveau transférée automatiquement lors de la prochaine connexion du lecteur à l'ordinateur utilisé pour le transfert vers le lecteur. Le nombre de transferts possible augmente alors automatiquement.
Le fonctionnement du lecteur est instable lorsqu'il est connecté à l'ordinateur.	➔ Un concentrateur USB ou une rallonge USB est utilisé(e). Un fonctionnement correct n'est pas garanti pour des connexions établies via un concentrateur USB ou une rallonge USB. Connectez directement le câble USB à l'ordinateur.
Un message d'erreur stipulant qu'il est impossible d'authentifier l'appareil ou le support s'affiche sur l'écran de l'ordinateur lorsque le lecteur est connecté à l'ordinateur.	➔ Le lecteur n'est pas connecté correctement à l'ordinateur. Fermez le logiciel SonicStage et vérifiez la connexion du câble USB. Redémarrez le logiciel SonicStage.

Suite ⇩

Divers

Problème	Cause et/ou solution
Aucun signal sonore n'est émis lors de l'utilisation du lecteur.	→ Le paramètre « Bip » est réglé sur « Bip désactivé ». Réglez-le sur « Bip activé » (☞ page 53).
Le lecteur est chaud.	→ Il se peut que le lecteur chauffe lorsque la batterie est en charge ou juste après une charge rapide. Cela peut également se produire lors du transfert d'un grand nombre de pistes. Laissez le lecteur hors tension pendant un moment.
Du bruit provient de l'intérieur du lecteur. Le lecteur vibre.	→ Lorsque le disque dur intégré du lecteur tourne, il se peut qu'un bruit de fonctionnement soit audible et que le lecteur vibre. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.

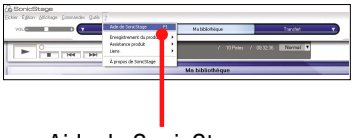
Utilisation de l'Aide de SonicStage

L'Aide de SonicStage fournit des informations détaillées sur l'utilisation de SonicStage. L'Aide de SonicStage vous permet de rechercher aisément des informations à partir d'une liste d'opérations telles que « Importation de données audio » ou « Transfert de données audio », ou à partir d'une longue liste de mots-clé, ou encore en saisissant des mots susceptibles de vous guider vers les explications appropriées.

Cliquez sur « ? », « Aide de SonicStage » pendant l'exécution de SonicStage.

L'aide s'affiche.

Dans l'Aide de SonicStage, le lecteur est appelé « ATRAC Audio Device ».

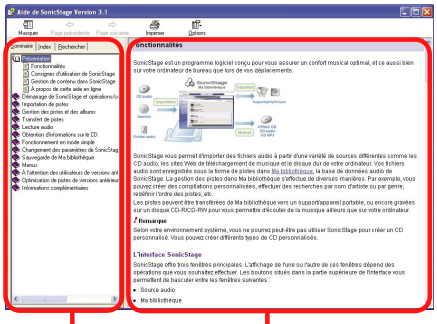


« Aide de SonicStage »

Remarques

- Dans l'aide de SonicStage, « Support/périphérique » est le terme générique utilisé pour désigner un lecteur de type Network Walkman ou MD Walkman.
- Suivez les instructions de votre fournisseur d'accès Internet sur la configuration système recommandée.

Fonctionnement de l'aide de SonicStage



Volet gauche Volet droit

1 Double-cliquez sur « Présentation » dans le volet gauche de l'Aide de SonicStage.

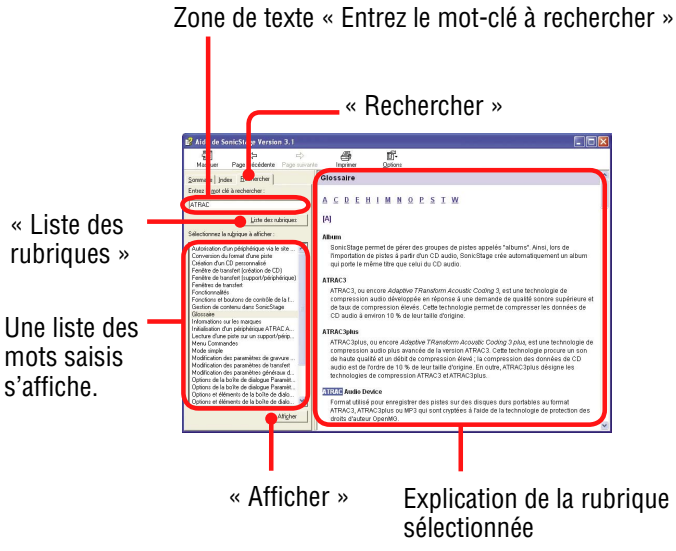
2 Cliquez sur « À propos de cette aide en ligne ».

L'explication s'affiche dans le volet droit.

Au besoin, faites défiler l'affichage. Cliquez sur les mots soulignés pour obtenir les explications correspondantes.

Suite ⇩

Pour rechercher un mot dans une explication



1 Cliquez sur « Rechercher ».
2 Saisissez les termes recherchés.
3 Cliquez sur « Liste des rubriques ».
Une liste des mots saisis s'affiche.
4 Cliquez sur l'élément qui vous intéresse pour le sélectionner.
5 Cliquez sur « Afficher ».
L'explication correspondant à l'élément sélectionné s'affiche.

Messages d'erreur

Veuillez suivre les instructions ci-dessous si un message d'erreur s'affiche sur l'écran.

Message	Signification	Action corrective
AVLS ERREUR VOLUME	Le volume dépasse le volume maximum de la fonction AVLS.	➔ Réglez « AVLS » sur « AVLS désactivé » (☞ page 53).
TOUT AVEC SIGNET	Vous essayez d'ajouter un signet à une piste déjà enregistrée dans tous les types de signet.	➔ Une piste ne peut être intégrée qu'une fois à chaque type de signet.
PAS DE BATTERIE	• Vous essayez d'utiliser le lecteur alimenté par l'adaptateur secteur sans insérer de batterie. • Vous avez retiré la batterie du lecteur alors qu'il était raccordé à un ordinateur.	➔ Lorsque vous utilisez l'adaptateur secteur, la batterie doit être présente dans le lecteur.
SIGNET PLEIN	Le nombre de signets dépasse la limite autorisée.	➔ Supprimez les signets inutiles (☞ page 40).
ANNULER	La configuration ou l'opération est annulée.	—
MODIF SIGNET IMPOSSIBLE EN LECTURE	Vous essayez de modifier un signet en mode de lecture ou d'arrêt.	➔ Vous ne pouvez pas modifier de signets en mode de lecture ou d'arrêt.
OPER IMPOSS ARRETER	"Initialiser système » a été sélectionné sur l'écran Options pendant la lecture.	➔ Arrêtez la lecture et resélectionnez « Initialiser système ».
OPER IMPOSS A L'ARRET	Vous essayez d'ajouter un signet alors que le lecteur est arrêté.	➔ Ajoutez un signet pendant la lecture (☞ page 39).
LECTURE IMP CONNECTER PC	L'horloge du lecteur ne fonctionne pas correctement.	➔ Connectez le lecteur à l'ordinateur (☞ page 24).
LECTURE IMP ERR PISTE	Les données audio sont abîmées.	➔ Transférez de nouveau les données audio vers le lecteur (☞ page 24).

Suite ⇩

LECTURE IMP SUR CE PERIPH.	• Le lecteur n'est pas autorisé à lire cette piste. • Tentative de lecture de pistes à nombre de lectures limité.	➔ Vous ne pouvez pas lire de piste non autorisée sur ce lecteur.
LECTURE IMP NON DISPO	Vous tentez de lire une piste à durée de lecture limitée avant ou après la période de validité.	➔ Les pistes à durée de lecture limitée peuvent uniquement être lues pendant la période de lecture désignée.
MISE A JOUR IMPOSSIBLE BATT FAIBLE	Le lecteur ne peut pas répondre à une commande car il est occupé.	➔ Attendez un moment et essayez d'utiliser de nouveau le lecteur.
CHARGE 5 °C – 35 °C 41F – 95F	Vous chargez le lecteur à une température ambiante dépassant la plage autorisée comprise entre 5 et 35 °C (41 et 95 °F).	➔ Chargez la batterie à une température comprise entre 5 et 35°C (41 to 95ºF).
EFFACER SIGNET EN LECTURE	Vous essayez d'effacer une piste avec signet en cours de lecture.	➔ Une piste avec signet ne peut être effacée que lorsque vous essayez d'effacer la piste du type de signet enregistré en la sélectionnant dans la liste de lecture lorsqu'elle est en cours de lecture.
CONNECTER ADAP SECTEUR	Vous avez essayé de mettre à jour le micrologiciel sans utiliser l'adaptateur secteur.	➔ Raccordez l'adaptateur secteur au lecteur (☞ page 13).
ERREUR: SIGNET IMPOSSIBLE	Une erreur non précisée empêche d'ajouter une piste à un signet.	➔ Essayez de nouveau d'ajouter la piste au signet.
ERREUR: IMPOSSIBLE D'EFFACER	Une erreur non précisée empêche d'effacer un signet.	➔ Essayez de nouveau d'effacer le signet.
ECHEC CREATION BdD	Une base de données ne peut être créée.	➔ Attendez un moment. La base de données est en cours de mise à jour.
TEMP ECRIT 5 °C – 35 °C	Vous transférez des données audio vers le lecteur à une température ambiante dépassant la plage autorisée comprise entre 5 et 35 °C (41 et 95 °F).	➔ La température ambiante doit être comprise entre 5 et 35 °C (41 à 95 ºF).

Suite ⇩

ERR INIT DD	• Le disque dur du lecteur n'est pas initialisé correctement. • Le disque dur du lecteur a été initialisé sur l'ordinateur. • Le disque dur du lecteur n'a pas été initialisé car il a été remplacé.	➔ Ré-initialisez le disque dur du lecteur (☞ page 62).
HOLD	Le commutateur HOLD est en position ON.	➔ Déverrouillez les commandes en faisant coulisser le commutateur HOLD dans le sens opposé à celui de la flèche (☞ page 31).
ERR LINE OUT	Vous essayez de modifier le volume ou le réglage du paramètre « Son » alors que le paramètre « Sortie audio » est réglé sur « Line Out ».	➔ Réglez « Sortie audio » sur « Ecouteurs » (☞ page 53).
BATT FAIBLE	La batterie est épuisée.	➔ Chargez la batterie (☞ page 13).
NB MAX DE GROUPES DEPASSE	Le nombre de groupes (albums, artistes, etc.) dépasse la limite autorisée (8192).	➔ Le nombre total d'éléments dans l'écran Rechercher (à l'exception de la liste des pistes) dépasse 8192. Transférez toutes les pistes inutiles dans Ma bibliothèque sur SonicStage (☞ page 27).
NON CORRESP DS SYS FICH	Les fichiers système ne correspondent pas.	➔ Initialisez le disque dur du lecteur (☞ page 62) et transférez de nouveau les données audio vers le lecteur (☞ page 24).
PAS DE BD TROUVEE	Lors de la déconnexion de l'ordinateur, aucune piste n'est transférée vers le lecteur ou bien il manque des informations.	➔ Reconnectez le lecteur à l'ordinateur, puis déconnectez-le. ➔ Transférez des données audio vers le lecteur (☞ page 24).

Suite ⇩

0 PISTE	Aucune piste ne figure dans la liste des pistes.	➔ Ouvrez une liste de pistes contenant au moins une piste. ➔ Transférez des données audio vers le lecteur (☞ page 24).
ERR SYSTEME <No. ***> (un numéro est indiqué entre parenthèses).	Une erreur système est survenue.	➔ Notez le numéro et consultez le revendeur Sony le plus proche.

Spécifications

Nombre maximum de pistes enregistrables (approximatif)*

NW-HD5:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5 000 (132 kbit/s)	2 500 (256 kbit/s)	5 000 (128 kbit/s)
6 000 (105 kbit/s)	10 000 (64 kbit/s)	10 000 (64 kbit/s)
10 000 (66 kbit/s)	13 000 (48 kbit/s)	

NW-HD5H:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
7 500 (132 kbit/s)	3 500 (256 kbit/s)	7 500 (128 kbit/s)
9 000 (105 kbit/s)	15 000 (64 kbit/s)	15 000 (64 kbit/s)
15 000 (66 kbit/s)	20 000 (48 kbit/s)	

* pour des pistes de 4 minutes

Fréquence d'échantillonnage

44,1 kHz (ATRAC3plus), 32/44,1/48 kHz (MP3)

Technologie de compression audio

Adaptive Transform Acoustic Coding3plus (ATRAC3plus)
MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

Réponse en fréquence

20 à 20 000 Hz (mesure d'un seul signal pendant la lecture)

Sortie

(écouteurs)/LINE OUT* :
Mini-prise stéréo/180 mV

* La prise est utilisée pour les écouteurs et pour la sortie ligne.

Suite ⇩

Température ambiante

De 5 à 35 °C (41 à 95 °F)

Source d'alimentation

Batterie rechargeable ion-lithium : LIP-880PD, 3,7 V 880 mAh, Li-ion
Adaptateur secteur : DC IN 6 V

Autonomie de la batterie (lecture continue)

Format ATRAC3plus (48 kbit/s) : 40 heures environ
Format MP3 (128 kbit/s) : 30 heures environ

Dimensions

Parties en saillie exclues :
59,9 × 88,7 × 14,2 mm environ
(2 3/8 × 3 1/2 × 1/2 pouces) (L/H/P)

Parties en saillie incluses :

59,9 × 89,3 × 14,5 mm environ
(2 3/8 × 3 1/2 × 5/8 pouces) (L/H/P)

Poids

135 g (4,82 oz) environ

Pour les utilisateurs en France

En cas de remplacement du casque/ écouteurs, référez-vous au modèle de casques/ écouteurs adapté à votre appareil et indiqué ci-dessous. MDR-E0931LP

Brevets américains et internationaux sous licence de Dolby Laboratories.

La conception et les spécifications sont susceptibles d'être modifiées sans préavis.

Index

Symbols

1 titre (Lecture d'un titre) 47
Album 35
Artiste 35
Capacité disponible 15
SHUF Données-Aléatoire 47
Genre 35
Lecture répétée 49
Liste de lecture 38
Nouvelles pistes 36
Piste 35
SHUF Pistes-Aléatoire 47
SHUF Pistes-Aléatoire dans l'unité 49
Recherche init. 36
SHUF Unité-Aléatoire 49

A

Adaptateur secteur 11
Album-aléatoire 47
Allemand 54
Anglais 54
Arborescence (Écran Rechercher) 35
Arène 52
Arrêt 12, 31
ATRAC3/ATRAC3plus 21, 30
Autonomie de la batterie 15
Avance/retour rapid 31
AVLS 53

B

Batterie (retirer/insérer) 14
Batterie (temps de charge) 13
Bip 53

C

Câble USB 11
Capacité disponible de la batterie 15
Capteur G 54
CD-ROM 11
Commutateur HOLD 12
Contraste 53

D

Débit binaire 21, 32
Désinstaller 64
Discothèque 52
Données-Aléatoire 47
Droit 54

E

Écouteurs 11, 12
Ecouteurs 53
Écran du lecteur 12, 32
Effacer (signet) 42
Espagnñl 54
Étui de transport 11

F

Faire défiler plusieurs éléments 34
Fonction HOLD 31
Format 21
Fort 52
Français 54

G

Gauche 54
Gestion des pistes 22

I

Icône de signet 44
Importation de données audio 19
Informations détaillées (piste) 23
Infos CD 21
Init. disque dur 54
Initialiser le disque dur 62
Initialiser système 54

Suite ⇩

Inverser l'écran 53
Italien 54

J

Japanese 54
Jazz 52

L

Langue 54
Lecture d'une piste d'un signet 39
Lecture d'unité 47
Lecture normale 47
Lecture répétée 49
Line Out 53
Liste de lecture (sur le lecteur) 38
Liste de lecture (SonicStage) 22
Live 52
Localiser le début d'une piste 31

M

Ma bibliothèque 22
Ma bibliothèque (SonicStage) 19
Mode de lecture 45
Mode de recherche 35
Modifier Signet 39
Mot acoustiq VPT 52
MP3 30

N

Négatif 53
Nouvelles pistes 36

O

Options de lecture 47
Orienter l'écran 54

P

Paramètres par défaut 60
Périphérique audio 58
Pistes-Aléatoire 47
Pistes à durée de lecture limitée 70
Pistes à nombre de lectures limité 70
Pop 52
Positif 53
Prérégl son numér (Préréglage son numérique) 52

R

Rechercher dans (SonicStage) 74
Rechercher le début de la piste suivante 31
Rechercher le début de pistes précédentes 31
Recherche initiale 36
Rétroéclairage 53

S

Signet 39
Son 52
SonicStage 16
Sortie audio 53
Studio 52

T

Transférer des données audio 24

U

Unique 52
Unité 48

V

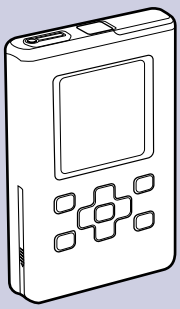
Vertical 54
VOL+/VOL-(volume) 12

SONY

Portable Hard Disk Audio Player

Network Walkman

Bedienungsanleitung



WALKMAN

Atrac3plus

MP3

NW-HD5/NW-HD5H

„WALKMAN“ ist ein eingetragenes Warenzeichen der Sony Corporation für Headphone Stereo-Produkte.
WALKMAN ist ein Warenzeichen der Sony Corporation.

© 2005 Sony Corporation

Inhalts

Index

▶ Erste Schritte 11

▶ Übertragen von Daten auf den Player 19

▶ Wiedergabe von Musik 21

▶ Weitere Funktionen 51

▶ Fehlerbehebung 65

▶ Weitere Informationen 79

Achtung

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Stellen Sie das Gerät nicht in ein geschlossenes Regal oder in einen geschlossenen Schrank.

Achten Sie darauf, dass die Ventilationsöffnungen des Geräts nicht durch ein Tuch, Vorhänge usw. blockiert werden, da sonst Feuergefahr besteht. Stellen Sie keine brennenden Kerzen auf dem Gerät ab.

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, stellen Sie keine Gefäße mit Flüssigkeiten darin, wie z. B. Vasen, auf das Gerät.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Fortsetzung ⇩

Entsorgung von gebrauchten elektrischen und elektronischen Geräten (Anzuwenden in den Ländern der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit einem separaten Sammelsystem für diese Geräte)



Das Symbol auf dem Produkt oder seiner Verpackung weist darauf hin, dass dieses Produkt nicht als normaler Haushaltsabfall zu behandeln ist, sondern an einer Annahmestelle für das Recycling von elektrischen und elektronischen Geräten abgegeben werden muss. Durch Ihren Beitrag zum korrekten Entsorgen dieses Produkts schützen Sie die Umwelt und die Gesundheit Ihrer Mitmenschen. Umwelt und Gesundheit werden durch falsches Entsorgen gefährdet. Materialrecycling hilft den Verbrauch von Rohstoffen zu verringern. Weitere Informationen über das Recycling dieses Produkts erhalten Sie von Ihrer Gemeinde, den kommunalen Entsorgungsbetrieben oder dem Geschäft, in dem Sie das Produkt gekauft haben.
Dies gilt für folgendes Zubehör: Kopfhörer

Inhalts

Inhalts 4
Hinweise für Benutzer 6
Sicherheitsmaßnahmen 8
Sicherheit 8
Aufstellung 8
Wärmestau 8
Kopfhörer 9
Reinigung 10

Erste Schritte

Überprüfen der mitgelieferten Zubehörteile 11
Erläuterungen zu Komponenten und Reglern 12
Herstellen der Stromversorgung 13
Überprüfen der Restladung des Akkus 15
Installieren von SonicStage auf einem Computer 16
Herstellen der erforderlichen Systemvoraussetzungen 16
Installieren von SonicStage 17

Übertragen von Daten auf den Player

Importieren von Audiodaten auf einen Computer 19
Verwalten von Titeln mit SonicStage 22
Bearbeiten einer Wiedergabeliste 22
Übertragen von Audiodaten auf den Player 24
Rückübertragen von Audiodaten auf einen Computer 27

Wiedergabe von Musik

Wiedergabe 29
Sperren der Regler (HOLD) 31
Grundlegende Wiedergabefunktionen (Wiedergabe, Stopp, Suche) 31
Überprüfen der Informationen auf dem Display 32
Auswahl von Titeln zur Wiedergabe (Interpret, Album, Musikstil etc.) 33

Fortsetzung ⇩

Ordnerstruktur im Display Suchen 35
Auswahl von Titeln aus „Neue Titel” 36
Auswahl eines Titels nach dessem Anfangsbuchstaben (Initialiensuche) 36
Auswahl von Titeln aus der „Wiedergabeliste” 38
Bearbeiten von Lesezeichen auf dem Player 39
Registrieren eines Titels in einem Lesezeichen (Wiedergabe von Titeln mit Lesezeichen) 39
Umsortieren der Titel in einem Lesezeichen 40
Entfernen von Titeln mit Lesezeichen 42
Ändern eines Lesezeichensymbols 44
Ändern von Wiedergabefunktionen (Wiedergabemodus) 45
Wiedergabefunktionen (Wiedergabemodus) 47
Wiedergabe von Titeln in einer ausgewählten Suchkategorie (Einheitenwiedergabe) 47
Wiederholte Wiedergabe von Titeln (Repeat-Wiedergabe) 49

Weitere Funktionen

Ändern der Tonqualität und der Klangeinstellungen 51
Setup-Einstellungen für Tonqualität und Displays 52
Anpassen der Tonqualität (6-Band-Equalizer – Benutzerdefiniert) 55
Einstellen der Höhen und Bässe (Digital Sound Preset) ... 56
Anschließen anderer Geräte 58
Speichern von anderen Daten (ausgenommen Audiodateien) .. 59
Zurücksetzen auf die Standardeinstellungen 60
Initialisieren der Festplatte 62
Deinstallieren von SonicStage 64

Fehlerbehebung

Fehlerbehebung 65
Verwenden der SonicStage-Hilfe 73
Fehlermeldungen 75

Weitere Informationen

Technische Daten 79
Index 81

Hinweise für Benutzer

Zur mitgelieferten Software

- Copyright-Gesetze untersagen die teilweise oder vollständige Reproduktion der Software und des zugehörigen Handbuchs ebenso wie die Vermietung der Software ohne Zustimmung des Copyright-Inhabers.
- SONY übernimmt unter keinen Umständen die Gewährleistung für jedweden finanziellen Schaden oder Gewinnverluste, Forderungen von Dritten eingeschlossen, die sich aus der Verwendung der im Lieferumfang dieses Players enthaltenen Software ergeben.
- Sollten beim Einsatz dieser Software Probleme auftreten, die auf einen Produktionsfehler zurückzuführen sind, ersetzt SONY die Software. Darüber hinaus übernimmt SONY jedoch keine weitere Gewährleistungspflicht.
- Die im Lieferumfang dieses Players enthaltene Software kann nur für die Geräte verwendet werden, die auf die Verwendung dieser Software ausgelegt sind.
- Beachten Sie, dass sich die Spezifikationen der Software ohne Vorankündigung ändern können, da wir stets bemüht sind, die Qualität unserer Software zu verbessern.
- Für die Verwendung dieses Players in Kombination mit einer anderen als der im Lieferumfang enthaltenen Software wird keine Gewährleistung übernommen.
- Die Möglichkeit, Sprachen in SonicStage anzuzeigen, hängt von dem auf dem PC installierten Betriebssystem ab. Das installierte Betriebssystem muss mit der gewünschten, anzuzeigenden Sprache kompatibel sein.
  - Wir übernehmen keine Garantie dafür, dass sich alle Sprachen korrekt in SonicStage anzeigen lassen.
  - Benutzerdefinierte Zeichen und einige Sonderzeichen können eventuell nicht angezeigt werden.
- Je nach Art und verwendeten Zeichen des in SonicStage angezeigten Textes kann dieser möglicherweise nicht korrekt im Gerät angezeigt werden. Dies kann folgende Gründe haben:
  - Die Anzeigemöglichkeiten des angeschlossenen Geräts sind eingeschränkt.
  - Der Player funktioniert nicht ordnungsgemäß.
- Die Erklärungen in diesem Handbuchs setzen voraus, dass Sie mit den grundlegenden Funktionen von Windows vertraut sind.
  Hinweise zur Verwendung Ihres Computer und des Betriebssystems finden Sie in den entsprechenden Handbüchern.

Programm © 2001, 2002, 2003, 2004, 2005 Sony Corporation
Dokumentation © 2005 Sony Corporation

Fortsetzung ⇩

- SonicStage und das SonicStage-Logo sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen der Sony Corporation.
- OpenMG, ATRAC, ATRAC3, ATRAC3plus und ihre Logos sind Warenzeichen der Sony Corporation.
- Microsoft, Windows, Windows NT und Windows Media sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und/oder anderen Ländern.
- IBM und PC/AT sind eingetragene Warenzeichen der International Business Machines Corporation.
- Macintosh ist ein Warenzeichen von Apple Computer, Inc. in den USA und/oder anderen Ländern.
- Pentium ist ein Warenzeichen oder eingetragenes Warenzeichen der Intel Corporation.
- Adobe und Adobe Reader sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen von Adobe Systems Incorporated in den USA und/oder anderen Ländern.
- US-amerikanische Patente und Patente anderer Länder lizenziert von Dolby Laboratories.
- MPEG Layer-3 Audiocodiertechnologie und Patente lizenziert von Fraunhofer IIS und Thomson.
- Alle anderen Warenzeichen und eingetragenen Warenzeichen sind Warenzeichen oder eingetragene Warenzeichen der entsprechenden Eigentümer.
- In diesem Handbuch werden die Zeichen ™ und ® nicht angeführt.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.

  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. Untied States Patent 6,304,523.

  Gracenote is a registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.

Vielen Dank für den Kauf dieses Sony-Produkts. Der Network Walkman verfügt über Beispielmusikdaten, sodass Sie ihn sofort ausprobieren können. Die vorhandenen Beispielmusikdaten dienen lediglich zu Testzwecken und können daher nicht auf einen Computer übertragen werden. Um diese Audiodaten zu lõschen, verwenden Sie SonicStage3.1.
Je nach Region befinden sich möglicherweise keine Beispielmusikdaten auf dem Player.

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Stecken Sie keine Fremdkörper in die Buchse DC IN des Players.
- Verursachen Sie an den Anschlüssen des Players keinen Kurzschluss mit anderen Metallgegenständen.

Aufstellung

- Verwenden Sie den Player niemals an Orten, an denen er extremen Licht- oder Temperaturverhältnissen, Feuchtigkeit oder Erschütterungen ausgesetzt ist.
- Wickeln Sie den Player niemals ein, wenn er mit dem Netzteil verwendet wird. Wärmestau im Player kann zu Funktionsstörungen oder Beschädigung führen.

Wärmestau

Wenn der Player über längere Zeit verwendet wird, kann es im Player während des Ladevorgangs zu einem Wärmestau kommen.

Fortsetzung ⇩

Kopfhörer

Verkehrssicherheit

Verwenden Sie die Kopfhörer nicht beim Autofahren, Radfahren, oder wenn Sie ein anderes motorisiertes Fahrzeug führen. Dies könnte zu gefährlichen Verkehrssituationen führen und ist in vielen Regionen verboten. Es kann auch gefährlich sein, den Player als Fußgänger, insbesondere beim Überqueren der Straße, mit hoher Lautstärke zu betreiben. In möglicherweise gefährlichen Situationen sollten Sie äußerst vorsichtig sein oder die Kopf-/Ohrhörer vorübergehend abnehmen.

Vermeiden von Hörschäden

Vermeiden Sie es, die Kopfhörer mit hoher Lautstärke zu verwenden. Gehörspezialisten warnen vor ständiger oder lange anhaltender Wiedergabe bei hoher Lautstärke. Wenn Sie Ohrgeräusche wahrnehmen, verringern Sie die Lautstärke, oder verzichten Sie ganz auf Kopf-/Ohrhörer.

Rücksicht auf andere

Senken Sie die Lautstärke auf ein vernünftiges Maß. Dadurch können Sie noch Geräusche von außen wahrnehmen und Rücksicht auf die Menschen in Ihrer Umgebung nehmen.

Achtung

Verwenden Sie die Kopfhörer nicht bei Blitzschlag in der Umgebung.

Fortsetzung ⇩

Reinigung

- Reinigen Sie das Playergehäuse mit einem weichen, leicht mit Wasser oder einem milden Reinigungsmittel angefeuchteten Tuch.
- Reinigen Sie den Kopfhörerstecker regelmäßig.

Hinweise

- Verwenden Sie keinerlei Scheuerschwämme bzw. -pulver oder Lösungsmittel wie Alkohol oder Benzin, da sie die Gehäuseoberfläche angreifen können.
- Lassen Sie durch die Öffnung neben dem Anschluss kein Wasser in den Player gelangen.

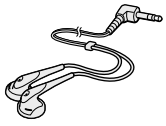
Falls Sie Fragen zu oder Probleme mit dem Player haben, wenden Sie sich an Ihren nächstgelegenen Sony-Fachhändler.

HINWEISE

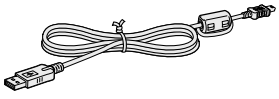
- Die aufgenommene Musik ist ausschließlich für die private Verwendung vorgesehen. Für eine Verwendung, die über die private Verwendung hinausgeht, ist die Erlaubnis der geistigen Eigentümer der Musik erforderlich.
- Sony übernimmt keine Verantwortung dafür, wenn Daten aufgrund eines Fehlers im Computer oder Player beschädigt bzw. nicht vollständig aufgenommen/heruntergeladen werden.

Überprüfen der mitgelieferten Zubehörteile

- Kopfhörer (1)



- Passendes USB-Kabel (1)



- Netzteil (1)
- Tragetasche (1)
- CD-ROM (1)*
  (SonicStage-Software, PDF-Datei der Bedienungsanleitung)
- Kurzanleitung (1)

(Der Player verfügt über einen bereits eingebauten Akku.)

* Geben Sie diese CD-ROM nicht auf einem Audio-CD-Player wieder.

Hinweise

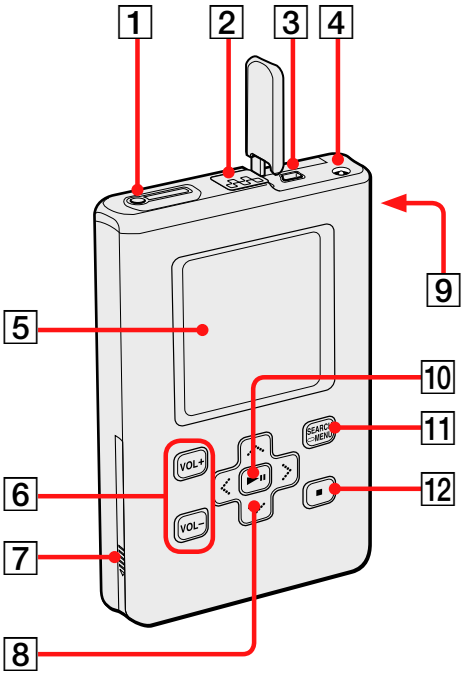
Befolgen Sie bei Verwendung dieses Geräts stets die folgenden Vorsichtsmaßnahmen, um Verformungen des Gehäuses oder Fehlfunktionen des Geräts zu vermeiden.

– Achten Sie darauf, dass Sie sich nicht mit dem Gerät in der Hosentasche hinsetzen.



– Stellen Sie sicher, dass Sie das Gerät nicht mit dem Kopf-/Ohrhörerkabel um das Gerät gewickelt in eine Tasche stecken, die Stößen o.ä. ausgesetzt wird.

Erläuterungen zu Komponenten und Reglern



1 ∩ (Kopfhörer)/LINE OUT-Buchse (☞ Seite 29)

2 Schalter HOLD (☞ Seite 31)

3 USB-Anschluss (☞ Seite 24)

4 DC IN-Buchse (☞ Seite 13, 24)

5 Player-Display (☞ Seite 32)

6 VOL+*/VOL– (Lautstärke) Tasten (☞ Seite 30)

7 Batteriefachdeckel (☞ Seite 13)

8 ⏮/⏭/ ◀◀ / ▶▶ Tasten (☞ Seite 29)

9 Vertiefung für Tragschlaufe**

10 ▶II (Wiedergabe/Pause) Taste (☞ Seite 31)

11 SEARCH/MENU Taste (☞ Seite 33)

12 ■ (Stopp) Taste (☞ Seite 31)

* Verwenden Sie beim Betrieb des Players den Tastpunkt als Referenz.

**Sie können hier eine beliebige Tragschlaufe befestigen.

Hinweis zur Seriennummer

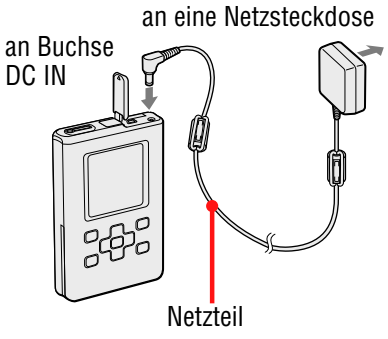
Die Seriennummer dieses Players wird zur Kundenregistrierung benötigt. Die Nummer befindet sich auf einem Etikett auf dem Boden des Players. Entfernen Sie das Etikett nicht.

Herstellen der Stromversorgung

Laden Sie den wiederaufladbaren Lithium-Ionen-Akku vor der ersten Verwendung bzw. wenn er entladen ist.

Schließen Sie das Netzteil an die DC IN-Buchse an.

Schließen Sie zunächst das Netzteil an und verbinden Sie es dann erst mit einer Steckdose.



Die Akkuanzeige im Display ändert sich zu „Ladevorgang“, und der Ladevorgang beginnt.
Die Ladezeit beträgt etwa 3 Stunden*.
Danach leuchten „Ladevorgang beendet” und ☞ auf.
Der Akku wird zu 80 % in etwa 1,5 Stunden geladen*.

* Dies ist die ungefähre Ladezeit eines entladenen Akkus bei Zimmertemperatur. Die Ladezeit variiert je nach Restladung und dem Akkuzustand. Wenn der Akku bei niedrigen Temperaturen geladen wird, dauert der Ladevorgang länger.

Laden eines Akkus über eine USB-Verbindung

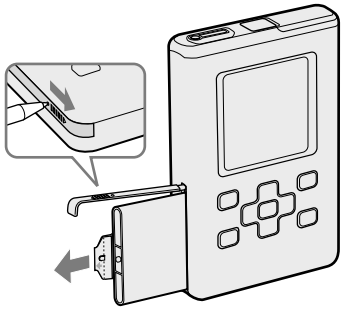
Schalten Sie den Computer ein, und schließen Sie das USB-Kabel an den Computer an (☞ Seite 24). Die Akkuanzeige ändert sich im Display und der Ladevorgang beginnt. Die Ladedauer beträgt ca. 6 Stunden*. Wenn der Player an das Netzteil angeschlossen ist, erfolgt die Stromzufuhr über das Netzteil. Die Ladedauer verlängert sich.
Wenn der Computer in den Standby- oder einen Schlafmodus eintritt, während der Player per USB-Kabel mit ihm verbunden und nicht an ein Netzteil angeschlossen ist, so entlädt sich der Akku.

* Durch Verbrauch des Akkus verlängert sich die Ladedauer. Die Ladeanzeige des Akkus wird nur angezeigt, wenn Sie den Player während des Ladevorgangs benutzen. Wenn die Ladeanzeige des Akkus nicht angezeigt wird, laden Sie den Akku mit dem Netzteil.

Fortsetzung ⇩

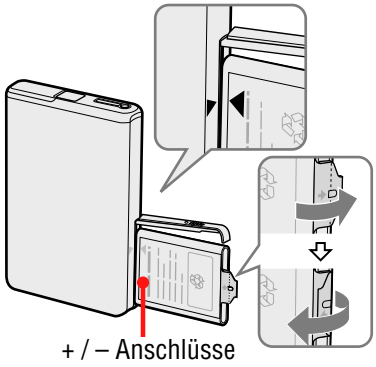
So entnehmen Sie den Akku

Führen Sie einen dünnen, spitzen Gegenstand, z.B. die Spitze eines Kugelschreibers, in das Loch der Batteriefachklappe ein und schieben Sie die Klappe in Richtung der Markierung „▷”, um sie zu öffnen. Ziehen Sie dann das Etikett an dem Akku in Pfeilrichtung heraus um den Akku zu entnehmen.
Das Gerät lässt sich nicht einschalten, wenn Sie den Akku entnehmen, auch dann nicht, wenn der Player an ein Netzteil angeschlossen ist.



So legen Sie den Akku ein

Öffnen Sie den Batteriefachdeckel und legen Sie den Akku ein, wobei die Markierung „▶“ an der Seite des Players mit der des Akkus übereinstimmen muss. Nachdem Sie das Etikett in den Batteriefachdeckel gefaltet haben, schließen Sie den deckel.



Hinweise

- Wenn Sie den Akku über eine USB-Verbindung laden und die Stromversorgung des Computers nicht ausreichend ist, dauert der Ladevorgang länger.
- Wenn Sie den Akku über eine USB-Verbindung laden, wird der Ladevorgang möglicherweise abgebrochen. Dies hängt von der Systemumgebung Ihres Computers ab.
- Wenn der Player während des Ladevorgangs längere Zeit an den Computer angeschlossen ist, wird der Ladevorgang möglicherweise abgebrochen, damit eine übermäßige Hitzeentwicklung im Player vermieden wird. Lösen Sie das USB-Kabel vom Player und beginnen Sie den Ladevorgang nach einer Weile erneut.
- Wenn der Player für mindestens drei Monate nicht verwendet wird, entnehmen Sie den Akku aus dem Gerät.
- Laden Sie den Akku bei einer Temperatur von 5 bis 35°C.

Fortsetzung ⇩

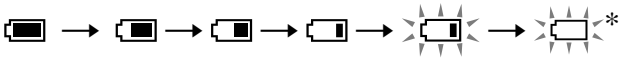
Hinweise zum Netzteil



- Verwenden Sie ausschließlich das Netzteil, das im Lieferumfang des Players enthalten ist. Verwenden Sie kein anderes Netzteil, da dies Funktionsstörungen des Players hervorrufen könnte.
- Der Player bleibt mit dem Stromnetz verbunden, solange er an die Netzsteckdose angeschlossen ist, auch wenn er ausgeschaltet wurde.
- Wenn Sie den Player längere Zeit nicht verwenden, muss er von der Stromversorgung getrennt werden. Ziehen Sie das Netzteil immer am Stecker aus der Netzsteckdose, niemals am Kabel.

Überprüfen der Restladung des Akkus

Die Restladung der Batterie wird im Display angezeigt. Wenn die Restladung der Batterie geringer wird, nimmt die Anzahl der schwarzen Bereiche in der Anzeige ab.



* „BATTERIE SCHWACH“ wird im Display angezeigt, und ein Signal ertönt.

Wenn der Akku entladen ist, laden Sie ihn erneut.

Hinweise

- Die Anzeige zeigt den ungefähren Ladestatus der Batterien an. So entspricht ein Bereich nicht unbedingt einem Viertel der Batterieladung.
- Je nach Betriebsbedingungen und Umgebung vermehrt oder verringert sich die Anzahl der Bereiche in der Anzeige entsprechend der tatsächlichen Restladung.
- Der Player schaltet sich aus, sobald Sie den Akku entnehmen, auch dann, wenn er an ein Netzteil angeschlossen ist.

Akkulebensdauer (ununterbrochener Betrieb)

Die Wiedergabedauer im ATRAC3plus-Format (48 Kbit/s) beträgt ca. 40 Stunden. Die Wiedergabedauer im MP3-Format (128 Kbit/s) beträgt ca. 30 Stunden.
Die Dauer hängt von der Verwendung des Players ab.

Installieren von SonicStage auf einem Computer

Installieren Sie SonicStage von der mitgelieferten CD-ROM auf Ihrem Computer.

Herstellen der erforderlichen Systemvoraussetzungen

Die folgende Systemumgebung ist erforderlich.

Computer	IBM PC/AT oder kompatibel
	• CPU: Pentium III 450 MHz oder höher • Festplattenspeicher: 200 MB oder mehr (Empfehlung: 1,5 GB oder mehr) (Der erforderliche Speicherplatz hängt von der Windows-Version und der Anzahl der auf der Festplatte gespeicherten Musikdateien ab.) • RAM: 128 MB oder mehr
	Andere • CD-Laufwerk (mit Möglichkeit der digitalen Wiedergabe gemäß WDM) (CD-R/RW-Laufwerk wird benötigt zum Schreiben von CDs.) • Soundboard • USB-Anschluss
Betriebssystem	Werkseitig vorinstalliert: Windows XP Media Center Edition 2005/ Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/ Windows XP Professional /Windows XP Home Edition/ Windows 2000 Professional (Service Pack 3 oder höher)/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition
Display	High Color (16 Bit) oder höher, 800 x 600 Bildpunkte oder mehr (Empfehlung: 1024 x 768 Bildpunkte oder mehr)
Andere	• Internetzugang: Für Webregistrierung, EMD-Services und CDDB • Windows Media Player (Version 7.0 oder höher) für die Wiedergabe von WMA-Dateien

Fortsetzung ⇩

Hinweise

- SonicStage wird von folgenden Umgebungen nicht unterstützt:
  - Andere Betriebssysteme als die auf Seite 16 angegebenen.
  - Individuell zusammengestellte PCs oder selbst programmierte Betriebssysteme
  - Eine Umgebung, die ein Upgrade des ursprünglich vom Hersteller bereitgestellten Betriebssystems darstellt
  - Multi-Boot-Umgebung
  - Multi-Monitor-Umgebung
  - Macintosh
- Wir können nicht garantieren, dass die Software auf allen Computern, die den Systemanforderungen genügen, fehlerfrei ausgeführt wird.
- Das NTFS-Format unter Windows XP/Windows 2000 Professional kann nur mit den vorgegebenen (werkseitigen) Einstellungen verwendet werden.
- Wir können nicht garantieren, dass die Stromspar-, Standby- und Ruhezustandfunktionen auf allen Computern fehlerfrei ausgeführt werden können.

Installieren von SonicStage

Lesen Sie die folgenden Punkte, bevor Sie die Software SonicStage installieren.

- Stellen Sie sicher, dass Sie alle anderen Anwendungen einschließlich Virenschutzprogramme beenden.
- Verwenden Sie zur Installation von SonicStage ausschließlich die mitgelieferte CD-ROM.
  - Wenn OpenMG Jukebox oder SonicStage bereits installiert ist, wird die vorhandene Software mit der neuen Version und den neuen Funktionen überschrieben.
  - Wenn SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner oder MD Simple Burner bereits installiert ist, bleibt die vorhandene Software unverändert neben SonicStage bestehen.
  - Audiodaten, die von der älteren Softwareversion registriert wurden, können Sie nach wie vor verwenden. Wir empfehlen, Ihre Audiodaten vorsichtshalber zu sichern. Weitere Informationen zum Sichern der Daten finden Sie in der SonicStage-Hilfe unter „Sichern der eigenen Bibliothek“. Die Methode zum Verwalten von Musikdaten unterscheidet sich teilweise von anderen Methoden. Weitere Informationen finden Sie in der SonicStage-Hilfe unter „Für Benutzer von Vorgängerversionen von SonicStage”.
- Wenn der Player per USB-Kabel an den Computer angeschlossen, ziehen Sie das USB-Kabel vom Player ab, bevor Sie die mitgelieferte CD-ROM zur Installation verwenden.

Fortsetzung ⇩

1 Schließen Sie alle anderen aktiven Anwendungen.

Überprüfen Sie, ob einer der folgenden Punkte zutrifft, bevor Sie die SonicStage-Software installieren, da die Softwareinstallation unter diesen Umständen fehlschlagen kann.

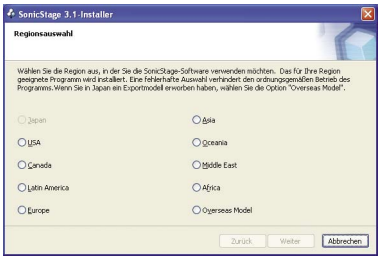
- Sie sind nicht als „Administrator” angemeldet (bei Verwendung von Windows 2000/Windows XP).
- Eine Anti-Viren-Software ist aktiv. (Diese Art Software benötigt für gewöhnlich viele Systemressourcen.)

2 Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM in das CD-Laufwerk des Computers ein.

Das Setupprogramm wird automatisch gestartet, und das Installationsfenster wird angezeigt.

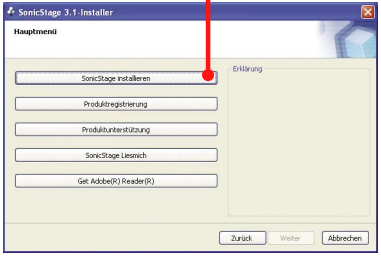
3 Wenn das Fenster rechts angezeigt wird, klicken Sie auf die Region, in der die SonicStage-Software verwendet wird.

Wird kein Fenster angezeigt, fahren Sie fort mit Schritt 4.



4 Klicken Sie auf „SonicStage installieren“ und befolgen Sie die angezeigten Anweisungen.

„SonicStage installieren“



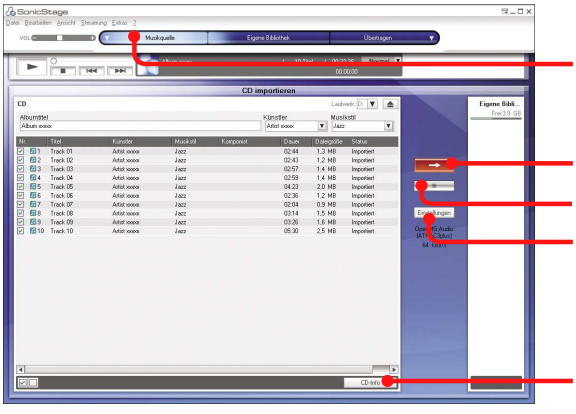
Lesen Sie die Anweisungen sorgfältig. Je nach Region stimmen die angezeigten Schaltflächen (mit Ausnahme von „SonicStage installieren“) möglicherweise nicht mit der Abbildung rechts überein.

Die Installation kann je nach Systemumgebung 20 bis 30 Minuten dauern. Der Computer darf erst nach Abschluss der Installation neu gestartet werden.

Traten während der Installation Probleme auf, finden Sie unter „Fehlerbehebung“ Lösungsvorschläge (☞ Seite 68).

Importieren von Audiodaten auf einen Computer

Sie können Titel (Audiodaten) von einer Audio-CD auf der Festplatte des Computers aufzeichnen und in SonicStage in der Liste “Eigene Bibliothek” speichern.
Um CD-Informationen (Name des Interpreten, Titel etc.) automatisch zu erhalten, schließen Sie den Computer an das Internet an.
Sie können Titel auch aus anderen Quellen aufzeichnen oder importieren, z.B. aus dem Internet oder von der Festplatte des Computers (MP3-Dateien).
Weitere Informationen finden Sie in der SonicStage-Hilfe (☞ Seite 73).



1 Doppelklicken Sie auf dem Desktop auf (SonicStage). Alternativ können Sie auch „Start“ – „Alle Programme“* – „SonicStage“ – „SonicStage“ auswählen.

SonicStage wird gestartet.
Wenn Sie die frühere Version von SonicStage verwenden, wird beim ersten Starten von SonicStage nach der Installation das Fenster „SonicStage-Dateikonvertierung”** angezeigt. Befolgen Sie die Anweisungen im Fenster.

* „Programme” bei Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition

** Dieses Tool konvertiert Audiodaten, die mit SonicStage2.0 oder einer früheren Version in den Computer importiert wurden, in das für diesen Player optimale Datenformat (OpenMG), damit die Audiodaten mit höherer Geschwindigkeit an den Player übertragen werden können.



Fortsetzung ⇩

2 Legen Sie die Audio-CD, von der Sie Audiodaten aufzeichnen möchten, in das CD-Laufwerk des Computers ein.

3 Zeigen Sie auf ▼ von „▼ Musikquelle” und wählen Sie im Menü „CD importieren” aus.

Der Inhalt der Audio-CD wird in der Musikquellenliste angezeigt. Wenn CD-Informationen (☞ Seite 21) wie Albumtitel, Name des Interpreten oder Namen der einzelnen Titel nicht automatisch abgerufen werden, stellen Sie eine Verbindung mit dem Internet her, und klicken Sie auf der rechten Seite des Fensters auf „CD-Info“.

4 Klicken Sie auf →.

Die Aufzeichnung der ausgewählten Titel beginnt.
Wenn Sie einige Titel auslassen möchten, klicken Sie auf die Titelnummer, um die Markierung von ☑ im SonicStage-Fenster aufzuheben, bevor Sie auf → klicken.

So ändern Sie das Format und die Bitrate (☞ Seite 21) für die Audio-CD-Aufnahme

Klicken Sie rechts im SonicStage-Fenster auf „Einstellungen”, um das Dialogfeld „CD-Importierformat [Eigene Bibliothek]]” aufzurufen, bevor Sie in Schritt 4 auf → klicken.
Die Standardeinstellungen sind OpenMG Audio (ATRAC3plus) für das Format und 64 Kbit/s für die Bitrate.

So beenden Sie die Aufnahme

Klicken Sie im SonicStage-Fenster auf ■.

Hinweis

Nur Audio-CDs mit dem Zeichen CD DIGITAL AUDIO können mit SonicStage verwendet werden. Bei kopiergeschützten CDs können wir den fehlerfreien Betrieb nicht garantieren.

Fortsetzung ⇩

Was sind CD-Informationen?

CD-Informationen beziehen sich auf die Daten von Audio-CDs, wie Albumtitel, Name des Interpreten oder Namen der einzelnen Titel etc. Mit SonicStage können Sie CD-Informationen automatisch und gebührenfrei von der Gracenote CDDB-Datenbank (Gracenote Compact Disc DataBase) abrufen, indem Sie beim Einlegen der CD in das CD-Laufwerk des Computers eine Verbindung mit dem Internet herstellen.
Beachten Sie, dass Sie keine CD-Informationen zu CDs abrufen können, die in CDDB nicht registriert sind.

Was ist ATRAC3/ATRAC3plus?

ATRAC3 (Adaptive Transform Acoustic Coding3) ist eine Audio-Komprimierungstechnologie, die hohe Tonqualität bei optimalen Komprimierungsraten gewährleistet. ATRAC3plus ist eine fortgeschrittenere Version von ATRAC3 und kann Audiodateien bei 64 Kbit/s auf 1/20 ihrer Originalgröße komprimieren.

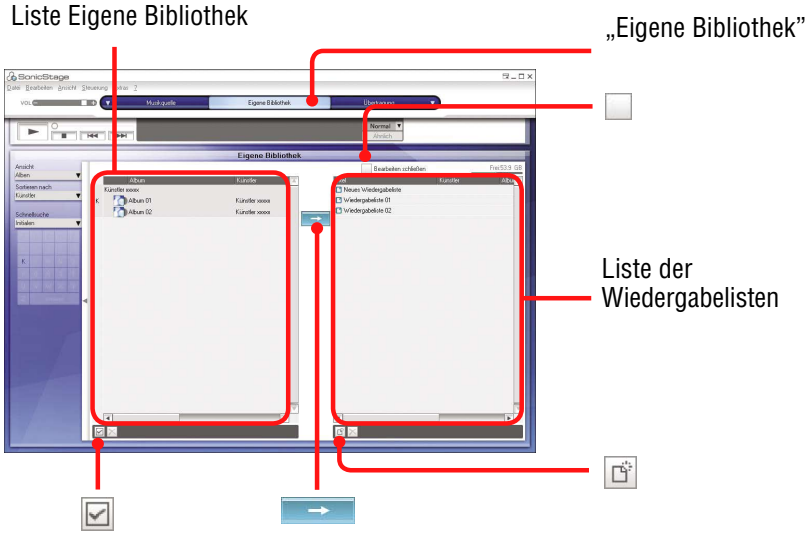
Was ist Format- und Bitrate?

Format bezieht sich auf das Aufnahmeformat, wie WAV oder ATRAC3plus.
Die Bitrate gibt die Anzahl der Daten an, die pro Sekunde verarbeitet werden. Höhere Bitraten bieten höhere Klangqualität. Höhere Bitraten erfordern allerdings auch mehr Speicherplatz für die Daten.
Die Standardeinstellungen sind OpenMG Audio (ATRAC3plus) für das Format und 64 Kbit/s für die Bitrate.
Zum Ändern des Formats und der Bitrate klicken Sie rechts im SonicStage-Fenster auf „Einstellungen”.

Verwalten von Titeln mit SonicStage

Im Bildschirm „Eigene Bibliothek“ von SonicStage können Sie Titel verwalten und bearbeiten.
Sie können auch Ihre Lieblingstitel oder Titel nach Themen sortiert in einer Wiedergabeliste zusammenfassen und diese als Album verwalten.
Weitere Informationen finden Sie in der SonicStage-Hilfe (☞ Seite 73).

Bildschirm Eigene Bibliothek



Bearbeiten einer Wiedergabeliste

Eine Wiedergabeliste erlaubt es Ihnen, Ihre Lieblingstitel oder Titel, die nach bestimmten Themen sortiert sind (z.B. Filmmusik), zusammenzufassen und wiederzugeben.

1 Klicken Sie auf „Eigene Bibliothek”.
Die Ansicht wechselt zum Bildschirm Eigene Bibliothek.

2 Klicken Sie auf ☐ (Wiedergabeliste erstellen/bearbeiten).
Das Hauptfenster wechselt zum Bildschirm Wiedergabeliste erstellen/bearbeiten.

3 Wählen Sie links aus der Liste der Inhalte einen oder mehrere Titel aus.
Wenn Sie mehr als einen Titel auswählen möchten, halten Sie die Taste „Strg“ gedrückt, während Sie die Titel auswählen.
Zur Auswahl aller Titel in der Liste klicken Sie auf ☑ (Alle ausw.).

Fortsetzung ⇩

4 Wählen Sie rechts aus der Liste eine Wiedergabeliste aus, zu der die Titel hinzugefügt werden sollen.

Um den Titel einer neuen Wiedergabeliste zuzuordnen, klicken Sie auf (Neue Wiedergabeliste erstellen).
Eine leere Wiedergabeliste wird erstellt und in der Liste der Wiedergabelisten angezeigt. Sie können nun einen Namen für die Wiedergabeliste eingeben.

5 Klicken Sie auf .

Die ausgewählten Titel werden der Wiedergabeliste rechts in der Liste hinzugefügt.

6 Wenn Sie alle gewünschten Titel hinzugefügt haben, klicken Sie auf (Bearbeiten schließen).

Die Ansicht wechselt zurück zum Bildschirm Eigene Bibliothek.

So fügen Sie einen Titel durch Ziehen und Ablegen hinzu

Sie können einen Titel aus der Liste Eigene Bibliothek links zur Liste der Wiedergabelisten rechts hinzufügen, indem Sie ihn dorthin ziehen. In diesem Fall wird der Titel der Wiedergabeliste an der Stelle hinzugefügt, an der er abgelegt wurde.

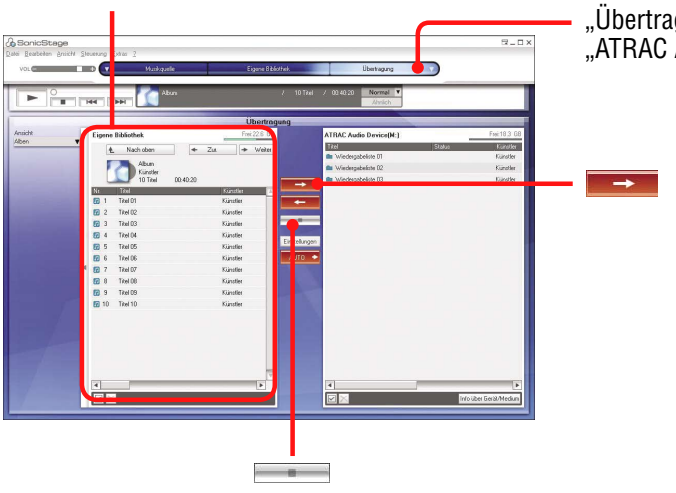
So prüfen Sie die genaueren Informationen zu Alben und Titeln

Klicken Sie mit der rechten Maustaste auf das Album oder den Titel, für das bzw. den genauere Informationen im SonicStage-Fenster angezeigt werden sollen, und wählen Sie dann im Menü „Eigenschaften” aus.
Das Fenster „Albumeigenschaften” bzw. „Titeleigenschaften” wird angezeigt. Sie können die Informationen im Fenster sowohl prüfen als auch bearbeiten. Die im Fenster „Eigenschaften“ bearbeiteten Inhalte werden auf den Bildschirm Eigene Bibliothek angewendet.

Übertragen von Audiodaten auf den Player

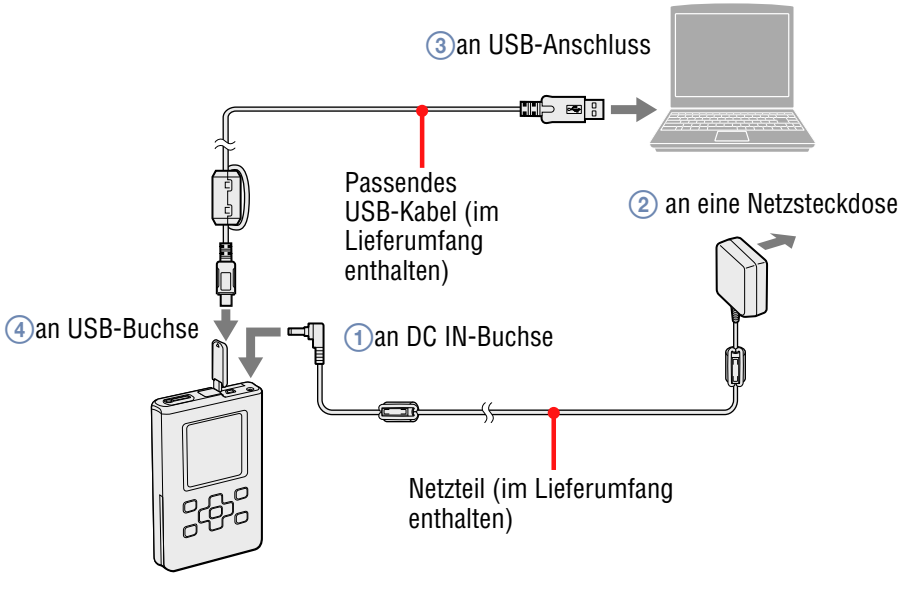
Übertragen Sie die Titel (Audiodaten), die in SonicStage in der Liste „Eigene Bibliothek“ gespeichert sind, im ATRAC3plus/MP3-Format von Ihrem Computer auf den Player.
Bei der Übertragung der Audiodaten werden auch CD-Informationen wie Interpretenname und Albumname übertragen.

Liste Eigene Bibliothek



1 Schließen Sie den Player an den Computer und das Netzteil in der folgenden Reihenfolge von ① bis ④ an.

„Anschluss an PC“ wird im Display angezeigt.
Der Einstellungsbildschirm zur automatischen Übertragung wird im SonicStage-Fenster angezeigt. Befolgen Sie die Anweisungen im Fenster.
Weitere Informationen finden Sie in der SonicStage-Hilfe (☞ Seite 73).



Fortsetzung ⇩

2 Zeigen Sie auf ▼ von „Übertragung ▼" und wählen Sie in der Liste „ATRAC-Audiogerät" aus.

Die Ansicht wechselt zu dem Fenster, in dem Titel von SonicStage auf den Player übertragen werden.

3 Klicken Sie auf das Album, das Sie von der Liste Eigene Bibliothek links im SonicStage-Fenster übertragen möchten.

Wenn Sie nur einzelne Titel übertragen möchten, klicken Sie auf die Titel, die Sie übertragen möchten. Wenn Sie mehr als einen Titel oder mehrere Alben übertragen möchten, halten Sie die Taste „Strg" gedrückt, während Sie die Titel bzw. Alben auswählen.
Sie können auch Wiedergabelisten an den Player übertragen (bis zu 8.187 Wiedergabelisten und 999 Titel pro Wiedergabeliste).
Wenn Sie eine Wiedergabeliste übertragen, die einen bereits auf dem Player vorhandenen Titel enthält, so werden für diesen Titel nur die Daten in der Wiedergabeliste übertragen.

4 Klicken Sie auf →.

Die Übertragung der ausgewählten Titel beginnt.
Sie können den Übertragungsstatus im SonicStage-Fenster prüfen.

So beenden Sie die Übertragung

Klicken Sie im SonicStage-Fenster auf ■.

Hinweise

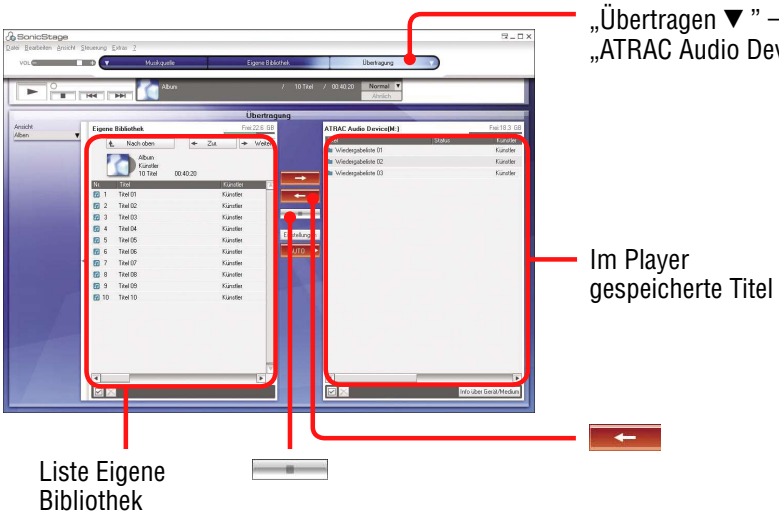
- Stellen Sie sicher, dass der Player keinen Vibrationen ausgesetzt ist, wenn Audiodaten übertragen werden. Der Player sollte außerdem nicht in der Nähe von magnetischen Gegenständen aufgestellt werden.
- Während der Datenübertragung darf weder das USB-Kabel herausgezogen noch der Akku aus dem Player entnommen werden. Andernfalls werden die zu übertragenden Daten möglicherweise zerstört.
- Die einwandfreie Funktion des Players bei Verwendung mit einen USB-Hub oder USB-Verlängerungskabel wird nicht garantiert. Schließen Sie den Player stets direkt mit dem mitgelieferten USB-Kabel an den Computer an.
- Einige an den Computer angeschlossene USB-Geräte beeinträchtigen möglicherweise den Betrieb des Players.
- Die Steuertasten auf dem Player sind deaktiviert, wenn er an einen Computer angeschlossen ist. Wenn Sie den Player während der Wiedergabe an den Computer anschließen, wird die Wiedergabe unterbrochen, und „Anschluss an PC" wird im Display des Players angezeigt.

Fortsetzung ⇩

- Wenn der Speicherplatz auf dem Player zur Übertragung der Audiodaten nicht ausreicht, kann die Übertragung nicht durchgeführt werden.
- Die maximale Anzahl von Übertragungen eines Titels kann aus urheberrechtlichen Gründen begrenzt sein.
- Titel mit beschränkter Wiedergabedauer oder beschränkter Anzahl der möglichen Wiedergabevorgänge können möglicherweise aufgrund von urheberrechtlichen Beschränkungen nicht übertragen werden.
- Während der Übertragung stehen Stromspar-, Standby- und Ruhezustandfunktionen nicht zur Verfügung.
- Je nach Art und Länge des Textes, der von SonicStage übertragen wird, kann dieser möglicherweise nicht im Display des Players angezeigt werden. Dies liegt an den eingeschränkten Anzeigemöglichkeiten des Players.
- Wenn der Player eine Zeitlang an einen eingeschalteten Computer angeschlossen ist oder nachdem zahlreiche Daten auf den Player übertragen wurden, kann der Player warm werden. Hierbei handelt es sich jedoch nicht um eine Fehlfunktion. Lösen Sie das Netzteil und das USB-Kabel vom Player und verwenden Sie sie eine Weile nicht.
  Wenn Sie den erwärmten Teil des Players für eine längere Zeit in Kontakt mit der gleichen Stelle Ihres Körpers halten, kann es auch bei geringeren Temperaturen des Players zu einer Niedrigtemperaturverbrennung kommen. Vermeiden Sie besonders bei empfindlicher Haut längeren Körperkontakt mit dem Player.
- Wenn sich auf der Festplatte des Players nicht genügend freier Speicher befindet, kann es sein, dass “KEINE DATENBANK GEFUNDEN” angezeigt wird, auch wenn die Übertragung von Audiodaten erfolgreich beendet wurde. Schließen Sie in diesem Fall den Player noch einmal an den Computer an und überspielen Sie unnötige Audiodaten auf den Computer, um auf dem Player für freien Speicherplatz zu sorgen.

Rückübertragen von Audiodaten auf einen Computer

Audiodaten können wieder zurück auf Ihren Computer in die Liste „Eigene Bibliothek“ von SonicStage übertragen werden.



1 Schließen Sie den Player an Ihren Computer an (siehe Schritt 1 in „Übertragen von Audiodaten auf den Player”, ☞ Seite 24).

2 Zeigen Sie auf ▼ von „Übertragen▼” und wählen Sie in der Liste „ATRAC Audio Device” aus.

Die Ansicht wechselt zu dem Fenster, in dem Titel vom Player an SonicStage übertragen werden.

3 Klicken Sie auf das Album, das Sie in die Liste Eigene Bibliothek rechts im SonicStage-Fenster übertragen möchten.

Wenn Sie nur einzelne Titel übertragen möchten, klicken Sie auf die Titel, die Sie übertragen möchten.
Wenn Sie mehr als einen Titel oder mehrere Alben übertragen möchten, halten Sie die Taste „Strg“ gedrückt, während Sie die Titel bzw. Alben auswählen.

4 Klicken Sie auf ←.

Die Übertragung des ausgewählten Albums beginnt.
Sie können den Übertragungsstatus im SonicStage-Fenster prüfen.

Fortsetzung ⇩

So beenden Sie die Übertragung

Klicken Sie im SonicStage-Fenster auf  .

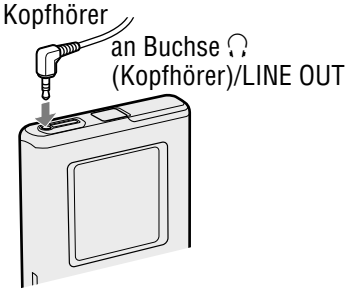
Hinweise

- Titel, die von einem anderen Computer auf den Player übertragen wurden, können nicht in die Eigene Bibliothek auf Ihrem Computer übertragen werden.
- Während der Datenübertragung darf weder das USB-Kabel herausgezogen noch der Akku aus dem Player entnommen werden. Andernfalls werden die zu übertragenden Daten möglicherweise zerstört.

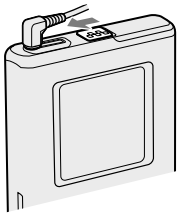
Wiedergabe

Sie können Titel wiedergeben, die mit SonicStage auf den Player übertragen wurden (☞ Seite 19).
Sie können die Spracheinstellung für das Menü und die Display-Meldungen ändern (☞ Seite 54).

1 Schließen Sie Kopfhörer an die Buchse ∩(Kopfhörer)/LINE OUT des Players an.



2 Verschieben Sie, wie in der Abbildung angegeben, den Schalter HOLD in Pfeilrichtung, um die Regler zu entsperren.
Alle Tasten sind entsperrt.



3 Drücken Sie eine beliebige Taste des Players außer ►II.
Das Display MENÜ wird angezeigt.



4 Drücken Sie ⏮/⏭, um „Suchen" auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.
Das Display Suchen wird angezeigt.

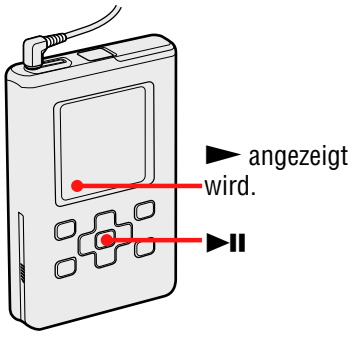


5 Drücken Sie ⏮/⏭, um den Suchmodus auszuwählen.
Um nach einem weiteren Titel zu suchen, drücken Sie ⏭.

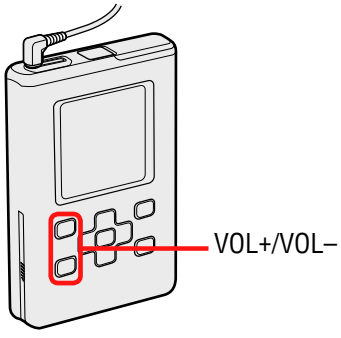
Fortsetzung ⇩

6 Drücken Sie ►II.

► wird links unten auf dem Display angezeigt, und der Player startet die Wiedergabe.
Drücken Sie ►II noch einmal, um die Wiedergabe anzuhalten.



7 Drücken Sie VOL+/ VOL–, um die Lautstärke einzustellen.



Welche Arten von Audiodaten können wiedergegeben werden?

Dieser Player kann Audiodaten wiedergeben, die in den Formaten ATRAC3plus/MP3 komprimiert wurden.
Die folgenden MP3-Dateiformate können wiedergegeben werden:

– MPEG-1 Audio Layer-3
– Bitrate 32 bis 320 Kbit/s (CBR/VBR)
– Abtastfrequenzen 32/44,1/48 kHz

Hinweise

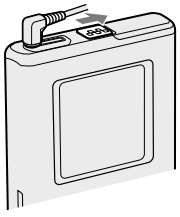
- Dateien im MP3-Format, die nicht auf dem Player wiedergegeben werden können, können dennoch auf den Player übertragen werden.
- Wenn Sie versuchen, einen MP3-Audiotitel auf diesem Player wiederzugeben, der nicht wiedergegeben werden kann, wird die Wiedergabe gestoppt. Drücken Sie ⁝, um andere Titel auszuwählen.
- Bei Verwendung des wiederaufladbaren Lithium-Ionen-Akkus wird das Display nach ca. 30 Sekunden Leerlaufzeit im Stopp-Modus automatisch ausgeschaltet. Beim Durchblättern von Titeln schaltet sich das Display ca. 30 Sekunden nach Beendigung des Durchblätterns ab.
- Wenn die Wiedergabe nicht gestartet wird, stellen Sie sicher, dass sich der Schalter HOLD in der Aus-Position befindet (☞ 31).

Fortsetzung ⇩

Sperren der Regler (HOLD)

Um zu verhindern, dass beim Transportieren des Players Tasten versehentlich gedrückt werden, können Sie die Regler sperren. Wenn Sie bei aktivierter HOLD-Funktion eine beliebige Taste drücken, wird „HOLD“ im Display angezeigt.

Verschieben Sie, wie in der Abbildung angegeben, den Schalter HOLD in Pfeilrichtung, um die Regler zu entsperren.



So heben Sie die Sperre der Regler auf

Verschieben Sie, wie in der obigen Abbildung angegeben, den Schalter HOLD entgegen der Pfeilrichtung.

Grundlegende Wiedergabefunktionen (Wiedergabe, Stopp, Suche)

Zweck	Bedienung
Wiedergabe ab der Stelle, an der Sie den Player vorher angehalten haben	Drücken Sie ▶II. Die Wiedergabe wird an der Stelle fortgesetzt, an der sie zuvor unterbrochen wurde.
Anhalten der Wiedergabe	Drücken Sie ■.
Suchen des Anfangs des aktuellen Titels	Drücken Sie ⏮ einmal.
Suchen des Anfangs der vorherigen Titel*	Drücken Sie wiederholt ⏮.
Suchen des Anfangs des nächsten Titels*	Drücken Sie ⏭ einmal.
Suchen des Anfangs der nachfolgenden Titel*	Drücken Sie wiederholt ⏭.
Schnelles Zurückspulen	Drücken und halten Sie ⏮.
Schnelles Vorspulen	Drücken und halten Sie ⏭.

* Wenn Sie Shuffle-Wiedergabe von Titeln bzw. Elementen (☞ Seite 47) auswählen, ändert sich die Wiedergabereihenfolge.

So schalten Sie den Player aus

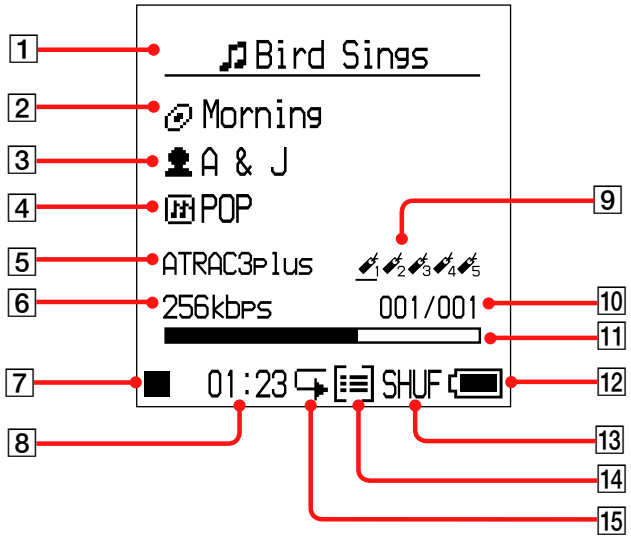
Halten Sie ■ gedrückt, bis das Display ausgeblendet wird.
Drücken Sie eine beliebige Taste, um den Player wieder einzuschalten.

Fortsetzung ⇩

Überprüfen der Informationen auf dem Display

Sie können Audiodaten und den Wiedergabestatus im Display des Players prüfen.

Display des Players während der Wiedergabe



1 Titelname
2 Albumname
3 Interpretenname
4 Musikstil
5 ATRAC3/ATRAC3plus/MP3 (☞ Seite 21)
6 Bitrate* (☞ Seite 21)
7 Wiedergabestatus
►: Wiedergabe
■: Stopp
►►: Vorspulen
◄◄: Zurückspulen
I◄◄/►►I: Suchen des Anfangs des Titels
8 Verstrichene Spieldauer
9 Lesezeichen (☞ Seite 39)
10 Titelnummer
11 Wiedergabe-Anzeigeleiste
12 Restladung des Akkus (☞ Seite 15)
13 Wiedergabemodus (☞ Seite 45), Ton (bei Einstellen der Lautstärke, ☞ Seite 52)
14 Einheitenanzeige (☞ Seite 48)
15 Wiederholen (☞ Seite 49)

* Bei MP3-Titeln, die VBR (Variable Bitrate) unterstützen, stimmt die hier angezeigte Bitrate möglicherweise nicht mit der Bitrate in der SonicStage-Software überein.

Hinweis

Die Zeichen A bis Z, a bis z, 0 bis 9 und Symbole (außer /) können angezeigt werden.

Auswahl von Titeln zur Wiedergabe
(Interpret, Album, Musikstil etc.)

Sie können die Titel auswählen, die Sie hören möchten, indem Sie in den Titeln auf dem Player nach „Interpret” oder „Album” etc. suchen. Weitere Informationen zu den Displays finden Sie in „Ordnerstruktur im Display Suchen” (☞ Seite 35).

1 Drücken Sie SEARCH/MENU.
Das Display Suchen wird angezeigt.



2 Drücken Sie ⏮/⏭, um einen Suchmodus auszuwählen.
Wenn Sie in einem beliebigen Modus außer „Wiedergabeliste” oder „Initialensuche” ▶II drücken, wird die Wiedergabe gestartet.
Wenn Sie zum Beispiel „Interpret” auswählen, beginnt die Wiedergabe mit dem ersten Titel des ersten Albums des von Ihnen ausgewählten Interpreten.
Die Alben aller Interpreten, die nach dem ausgewählten Interpreten aufgelistet sind, werden in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben.

3 Um nach weiteren Titeln zu suchen, drücken Sie ⏭.

4 Drücken Sie ⏮/⏭, um ein Element zur Wiedergabe auszuwählen, und drücken Sie dann ▶II.
Die Wiedergabe beginnt bei dem ausgewählten Titel oder bei dem ersten Titel des ausgewählten Elements (Interpret, Album usw.). Alle Titel, die nach ausgewählten Elementen aufgelistet sind, werden in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben.

Fortsetzung ⇩

So kehren Sie zum Display Suchen zurück

Drücken Sie SEARCH/●MENU.

So kehren Sie zum Display MENÜ zurück

Drücken und halten Sie SEARCH/●MENU.
Um zum Wiedergabebildschirm zurückzukehren, wählen Sie im Display MENU „Wiedergabebildschirm“ aus und drücken dann ►II.

So kehren Sie zur Titelliste zurück

Drücken Sie ⏮/⏭.

So stoppen Sie die Wiedergabe im Display Suchen

Drücken Sie ■.

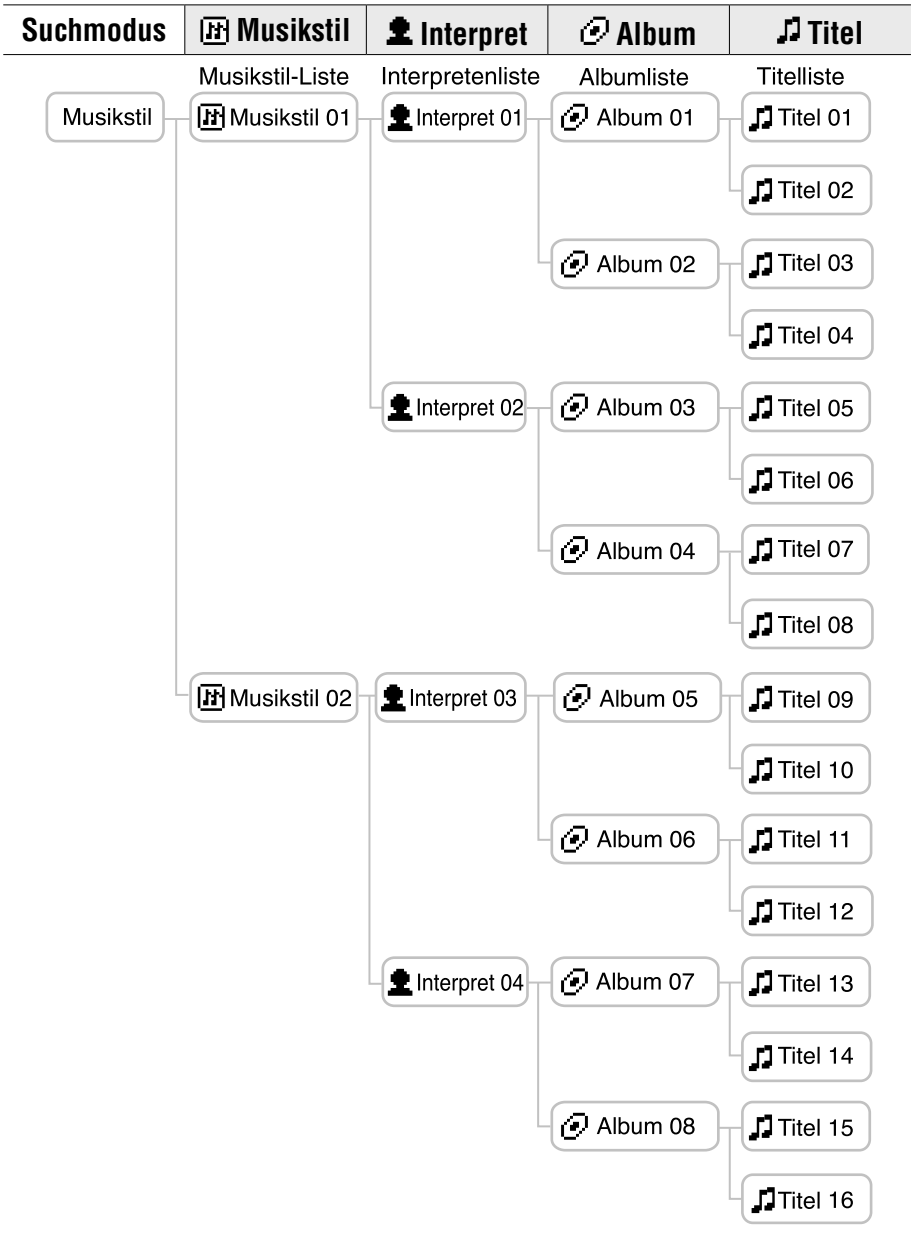
So durchblättern Sie mehrere Elemente gleichzeitig

Drücken Sie im Display Suchen zweimal schnell ⏮ oder ⏭, und halten Sie die Taste dann mehrere Sekunden gedrückt.
Alle im Display aufgeführten Elemente werden zu mehreren gleichzeitig durchgeblättert.
Wenn Sie ⏮ oder ⏭ für einige Sekunden gedrückt halten, werden die Elemente schneller als sonst durchgeblättert.

Fortsetzung ⇩

Ordnerstruktur im Display Suchen

Es gibt folgende Suchmodi im Display Suchen: – „Interpret,”– „Album,”–„Musikstil,”– „Titel,” –„Neue Titel,” – „Initialensuche” und „Wiedergabeliste.” Die Struktur von Musikstil, Interpret, Album und Titel ist wie folgt.
In jedem der Suchdisplays zu Musikstil, Interpret, Album, Titel und Neuen Titeln können Sie durch Drücken von ▶II die Wiedergabe starten.
Informationen zur Auswahl und Wiedergabe eines Titels aus den Neuen Titeln finden Sie ☞ auf Seite 36, zur Initialensuche auf ☞ Seite 36, zur Wiedergabeliste ☞ auf Seite 38.



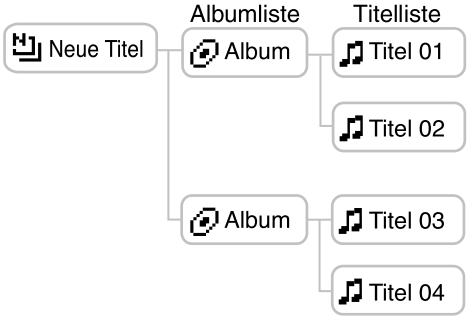
Fortsetzung ⇩

Auswahl von Titeln aus „Neue Titel”

Sie können Titel von Alben auswählen, die neu auf den Player übertragen wurden (aus den letzten 5 Übertragungen).

1 Wählen Sie „Neue Titel” im Display Suchen (in Schritt 2, ☞ Seite 33), und drücken Sie dann .

Die Liste der neuen Titel wird angezeigt. Die Struktur der „Neuen Titel” ist wie folgt.



2 Drücken Sie /, um ein Element zur Wiedergabe auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Die Wiedergabe beginnt mit dem ausgewählten Titel bzw. mit dem ersten Titel des ausgewählten Albums. Alle Titel, die nach ausgewählten Elementen aufgelistet sind, werden in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben.

Auswahl eines Titels nach dessen Anfangsbuchstaben (Initialiensuche)

Sie können Titel durch Suchen nach dem ersten Buchstaben des Titelnamens auswählen.
Der Player sucht in den CD-Informationen in SonicStage nach einem Titelnamen.

1 Drücken Sie SEARCH/MENU.

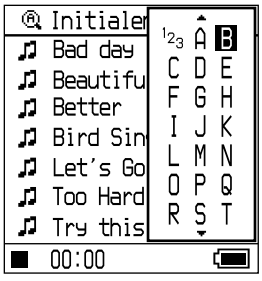
Das Display Suchen wird angezeigt.



Fortsetzung ⇩

2 Drücken Sie ^/v, um „Initialensuche” auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Die Liste der Titel wird angezeigt und dann das Display zur Auswahl eines Zeichens.



3 Drücken Sie ^/v/</>, um den Anfangsbuchstaben des Titelnamens auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Die Titel, die mit dem in der Liste ausgewählten Buchstaben beginnen, werden angezeigt. Wenn es keine Titel gibt, die mit dem ausgewählten Anfangsbuchstaben beginnen, werden die nachfolgenden Titel angezeigt.



4 Drücken Sie ^/v, um einen Titel zur Wiedergabe auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Die Wiedergabe beginnt mit dem von Ihnen ausgewählten Titel. Alle Titel, die nach ausgewählten Titeln aufgelistet sind, werden in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben.

So kehren Sie zum Display Suchen zurück

Drücken Sie SEARCH/–MENU.

So kehren Sie zum Display MENÜ zurück

Drücken und halten Sie SEARCH/–MENU.

Fortsetzung ⇩

Auswahl von Titeln aus der „Wiedergabeliste”

Sie können Titel aus Wiedergabelisten auswählen, die mit SonicStage erstellt wurden, oder Titel, die in Lesezeichen (Lesezeichen 1 bis Lesezeichen 5) auf dem Player registriert wurden. Informationen zum Registrieren eines Titels in einem Lesezeichen finden Sie auf ☞ Seite 39.

1 Wählen Sie „Wiedergabeliste” im Display Suchen (in Schritt 2, ☞ Seite 33), und drücken Sie dann .

Die Liste der Wiedergabelisten wird angezeigt. Die Struktur der Wiedergabeliste ist wie folgt.



* Eine Wiedergabeliste wird in der Liste der Wiedergabelisten mit dem Namen angezeigt, mit dem Sie sie in SonicStage erstellt haben.

2 Drücken Sie /, um ein Element zur Wiedergabe auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Bearbeiten von Lesezeichen auf dem Player

Es gibt zwei Arten von Wiedergabelisten, die Wiedergabelisten in SonicStage und die Wiedergabelisten auf dem Player. Eine Wiedergabeliste auf dem Player beinhaltet die in SonicStage erstellten Wiedergabelisten und die auf dem Player erstellten Lesezeichen. Informationen zur Struktur der Wiedergabeliste finden Sie ☞ auf Seite 38. Sie können Wiedergabelisten nur mit den Geräten bearbeiten, auf denen sie erstellt wurden. Die auf dem Player erstellten Lesezeichen können in SonicStage weder angezeigt noch bearbeitet werden.

Registrieren eines Titels in einem Lesezeichen (Wiedergabe von Titeln mit Lesezeichen)

Sie können Ihre Lieblingstitel in Lesezeichen registrieren. Zur Wiedergabe von registrierten Titeln wählen Sie „Wiedergabeliste” im Display Suchen (☞ Seite 33).

1 Während der Wiedergabe des Titels, dem Sie ein Lesezeichen hinzufügen möchten, drücken und halten Sie .

Das Display Lesezeichen wird angezeigt.



2 Drücken Sie / , um das Lesezeichen auszuwählen, in dem der Titel registriert ist, und drücken Sie dann ►II.

„Mit Lesezeichen” und die Anzahl der Lesezeichen (die Anzahl der Titel mit Lesezeichen/die Anzahl der möglichen Lesezeichen) wird angezeigt, und anschließend leuchtet das Lesezeichensymbol auf.

3 Wenn Sie zwei oder mehr Titeln ein Lesezeichen hinzufügen möchten, wiederholen Sie die Schritte 1 und 2.

Sie können pro Lesezeichen bis zu 100 Titel registrieren.

Fortsetzung ⇩

Wiedergabe von Titeln mit Lesezeichen

1 Drücken Sie SEARCH/MENU.
Das Display Suchen wird angezeigt.
2 Drücken Sie /, um „ Wiedergabeliste” auszuwählen, und drücken Sie dann ▶II.
3 Drücken Sie /, um „ Lesezeichen” auszuwählen, und drücken Sie dann .
Wenn Sie hier ▶II anstelle von drücken, beginnt die Wiedergabe mit dem ersten Titel des ausgewählten Lesezeichens.
4 Drücken Sie / um einen Titel auszuwählen, und drücken Sie dann ▶II.
Im Wiedergabedisplay wird eine Linie unter dem Lesezeichensymbol dargestellt.

So entfernen Sie Lesezeichen

Während der Wiedergabe des Titels, von dem Sie das Lesezeichen entfernen möchten, befolgen Sie die obigen Schritte und drücken und halten .
„Lesezeichen entfernt” wird angezeigt, und im Display verschwindet das Lesezeichensymbol.

Hinweise

- Sie können einen Titel nur während der Wiedergabe in einem Lesezeichen registrieren.
- Sie können ein Lesezeichen von einem Titel nur während der Wiedergabe und über obige Schritte entfernen.

Umsortieren der Titel in einem Lesezeichen

Sie können die Reihenfolge Ihrer in Lesezeichen registrierten Lieblingstitel ändern.

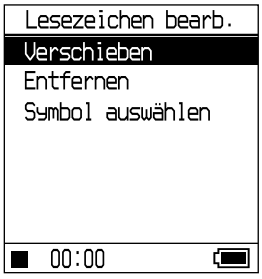
1 Drücken und halten Sie SEARCH/MENU.
Das Display MENÜ wird angezeigt.



Fortsetzung ⇩

2 Drücken Sie ^/v, um „Lesezeichen bearb." auszuwählen, und drücken Sie dann ►II oder >.

Das Display Lesezeichen bearb. wird angezeigt.



3 Drücken Sie ^/v, um „Verschieben" auszuwählen, und drücken Sie dann ►II oder >.

Das Liste der Lesezeichen wird angezeigt.



4 Drücken Sie ^/v, um das zu bearbeitende Lesezeichen auszuwählen, und drücken Sie dann ►II oder >.

Die Liste der Titel des ausgewählten Lesezeichens wird angezeigt.



5 Drücken Sie ^/v, um den zu verschiebenden Titel auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

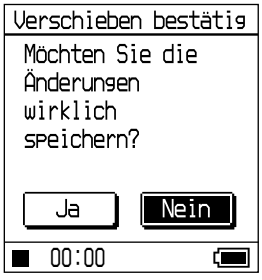
Der ausgewählte Titel blinkt.

6 Drücken Sie ^/v, um einen Zielort auszuwählen, zu dem der Titel verschoben wird, und drücken Sie dann ►II.

Der in Schritt 5 ausgewählte Titel wird an den in Schritt 6 ausgewählten Zielort verschoben.
Wenn Sie weitere Titel verschieben möchten, wiederholen Sie Schritt 5 und 6.

7 Drücken Sie > oder ■.

Ein Dialogfeld zur Bestätigung wird angezeigt.



Fortsetzung ⇩

8 Brücken Sie ⏮/⏭, um „Ja” auszuwählen, und drücken Sie dann ▶II.

„Änderungen gespeichert.” wird im Display des Players angezeigt.
Wenn Sie „Nein” auswählen, wird die Bearbeitung der Wiedergabeliste abgebrochen und das Display kehrt Anzeige Lesezeichen bearb. zurück.

Entfernen von Titeln mit Lesezeichen

Sie können in Lesezeichen registrierte Titel entfernen.

1 Wählen Sie „Entfernen” in Schritt 3 von „Umsortieren der Titel in einem Lesezeichen” (☞ Seite 40), und drücken Sie dann ▶II oder ⏭.

Das Display Entfernen wird angezeigt.



2 Drücken Sie ⏫/⏬, um „♫Titel” oder „ Lesezeichen” auszuwählen, und drücken Sie dann ▶II.

Das Liste der Lesezeichen wird angezeigt.



3 Drücken Sie ⏫/⏬, um Lesezeichen auszuwählen, und drücken Sie dann ▶II oder ⏭.

Wenn Sie „Titel“in Schritt 2 auswählen, wird die Liste der Titel angezeigt.
Wenn Sie „Lesezeichen“in Schritt 2 auswählen, fahren Sie mit Schritt 6 fort.



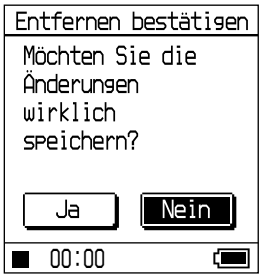
Fortsetzung ⇩

4 Drücken Sie ^/v, um den zu entfernenden Titel auszuwählen, und drücken dann ►II.

Der ausgewählte Titel wird aus der Liste gelöscht.
Wenn Sie mehrere Titel aus einem Lesezeichen entfernen möchten, wiederholen Sie diesen Schritt.

5 Drücken Sie > oder ■.

Ein Dialogfeld zur Bestätigung wird angezeigt.



6 Drücken Sie < / >, um „Ja” auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

„Änderungen gespeichert” wird angezeigt, und das Display kehrt zur Anzeige Lesezeichen bearb. zurück.

Wenn Sie „ Lesezeichen” in Schritt 2 ausgewählt haben
„Möchten Sie wirklich alle Titel mit Lesezeichen entfernen?“ wird im Display angezeigt. Wählen Sie „Ja” aus.
Wenn Sie „Nein” auswählen, wird die Bearbeitung der Lesezeichen abgebrochen und das Display kehrt zur Anzeige Lesezeichen bearb. zurück.

So durchblättern Sie mehrere Elemente gleichzeitig

Drücken Sie im Display einer Titelliste zweimal schnell ^ oder v in „Umsortieren der Titel in einem Lesezeichen“ (☞ Seite 40) oder in „Löschen von Titeln mit Lesezeichen“ (☞ Seite 42), und halten Sie die Taste dann mehrere Sekunden gedrückt.
Alle im Display aufgeführten Elemente werden zu mehreren gleichzeitig durchgeblättert.
Wenn Sie ^ oder v für einige Sekunden gedrückt halten, werden die Elemente schneller als sonst durchgeblättert.

Hinweis

Sie können während der Wiedergabe (auch angehaltener) der in ihnen registrierten Titel keine Lesezeichen bearbeiten.

Fortsetzung ⇩

Ändern eines Lesezeichensymbols

Sie können ein Lesezeichensymbol auswählen, das bei Titeln mit Lesezeichen angezeigt wird. Es ist sinnvoll, für jedes Lesezeichen ein anderes Symbol zu verwenden. (Lesezeichen 1 bis 5)

1 Wählen Sie „Symbol auswählen” in Schritt 3 von „Umsortieren der Titel in einem Lesezeichen” (☞ Seite 40), und drücken Sie dann ►II oder .

Das Liste der Lesezeichen wird angezeigt.



2 Drücken Sie /, um das Lesezeichen auszuwählen, dessen Symbol Sie ändern möchten, und drücken Sie dann ►II.

Das Display Symbol auswählen wird angezeigt.



3 Drücken Sie / / / um ein Symbol auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Das von Ihnen ausgewählte Symbol wird bei dem Titel mit Lesezeichen angezeigt.

Ändern von Wiedergabefunktionen (Wiedergabemodus)

Es stehen verschiedene Wiedergabefunktionen (Wiedergabemodus) zur Verfügung, wie z.B. die Auswahl von Titeln, die Sie anhören möchten, oder die Wiedergabe von Titeln in zufälliger Reihenfolge.
Weitere Informationen zu den verschiedenen Wiedergabefunktionen und dem Wiedergabebereich finden Sie unter „Wiedergabefunktionen” (☞ Seite 47).
Sie können Titel in zufälliger Reihenfolge wiedergeben (☞ Seite 47, 49) oder mit den ausgewählten Wiedergabefunktionen (Repeat-Wiedergabe, ☞ Seite 49) Titel wiederholt wiedergeben.

1 Drücken und halten Sie SEARCH/MENU.

Das Display MENÜ wird angezeigt.



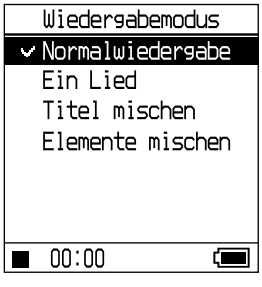
2 Drücken Sie ↷/↶, um „Optionen” auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Das Display Optionen wird angezeigt.



3 Drücken Sie ↷/↶, um „Wiedergabemodus” auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Die Liste der Wiedergabemodi wird angezeigt.



Fortsetzung ⇩

4 Drücken Sie ^/v, um eine Wiedergabefunktion auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Die Standardeinstellung ist „Normalwiedergabe” (Normale Wiedergabe).

5 Drücken Sie SEARCH/MENU, um das Display Suchen anzuzeigen, und wählen Sie dann eine Suchkategorie für die Wiedergabe aus (☞ Seite 33).

Drücken Sie >, um Suchkategorie für die Wiedergabe einzuschränken.

6 Drücken Sie ►II.

Die Titel werden mit der ausgewählten Wiedergabefunktion wiedergegeben.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie ■, um zur Anzeige Optionen zurückzukehren.

So kehren Sie zur normalen Wiedergabe zurück

Wählen Sie in Schritt 4 „Normalwiedergabe”aus.

So kehren Sie zum Display MENÜ zurück

Drücken und halten Sie SEARCH/MENU.

Fortsetzung ⇩

Wiedergabefunktionen (Wiedergabemodus)

Display/Symbol des Players	Erläuterung
Normalwiedergabe/ Kein Symbol (Normale Wiedergabe)	Alle Titel nach dem ausgewählten Titel werden jeweils einmal in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben. Wenn Sie ein anderes Element als einen Titel (Album, Interpret usw.) auswählen, werden alle Titel beginnend mit dem ersten Titel des Elements jeweils einmal in der Reihenfolge der Titelnummern wiedergegeben.
Ein Lied/ 1 (Einmalige Wiedergabe)	Der ausgewählte Titel wird einmal wiedergegeben. Wenn Sie ein anderes Element als einen Titel (Album, Interpret usw.) auswählen, wird nur der erste Titel einmal wiedergegeben.
Titel mischen/ SHUF	Alle Titel werden einmal in willkürlicher Reihenfolge wiedergegeben.
Elemente mischen/ SHUF	Alle Alben werden jeweils einmal in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben (Album-Shuffle). Die Wiedergabereihenfolge innerhalb der Alben richtet sich nach den Titelnummern. Wenn „Gerät" auf „Gerät ein" eingestellt ist(☞ Seite 47), werden die Titel im Einheiten-Shuffle wiedergegeben.(☞ Seite 49).

Wiedergabe von Titeln in einer ausgewählten Suchkategorie (Einheitenwiedergabe)

1 Wählen Sie „Gerät" in Schritt 3 von „Ändern von Wiedergabefunktionen" (☞ Seite 45), und drücken Sie dann ►II.

Das Display Gerät wird angezeigt.



2 Drücken Sie /, um „Gerät ein" auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Fortsetzung ⇩

3 Drücken Sie SEARCH/MENU, um das Display Suchen anzuzeigen, und wählen Sie dann eine Suchkategorie für die Wiedergabe aus (☞ Seite 33).

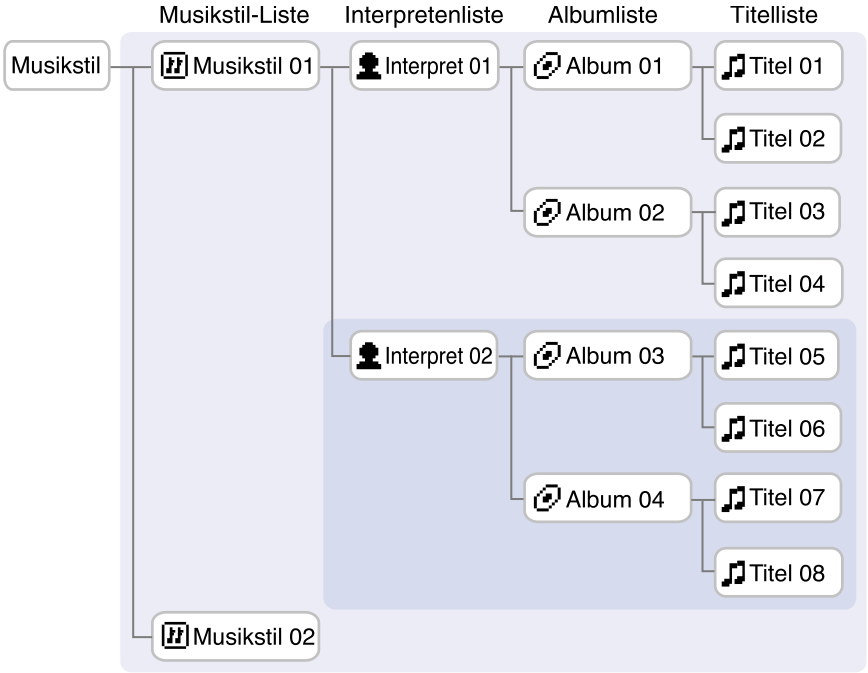
4 Drücken Sie ►II.

Die Wiedergabe beginnt innerhalb der Einheit in der Reihenfolge der Titelnummern.

Was ist eine Einheit (Suchkategorie für Wiedergabe)?

Alle Elemente (ein Interpret, ein Album, ein Titel usw.), die beim Starten der Wiedergabe zum ausgewählten Element gehören, werden als „Einheit“ bezeichnet.

z.B.: Wenn Sie die Wiedergabe nach Auswahl von „Musikstil 01” beginnen
Titel von Titel 01 bis 08 sind eine Einheit.
Wenn Sie die Wiedergabe nach Auswahl von „Interpret 02” beginnen
Titel von Titel 05 bis 08 sind eine Einheit.



Hinweise

- Wenn Sie zwischen „Gerät ein” und „Gerät aus” hin- und herschalten, wird die Einheit so zurückgesetzt, dass sie alle Titel auf dem Player enthält.
- Bei Auswahl eines Titels als Suchkategorie für die Wiedergabe in Schritt 3 wird das Album, das den Titel enthält, als Einheit zugewiesen.

Fortsetzung ⇩

Titel-Shuffle innerhalb der Einheit (Wiedergabemodus „Titel mischen“ wenn „Gerät“ auf „Gerät ein“ eingestellt ist)

Wenn Sie im Display Optionen „Gerät” auf „Gerät ein” stellen, werden alle Elemente (Interpreten, Alben, Titel), die bei Beginn der Wiedergabe in der Einheit aufgelistet sind, in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben.

Einheiten-Shuffle (Wiedergabemodus „Elemente mischen“ wenn „Gerät“auf „Gerät ein“ eingestellt ist)

Wenn Sie im Display Optionen „Gerät“ auf „Gerät ein“ stellen, werden die Einheiten der ersten Hierarchie in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben. Die Wiedergabereihenfolge innerhalb der Einheiten richtet sich nach den Titelnummern.

Hinweise

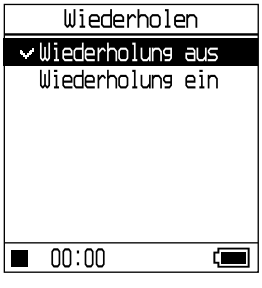
- Wenn Sie einen „♫ Titel” im Display Suchen auswählen und die Wiedergabe im Shuffle-Modus starten, werden alle Titel auf dem Player in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben, unabhängig von den Einstellungen der Modi „Gerät ein/aus” oder „Titel/Elemente mischen”.
- Wenn Sie im Display Suchen „ Wiedergabeliste“ auswählen und dann eine „ Wiedergabeliste“ oder ein „ Lesezeichen“ auswählen um die Wiedergabe im Shuffle-Modus zu starten, werden alle Titel in der Wiedergabeliste bzw. dem Lesezeichen in zufälliger Reihenfolge wiedergegeben, unabhängig von den Einstellungen für „Gerät ein/aus“ und dem Modus „Titel-/Einheiten-Shuffle“.

Wiederholte Wiedergabe von Titeln (Repeat-Wiedergabe)

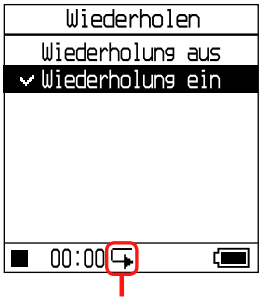
Die Wiedergabe von Titeln wird gemäß den auf ☞ Seite 47 ausgewählten Wiedergabefunktionen wiederholt.

1 Wählen Sie „Wiederholen” in Schritt 3 von „Ändern von Wiedergabefunktionen” (☞ Seite 45), und drücken Sie dann ▶II.

Das Display Wiederholen wird angezeigt.



2 Drücken Sie ^/v, um „Wiederholung ein” auszuwählen, und drücken Sie dann ▶II.



wird angezeigt.

Fortsetzung ⇩

3 Drücken Sie SEARCH/MENU, um das Display Suchen anzuzeigen, und wählen Sie dann eine Suchkategorie für die Wiedergabe aus (☞ Seite 33).

4 Drücken Sie ►II.
Die Titel werden mit der ausgewählten Wiedergabefunktion wiedergegeben.

So brechen Sie jederzeit während des Betriebs die Einstellung ab
Drücken Sie ■, um zur Anzeige Optionen zurückzukehren.

So brechen Sie die Repeat-Wiedergabe ab
Wählen Sie in Schritt 2 „Wiederholung aus” aus.

So kehren Sie zum Display Suchen zurück
Drücken Sie SEARCH/MENU.

Ändern der Tonqualität und der Klangeinstellungen

Weitere Informationen über die verschiedenen Setup-Einstellungen finden Sie auf ☞ Seite 52.

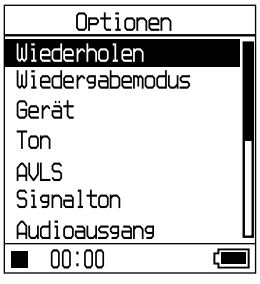
1 Drücken und halten Sie SEARCH/MENU.

Das Display MENÜ wird angezeigt.



2 Drücken Sie ^/v, um „Optionen" auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Das Display Optionen wird angezeigt.



3 Drücken Sie ^/v, um eine Option auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

So ändern Sie die Tonqualität

Drücken Sie nach Schritt 3 ^/v, um „Ton" auszuwählen (☞ Seite 52), drücken Sie dann ►II.

So kehren Sie zum vorherigen Display zurück

Drücken Sie ←.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie ■, um zur Anzeige Optionen zurückzukehren.

So kehren Sie zum Display MENÜ zurück

Drücken und halten Sie SEARCH/MENU.

Fortsetzung ⇩

Setup-Einstellungen für Tonqualität und Displays

Einstellung	Funktionen (●: Standardeinstellung)		
Ton	● Ton aus		Die Titel werden in normaler Tonqualität wiedergegeben.
	VPT Acoustic Eng. [1) 2)]	Studio (VS)	Es wird der Klangeffekt eines Aufnahmestudios erzeugt.
		Live (VL)	Es wird der Klangeffekt eines Konzertsaals erzeugt.
		Club (VC)	Es wird der Klangeffekt einer Diskothek erzeugt.
		Stadion (VA)	Es wird der Klangeffekt eines Stadions erzeugt.
	s6-Band Equalizer [1) 2)]	Tief/Hoch (SH)	Die Titel werden mit kräftigeren Tönen und mit stärkerer Betonung hoher und niedriger Frequenzbereiche als bei der Toneinstellung “Pop“ wiedergegeben.
		Pop (SP)	Die Titel werden mit klangvollen Tönen und mit Betonung mittlerer Frequenzbereiche wiedergegeben.
		Jazz (SJ)	Die Titel werden mit lebendigen Tönen und mit Betonung hoher und niedriger Frequenzbereiche wiedergegeben.
		Einzig (SU)	Die Titel werden mit besonderen Tönen und mit Betonung hoher und niedriger Frequenzbereiche außerhalb der mittleren Bereiche wiedergegeben.
		Benutzerdef1 (S1)	Die Titel werden mit benutzerdefiniertem Klang wiedergegeben (weitere Informationen auf ☞ Seite 55).
		Benutzerdef2 (S2)	
	Dgtl. Snd. Presets [2)]	Benutzerdef3 (S3)	Die Titel werden mit voreingestellten Höhen und Bässen wiedergegeben (weitere Informationen auf ☞ Seite 56).
		Benutzerdef4 (S4)	

1) Die Einstellungen gelten nur für die Wiedergabe von ATRAC3plus-Audiotiteln. Bei Wiedergabe eines MP3-Audiotitels gelten die Einstellungen nicht.

2) Die Toneinstellungen werden im Display durch die Buchstaben in Klammern dargestellt (☞ Seite 32).

Fortsetzung ⇩

Einstellung	Funktionen (●: Standardeinstellung)	
AVLS [1]	●AVLS aus	Die Lautstärke kann ohne Beschränkung des Lautstärkeniveaus geändert werden.
	AVLS ein	Beschränkung der maximalen Lautstärke, um Gehörschäden zu vermeiden.
Signalton	●Signalton ein	Bei der Bedienung des Players ertönt ein Signal.
	Signalton aus	Der Signalton ist deaktiviert.
Audioausgang	●Kopfhörer	Wählen Sie diese Einstellung, wenn Sie die mitgelieferten Kopfhörer anschließen.
	Line Out	Wählen Sie diese Einstellung, wenn Sie andere Geräte, z.B. Lautsprecher, mit einem Audiokabel anschließen (☞ Seite 58).
Hintergrundbeleucht [2]	●10 Sek.	Wenn Sie eine Taste drücken oder blättern, leuchtet die Hintergrundbeleuchtung für den angegebenen Zeitraum auf.
	30 Sek.	
	Immer aus	Die Hintergrundbeleuchtung wird ausgeschaltet, um Strom zu sparen.
Kontrast [3]	●Mittel	Die Helligkeit des Displays liegt im mittleren Bereich. Wenn die Gehäusefarbe des Players schwarz ist, ist die Standardeinstellung die zweite von links.
	– bis +	Nehmen Sie die Einstellung in Richtung – vor, um die Helligkeit des Displays zu erhöhen, und in Richtung +, um sie zu verringern. Der Pegel wird auf mittel eingestellt, wenn Sie in einem beliebigen Display drücken, während Sie gleichzeitig SEARCH/●MENU drücken.
Anzeige umkehren	●Negativ	Zeichen und Symbole werden in Weiß und der Hintergrund in Schwarz angezeigt.
	Positiv	Zeichen und Symbole werden in Schwarz und der Hintergrund in Weiß angezeigt.

1) AVLS steht für Automatic Volume Limiter System.
2) Wenn Sie bei ausgeschalteter Hintergrundbeleuchtung VOL+/VOL– drücken, wird sie eingeschaltet.
3) Es werden die Standardeinstellungen wiederhergestellt, wenn Sie drücken und gleichzeitig SEARCH/●MENU.

Fortsetzung ⇩

Einstellung	Funktionen (●: Standardeinstellung)	
Anzeige drehen	●Vertikal	Fixiert die Anzeige vertikal.
	Auto	Stellt die Displayausrichtung automatisch über die G-Sensorfunktion[1] her. Die Ausrichtung des Displays wird beim Einschalten des Players in die passende Richtung eingestellt.
	Rechts	Dreht das Display nach links, sodass Sie den Player mit rechts bedienen können.
	Links	Dreht das Display nach rechts, sodass Sie den Player mit links bedienen können.
Sprache	日本語	Die Meldungen und Menüs werden auf Japanisch angezeigt.
	●English	Die Meldungen und Menüs werden auf Englisch angezeigt.
	Français	Die Meldungen und Menüs werden auf Französisch angezeigt.
	Deutsch	Die Meldungen und Menüs werden auf Deutsch angezeigt.
	Italiano	Die Meldungen und Menüs werden auf Italienisch angezeigt.
	Español	Die Meldungen und Menüs werden auf Spanisch angezeigt.
	簡体中文 [2]	Die Meldungen und Menüs werden auf Chinesisch (vereinfacht) angezeigt.
	繁體中文 [2]	Die Meldungen und Menüs werden auf Chinesisch (traditionell) angezeigt.
	한글 [2]	Die Meldungen und Menüs werden auf Koreanisch angezeigt.
System initialis. [3]	Standardeinstellung	Alle Einstellungen im Display MENÜ werden auf die Standardeinstellungen zurückgesetzt (☞ Seite 60).
	Festpl. initialisie.	Alle Daten auf dem Player werden gelöscht (☞ Seite 62).
	Firmware aktualis. [4]	Aktualisiert die Firmware des Players (☞ Seite 64).

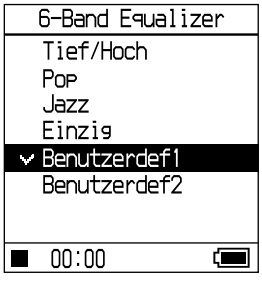
1) G-Sensor ist die Funktion, die die Ausrichtung des Players erfasst.
2) Diese Sprachen werden je nachdem, in welchem Land Sie den Player verwenden, nicht angezeigt.
3) Sie können während der Wiedergabe oder Pause nicht zu den Standardeinstellungen zurückkehren.
4) Diese Funktion steht zurzeit nicht zur Verfügung. Bitte warten Sie, bis die Informationen bekannt gegeben werden.

Fortsetzung ⇩

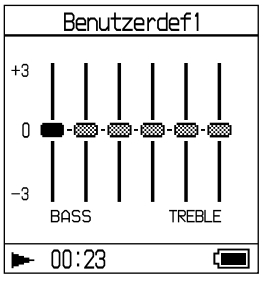
Anpassen der Tonqualität (6-Band-Equalizer – Benutzerdefiniert)

Sie können die Tonqualität für jeden Frequenzbereich individuell anpassen, indem Sie die Einstellungen auf dem Display prüfen.

1 Nachdem Sie in Schritt 3 unter „Ändern der Tonqualität und der Klangeinstellungen” (☞ Seite 51) die Option „Ton“ ausgewählt haben, wählen Sie nun „6-Band Equalizer”, und drücken Sie dann ►II.

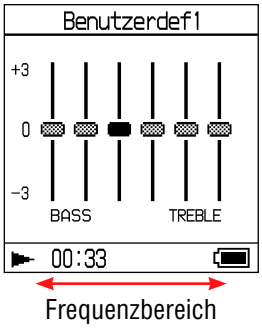


2 Drücken Sie ^/v, um „Benutzerdef1” oder „Benutzerdef2” auszuwählen und drücken Sie dann ►II.



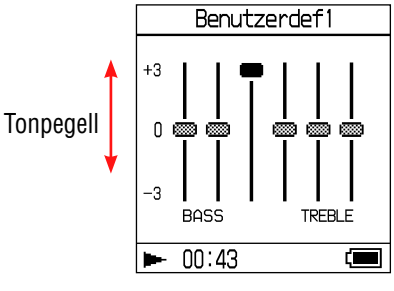
3 Drücken Sie < / >, um den Frequenzbereich auszuwählen.

Es stehen sechs Frequenzbereiche zur Verfügung.



4 Drücken Sie ^/v, um den Tonpegel auszuwählen.

Der Tonpegel kann in sieben Schritten eingestellt werden.



Fortsetzung ⇩

5 Wiederholen Sie die Schritte ❸ und ❹, um die verbleibenden Frequenzbereiche einzustellen.

6 Drücken Sie ►II.

Das Display kehrt zur Anzeige des 6-Band-Equalizers zurück.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie ■, um zum Display 6-Band Equalizer zurückzukehren.

So kehren Sie zum Display MENÜ zurück

Drücken und halten Sie SEARCH/⬬MENU.

Hinweise

- Wenn der Klang beim Erhöhen der Lautstärke aufgrund Ihrer Einstellungen verzerrt wird, verringern Sie die Lautstärke.
- Wenn Sie Unterschiede im Klangvolumen zwischen der Einstellung „Benutzerdef1“ und „Benutzerdef2“ sowie anderen Klangeinstellungen bemerken, passen Sie die Lautstärke entsprechend an.
- Bei Wiedergabe eines MP3-Audiotitels gelten die Einstellungen nicht.

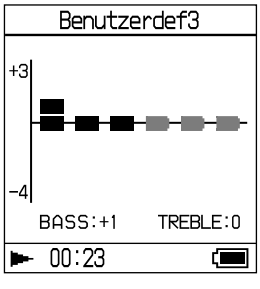
Einstellen der Höhen und Bässe (Digital Sound Preset)

Sie können die Höhen und Bässe nach Wunsch einstellen. Prüfen Sie das Display, und passen Sie gegebenenfalls die Einstellungen an.

1 Nachdem Sie in Schritt ❸ unter „Ändern der Tonqualität und der Klangeinstellungen” (☞ Seite 51) die Option „Ton“ ausgewählt haben, wählen Sie nun „Dgtl. Snd. Presets,” und drücken Sie dann ►II.



2 Drücken Sie ⟋/⟍, um „Benutzerdef3” oder „Benutzerdef4” auszuwählen und drücken Sie dann ►II.



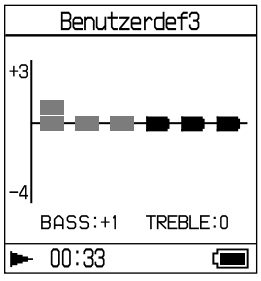
Standardeinstellung

Tonqualität	Benutzerdef3 (S3)	Benutzerdef4 (S4)	AUS (NORMALER TON)
Bass	+1	+3	±0
Treble	±0	±0	±0

Fortsetzung ⇩

3 Drücken Sie ⏮/⏭, um „Treble” oder „Bass” auszuwählen.

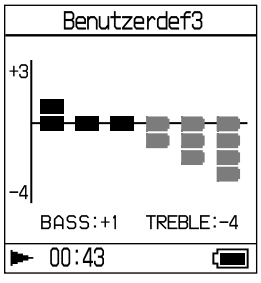
Sie können die Tonqualität der Höhen und Bässe anpassen.



4 Drücken Sie ⏫/⏬, um den Tonpegel auszuwählen.

Der Tonpegel kann in acht Schritten eingestellt werden.

Tonqualität	Höhen-/Bass-Pegel
Bass	-4 bis +3
Treble	-4 bis +3



5 Drücken Sie ▶II.

Die Ansicht wechselt zurück zum Display Dgtl. Snd. Presets.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie ■, um zum Display Dgtl. Snd. Presets zurückzukehren.

So kehren Sie zum Display MENÜ zurück

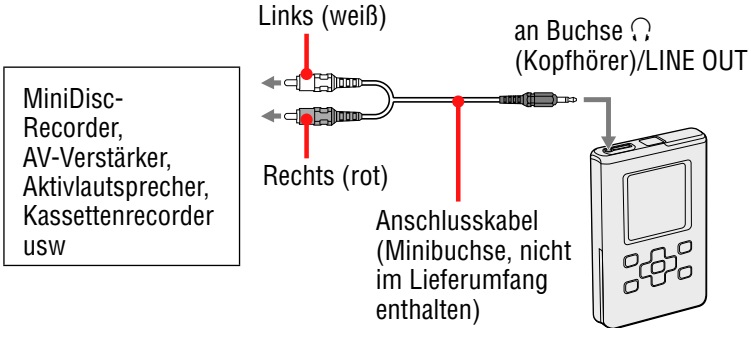
Drücken und halten Sie SEARCH/⬬MENU.

Hinweise

- Die Höhen- und Bass-Tonpegel werden links und rechts auf den Diagrammen für „Benutzerdef3“ und „Benutzerdef4“ angezeigt. Sie können die mittleren Pegel nicht einstellen, weil diese mit den Höhen- und Basspegeln verknüpft sind und automatisch geändert werden.
- Wenn der Klang beim Erhöhen der Lautstärke aufgrund Ihrer Einstellungen verzerrt wird, verringern Sie die Lautstärke.
- Wenn Sie Unterschiede im Klangvolumen zwischen der Einstellung „Benutzerdef3“ und „Benutzerdef4“ sowie anderen Klangeinstellungen bemerken, passen Sie die Lautstärke entsprechend an.

Anschließen anderer Geräte

Sie können Titel über ein Stereosystem wiedergeben und Titel im Player auf eine MiniDisc oder eine Kassette aufnehmen. Weitere Informationen finden Sie in der Bedienungsanleitung des anzuschließenden Geräts. Schalten Sie unbedingt alle Geräte aus, bevor Sie diese miteinander verbinden und die nachstehenden Einstellungen ändern.



Sie müssen die Einstellungen für „Audioausgang“ im Display Optionen ändern, um Ton über das angeschlossene Gerät ausgeben zu können. In der folgenden Tabelle finden Sie die Einstellungen für „Audioausgang“. Wie Sie diese Einstellungen vornehmen, erfahren Sie auf ☞ Seite 51.

Angeschlossenes Gerät	Einstellung
Kopfhörer	Kopfhörer
Mit Anschlusskabel angeschlossenes Gerät	Line Out

Wenn Sie ein anderes Gerät anschließen, stellen Sie „Line Out“ ein. Wenn „Line Out“ eingestellt ist, kann die Lautstärke nicht eingestellt werden, und die Einstellungen unter „Ton“ sind nicht verfügbar.

Hinweise

- Wenn die mitgelieferten Kopfhörer an den Player angeschlossen werden, stellen Sie „Audioausgang“ nicht auf „Line Out“ ein. Wenn „Line Out“ eingestellt ist, kann die Lautstärke nicht eingestellt werden, und verzerrte Töne oder Rauschen sind zu hören.
- Verringern Sie vor der Wiedergabe die Lautstärke des angeschlossenen Geräts, um eine Beschädigung der angeschlossenen Lautsprecher zu vermeiden.

Speichern von anderen Daten (ausgenommen Audiodateien)

Sie können unter Verwendung des Windows Explorer Daten von der Festplatte eines Computers auf die integrierte Festplatte dieses Players übertragen.
Die integrierte Festplatte des Players wird im Windows Explorer als ein externes Laufwerk (Wechseldatenträger) angezeigt.

Hinweise

- Verwenden Sie SonicStage nicht, während die Festplatte des Players unter Verwendung des Windows Explorer in Betrieb ist.
- Wenn WAV- und MP3-Dateien über den Explorer an den Player übertragen werden, können sie nicht wiedergegeben werden. Übertragen Sie diese Dateien mit Hilfe von SonicStage.
- Während der Datenübertragung darf das USB-Kabel nicht herausgezogen werden. Die Daten, die gerade übertragen werden, werden sonst möglicherweise beschädigt.
- Initialisieren Sie die Festplatte des Players nicht auf dem Computer.

Zurücksetzen auf die Standardeinstellungen

Setzen Sie alle Einstellungen im Display MENÜ auf die Standardeinstellungen zurück.

1 Drücken und halten Sie SEARCH/MENU, während sich der Player im Stopp-Modus befindet.

Das Display MENÜ wird angezeigt.



2 Drücken Sie ^/v, um „Optionen" auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Das Display Optionen wird angezeigt.



3 Drücken Sie ^/v, um „System initialis." auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Das Display System initialis. wird angezeigt.



4 Drücken Sie ^/v, um „Standardeinstellung" auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Das Display Standardeinstellung wird angezeigt.



Fortsetzung ⇩

5 Drücken Sie ‹ / ›, um „Ja” auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.

Die Meldung wird angezeigt, und anschließend wird wieder das Display System initialis. angezeigt.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie ■. Alternativ können Sie auch in Schritt 5 „Nein” auswählen und dann ►II drücken.
Es wird wieder das Display „System initialis.“ angezeigt.

Hinweis

Sie können während der Wiedergabe nicht zu den Standardeinstellungen zurückkehren.

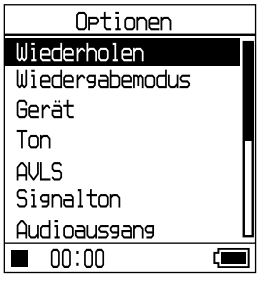
Initialisieren der Festplatte

Sie können die integrierte Festplatte des Players initialisieren. Wenn die Festplatte initialisiert wird, werden alle Audiodaten sowie alle anderen gespeicherten Daten gelöscht. Achten Sie darauf, dass Sie die auf der Festplatte gespeicherten Daten vor der Initialisierung überprüfen.

1 **Drücken und halten Sie SEARCH/MENU, während sich der Player im Stopp-Modus befindet.**
Das Display MENÜ wird angezeigt.



2 **Drücken Sie ^/v , um „Optionen” auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.**
Das Display Optionen wird angezeigt.



3 **Drücken Sie ^/v, um „System initialis.” auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.**
Das Display System initialis. wird angezeigt.



4 **Drücken Sie ^/v, um „Festpl. initialisie.” auszuwählen, und drücken Sie dann ►II.**
Das Display Festpl. initialisie. wird angezeigt.



Fortsetzung ⇩

5 Drücken Sie ⏮ / ⏭, um „Ja” auszuwählen, und drücken Sie dann ▶II.

Das Dialogfeld zur Bestätigung wird angezeigt.



6 Drücken Sie ⏮ / ⏭, um „Ja” auszuwählen, und drücken Sie dann ▶II.

Die Meldung wird angezeigt, und anschließend wird wieder das Display System initialis. angezeigt.

So brechen Sie die Einstellung ab

Drücken Sie ■. Alternativ können Sie auch in Schritt 6 „Nein” auswählen und dann ▶II drücken.
Es wird wieder das Display System initialis. angezeigt.

Hinweise

- Initialisieren Sie die Festplatte des Players nicht auf dem Computer.
- Sie können während der Wiedergabe die Festplatte nicht formatieren.
- Bei der Initialisierung des Players werden alle Audiodaten sowie alle anderen gespeicherten Daten gelöscht.
- Wenn Titel während der Initialisierung gelöscht werden, erkennt SonicStage diese als Titel, die an den Computer zurück übertragen werden, wenn der Player an Ihren Computer angeschlossen wird. Deshalb erhöht sich die Anzahl der verbleibenden Übertragungen automatisch.

Deinstallieren von SonicStage

Befolgen Sie die unten aufgeführten Schritte, um SonicStage zu deinstallieren.

1 Klicken Sie auf „Start” - „Systemsteuerung”*.

* „Einstellungen” – „Systemsteuerung” im Fall von Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition

2 Doppelklicken Sie auf „Software”.

3 Klicken Sie in der Liste „Zurzeit installierte Programme” auf „SonicStage 3.1“ und dann auf „Programme ändern oder entfernen”*.

Befolgen Sie die angezeigten Anweisungen und starten Sie dann den Computer neu. Nach dem Neustart ist die Deinstallation abgeschlossen.

* „Ändern/Entfernen” im Fall von Windows 2000 Professional, „Hinzufügen/Entfernen” bei Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition

Hinweis

Bei der Installation von SonicStage Version 3.1 wird das OpenMG Secure Module 4.1 mit installiert. Löschen Sie nicht das OpenMG Secure Module 4.1, da es möglicherweise auch von anderer Software verwendet wird.

Fehlerbehebung

Sollten bei Ihrem Player Probleme auftreten, versuchen Sie sie anhand der folgenden Lösungsvorschläge zu beseitigen.

1 Entnehmen Sie den Akku und setzen Sie ihn neu ein.
2 Suchen Sie unter „Fehlerbehebung“ nach den aufgetretenen Symptomen.
3 Suchen Sie bei Verwendung von SonicStage in der SonicStage-Hilfe nach den aufgetretenen Symptomen.
4 Falls das Problem nach diesen Schritten weiterhin besteht, schlagen Sie in der folgenden Tabelle nach und wenden sich dann an Ihren nächstgelegenen Sony-Fachhändler.

Stromversorgung

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Die Betriebsdauer des Akkus ist zu kurz.	→ Die Betriebstemperatur liegt unter 5°C. Dies liegt an der Beschaffenheit des Akkus, es handelt sich nicht um eine Fehlfunktion.
	→ Sie haben den Player längere Zeit nicht verwendet. Die Leistungsfähigkeit des Akkus wird erhöht, wenn dieser wiederholt geladen und entladen wird.
	→ Der Akku hat womöglich das Ende seiner Lebensdauer erreicht. Ersetzen Sie ihn gegen einen neuen.
	→ Die Akkuladezeit reicht nicht aus. Laden Sie den Akku weiter, bis angezeigt wird.

Fortsetzung ⇩

Ton

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Es werden keine Tonsignale ausgegeben. Tonstörungen treten auf.	→ Die Lautstärke ist auf Null eingestellt. Erhöhen Sie die Lautstärke (☞ Seite 30). → Der Kopfhörerstecker ist nicht richtig angeschlossen. Schließen Sie ihn fest an die Buchse ∩(Kopfhörer)/LINE OUT an (☞ Seite 29). → Der Kopfhörerstecker ist verschmutzt. Reinigen Sie den Kopfhörerstecker mit einem sauberen, trockenen Tuch. → Auf der Festplatte sind keine Audiodaten gespeichert.
Die Lautstärke kann nicht erhöht werden.	→ „AVLS“ ist auf „AVLS ein“ eingestellt. Stellen Sie „AVLS aus” ein (☞ Seite 53).
Auf dem rechten Kanal der Kopfhörer werden keine Tonsignale empfangen.	→ Der Kopfhörerstecker ist nicht richtig angeschlossen. Schließen Sie ihn fest an die Buchse ∩(Kopfhörer)/LINE OUT an (☞ Seite 29).
Die Lautstärke kann nicht eingestellt werden.	→ „Audioausgang“ ist auf „Line Out“ eingestellt. Stellen Sie die Lautstärke über den Lautstärkeregler des angeschlossenen Geräts ein, oder ändern Sie die Einstellung „Audioausgang“ in „Kopfhörer“ (☞ Seite 53).
Wenn eine Stereoanlage an den Player angeschlossen wurde, sind verzerrte Töne oder Rauschen zu hören.	→ „Audioausgang“ ist auf „Kopfhörer“ eingestellt. Stellen Sie „Line Out” ein (☞ Seite 53).

Fortsetzung ⇩

Betrieb/Wiedergabe

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Die Tasten funktionieren nicht.	→ Die Tasten sind gesperrt. Schieben Sie den Schalter HOLD zurück (☞ Seite 31). → Im Gerät hat sich Feuchtigkeit gebildet.(Feuchtigkeit kann innerhalb des Players kondensieren, wenn dieser direkt von einer kalten in eine warme Umgebung gebracht wird.) Lassen Sie den Player einige Stunden liegen, bis die Feuchtigkeit verdunstet ist. → Die Restladung des Akkus ist unzureichend. Laden Sie den Akku (☞ Seite 13).
Die Wiedergabe wird plötzlich unterbrochen.	→ Die Restladung des Akkus ist unzureichend. Laden Sie den Akku (☞ Seite 13). → Wenn Sie versuchen, einen MP3-Audiotitel auf diesem Player wiederzugeben, der nicht wiedergegeben werden kann, wird die Wiedergabe gestoppt. Drücken Sie ⏭, um andere Titel auszuwählen (☞ Seite 30). → Der Player wurde über längere Zeit Vibrationen ausgesetzt. Beenden Sie die Vibration und starten Sie die Wiedergabe neu.
Die Hintergrundbeleuchtung wird nicht eingeschaltet.	→ „Hintergrundbeleucht.“ ist auf „Immer aus“ eingestellt. Stellen Sie „10 Sek.“ oder „30 Sek.“ ein (☞ Seite 53).
„□” wird statt eines Titels angezeigt.	→ Der Titel enthält Zeichen, die der Player nicht anzeigen kann. Benennen Sie den Titel mit Hilfe der Software SonicStage und unter Verwendung der entsprechenden Zeichen um.
Das Display wird ausgeschaltet.	→ Das Display schaltet sich nach etwa 30 Sekunden ab, wenn im Stoppmodus unter Verwendung des Akkus keine Bedienung erfolgt. Beim Durchblättern von Titeln schaltet sich das Display ca. 30 Sekunden nach Beendigung des Durchblätterns ab. Darüber hinaus können Sie das Display ausschalten, indem Sie ■ gedrückt halten. Drücken Sie eine beliebige Taste, um den Player wieder einzuschalten.

Fortsetzung ⇩

Anschluss an den Computer/SonicStage

Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Die Software SonicStage kann nicht installiert werden.	➔ Das verwendete Betriebssystem ist nicht mit der Software kompatibel (☞ Seite 16). ➔ Es sind nicht alle Windows-Anwendungen geschlossen. Wenn Sie mit der Installation beginnen, während noch andere Programme ausgeführt werden, kann dies zu Systemstörungen führen. Dies gilt insbesondere für Programme, die ein hohes Maß an Systemressourcen belegen, z.B. Virenschutzsoftware. ➔ Die Festplatte Ihres Computers verfügt nicht über genügend Speicherplatz. Sie benötigen mindestens 200 MB freien Speicherplatz. Löschen Sie unnötige Dateien vom Computer.
Die Installation wurde scheinbar angehalten, bevor sie vollständig abgeschlossen wurde.	➔ Prüfen Sie, ob eine Fehlermeldung im Installationsfenster angezeigt wird. Drücken Sie die Taste „Tab“, während Sie die Taste „Alt“ gedrückt halten. Wenn eine Fehlermeldung angezeigt wurde, drücken Sie die Eingabetaste. Die Installation wird fortgesetzt. Wurde keine Meldung angezeigt, ist der Installationsvorgang noch aktiv. Warten Sie noch einen Augenblick.
D ie Statusanzeige im Display des Computers stagniert. Die Aktivitätsanzeige des Computers leuchtet seit einigen Minuten nicht mehr auf.	➔ Der Installationsvorgang verläuft normal. Warten Sie. Die Installation dauert je nach CD-Laufwerk oder Systemumgebung 30 Minuten oder länger.
SonicStage wird nicht gestartet.	➔ Die Systemumgebung wurde durch Aktualisieren von Windows o.ä. geändert. Wenden Sie sich an Ihren nächstgelegenen Sony-Fachhändler.

Fortsetzung ⇩

Anschluss an den Computer/SonicStage (Fortsetzung)

Wenn Sie ein USB-Kabel an den Computer anschließen, wird „Anschluss an PC“ nicht angezeigt.	→ Warten Sie, bis die Authentifizierung der Software SonicStage abgeschlossen ist. → Eine andere Anwendung wird auf dem Computer ausgeführt. Warten Sie einen Moment, und schließen Sie dann das USB-Kabel erneut an. Wenn das Problem weiterhin besteht, trennen Sie das USB-Kabel, starten Sie den Computer neu, und schließen Sie das USB-Kabel erneut an. → Das USB-Kabel ist nicht ordnungsgemäß angeschlossen. Entfernen Sie das USB-Kabel, und schließen Sie es wieder an. → Es wird ein USB-Hub verwendet. Bei einem Anschluss über einen USB-Hub kann der ordnungsgemäße Betrieb nicht gewährleistet werden. Schließen Sie das USB-Kabel direkt an den Computer an. → Die Installation der Software SonicStage ist fehlgeschlagen. Trennen Sie den Player von Ihrem Computer und installieren Sie die Software unter Verwendung der mitgelieferten CD-ROM (☞ Seite 17) neu. Audiodaten, die von der älteren Softwareversion registriert wurden, können Sie nach wie vor verwenden. → Der Akku entlädt sich. Laden Sie den Akku mit dem Netzteil.
Beim Anschluss an den Computer wird der Player nicht vom Computer erkannt.	→ Das USB-Kabel ist nicht ordnungsgemäß angeschlossen. Entfernen Sie das USB-Kabel, und schließen Sie es wieder an. → Es wird ein USB-Hub verwendet. Bei einem Anschluss über einen USB-Hub kann der ordnungsgemäße Betrieb nicht gewährleistet werden. Schließen Sie das USB-Kabel direkt an den Computer an. → Der Treiber für den Player wurde nicht installiert. Installieren Sie die Software SonicStage für den Player unter Verwendung der mitgelieferten CD-ROM neu (☞ Seite 17), um auch den Treiber neu zu installieren. → Die Installation der Software SonicStage ist fehlgeschlagen. Trennen Sie den Player von Ihrem Computer, und installieren Sie die Software unter Verwendung der mitgelieferten CD-ROM neu (☞ Seite 17). Audiodaten, die von der älteren Softwareversion registriert wurden, können Sie nach wie vor verwenden.

Fortsetzung ⇩

Es können keine Audiodaten vom Computer auf den Player übertragen werden.	→ Das USB-Kabel ist nicht ordnungsgemäß angeschlossen. Entfernen Sie das USB-Kabel, und schließen Sie es wieder an. → Der freie Speicherplatz auf der Festplatte des Players reicht nicht aus. Übertragen Sie alle unnötigen Titel wieder auf den Computer, um den freien Speicherplatz zu erhöhen (☞ Seite 27). → Sie haben bereits mehr als 65.535 Titel oder über 8.187 Wiedergabelisten an die Festplatte des Players übertragen. Oder Sie versuchen, eine Wiedergabeliste mit mehr als 999 Titeln zu übertragen. → Titel mit beschränkter Wiedergabedauer und Titel mit beschränkter Wiedergabeanzahl können u.U. wegen möglicher Urheberrechtseinschränkungen nicht übertragen werden. Weitere Informationen zu den Einstellungen einzelner Audiodateien erhalten Sie sich bei dem entsprechenden Händler. → Die Installation der Software SonicStage ist fehlgeschlagen. Trennen Sie den Player von Ihrem Computer und installieren Sie die Software unter Verwendung der mitgelieferten CD-ROM (☞ Seite 17) neu. Audiodaten, die von der älteren Softwareversion registriert wurden, können Sie nach wie vor verwenden.
D ie Anzahl der Titel, die an den Player übertragen werden können, ist zu niedrig. (Die verfügbare Aufnahmedauer ist zu kurz.)	→ Der freie Speicherplatz auf der Festplatte des Players reicht nicht für die Größe der Audiodaten aus, die Sie übertragen möchten. Übertragen Sie alle unnötigen Titel zurück, um den freien Speicherplatz zu erhöhen (☞ Seite 27). → Auf der Festplatte des Players sind neben Audiodaten auch andere Daten gespeichert. Verschieben Sie diese anderen Daten auf den Computer, um den freien Speicherplatz zu erhöhen.

Fortsetzung ⇩

Anschluss an den Computer/SonicStage (Fortsetzung)

Es können keine Audiodaten vom Player zurück an den Computer übertragen werden.	→ Der Computer, der als Übertragungsziel ausgewählt wurde ist nicht mit dem für die Übertragung zum Player verwendeten Computer identisch. Audiodaten können nur an den Computer zurück übertragen werden, der für die Übertragung an den Player verwendet wurde. → Die Audiodaten wurden von dem Computer, den Sie für die Übertragung an den Player verwendet haben, gelöscht. Die Audiodaten können nicht an den Computer zurück übertragen werden, wenn der Titel von dem für die Übertragung an den Player verwendeten Computer gelöscht wurde.
Audiodaten werden an den Computer zurück übertragen, und die Anzahl der verbleibenden Übertragungen erhöht sich bei angeschlossenem Player gelegentlich, auch wenn keine Vorgänge durchgeführt werden.	→ Wenn für das Löschen eines Titels vom Player die Software SonicStage verwendet wird, die auf einem anderen Computer installiert ist als dem, der für die Übertragung zum Player verwendet wurde, wird der Titel beim Anschluss des Players an den Computer, den Sie für die Übertragung an den Player verwendet haben, automatisch zurück übertragen. Deshalb erhöht sich die Anzahl der verbleibenden Übertragungen automatisch.
D ie Funktion des Players ist während des Anschlusses an den Computer nicht stabil.	→ Es wird ein USB-Hub oder USB-Verlängerungskabel verwendet. Bei einem Anschluss über einen USB-Hub oder ein USB-Verlängerungskabel kann der ordnungsgemäße Betrieb nicht gewährleistet werden. Schließen Sie das USB-Kabel direkt an den Computer an.
Auf dem Computerbildschirm wird ein Fehler bei der Authentifizierung des Geräts/von Medien angezeigt, wenn der Player an den Computer angeschlossen wird.	→ Der Player ist nicht ordnungsgemäß an den Computer angeschlossen. Beenden Sie die Software SonicStage, und überprüfen Sie die USB-Kabel-Verbindung. Starten Sie die Software SonicStage neu.

Fortsetzung ⇩

Andere

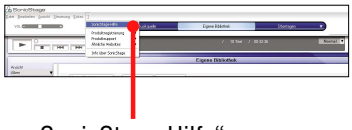
Symptom	Ursache und/oder Fehlerbehebung
Beim Betrieb des Players wird kein Signalton ausgegeben.	➔ „Signalton“ ist auf „Signalton aus“ eingestellt. Stellen Sie „Signalton ein” ein (☞ Seite 53).
Der Player wird warm.	➔ Der Player kann beim Laden des Akkus sowie aufgrund des Schnellladens kurz nach dem Ladevorgang warm werden. Darüber hinaus kann der Player warm werden, wenn sehr viele Titel übertragen werden. Lassen Sie den Player einige Stunden liegen.
Im Inneren des Players ist ein Geräusch zu hören. Der Player vibriert.	➔ Wenn sich die integrierte Festplatte des Players bewegt, ist unter Umständen ein Betriebsgeräusch zu hören, und der Player vibriert. Hierbei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion.

Verwenden der SonicStage-Hilfe

In der SonicStage-Hilfe finden Sie weitere Informationen über die Verwendung von SonicStage. Mit der SonicStage-Hilfe können Sie über eine Liste von Bedienfunktionen (z.B. „Importieren von Audiodaten“ oder „Übertragen von Audiodaten“) oder über eine umfangreiche Stichwortliste ganz einfach Informationen abrufen. Sie können auch Begriffe eingeben, um so die entsprechenden Erläuterungen zu erhalten.

Klicken Sie auf „?“ – „SonicStage-Hilfe“, während SonicStage ausgeführt wird.

Die Hilfe wird angezeigt.
Der Player wird in der SonicStage-Hilfe unter „ATRAC Audio Device“ erläutert.

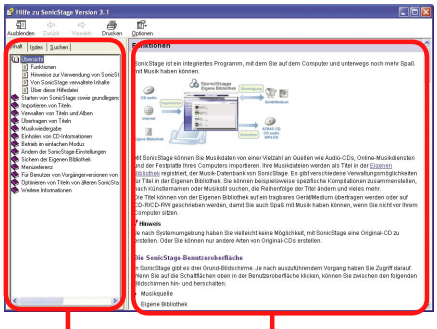


„SonicStage-Hilfe“

Hinweise

- In der SonicStage-Hilfe wird „Gerät/Medium“ als allgemeine Bezeichnung für einen Network Walkman oder MD Walkman verwendet.
- Befolgen Sie hinsichtlich der Systemempfehlungen usw. die Anweisungen Ihres Internetanbieters.

Funktionsweise der SonicStage-Hilfe

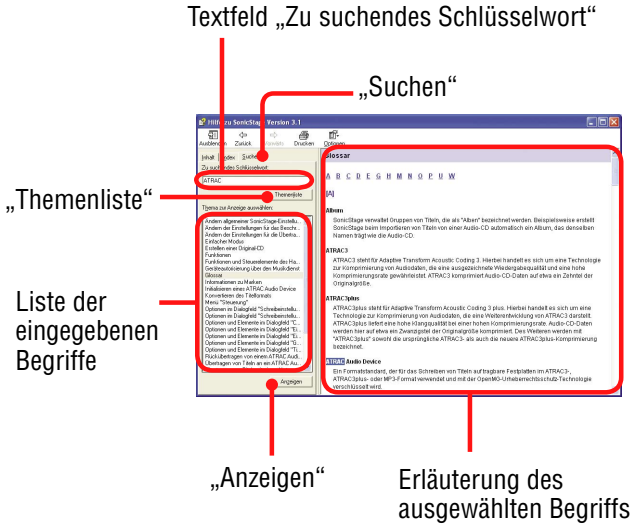


Linker Frame Rechter Frame

1 Doppelklicken Sie im linken Frame der SonicStage-Hilfe auf „ Übersicht“.
2 Klicken Sie auf „ Über diese Hilfedatei“.
Die Erläuterung wird im rechten Frame angezeigt.
Führen Sie gegebenenfalls einen Bildlauf durch. Klicken Sie auf die unterstrichenen Wörter, um eine Erläuterung zu diesen Begriffen anzuzeigen.

Fortsetzung ⇩

So suchen Sie innerhalb einer Erläuterung nach einem Begriff



1 Klicken Sie auf „Suchen“.
2 Geben Sie den Suchbegriff ein.
3 Klicken Sie auf „Themenliste“.
Es wird eine Liste der eingegebenen Begriffe angezeigt.
4 Wählen Sie das gewünschte Element durch Klicken aus.
5 Klicken Sie auf „Anzeigen“.
Es wird eine Erläuterung des ausgewählten Elements angezeigt.s

Fehlermeldungen

Befolgen Sie bei Anzeige einer Fehlermeldung im Display die unten stehenden Anweisungen.

Meldung	Bedeutung	Fehlerbehebung
AVLS LAUTST.LIMIT	Die Lautstärke überschreitet die maximale Lautstärke des AVLS.	➔ Stellen Sie „AVLS” auf „AVLS aus” ein (☞ Seite 53).
ALLE MIT LESEZEICHEN	Sie haben versucht, ein Lesezeichen hinzuzufügen, das bereits registriert wurde.	➔ Ein Titel kann in jedem Lesezeichentyp nur einmal registriert werden.
BATTERIE NICHT VORHANDEN	• Sie versuchen, den Player über das Netzteil zu betreiben,ohne eingelegten Akku. • Sie haben den Akku aus dem Player genommen, während dieser an einen Computer angeschlossen war.	➔ Legen Sie einen Akku ein, bevor Sie das Netzteil mit einer Steckdose verbinden.
LESEZEICHEN VOLL	Die maximale Anzahl der Lesezeichen wurde überschritten.	➔ Entfernen Sie unnötige Lesezeichen (☞ Seite 40).
ABBRECHEN	Die Einstellung bzw. der Betrieb wurde abgebrochen.	—
BEARB. D. LESEZ. UNM. WIEDERGABE	Sie versuchen, ein Lesezeichen während der Wiedergabe oder im Stoppmodus zu bearbeiten.	➔ Sie können Lesezeichen während der Wiedergabe und im Stoppmodus nicht bearbeiten.
VORGANG UNMÖGLICH STOPP	„System initialis.” wurde während der Wiedergabe im Display Optionen ausgewählt.	➔ Halten Sie die Wiedergabe an und wählen Sie „System initialis.“ erneut aus.
VORGANG IM STOPP-MODUS UNMÖGLICH	Sie haben versucht, ein Lesezeichen hinzuzufügen, während sich der Player im Stopp-Modus befand.	➔ Fügen Sie das Lesezeichen während der Wiedergabe hinzu (☞ Seite 39).

Fortsetzung ⇩

WIEDERGABE UNMÖGLICH PC-ANSCHLUSS	Die Uhr des Players funktioniert nicht.	➔ Schließen Sie ihn an den Computer an (☞ Seite 24).
WIEDERGABE UNMÖGLICH MEDIENFEHLER	Die Audiodaten sind beschädigt.	➔ Übertragen Sie die Audiodaten noch einmal an den Player (☞ Seite 24).
WIEDERG. AUF DIES. GERAET UNMÖGLICH	• Die Wiedergabe dieses Titels auf dem Player ist unzulässig. • Es werden Titel mit beschränkter Anzahl der möglichen Wiedergabevorgänge abgespielt.	➔ Sie können keine Titel auf dem Player abspielen, deren Wiedergabe auf dem Player unzulässig ist.
WIEDERGABE UNMÖGLICH	Sie haben versucht, einen Titel vor oder nach dessen beschränkter Wiedergabedauer abzuspielen.	➔ Titel mit beschränkter Wiedergabedauer können nur innerhalb der entsprechenden Wiedergabedauer abgespielt werden.
AKTUAL. UNM. BATTERIE SCHWACH	Der Player kann während des laufenden Betriebs nicht auf einen Befehl reagieren.	➔ Lassen Sie den Player einige Zeit liegen und versuchen Sie es dann noch einmal.
LADEN BEI 5°C-35°C	Sie laden den Player außerhalb des Temperaturbereichs von 5 bis 35°C.	➔ Führen Sie den Ladevorgang bei einer Temperatur von 5 bis 35°C durch.
LESEZ. ENTF. WÄHREND WIEDERGABE	Sie haben versucht, einen registrierten Titel zu entfernen, während dieser wiedergegeben wurde.	➔ Registrierte Titel können nur aus einem Lesezeichen entfernt werden, indem Sie ihn in der Liste der Wiedergabelisten auswählen, während der Titel wiedergegeben wird.
NETZTEIL ANSCHLIESSEN	Sie haben versucht, die Firmware zu aktualisieren, ohne das Netzteil zu verwenden.	➔ Schließen Sie das Netzteil an den Player an (☞ Seite 13).

Fortsetzung ⇩

FEHLER: LESEZ.HINZU NICHT MÖGL.	Ein Titel kann einem Lesezeichen aufgrund eines Fehlers nicht hinzugefügt werden.	➔ Versuchen Sie noch einmal, den Titel dem Lesezeichen hinzuzufügen.
FEHLER: LESEZ.ENTF. NICHT MÖGL.	Ein Lesezeichen kann aufgrund eines Fehlers nicht entfernt werden.	➔ Versuchen Sie noch einmal, das Lesezeichen zu entfernen.
DATENBANK-ERSTELLUNG NICHT MÖGL.	Eine Datenbank konnte nicht erstellt werden.	➔ Warten Sie einen Augenblick. Die Datenbank wird aktualisiert.
FESTPLATTE BESCHREIBBAR BEI 5°C-35°C	Sie übertragen die Audiodaten außerhalb des Temperaturbereichs von 5 bis 35 °C.	➔ Führen Sie alle Vorgänge bei einer Temperatur von 5 bis 35°C durch.
FESTPLATTE N. KORREKT INITIALIS.	• Die Festplatte des Players wurde nicht korrekt initialisiert. • Die Festplatte des Players wurde auf dem Computer initialisiert. • Die Festplatte des Players wurde nicht initialisiert, weil sie geändert wurde.	➔ Initialisieren Sie die Festplatte des Players erneut (☞ Seite 62).
HOLD	Der Schalter HOLD ist auf ON gestellt.	➔ Heben Sie die Sperre der Regler auf, indem Sie den Schalter HOLD entgegen der Pfeilrichtung verschieben (☞ Seite 31).
LINE OUT AUSGEWÄHLT VORGANG UNM.	Sie haben versucht, die Lautstärke oder die Einstellungen unter „Ton“ zu ändern, während „Audioausgabe“ auf „Line Out“ gestellt war.	➔ Stellen Sie „Audioausgabe“ auf „Kopfhörer“ (☞ Seite 53).
BATTERIE SCHWACH	Der Akku ist leer.	➔ Laden Sie den Akku (☞ Seite 13).

Fortsetzung ⇩

MAX. GRUPPENANZAHL ÜBERSCHRITTEN	Die maximale Anzahl der Gruppen (Alben, Interpreten usw.) wird überschritten (8.192).	→ Die Gesamtanzahl der Elemente in der Listenanzeige (mit Ausnahme der Titelliste) überschreitet 8.192. Übertragen Sie unnötige Titel zurück zur Eigenen Bibliothek auf SonicStage (☞ Seite 27).
KONFLIKT IN SYSTEMDATEIEN	In den Systemdateien ist ein Konflikt aufgetreten.	→ Initialisieren Sie die Festplatte des Players (☞ Seite 62) und übertragen Sie die Audiodaten noch einmal an den Player (☞ Seite 24).
KEINE DATENBANK GEFUNDEN	Nachdem der Player vom Computer getrennt wurde, befinden sich keine Titel auf dem Player, oder es sind nicht genügend Informationen vorhanden.	→ Schließen Sie den Player noch einmal an den Computer an und trennen Sie ihn dann wieder. → Übertragen Sie Audiodaten an den Player (☞ Seite 24).
KEIN TITEL	In der Titelliste befinden sich keine Titel.	→ Wechseln Sie zu einer Titelliste, die Titel enthält. → Übertragen Sie Audiodaten auf den Player (☞ Seite 24).
SYSTEMFEHLER <No. ***> (Die Fehlernummer wird in Klammern angezeigt.)	Es liegt ein Systemfehler vor.	→ Schreiben Sie die Nummer auf, und wenden Sie sich an den nächsten Sony-Händler.

Technische Daten

Maximal aufnehmbare Anzahl von Titeln (ca.)*

NW-HD5:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5 000 (132 Kbit/s)	2 500 (256 Kbit/s)	5 000 (128 Kbit/s)
6 000 (105 Kbit/s)	10 000 (64 Kbit/s)	10 000 (64 Kbit/s)
10 000 (66 Kbit/s)	13 000 (48 Kbit/s)	

NW-HD5H:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
7 500 (132 Kbit/s)	3 500 (256 Kbit/s)	7 500 (128 Kbit/s)
9 000 (105 Kbit/s)	15 000 (64 Kbit/s)	15 000 (64 Kbit/s)
15 000 (66 Kbit/s)	20 000 (48 Kbit/s)	

* Bei der Übertragung von 4-Minuten-Titeln

Abtastfrequenz

44,1 kHz (ATRAC3plus), 32/44,1/48 kHz (MP3)

Audiokomprimierungstechnologie

Adaptive Transform Acoustic Coding3plus (ATRAC3plus)
MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

Frequenzgang

20 bis 20 000 Hz (Einzelsignalmessung bei der Wiedergabe)

Ausgang

🎧 (Kopfhörer)/LINE OUT*:
Stereominibuchse/180 mV

* Diese Buchse wird sowohl für die Kopfhörer als auch für LINE OUT verwendet.

Fortsetzung ⇩

Betriebstemperatur

5 bis 35°C

Stromquelle

Aufladbarer Lithium-Ionen-Akku : LIP-880PD, 3,7V 880mAh, Li-Ionen
Netzteil: DC IN 6 V

Akku-Betriebsdauer (bei ununterbrochener Wiedergabe)

ATRAC3plus-Format (48 Kbit/s): Etwa 40 Stunden
MP3-Format (128 Kbit/s): Etwa 30 Stunden

Abmessungen

Vorstehende Teile nicht eingeschlossen:
Etwa 59,9 × 88,7 × 14,2 mm
(B/H/T)

Vorstehende Teile eingeschlossen:

Etwa 59,9 × 89,3 × 14,5 mm
(B/H/T)

Gewicht

Etwa 135 g

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

US-amerikanische Patente und Patente anderer Länder lizenziert von Dolby Laboratories.

Index

Symbols

1 (Einmalige Wiedergabe) 47
Album 35
Einheiten-Shuffle 49
Elemente mischen 47
Initialiensuche 36
Interpret 35
Musikstil 35
Neue Titel 36
Repeat-Wiedergabe 49
Restladung 15
Titel 35
Titel-Shuffle innerhalb der Einheit 49
Titel mischen 47
Wiedergabeliste 38

A

Akkulebensdauer 15
Akku (Entnehmen/legen) 14
Akku (Ladezeit) 13
Album-Shuffle 47
Anzeige drehen 54
Anzeige umkehren 53
ATRAC3/ATRAC3plus 21, 30
Audioausgang 53
Audiogerät 58
AVLS 53

B

Bearbeiten von Lesezeichen 39
Bitrate 21, 32

C

CD-Informationen 21
CD-ROM 11
Club 52

D

Deinstallieren 64
Deutsch 54
Dgtl. Snd. Presets (Digital Sound Preset) 52

E

Eigene Bibliothek 22
Eigene Bibliothek (SonicStage) 19
Einheit 48
Einheitenwiedergabe 47
Einzig 52
Ein Lied 47
Elemente mischen 47
English 54
Entfernen (Lesezeichen) 42
Español 54

F

Festpl. initialisie. 54
Format 21
Français 54

G

G-Sensor 54
Genauere Informationen (Titel) 23

H

Hintergrundbeleucht 53
HOLD function 31

I

Importieren von Audiodaten 19
Initialiensuche 36

Fortsetzung ⇩

Initialisieren der Festplatte 62
Italiano 54

J

Japanese 54
Jazz 52

K

Kontrast 53
Kopfhörer 11, 12, 53

L

Lesezeichen 39
Lesezeichensymbol 44
Line Out 53
Links 54
Live 52

M

MP3 30

N

Negativ 53
Netzteil 11
Neue Titel 36
Normalwiedergabe 47

O

Ordnerstruktur (Display Suchen) 35

P

Player-Display 12, 32
Wiedergabeliste (auf dem Player) 38
Pop 52
Positiv 53

R

Rechts 54
Repeat-Wiedergabe 49
Restladung des Akkus 15

S

Schalter HOLD 12
Signalton 53
SonicStage 16
Sprache 54
Stadion 52
Standardeinstellungen 60
Stopp 12, 31
Studio 52
Suche 31
Suchen des Anfangs der vorherigen Titel 31
Suchen des Anfangs des nächsten Titels 31
Suchen des Anfangs eines Titels 31
Suchen (SonicStage) 74
Suchmodus 35
System initialis. 54

T

Tief/Hoch 52
Titel mischen 47
Titel mit beschränkter Wiedergabeanzahl 70
Titel mit beschränkter Wiedergabedauer 70
Ton 52
Tragetasche 11

U

Übertragen von Audiodaten 24
USB-Kabel 11

V

Verschieben (Lesezeichen) 40
Vertikal 54
Verwalten von Titeln 22
VOL+/VOL- (Lautstärke) 12
VPT Acoustic Eng 52

Fortsetzung ⇩

W

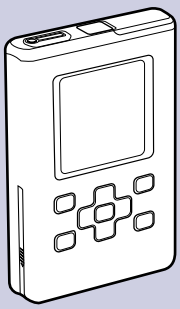
Wiedergabefunktionen 47
Wiedergabeliste (SonicStage) 22
Wiedergabemodus 45
Wiedergabe von Titeln mit Lesezeichen 39

SONY

Portable Hard Disk Audio Player

Network Walkman

Manual de instrucciones



WALKMAN

Atrac3plus

MP3

NW-HD5/NW-HD5H

"WALKMAN" es una marca registrada de Sony Corporation que representa los productos audífonos estéreo.

WALKMAN es una marca de fábrica de Sony Corporation.

© 2005 Sony Corporation

Contenidos

Índice

▶ Procedimientos iniciales 11

▶ Transferencia de datos de audio al reproductor 19

▶ Reproducción de música 29

▶ Otras funciones 51

▶ Solución de problemas 65

▶ Información adicional 79

REPRODUCTOR DE AUDIO DE DISCO DURO PORTÁTIL

POR FAVOR LEA DETALLADAMENTE ESTE MANUAL DE INSTRUCCIONES ANTES DE CONECTAR Y OPERAR
ESTE EQUIPO.

RECUERDE QUE UN MAL USO DE SU APARATO PODRÍA ANULAR LA GARANTÍA.

ADVERTENCIA

Para evitar el riesgo de incendios o electrocución, no exponga la unidad a la lluvia o a la humedad.

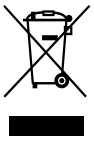
No instale el aparato en un espacio cerrado, como una estantería para libros o un armario empotrado.

Para evitar incendios, no cubra la ventilación del aparato con periódicos, manteles, cortinas, etc. No coloque velas encendidas sobre el aparato.

Para evitar el riesgo de incendios o descargas eléctricas, no coloque recipientes llenos de líquido, como jarrones, sobre el aparato.

Continúa ⇩

Tratamiento de los equipos eléctricos y electrónicos al final de su vida útil (Aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de recogida selectiva de residuos)



Este símbolo en su equipo o su embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticos normales, sino que deben entregarse en el correspondiente punto de recogida de equipos eléctricos y electrónicos. Asegurándose de que este producto es desechado correctamente, Ud. está ayudando a prevenir las consecuencias negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar las reservas naturales. Para recibir información detallada sobre el reciclaje de este producto, por favor, contacte con su ayuntamiento, su punto de recogida más cercano o el distribuidor donde adquirió el producto.
Accesorios a los que se aplica: Auriculares

Contenido

Contenido 4
Aviso a los usuarios 6
Precauciones 8
Sobre la seguridad 8
Sobre la instalación 8
Sobre la acumulación de calor 8
Sobre los auriculares 9
Sobre la limpieza 10

Procedimientos iniciales

Comprobación de los accesorios suministrados 11
Guía de componentes y controles 12
Preparación de la fuente de alimentación 13
Comprobación del nivel de energía de la batería 15
Instalación de SonicStage en el ordenador 16
Preparación del sistema necesario 16
Instalación de SonicStage 17

Transferencia de datos de audio al reproductor

Importación de datos de audio al ordenador 19
Gestión de pistas mediante SonicStage 22
Edición de unalista de reproducción 22
Transferencia de datos de audio al reproductor 24
Transferencia de datos de audio al ordenador 27

Reproducción de música

Reproducción 29
Bloqueo de los controles (HOLD) 31
Funciones básicas de reproducción (Reproducción, parada, búsqueda) 31
Consulta de información en la pantalla 32
Selección de las pistas que se reproducirán (artista, álbum, género, etc.) 33
Acerca de la estructura de carpetas de la pantalla Buscar ... 35

Continúa ⇩

Selección de pistas desde “Pistas nuevas” 36
Selección de una pista por la primera letra de la pista (Búsqu. iniciales) 36
Selección de pistas desde “Lista reproducc.” 38
Edición de marcadores en el reproductor 39
Registro de una pista en un marcador (Reproducción de pistas de un marcador) 39
Cambio del orden de las pistas en un marcador 40
Eliminación de pistas marcadas 42
Cambio de un icono de marcador 44
Cambio de las opciones de reproducción (Modo reproducción) 45
Opciones de reproducción (Modo reproducción) 47
Reproducción de pistas en una categoría de búsqueda determinada (Reproducción de unidad) 47
Reproducción repetida de pistas (Reproducción repetida) 49

Otras funciones

Cambio de ajustes y calidad del sonido 51
Elementos de ajuste para la calidad de sonido y la pantalla .. 52
Personalización de la calidad del sonido (Ecual. 6 bandas – Personalización) 55
Potenciación de agudos y graves (Digital Sound Preset) .. 56
Conexión de otros dispositivos 58
Almacenamiento de otro tipo de datos 59
Restablecimiento de los ajustes de fábrica 60
Inicialización del disco duro 62
Desinstalación de SonicStage 64

Solución de problemas

Solución de problemas 65
Uso de la Ayuda de SonicStage 73
Mensajes de error 75

Información adicional

Especificaciones 79
Índice 81

Aviso a los usuarios

Sobre el software suministrado

- Las leyes de copyright prohíben copiar el software o el manual que lo acompaña, ya sea en parte o en su totalidad, y arrendar el software sin el permiso del propietario del copyright.
- En ningún caso SONY será responsable de ningún problema financiero o de las pérdidas de beneficios, incluyendo las reclamaciones realizadas por terceras partes, que provengan del uso del software que se suministra con este reproductor.
- En el caso de que haya problemas con este software debido a una fabricación defectuosa, SONY se encargará de sustituirlo. No obstante, SONY sólo asume esa responsabilidad.
- El software suministrado con este reproductor no se puede utilizar con equipos distintos a los designados.
- Tenga en cuenta que, debido a los continuos esfuerzos para mejorar la calidad, las especificaciones del software pueden cambiar sin previo aviso.
- El uso de este reproductor con un software diferente al proporcionado no está cubierto por la garantía.
- La posibilidad de mostrar los idiomas en SonicStage dependerá del sistema operativo instalado en su ordenador. Para obtener unos resultados óptimos, asegúrese de que el sistema operativo sea compatible con el idioma que desee utilizar.
  - No garantizamos que todos los idiomas puedan mostrarse correctamente en SonicStage.
  - Puede que los caracteres creados por el usuario y algunos caracteres especiales no se visualicen.
- En función del tipo de texto y los caracteres, es posible que el texto de SonicStage no se muestre correctamente en el dispositivo. Esto se debe a:
  - La capacidad del reproductor conectado.
  - Que el reproductor no funciona normalmente.
- Las explicaciones de este manual dan por hecho que está familiarizado con el funcionamiento básico de Windows.

  Para obtener información sobre el funcionamiento de su ordenador y del sistema operativo, consulte los manuales respectivos.

Programa ©2001, 2002, 2003, 2004, 2005 Sony Corporation
Documentación © 2005 Sony Corporation

Continúa ⇩

- SonicStage y el logotipo de SonicStage son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de Sony Corporation.
- OpenMG, ATRAC, ATRAC3, ATRAC3plus y sus respectivos logotipos son marcas registradas de Sony Corporation.
- Microsoft, Windows, Windows NT y Windows Media son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de Microsoft Corporation en Estados Unidos y en otros países.
- IBM y PC/AT son marcas comerciales registradas de International Business Machines Corporation.
- Macintosh es una marca comercial de Apple Computer, Inc. en Estados Unidos y en otros países.
- Pentium es una marca comercial o marca comercial registrada de Intel Corporation.
- Adobe y Adobe Reader son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de Adobe Systems Incorporated en Estados Unidos y en otros países.
- Patentes de los EE.UU. y otros países usados con licencia de Dolby Laboratories.
- Tecnología de codificación de audio MPEG Layer-3 y pantentes bajo licencia de Fraunhofer IIS y Thomson.
- Todas las demás marcas comerciales y marcas comerciales registradas son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de sus respectivos propietarios.
- En este manual no se muestran las marcas ™ y ®.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.

  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. Untied States Patent 6,304,523.

  Gracenote is a registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.

Gracias por haber adquirido este producto Sony. Network Walkman viene preinstalado con datos musicales para que pueda utilizarlo de inmediato. Estos datos musicales se incluyen únicamente como prueba y, por lo tanto, no pueden transferirse a su ordenador. Para eliminar estos datos de audio, debe eliminarlos mediante SonicStage 3.1. Según la zona geográfica, puede que los datos musicales de ejemplo no estén instalados en el reproductor.

Precauciones

Sobre la seguridad

- No inserte objetos extraños en la toma DC IN del reproductor.
- Asegúrese de no provocar un cortocircuito en las terminales del reproductor con otros objetos metálicos.

Sobre la instalación

- Nunca use el reproductor en lugares expuestos a condiciones extremas de luz, temperatura, humedad o vibraciones.
- Nunca envuelva el reproductor con ningún material mientras esté en funcionamiento con el adaptador de alimentación de CA. El calor acumulado en el reproductor podría hacer que no funcionara bien o causar una avería.

Sobre la acumulación de calor

El reproductor se puede calentar mientras se realiza la carga si se utiliza durante un período prolongado de tiempo.

Continúa ⇩

Sobre los auriculares

Seguridad en carretera

No utilice auriculares mientras conduce, monta en bicicleta o maneja cualquier vehículo motorizado. En muchos países es ilegal y puede provocar un accidente de tráfico. Igualmente, puede ser potencialmente peligroso escuchar la reproducción a un volumen alto mientras camina, especialmente en los pasos de peatones. Preste especial atención o deje de utilizarlos en situaciones potencialmente peligrosas.

Prevención de daños a los oídos

Evite emplear los auriculares a un volumen alto. Los expertos en audición desaconsejan el uso continuo a un volumen alto. Si nota pitidos o zumbidos en los oídos, reduzca el volumen o interrumpa la audición.

Respeto a los demás

Mantenga el volumen en un nivel moderado. De esta forma, podrá escuchar los sonidos del exterior y será considerado con la gente que le rodea.

Advertencia

Si se produce un rayo mientras utiliza el reproductor, quítese los auriculares inmediatamente.

Continúa ⇩

Sobre la limpieza

- Limpie el reproductor con un paño suave ligeramente humedecido con agua o con una solución de detergente neutro.
- Limpie el enchufe de los auriculares de forma periódica.

Notas

- No use ningún tipo de estropajo abrasivo, detergente concentrado o disolvente, como alcohol o benceno, ya que podría deteriorar el acabado del reproductor.
- Asegúrese de que no entre agua en el reproductor por el orificio situado cerca del conector.

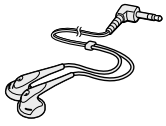
Si tiene problemas o dudas sobre el reproductor, póngase en contacto con el proveedor Sony más cercano.

NOTAS

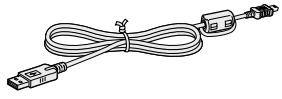
- La música grabada está limitada al uso privado. La utilización de la música fuera de este límite requiere el permiso de los propietarios del copyright.
- Sony no se hace responsable de las descargas o grabaciones incompletas o de los datos dañados por problemas relacionados con el reproductor o el ordenador.

Comprobación de los accesorios suministrados

- Auriculares (1)



- Cable USB dedicado (1)



- Adaptador de alimentación de CA (1)
- Estuche de transporte (1)
- CD-ROM (1)*
  (Software SonicStage, PDF del manual de instrucciones)
- Guía de inicio rápido (1)

* No reproduzca este CD-ROM en un reproductor de CD de audio.
(La batería recargable ya está instalada en el reproductor.)

Notas

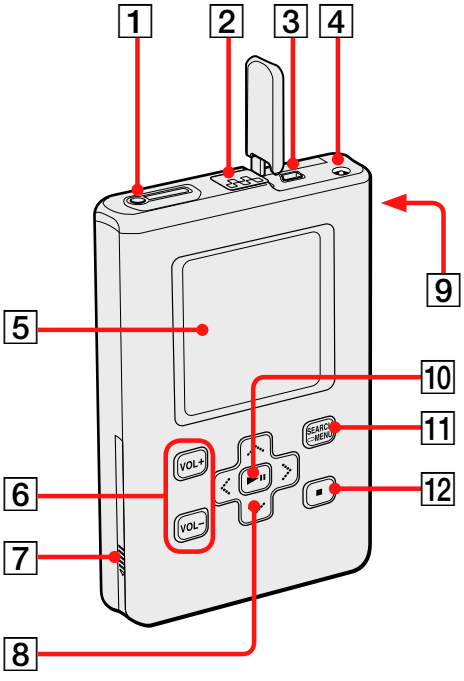
Al utilizar esta unidad, no olvide seguir las precauciones que se indican a continuación para evitar deformar el reproductor o provocar un funcionamiento defectuoso de la unidad.

– Evite sentarse con la unidad en el bolsillo trasero de los pantalones.



– Evite introducir en una bolsa la unidad con el cable de los auriculares/cascos enrollado en torno a ella y someter la bolsa a sacudidas o golpes violentos.

Guía de componentes y controles



1 ♫ Toma (auriculares)/LINE OUT (☞ página 29)

2 Interruptor HOLD (☞ página 31)

3 Conector USB (☞ página 24)

4 Toma DC IN (☞ página 13, 24)

5 Pantalla del reproductor (☞ página 32)

6 Botones VOL+*/VOL (volumen) (☞ página 30)

7 Tapa del compartimento de la batería (☞ página 13)

8 Botones ⏮/⏭/ ◀ / ▶ (☞ página 29)

9 Orificio para la correa de mano**

10 ▶II Botón (reproducción/parada) (☞ página 31)

11 Botón SEARCH/MENU (☞ página 33)

12 Botón ■ (parada) (☞ página 31)

* Cuando utilice el reproductor, tome como referencia el punto táctil.

**Puede acoplar la correa de mano que desee.

Acerca del número de serie

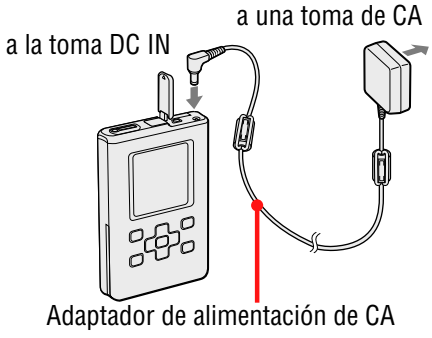
El número de serie de este reproductor es necesario para el registro del cliente. El número se encuentra en la parte inferior del reproductor. No quite la etiqueta.

Preparación de la fuente de alimentación

Cargue la batería de ion-litio antes de utilizarla por primera vez o cuando se haya agotado.

Conecte el adaptador de alimentación de CA a la toma DC IN.

Conecte primero el adaptador de alimentación de CA y, a continuación, enchúfelo a la toma de pared de CA.



El indicador de batería de la pantalla cambia a “Cargando” y se inicia el proceso de carga de la batería.
El proceso de carga se realiza aproximadamente en 3 horas*. Una vez terminado se ilumina “Cargado” y ☞.
La batería se cargará al 80% de su capacidad en aproximadamente 1,5 horas*.

* Tiempo de carga aproximado de una batería vacía en condiciones de temperatura ambiente. El tiempo de carga variará en función de la energía restante y el estado de la batería. Si la batería se carga en condiciones de baja temperatura, el tiempo de carga será superior.

Carga de la batería mediante una conexión USB

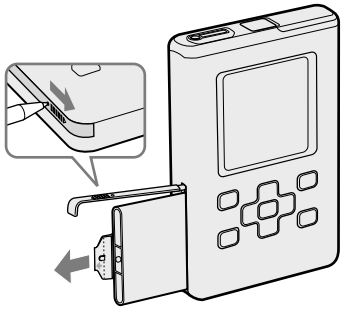
Encienda el ordenador y conecte el cable USB al ordenador (☞ página 24). El indicador de la batería cambia en la pantalla para indicar que se ha iniciado la carga. El proceso de carga tarda aproximadamente 6 horas*.
Cuando el reproductor está conectado al adaptador de alimentación de CA, la alimentación se obtiene de dicho adaptador. Sin embargo, el tiempo de carga aumenta.
Si el ordenador entra en modo de suspensión, apagado o hibernación mientras el reproductor está conectado al ordenador a través del cable USB sin un adaptador de CA, la batería se descarga y el proceso de carga se detiene.

* Cuando la batería se agota, el tiempo de carga aumenta. El indicador de carga de la batería aparece en la pantalla solamente cuando el reproductor se utiliza durante el proceso de carga. Si el indicador de carga de la batería no aparece, cargue la batería mediante el adaptador de alimentación de CA.

Continúa ⇩

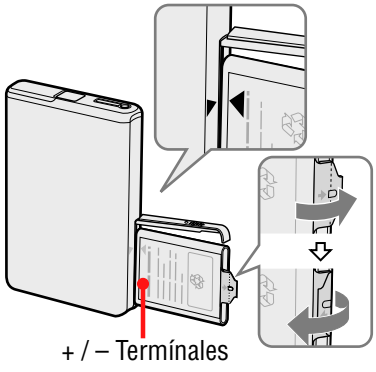
Para extraer la batería

Inserte un objeto puntiagudo y delgado, por ejemplo, la punta de un lápiz mecánico, en el orificio de la tapa del compartimento de la batería y deslice la tapa en la dirección de la marca "▷" para abrirla. A continuación, tire por la parte de la etiqueta en la dirección de la flecha para extraer la batería.
La alimentación no se enciende si extrae la batería del reproductor aunque el reproductor esté conectado al adaptador de alimentación de CA.



Para insertar la batería

Abra la tapa del compartimento de la batería e inserte la batería de modo que la marca "▶" de la parte lateral del reproductor coincida con la marca de la batería. Después de introducir la etiqueta dentro del compartimento de la batería, cierre la tapa.



Notas

- Cuando se carga la batería con una conexión USB, el tiempo de carga puede aumentar si la alimentación del ordenador es insuficiente.
- En función del entorno de sistema, la carga de la batería se detendrá si se lleva a cabo mediante una conexión USB.
- Si el reproductor se conecta al ordenador durante un período prolongado mientras se realiza la carga, el proceso de carga se puede detener para evitar que la temperatura del reproductor aumente en exceso. Desconecte el cable USB del reproductor y vuelva a iniciar la carga al cabo de unos instantes.
- Si el reproductor no se utilizará durante tres meses o más, extraiga la batería del reproductor.
- Cargue la batería a una temperatura ambiente entre 5 y 35ºC.

Continúa ⇩

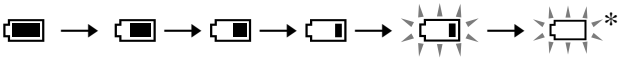
Notas sobre el adaptador de alimentación de CA



- Utilice únicamente el adaptador de alimentación de CA suministrado con el reproductor. No use ningún otro adaptador de alimentación de CA puesto que el reproductor se podría averiar.
- Mientras esté enchufado a la toma de pared, el reproductor no se desconecta de la fuente de alimentación de CA (toma de corriente) aunque el reproductor esté apagado.
- Si no va a usar el reproductor durante un período prolongado, desconéctelo de la fuente de alimentación. Para extraer el adaptador de alimentación de CA de la toma de pared, sujete siempre el enchufe. No tire nunca del cable.

Comprobación del nivel de energía de la batería

La pantalla indica el nivel de energía de la batería. Según se agota la batería, el indicador negro va disminuyendo.



* “BATERÍA BAJA” aparece en la pantalla y el reproductor emite un pitido.

Recargue la batería cuando se haya agotado.

Notas

- La pantalla muestra el nivel de energía aproximado de la batería. Por ejemplo, una barra no siempre indica que queda una cuarta parte de la energía de la batería.
- Dependiendo de las condiciones y el entorno de funcionamiento, el nivel puede aumentar o disminuir en relación a la energía restante real.
- El reproductor se apaga cuando se extrae la batería, aunque el reproductor esté conectado al adaptador de alimentación de CA.

Duración de la batería (uso continuado)

El tiempo de reproducción en formato ATRAC3plus a 48 kbps es aproximadamente de 40 horas. El tiempo de reproducción en formato MP3 a 128 kbps es aproximadamente de 30 horas.
El tiempo varía en función de cómo se utilice el reproductor.

Instalación de SonicStage en el ordenador

Instale SonicStage en su ordenador mediante el CD-ROM suministrado.

Preparación del sistema necesario

Se requiere el siguiente entorno de sistema.

Ordenador	IBM PC/AT o compatible	
	• CPU: Pentium III a 450 MHz o superior • Espacio en la unidad de disco duro: 200 MB o más (se recomienda cómo mínimo 1,5 GB) (La cantidad de espacio variará según la versión de Windows y el número de archivos de música almacenados en el disco duro) • RAM: 128 MB o más	
	Otros	• Unidad de CD (que admita la reproducción digital mediante WDM) (La unidad de CD-R/RW se necesita para la grabación de CD.) • Tarjeta de sonido • Puerto USB
Sistema operativo	Instalado de fábrica: Windows XP Media Center Edition 2005/ Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/ Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/ Windows 2000 Professional (Service Pack 3 o superior) / Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition	
Pantalla	Color de alta densidad (16 bits) o superior, 800 x 600 puntos o superior (se recomienda 1024 x 768 puntos o más)	
Otros	• Acceso a Internet: para registro de Web, servicios EMD y CDDB • Reproductor de Windows Media (versión 7.0 o posterior) instalada para reproducir archivos WMA	

Continúa ⇩

Notas

- Los siguientes entornos no admiten SonicStage:
  - Los sistemas operativos no mencionados en la página 16.
  - Ordenadores o sistemas operativos de creación propia
  - Un entorno que sea una actualización del sistema operativo original instalado por el fabricante
  - Entorno de inicio múltiple
  - Entorno de varios monitores
  - Macintosh
- El hecho de que un ordenador cumpla los requisitos del sistema no significa que el reproductor funcione correctamente.
- El formato NTFS de Windows XP/Windows 2000 Professional sólo se puede utilizar con los ajustes estándar (de fábrica).
- Tampoco se garantiza el funcionamiento correcto de la función de suspensión, apagado o hibernación en los ordenadores.

Instalación de SonicStage

Lea la siguiente información antes de instalar el software SonicStage.

- Asegúrese de cerrar todos los programas, incluidos los de detección de virus.
- Asegúrese de utilizar el CD-ROM suministrado para instalar SonicStage.
  - Si OpenMG Jukebox o SonicStage ya están instalados, la nueva versión del software y sus nuevas funciones sobrescribirán la versión anterior.
  - Si SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner o MD Simple Burner ya están instalados, SonicStage coexistirá con dichos programas.
  - Podrá seguir utilizando los datos de audio grabados con el software anterior. Como precaución, se recomienda realizar copias de seguridad de los datos de audio. Para realizar copias de seguridad de los datos, consulte “Copia de seguridad de Mi biblioteca” en la ayuda de SonicStage.

    El método utilizado para gestionar datos de música es en parte distinto de los métodos convencionales. Para más información, consulte “Para usuarios de versiones anteriores de SonicStage” en la ayuda de SonicStage.
- Si el reproductor está conectado a un ordenador por medio de un cable USB, desconecte el cable USB del reproductor y, a continuación, instale el contenido del CD-ROM suministrado en el ordenador.

Continúa ⇩

1 Cierre todos los programas en ejecución.

Antes de instalar el software SonicStage compruebe los siguientes aspectos ya que podrían impedir la correcta instalación del software.

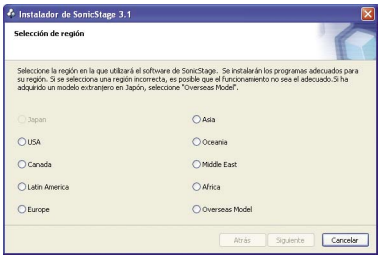
- No ha iniciado sesión como un “Administrador” (si utiliza Windows 2000/Windows XP).
- Los programas antivirus se están ejecutando. (Este tipo de programas requieren una gran cantidad de recursos del sistema .)

2 Inserte el CD-ROM en la unidad de su ordenador.

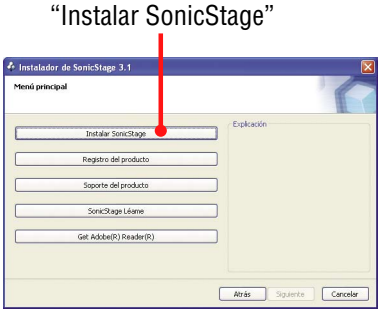
El programa de instalación se inicia automáticamente y aparece la ventana de instalación.

3 Cuando aparezca la ventana de la derecha, haga clic en la zona geográfica donde utilizará el software SonicStage.

Si no aparece ninguna ventana, vaya al paso 4.



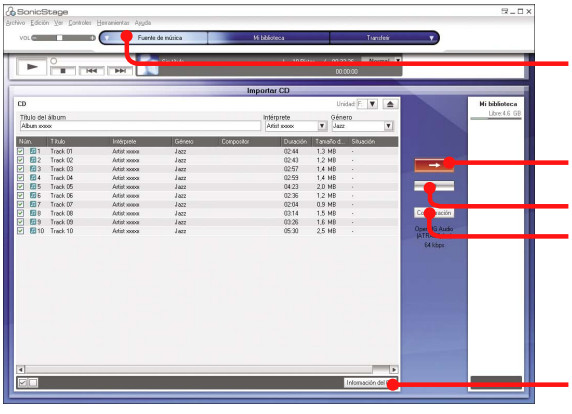
4 Haga clic en “Instalar SonicStage” y, a continuación, siga las instrucciones que aparecen.



Lea las instrucciones atentamente.
Según la zona geográfica, puede que los botones, salvo el correspondiente a “Instalar SonicStage”, sean distintos de los que aparecen en la ilustración de la derecha.
La instalación puede tardar de 20 a 30 minutos dependiendo del entorno del sistema. Asegúrese de reiniciar el ordenador cuando haya terminado la instalación.
Si se produce algún problema durante la instalación, consulte “Solución de problemas” (☞ página 68).

Importación de datos de audio al ordenador

Grabe y almacene pistas (datos de audio) de un CD de audio en “Mi biblioteca” de SonicStage, en la unidad de disco duro del ordenador. Para obtener automáticamente información sobre el CD (nombre del artista, títulos de las pistas, etc.), debe haber conectado previamente el ordenador a Internet.
Puede grabar o importar pistas (archivos MP3) de otras fuentes como Internet y el disco duro del ordenador.
Para obtener más información, consulte la ayuda de SonicStage (☞ página 73).



1 Haga doble clic en SonicStage (SonicStage) en el escritorio. También puede seleccionar “Inicio” – “Todos los programas”* – “SonicStage” – “SonicStage.”

Se inicia SonicStage.
Si utiliza una versión anterior de SonicStage, aparece la ventana “Herramienta de conversión de archivos SonicStage”** al iniciar SonicStage por primera vez después de la instalación. Siga las instrucciones de la ventana.

* “Programas” si se utiliza Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition

** Esta herramienta permite convertir los archivos de audio importados a su ordenador con SonicStage2.0 o una versión anterior al formato de datos óptimo (OpenMG) para este reproductor y, así, transferir datos de audio al reproductor a alta velocidad.



Continúa ⇩

2 Inserte el CD de audio que desee grabar en la unidad de CD del ordenador.

3 Seleccione ▼ de "▼ Fuente de música" y elija "Importar CD" en el menú.

El contenido del CD de audio aparece en la lista de fuente de música. Si la información del CD (☞ página 21) como, por ejemplo, el nombre del álbum, el nombre del artista y los títulos de las pistas, no se ha obtenido automáticamente, conecte el ordenador a Internet y haga clic en "Información del CD" en la parte derecha de la ventana.

4 Haga clic en →.

Se inicia la grabación de las pistas seleccionadas.
Si no desea grabar algunas pistas, haga clic en el número de la pista para quitar la marca de selección de la casilla ☑ en la ventana de SonicStage antes de hacer clic en →.

Para cambiar el formato y la velocidad de bits (☞ página 21) de la grabación del CD de audio

Haga clic en "Configuración" en la parte derecha de la ventana de SonicStage para abrir el cuadro de diálogo "Formato de importación del CD [Mi biblioteca]" antes de hacer clic en → en el paso 4.
Los ajustes predeterminados son OpenMG Audio (ATRAC3plus) para el formato y 64 kbps para la velocidad de bits.

Para detener la grabación

Haga clic en ■ en la ventana de SonicStage.

Nota

Sólo los CD de audio que llevan la marca CD DIGITAL AUDIO pueden utilizarse con el software SonicStage. No garantizamos un funcionamiento normal en el caso de los CD protegidos contra copia.

Continúa ⇩

¿Qué es la información del CD?

Por información del CD se entiende la información incluida en los CD de audio como, por ejemplo, el nombre del álbum, el nombre del artista, los títulos de las pistas, etc. Con SonicStage puede obtener automáticamente información de los CD de forma gratuita desde el servicio Gracenote CDDB (Gracenote Compact Disc DataBase) a través de Internet cuando inserta el CD de audio en la unidad de CD de su ordenador.
Tenga en cuenta que no es posible obtener información de los CD que no están registrados con CDDB.

¿Qué es ATRAC3/ATRAC3plus?

ATRAC3 (Adaptive Transform Acoustic Coding3) es una tecnología de compresión de audio que cumple con los estándares de alta calidad de sonido y compresión más exigentes. ATRAC3plus es una versión más avanzada de ATRAC3 que puede comprimir archivos de audio 20 veces su tamaño original a una velocidad de 64 kbps.

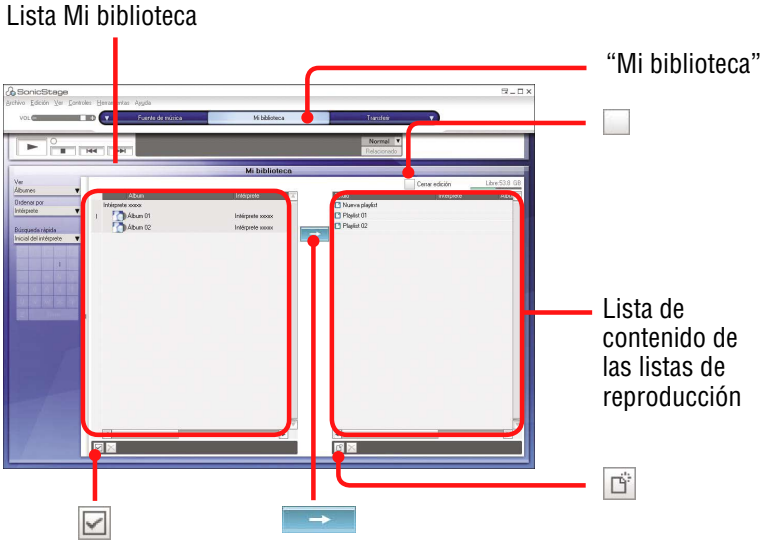
¿Qué es el formato y la velocidad de bits?

El formato se refiere al formato de grabación, como WAV o ATRAC3plus. La velocidad de bits es la cantidad de datos que se procesa por segundo. Cuanto mayor es la velocidad de bits, mejor será la calidad del sonido. Sin embargo, cuanto mayor es la velocidad de bits, más capacidad se necesita para almacenar los datos.
Los ajustes predeterminados son OpenMG Audio (ATRAC3plus) para el formato y 64 kbps para la velocidad de bits.
Para cambiar el formato y la velocidad de bits, haga clic en “Configuración” en la parte derecha de la ventana de SonicStage.

Gestión de pistas mediante SonicStage

En la pantalla “Mi biblioteca” de SonicStage puede gestionar o editar pistas. También puede agrupar sus pistas favoritas por temas para crear listas de reproducción y administrarlas como un álbum.
Para obtener más información sobre SonicStage, consulte la ayuda de SonicStage (☞ página 73).

Pantalla Mi biblioteca



Edición de unalista de reproducción

Una lista de reproducción le permite agrupar y reproducir sus pistas favoritas clasificadas por un tema determinado como, por ejemplo, bandas sonoras, etc.

1 Haga clic en “Mi biblioteca”.
Se muestra la pantalla Mi biblioteca.

2 Haga clic en ☐ (Crear/Editar playlist).
La ventana principal cambia a la pantalla Crear/Editar playlist.

3 Seleccione las pistas que desee de la lista de contenido de la izquierda.
Para seleccionar varias pistas, haga clic en las pistas mientras mantiene pulsada la tecla “Ctrl”.
Para seleccionar todas las pistas de la lista de contenido, haga clic en ☑ (Seleccionar todo).

Continúa ⇩

4 En la lista de la derecha, seleccione la lista de reproducción a la que desee añadir las pistas.

Para añadir la pista a una lista de reproducción nueva, haga clic en (Crear nueva playlist).
Se crea una lista de reproducción vacía que se muestra en la lista de contenido de las listas de reproducción. A continuación puede introducir un nombre para la lista de reproducción.

5 Haga clic en →.

Las pistas seleccionadas se añaden a la lista de contenido de listas de reproducción de la derecha.

6 Cuando haya añadido todas las pistas, haga clic en (Cerrar edición).

Vuelve a aparecer la pantalla Mi biblioteca.

Para añadir una pista mediante arrastrar y soltar

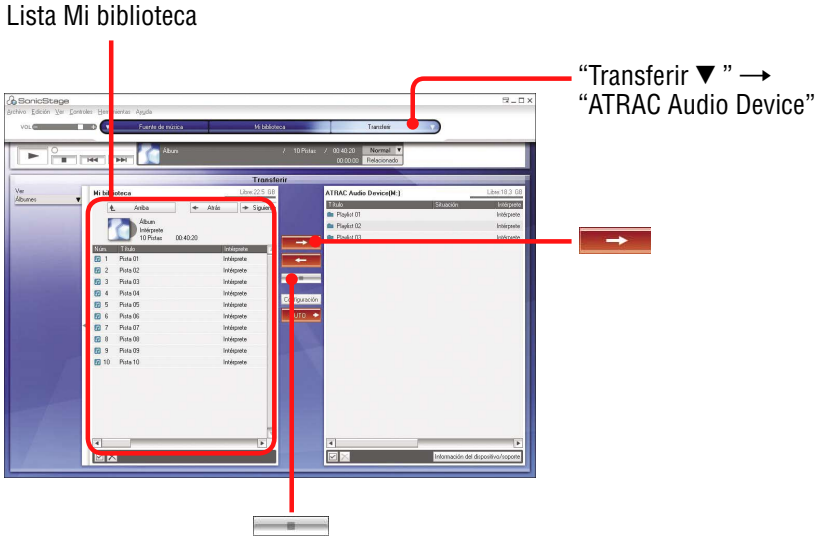
Puede añadir una pista arrastrándola desde la lista Mi biblioteca de la izquierda hacia la lista de contenido de las listas de reproducción de la derecha. La pista se añade a la lista en la posición donde se ha soltado.

Para consultar información detallada sobre álbumes y pistas

En la ventana de SonicStage, haga clic con el botón secundario del ratón en el álbum o la pista cuya información detallada desee consultar y, a continuación, seleccione “Propiedades” en el menú.
Aparecerá la ventana “Propiedades del album” o “Propiedades de pista”. Puede consultar y editar la información que se muestra en la ventana. El contenido que edite en la ventana “Propiedades” se aplicará a la pantalla Mi biblioteca.

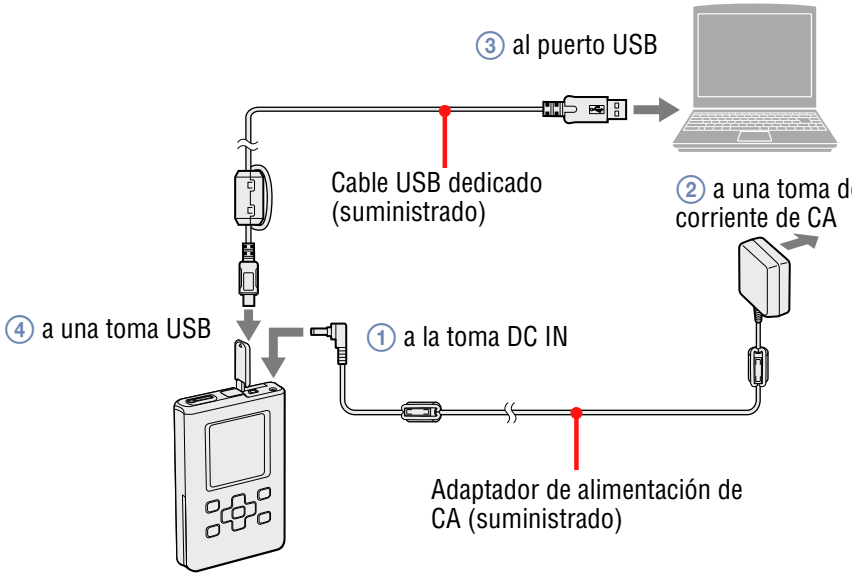
Transferencia de datos de audio al reproductor

Transfiera las pistas (datos de audio) almacenadas en “Mi biblioteca” de SonicStage en su ordenador al reproductor en formato ATRAC3plus/MP3. Los datos de audio que se transfieren incluyen toda la información, como el nombre del artista y el nombre del álbum, de la información del CD.



1 Conecte el reproductor al ordenador y el adaptador de alimentación de CA en el siguiente orden de ① a ④.

El mensaje “Conectando a PC” aparece en la pantalla.
La pantalla de configuración de la transferencia automática aparece en la ventana de SonicStage. Siga las instrucciones de la ventana. Para obtener más información, consulte la ayuda de SonicStage (☞ página 73).



Continúa ⇩

2 Seleccione ▼ de “Transferir ▼” y seleccione “ATRAC Audio Device” en la lista.

La pantalla cambia a la ventana donde las pistas se transfieren de SonicStage al reproductor.

3 Haga clic en el álbum que desee transferir de la lista Mi biblioteca en la parte izquierda de la ventana de SonicStage.

Si sólo desea transferir algunas pistas, haga clic en las pistas que quiera transferir. Para transferir varias pistas o álbumes, haga clic en las pistas o álbumes mientras mantiene pulsada la tecla “Ctrl”.
También puede transferir listas de reproducción al reproductor (hasta 8 187 listas de reproducción y 999 pistas por lista de reproducción).
Si intenta transferir una lista de reproducción que contiene una pista que ya se ha transferido al reproductor, sólo se transfieren los datos de la lista de reproducción correspondientes a esa pista.

4 Haga clic en .

Se inicia la transferencia de las pistas seleccionadas.
Puede comprobar el estado de la transferencia en la ventana de SonicStage.

Para detener la transferencia

Haga clic en en la ventana de SonicStage.

Notas

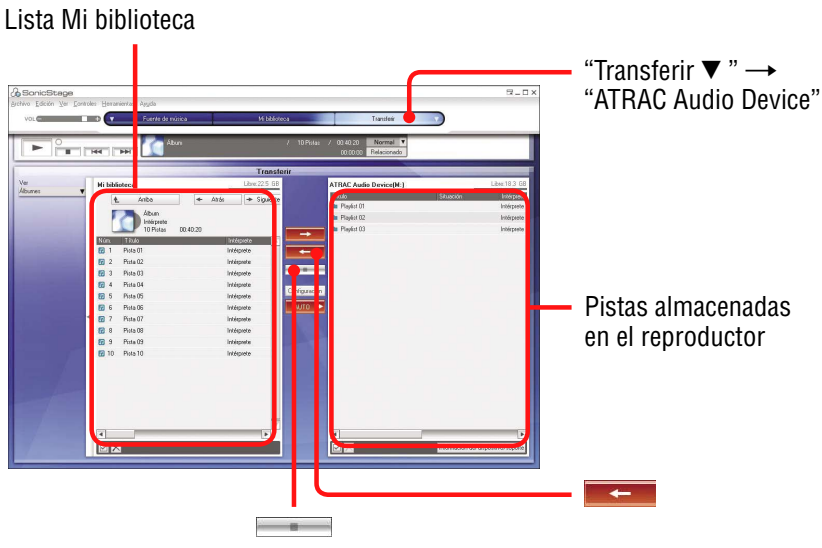
- No utilice el reproductor en lugares donde esté sujeto a vibraciones mientras se transfieren datos de audio. Tampoco coloque el reproductor cerca de objetos magnéticos.
- No desconecte el cable USB ni extraiga la batería del reproductor mientras se están transfiriendo datos. Si lo hace, puede que los datos que se estén transfiriendo se destruyan.
- No se garantiza el uso de este reproductor con un concentrador USB o con un cable alargador USB. Conecte siempre el reproductor al ordenador con el cable USB suministrado.
- Algunos dispositivos USB conectados al ordenador pueden afectar al correcto funcionamiento del reproductor.
- Todos los botones de control del reproductor están desactivados cuando el reproductor está conectado a un ordenador. Si conecta el reproductor al ordenador durante la reproducción, la reproducción se detiene y “Conectando a PC” aparece en la pantalla del reproductor.

Continúa ⇩

- Si no hay espacio libre suficiente en el reproductor para los datos de audio que se van a transferir, la transferencia no se producirá.
- El número de transferencias de una pista puede estar limitado por motivos de copyright.
- Es posible que no se puedan transferir ciertas pistas con un período de reproducción o con un número de reproducciones limitado debido a restricciones de los propietarios del copyright.
- Las funciones de suspensión, apagado e hibernación del sistema no funcionarán durante la transferencia.
- Según el tipo de texto y el número de caracteres, puede que el texto introducido por SonicStage no se muestre en el reproductor. Esto se debe a las limitaciones del reproductor.
- El reproductor se puede calentar si lo conecta por un tiempo a un ordenador encendido o después de transferir una gran cantidad de datos al mismo. No se trata, sin embargo, de un funcionamiento incorrecto. Desconecte el adaptador de alimentación de CA y el cable USB dedicado del reproductor y no lo utilice durante un tiempo.
  Si la parte caliente del reproductor se mantiene en contacto con la misma parte de su cuerpo durante mucho tiempo, aunque la temperatura del reproductor sea relativamente baja, puede producirse una abrasión por baja temperatura. Evite mantener el reproductor en contacto con la piel durante mucho tiempo, especialmente si su piel es muy sensible.
- Cuando no hay suficiente espacio en el disco duro del reproductor, el mensaje “BASE DE DATOS NO ENCONTRADA” puede aparecer aunque la transferencia de los datos de audio se haya realizado correctamente.
  En tal caso, conecte otra vez el reproductor al ordenador y, a continuación, transfiera los datos de audio que no necesite a su ordenador para liberar espacio en el reproductor.

Transferencia de datos de audio al ordenador

Puede volver a transferir los datos de audio a “Mi biblioteca” de SonicStage en el ordenador.



1 Conecte el reproductor al ordenador (vea el paso 1 en “Transferencia de datos de audio al reproductor”, página 24).

2 Seleccione ▼ de “Transferir ▼” y seleccione “ ATRAC Audio Device” en la lista.

La pantalla cambia a la ventana en la que se transfieren las pistas del reproductor a SonicStage.

3 Haga clic en el álbum que desee transferir a la lista Mi biblioteca en la parte derecha de la ventana de SonicStage.

Si sólo desea transferir algunas pistas, haga clic en las pistas que quiera transferir.

Para transferir varias pistas o álbumes, haga clic en las pistas o álbumes mientras mantiene pulsada la tecla “Ctrl”.

4 Haga clic en ←.

Se inicia la transferencia del álbum seleccionado.

Puede comprobar el estado de la transferencia en la ventana de SonicStage.

Continúa ⇩

Para detener la transferencia

Haga clic en  en la ventana de SonicStage.

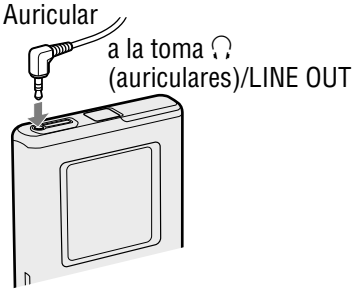
Notas

- Las pistas transferidas al reproductor desde otro ordenador no pueden transferirse a Mi biblioteca, en el ordenador.
- No desconecte el cable USB ni extraiga la batería del reproductor mientras se están transfiriendo datos. Si lo hace, puede que los datos que se estén transfiriendo se destruyan.

Reproducción

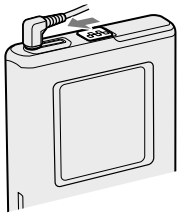
Puede reproducir las pistas transferidas al reproductor mediante SonicStage (☞ página 19).
Puede cambiar el menú y los mensajes de la pantalla para que se muestren en su idioma (☞ página 54).

1 Conecte los auriculares a la toma ∩(auriculares)/LINE OUT del reproductor.



2 Deslice el interruptor HOLD en la dirección de la flecha que se muestra en la ilustración para desbloquear los controles.

Todos los botones se desbloquean.



3 Pulse cualquier botón del reproductor salvo ►II.

Aparece la pantalla MENÚ.



4 Pulse ^/v para seleccionar "Buscar" y, a continuación, pulse ►II.

Aparece la pantalla Buscar.



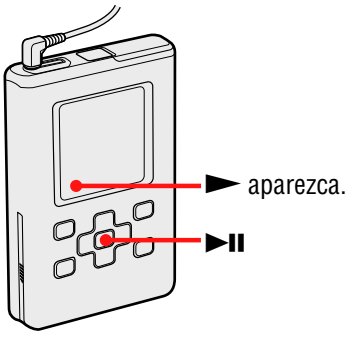
5 Pulse ^/v para seleccionar el modo de búsqueda.

Para buscar una pista más, pulse >.

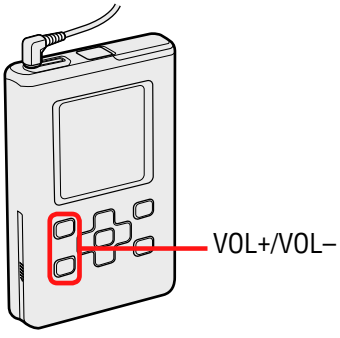
Continúa ⇩

6 Pulse ►II.

► aparece en la parte inferior izquierda de la pantalla y el reproductor inicia la reproducción.
Pulse ►II otra vez para hacer una pausa.



7 Pulse VOL+/VOL− para ajustar el volumen.



¿Qué tipo de datos de audio puedo reproducir?

Este reproductor puede reproducir datos de audio comprimidos en los formatos ATRAC3plus/MP3.
Los formatos de archivo MP3 que se pueden reproducir son:

– MPEG-1 Audio Layer-3
– Velocidad de bits de 32 a 320 kbps (CBR/VBR)
– Frecuencias de muestreo 32/44,1/48 kHz

Notas

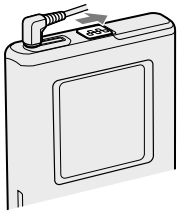
- Los archivos en formato MP3 que no se pueden reproducir en el reproductor sí se pueden transferir al mismo.
- La reproducción se detendrá si se intenta reproducir una pista de audio MP3 incompatible con el reproductor. Pulse ⁝› para seleccionar otras pistas.
- Si utiliza la batería recargable de ion-litio y el reproductor no se utiliza durante 30 segundos en el modo de parada, la pantalla se apaga automáticamente. Al desplazarse por los títulos de las pistas, etc., la pantalla se apagará 30 segundos después de haber finalizado el desplazamiento.
- Si la reproducción no se inicia, asegúrese de que el interruptor HOLD esté desactivado (☞ 31).

Continúa ⇩

Bloqueo de los controles (HOLD)

Mediante el bloqueo de los controles, puede evitar que éstos se pulsen accidentalmente cuando se trasporta el reproductor. “BLOQUEO” parpadea en la pantalla si pulsa cualquier botón cuando la función HOLD está activada.

Deslice el interruptor HOLD en la dirección de la flecha que se muestra en la ilustración para desbloquear los controles.



Para desbloquear los controles

Deslice el interruptor HOLD en la dirección opuesta a la de la flecha que se muestra en la ilustración anterior.

Funciones básicas de reproducción (Reproducción, parada, búsqueda)

Para	Operación
Reproducir desde un punto en el que se detuvo la reproducción anteriormente	Pulse ▶II. La reproducción se inicia desde el punto en que se detuvo.
Parar la reproducción	Pulse ■.
Localizar el principio de la pista actual	Pulse ⏮ una vez.
Localizar el inicio de las pistas anteriores*	Pulse ⏮ repetidamente.
Localizar el inicio de la pista siguiente*	Pulse ⏭ una vez.
Localizar el principio de las pistas sucesivas*	Pulse ⏭ repetidamente.
Retroceder rápidamente	Mantenga pulsado ⏮.
Avanzar rápidamente	Mantenga pulsado ⏭.

* Cuando se selecciona la reproducción de pistas aleatorias o la reproducción de elementos aleatorios (☞ página 47), el orden de reproducción es diferente.

Para apagar el reproductor

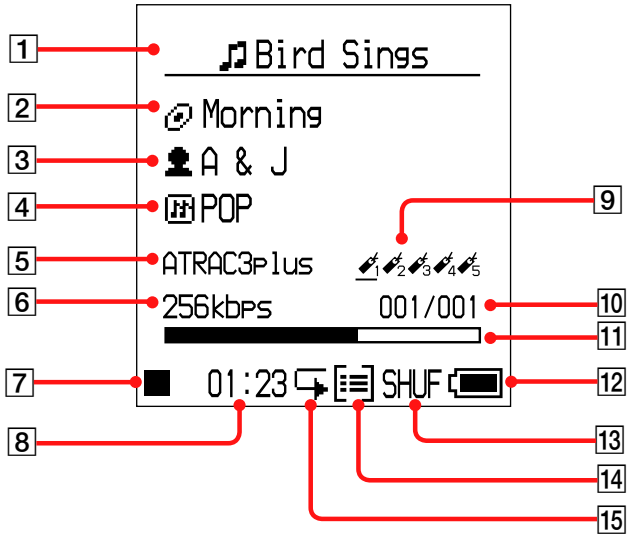
Mantenga pulsado ■ hasta que la pantalla desaparezca.
Para encender de nuevo el reproductor, pulse cualquier botón.

Continúa ⇩

Consulta de información en la pantalla

Puede consultar los datos de audio y el estado de la reproducción en la pantalla del reproductor.

Pantalla del reproductor durante la reproducción



1 Título de la pista
2 Nombre del álbum
3 Nombre del artista
4 Género
5 ATRAC3/ATRAC3plus/MP3 (☞ página 21)
6 Velocidad de bits* (☞ página 21)
7 Estado de la reproducción
►: Reproducción
■: Parada
►►: Avance rápido
◄◄: Retroceso rápido
I◄◄/►►I: Localizar el inicio de la pista
8 Tiempo de reproducción transcurrido
9 Marcador (☞ página 39)
10 Número de pista
11 Barra de progreso de la reproducción
12 Energía que queda en la pila (☞ página 15)
13 Modo de reproducción (☞ página 45), indicador de sonido (al ajustar el sonido, ☞ página 52)
14 Indicador de la unidad (☞ página 48)
15 Repetir (☞ página 49)

* Si se trata de una pista MP3 que admite velocidad de bits variable (VBR), la velocidad de bits que aparece aquí podría no coincidir con la que aparece en el software SonicStage.

Nota

Se pueden mostrar los caracteres de A a Z, de a a z, de 0 a 9 y símbolos (excepto /).

Selección de las pistas que se reproducirán (artista, álbum, género, etc.)

Al buscar las pistas en el reproductor por "Artista", "Álbum," etc., puede seleccionar las pistas que desea escuchar.
Para obtener más información sobre las pantallas, consulte "Acerca de la estructura de carpetas de la pantalla Buscar" (☞ página 35).

1 Pulse SEARCH/–MENU.
Aparece la pantalla Buscar.



2 Pulse ^/v para seleccionar un modo de búsqueda.
Si pulsa ►II en cualquier modo excepto "Lista reproducc." o "Búsqu. iniciales", se inicia la reproducción.
Por ejemplo, cuando selecciona "Artista," la reproducción se inicia a partir de la primera pista del primer álbum del artista que ha seleccionado.
Todos los álbumes de los artistas mostrados tras el artista seleccionado se reproducen en el orden numerado de las pistas.

3 Para buscar más pistas, pulse >.

4 Pulse ^/v para seleccionar el elemento que desee reproducir y, a continuación, pulse ►II.
La reproducción se inicia desde la pista seleccionada o la primera pista del elemento seleccionado (artista, álbum, etc.). Todas las pistas mostradas tras los elementos seleccionados se reproducen en el orden de número de pista.

Continúa ⇩

Para volver a la pantalla Buscar

Pulse SEARCH/⬬MENU.

Para volver a la pantalla MENÚ

Mantenga pulsado SEARCH/⬬MENU.
Para volver a la pantalla de reproducción, seleccione “Pantalla reproducc.” en la pantalla MENU y, a continuación, pulse ►II.

Para volver a la lista de pistas

Pulse ^/v.

Para detener la reproducción en la pantalla Buscar

Pulse ■.

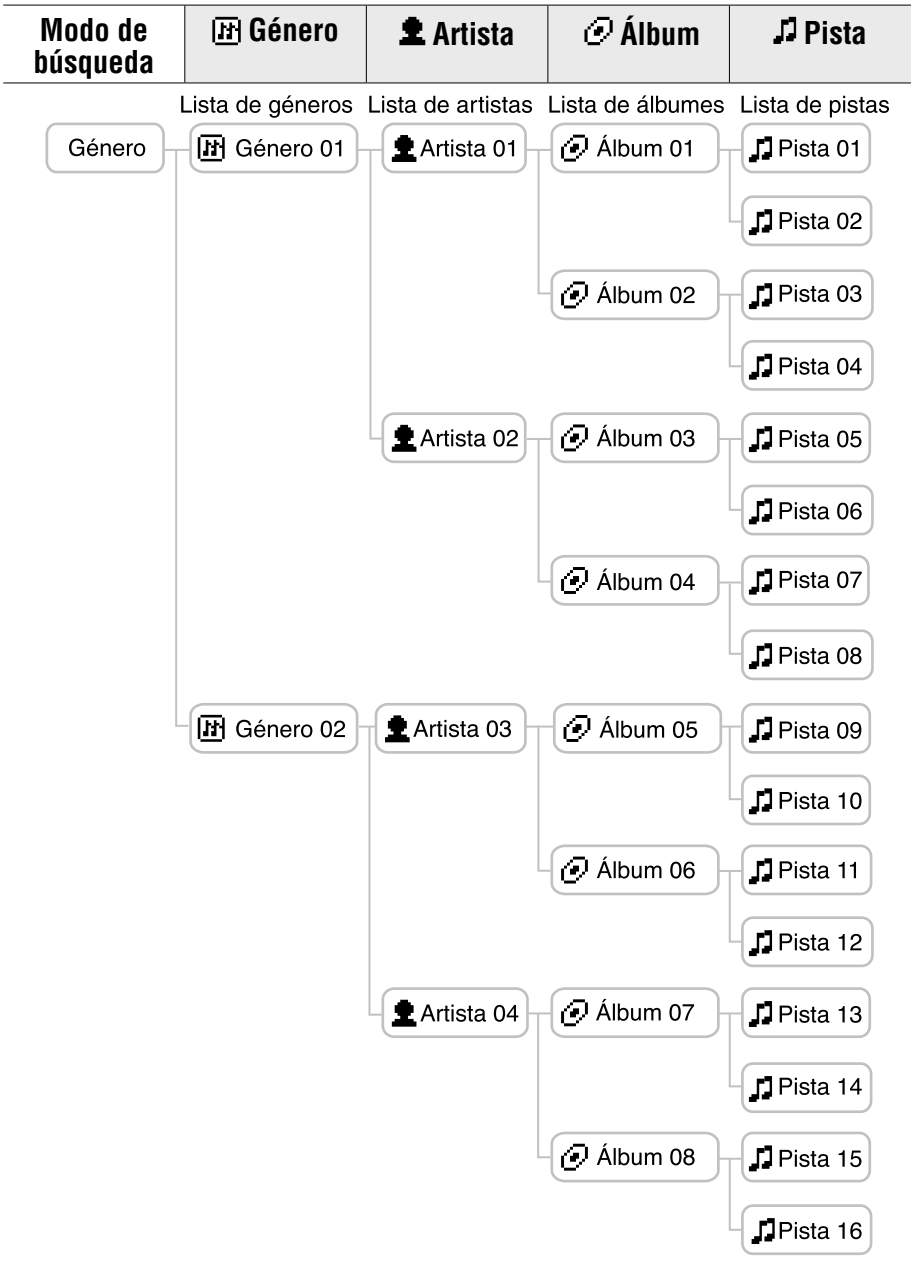
Para desplazar varios elementos a la vez

Pulse ^ o v dos veces muy seguidas en la pantalla Buscar y, a continuación, mantenga el botón pulsado durante unos segundos.
Todos los elementos de la pantalla se desplazan hacia arriba a la vez.
Cuando mantiene pulsado ^ o v durante unos segundos, los elementos se desplazan hacia arriba más rápidamente.

Continúa ⇩

Acerca de la estructura de carpetas de la pantalla Buscar

La pantalla Buscar dispone de los siguientes modos de búsqueda: “Artista”, “Álbum”, “Género”, “Pista”, “Pistas nuevas”, “Búsqu. iniciales” y “Lista reproducc.” La estructura de Género, Artista, Álbum y Pista es la siguiente.
En cualquiera de las pantallas Buscar de Artista, Álbum, Pista, Género y Pistas nuevas, puede iniciar la reproducción pulsando ▶II.
Para seleccionar y reproducir pistas desde Pistas nuevas, consulte ☞ página 36, desde Búsqu. iniciales, consulte ☞ página 36, desde Lista reproducc., consulte ☞ página 38.



Continúa ⇩

Selección de pistas desde “Pistas nuevas”

Puede seleccionar pistas de los álbumes recién transferidos al reproductor (las cinco últimas veces).

1 Seleccione “Pistas nuevas” en la pantalla Buscar (en el paso 2, ☞ página 33) y, a continuación, pulse .

Aparece la lista de las nuevas pistas. A continuación se muestra la estructura de “Pistas nuevas”.



2 Pulse / para seleccionar el elemento que desee reproducir y, a continuación, pulse ►II.

La reproducción empieza desde la pista seleccionada o a partir de la primera pista del álbum seleccionado. Todas las pistas mostradas después de los elementos seleccionados se reproducen en el orden del número de pista.

Selección de una pista por la primera letra de la pista (Búsqu. iniciales)

Puede seleccionar las pistas buscando la primera letra del título de una pista. El reproductor busca el título de una pista en la información del CD en SonicStage.

1 Pulse SEARCH/–MENU.

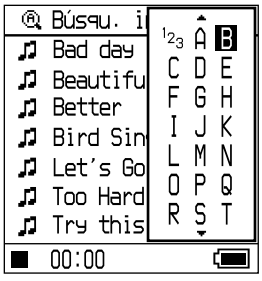
Aparece la pantalla Buscar.



Continúa ⇩

2 Pulse ^/v para seleccionar "Búsqu. iniciales" y, a continuación, pulse ►II.

Primero aparece la lista de pistas y, a continuación, la pantalla de selección de caracteres.



3 Pulse ^/v/</> para seleccionar la inicial del título de la pista y, a continuación, pulse ►II.

Las pistas que empiezan con la inicial seleccionada aparecerán en la lista. Si no hay ninguna pista cuyo nombre empiece con la inicial que ha seleccionado, se muestran las pistas que empiezan alfabéticamente por la siguiente inicial.



4 Pulse ^/v para seleccionar la pista que desee reproducir y, a continuación, pulse ►II.

La reproducción se inicia a partir de la pista que seleccione. Todas las pistas que aparecen después de las pistas seleccionadas se reproducen según el orden numerado de las pistas.

Para volver a la pantalla Buscar

Pulse SEARCH/MENU.

Para volver a la pantalla MENÚ

Mantenga pulsado SEARCH/MENU.

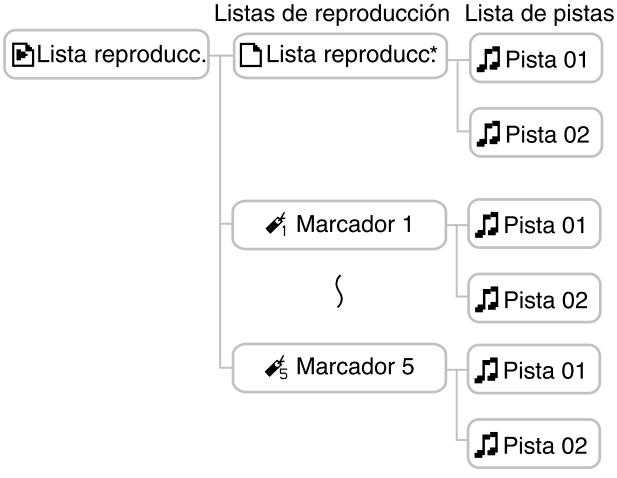
Continúa ⇩

Selección de pistas desde "Lista reproducc."

Puede seleccionar pistas de las listas de reproducción editadas mediante SonicStage o pistas registradas en tipos de marcadores (Marcador 1 a Marcador 5) en el reproductor. Para registrar una pista en un marcador, consulte ☞ página 39.

1 Seleccione "Lista reproducc." en la pantalla Buscar (en el paso 2, ☞ página 33) y, a continuación, pulse .

Aparece la lista de listas de reproducción. A continuación se muestra la estructura de las listas de reproducción.



* Un nombre de lista reproducción de la lista de contenido Lista reproducc. aparece con el nombre que ha creado en SonicStage.

2 Pulse / para seleccionar el elemento que desee reproducir y, a continuación, pulse ►II.

Edición de marcadores en el reproductor

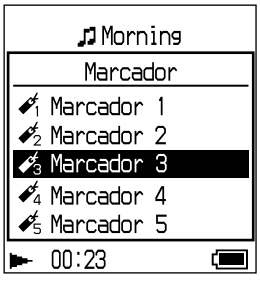
Existen dos tipos de listas de reproducción: las listas de reproducción de SonicStage y las listas de reproducción del reproductor. Una lista de reproducción del reproductor incluye las listas de reproducción creadas en SonicStage y los tipos de marcadores creados en el reproductor. Para obtener información detallada sobre la estructura de una lista de reproducción, consulte ☞ página 38. Las listas de reproducción sólo pueden editarse utilizando el equipo en las que se crearon. Los tipos de marcadores creados en el reproductor no pueden editarse ni visualizarse en SonicStage.

Registro de una pista en un marcador (Reproducción de pistas de un marcador)

Puede registrar sus canciones favoritas en un marcador. Para reproducir las pistas registradas, seleccione "Lista reproducc." en la pantalla Buscar (☞ página 33).

1 Durante la reproducción de la pista que desea registrar en un marcador, mantenga pulsado .

Aparece la pantalla Marcador.



2 Pulse / para seleccionar el tipo de marcador donde está registrada la pista y luego pulse ▶II.

Aparece "Marcado" y el número de marcadores (el número de pistas marcadas/el número de posibles marcadores) y, a continuación, el icono de marcador se enciende.

3 Si desea agregar un marcador a dos o más pistas, repita los pasos 1 y 2.

En cada marcador puede registrar un máximo de 100 pistas.

Continúa ⇩

Para reproducir las pistas registradas en los marcadores

1 Pulse SEARCH/MENU.
Aparece la pantalla Buscar.
2 Pulse ∧/∨ para seleccionar “Lista reproducc.” y, a continuación, pulse ▶II.
3 Pulse ∧/∨ para seleccionar “Marcador” y, a continuación, pulse ›.
Si en este punto pulsa ▶II en lugar de ›, la reproducción se inicia desde la primera pista del marcador seleccionado.
4 Pulse ∧/∨ para seleccionar una pista y, a continuación, pulse ▶II.
Aparece una línea debajo del icono del marcador en la pantalla de reproducción.

Para eliminar marcadores

Durante la reproducción de la pista cuyo marcador desea eliminar, mantenga pulsado ∨ después de haber realizado los pasos descritos más arriba.
Aparece “Marcador eliminado” y el icono del marcador desaparece de la pantalla.

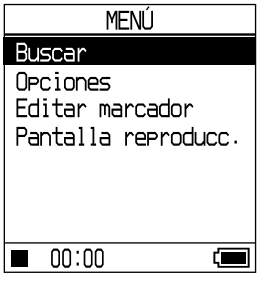
Notas

- Una pista sólo se puede registrar en un Marcador durante la reproducción.
- Un marcador de una pista sólo se puede quitar mientras la pista se está reproduciendo y después de haber realizado los pasos descritos más arriba.

Cambio del orden de las pistas en un marcador

Puede cambiar el orden de las pistas registradas en un tipo de marcador.

1 Mantenga pulsado SEARCH/MENU.
Aparece la pantalla MENÚ.



Continúa ⇩

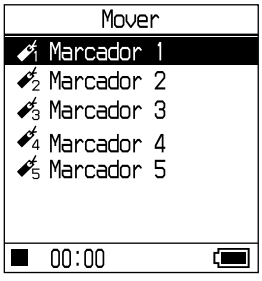
2 Pulse ^/v para seleccionar "Editar marcador" y, a continuación, pulse ►II o >.

Aparece la pantalla Editar marcador.



3 Pulse ^/v para seleccionar "Mover" y, a continuación, pulse ►II o >.

Aparece la lista Marcador.



4 Pulse ^/v para seleccionar el marcador que desee editar y, a continuación, pulse ►II o >.

Aparece la lista de pistas del tipo de marcador seleccionado.



5 Pulse ^/v para seleccionar la pista que desee mover y, a continuación, pulse ►II.

La pista seleccionada parpadea.

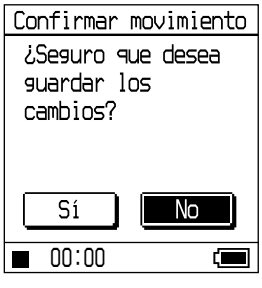
6 Pulse ^/v para seleccionar el destino donde desee mover la pista y, a continuación, pulse ►II.

La pista que ha seleccionado en el paso 5 se mueve al lugar que ha seleccionado en el paso 6.

Cuando desee mover otras pistas, repita los pasos 5 y 6.

7 Pulse > o ■.

Aparece el cuadro de diálogo de confirmación.



Continúa ⇩

8 Pulse ⏮/⏭ para seleccionar “Sí” y luego pulse ▶II.

Aparece “Cambios guardados.” en la pantalla del reproductor.
Si selecciona “No”, la edición de la lista de reproducción se cancela y la pantalla vuelve a la pantalla Editar marcador.

Eliminación de pistas marcadas

Puede eliminar las pistas registradas en un tipo de marcador.

1 Seleccione “Eliminar” en el paso 3 de “Cambio del orden de las pistas en un marcador” (☞ página 40) y, a continuación, pulse ▶II o ⏭.

Aparece la pantalla Eliminar.



2 Pulse ⏫/⏬ para seleccionar “♫ Pista” o “🎸 Marcador” y, a continuación pulse ▶II.

Aparece la lista Marcador.



3 Pulse ⏫/⏬ para seleccionar Marcador y, a continuación, pulse ▶II o ⏭.

Cuando selecciona “Pista” en el paso 2, aparece la lista de pistas.
Cuando selecciona “Marcador” en el paso 2, continúe con el paso 6.



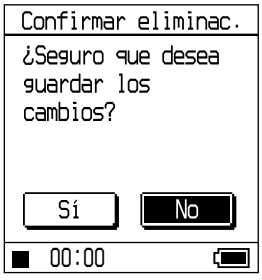
Continúa ⇩

4 Pulse ^/v para seleccionar la pista que desee eliminar y, a continuación, pulse ►II.

La pista seleccionada se quita de la lista.
Repita este paso cuando desee borrar varias pistas de un marcador.

5 Pulse > o ■.

Aparece el cuadro de diálogo de confirmación.



6 Pulse < / > para seleccionar "Sí" y, a continuación, pulse ►II.

Aparece "Cambios guardados" en la pantalla y vuelve a mostrarse la pantalla Editar marcador.

Cuando selecciona "✎ Marcador" en el paso 2,
aparece "¿Seguro que desea eliminar todas las pistas marcadas?" en la pantalla. Seleccione "Sí".
Si selecciona "No" en este punto, la edición de los marcadores se cancela y vuelve a mostrarse la pantalla Editar marcador.

Para desplazar varios elementos a la vez

Pulse ^ o v dos veces muy seguidas mientras se visualiza una lista de pistas en "Cambio del orden de las pistas en un marcador" (☞ página 40) o en "Eliminación de pistas marcadas" (☞ página 42) y, a continuación, mantenga el botón pulsado durante unos segundos.
Todos los elementos de la pantalla se desplazan hacia arriba a la vez.
Cuando mantiene pulsado ^ o v durante unos segundos, los elementos se desplazan hacia arriba más rápidamente.

Nota

No es posible editar marcadores mientras la pista que tiene los marcadores registrados se está reproduciendo o está en pausa.

Continúa ⇩

Cambio de un icono de marcador

Puede seleccionar un icono de marcador para que aparezca en la pistas marcadas. Es aconsejable utilizar un icono de marcador diferente para cada marcador (Marcador 1 a 5).

1 Elija “Seleccionar icono” en el paso 3 de “Cambio del orden de las pistas en un marcador” (☞ página 40) y, a continuación, pulse ►II o ⟩.

Aparece la lista Marcador.



2 Pulse ⟋/⟍ para seleccionar el tipo de marcador cuyo icono desee cambiar y, a continuación, pulse ►II.

Aparece la pantalla Seleccionar icono.



3 Pulse ⟋/⟍/⟨/⟩ para seleccionar un icono y, a continuación, pulse ►II.

El icono que ha seleccionado aparece con la pista marcada.

Cambio de las opciones de reproducción (Modo reproducción)

Puede utilizar varias opciones de reproducción (Modo reproducción) como, por ejemplo, seleccionar las pistas que desea escuchar y reproducir las pistas aleatoriamente.
Para obtener más información sobre las opciones de reproducción y sus posibilidades, consulte “Opciones de reproducción” (☞ página 47).
También puede reproducir pistas en orden aleatorio (☞ página 47, 49) o repetir pistas mediante las opciones de reproducción que ha seleccionado (Reproducción repetida, ☞ página 49).

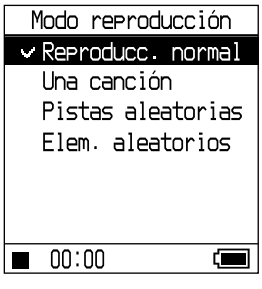
1 Mantenga pulsado SEARCH/–MENU.
Aparece la pantalla MENÚ.



2 Pulse ⏮/⏭ para seleccionar “Opciones” y, a continuación, pulse ►II.
Aparece la pantalla Opciones.



3 Pulse ⏮/⏭ para seleccionar “Modo reproducción” y, a continuación, pulse ►II.
Aparece la lista de modos de reproducción.



Continúa ⇩

4 Pulse ^/v para seleccionar una opción de reproducción y, a continuación, pulse ►II.

El ajuste predeterminado es “Reproducc. normal” (reproducción normal).

5 Pulse SEARCH/–MENU para mostrar la pantalla Buscar y, a continuación, seleccione la categoría de búsqueda para la reproducción (☞ página 33).

Para limitar la categoría de búsqueda de la reproducción, pulse >.

6 Pulse ►II.

La reproducción se inicia en la opción de reproducción seleccionada.

Para cancelar la configuración

Pulse ■ para volver a la pantalla Opciones.

Para volver a la reproducción normal

En el paso 4, seleccione “Reproducc. normal”.

Para volver a la pantalla MENÚ

Mantenga pulsado SEARCH/–MENU.

Continúa ⇩

Opciones de reproducción (Modo reproducción)

Pantalla del reproductor/Icono	Explicación
Reproducc. normal/ Ningún icono (Reproducción normal)	Todas las pistas tras la pista seleccionada se reproducen una vez en el orden numerado de las pistas. Al seleccionar un elemento (álbum, artista, etc.) que no sea una pista, todas las pistas se reproducen una vez a partir de la primera pista del elemento en el orden numerado de las pistas.
Una canción/ 1 (Reproducción única)	Se reproduce una vez la pista seleccionada. Al seleccionar un elemento (álbum, artista, etc.) que no sea una pista, sólo se reproduce la primera pista una vez.
Pistas aleatorias/ SHUF	Todas las pistas se reproducen una vez aleatoriamente.
Elem. aleatorios/ SHUF	Aodos los álbumes se reproducen una vez en orden aleatorio (Album Shuffle). El orden de reproducción en los álbumes se realiza en el orden numerado de las pistas. Cuando “Unidad” está ajustado en “Unidad activada” (☞ página 47), las pistas se reproducen en el modo aleatorio en la unidad (☞ página 49).

Reproducción de pistas en una categoría de búsqueda determinada (Reproducción de unidad)

1 Seleccione “Unidad” en el paso 3 de “Cambio de las opciones de reproducción” (☞ página 45) y, a continuación, pulse ►II.

Aparece la pantalla Unidad.



2 Pulse ^/v para seleccionar “Unidad activada” y, a continuación, pulse ►II.

Continúa ⇩

3 Pulse SEARCH/MENU para mostrar la pantalla Buscar y, a continuación, seleccione la categoría de búsqueda para la reproducción (☞ página 33).

4 Pulse ►II.

La reproducción se inicia en la unidad en el orden numerado de las pistas.

¿Qué es una unidad (categoría de búsqueda para la reproducción)?

Todos los elementos (un artista, un álbum, un pista, etc.) que pertenecen al elemento seleccionado cuando empieza la reproducción se denominan "unidad".

p. ej.: Cuando empieza la reproducción después de seleccionar "Género 01"
La unidad estará formada por las pistas 01 a 08.
Cuando empieza la reproducción después de seleccionar "Artista 02"
La unidad estará formada por las pistas 05 a 08.



Notas

- Cuando pasa de "Unidad activada" a "Unidad desactiv." o viceversa, la unidad se restablece para incluir todas las pistas del reproductor.
- Cuando en el paso 3 selecciona una pista como la categoría de búsqueda para la reproducción, el álbum que contiene la pista se designa como la unidad.

Continúa ⇩

Sobre Pista aleatoria en la unidad (modo de reproducción “Pistas aleatorias” cuando “Unidad” está ajustado en “Unidad activada”)

Si ajusta “Unidad” en “Unidad activada” en la pantalla Opciones, todos los elementos (artista, álbum, pista) que aparecen en la unidad cuando inicia la reproducción se reproducen en orden aleatorio.

Sobre Unidad aleatoria (modo de reproducción “Elementos aleatorios” cuando la “Unidad” está ajustada en “Unidad activada”)

Si ajusta “Unidad” en “Unidad activada” en la pantalla Opciones, los elementos de la primera jerarquía de la unidad se reproducen aleatoriamente. El orden de reproducción en las unidades es el mismo que el orden de las pistas.

Notas

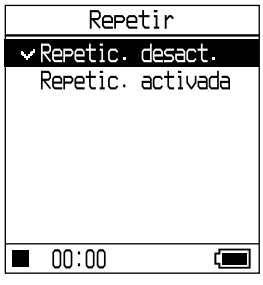
- Cuando selecciona “Pista” en la pantalla Buscar y empieza a reproducir en el modo aleatorio, todas las pistas del reproductor se reproducen aleatoriamente, independientemente de los ajustes de los modos “Unidad activada/desactiv.” o “Pistas/Elementos aleatorios”.
- Cuando selecciona “Lista reproducc.” en la pantalla Buscar y, a continuación selecciona una “ Lista de reproducción” o un “ Marcador” para iniciar la reproducción en el modo aleatorio, todas las pistas de la lista de reproducción o del marcador se reproducen en orden aleatorio, independientemente de los ajustes de los modos “Unidad activada/desactiv.” o “Pistas/Elementos aleatorios”.

Reproducción repetida de pistas (Reproducción repetida)

La reproducción de las pistas se repite en la opción de reproducción seleccionada en ☞ página 47.

1 Seleccione “Repetir” en el paso 3 de “Cambio de las opciones de reproducción” (☞ página 45) y, a continuación, pulse ►II.

Aparecerá la pantalla Repetir.



2 Pulse ^/v para seleccionar “Repetic. activada” y, a continuación, pulse ►II.



aparece.

Continúa ⇩

3 Pulse SEARCH/MENU para mostrar la pantalla Buscar y, a continuación, seleccione la categoría de búsqueda para la reproducción (☞ página 33).

4 Pulse ►II.
La reproducción se inicia en la opción de reproducción seleccionada.

Para cancelar la configuración en cualquier momento
Pulse ■ para volver a la pantalla Opciones.

Para cancelar la reproducción repetida
En el paso 2, seleccione “Repetic. desact.”

Para volver a la pantalla Buscar
Pulse SEARCH/MENU.

Cambio de ajustes y calidad del sonido

Para obtener más información sobre los ajustes de determinados elementos, consulte ☞ página 52.

1 Mantenga pulsado SEARCH/●MENU.

Aparece la pantalla MENÚ.



2 Pulse ^/v para seleccionar "Opciones" y, a continuación, pulse ►II.

Aparece la pantalla Opciones.



3 Pulse ^/v para seleccionar una opción y, a continuación, pulse ►II.

Para cambiar la calidad del sonido

Después del paso 3, pulse ^/v para seleccionar "Sonido" (☞ página 52) y, a continuación, pulse ►II.

Para volver a la pantalla anterior

Pulse <.

Para cancelar la configuración

Pulse ■ para volver a la pantalla Opciones.

Para volver a la pantalla MENÚ

Mantenga pulsado SEARCH/●MENU.

Continúa ⇩

Elementos de ajuste para la calidad de sonido y la pantalla

Elemento	Opciones (●: Ajuste predeterminado)		
Sonido	●Sonido desactiv.		Reproduce pistas con calidad de sonido normal.
	VPT Acoustic Eng. [1) 2)]	Estudio (VS)	Recrea el sonido de un estudio de grabación.
		Directo (VL)	Recrea el sonido de una sala de conciertos.
		Club (VC)	Recrea el sonido de una pista de baile.
		Arena (VA)	Recrea el sonido de un estadio.
	Ecual. 6 bandas [1)2)]	fuerte (SH)	Reproduce pistas con sonidos potentes, potenciando aún más el audio de margen bajo y alto en comparación con el sonido Pop
		Pop (SP)	Reproduce pistas con sonidos vocales, potenciando el audio de margen medio.
		Jazz (SJ)	Reproduce pistas con sonidos vivos, potenciando el audio de margen bajo y alto.
		Exclusivo (SU)	Reproduce pistas con sonidos especiales, potenciando el audio de margen bajo y alto más que el de margen medio.
		Personal. 1 (S1)	Reproduce pistas con sonido personalizado (☞ consulte la página 55 para más información).
		Personal. 2 (S2)	
	Preajust. son dig[2)]	Personal. 3 (S3)	Reproduce pistas con sonido de graves y agudos predefinido (☞ consulte la página 56 para más información).
		Personal. 4 (S4)	

1) Los ajustes sólo funcionan al reproducir pistas de audio en formato ATRAC3plus. Al reproducir una pista de audio en formato MP3, los ajustes no funcionan.

2) Los ajustes de sonido aparecen en la pantalla como letras entre paréntesis (☞ página 32).

Continúa ⇩

Elemento	Opciones (●: Ajuste predeterminado)	
AVLS [1]	●AVLS desactivado	El volumen cambia sin limitar el nivel.
	AVLS activado	El volumen máximo se limita para proporcionar protección auditiva.
Pitido	●Pitido activado	El pitido suena cuando se utiliza el reproductor.
	Pitido desactiv.	El pitido se desactiva.
Salida de audio	●Auricular	Seleccione este elemento cuando conecte los auriculares suministrados.
	Salida de línea	Seleccione esta opción cuando conecte otros dispositivos como, por ejemplo, unos altavoces, mediante un cable de audio (☞ página 58).
Luz de fondo [2]	●10 s	La luz de fondo se ilumina durante el tiempo seleccionado cuando pulsa un botón o mientras se está desplazando.
	30 s	
	Siempre desactiv.	La luz de fondo se apaga para ahorrar energía.
Contraste [3]	●Centro	La pantalla adquiere un brillo moderado. Si el color principal del reproductor es negro, el ajuste predeterminado es el segundo por la izquierda.
	– a +	Ajuste hacia el signo – para que la pantalla aparezca más clara y hacia + para que aparezca más oscura El nivel se ajusta en Centro al pulsar ⌒ mientras pulsa SEARCH/●MENU en cualquier pantalla.
Invertir pantalla	●Negativo	Los caracteres e iconos aparecen en blanco sobre fondo negro.
	Positivo	Los caracteres e iconos aparecen en negro sobre fondo blanco.

1) AVLS son las siglas de Automatic Volume Limiter System (Sistema de limitación automática del volumen).

2) Si pulsa VOL+/VOL− cuando la luz de fondo está apagada, se vuelve a encender.

3) Los ajustes vuelven a ser los ajustes de fábrica cuando pulsa ⌒ al mismo tiempo que SEARCH/●MENU.

Continúa ⇩

Elemento	Opciones (●: Ajuste predeterminado)	
Orientar pantalla	●Vertical	Fija la pantalla en posición vertical.
	Auto	Ajusta automáticamente la orientación de la pantalla mediante la función G-Sensor [1]. La orientación de la pantalla se fija en la dirección adecuada cuando se enciende el reproductor.
	Derecha	Gira la pantalla a la izquierda para poder utilizar el reproductor con la mano derecha.
	Izquierda	Gira la pantalla a la derecha para poder utilizar el reproductor con la mano izquierda.
Idioma	日本語	Los mensajes y los menús se muestran en japonés.
	●English	Los mensajes y los menús se muestran en inglés.
	Français	Los mensajes y los menús se muestran en francés.
	Deutsch	Los mensajes y los menús se muestran en alemán.
	Italiano	Los mensajes y los menús se muestran en italiano.
	Español	Los mensajes y los menús se muestran en español.
	簡体中文 [2]	Los mensajes y los menús se muestran en chino simplificado.
	繁體中文 [2]	Los mensajes y los menús se muestran en chino tradicional.
	한글 [2]	Los mensajes y los menús se muestran en coreano.
Inicializar sistema [3]	Ajustes de fábrica	Todos los ajustes de la pantalla MENÚ se establecen en los ajustes de fábrica (☞ página 60).
	Inicial. disco duro	Se borran todos los datos del reproductor (☞ página 62).
	Actualizar firmware	Actualiza el firmware del reproductor (☞ página 64).

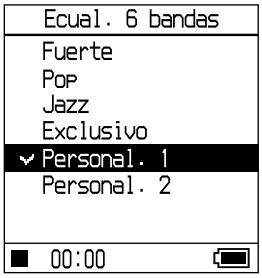
1) G-Sensor es la función que detecta la dirección del reproductor.
2) Estos idiomas no se muestran en función del país en el que se utilice el reproductor.
3) No puede restablecer los ajustes de fábrica durante la reproducción o la pausa.
4) Esta función todavía no está disponible. Espere a que se anuncie su disponibilidad.

Continúa ⇩

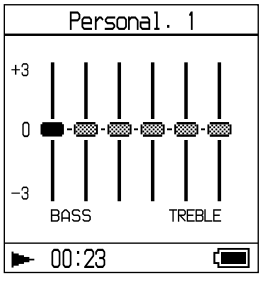
Personalización de la calidad del sonido (Ecual. 6 bandas – Personalización)

Puede ajustar manualmente la calidad del sonido para cada margen de frecuencia y comprobar los ajustes en la pantalla.

1 Después de seleccionar “Sonido” en el paso 3 de “Cambio de ajustes y calidad del sonido” (☞ página 51), seleccione “Ecual. 6 bandas,” pulse ►II.

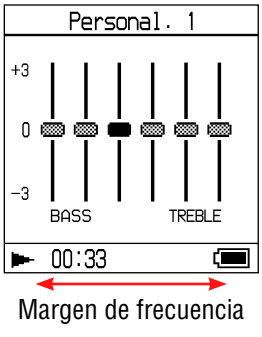


2 Pulse ^/v para seleccionar “Personal. 1” o “Personal. 2,” pulse ►II.



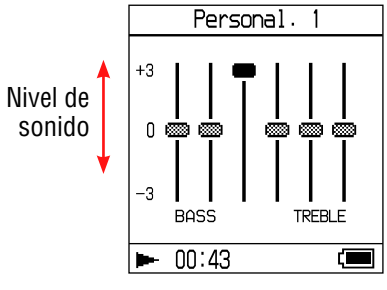
3 Pulse < / > para seleccionar el margen de frecuencia.

Existen seis márgenes de frecuencia.



4 Pulse < / > para seleccionar el nivel de sonido.

El nivel de sonido se puede ajustar en siete niveles.



Continúa ⇩

5 Repita los pasos 3 y 4 para realizar los ajustes para el resto de márgenes de frecuencia.

6 Pulse ►II.

La pantalla vuelve a la pantalla Ecual. 6 bandas.

Para cancelar la configuración

Pulse ■ para volver a la pantalla Ecual. 6 bandas.

Para volver a la pantalla MENÚ

Mantenga pulsado SEARCH/MENU.

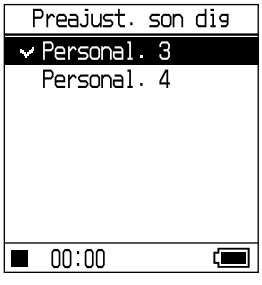
Notas

- Si al subir el volumen el sonido está distorsionado debido a los ajustes que ha establecido, baje el volumen.
- Si observa una diferencia entre el ajuste de sonido "Personal. 1" o "Personal. 2" y otros ajustes, ajuste el volumen según sus preferencias.
- Cuando se reproduce una pista de audio MP3 los ajustes no funcionan.

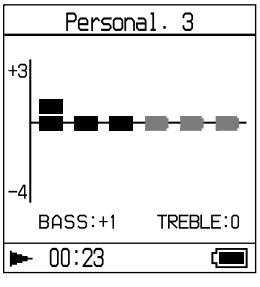
Potenciación de agudos y graves (Digital Sound Preset)

Puede presintonizar los niveles de agudos y graves a su gusto. Mientras consulta la pantalla, realice los ajustes de potenciación.

1 Después de seleccionar "Sonido" en el paso 3 del "Cambio de ajustes y calidad de sonido" (☞ página 51), seleccione "Preajust. son dig," pulse ►II.



2 Pulse / para seleccionar "Personal. 3" o "Personal. 4," pulse ►II.



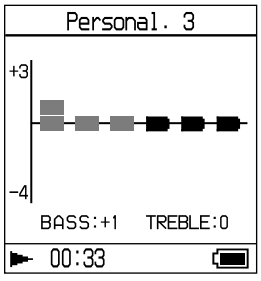
Ajuste predeterminado

Calidad de sonido	Personal. 3 (S3)	Personal. 4 (S4)	Desactivado (SONIDO NORMAL)
Graves	+1	+3	±0
Agudos	±0	±0	±0

Continúa ⇩

3 Pulse < / > para seleccionar “Treble” o “Bass”.

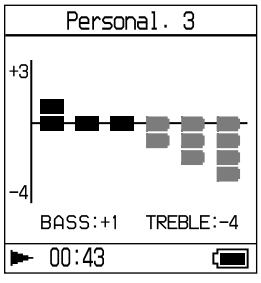
Puede ajustar la calidad del sonido de los agudos y los graves.



4 Pulse ^/v para seleccionar el nivel de sonido.

El nivel de sonido se puede ajustar en ocho niveles.

Calidad de sonido	Nivel de potenciación
Graves	-4 a +3
Agudos	-4 a +3



5 Pulse ►II.

Vuelve a aparecer la pantalla Preajust. son dig.

Para cancelar la configuración

Pulse ■ para volver a la pantalla Preajust. son dig.

Para volver a la pantalla MENÚ

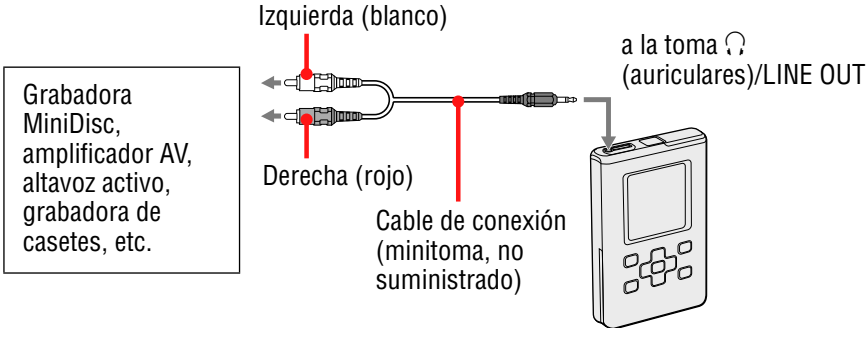
Mantenga pulsado SEARCH/MENU.

Notas

- Los niveles de sonido de agudos y graves aparecen en los extremos derecho e izquierdo del gráfico “Personal. 3” o “Personal. 4”. Los niveles intermedios no se pueden ajustar de forma independiente porque están vinculados a los niveles de agudos y bajos y cambian de forma automática.
- Si al subir el volumen el sonido está distorsionado debido a los ajustes que ha establecido, baje el volumen.
- Si observa una diferencia entre el ajuste de sonido “Personal. 3” o “Personal. 4” y otros ajustes, ajuste el volumen según sus preferencias.

Conexión de otros dispositivos

Puede escuchar las pistas a través de un sistema estéreo y grabar las pistas del reproductor en un MiniDisc o una cinta de casete. Consulte el manual de instrucciones suministrado con el dispositivo que desea conectar. Asegúrese de apagar todos los dispositivos antes de realizar las conexiones y modificar los ajustes descritos a continuación.



Debe cambiar el ajuste de “Salida de audio” en la pantalla Opciones para que el sonido salga a través del dispositivo conectado. Los ajustes de “Salida de audio” se muestran a continuación. Para realizar los ajustes, consulte la ☞ página 51.

Dispositivo conectado	Ajuste
Auriculares	Auricular
Dispositivo conectado mediante el cable de conexión	Salida de línea

Cuando conecte otro dispositivo, ajústelo en “Salida de línea”. Si está ajustado en “Salida de línea” no podrá modificar el volumen y los ajustes de “Sonido” no estarán disponibles ni funcionarán.

Notas

- Si tiene conectado el auricular suministrado, no ajuste “Salida de audio” en “Salida de línea”. Si está ajustado en “Salida de línea” no podrá modificar el volumen y el sonido se emitirá distorsionado y con ruido.
- Antes de la reproducción, baje el volumen del dispositivo conectado para evitar dañar el altavoz.

Almacenamiento de otro tipo de datos

Puede transferir datos desde el disco duro de un ordenador al disco duro incorporado de este reproductor mediante el Explorador de Windows. El disco duro incorporado del reproductor se muestra en el Explorador de Windows como una unidad externa (como almacenamiento extraíble).

Notas

- No utilice SonicStage mientras tenga en funcionamiento el disco duro del reproductor en el Explorador de Windows.
- Si transfiere archivos WAV y MP3 al reproductor mediante el Explorador, no se podrán reproducir. Realice la transferencia con el software SonicStage.
- No desconecte el cable USB mientras se estén transfiriendo datos, ya que podrían perderse.
- No inicialice el disco duro del reproductor en el ordenador.

Restablecimiento de los ajustes de fábrica

Vuelva a establecer todos los ajustes de fábrica en la pantalla MENÚ.

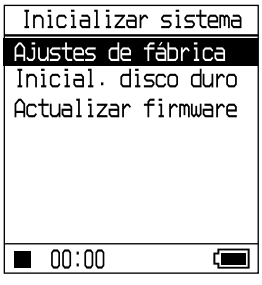
1 **Mientras el reproductor está detenido, mantenga pulsado SEARCH/ MENU.**
Aparece la pantalla MENÚ.



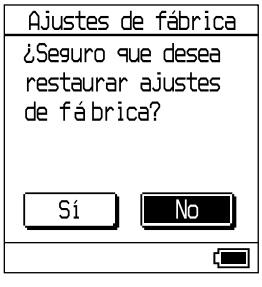
2 **Pulse / para seleccionar "Opciones" y, a continuación, pulse ►II.**
Aparece la pantalla Opciones.



3 **Pulse / para seleccionar "Inicializar sistema" y, a continuación, pulse ►II.**
Aparece la pantalla Inicializar sistema.



4 **Pulse / para seleccionar "Ajustes de fábrica" y, a continuación, pulse ►II.**
Aparece la pantalla Ajustes de fábrica.



Continúa ⇩

5 Pulse ‹ / › para seleccionar “Sí” y, a continuación, pulse ►II.

Se muestra el mensaje y, a continuación, vuelve a aparecer la pantalla Inicializar sistema.

Para cancelar la configuración

Pulse ■. También puede seleccionar “No” en el paso 5 y, a continuación, pulsar ►II.
Vuelve a aparecer la pantalla de Formato.

Nota

No puede restablecer los ajustes de fábrica durante la reproducción.

Inicialización del disco duro

Puede inicializar el disco duro incorporado del reproductor. Si inicializa el disco duro se borrarán todos los datos que tenga almacenados. Asegúrese de verificar los datos almacenados en el disco duro antes de inicializarlo.

1 Mientras el reproductor está detenido, mantenga pulsado SEARCH/– MENU.
Aparece la pantalla MENÚ.



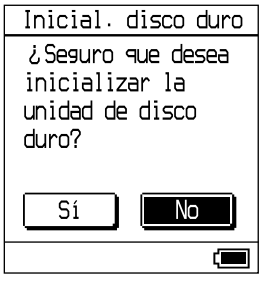
2 Pulse ^/v para seleccionar "Opciones" y, a continuación, pulse ►II.
Aparece la pantalla Opciones.



3 Pulse ^/v para seleccionar "Inicializar sistema" y, a continuación, pulse ►II.
Aparece la pantalla Inicializar sistema.



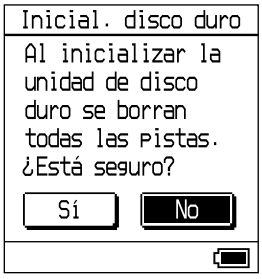
4 Pulse ^/v para seleccionar "Inicial. disco duro" y, a continuación, pulse ►II.
Aparece la pantalla Inicial. disco duro.



Continúa ⇩

5 Pulse ‹ / › para seleccionar “Sí” y luego pulse ►II.

Aparece una cuadro de diálogo de confirmación.



6 Pulse ‹ / › para seleccionar “Sí” y, a continuación, pulse ►II.

El mensaje se muestra y, a continuación, vuelve a aparecer la pantalla Inicializar sistema.

Para cancelar la configuración

Pulse ■. También puede seleccionar “No” en el paso 6 y, a continuación, pulsar ►II.
Vuelve a aparecer la pantalla Inicializar sistema.

Notas

- No inicialice el disco duro del reproductor en el ordenador.
- No puede formatear el disco duro durante la reproducción.
- Si inicializa el disco duro se eliminan todos los datos de audio y los archivos que no son de audio del reproductor.
- Si se borran las pistas al inicializar, SonicStage las reconoce como pistas para transferir de nuevo al ordenador en el caso de que el reproductor esté conectado al ordenador. Por tanto, el recuento de transferencias restantes se incrementa automáticamente.

Desinstalación de SonicStage

Para desinstalar SonicStage, siga las indicaciones siguientes.

1 Haga clic en “Inicio”– “Panel de control.”*

* “Configuración” – “Panel de control” en el caso de Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition

2 Haga doble clic en “Agregar o quitar programas”.

3 Haga clic en “SonicStage 3.1” en la lista “Programas actualmente instalados” y, a continuación, haga clic en “Cambiar o quitar”*.

Siga las instrucciones y reinicie el ordenador. La desinstalación termina cuando el ordenador se ha reiniciado.

* “Cambiar/Quitar” en el caso de Windows 2000 Professional, “Agregar/Quitar” en el caso de Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition

Nota

Cuando se instala SonicStage Versión 3.1, OpenMG Secure Module 4.1 se instala al mismo tiempo. No elimine OpenMG Secure Module 4.1 puesto que otro programa podría utilizarlo.

Solución de problemas

Si experimenta algún problema con el reproductor, pruebe las soluciones siguientes.

1 Extraiga la batería e insértela de nuevo.
2 Consulte los síntomas descritos en “Solución de problemas”.
3 Consulte los síntomas en la ayuda de SonicStage cuando utilice SonicStage.
4 Si el problema no se resuelve después de comprobar la información anterior, consulte la siguiente tabla y póngase en contacto con su distribuidor Sony más próximo.

Alimentación

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
La duración de la batería es corta	→ La temperatura de funcionamiento es inferior a 5°C. Esto se debe a las características de la batería y no se trata de un funcionamiento incorrecto.
	→ No ha utilizado el reproductor durante un período prolongado de tiempo. Si carga y descarga repetidamente la batería, mejorará la eficacia de la misma.
	→ La batería ha llegado al final de su vida útil. Cámbiela por una batería nueva.
	→ El tiempo de carga de la batería no es suficiente. Continúe cargando la batería hasta que aparezca.

Continúa ⇩

Sonido

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
No hay sonido. Se oye ruido.	➔ El nivel de volumen está ajustado en cero. Suba el volumen (☞ página 30). ➔ El auricular no está conectado correctamente. Conéctelo firmemente a la toma ∩(auriculares)/ LINE OUT (☞ página 29). ➔ La toma del auricular está sucia. Limpie la toma del auricular con un paño seco. ➔ No se ha almacenado ningún dato de audio en el disco duro.
El volumen no se puede subir	➔ "AVLS" se ha ajustado en "AVLS activado". Ajústelo en "AVLS desactivado" (☞ página 53).
No hay sonido en el canal derecho de los auriculares.	➔ El auricular no está conectado correctamente. Conéctelo firmemente a la toma ∩(auriculares)/ LINE OUT (☞ página 29).
El volumen no se puede ajustar.	➔ "Salida de audio" se ha ajustado en "Salida de línea". Ajuste el volumen utilizando el control de volumen del dispositivo conectado, o ajuste "Salida de audio" en "Auricular" (☞ página 53).
Si utiliza el reproductor con un sistema estéreo conectado, el sonido se emite distorsionado o con ruido.	➔ "Salida de audio" está ajustado en "Auricular". Ajústelo en "Salida de línea" (☞ página 53).

Continúa ⇩

Funcionamiento/reproducción

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
Los botones no funcionan.	→ Los botones están bloqueados. Deslice el interruptor HOLD en dirección contraria (☞ página 31). → Se ha producido condensación por humedad.(Puede condensarse humedad en el interior del reproductor si el reproductor se traslada directamente de un sitio frío a un lugar cálido). No utilice el reproductor durante unas horas hasta que la humedad se haya evaporado. → La energía restante de la batería no es suficiente. Cargue la batería (☞ página 13).
La reproducción se ha detenido de forma repentina.	→ La energía restante de la batería no es suficiente. Cargue la batería (☞ página 13). → La reproducción se detiene cuando intenta reproducir una pista de audio MP3 incompatible con el reproductor. Pulse ⁝› para seleccionar otras pistas (☞ página 30). → El reproductor ha estado expuesto a vibraciones durante mucho tiempo. Elimine las vibraciones y reanude la reproducción.
La luz de fondo no está encendida.	→ “Luz de fondo” se ha ajustado en “Siempre desactíve.”. Ajuste este valor en “10 s” o “30 s” (☞ página 53).
“□” se muestra como título.	→ Se trata de caracteres que no se pueden mostrar en el reproductor. Utilice el software SonicStage para cambiar el nombre del título con los caracteres adecuados.
La pantalla se apaga.	→ La pantalla se apaga automáticamente si no se utiliza el reproductor durante 30 segundos aproximadamenteen el modo de parada cuando se utiliza la batería. Al desplazarse por los títulos de las pistas, etc., la pantalla se apagará 30 segundos después de haber finalizado el desplazamiento. La pantalla también se apaga si mantiene pulsado el botón ■. En cualquiera de los casos, pulse un botón para quela pantalla se encienda de nuevo.

Continúa ⇩

Conexión con el ordenador/SonicStage

Síntoma	Causa y/o medida correctiva
No se puede instalar el software SonicStage.	➔ Se está utilizando un sistema operativo que no es compatible con el software (☞ página 16). ➔ No se han cerrado todas las aplicaciones de Windows. Si inicia la instalación mientras se están ejecutando otros programas, puede provocar un funcionamiento incorrecto. Esto suele ocurrir con programas que necesitan gran cantidad de recursos del sistema, como, por ejemplo, los programas de detección de virus. ➔ No hay espacio suficiente en el disco duro del ordenador. Se necesita un mínimo de 200 MB de espacio libre. Elimine los archivos innecesarios del ordenador.
La instalación parece haberse parado antes de terminar.	➔ Compruebe si ha aparecido algún mensaje de error detrás de la ventana de instalación. Pulse la tecla “Tabulador” mientras mantiene pulsada la tecla “Alt”. Si aparece un mensaje de error, pulse la tecla “Intro”. Se reanudará la instalación. Si no aparece ningún mensaje, la instalación sigue en curso. Espere un momento.
Labarra de progreso de la pantalla del ordenador no se mueve. El indicador de acceso del ordenador no se enciende desde hace unos minutos.	➔ La instalación continúa con normalidad. Espere unos instantes. La instalación puede tardar 30 minutos o más, dependiendo de la unidad de CD o del entorno del sistema.
SonicStage no se inicia.	➔ El entorno del sistema ha cambiado al actualizar el sistema operativo Windows, etc. Póngase en contactocon su distribuidor Sony más próximo.

Continúa ⇩

Conexión con el ordenador/SonicStage (continúa)

Al conectar el cable USB al ordenador no aparece el mensaje “Conectando a PC”.	→ Espere a que se autentifique el software SonicStage. → Se está ejecutando otra aplicación en el ordenador. Espere un momento y vuelva a conectar el cable USB. Si el problema persiste, desconecte el cable USB, reinicie el ordenador y, a continuación, vuelva a conectar el cable USB. → El cable USB no está conectado correctamente. Desconecte el cable USB y, a continuación, vuelva a conectarlo. → Se utiliza un concentrador USB. El funcionamiento de una conexión a través de un concentrador USB no está garantizado. Conecte el cable USB directamente al ordenador. → No se ha podido instalar el software SonicStage. Desconecte el reproductor y el ordenador y, a continuación, vuelva a instalar el software mediante el CD-ROM suministrado (☞ página 17). Podrá seguir utilizando los datos de audio grabados con el software anterior. → La batería se está agotando. Cárguela con el adaptador de alimentación de CA.
Al conectar el reproductor al ordenador, éste último no lo reconoce.	→ El cable USB no está conectado correctamente. Desconecte el cable USB y, a continuación, vuelva a conectarlo. → Se utiliza un concentrador USB. El funcionamiento de una conexión a través de un concentrador USB no está garantizado. Conecte el cable USB directamente al ordenador. → No se ha instalado el archivo del controlador del reproductor. Vuelva a instalar el software SonicStage del reproductor mediante el CD-ROM suministrado (☞ página 17) para, así, instalar también el controlador. → No se ha podido instalar el software SonicStage. Desconecte el reproductor y el ordenador y, a continuación, vuelva a instalar el software mediante el CD-ROM suministrado(☞ página 17). Podrá seguir utilizando los datos de audio grabados con el software anterior.

Continúa ⇩

No se pueden transferir datos de audio desde el ordenador al reproductor.	→ El cable USB no está conectado correctamente. Desconecte el cable USB y, a continuación, vuelva a conectarlo. → No hay espacio libre suficiente en el disco duro del reproductor. Vuelva a transferir la pistas que no necesite al ordenador para aumentar el espacio libre (☞ página 27). → Ya ha transferido al disco duro del reproductor más de 65 535 pistas o más de 8 187 listas de reproducción, o está intentando transferir una lista de reproducción que contiene más de 999 pistas. → Es posible que no se puedan transferir ciertas pistas con un período de reproducción limitado o con un número de reproducciones limitado debido a restricciones de los propietarios del copyright. Para obtener más información acerca de los ajustes de cada archivo de audio, póngase en contacto con el distribuidor. → No se ha podido instalar el software SonicStage. Desconecte el reproductor y el ordenador y, a continuación, vuelva a instalar el software mediante el CD-ROM suministrado (☞ página 17). Podrá seguir utilizando los datos de audio grabados con el software anterior.
No se pueden transferir muchas pistas al reproductor. (El tiempo de grabación disponible es corto).	→ El espacio libre disponible en el disco duro del reproductor no es suficiente para el tamaño de datos de audio que está intentando transferir. Vuelva a transferir la pistas que no necesite al ordenador para aumentar el espacio libre (☞ página 27). → Se han almacenado datos que no son de audio en el disco duro del reproductor. Transfiera los datos que no son de audio al ordenador para aumentar el espacio libre.

Continúa ⇩

No se pueden volver a transferir los datos de audio del reproductor al ordenador.	→ Se está utilizando un ordenador diferente al utilizado en la transferencia del ordenador al reproductor. No puede volver a transferir los datos de audio a otro ordenador que no sea el utilizado en la transferencia al reproductor. → Se han eliminado los datos de audio del ordenador que utilizó para la transferencia al reproductor. No se pueden volver a transferir los datos de audio al ordenador si se ha eliminado la pista en el ordenador utilizado para la transferencia al reproductor.
Los datos de audio se vuelven a transferir al ordenador y el recuento de transferencias restantes aumenta ocasionalmente sin realizar ninguna operación si el reproductor está conectado al ordenador.	→ Si se elimina una pista del reproductor mediante el software SonicStage instalado en un ordenador diferente al utilizado para la transferencia al reproductor, la pista se volverá a transferir al reproductor automáticamente una vez que éste se conecte al ordenador que se utilizó para realizar la transferencia al reproductor. Por tanto, el recuento de transferencias restantes se incrementa automáticamente.
El funcionamiento del reproductor se vuelve inestable mientras está conectado al ordenador.	→ Se está utilizando un concentrador USB o un cable alargador USB. No se garantiza la conexión a través de un concentrador USB o un alargador USB. Conecte el cable USB directamente al ordenador.
En la pantalla del ordenador se muestra el mensaje “Failed to authenticate Device/ Media.” cuando el reproductor está conectado al ordenador.	→ El reproductor no está conectado correctamente al ordenador. Salga del software SonicStage y verifique la conexión del cable USB. Reinicie el software SonicStage.

Continúa ⇩

Otros

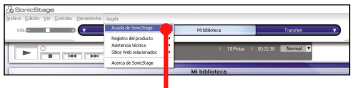
Síntoma	Causa y/o medida correctiva
No se produce ningún pitido al poner el reproductor en funcionamiento.	→ “Pitido” se ha ajustado en “Pitido desactiv.” Ajústelo en “Pitido activado” (☞ página 53).
El reproductor se calienta.	→ El reproductor se puede calentar al realizar la carga de la batería y justo después de la carga si ésta ha sido rápida. Además, el reproductor también se puede calentar si se transfiere un gran número de pistas. No utilice el reproductor durante un tiempo.
Se oye el sonido desde el interior del reproductor. El reproductor vibra.	→ Cuando se mueve el disco duro incorporado del reproductor, se puede oír el sonido de funcionamiento y se produce la vibración del reproductor. No se trata de un funcionamiento incorrecto.

Uso de la Ayuda de SonicStage

La Ayuda de SonicStage proporciona más información sobre cómo utilizar SonicStage. La Ayuda de SonicStage permite buscar fácilmente información a partir de una lista de operaciones, como “Importación de datos de audio” o “Transferencia de datos de audio”, a partir de una exhaustiva lista de palabras clave o escribiendo palabras que pueden llevarle a las explicaciones adecuadas.

Haga clic en “Ayuda” – “Ayuda de SonicStage” mientras SonicStage se está ejecutando.

La Ayuda aparece.
En la Ayuda de SonicStage el reproductor se describe como un “ATRAC Audio Device”.

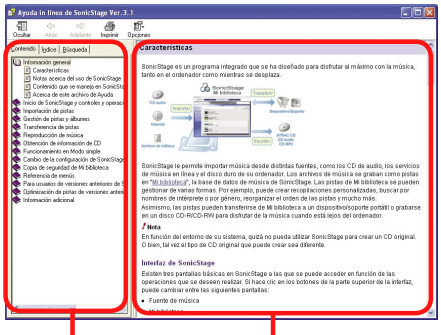


“Ayuda de SonicStage”

Notas

- En la Ayuda de SonicStage, “Dispositivos/Soportes” es el término general para un reproductor Network Walkman o MD Walkman.
- Siga las instrucciones de su proveedor de servicios de Internet en relación a cuestiones como el sistema recomendado.

Introducción a la Ayuda de SonicStage



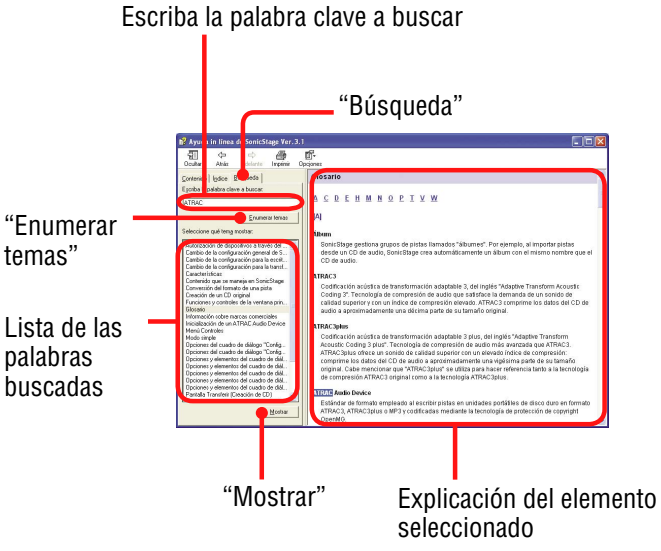
Marco de la izquierda

Marco de la derecha

1 Haga doble clic en “Información general” en el marco de la izquierda de la Ayuda de SonicStage.
2 Haga clic en “Acerca de este archivo de Ayuda”.
La explicación aparecerá en el marco del lado derecho.
Desplace la pantalla si es necesario. Haga clic en las palabras subrayadas para consultar sus explicaciones.

Continúa ⇩

Para buscar una palabra dentro de una explicación



1 Haga clic en “Búsqueda”.
2 Escriba las palabras.
3 Haga clic en “Enumerar temas”.
Se mostrará una lista de las palabras buscadas.
4 Haga clic para seleccionar el elemento deseado de los que se muestran.
5 Haga clic en “Mostrar”.
Se mostrará una explicación del elemento seleccionado.

Mensajes de error

Siga las instrucciones que se indican a continuación si aparece un mensaje de error en la pantalla.

Mensaje	Significado	Medida correctiva
AVLS SIN OPERAC. VOLUMEN	El volumen supera el volumen máximo de AVLS.	→ Ajuste “AVLS” en “AVLS desactivado” (☞ página 53).
TODAS MARCAS INCLUIDAS	Se está intentando añadir un marcador que ya se ha registrado en todos los tipos de marcadores.	→ Una pista puede marcarse una vez en cada tipo de marcador.
FALTA LA BATERÍA	• Se está intentando utilizar el reproductor mediante la conexión del adaptador de alimentación de CA sin haber insertado la batería. • Se ha extraído la batería del reproductor mientras el reproductor estaba conectado al ordenador.	→ Inserte la batería cuando conecte el adaptador de alimentación de CA a una toma corriente de CA.
MARCADORES COMPLETOS	El número de marcadores es superior al límite.	→ Quite los marcadores que no necesite (☞ página 40).
CANCELADO	La configuración o la operación se ha cancelado.	—
IMP. EDITAR MARCADOR EN REPRODUCCIÓN	Se está intentando editar un marcador en modo de reproducción o parada.	→ No se pueden editar marcadores en el modo de reproducción o parada.
IMPOSIBLE OPERAR DETENER	Durante la reproducción, se ha seleccionado “Inicializar sistema” en la pantalla Opciones.	→ Detenga la reproducción y seleccione “Inicializar sistema” otra vez.
IMPOSIBLE OPERAR SI DETENIDO	Se está intentando añadir un marcador con el reproductor parado.	→ Añada un marcador durante la reproducción(☞ página 39).
IMPOSIBLE REPRODUCIR CONECTAR PC	El reloj del reproductor no funciona.	→ Conéctelo al ordenador(☞ página 24).

Continúa ⇩

IMPOSIBLE REPRODUCIR ERROR PISTA	Los datos de audio están dañados.	➔ Vuelva a transferir los datos de audio al reproductor (☞ página 24).
IMPOSIBLE REPRODUCIR EN DISPOSIT.	• No está permitido reproducir la pista en el reproductor. • Se están reproduciendo pistas con un número de reproducciones limitado.	➔ No puede reproducir pistas sin permiso en el reproductor.
NO DISPONIB. REPRODUCCIÓN	Se está intentando reproducir una pista antes o después de su período de reproducción limitado.	➔ Las pistas con un tiempo de reproducción limitado sólo se pueden reproducir dentro del período de reproducción especificado.
IMPOSIBLE ACTUALIZAR. BATERÍA BAJA	El reproductor no puede responder a un comando debido a que se realizan muchas operaciones cuando está ocupado.	➔ No utilice el reproductor durante un tiempo e inténtelo de nuevo.
CARGA 5°C – 35°C	Se está cargando el reproductor a una temperatura ambiente fuera del rango de 5 a 35 °C.	➔ Cárguelo a una temperatura ambiente de 5 a 35°C.
ELIMINAR MARCADOR EN REPRODUCCIÓN	Se está intentando eliminar una pista marcada mientras se está reproduciendo.	➔ Una pista marcada sólo se puede eliminar cuando se intenta eliminar la pista del tipo de marcador registrado seleccionándola en la lista de reproducción mientras la pista se está reproduciendo.
CONECTAR ADAPTADOR DE ALIMENT. CA	Se ha intentado actualizar el firmware sin utilizar el adaptador de alimentación de CA.	➔ Conecte el adaptador de alimentación de CA al reproductor (☞ página 13).
ERROR: IMPOSIBLE MARCAR	No se puede añadir una pista a un marcador debido a un error.	➔ Intente de nuevo añadir la pista al marcador.
ERROR: IMPOSIBLE ELIMINAR	No se puede eliminar un marcador debido a un error.	➔ Intente de nuevo eliminar el marcador.

Continúa ⇩

ERROR AL CREAR BASE DE DATOS	No se puede crear una base de datos.	➔ Espere unos instantes. La base de datos se está actualizando.
ESCRITURA EN DISCO DURO 5°C – 35°C	Se están transfiriendo datos de audio al reproductor a una temperatura ambiente fuera del rango de 5 a 35 °C.	➔ Hágalo funcionar a una temperatura ambiente de 5 a 35°C.
ERROR AL INICIALIZAR DISCO DURO	• El disco duro del reproductor no se ha inicializado correctamente. • El disco duro del reproductor se inicializó en el ordenador. • No se ha inicializado el disco duro del reproductor porque se cambió.	➔ Inicialice de nuevo el disco duro del reproductor (☞ página 62).
BLOQUEO	El interruptor HOLD está ajustado en ON.	➔ Desbloquee los controles deslizando el interruptor HOLD en dirección contraria a la de la flecha (☞ página 31).
SALIDA LÍNEA SIN OPERAC	Está intentando cambiar el volumen o el ajuste de “Sonido” con “Salida de audio” ajustado en “Salida de línea”.	➔ Ajuste “Salida de audio” en “Auricular” (☞ página 53).
BATERÍA BAJA	Se ha agotado la energía de la batería.	➔ Cargue la batería (☞ página 13).
No MÁX. DE GRUPOS SUPERADO	El número de grupos (álbumes, artistas, etc.) ha superado el límite (8 192).	➔ El número total de elementos de la pantalla Buscar (salvo la lista de pistas) supera los 8 192. Transfiera las pistas que no necesite a Mi biblioteca en SonicStage (☞ página 27).
ARCHIV. SIS. NO COINCIDEN	Los archivos de sistema no coinciden.	➔ Inicialice el disco duro del reproductor (☞ página 62) y transfiera los datos de audio de nuevo al reproductor (☞ página 24).

Continúa ⇩

BASE DE DATOS NO ENCONTRADA	Al desconectar del ordenador, no se ha transferido ninguna pista al reproductor o falta información.	→ Conecte de nuevo el reproductor al ordenador y, a continuación, desconéctelo. → Transfiera datos de audio al reproductor (☞ página 24).
SIN PISTAS	No hay pistas en la lista de pistas.	→ Vaya a una lista de pistas que contenga pistas. → Transfiera datos de audio al reproductor (☞ página 24).
ERROR DE SISTEMA (El número aparece entre paréntesis).	Se ha producido un error de sistema.	→ Anote el número y póngase en contacto con el distribuidor Sony más próximo.

Especificaciones

Número máximo de pistas grabables (aprox.)*

NW-HD5:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5 000 (132 kbps)	2 500 (256 kbps)	5 000 (128 kbps)
6 000 (105 kbps)	10 000 (64 kbps)	10 000 (64 kbps)
10 000 (66 kbps)	13 000 (48 kbps)	

NW-HD5H:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
7 500 (132 kbps)	3 500 (256 kbps)	7 500 (128 kbps)
9 000 (105 kbps)	15 000 (64 kbps)	15 000 (64 kbps)
15 000 (66 kbps)	20 000 (48 kbps)	

* Si se transfieren pistas de cuatro minutos

Frecuencia de muestreo

44,1 kHz (ATRAC3plus), 32/44,1/48 kHz (MP3)

Tecnología de compresión de audio

Adaptive Transform Acoustic Coding3plus (ATRAC3plus)
MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

Respuesta en frecuencia

20 a 20 000 Hz (medición de señal sencilla durante la reproducción)

Salida

🎧 (auriculares)/LINE OUT*:
Minitoma estéreo/180 mV

* La toma se utiliza tanto para los auriculares como para LINE OUT.

Continúa ⇩

Temperatura de funcionamiento

5 a 35 ºC

Fuente de alimentación

Pila recargable:
LIP-880PD, cc 3,7 V, 880 mAh (1 Bateria recargable de iones de litio)
Adaptador de corriente de ca (toma DC IN 6V):
120 V, 60 Hz, 8 W (Modelos para EE.UU. y México)

Duración de la batería (reproducción continuada)

Formato ATRAC3plus (48 kbps): Aprox. 40 horas
Formato MP3 (128 kbps): Aprox. 30 horas

Dimensiones

Sin incluir las partes externas:
Aprox. 59,9 × 88,7 × 14,2 mm
(ancho/alto/profundidad)

Incluyendo partes externas:

Aprox. 59,9 × 89,3 × 14,5 mm
(ancho/alto/profundidad)

Peso

Aprox. 135 g

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo aviso.

Patentes de los EE.UU. y otros países usados con licencia de Dolby Laboratories.

Índice

Symbols

1 (Reproducción única) 47
Álbum 35
Artista 35
Búsqu. iniciales 36
SHUF Elem. aleatorios 47
Género 35
Lista de reproducc. 38
Nivel de energía 15
Pista 35
SHUF Pistas aleatorias 47
SHUF Pista aleatoria en la unidad 49
Pistas nuevas 36
Reproducción repetida 49
SHUF Unidad aleatoria 49

A

Adaptador de alimentación de CA 11
Ajustes de fábrica 60
Album Shuffle 47
Arena 52
ATRAC3/ATRAC3plus 21, 30
Auricular 53
Auriculares 11, 12
AVLS 53

B

Búsqu. iniciales 36
Batería (extraer/insertar) 14
Batería (Tiempo de carga) 13
Búsqueda 31
Búsqueda (SonicStage) 74

C

Cable USB 11
CD-ROM 11
Chino simplificado 54
Chino traditional 54
Club 52
Contraste 53
Coreano 54

D

Derecha 54
Desinstalar 64
Desplazar varios elementos 34
Deutsch 54
Directo 52
Dispositivo de audio 58
Duración de la batería 15

E

Editar un marcador 39
Elem. aleatorios 47
Eliminar (Marcador) 42
English 54
Español 54
Estructura de carpetas (pantalla Buscar) 35
Estuche de transporte 11
Estudio 52
Exclusivo 52

F

Formato 21
Français 54
Fuerte 52
Función HOLD 31

G

Gestión de pistas 22
G-Sensor 54

I

Icono de marcador 44
Idioma 54
Importación de datos de audio 19

Continúa ⇩

Información del CD 21
Información detallada (pista) 23
Inicial. disco duro 54
Inicializar disco duro 62
Inicializar sistema 54
Interruptor HOLD 12
Invertir pantalla 53
Italiano 54
Izquierda 54

J

Japonés 54
Jazz 52

L

Lista de reproducción (SonicStage) 22
Lista reproducc. (en el reproductor) 38
Localizar el inicio de las pistas anteriores 31
Localizar el inicio de la pista siguiente 31
Localizar el principio de la pista 31
Luz de fondo 53

M

Marcador 39
Mi biblioteca 22
Mi biblioteca (SonicStage) 19
Modo de búsqueda 35
Modo reproducción 45
MP3 30

N

Negativo 53
Nivel de energía de la batería 15

O

Opciones de reproducción 47
Orientar pantalla 54

P

Pantalla del reproductor 12, 32
Parada 12, 31
Pistas aleatorias 47
Pistas con un número de reproducciones limitado 70
Pistas con un período de reproducción limitado 70
Pistas nuevas 36
Pitido 53
Pop 52
Positivo 53
Preajust. son dig (Digital Sound Preset) 52

R

Reproducción de pistas de un marcador 39
Reproducción de unidad 47
Reproducc. normal 47
Reproducción repetida 49

S

Salida de audio 53
Salida de línea 53
SonicStage 16
Sonido 52

T

Transferir datos de audio 24

U

Una canción (Reproducción única) 47
Unidad 48

V

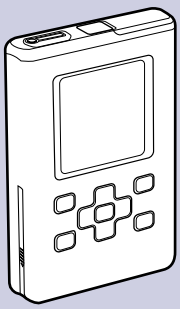
Velocidad de bits 21, 32
Vertical 54
VOL+/VOL−(Volumen) 12
VPT Acoustic Eng 52

SONY

Portable Hard Disk Audio Player

Network Walkman

Istruzioni per l'uso



WALKMAN

Atrac3plus MP3

NW-HD5/NW-HD5H

"WALKMAN" è un marchio registrato di Sony Corporation che rappresenta i prodotti stereo portatili. WALKMAN è un marchio di Sony Corporation.

© 2005 Sony Corporation

Sommario

Indice

▶ Operazioni preliminari 11

▶ Trasferimento dei dati audio al lettore 19

▶ Riproduzione dei brani musicali 29

▶ Altre funzioni 51

▶ Risoluzione dei problemi 59

▶ Informazioni supplementari 79

ATTENZIONE

Per evitare il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

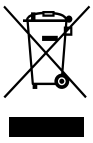
Non installare l'apparecchio in uno spazio chiuso, ad es., in una libreria o un mobiletto.

Per evitare il rischio di incendi, non coprire la ventola con giornali, tovaglie, tendine, ecc. Non appoggiare candele accese sull'apparecchio.

Per evitare il pericolo di incendi o scosse elettriche, non appoggiare sull'apparecchio oggetti contenenti liquidi (ad esempio, vasi).

Continua ⇩

Trattamento del dispositivo elettrico od elettronico a fine vita (Applicabile in tutti i paesi dell'Unione Europea e in quelli con sistema di raccolta differenziata)



Questo simbolo sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere considerato come un normale rifiuto domestico, ma deve invece essere consegnato ad un punto di raccolta appropriato per il riciclo di apparecchi elettrici ed elettronici. Assicurandovi che questo prodotto sia smaltito correttamente, voi contribuirete a prevenire potenziali conseguenze negative per l'ambiente e per la salute che potrebbero altrimenti essere causate dal suo smaltimento inadeguato. Il riciclaggio dei materiali aiuta a conservare le risorse naturali. Per informazioni più dettagliate circa il riciclaggio di questo prodotto, potete contattare l'ufficio comunale, il servizio locale di smaltimento rifiuti oppure il negozio dove l'avete acquistato.

Applicabile ai seguenti accessori: Cuffie

Sommario

Sommario 4
Nota per gli utenti 6
Precauzioni 8
Sicurezza 8
Installazione 8
Surriscaldamento 8
Cuffie 9
Pulizia dell'unità 10

Operazioni preliminari

Verifica degli accessori in dotazione 11
Guida a parti e comandi 12
Preparazione di una sorgente di alimentazione 13
Controllo della carica residua della batteria 15
Installazione di SonicStage sul computer 16
Preparazione del sistema richiesto 16
Installazione di SonicStage 17

Trasferimento dei dati audio al lettore

Importazione dei dati audio nel computer 19
Gestione dei brani con SonicStage 22
Modifica di una sequenza brani 22
Trasferimento dei dati audio nel lettore 24
Trasferimento di dati audio al computer 27

Riproduzione dei brani musicali

Riproduzione 29
Blocco dei comandi (HOLD) 31
Funzioni di riproduzione di base (Riproduzione, arresto, ricerca) 31
Verifica delle informazioni sul display 32
Selezione dei brani per la riproduzione (Artista, Album, Genere, ecc.) 33

Continua ⇩

Struttura cartella della schermata Trova 35
Selezione dei brani da “Nuovi brani” 36
Selezione di un brano dalla lettera iniziale del brano (Ricerca iniziali) 36
Selezione dei brani da “Sequenza brani” 38
Modifica dei Segnalibri nel lettore 39
Registrazione di un brano nei segnalibri (Riproduzione di brani con segnalibri) 39
Riordinamento dell’ordine dei brani in un segnalibro 40
Cancellazione dei brani con segnalibri 42
Modifica di un’ icona del segnalibro 44
Modifica delle opzioni di riproduzione (Modo riproduzione) .. 45
Opzioni di riproduzione (Modo riproduzione) 47
Riproduzione dei brani nella categoria di ricerca selezionata (Riproduzione di un’unità) 47
Riproduzione ripetuta dei brani (Riproduzione ripetuta) .. 49

Altre funzioni

Modifica delle impostazioni e della qualità del suono 51
Impostazione delle voci per qualità del suono e schermate 52
Personalizzazione della qualità del suono (Equal. a 6 bande – Personalizzazione) 55
Regolazione di alti e bassi (Digital Sound Preset) 56
Collegamento di altre periferiche 58
Memorizzazione di dati diversi da file audio 59
Ripristino delle impostazioni di fabbrica 60
Inizializzazione del disco rigido 62
Disinstallazione di SonicStage 64

Risoluzione dei problemi

Risoluzione dei problemi 65
Uso della Guida in linea di SonicStage 73
Messaggi di errore 75

Informazioni supplementari

Caratteristiche tecniche 79
Indice 81

Nota per gli utenti

Per il software in dotazione

- Le leggi sul copyright proibiscono la riproduzione parziale o totale del software o del manuale d'uso o il noleggio del software senza l'autorizzazione del detentore del copyright.
- In nessun caso SONY sarà responsabile per danni finanziari o perdite economiche, inclusi reclami da parte di terzi, risultanti dall'uso del software fornito con questo lettore.
- In caso di problemi di funzionamento del software provocati da difetti di fabbricazione, SONY provvederà alla sostituzione, ma declina qualsiasi altra responsabilità.
- Il software fornito con questo lettore non può essere utilizzato con apparecchiature diverse da quelle per cui è stato progettato.
- Si fa notare che, in relazione all'impegno costante volto al miglioramento della qualità, le specifiche del software sono soggette a modifiche senza preavviso.
- Il funzionamento del lettore con software diverso da quello fornito non è coperto da garanzia.
- La visualizzazione corretta delle lingue di SonicStage dipende dal sistema operativo installato sul computer. Per risultati migliori, verificare che il sistema operativo installato è compatibile con la lingua desiderata che si desidera visualizzare.
  - Non si garantisce che tutte le lingue potranno essere visualizzate correttamente in SonicStage.
  - I caratteri creati dall'utente e altri caratteri speciali potrebbero non essere visualizzati correttamente.
- A seconda del tipo di testo e di caratteri, il testo visualizzato in SonicStage potrebbe non essere visualizzato correttamente sulla periferica. Ciò è dovuto a:
  - Limitazioni del lettore collegato.
  - Funzionamento anomalo del lettore.
- Le spiegazioni contenute in questo manuale presuppongono che si è familiari con l'operazione di base di Windows.

  Per ulteriori informazioni sull'uso del computer e del sistema operativo, fare riferimento agli appositi manuali.

Programma ©2001, 2002, 2003, 2004, 2005 Sony Corporation
Documentazione © 2005 Sony Corporation

Continua ⇩

- SonicStage e SonicStage sono marchi o marchi registrati di Sony Corporation.
- OpenMG, ATRAC, ATRAC3, ATRAC3plus e i rispettivi loghi sono marchi registrati di Sony Corporation.
- Microsoft, Windows, Windows NT e Windows Media sono marchi o marchi registrati di Microsoft Corporation negli Stati Uniti e/o negli altri paesi.
- IBM e PC/AT sono marchi registrati di International Business Machines Corporation.
- Macintosh è un marchio di Apple Computer, Inc. negli Stati Uniti e/o negli altri paesi.
- Pentium è un marchio o un marchio registrato di Intel Corporation.
- Adobe e Adobe Reader sono marchi o marchi registrati di Adobe Systems Incorporated negli Stati Uniti e/o negli altri paesi.
- Brevetti degli Stati Uniti d'America e di altri Paesi concessi su licenza dai Dolby Laboratories.
- Tecnologia di codifica audio MPEG Layer-3 e brevetti su licenza del Fraunhofer IIS e della Thomson.
- Tutti gli altri marchi e marchi registrati appartengono ai rispettivi proprietari.
- In questo manuale non vengono specificati i marchi ™ e ®.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.

  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. Untied States Patent 6,304,523.
  Gracenote is a registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

Grazie per avere acquistato questo prodotto Sony. Nel lettore Network Walkman sono preinstallati alcuni campioni di dati musicali che consentono l'utilizzo immediato del lettore. I campioni dei dati musicali preinstallati servono solo per l'ascolto e non possono essere trasferiti nel computer. Per cancellare questi dati audio, è possibile utilizzare SonicStage3.1.
I campioni dei dati musicali potrebbero non essere installati nel lettore a seconda dell'area geografica.

Precauzioni

Sicurezza

- Non inserire corpi estranei nella presa DC IN del lettore.
- Accertarsi di non provocare un corto circuito dei terminali del lettore con altri oggetti metallici.

Installazione

- Non utilizzare mai l'unità in luoghi troppo esposti alla luce, al caldo o al freddo, all'umidità o soggetti alle vibrazioni.
- Non coprire il lettore quando si utilizza l'alimentatore CA. Un surriscaldamento del lettore potrebbe provocare danni o malfunzionamenti.

Surriscaldamento

Se utilizzato a lungo, è possibile che si verifichi un surriscaldamento del lettore durante la carica.

Continua ⇩

Cuffie

Sicurezza nella circolazione stradale

Non utilizzare le cuffie mentre si guida, si va in bicicletta o su qualsiasi veicolo motorizzato. Tale comportamento potrebbe creare situazioni di pericolo, oltre a essere vietato dalla legge in molti paesi. Anche tenere le cuffie ad alto volume quando si cammina in strada è potenzialmente pericoloso, in particolar modo agli attraversamenti pedonali. Nelle situazioni di potenziale pericolo, prestare estrema attenzione oppure non utilizzare l'apparecchio.

Per evitare lesioni all'udito

Evitare l'uso delle cuffie o degli auricolari a volume elevato. I medici specialisti dell'udito mettono in guardia contro l'ascolto continuo, ad alto volume e per lunghi periodi. Se si avverte un ronzio nelle orecchie, ridurre il volume o spegnere il lettore.

Rispetto per gli altri

Tenere il volume a un livello moderato. Ciò consentirà di avvertire i suoni esterni e mantenere il rispetto per le persone circostanti.

Attenzion

In caso di fulmini durante l'uso del lettore, togliere immediatamente le cuffie.

Continua ⇩

Pulizia dell'unità

- Pulire la superficie del lettore con un panno morbido leggermente inumidito con acqua o con una soluzione neutra detergente.
- Pulire periodicamente lo spinotto della cuffia

Note

- Non utilizzare nessun tipo di panno abrasivo, polvere detergente o solvente, ad esempio alcool o benzene, poiché queste sostanze potrebbero rovinare le rifiniture esterne del lettore.
- Non introdurre acqua nel lettore dalla parte dell'apertura vicino al connettore.

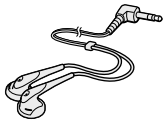
Per domande o problemi relativi al lettore, rivolgersi al rivenditore Sony più vicino.

NOTE

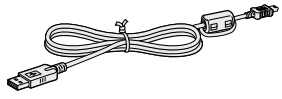
- La copia di brani musicali è consentita esclusivamente per uso privato. L'uso dei brani musicali in altri ambiti richiede l'autorizzazione dei proprietari del copyright.
- Sony non è responsabile di registrazioni/download incompleti o del danneggiamento dei dati dovuto a problemi del lettore o del computer.

Verifica degli accessori in dotazione

• Cuffie (1)



• Cavo USB dedicato (1)



• Alimentatore CA (1)

• Custodia per il trasporto (1)
• CD-ROM (1)*
(Software SonicStage, file PDF con le istruzioni per l'uso)
• Guida rapida (1)

(La batteria ricaricabile è già installata nel lettore).
* Non avviare il CD-ROM su un lettore di CD audio.

Note

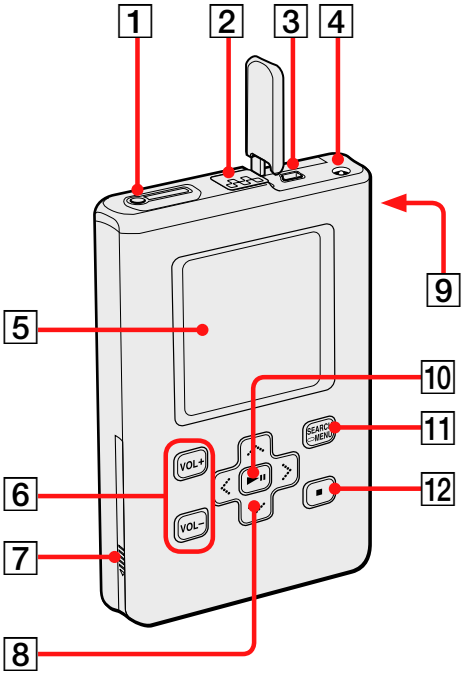
Quando si utilizza l'unità, attenersi alle precauzioni riportate di seguito per evitare di deformarla o causare malfunzionamenti.

– Fare attenzione a non sedersi quando l'unità si trova nella tasca posteriore degli indumenti.



– Se l'unità viene riposta in una borsa con il cavo delle cuffie/auricolari avvolto intorno al dispositivo, fare attenzione a non sottoporre la borsa a urti.

Guida a parti e comandi



1 Presa ∩ (cuffie)/LINE OUT (☞ pagina 29)

2 Interruttore HOLD (☞ pagina 31)

3 Connettore USB (☞ pagina 24)

4 Connettore DC IN (☞ pagina 13, 24)

5 Display del lettore (☞ pagina 32)

6 VOL+*/VOL– (volume) (☞ pagina 30)

7 Coperchio comparto batterie (☞ pagina 13)

8 ⏮/⏭/ ◀◀ / ▶▶ tasti (☞ pagina 29)

9 Foro per la cinghia di trasporto**

10 ▶II tasto (riproduzione/arresto) (☞ pagina 31)

11 tasto SEARCH/MENU (☞ pagina 33)

12 ■ tasto (arresto) (☞ pagina 31)

* Usare il puntino per il riconoscimento al tatto durante l'utilizzo del lettore.

**È possibile fissarvi la propria cinghia per il trasporto.

Informazioni sul numero di serie

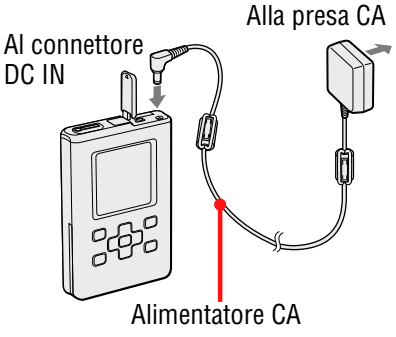
Per eseguire la registrazione, è necessario disporre del numero di serie fornito con questo lettore riportato su un'etichetta situata nella parte posteriore dell'unità. Il numero è ubicato sull'etichetta in fondo al lettore. Non rimuovere l'etichetta.

Preparazione di una sorgente di alimentazione

Caricare la batteria agli ioni di litio ricaricabile prima di utilizzarla per la prima volta o quando è scarica.

Collegare l'alimentatore CA al connettore DC IN.

Collegare prima l'alimentatore CA, quindi collegarlo ad una presa CA.



L'indicatore della batteria sul display visualizza "Carica in corso" e la carica della batteria viene avviata.
La carica viene completata in circa 3 ore* e quindi la scritta "Carica completata" e il simbolo si accendono.
Verrà caricato circa l'80 % della batteria entro quasi 1 ora e mezza*.

* Tempo di carica approssimativo di una di una batteria completamente scarica a temperatura ambiente. Il tempo di carica varia a seconda della carica residua e delle condizioni della batteria. Se la batteria viene caricata in un ambiente freddo, il tempo di carica aumenta.

Caricare la batteria utilizzando un collegamento USB

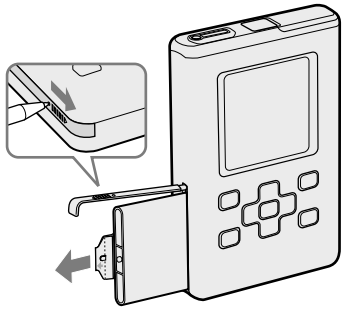
Accendere il computer e collegare il cavo USB al computer (☞ pagina 24). L'indicatore della batteria sul display cambia e la carica della batteria viene avviata. Per caricare la batteria sono necessarie circa 6 ore*. Quando il lettore è collegato all'alimentatore CA, l'alimentazione viene fornita da quest'ultimo. Tuttavia, il tempo di ricarica potrebbe essere maggiore.
Se il computer passa alla modalità di sospensione, stand-by o ibernazione quando il lettore viene collegato al computer con il cavo USB, senza un alimentatore CA, la batteria si scarica senza che venga caricata.

* Se la batteria si usura, il tempo necessario per la ricarica potrebbe essere maggiore. L'indicazione relativa alla ricarica della batteria appare sulla schermata solo se il lettore viene utilizzato durante la ricarica. Se l'indicazione relativa alla ricarica della batteria non appare, caricare la batteria con l'alimentatore CA.

Continua ⇩

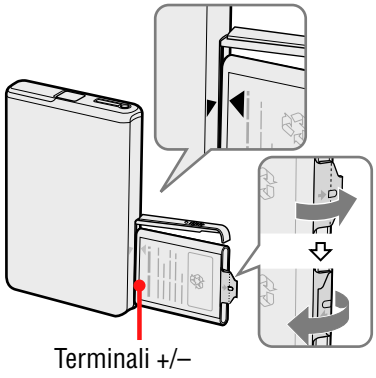
Rimozione della batteria

Inserire un oggetto sottile e appuntito, quale la punta di una matita meccanica, nel coperchio del comparto batterie e fare scorrere il coperchio nella direzione del simbolo "▷" per aprirlo. Quindi, per rimuovere la batteria, estrarre la linguetta ubicata sulla batteria nella direzione della freccia.
L'alimentazione non si accende se la batteria viene rimossa dal lettore, anche quando il lettore viene collegato ad un alimentatore CA.



Inserimento della batteria

Aprire il coperchio del comparto batterie e inserire la batteria facendo corrispondere il simbolo "▶ posizionato sul lato del lettore con il simbolo analogo della batteria. Chiudere il coperchio dopo che la linguetta è stata ripiegata nel comparto batterie.



Note

- Quando la batteria viene caricata utilizzando un collegamento USB e l'alimentazione del computer non è sufficiente, il tempo di carica aumenta.
- Quando la batteria viene caricata utilizzando un collegamento USB, la carica viene interrotta a seconda dell'ambiente di sistema.
- Se il lettore è collegato al computer da molto tempo durante la carica, è possibile che la carica venga interrotta per impedire che il lettore si surriscaldi. Rimuovere il cavo USB dal lettore e attendere prima di avviare una nuova carica.
- Se il lettore non viene utilizzato per oltre tre mesi, rimuovere la batteria dal lettore.
- Caricare la batteria a una temperatura compresa tra 5 e 35ºC.

Continua ⇩

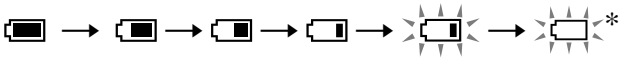
Note sull’alimentatore CA



- Utilizzare solo l’alimentatore CA in dotazione. Non utilizzare nessun altro alimentatore CA perché potrebbe causare malfunzionamenti del registratore.
- Il lettore non viene scollegato dalla sorgente di alimentazione CA (rete elettrica) fino a quando rimane collegato alla presa a muro, anche nel caso in cui il lettore stesso venga spento.
- Se si prevede di non utilizzare il lettore per un periodo di tempo prolungato, assicurarsi di scollegare l’alimentazione. Per rimuovere l’alimentatore CA dalla presa a muro, afferrare la spina, evitando di tirare il cavo.

Controllo della carica residua della batteria

La carica residua della batteria viene indicata sul display nel modo illustrato di seguito. La riduzione della sezione scura dell’indicatore segnala la diminuzione progressiva della carica residua.



* “BATTERIA SCARICA” viene visualizzato sul display e viene emesso un segnale acustico.

Quando la carica è esaurita, caricare nuovamente la batteria.

Note

- Sul display viene visualizzata la carica residua approssimativa. Ad esempio, una sezione non indica necessariamente un quarto di carica della batteria.
- A seconda delle condizioni e dell’ambiente operativo, l’indicazione sul display può aumentare o diminuire in base alla carica residua effettiva.
- L’alimentazione non si accende se la batteria viene rimossa dal lettore, anche quando il lettore viene collegato ad un alimentatore CA.

Durata della batteria (uso prolungato)

La durata della batteria in modalità di riproduzione per ATRAC3plus a 48 kbps è di 40 ore circa. La durata della batteria in modalità di riproduzione per MP3 a 128 kbps è di 30 ore circa.
La durata varia a seconda della modalità d’uso del lettore.

Installazione di SonicStage sul computer

Installare SonicStage sul computer utilizzando il CD-ROM in dotazione.

Preparazione del sistema richiesto

È necessario disporre dell'ambiente di sistema indicato di seguito.

Computer	IBM PC/AT o compatibile
	• Processore: Pentium III 450 MHz o superiore • Spazio disponibile su disco rigido: almeno 200 MB (sono consigliati almeno 1,5 GB) (la quantità di spazio richiesta varia a seconda della versione di Windows in uso e del numero di file musicali memorizzati sul disco rigido) • RAM: almeno 128 MB
	Altri • Unità CD (con riproduzione digitale da WDM) (un'unità CD-R/RW è necessaria per la scrittura sui CD.) • Scheda audio • Porta USB
Sistema operativo	Installato in fabbrica: Windows XP Media Center Edition 2005/ Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/ Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/ Windows 2000 Professional (Service Pack 3 o superiore) /Windows Millennium Edition/Windows 98 Seconda Edizione
Visualizza	65,000 colori (16 bit) o superiore, risoluzione 800 × 600 punti o superiore (consigliata 1024 × 768 punti o superiore)
Altri	• Accesso Internet: per la registrazione Web, i servizi EMD e CDDB • Windows Media Player (versione 7.0 o superiore) per la riproduzione dei file WMA

Continua ⇩

Note

- SonicStage non è supportato negli ambienti elencati di seguito:
  - Sistemi operativi diversi da quelli indicati alla pagina 16.
  - PC o sistemi operativi autocostruiti
  - Ambienti che sono il risultato di un aggiornamento del sistema operativo originale
  - Ambienti con avvio multiplo
  - Ambienti con più monitor
  - Macintosh
- Il funzionamento senza problemi su tutti i computer che soddisfano i requisiti di sistema non è garantito.
- Il formato NTFS di Windows XP/Windows 2000 Professional può essere utilizzato solo con le impostazioni standard (di fabbrica).
- Il funzionamento senza problemi delle funzioni di stand-by o sospensione del sistema non è garantito su tutti i computer.

Installazione di SonicStage

Prima di installare il software SonicStage, eseguire le verifiche elencate di seguito.

- Accertarsi di chiudere tutti gli altri programmi, e eventuali programmi antivirus.
- Accertarsi di installare SonicStage, utilizzando il CD-ROM in dotazione.
  - Se OpenMG Jukebox o SonicStage è già installato, il software esistente viene sovrascritto dalla nuova versione e le relative funzionalità.
  - Se SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner o MD Simple Burner è già installato, il software esistente coesisterà con SonicStage.
  - Sarà ancora possibile usare i dati audio registrati con il software esistente. Per precauzione, si consiglia di eseguire il backup dei dati audio. Per eseguire il backup dei dati, vedere “Backup della Raccolta personale” nella Guida in linea di SonicStage.

    Il metodo per gestire i dati musicali differisce parzialmente dai metodi convenzionali. Per ulteriori informazioni, consultare “Per gli utenti delle versioni precedenti di SonicStage” nella Guida in linea di SonicStage.
- Se il lettore è collegato al computer tramite il cavo USB, scollegare il cavo USB e quindi installare il CD-ROM fornito del computer.

Continua ⇩

1 Chiudere tutti gli altri programmi.

Prima di procedere con l'installazione, controllare quanto segue per verificare se uno dei fattori seguenti potrebbe pregiudicare il processo di installazione.

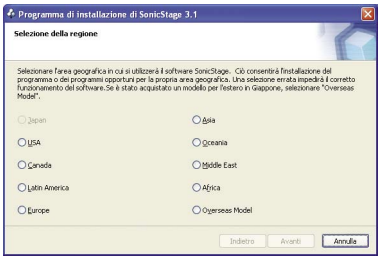
- Non si è connessi come "Amministratore" (se il sistema operativo in uso è Windows 2000/Windows XP).
- Un programma antivirus è in esecuzione. (Questo tipo di programma normalmente utilizza molte risorse di sistema.)

2 Inserire il CD-ROM in dotazione nell'unità apposita del computer.

Il programma di installazione si avvia automaticamente e viene visualizzata la finestra di installazione.

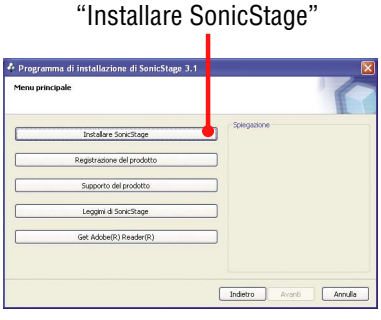
3 Quando appare la finestra a destra, fare clic sull'area geografica in cui si utilizza il software SonicStage.

Se non appare alcuna finestra, procedere al passaggio 4.



4 Fare clic su "Installare SonicStage," e quindi seguire le istruzioni visualizzate.

Leggere attentamente le istruzioni. A seconda dell'area geografica, i pulsanti, eccetto "Installare SonicStage", possono differire da quelli riportati nell'immagine a destra.

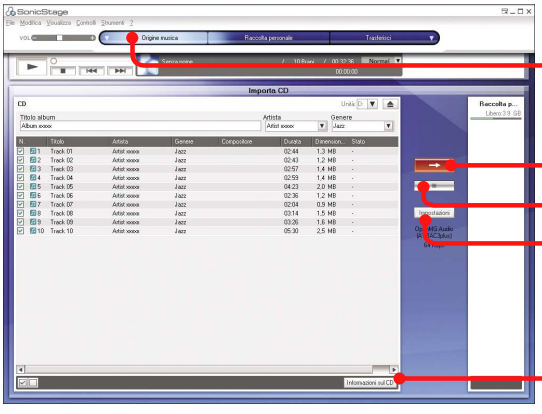


L'installazione potrebbe richiedere da 20 a 30 minuti, in base all'ambiente di sistema. Accertarsi di riavviare il computer solo al termine dell'installazione.

Per eventuali problemi durante l'installazione, vedere "Risoluzione dei problemi" (☞ pagina 68).

Importazione dei dati audio nel computer

È possibile registrare e memorizzare brani (dati audio) da un CD audio nella “Raccolta personale” di SonicStage “Raccolta personale” sul disco rigido del computer.
Collegarsi prima a Internet per ottenere automaticamente le informazioni sul CD (nome dell’artista, titoli dei brani, ecc.).
È possibile registrare o importare brani (file MP3) da altre sorgenti, ad esempio da Internet o dal disco rigido del computer.
Per ulteriori informazioni, fare riferimento alla Guida in linea di SonicStage, (☞ pagina 73).

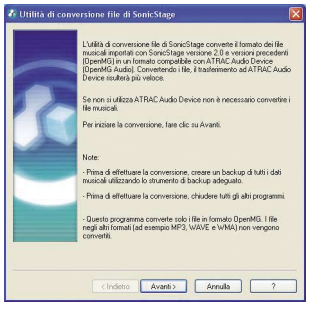


1 Fare doppio clic su SonicStage (SonicStage) sul desktop del computer. Oppure, selezionare “Start” – “Tutti i programmi”* – “SonicStage” – “SonicStage.”

SonicStage viene avviato.
Se si utilizza una versione precedente di SonicStage, viene visualizzata la finestra “Utilità di conversione file di SonicStage”** quando il programma viene avviato per la prima volta dopo l’installazione. Seguire le istruzioni visualizzate nella finestra.

* “Programmi” se si utilizza Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Seconda Edizione

** Questo strumento consente di convertire i file audio importati sul computer con SonicStage2.0 o versioni precedenti nel formato dati migliore (OpenMG) per il lettore, in modo da trasferire i dati audio a una velocità elevata.



Continua ⇩

2 Inserire il CD audio che si desidera registrare nell'unità apposita del computer.

3 Puntare il mouse su ▼ di "▼ Origine musica," e selezionare "Importa CD" dal menu.

Il contenuto del CD audio viene visualizzato nell'elenco Origine musica.
Se non è possibile ottenere automaticamente le informazioni sul CD, quali il nome dell'album, il nome dell'artista e i titoli dei brani, collegare il computer a Internet e fare clic su "Informazioni sul CD" nella parte destra della finestra.

4 Fare clic su →.

La registrazione dei brani selezionati viene avviata.
Se non si desidera registrare alcuni brani, fare clic sul numero del brano da deselezionare ☑ nella finestra di SonicStage prima di fare clic su →.

Per cambiare il formato e la velocità bit (☞ pagina 21) per la registrazione del CD audio

Fare clic su "Impostazioni" nella parte destra della finestra di SonicStage per visualizzare la finestra di dialogo "Formato di importazione CD [Raccolta personale]" prima di fare clic su → nel passaggio 4.
L'impostazione predefinita è audio OpenMG (ATRAC3plus) per il formato e 64 kbps per la velocità in bit.

Per interrompere la registrazione

Fare clic su ▬ nella finestra di SonicStage.

Nota

Con SonicStage è possibile utilizzare solo CD audio con il simbolo COMPACT DISC DIGITAL AUDIO. Se si utilizzano CD protetti da copia, il funzionamento normale non viene garantito.

Continua ⇩

Che cosa sono le Informazioni sul CD?

Le informazioni del CD si riferiscono alle informazioni sui CD audio, quali il nome dell'album, il nome dell'artista, i titoli del brano, ecc. Con SonicStage, è possibile ottenere gratuitamente e automaticamente le informazioni sul CD dal servizio Gracenote CDDB (Gracenote Compact Disc DataBase) attraverso Internet quando il CD audio viene inserito nell'unità apposita del computer.
Notare che non è possibile ottenere informazioni su CD non registrati con il servizio CDDB.

Che cos'è ATRAC3/ATRAC3plus?

ATRAC3 (Adaptive Transform Acoustic Coding3) è una tecnologia di compressione audio in grado di offrire suono di altissima qualità e un fattore di compressione molto elevato. La tecnologia ATRAC3plus è una versione più avanzata della tecnologia ATRAC3 e può comprimere i file audio fino a 1/20 della dimensione originale a 64 kbps.

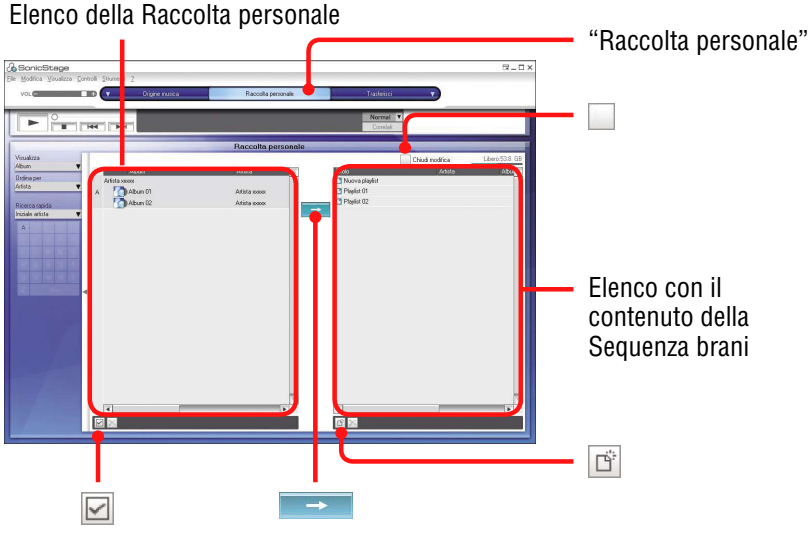
Che cos'è ilformato e lavelocità bit?

Il formato si riferisce al formato di registrazione, quale il formato WAV o ATRAC3plus.
La velocità bit si riferisce alla quantità di dati elaborati al secondo. Maggiore è la velocità bit, migliore è la qualità del suono. Tuttavia, una velocità bit maggiore richiede più capacità per la memorizzazione dei dati. L'impostazione predefinita è audio OpenMG (ATRAC3plus) per il formato e 64 kbps per la velocità in bit.
Per modificare il formato e la velocità bit, fare clic su "Impostazioni" nella parte destra della finestra di SonicStage.

Gestione dei brani con SonicStage

I brani possono essere gestiti o modificati nella schermata “Raccolta personale” di SonicStage.
Per creare le sequenze brani e gestirle sotto forma di album, è anche possibile raggruppare i brani o i brani preferiti per nome.
Per ulteriori informazioni su SonicStage, fare riferimento alla Guida in linea di SonicStage (☞ pagina 73).

Schermata Raccolta personale



Modifica di una sequenza brani

Una sequenza brani consente di raggruppare e riprodurre i brani o i brani preferiti elencati per nome, quale un filmato, ecc.

1 Fare clic su “Raccolta personale.”
Viene visualizzata la schermata Raccolta personale.

2 Fare clic su ☐ (Crea/Modifica seq. brani.)
La finestra principale passa alla schermata Crea/Modifica seq. brani.

3 Selezionare uno o più brani dall’elenco con il contenuto a sinistra.
Per selezionare più brani, fare clic sui brani tenendo premuto il tasto “Ctrl”.
Per selezionare tutti i brani nell’elenco con il contenuto, fare clic su ☑ (Seleziona tutto).

Continua ⇩

4 Selezionare la sequenza brani da aggiungere dall'elenco a destra.

Per aggiungere il brano ad una nuova sequenza brani, fare clic su (Nuova playlist).
Una sequenza brani vuota viene creata e visualizzata nell'elenco con il contenuto della sequenza brani. Quindi, sarà possibile inserire il nome della sequenza brani.

5 Fare clic su →.

I brani selezionati vengono aggiunti all'elenco con il contenuto della sequenza brani a destra.

6 Una volta completata l'aggiunta di tutti brani desiderati, fare clic su (Chiudi modifica).

Si ritorna alla schermata Raccolta personale.

Aggiunta di un brano con il trascinamento della selezione

È possibile aggiungere un brano trascinandolo dall'elenco a sinistra della raccolta personale nell'elenco con il contenuto della sequenza brani a destra. In questo caso, il brano viene aggiunto all'elenco nella posizione in cui è stato rilasciato.

Per controllare i dati informazioni dettagliate sugli album o sui brani

Fare clic con il tasto destro del mouse sull'album o sul brano che si desidera spuntare per ottenere informazioni dettagliate sulla finestra SonicStage, quindi selezionare "Proprietà" dal menu.
Viene visualizzata la finestra "Proprietà album" o la finestra "Proprietà brano". È possibile verificare e modificare le informazioni nella finestra. Il contenuto modificato nella finestra "Properties" verrà applicato alla schermata Raccolta personale.

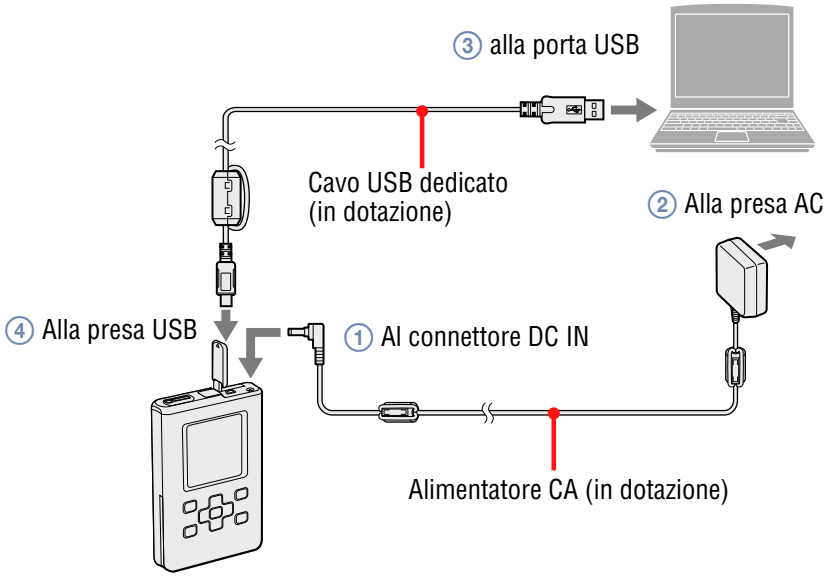
Trasferimento dei dati audio nel lettore

Trasferire i brani (dati audio) memorizzati nella “Raccolta personale” di SonicStage sul computer al lettore nel formato ATRAC3plus/MP3. Nelle informazioni sul CD dei dati audio da trasferire sono incluse informazioni quali il nome dell’artista e il nome dell’album.



1 Collegare il lettore al computer e l’adattatore della corrente alternata nel seguente ordine da ① a ④.

“Collegamento al” viene visualizzato sul display.
La schermata di impostazione del trasferimento automatico viene visualizzata nella finestra di SonicStage. Seguire le istruzioni visualizzate nella finestra. Per ulteriori informazioni, consultare la Guida in linea di SonicStage (☞ pagina 73).



Continua ⇩

2 Puntare il mouse su ▼ di "Trasferisci ▼," e selezionare "ATRAC Audio Device" nell'elenco.

La schermata passa alla finestra nella quale i brani vengono trasferiti da SonicStage al lettore.

3 Fare clic sull'album che si desidera trasferire dall'elenco della Raccolta personale a sinistra della finestra SonicStage.

Per trasferire solo i brani selezionati, fare clic su tali brani. Per trasferire più brani o più album, fare clic sui brani o sugli album tenendo premuto il tasto "Ctrl".
È anche possibile trasferire le sequenze brani nel lettore (fino a 8.187 sequenze brani e 999 brani per sequenza brani).
Se si cerca di trasferire una sequenza brani che contiene già un brano trasferito nel lettore, vengono trasferiti solo i dati della sequenza brani relativi a tale brano.

4 Fare clic su →.

Il trasferimento dei brani selezionati viene avviato.
È possibile verificare lo stato del trasferimento nella finestra di SonicStage.

Per interrompere il trasferimento

Fare clic su nella finestra di SonicStage.

Note

- In caso di trasferimento dei dati audio, non utilizzare il lettore su superfici soggette a virbrazioni. Inoltre, non collocare il lettore in prossimità di oggetti magnetici.
- Non scollegare il cavo USB o rimuovere la batteria dal lettore durante il trasferimento dei dati. In tal caso, i dati in fase di trasferimento potrebbero andare persi.
- Il funzionamento del lettore con un hub USB o una prolunga USB non è garantito. Collegare sempre il lettore direttamente al computer utilizzando il cavo USB in dotazione.
- Alcune periferiche USB collegate al computer possono interferire con il funzionamento corretto del lettore.
- Quando il lettore è collegato al computer, tutti i tasti di controllo vengono disabilitati. Se durante la riproduzione il lettore viene collegato al computer, il lettore si arresta e viene visualizzato "Collegamento al" sul display del lettore.

Continua ⇩

- Se lo spazio per il trasferimento dei dati al lettore non è sufficiente, il trasferimento non viene completato correttamente.
- È possibile che il numero di trasferimenti di un brano sia limitato per motivi di copyright.
- Non è possibile trasferire i brani con un tempo o un numero di riproduzioni limitato a causa delle restrizioni imposte dai proprietari del copyright.
- Durante il trasferimento, le funzioni di stand-by o sospensione del sistema non sono operative.
- A seconda del tipo di testo e del numero di caratteri, il testo inserito da SonicStage potrebbe non essere visualizzato sul lettore. Ciò dipende da alcune limitazioni del lettore.
- Il lettore potrebbe surriscaldarsi dopo il trasferimento di molti dati oppure se viene collegato per lungo tempo a un computer acceso. Tuttavia, ciò non è indice di un malfunzionamento. Scollegare l'alimentatore CA e il cavo USB dedicato dal lettore e non utilizzarlo per alcune ore.

  Se il lato surriscaldato del lettore tocca a lungo una parte analoga del proprio corpo, nonostante il lettore si trovi a una temperatura relativamente bassa, è possibile subire una scottatura a bassa temperatura. Non appoggiare il lettore contro la pelle per un lungo periodo di tempo, soprattutto se si ha una pelle delicata.
- Se lo spazio sul disco rigido del lettore non è sufficiente, potrebbe essere visualizzato "NESSUN DATABASE TROVATO", anche nel caso in cui il trasferimento dei dati audio è stato completato con successo. In questo caso, collegare di nuovo il lettore al computer e quindi trasferire i dati audio non necessari nel computer per liberare spazio nel lettore.

Trasferimento di dati audio al computer

È possibile trasferire i dati audio di nuovo alla “Raccolta personale” di SonicStage sul computer.



1 Collegare il lettore al computer (vedere il passaggio 1 in “Trasferimento dei dati audio nel lettore,” ☞ pagina 24).

2 Puntare il mouse su ▼ di “Transferisci ▼,” e selezionare “ATRAC Audio Device” nell’elenco.

La schermata passa alla finestra nella quale i brani vengono trasferiti dal lettore a SonicStage.

3 Fare clic sull’album che si desidera trasferire nell’elenco della Raccolta personale a destra della finestra SonicStage.

Per trasferire solo i brani selezionati, fare clic su tali brani.
Per trasferire più brani o più album, fare clic sui brani o sugli album e tenere premuto il tasto “Ctrl”.

4 Fare clic su ← .

Il trasferimento dell’album selezionato viene avviato.
È possibile verificare lo stato del trasferimento nella finestra di SonicStage.

Continua ⇩

Per interrompere il trasferimento

Fare clic su  nella finestra di SonicStage.

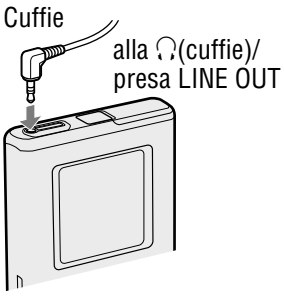
Note

- Non è possibile trasferire alla Raccolta personale sul computer i brani già trasferiti al lettore da un altro computer.
- Non scollegare il cavo USB o rimuovere la batteria dal lettore durante il trasferimento dei dati. In tal caso, i dati in fase di trasferimento potrebbero andare persi.

Riproduzione

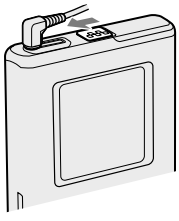
Usare SonicStage per riprodurre i brani trasferiti nel lettore (☞ pagina 19).
È anche possibile modificare la lingua del menu e dei messaggi sul display (☞ pagina 54).

1 Collegare le cuffie alla presa ∩(cuffie)/ LINE OUT del lettore.



2 Per sbloccare i comandi, fare scorrere l'interruttore HOLD nella direzione della freccia mostrata nell'immagine.

Tutti i tasti sono sbloccati.



3 Premere qualsiasi tasto, eccetto il tasto ►II del lettore.

Viene visualizzata la schermata MENU.



4 Premere ^/v per selezionare "Trova," e quindi premere ►II.

Viene visualizzata la schermata Trova.



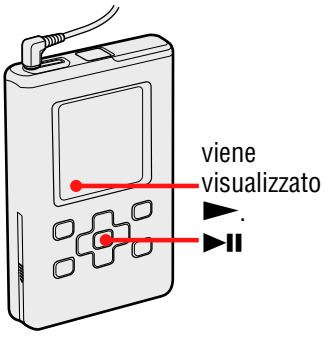
5 Premere ^/v per selezionare il modo di ricerca.

Per ricercare i brani successivi, premere >.

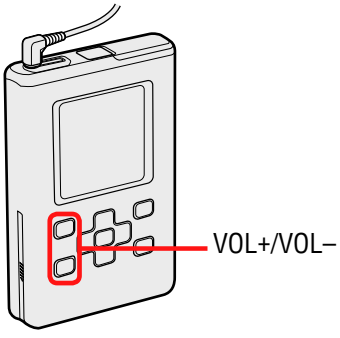
Continua ⇩

6 Premere ►II.

► (riproduzione) viene visualizzato nella parte inferiore sinistra del display e la riproduzione viene avviata.
Per mettere in pausa, premere di nuovo ►II.



7 Premere VOL+/VOL− per regolare il volume.



Quale tipo di dati audio è possibile riprodurre?

Questo lettore è in grado di riprodurre dati audio compressi nei formati ATRAC3plus/MP3.
I formati dei file MP3 riproducibili sono i seguenti:

– MPEG-1 Audio Layer-3
– Velocità bit da 32 a 320 kbps (CBR/VBR)
– Frequenze di campionamento 32/44,1/48 kHz

Note

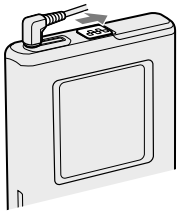
- È comunque possibile trasferire nel lettore i file in formato MP3 non riproducibili dal lettore stesso.
- Quando si tenta di riprodurre un brano audio MP3 non riproducibile su questo lettore, la riproduzione si arresta. Premere ⁝› per selezionare altri brani.
- Quando si utilizza la batteria agli ioni di litio ricaricabile, se il lettore non viene utilizzato per circa 30 secondi nella modalità di arresto, il display si spegne automaticamente. Quando si scorrono i titoli dei brani, il display si spegne circa 30 secondi dopo aver terminato lo scorrimento.
- Se la riproduzione non si avvia, accertarsi che l'interruttore HOLD sia impostato su disattivato (☞ 31).

Continua ⇩

Blocco dei comandi (HOLD)

È possibile evitare la pressione accidentale dei tasti durante il funzionamento del lettore bloccando i comandi. Se si preme un tasto qualsiasi quando la funzione HOLD è attivata, “HOLD” lampeggia sul display.

Per sbloccare i comandi, fare scorrere l’interruttore HOLD nella direzione della freccia mostrata nell’immagine.



Per sbloccare i comandi

Fare scorrere l’interruttore HOLD nella direzione opposta a quella della freccia mostrata nell’immagine in alto.

Funzioni di riproduzione di base (Riproduzione, arresto, ricerca)

Azione	Operazione
Riavviare la riproduzione dal punto di arresto	Premere ▶II. La riproduzione viene avviata dal punto in cui è stata interrotta.
Interrompere la riproduzione	Premere ■.
Trovare l’inizio del brano in ascolto	Premere ⏮ una volta.
Trovare l’inizio dei brani precedenti*	Premere ripetutamente ⏮.
Trovare l’inizio del brano successivo*	Premere ⏭ una volta.
Trovare l’inizio dei brani successivi*	Premere ripetutamente ⏭.
Riavvolgimento rapido	Tenere premuto ⏮.
Avanzamento rapido	Tenere premuto ⏭.

* Quando viene selezionata la riproduzione Brani casuali o la riproduzione Elementi casuali (☞ pagina 47), l’ordine di riproduzione è diverso.

Per spegnere il lettore

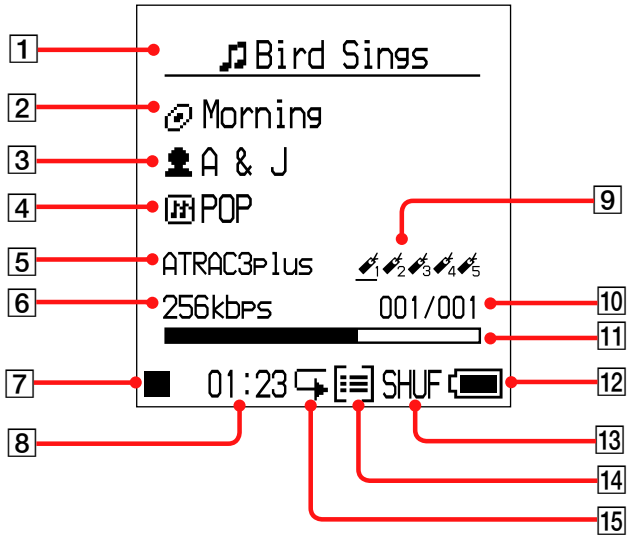
Tenere premuto ■ fino quando il display si spegne.
Per accendere di nuovo il lettore, premere un tasto qualsiasi.

Continua ⇩

Verifica delle informazioni sul display

È possibile controllare i dati audio e lo stato della riproduzione sul display del lettore.

Display del lettore durante la riproduzione



1 Titolo del brano
2 Titolo dell'album
3 Nome dell'artista
4 Genere
5 ATRAC3/ATRAC3plus/MP3 (☞ pagina 21)
6 Velocità bit* (☞ pagina 21)
7 Stato della riproduzione
►: Riproduzione
■: Arresto
►►: avanzamento veloce
◄◄: riavvolgimento veloce
I◄◄/►►I: Individuazione dell'inizio del brano
8 Tempo di riproduzione trascorso
9 Segnalibri (☞ pagina 39)
10 Numero del brano
11 Barra di avanzamento della riproduzione
12 Carica residua della batteria (☞ pagina 15)
13 Modo di riproduzione (☞ pagina 45), Indicatore del suono (durante la regolazione del volume, ☞ pagina 52)
14 Unità indicatore (☞ pagina 48)
15 Ripetizione (☞ pagina 49)

* In caso di riproduzione di un brano MP3 che supporta VBR (Variable Bit Rate), la velocità bit qui riportata non corrisponderà a quella visualizzata dal software SonicStage.

Nota

È possibile visualizzare caratteri da A a Z, da a a z, le cifre da 0 a 9 e i simboli (eccetto /).

Selezione dei brani per la riproduzione (Artista, Album, Genere, ecc.)

Se i brani nel lettore vengono cercati per "Artista" o "Album," ecc., è possibile selezionare i brani che si desidera ascoltare.
Per ulteriori informazioni sulle schermate, vedere "Struttura cartella della schermata Trova" (☞ pagina 35).

1 Premere SEARCH/MENU.
Viene visualizzata la schermata Trova.



2 Premere ↷/↶ per selezionare il modo di ricerca.
La riproduzione viene avviata se si preme ▶II in qualsiasi modo diverso da "Sequenza brani" o "Ricerca iniziali".
Per esempio, se si seleziona "Artista," la riproduzione viene avviata dal primo brano del primo album dell'artista selezionato.
Tutti gli album di tutti gli artisti elencati dopo l'artista selezionato vengono riprodotti in base all'ordine del numero di brano.

3 Per cercare più brani, premere ⁄.

4 Premere ↷/↶ per selezionare una voce da riprodurre, e quindi premere ▶II.
La riproduzione viene avviata a partire dal brano selezionato o dal primo brano della voce (artista, album, ecc.) selezionata. Tutti i brani elencati dopo le voci selezionate vengono riprodotti in base all'ordine del numero di brano.

Continua ⇩

Per tornare alla schermata Trova

Premere SEARCH/⬬MENU.

Per tornare alla schermata MENU

Tenere premuto SEARCH/⬬MENU.
Per tornare alla schermata di riproduzione, selezionare “Schermo riproduzione” nel display MENU, e quindi premere ►II.

Per tornare all’elenco dei brani

Premere ^/v.

Per arrestare la riproduzione nella schermata Trova

Premere ■.

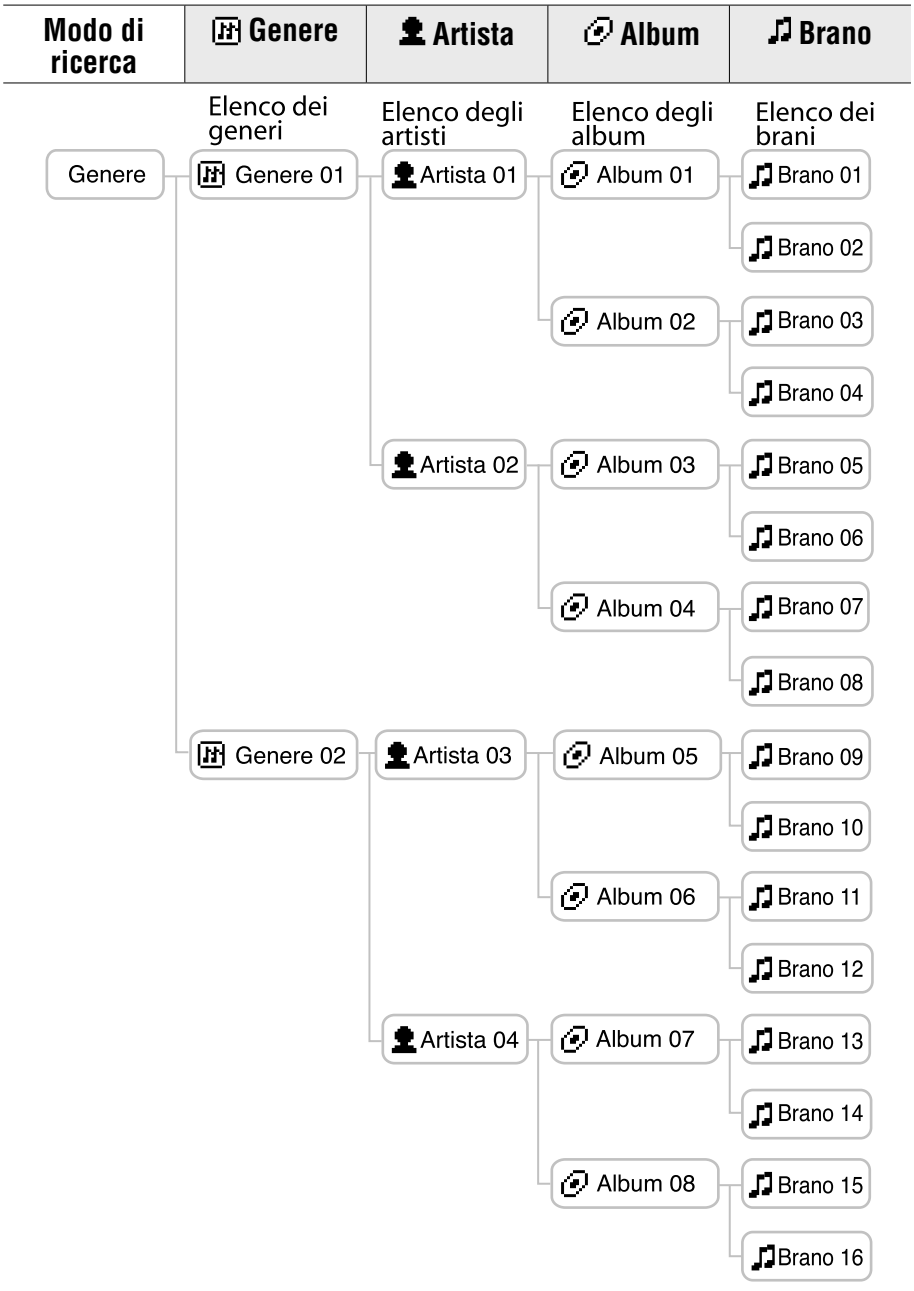
Per scorrere più voci alla volta

Nella schermata Trova, premere velocemente per due volte ^ o v, e quindi mantenere premuto per alcuni secondi.
Sarà possibile scorrere verso l’alto più voci alla volta di tutte le voci elencate nella schermata.
Se si tiene premuto ^ o v per alcuni secondi, sarà possibile scorrere verso l’alto le voci ad una velocità superiore.

Continua ⇩

Struttura cartella della schermata Trova

La schermata Trova contiene le seguenti modalità di ricerca, – “Artista,”– “Album,”–“Genere,”– “Brano,” –“Nuovi brani,” – “Ricerca iniziali” e “Sequenza brani.” La struttura del Genere, Artista, Album e Brano è la seguente.
È possibile avviare la riproduzione in una qualsiasi delle schermate Trova di Artista, Album, Brano, Genere e Nuovi brani premendo ▶II.
Per selezionare e riprodurre i brani della schermata Nuovi brani, vedere ☞ pagina 36, in Ricerca iniziali, vedere ☞ pagina 36, in Sequenza brani, vedere ☞ pagina 38.



Continua ⇩

Selezione dei brani da “Nuovi brani”

È possibile selezionare i brani dagli album trasferiti recentemente nel lettore (ultime 5 volte).

1 Selezionare “Nuovi brani” nella schermata Trova (nel passaggio 2, ☞ pagina 33), e quindi premere .

Viene visualizzato l’elenco dei nuovi brani. Di seguito viene visualizzata la struttura dei “Nuovi brani.”



2 Premere / per selezionare una voce da riprodurre, e quindi premere ►II.

La riproduzione viene avviata a partire dal brano selezionato o dal primo brano dell’album selezionato. Tutti i brani elencati dopo le voci selezionate vengono riprodotti in base all’ordine del numero di brano.

Selezione di un brano dalla lettera iniziale del brano (Ricerca iniziali)

È possibile selezionare i brani ricercando la prima lettera del titolo del brano.
Il lettore cerca il titolo del brano nelle informazioni sul CD di SonicStage.

1 Premere SEARCH/MENU.

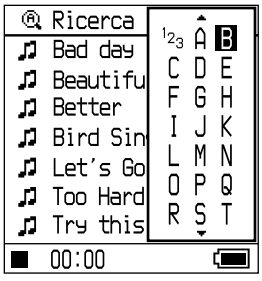
Viene visualizzata la schermata Trova.



Continua ⇩

2 Premere ^/v per selezionare "Ricerca iniziali," e quindi premere ►II.

Viene visualizzato l'elenco contenente i brani e quindi la schermata per la selezione dei caratteri.



3 Premere ^/v/< / > per selezionare l'iniziale del titolo del brano, e quindi premere ►II.

I brani che iniziano con l'iniziale selezionata appaiono nell'elenco. Se non sono presenti brani con l'iniziale selezionata, i brani elencati appaiono dopo l'iniziale.



4 Premere ^/v per selezionare il brano da riprodurre e quindi premere ►II.

La riproduzione viene avviata a partire dal brano selezionato. Tutti i brani elencati dopo i brani selezionati vengono riprodotti in base all'ordine del numero di brano.

Per tornare alla schermata Trova

Premere SEARCH/MENU.

Per tornare alla schermata MENU

Tenere premuto SEARCH/MENU.

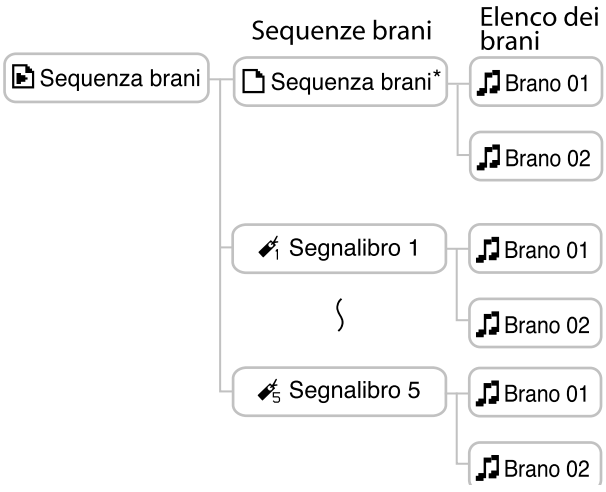
Continua ⇩

Selezione dei brani da “Sequenza brani”

SonicStage consente di selezionare i brani dalle sequenze brani modificate o le tracce registrate nei tipi di segnalibro (Segnalibro 1 a Segnalibro 5) del lettore. Per registrare un brano nel segnalibro, vedere ☞ pagina 39.

1 Selezionare “Sequenza brani” nella schermata Trova (nel passaggio 2, ☞ pagina 33), e quindi premere .

Viene visualizzato l’elenco della sequenza brani. Di seguito viene visualizzata la struttura della sequenza brani.



* Il nome della sequenza brani nell’elenco con il contenuto della sequenza brani appare con il nome creato in SonicStage.

2 Premere / per selezionare una voce da riprodurre, e quindi premere ►II.

Modifica dei Segnalibri nel lettore

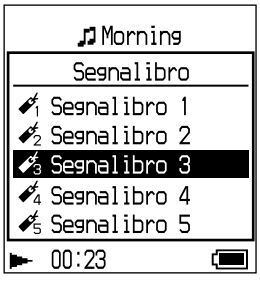
Sono disponibili due tipi di sequenze brani: le sequenze brani di SonicStage e le sequenze brani del lettore. Una sequenza brani del lettore include le sequenze brani create in SonicStage e i tipi di segnalibri creati nel lettore. Per i dettagli sulla struttura della sequenza brani, vedere ☞ alla pagina 38. Le sequenze brani possono essere modificate solo con il dispositivo in cui sono state create. I tipi di segnalibri creati nel lettore non possono essere modificati o visualizzati in SonicStage.

Registrazione di un brano nei segnalibri (Riproduzione di brani con segnalibri)

I brani preferiti possono essere registrati nei segnalibri. Per riprodurre i brani registrati, selezionare "Sequenza brani" nella schermata Trova (☞ pagina 33).

1 Durante la riproduzione del brano che si desidera registrare nel segnalibro, tenere premuto .

Viene visualizzata la schermata Segnalibro.



2 Premere / per selezionare il tipo di segnalibro in cui il brano è registrato, e quindi premere ►II.

Viene visualizzato "Con segnalibro" e il numero dei segnalibri (numero dei brani con segnalibri/numero dei segnalibri disponibili), e quindi l'icona del segnalibro si accende.

3 Se si desidera aggiungere un segnalibro a due o più brani, ripetere i passaggi 1 e 2.

In ogni segnalibro è possibile aggiungere fino a 100 brani.

Continua ⇩

Per riprodurre i brani registrati nei segnalibri

1 Premere SEARCH/MENU.
Viene visualizzata la schermata Trova.
2 Premere ∧/∨ per selezionare "Sequenza brani," e quindi premere ▶II.
3 Premere ∧/∨ per selezionare "Segnalibro," e quindi premere >.
Se qui si preme ▶II invece di premere >, la riproduzione viene avviata dal primo brano del segnalibro selezionato.
4 Premere ∧/∨ per selezionare un brano, quindi premere ▶II.
Una linea appare sotto all'icona del segnalibro nella schermata di riproduzione.

Per rimuovere i segnalibri

Durante la riproduzione del brano da cui si desidera rimuovere il segnalibro, tenere premuto ∨ attenendosi ai passaggi in alto.
Viene visualizzato "Segnalibro cancellato" e l'icona del segnalibro scompare dalla schermata.

Note

- I brani possono essere registrati nel segnalibro solo durante la riproduzione.
- È possibile rimuovere un segnalibro da un brano solo durante la riproduzione del brano e attenendosi ai passaggi in alto.

Riordinamento dell'ordine dei brani in un segnalibro

È possibile riordinare l'ordine dei brani registrati in un tipo di segnalibro.

1 Tenere premuto SEARCH/MENU.
Viene visualizzata la schermata MENU.



Continua ⇩

2 Premere ^/v per selezionare “Modifica segnalibro,” e quindi premere ▶II o >.

Viene visualizzata la schermata Modifica segnalibro.



3 Premere ^/v per selezionare “Sposta,” e quindi premere ▶II o >.

Viene visualizzato l’elenco dei Segnalibri.



4 Premere ^/v per selezionare il segnalibro da modificare, e quindi premere ▶II o >.

Viene visualizzato l’elenco con i brani del tipo di segnalibro selezionato.



5 Premere ^/v per selezionare il brano da spostare e quindi premere ▶II.

Il brano selezionato lampeggia.

6 Premere ^/v per selezionare la destinazione in cui verrà spostato il brano, e quindi premere ▶II.

Il brano selezionato nel passaggio 5 verrà spostato nella posizione selezionata nel passaggio 6.
Per spostare altri brani, ripetere i passaggi 5 e 6.

7 Premere > o ■.

Viene visualizzata la finestra di conferma.



Continua ⇩

8 Aremere ⏮/⏭ per selezionare “Sì,” quindi premere ▶II.

“Modifiche salvate” viene visualizzato sul display del lettore.
Se si seleziona “No,” la modifica della sequenza brani viene annullata e il display ritorna alla schermata Modifica segnalibro.

Cancellazione dei brani con segnalibri

È possibile cancellare i brani registrati nel tipo di segnalibro.

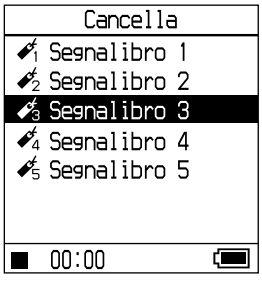
1 Selezionare “Cancella” nel passaggio 3 di “Riordinamento dell’ordine dei brani in un segnalibro” (☞ pagina 40), e quindi premere ▶II o ⏭.

Viene visualizzata la schermata Cancella.



2 Premere 🔉/🔊 per selezionare “♫ Brano” o “🔖 Segnalibro,” e quindi premere ▶II.

Viene visualizzato l’elenco dei Segnalibri.



3 Premere 🔉/🔊 per selezionare il segnalibro, e quindi premere ▶II o ⏭.

Se nelpassaggio 2, viene selezionato “Brano”, verrà visualizzato l’elenco con i brani.
Se nelpassaggio 2 si seleziona “Segnalibro”, procedere al passaggio 6.



Continua ⇩

4 Premere ^/v per selezionare un brano da cancellare, e quindi premere ►II.

Il brano selezionato viene rimosso dall'elenco.
Ripetere questo passaggio per rimuovere più brani da un segnalibro.

5 Premere > o ■.

Viene visualizzata la finestra di conferma.



6 Premere < / > per selezionare "Sì," e quindi premere ►II.

Sul display viene visualizzato "Modifiche salvate" e il display ritorna alla schermata Modifica segnalibro.

Se è stato selezionato "✓ Segnalibro" nel passaggio 2

"Cancellare tutti i brani con segnalibri?" appare sul display.
Selezionare "Sì."
Se si seleziona "No," la modifica dei segnalibri viene annullata e il display ritorna alla schermata Modifica segnalibro.

Per scorrere più voci alla volta

Premere velocemente per due volte ^ o v nella schermata "Riordinamento dell'ordine dei brani in un segnalibro" (☞ pagina 40) di un elenco contenente brani o in "Cancellazione dei brani con segnalibri" (☞ pagina 42), e quindi tenere premuto per alcuni secondi.
Sarà possibile scorrere verso l'alto più voci alla volta di tutte le voci elencate nella schermata.
Se si tiene premuto ^ o v per alcuni secondi, sarà possibile scorrere verso l'alto le voci ad una velocità superiore.

Nota

Durante la riproduzione o la pausa di brani registrati nei segnalibri, non è possibile modificare questi utlimi.

Continua ⇩

Modifica di un’ icona del segnalibro

È possibile selezionare l’icona del segnalibro per farla apparire nei brani con segnalibri. Per ogni segnalibro, è preferibile utilizzare un’icona diversa del segnalibro (Segnalibri da 1 a 5).

1 Selezionare “Seleziona icona” nel passaggio 3 di “Riordinamento dell’ordine dei brani in un segnalibro” (☞ pagina 40), e quindi premere ►II o .

Viene visualizzata la schermata Seleziona icona.



2 Premere / per selezionare il tipo di segnalibro di cui si desidera modificare l’icona, e quindi premere ►II.

Viene visualizzata la schermata Seleziona icona.



3 Premere / / / per selezionare l’icona, e quindi premere ►II.

L’icona selezionata appare insieme al brano con il segnalibro.

Modifica delle opzioni di riproduzione (Modo riproduzione)

È possibile utilizzare varie opzioni di riproduzione (Modo riproduzione), quali la selezione dei brani da ascoltare e la riproduzione dei brani in ordine casuale.
Per i dettagli sulle opzioni e sull'intervallo di riproduzione, vedere "Opzioni di riproduzione" (☞ pagina 47).
È anche possibile riprodurre i brani in ordine casuale (☞ pagina 47, 49) o ripetere i brani con le opzioni di riproduzione selezionate (riproduzione ripetuta, ☞ pagina 49).

1 enere premuto SEARCH/−MENU.
Viene visualizzata la schermata MENU.



2 Premere ^/v per selezionare "Opzioni," e quindi premere ►II.
Viene visualizzata la schermata Opzioni.



3 Premere ^/v per selezionare "Modo riproduzione," e quindi premere ►II.
Viene visualizzato l'elenco Modo riproduzione.



Continua ⇩

4 Premere ^/v per selezionare un'opzione di riproduzione, e quindi premere ►II.

L'impostazione predefinita è "Riproduz. normale" (riproduzione normale).

5 Premere SEARCH/–MENU per visualizzare la schermata Trova, e quindi selezionare la categoria di ricerca per la riproduzione (☞ pagina 33).

Per restringere la categoria di ricerca per la riproduzione, premere >.

6 Premere ►II.

La riproduzione viene avviata con l'opzione di riproduzione selezionata.

Per annullare l'impostazione

Premere ■ per tornare alla schermata Opzioni.

Per tornare alla riproduzione normale

Nel passaggio 4, selezionare "Riproduz. normale."

Per tornare alla schermata MENU

Tenere premuto SEARCH/–MENU.

Continua ⇩

Opzioni di riproduzione (Modo riproduzione)

Display/icona del lettore	Spiegazione
Riproduz. normale/ nessuna icona (Riproduzione normale)	Tutti i brani dopo il brano selezionato vengono riprodotti in base all'ordine del numero di brano. Quando si seleziona una voce (album, artista, ecc.) diversa da un brano, tutti i brani vengono riprodotti una volta a partire dal primo della voce in base all'ordine numerico.
Una canzone/ 1 (riproduzione singola)	Il brano selezionato viene riprodotto una volta. Quando si seleziona una voce (album, artista, ecc.) diversa da un brano, solo il primo brano viene riprodotto una volta.
Brani casuali/ SHUF	Tutti i brani vengono riprodotti una volta in ordine casuale.
Elementi casuali/ SHUF	ASe gli album vengono riprodotti una volta in ordine casuale (riproduzione casuale dell'album). L'ordine di riproduzione degli album corrisponde all'ordine del numero di brano. Se "Unità" è impostato su "Attiva unità"(☞ pagina 47), i brani vengono riprodotti nella modalità di riproduzione casuale di un'unità (☞ pagina 49).

Riproduzione dei brani nella categoria di ricerca selezionata (Riproduzione di un'unità)

1 Selezionare "Unità" nel passaggio 3 di "Modifica delle opzioni di riproduzione" (☞ pagina 45), e quindi premere ►II.

Viene visualizzata la schermata Unità.



2 Premere ^/v per selezionare "Attiva unità" e quindi premere ►II.

Continua ⇩

3 Premere SEARCH/MENU per visualizzare la schermata Trova, e quindi selezionare la categoria di ricerca per la riproduzione (☞ pagina 33).

4 Premere ▶II.

La riproduzione viene avviata nell'unità nell'ordine del numero di brano.

Che cos'è un'unità (categoria di ricerca per la riproduzione)?

Tutte le voci (artista, album, brano e così via, etc.) che appartengono alla voce selezionata quando si avvia la riproduzione vengono chiamate un'"unità".

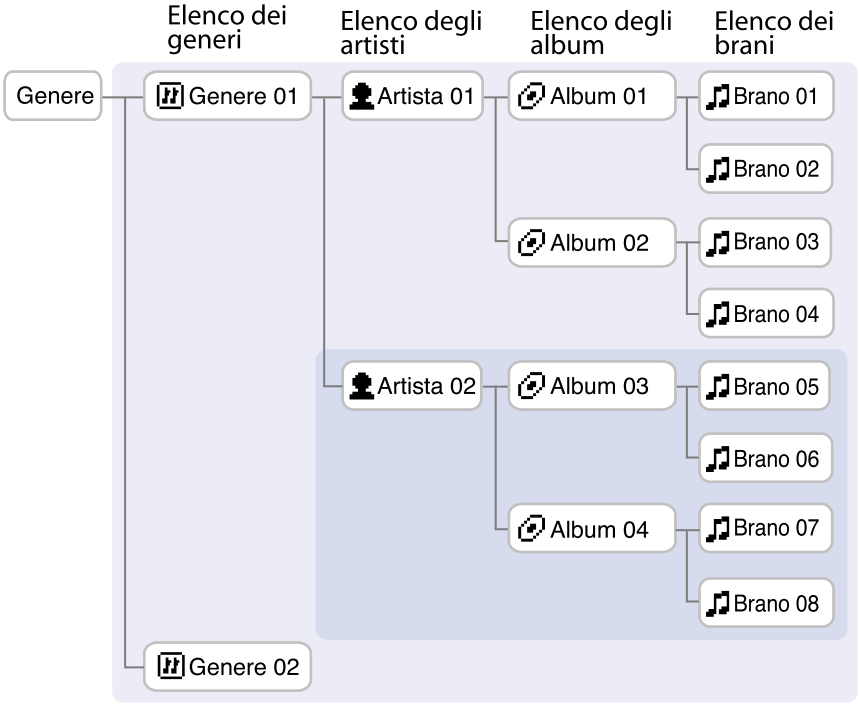
ad es.,:

Quando si avvia la riproduzione dopo aver selezionato "Genere 01"

I brani da 01 allo 08 costituiranno l'unità.

Quando la riproduzione viene avviata una volta selezionato "Artista 02"

I brani dallo 05 allo 08 costituiranno l'unità.



Note

- Quando si passa da "Attiva unità" a "Disattiva unità", o da "Disattiva unità" a "Attiva unità", l'unità viene resettata per includere tutti i brani nel lettore.
- WSe nel passaggio 3 un brano viene selezionato come categoria di ricerca per la riproduzione, l'album che contiene il brano viene designato come unità.

Continua ⇩

Riproduzione casuale dei brani in un'unità (Modo di riproduzione "Brani casuali in un'unità", se "Unità" è impostato su "Attiva unità")

Se "Unità" viene impostata su "Attiva unità" nella schermata Opzioni, tutte le voci (l'artista, l'album o la traccia) elencate nell'unità vengono riprodotte in ordine casuale quando si avvia la riproduzione .

Riproduzione casuale delle voci in un'unità (Modo di riproduzione "Elementi casuali", se "Unità" è impostato su "Attiva unità")

Se "Unità" viene impostato su "Attiva unità" nella schermata Opzioni, le voci nella prima gerarchia dell'unità vengono riprodotte in ordine casuale. L'ordine di riproduzione delle unità corrisponde all'ordine del numero del brano.

Note

- Se nella schermata Trova si seleziona un "♫ brano" e viene avviata la modalità di riproduzione casuale, tutti i brani del lettore vengono riprodotti nell'ordine casuale, a prescindere dall'impostazione della modalità "Attiva/disattiva unità" o "Brani/unità casuali".
- Se nella schermata Trova si seleziona "▶ Sequenza brani" e quindi si seleziona "Sequenza brani" o "Segnalibro" per avviare la riproduzione nella modalità di riproduzione casuale, tutti i brani contenuti nella sequenza brani o nel segnalibro verranno riprodotti in ordine casuale, a prescindere dalle impostazioni di "Attiva/Disattiva unità" o di "Brani/Elementi casuali".

Riproduzione ripetuta dei brani (Riproduzione ripetuta)

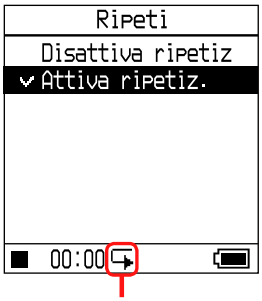
La riproduzione dei brani viene ripetuta nelle opzioni di riproduzione selezionate alla ☞ pagina 47.

1 Selezionare "Ripeti" nel passaggio 3 di "Modifica delle opzioni di riproduzione" (☞ pagina 45), e quindi premere ►II.

Viene visualizzata la schermata Ripeti.



2 Premere ^/v per selezionare "Attiva ripetiz." e quindi premere ►II.



Viene visualizzato .

Continua ⇩

3 Premere SEARCH/MENU per visualizzare la schermata Trova e quindi selezionare la categoria di ricerca per la riproduzione (☞ pagina 33).

4 Premere ►II.
La riproduzione viene avviata con l'opzione selezionata.

Per annullare l'impostazione in qualsiasi momento durante il funzionamento
Premere ■ per tornare alla schermata Opzioni.

Per annullare la Riproduzione ripetuta
Nel passaggio 2, selezionare "Disattiva ripetiz."

Per tornare alla schermata Trova
Premere SEARCH/MENU.

Modifica delle impostazioni e della qualità del suono

Per ulteriori informazioni sulle diverse voci, vedere ☞ pagina 52.

1 Tenere premuto SEARCH/●MENU.
Viene visualizzata la schermata MENU.



2 Premere ^/v per selezionare "Opzioni," e quindi premere ►II.
Viene visualizzata la schermata Opzioni.



3 Premere ^/v per selezionare un'opzione e quindi premere ►II.

Per modificare la qualità del suono

Dopo il passaggio 3, premere ^/v per selezionare "Suono" (☞ pagina 52), e quindi premere ►II.

Per tornare alla schermata precedente

Premere <.

Per annullare l'impostazione

Premere ■ per tornare alla schermata Opzioni.

Per tornare alla schermata MENU

Tenere premuto SEARCH/●MENU.

Continua ⇩

Impostazione delle voci per qualità del suono e schermate

Voce	Opzioni (●: Impostazione predefinita)		
Suono	●Disattiva suono		Riproduce i brani con suono di qualità normale.
	Mot. acustico VPT [1) 2)]	Studio (VS)	Ricrea il suono di uno studio di registrazione.
		Live (VL)	Ricrea il suono di una sala per concerti.
		Club (VC)	Ricrea il suono di una sala da ballo.
		Arena (VA)	Ricrea il suono di uno stadio.
	Equal. a 6 bande[1) 2)]	Forte (SH)	Riproduce i brani con suoni potenti, ulteriore intensificazione delle gamme alte e basse rispetto all'opzione del suono pop
		Pop (SP)	Riproduzione di brani con suoni vocali, intensificazione della gamma audio media.
		Jazz (SJ)	Riproduzione con suoni dinamici, intensificazione della gamma audio alta e bassa.
		Speciale (SU)	Riproduzione di brani con suoni speciali, intensificazione maggiore della gamma audio alta e bassa rispetto a quella media.
		Personal. 1 (S1)	Riproduzione di brani con suono personalizzato (☞ pagina 55 per ulteriori informazioni).
		Personal. 2 (S2)	
	Preset digitali [2)]	Personal. 3 (S3)	Riproduzione di brani con livelli di bassi e alti preimpostati (☞ pagina 56 per ulteriori informazioni).
		Personal. 4 (S4)	

1) Le impostazioni sono attive solo durante la riproduzione di brani audio ATRAC3plus. Durante la riproduzione di brani audio MP3, le impostazioni non sono attive.

2) Le impostazioni audio vengono visualizzate nel display sotto forma di lettere tra parentesi (☞ pagina 32).

Continua ⇩

Voce	Opzioni (●: Impostazione predefinita)	
AVLS [1]	●Disattiva AVLS	Il volume viene regolato senza limitarne il livello.
	Attiva AVLS	Il volume massimo viene limitato per proteggere l'udito.
Segnale acustico	●Attiva segn. ac.	Il segnale acustico viene emesso quando si aziona il lettore.
	Disattiva segn.ac	Il segnale acustico viene disattivato.
Uscita audio	●Cuffie	Selezionare questa opzione quando si collegano le cuffie in dotazione.
	Line out	Selezionare questa opzione quando si collegano altre periferiche, ad esempio gli altoparlanti con cavo audio (☞ pagina 58).
Retroilluminazione [2]	●10 sec	La retroilluminazione si accende per il tempo selezionato quando si preme un tasto o durante lo scorrimento.
	30 sec	
	Disattiva sempre	La retroilluminazione si spegne per risparmiare energia.
Contrasto [3]	●Medio	Il display è poco illuminato. Se il lettore è di colore nero, l'impostazione predefinita è la seconda da sinistra.
	da – a +	Impostare verso – per illuminare maggiormente il display e verso + per renderlo meno luminoso. Se si preme ⏮ e si tiene premuto SEARCH/●MENU in qualsiasi schermata, il livello viene impostato su medio.
Inverti schermo	●Negativo	I caratteri e le icone vengono visualizzati in nero e lo sfondo in bianco.
	Positivo	I caratteri e le icone vengono visualizzati in bianco e lo sfondo in nero.

1) AVLS è un'abbreviazione di Automatic Volume Limiter System (Sistema di regolazione automatica del volume).
2) Si accende quando si preme VOL+/VOL− e quando la retroilluminazione è spenta.
3) Se si preme ⏮ e si tiene premuto SEARCH/●MENU, vengono ripristinate le impostazioni di fabbrica.

Continua ⇩

Voce	Opzioni (●: Impostazione predefinita)	
Orienta schermov	●Verticale	Blocca il display verticalmente.
	Automatico	Regola automaticamente l'orientamento del display con la funzione G-Sensor [1]. L'orientamento del display viene bloccato nella direzione apposita quando si accende il lettore.
	Destra	Ruota il display a sinistra in modo da potere utilizzare il lettore con la mano destra.
	Sinistra	Ruota il display a destra in modo da potere utilizzare il lettore con la mano sinistra.
Lingua	日本語	I messaggi e i menu vengono visualizzati in giapponese.
	●English	I messaggi e i menu vengono visualizzati in inglese.
	Français	I messaggi e i menu vengono visualizzati in francese.
	Deutsch	I messaggi e i menu vengono visualizzati in tedesco.
	Italiano	I messaggi e i menu vengono visualizzati in italiano.
	Español	I messaggi e i menu vengono visualizzati in spagnolo.
	簡体中文 [2]	I messaggi e i menu vengono visualizzati in cinese semplificato.
	繁體中文 [2]	I messaggi e i menu vengono visualizzati in cinese tradizionale.
	한글 [2]	I messaggi e i menu vengono visualizzati in coreano.
Inizializza sistema[3]	Impost. di fabbrica	Tutte le impostazioni nella schermata MENU sono impostate in fabbrica (☞ pagina 60).
	Iniz. disco rigido	Tutti i dati contenuti nel lettore verranno cancellati (☞ pagina 62).
	Aggiorna firmware	Aggiorna il firmware del lettore (☞ pagina 64).

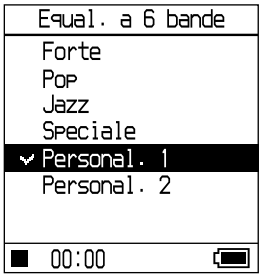
1) G-Sensor è la funzione che rileva la direzione del lettore.
2) Queste lingue non vengono visualizzate a seconda del paese in cui si utilizza il lettore.
3) Non è possibile ripristinare le impostazioni di fabbrica durante la riproduzione o la pausa.
4) Questa funzione non è disponibile in questo momento. Attendere la visualizzazione delle informazioni.

Continua ⇩

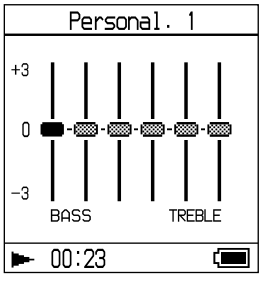
Personalizzazione della qualità del suono (Equal. a 6 bande – Personalizzazione)

È possibile regolare la qualità del suono per ciascuna gamma di frequenza, selezionando le impostazioni sul display.

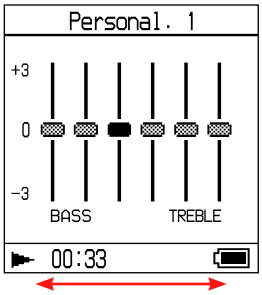
1 Dopo aver selezionato “Suono” nel passaggio 3 di “Modifica delle impostazioni e della qualità del suono” (☞ pagina 51), selezionare “Equal. a 6 bande,” e quindi premere ►II.



2 Premere ^/v per selezionare “Personal. 1” o “Personal. 2,” e quindi premere ►II.

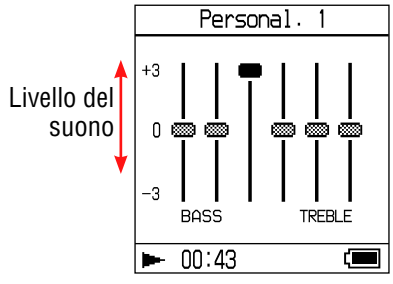


3 Premere < / > per selezionare la gamma di frequenza.
Esistono sei gamme di frequenza.



FGamma di frequenza

4 Premere ^/v per selezionare il livello del suono.
È possibile regolare il suono su 7 livelli.



Continua ⇩

5 Ripetere i passaggi 3 e 4 per eseguire le regolazioni per le altre gamme di frequenza.

6 Premere ►II.
Si ritornerà alla schermata Equal. a 6 bande.

Per annullare l'impostazione

Premere ■ per tornare alla schermata Equal. a 6 bande.

Per tornare alla schermata MENU

Tenere premuto SEARCH/⬬MENU.

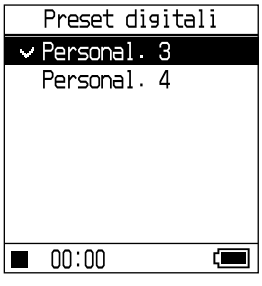
Note

- Se in base alle impostazioni audio configurate il suono risulta distorto quando si alza il volume, abbassare il volume.
- Se si percepisce una differenza di volume tra l'impostazione "Personal. 1" o "Personal. 2" e le altre impostazioni, regolare il volume nel modo desiderato.
- Durante la riproduzione di brani audio MP3, le impostazioni non sono attive.

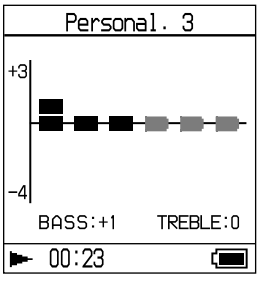
Regolazione di alti e bassi (Digital Sound Preset)

È possibile preimpostare i livelli di alti e bassi secondo le proprie preferenze. Duranre la verifica del display, è possibile regolare le impostazioni di intensificazione.

1 Dopo aver selezionato "Suono" nel passaggio 3 di "Modifica delle impostazioni e della qualità del suono" (☞ pagina 51), selezionare "Preset digitali," e quindi premere ►II.



2 Premere ⌒/⌒ per selezionare "Personal. 3" o "Personal. 4," e quindi premere ►II.



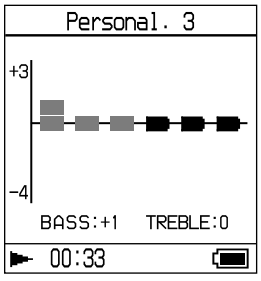
Impostazione predefinita

Qualità del suono	Personal. 3 (S3)	Personal. 4 (S4)	OFF (SUONO NORMALE)
Bass	+1	+3	±0
Treble	±0	±0	±0

Continua ⇩

3 Premere < / > per selezionare “Treble” o “Bass.”

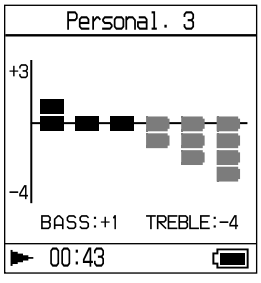
È possibile regolare la qualità del suono degli alti e dei bassi.



4 Premere /̃/̃ per selezionare il livello del suono.

È possibile regolare il suono su otto livelli.

Qualità del suono	Livello di intensificazione
Bass	da -4 a +3
Treble	da -4 a +3



5 Premere ►II.

Si ritorna alla schermata Preset digitali.

Per annullare l’impostazione

Premere ■ per ritornare alla schermata Preset digitali.

Per tornare alla schermata MENU

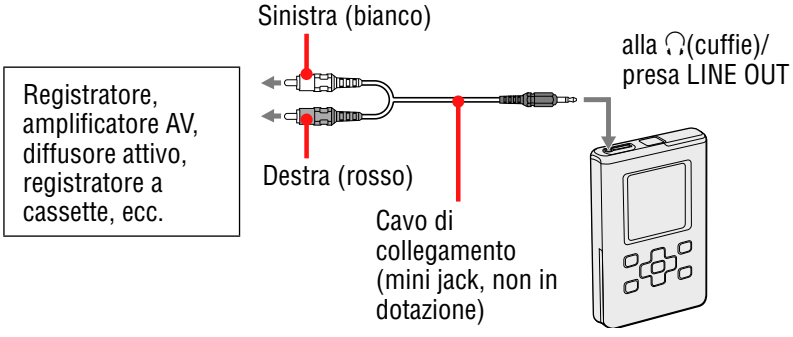
Tenere premuto SEARCH/●MENU.

Note

- I livelli di alti e bassi vengono visualizzati alle estremità destra e sinistra dei grafici di “Personal. 3” o “Personal. 4”. Non è possibile regolare singolarmente i livelli intermedi poiché dipendono dai livelli di alti e bassi e vengono modificati automaticamente.
- Se in base alle impostazioni audio configurate il suono risulta distorto quando si alza il volume, abbassare il volume.
- Se si percepisce una differenza di volume tra l’impostazione “Personal. 3” o “Personal. 4” e le altre impostazioni, regolare il volume nel modo desiderato.

Collegamento di altre periferiche

È possibile ascoltare i brani sul lettore tramite un impianto stereo e registrarli su un MiniDisc o una cassetta. Consultare il manuale d'uso fornito con la periferica che si desidera collegare.
Accertarsi di spegnere tutte le periferiche prima di effettuare i collegamenti e modificare le impostazioni descritte di seguito.



È necessario modificare l'impostazione di "Uscita audio" nella schermata Opzioni perché il suono venga emesso sulla periferica collegata. Le impostazioni di "Uscita audio" sono illustrate di seguito. Per configurare tali impostazioni, vedere ☞ pagina 51.

Periferica collegata	Impostazione
Cuffie	Cuffie
Periferica collegata tramite il cavo di collegamento	Line out

Quando si collega un'altra periferica, impostarla su "Line out". Quando l'impostazione è "Line out", non è possibile regolare il volume e le impostazioni "Suono" non sono disponibili.

Note

- Quando le cuffie in dotazione sono collegate al lettore, non è necessario impostare "Uscita audio" su "Line out." Se l'impostazione è "Line out", non è possibile regolare il volume e il suono sarà distorto e disturbato.
- Prima di avviare la riproduzione di un CD, abbassare il volume della periferica collegata per evitare di danneggiare il diffusore collegato.

Memorizzazione di dati diversi da file audio

È possibile trasferire i dati dal disco rigido del computer al disco rigido incorporato del lettore utilizzando Esplora risorse.
Il disco rigido incorporato del lettore viene visualizzato in Esplora risorse come un'unità esterna (unità di memorizzazione rimovibile).

Note

- Non utilizzare SonicStage durante l'uso del disco rigido del lettore con Esplora risorse.
- Se i file WAV e MP3 vengono trasferiti al lettore utilizzando Esplora risorse, non è possibile riprodurli. Trasferirli utilizzando SonicStage.
- Non scollegare il cavo USB durante il trasferimento dei dati. I dati in fase di trasferimento potrebbero andare persi.
- Non inizializzare il disco rigido del lettore sul computer.

Ripristino delle impostazioni di fabbrica

È possibile ripristinare le impostazioni di fabbrica nella schermata MENU.

1 Nella modalità di arresto, tenere premuto SEARCH/–MENU.

Viene visualizzata la schermata MENU.



2 Premere ^/v per selezionare "Opzioni," e quindi premere ►II.

Viene visualizzata la schermata Opzioni.



3 Premere ^/v per selezionare "Inizializza sistema," e quindi premere ►II.

Viene visualizzata la schermata Inizializza sistema.



4 Premere ^/v per selezionare "Impost. di fabbrica," e quindi premere ►II.

Viene visualizzata la schermata Impost. di fabbrica.



Continua ⇩

5 Premere ‹ / › per selezionare “Sì,” e quindi premere ►II.

Viene visualizzato il messaggio e la schermata ritorna a Inizializza sistema.

Per annullare l’impostazione

Premere ■. Oppure, selezionare “No” nel passaggio 5, e quindi premere ►II.

Il display ritorna alla schermata Inizializza sistema.

Nota

Non è possibile ripristinare le impostazioni di fabbrica durante la riproduzione.

Inizializzazione del disco rigido

È possibile inizializzare il disco rigido incorporato del lettore. Se il disco rigido viene inizializzato, tutti i dati audio e gli altri dati memorizzati vengono eliminati. Accertarsi di controllare i dati contenuti nel disco rigido prima di avviare l'inizializzazione.

1 Nella modalità di arresto, tenere premuto SEARCH/–MENU.

Viene visualizzata la schermata MENU.



2 Premere ^/v per selezionare "Opzioni," e quindi premere ►II.

Viene visualizzata la schermata Opzioni.



3 Premere ^/v per selezionare "Inizializza sistema," e quindi premere ►II.

Viene visualizzata la schermata Inizializza sistema.



4 Premere ^/v per selezionare "Iniz. disco rigido," e quindi premere ►II.

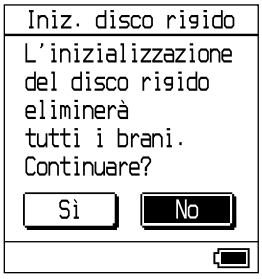
Viene visualizzata la schermata Iniz. disco rigido.



Continua ⇩

5 Premere < / > per selezionare “Sì,” quindi premere ►II.

Viene visualizzata la finestra di conferma.



6 Premere < / > per selezionare “Sì,” e quindi premere ►II.

Viene visualizzato il messaggio e la schermata ritorna a Inizializza sistema.

Per annullare l’impostazione

Premere ■. Oppure, selezionare “No” nel passaggio 6, e quindi premere ►II.

Il display ritorna alla schermata Inizializza sistema.

Note

- Non inizializzare il disco rigido del lettore sul computer.
- Non è possibile formattare il disco rigido durante la riproduzione.
- Se il lettore viene inizializzato, tutti i dati audio e gli altri file vengono eliminati.
- Se i brani vengono eliminati durante l’inizializzazione, SonicStage li riconosce come brani da trasferire di nuovo al computer quando il lettore viene collegato. Pertanto, il numero degli elementi da trasferire aumenta automaticamente.

Disinstallazione di SonicStage

Per disinstallare SonicStage, seguire la procedura seguente.

1 Fare clic su “Start”– “Panello di controllo.”*

* “Impostazioni” – “Panello di controllo” se si utilizza Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Seconda Edizione

2 Fare doppio clic su “Installazione applicazioni.”

3 Fare clic su “SonicStage 3.1” nell’elenco “Programmi attualmente installati” e quindi fare clic su “Cambia o rimuovi.”*.

Seguire le istruzioni visualizzate e riavviare il computer. La disinstallazione è completata dopo che il computer viene riavviato.

* “Cambia/Rimuovi” se si utilizza Windows 2000 Professional, “Aggiungi/Rimuovi” se si utilizza Windows Millennium Edition/ Windows 98 Seconda Edizione

Nota

Se si installa SonicStage Ver. 3.1, OpenMG Secure Module 4.1 verrà installato contemporaneamente. Non eliminare OpenMG Secure Module 4.1 poiché potrebbe essere utilizzato da altri programmi.

Risoluzione dei problemi

Se si verificano problemi con il lettore, provare a eseguire le operazioni riportate di seguito.

1 Rimuovere la batteria e inserirla di nuovo.
2 Verificare i sintomi in “Risoluzione dei problemi.”
3 Verificare i sintomi nella Guida in linea di SonicStage quando si utilizza SonicStage.
4 Se il problema non può essere risolto dopo aver controllato i punti in alto, controllare la tabella seguente e quindi contattare il rivenditore Sony più vicino.

Alimentazione

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
La durata della batteria è breve	→ La temperatura di funzionamento è inferiore a 5°C. Ciò è dovuto alle caratteristiche della batteria e non a un malfunzionamento.
	→ Il lettore non è stato utilizzato per un lungo periodo di tempo. L’efficienza della batteria viene migliorata da cariche e scariche ripetute.
	→ Labatteria ricaricabile può avere raggiunto la fine del periodo di vita utile. Sostituire la batteria con una batteria nuova.
	→ La durata della carica non è sufficiente. Continuare a caricare la batteria fino a quando viene visualizzato .

Continua ⇩

Suono

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
Non viene emesso alcun suono. Viene emesso rumore.	→ Il volume è impostato su zero. Alzare il volume (☞ pagina 30). → Le cuffie non sono collegate correttamente. Collegarle saldamente alla presa ∩(cuffie)/LINE OUT (☞ pagina 29). → Lo spinotto delle cuffie è sporco. Pulirlo con un panno morbido e asciutto. → Nel disco rigido non sono stati memorizzati dati audio.
Il volume non aumenta	→ "AVLS" è impostato su "Attiva AVLS." Impostarlo su "Disattiva AVLS" (☞ pagina 53).
Non viene emesso alcun suono dal canale destro delle cuffie.	→ Le cuffie non sono collegate correttamente. Collegarle saldamente alla presa ∩(cuffie)/LINE OUT (☞ pagina 29).
Non è possibile regolare il volume.	→ "Uscita audio" è impostato su "Line out." Regolare il volume utilizzando l'apposito controllo sulla periferica collegata o impostare "Uscita audio" su "Cuffie" (☞ pagina 53).
Quando si utilizza il lettore con un sistema stereo collegato, il suono è distorto o disturbato.	→ "Uscita audio" è impostata su "Cuffie." Impostarla su "Line out" (☞ pagina 53).

Continua ⇩

Funzionamento/Riproduzione

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
I tasti non funzionano.	→ I tasti sono bloccati. Fare scorrere indietro l'interruttore HOLD (☞ pagina 31). → Si è formata della condensa (La condensa può formarsi all'interno del lettore se viene trasportato direttamente da un luogo caldo ad un luogo freddo). Non utilizzare il lettore per alcune ore finché la condensa non è evaporata. → La carica residua della batteria non è sufficiente. Caricare la batteria (☞ pagina 13).
La riproduzione si è interrotta all'improvviso.	→ La carica residua della batteria non è sufficiente. Caricare la batteria (☞ pagina 13). → Quando si tenta di riprodurre un brano audio MP3 non riproducibile su questo lettore, la riproduzione si arresta. Premere ⁄ per selezionare altri brani (☞ pagina 30). → Il lettore è stato sottoposto aurti per un periodo di tempo prolungato. Rimuovere la causa della vibrazione e riavviare la riproduzione.
La retroilluminazione non è accesa.	→ "Retroilluminazione" è impostato su "Disattiva sempre". Impostarlo su "10 sec" o "30 sec" (☞ pagina 53).
"□" viene visualizzato al posto di un titolo.	→ Sono presenti caratteri che non possono essere visualizzati sul lettore. Utilizzare il software SonicStage per modificare il titolo con il titolo appropriato.
Il display si spegne.	→ Il display si spegne automaticamente se nella modalità di arresto non vengono eseguite operazioni per circa 30 secondiquando viene utilizzata la batteria. Quando si scorrono i titoli dei brani, il display si spegne circa 30 secondi dopo aver terminato lo scorrimento. Inoltre, il display si spegne quando si tiene premuto ■. In tutti i casi, premere un tasto qualsiasi peraccendere di nuovo il display.

Continua ⇩

Collegamento al computer/SonicStage

Sintomo	Causa e/o azione correttiva
Non è possibile installare il software SonicStage.	→ Viene utilizzato un sistema operativo non compatibile con il software (☞ pagina 16). → Non sono state chiuse tutte le applicazioni di Windows. Se si avvia l'installazione mentre sono in esecuzione altri programmi può verificarsi un malfunzionamento. Ciò è valido in modo particolare per i programmi che richiedono molte risorse di sistema, quali gli antivirus. → La quantità di spazio disponibile sul disco rigido non è sufficiente. È necessario disporre almeno di 200 MB di spazio. Eliminare i file non necessari dal computer.
L'installazione si blocca prima del completamento.	→ Verificare l'eventuale presenza di un messaggio di errore sotto alla finestra di installazione. Premere il tasto "Tab" tenendo premuto il tasto "Alt". Se è stato visualizzato un messaggio di errore, premere il tasto "Invio". L'installazione riprenderà. Se non è presente alcun messaggio di errore, l'installazione è ancora in corso. Attendere ancora.
L'indicatore di avanzamento sul display del computer è fermo. La spia di accesso del computer non si è accesa per alcuni minuti.	→ L'installazione sta procedendo normalmente. Attendere. L'installazione potrebbe richiedere 30 minuti o più, in base all'unità CD o all'ambiente di sistema.
SonicStage non viene avviato.	→ L'ambiente di sistema è stato modificato dall' aggiornamento del sistema operativo Windows OS, ecc. Consultare il rivenditore Sony più vicino.

Continua ⇩

Collegamento al computer/SonicStage (continua)

“Collegamento al PC” non viene visualizzato durante il collegamento al computer con il cavo USB.	→ Attendere l’autenticazione del software SonicStage. → Un’altra applicazione è in esecuzione sul computer. Attendere e ricollegare il cavo USB. Se il problema persiste, scollegare il cavo USB, riavviare il computer e ricollegare il cavo USB. → Il cavo USB non è collegato correttamente. Scollegare il cavo USB, quindi ricollegarlo. → Viene utilizzato un hub USB. Il collegamento tramite un hub USB non è garantito. Collegare il cavo USB direttamente al computer. → L’installazione del software SonicStage non è riuscita. Scollegare il lettore e il computer, quindi reinstallare il software utilizzando il CD-ROM in dotazione (☞ pagina 17). Sarà ancora possibile usare i dati audio registrati con il software esistente. → La batteria si sta scaricando. Caricare la batteria con l’alimentatore CA.
Il lettore non viene riconosciuto dal computer quando è collegato.	→ Il cavo USB non è collegato correttamente. Scollegare il cavo USB, quindi ricollegarlo. → Viene utilizzato un hub USB. Il collegamento tramite un hub USB non è garantito. Collegare il cavo USB direttamente al computer. → Il file del driver per il lettore non è stato installato. Reinstallare il software SonicStage per il lettore utilizzando il CD-ROM in dotazione (☞ pagina 17) per installare anche il driver. → L’installazione del software SonicStage non è riuscita. Scollegare il lettore e il computer, quindi reinstallare il software utilizzando il CD-ROM in dotazione (☞ pagina 17). Sarà ancora possibile usare i dati audio registrati con il software esistente.

Continua ⇩

Collegamento al computer/SonicStage (continua)

I dati audio non possono essere trasferiti dal computer al lettore.	→ Il cavo USB non è collegato correttamente. Scollegare il cavo USB, quindi ricollegarlo. → Lo spazio disponibile sul disco rigido del lettore non è sufficiente. Trasferire di nuovo i brani non necessari al computer per aumentare lo spazio libero (☞ pagina 27). → Sono stati già trasferiti oltre 65.535 brani o oltre 8.187 sequenze brani al disco rigido del lettore oppure si sta cercando di trasferire una sequenza brani che contiene oltre 999 brani di una sequenza brani. → Brani con un periodo di riproduzioni limitato o limitato a causa delle restrizioni disposte dai proprietari del copyright. Per ulteriori informazioni sulle impostazioni di ciascun file audio, contattare il distributore. → L'installazione del software SonicStage non è riuscita. Scollegare il lettore e il computer, quindi reinstallare il software utilizzando il CD-ROM in dotazione (☞ pagina 17). Sarà ancora possibile usare i dati audio registrati con il software esistente.
Ill numero di brani trasferibili al lettore è limitato (il tempo di registrazione disponibile è breve).	→ Lo spazio libero nel disco rigido del lettore non è sufficiente per le dimensioni dei dati audio da trasferire. Trasferire di nuovo i brani non necessari per aumentare lo spazio libero. (☞ pagina 27). → I dati diversi da quelli audio vengono memorizzati nel disco rigido del lettore. Spostare i dati diversi da quelli audio al computer per aumentare lo spazio libero.

Continua ⇩

Collegamento al computer/SonicStage (continua)

Non è possibile trasferire di nuovo i dati audio al computer dal lettore.	→ Un computer diverso da quello utilizzato per il trasferimento al lettore viene selezionato come destinazione del trasferimento. Non è possibile trasferire di nuovo i dati audio a un computer diverso da quello utilizzato per il trasferimento al lettore. → I dati audio sono stati eliminati dal computer utilizzato per il trasferimento al lettore. Non è possibile trasferire di nuovo i dati audio al computer se il brano è stato eliminato dal computer utilizzato per il trasferimento.
I dati audio vengono trasferiti di nuovo al computer e il numero degli elementi trasferibili aumenta automaticamente quando il lettore è collegato al computer.	→ Se un brano viene eliminato dal lettore utilizzando il software SonicStage installato su un computer diverso da quello utilizzato per il trasferimento al lettore, il brano viene trasferito automaticamente quando il lettore viene collegato al computer utilizzato per il trasferimento. Pertanto, il numero degli elementi da trasferire aumenta automaticamente.
Il lettore non funziona correttamente quando è collegato al computer.	→ Viene utilizzato un hub USB o una prolunga USB. Il collegamento tramite hub USB o prolunga USB non è garantito. Collegare il cavo USB direttamente al computer.
Il messaggio “Autenticazione periferica/supporto non riuscita” viene visualizzato quando il lettore è collegato al computer.	→ Il lettore non è collegato correttamente al computer. Chiudere il software SonicStage e verificare il collegamento del cavo USB. Riavviare il software SonicStage.

Continua ⇩

Altri

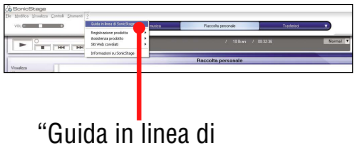
Sintomo	Causa e/o azione correttiva
Non viene emesso alcun segnale acustico durante l'uso del lettore.	➔ "Segnale acustico" è impostato su "Disattiva segn.ac". Impostarlo su "Attiva segn. ac." (☞ pagina 53).
Il lettore si surriscalda.	➔ Il lettore potrebbe surriscaldarsi durante e subito dopo la carica a causa di una carica rapida. Inoltre, il lettore potrebbe surriscaldarsi durante il trasferimento di numerosi brani. Non utilizzare il lettore per qualche ora.
Viene emesso un suono dall'interno del lettore. Il lettore vibra.	➔ È possibile che durante il funzionamento del disco rigido venga emesso un suono e che il lettore vibri. Tale rumore non è indice di alcun malfunzionamento.

Uso della Guida in linea di SonicStage

La Guida in linea di SonicStage fornisce ulteriori informazioni sull'uso di SonicStage. La Guida in linea di SonicStage consente di ricercare facilmente informazioni da un elenco di operazioni, quali l'importazione o il trasferimento di dati audio, o da un elenco di parole chiave oppure inserendo parole relative all'argomento desiderato.

Mentre SonicStage è in esecuzione, fare clic su "?" – "Guida in linea di SonicStage".

Viene visualizzata la Guida in linea.
Nella Guida in linea di SonicStage, il lettore viene indicato come "ATRAC Audio Device".

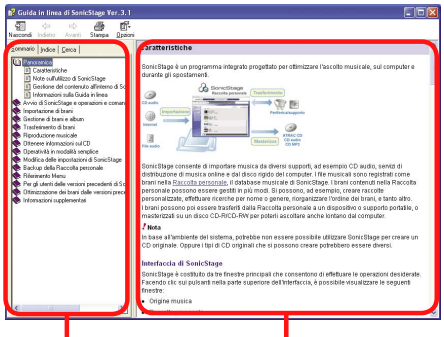


"Guida in linea di SonicStage"

Note

- Nella Guida in linea di SonicStage, "Periferica o Supporto" è il termine generico per definire il lettore Network Walkman o MD Walkman.
- Attenersi alle istruzioni del fornitore di servizi Internet per quanto riguarda, ad esempio, il sistema consigliato.

Per utilizzare la Guida in linea di SonicStage



Riquadro sinistro

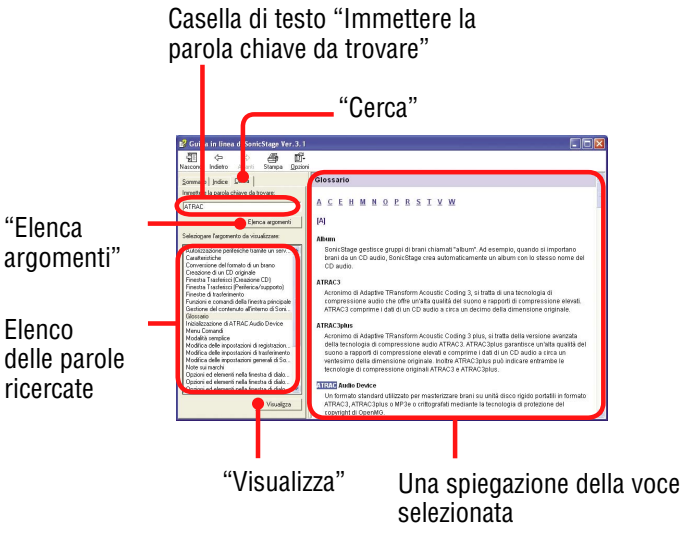
Riquadro destro

1 Fare doppio clic su "Panoramica" nel riquadro sinistro della Guida in linea di SonicStage.

2 Fare clic su "Informazioni sulla Guida in linea."
La spiegazione verrà visualizzata nel riquadro di destra.
Se necessario, fare scorrere la schermata. Fare clic sulle parole sottolineate per visualizzarne la spiegazione.

Continua ⇩

Per ricercare una parola all’interno della spiegazione



1 Fare clic su “Cerca”.
2 Inserire le parole desiderate.
3 Fare clic su “Elenca argomenti”.
Viene visualizzato l’elenco delle parole ricercate.
4 Fare clic per selezionare la voce desiderata tra quelle visualizzate.
5 Fare clic su “Visualizza”.
Viene visualizzata una spiegazione della voce selezionata.

Messaggi di errore

Se viene visualizzato un messaggio di errore sul display, attenersi alle istruzioni riportate di seguito.

Messaggio	Significato	Azione correttiva
AVLS VOLUME NON DISPONIBILE	Il livello supera il volume massimo di AVLS.	→ Impostare “AVLS” su “Disattiva AVLS” (☞ pagina 53).
SEGNALIBRI TUTTI AGGIUNTI	Si tenta di aggiungere un segnalibro che è già stato registrato in tutti i tipi di segnalibro.	→ Un brano può essere registrato una volta in un segnalibro per ogni tipo di segnalibro.
BATTERIA MANCANTE	• Si tenta di utilizzare il lettore con il collegamento dell’adattatore CA senza inserire la batteria. • La batteria è stata rimossa dal lettore quando era collegato al computer.	→ Inserire la batteria quando l’adattatore CA viene collegato ad una presa CA.
SEGNALIBRI PIENI	Il numero di segnalibri supera il limite massimo.	→ Rimuovere i segnalibri non necessari (☞ pagina 40).
ANNULLATO	L’impostazione o il funzionamento sono stati annullati.	—
IMP. MODIF. SEGNALIBRO IN RIPRODUZ.	Si tenta di modificare un segnalibro durante la riproduzione o la modalità di arresto.	→ Non è possibile modificare i segnalibri durante la riproduzione o la modalità di arresto.
IMPOSSIBILE ESEGUIRE STOP	“Inizializza sistema” nella schermata Opzioni è selezionato durante la riproduzione.	→ Interrompere la riproduzione e selezionare di nuovo “Inizializza sistema”.
IMPOSSIBILE ESEGUIRE SE INTERROTTO	Si tenta di aggiungere un segnalibro quando il lettore è nella modalità di arresto.	→ Aggiungere un segnalibro durante la riproduzione (☞ pagina 39).

Continua ⇩

NO RIPRODUZ. COLLEGARE A PC	L'orologio del lettore non funziona	→ Eseguire il collegamento al computer (☞ pagina 24).
IMPOSSIBILE RIPRODURRE ERRORE DISCO	I dati audio sono danneggiati.	→ Trasferire di nuovo i dati audio al lettore (☞ pagina 24).
IMPOSSIBILE RIPRODURRE QUESTO BRANO	• Non è consentito riprodurre il brano sul lettore. • È in corso la riproduzione di brani con un numero di riproduzioni limitato.	→ Non è possibile riprodurre brani la cui riproduzione sul lettore non è autorizzata.
RIPRODUZIONE NON DISPONIBILE	Si sta tentando di riprodurre un brano prima o dopo il periodo consentito per la riproduzione.	→ È possibile riprodurre i brani con un periodo di riproduzione limitato solo entro il limite di tempo concesso.
IMP. AGGIOR BATTERIA SCARSA	Il lettore non risponde ai comandi a causa di operazioni continue quando è occupato.	→ Non utilizzare il lettore per qualche ora e tentare di utilizzarlo di nuovo.
CARICA CONSENTITA DA 5°C – 35°C	La carica avviene a una temperatura non compresa tra 5 e 35°C.	→ Eseguire la carica a una temperatura compresa tra 5 e 35°C.
CANCELLARE SEGNALIBRO IN RIPRODUZ.	Si tenta di cancellare un brano con segnalibro mentre viene riprodotto.	→ Un brano con segnalibro può essere cancellato solo quando si tenta di rimuovere il brano dal tipo di segnalibro registrato selezionandolo nell'elenco di Sequenza brani durante la riproduzione del brano.
COLLEGARE ADATTATORE CA	Si è tentato di aggiornare il firmware senza utilizzare l'adattatore CA.	→ Collegare l'adattatore CA al lettore (☞ pagina 13).
ERRORE: SEGNALIBRO IMPOSSIBILE	Un brano non può essere aggiunto a un segnalibro a causa di qualche errore.	→ Tentare di aggiungere di nuovo il brano al segnalibro.
ERRORE: CANCELLAZ. IMPOSSIBILE	Un brano non può essere rimosso a causa di qualche errore.	→ Tentare di cancellare il segnalibro di nuovo.

Continua ⇩

IMPOSSIBILE CREARE DATABASE	Non è possibile creare il database.	→ Attendere ancora. Il database sta per essere aggiornato.
SCRITTURA DISCO RIGIDO 5°C – 35°C	Il trasferimento dei dati audio avviene a una temperatura non compresa tra 5 e 35°C.	→ Eseguire la carica a una temperatura compresa tra 5 e 35°C.
INIZIALIZ. DISCO RIGIDO NON CORRETTA	• Il disco rigido del lettore non è stato inizializzato correttamente. • Il disco rigido del lettore è stato inizializzato sul computer. • Il disco rigido del lettore non è stato inizializzato perché è stato cambiato.	→ Inizializzare di nuovo il disco rigido del lettore (☞ pagina 62).
HOLD	L'interruttore HOLD è impostato su ON.	→ Sbloccare i comandi facendo scorrere l'interruttore HOLD nella direzione opposta alla freccia (☞ pagina 31).
IMPOSSIBILE ESEGUIRE IN LINE OUT	Si tenta di modificare il livello volume o l'impostazione di "Suono" quando "Uscita audio" è impostato su "Line out".	→ Impostare "Uscita audio" su "Cuffie" (☞ pagina 53).
BATTERIA SCARICA	La batteria è scarica.	→ Caricare la batteria (☞ pagina 13).
N. MAX GRUPPI SUPERATO	Il numero massimo (8.192) di gruppi consentiti (album, artisti, ecc.) è stato superato.	→ Il numero totale di voci nella schermata Trova (tranne l'elenco dei brani) supera 8.192. Trasferire di nuovo i brani non necessari nella Raccolta personale di SonicStage (☞ pagina 27).
FILE DI SISTEMA NON CORRISP.	I file di sistema non corrispondono.	→ Inizializzare di nuovo il disco rigido del lettore (☞ pagina 62) e trasferire di nuovo i dati audio al lettore (☞ pagina 24).

Continua ⇩

NESSUN DATABASE TROVATO	Quando si esegue la disconnessione dal computer, non sono presenti brani trasferiti nel lettore o le informazioni mancano.	→ Collegare di nuovo il lettore al computer e quindi scollegarlo. → Trasferire i dati audio al lettore (☞ pagina 24).
NESSUN BRANO	Non ci sono brani nell'elenco.	→ Passare all'elenco contenente i brani. → Trasferimento dei dati audio al lettore (☞ pagina 24).
ERRORE DI SISTEMA (il numero viene visualizzato tra parentesi).	Si è verificato un errore di sistema.	→ Annotare il numero e contattare il rivenditore Sony più vicino.

Caratteristiche tecniche

Numero massimo di brani registrabili (approssimativo)*

NW-HD5:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5.000 (132 kbps)	2.500 (256 kbps)	5.000 (128 kbps)
6.000 (105 kbps)	10.000 (64 kbps)	10.000 (64 kbps)
10.000 (66 kbps)	13.000 (48 kbps)	

NW-HD5H:

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
7.500 (132 kbps)	3.500 (256 kbps)	7.500 (128 kbps)
9.000 (105 kbps)	15.000 (64 kbps)	15.000 (64 kbps)
15.000 (66 kbps)	20.000 (48 kbps)	

* Trasferimento di brani della durata di quattro minuti

Frequenza di campionamento

44,1 kHz (ATRAC3plus), 32/44,1/48 kHz (MP3)

Tecnologia di compressione audio

Adaptive Transform Acoustic Coding3plus (ATRAC3plus)
MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

Risposta in frequenza

20 a 20.000 Hz (misurazione segnale singolo durante la riproduzione)

Uscita

🎧 (cuffie)/LINE OUT*:
Minipresa stereo /180 mV

* La presa viene utilizzata sia per le cuffie che per l'uscita LINE OUT.

Continua ⇩

Temperatura di funzionamento

5 - 35ºC

Alimentazione

Batteria agli ioni di litio ricaricabile: LIP-880PD, 3,7V 880mAh, Li-ion
Alimentatore CA: DC IN 6 V

Durata batteria (riproduzione continua)

Formato ATRAC3plus (48 kbps): Circa 40 ore
Formato MP3 (128 kbps): Circa 30 ore

Dimensioni

Parti sporgenti non incluse:
Circa 59,9 × 88,7 × 14,2 mm (l/a/p)

Parti sporgenti incluse:

Circa 59,9 × 89,3 × 14,5 mm (l/a/p)

Peso

Circa 135 g

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Brevetti degli Stati Uniti d'America e di altri Paesi concessi su licenza dai Dolby Laboratories.

Indice

Symbols

1 (riproduzione singola) 47
Album 35
Artista 35
SHUF Brani casuali 47
Brano 35
Carica residua 15
SHUF Casuale dei brani in un'unità 49
SHUF Casuale delle voci in un'unità 49
SHUF Elementi casuali 47
Genere 35
Nuovi brani 36
Ricerca iniziali 36
Riproduzione ripetuta 49
Sequenza brani 38

A

Alimentatore CA 11
Arena 52
Arresto 31
ATRAC3/ATRAC3plus 21, 30
AVLS 53

B

Batteria (Durata della ricarica) 13
Batteria (rimozione/inserimento) 14
Brani casuali 47
Brani con un numero di riproduzioni limitato 70
Brani con un periodo di riproduzioni limitato 70

C

Cancellazione (Segnalibro) 42
Carica residua della batteria 15
Cavo USB 11
CD-ROM 11
Club 52
Contrasto 53
Cuffie 11, 12, 53
Custodia per il trasporto 11

D

Destra 54
Disinstallazione 64
Display del lettore 12, 32
Durata della batteria 15

E

Elementi casuali 47
Equal. a 6 bande 52

F

Formato 21
Forte 52
Francese 54
Funzione HOLD 31

G

G-Sensor 54
Gestione dei brani 22

I

icona del segnalibro 44
Importazione dei dati audio 19
Impostazioni di fabbrica 60
Informazioni dettagliate (brano) 23
Informazioni sul CD 21
Inglese 54
Iniz. disco rigido 54, 62
Inizializza sistema 54
Interruttore HOLD 12
Inverti schermo 53
Italiano 54

J

Japanese 54
Jazz 52

Continued ⇩

L

Line out 53
Lingua 54
Live 52

M

Modifica segnalibro 39
Modo di ricerca 35
Modo riproduzione 45
Mot. acustico VPT 52
MP3 30

N

Negativo 53
Nuovi brani 36

O

Opzioni di riproduzione 47
Orienta schermo 54

P

Periferica audio 58
Pop 52
Positivo 53
Preset digitali (Preset digitali) 52

R

Raccolta personale 22
Raccolta personale (SonicStage) 19
Retroilluminazione 53
Ricerca 31
Ricerca iniziali 36
Ricerca (SonicStage) 74
Riproduz. normale 47
riproduzione casuale dell'album 47
Riproduzione di brani con segnalibri 39
Riproduzione di un'unità 47
Riproduzione ripetuta 49

S

Scorrere più voci 34
Segnale acustico 53
Segnalibri 39
Sequenza brani (sul lettore) 38
Sequenza brani (SonicStage) 22
Sinistra 54
SonicStage 16
Spagnolo 54
Speciale 52
Stop 12
Struttura della cartella (schermata Trova) 35
Studio 52
Suono 52

T

Tedesco 54
Trasferimento dei dati audio 24
Trovare l'inizio dei brani successivi 31
Trovare l'inizio dei brani precedenti 31
Trovare l'inizio del brano successivo 31

U

Una canzone (riproduzione singola) 47
Unità 48
Uscita audio 53

V

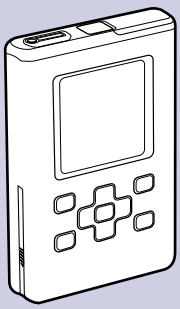
Velocità bit 21, 32
Verticale 54
VOL+/VOL− (volume) 12

SONY

Portable Hard Disk Audio Player

Network Walkman

操作說明書



WALKMAN

Atrac3plus

MP3

NW-HD5/NW-HD5H

"WALKMAN" 是 Sony Corporation 的註冊商標，代表立體聲耳機產品。 WALKMAN 是 Sony Corporation 的商標。

© 2005 Sony Corporation

目錄

索引

▶ 開始操作 11

▶ 轉換音效資料至隨身聽 19

▶ 播放音樂 29

▶ 其他功能 51

▶ 故障排除 65

▶ 其他資訊 79

警告

為防起火或觸電危險，切勿將機器暴露於雨中或潮濕處。

勿將機器安置在諸如書櫥或壁櫥等密閉處。

為防起火，請勿讓報紙、桌布、窗簾等物品蓋住裝置的通風孔。此外，也不要在機器上放置點燃的蠟燭。

為防起火或觸電危險，不可在裝置上擺飾花瓶等裝滿液體的物體。

僅適用於台灣



廢電池請回收

續上頁 ⇩

目錄

使用者注意事項 5
注意事項 8
關於安全措施 8
安裝 8
熱量積聚 8
耳機 9
清潔 10

準備操作

檢查隨附配件 11
零件與控制鈕指南 12
電源準備 13
檢查電池剩餘電源 15
安裝 SonicStage 至電腦中 16
準備所需的系統 16
安裝 SonicStage 17

將音訊資料傳輸到隨身聽

匯入音訊資料至電腦中 19
利用 SonicStage 管理曲目 22
編輯播放清單 22
把音訊資料傳輸至隨身聽 24
將音訊資料傳回到電腦 27

播放音樂

播放 29
鎖定控制鈕（鎖定） 31
基本播放操作（播放、停止、搜尋） 31
在顯示幕上查看資訊 32
選擇要播放的曲目（演出者、專輯、類別等） 33
尋找顯示幕的檔案夾結構 35

續上頁 ⇩

從“ 新曲目” 36
根據曲目的一個首字母選擇曲目（首字母搜尋） ... 36
從“ 播放清單” 38
編輯隨身聽中的書籤 39
在書籤中登錄曲目（播放書籤中的曲目） 39
在書籤中重新安排曲目的順序 40
清除已登錄至書籤的曲目 42
變更播放選項（播放模式） 45
播放選項（播放模式） 47
在選取的搜尋類別中播放曲目（單元播放） 47
重複播放曲目（重複播放） 49

其他功能

變更音效品質與設定 51
為音效品質和顯示幕設定項目 52
自訂音效品質（6 段等化器 – 自訂） 55
調整高音與重低音（預設數位音效） 56
連接其他裝置 58
儲存音訊檔案以外的資料 59
重設至原廠設定 60
初始化硬碟 62
解除 SonicStage 的安裝 64

故障排除

故障排除 65
使用 SonicStage 說明 73
錯誤訊息 75

其他資訊

規格 79
索引 81

使用者注意事項

隨附軟體事宜

- 版權法規定，未經版權所有者許可，不得完全或部分複製軟體或軟體隨附的手冊，或者出租軟體。
- 對於因使用本隨身聽隨附軟體而造成的財產損失或利潤虧損（包括第三方的索賠），SONY 公司恕不負責。
- 如果發生因為製造缺陷而導致的軟體相關問題，SONY 公司將予以更換。但是，SONY 公司不承擔其他責任。
- 除明確指出的設備之外，本隨身聽隨附的軟體不能用於其他設備。
- 請注意，由於我們致力於不斷提高产品品質，因此軟體規格如有更改，恕不另行通知。
- 本擔保不適用於使用隨附軟體以外的其他軟體操作本隨身聽。
- 在軟體上顯示語言的功能取決於 PC 安裝的 OS。為了呈現最佳結果，請確定安裝的 OS 與您要顯示的語言相容。
  - 我們並不保證軟體可順利顯示所有語言。
  - 使用者建立的字元及部分特殊字元可能無法顯示。
- 取決於文字及字元的類型，在軟體上顯示的文字可能無法正確顯示於裝置中。原因如下：
  - 連接裝置的功能不足。
  - 裝置運作不正常。
- 本手冊的說明已假設您對 Windows 作業系統具備基本的操作常識。欲知如何使用電腦及作業系統，請參考相關手冊說明。

程式版權所有 ©2001、2002、2003、2004、2005 Sony Corporation
文件版權所有 ©2005 Sony Corporation

續上頁 ⇩

- SonicStage 和 SonicStage 標誌是 Sony Corporation 的商標或註冊商標。
- OpenMG, ATRAC, ATRAC3, ATRAC3plus 及其標誌均是 Sony Corporation 的商標。
- Microsoft、Windows、Windows NT 及 Windows Media 是 Microsoft Corporation 在美國及/或其他國家/地區的商標或註冊商標。
- IBM 與 PC/AT 是 International Business Machines Corporation 的註冊商標。
- Macintosh 是 Apple Computer, Inc. 在美國與/或其他國家/地區的商標。
- Pentium 是 Intel Corporation 的商標或註冊商標。
- Adobe 與 Adobe Reader 是 Adobe Systems Incorporated 在美國及/或其他國家/地區的商標或註冊商標。
- 由 Dolby Laboratories 取得美國與其他國家之專利授權。
- MPEG Layer-3 音頻編碼技術和專利由 Fraunhofer IIS 和 Thomson 授權。
- 所有其他商標與註冊商標是其相關所有者的商標或註冊商標。
- 在本手冊中, 未標明 ™ 與 ® 標誌。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.

  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. Untied States Patent 6,304,523.

  Gracenote is a registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.

感謝您購買本 Sony 產品。
Network Walkman 中已預先安裝音樂範本，您馬上就可試聽。預先安裝的音樂資料範本只作試聽用途，因此，不得將之傳輸至電腦中。如欲刪除本音訊資料，請利用 SonicStage3.1 把它刪除。
視乎您所在的國家而定，音樂資料範本也許無法安裝至隨身聽中。

注意事項

關於安全措施

- 請勿在隨身聽的 DC IN 插孔中放置任何異物。
- 勿使用其他金屬物體造成隨身聽的端子短路。

安裝

- 請勿在易受強光、高溫、濕氣或震動影響的環境中使用隨身聽。
- 在使用 AC 變壓器為隨身聽供電時，請勿使用任何物品將隨身聽包住。隨身聽中的熱量積聚可能會導致隨身聽出現故障或損壞。

熱量積聚

如果使用隨身聽的時間過長，在充電時熱量就會積聚在隨身聽內部。

耳機

交通安全

請勿在開車、騎車或駕駛任何車輛時使用耳機。否則可能會引發交通事故，而且這在多數地區是違法的。步行（特別是過馬路）時，提高音量也會帶來潛在危險。在可能有潛在危險的情況下，必須格外小心或暫停使用耳機。

防止聽覺損害

避免以高音量使用耳機。聽覺專家建議，不要連續、高音量及長時間使用耳機。如果發生耳鳴現象，請調低音量或暫停使用。

顧及他人

請維持適當的音量，使您可以聽見外界的聲音，並且也可顧及周圍的人。

警告

如果使用隨身聽時出現閃電，請立即取下耳機。

續上頁 ⇩

清潔

- 請使用以清水或溫和清潔劑稍微沾濕的軟布來清潔隨身聽外殼。
- 定期清潔耳機插頭。

註

- 切勿使用任何種類的磨石、擦洗粉或諸如酒精或苯之類的溶劑進行清潔，上述物品可能會損傷隨身聽外殼。
- 避免水份從接頭旁的開口處滲進隨身聽中。

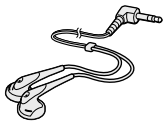
如有關於本隨身聽的任何疑問，請就近與 Sony 經銷商聯絡。

註

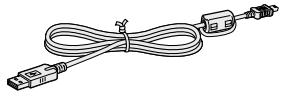
- 錄製的音樂僅限於私人使用。超出此限制的音樂使用，需獲得版權所有人的許可。
- 對於因隨身聽或電腦故障而導致資料錄製/下載不完整或資料損壞的問題，Sony 恕不負責。

檢查隨附配件

•耳機（1）



•專屬 USB 纜線（1）



•AC 變壓器（1）

•攜帶盒（1）

•CD-ROM（1）*
（SonicStage 軟體、PDF 格式的操作說明書）

•快速入門指南（1）

*請勿在音訊 CD 隨身聽上播放此 CD-ROM。
（充電電池已預先安裝至隨身聽中）。

註

•電源輸出線上的二個鐵芯係抑制 EMC 電磁波干擾用，請勿任意移除。

•USB 信號線上的一個鐵芯係抑制 EMC 電磁波干擾用，請勿任意移除。

註

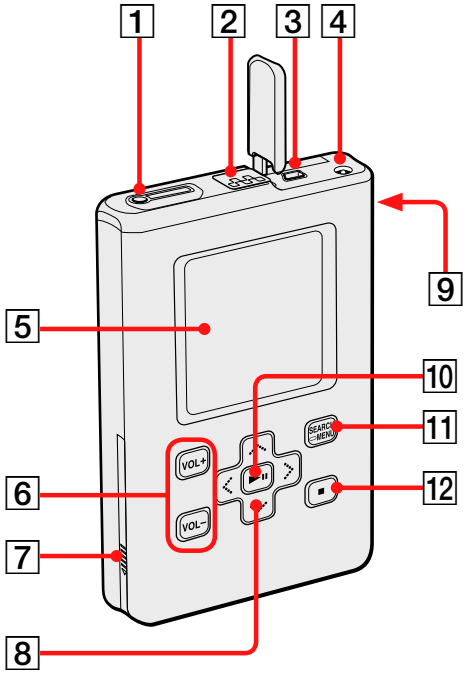
使用本裝置時，務必遵守下列注意事項，以免機殼變形或導致裝置發生故障。

– 確定機體放在褲子後口袋時不要坐下去。



– 確定不要將耳機線繞在機身上裝到袋子中，然後再讓袋子承受強力擠壓。

零件與控制鈕指南



1 ☊（耳機）/LINE OUT 插孔
（☞ 第 29 頁）

2 HOLD 開關（☞ 第 31 頁）

3 USB 連接器（☞ 第 24 頁）

4 DC IN 插孔（☞ 第 13、24 頁）

5 隨身聽顯示幕（☞ 第 32 頁）

6 VOL +*/ VOL –（音量）按鈕
（☞ 第 30 頁）

7 電池盒蓋
（☞ 第 14 頁）

8 ^/v/</> 按鈕
（☞ 第 29 頁）

9 吊帶插孔**

10 ▶II（播放/暫停）按鈕
（☞ 第 31 頁）

11 SEARCH/MENU 按鈕
（☞ 第 33 頁）

12 ■（停止）按鈕
（☞ 第 31 頁）

* 操作隨身聽時使用有觸感的符號作參考。

** 您可以繫上自己的吊帶。

關於序號

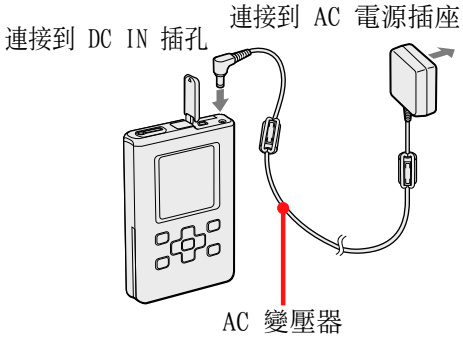
客戶註冊時需提供此隨身聽的序號。序號位於隨身聽底部的標籤上。不可移除標籤。

電源準備

在第一次使用可充電鋰電池之前或在電池的電力耗盡時，請為電池充電。

把 AC 變壓器連接至 DC IN 插孔中。

先連接 AC 變壓器，再把它連接至 AC 電源插座中。



顯示的電池指示燈將變更為“充電中”，並開始為電池充電。
充電約需三小時*，充電完畢的燈將 亮起。
電池在一個半小時中約充滿其百分之八十的電量*。

* 這是預計的也就是在室溫下為無電量電池充電的所需時間。充電時間視剩餘電力與電池狀況而定。如果電池在低溫環境下充電，充電時間將更長。

使用 USB 連接，為電池充電

開啟電腦並將 USB 纜線連接到電腦中（☞ 第 24 頁）。顯示的電池指示燈將有所變動，並開始為電池充電。充電大約需要 6 小時。隨身聽連接到 AC 變壓器時，將由 AC 變壓器供電。但需要更久的充電時間。
當利用 USB 連接隨身聽至電腦、沒有利用 AC 變壓器、或電池在未充電的情況下放電時，電腦會進入暫停、睡眠或休眠模式。

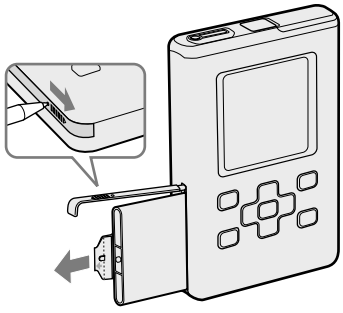
* 電池耗損後，就需要較長的充電時間。
電池充電指示燈只會在一邊操作隨身聽、一邊充電時出現。若未顯示電池充電指示，請用 AC 變壓器充電。

續上頁 ⇩

如欲移除電池

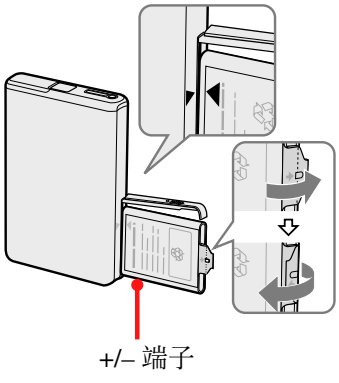
把類似原子筆筆尖的細尖工具插入電子盒蓋的洞中，然後朝著“▷”標記的方向打開盒蓋。把電池標籤朝箭頭方向拉出，以移出電池。

從隨身聽移除電池時，電源不會啟動，即使隨身聽已連接變壓器。



如欲插入電池

打開電池盒蓋，然後把電池上有“▶”標記的一方插入至隨身聽背後印有相同標記的地方。標籤接合至電子格蓋子後，關閉蓋子。



註

- 使用 USB 連線為電池充電時，如果電腦的電力不足，充電時間可能會更長。
- 使用 USB 連線為電池充電時，視系統環境而定，充電將會停止。
- 如果在充電時隨身聽長時間連接到電腦，充電可能會停止，以防止隨身聽的溫度過高。從隨身聽取下 USB 纜線，稍後再重新開始充電。
- 若打算三個月或更長的時間不使用隨身聽，請移除其中的電池。
- 在溫度 5℃ 到 35℃ 之間的環境下為電池充電。

續上頁 ⇩

有關 AC 變壓器的注意事項



- 只使用隨身聽內附的 AC 變壓器。請勿使用任何其他 AC 變壓器，以防止隨身聽發生故障。
- 只要隨身聽的 AC 電源線仍連接到牆上插座，即使隨身聽本身電源已關閉，實際上並沒有中斷 AC 電源（插座）的連接。
- 如果您長時間不使用隨身聽，請務必拔下電源線。要從牆上插座拔下 AC 變壓器，請握住變壓器插頭本身，切勿拉扯電線。

檢查電池剩餘電源

顯示幕上將會顯示電池剩餘電力。 隨著黑色指示格不斷減少，剩餘電力也逐漸減少。



* 顯示幕顯示“電池電力不足”並發出操作音。

電池電量用完後，請為電池充電。

註

- 顯示幕會顯示電池的大約剩餘電力。例如，一格不一定都代表電池電力的四分之一。
- 視不同操作情況而定，螢幕上顯示的電池電力與實際剩餘電力相比可能有誤差。
- 若移除電池時，隨身聽將關閉，即使它已連接至 AC 變壓器上。

電池壽命（繼續使用）

ATRAC3plus 48 kbps 的播放時間大約為 40 小時。MP3 128 kbps 的播放時間大約為 30 小時。
時間視隨身聽的使用方式而定。

安裝 SonicStage 至電腦中

使用隨附的 CD-ROM，在電腦中安裝 SonicStage。

準備所需的系統

需要下列系統環境。

電腦	IBM PC/AT 或相容裝置
	•CPU： Pentium III 450 MHz 或以上 •硬碟空間：200 MB 或以上（建議使用 1.5 GB 或以上。）（空間容量將隨 Windows 版本與儲存在硬碟上的音樂檔案數而異。） •記憶體：128 MB 或以上
	其他 • 光碟機（能夠透過 WDM 進行數位播放）（必須使用 CD-R/RW 驅動器來進行 CD 寫入。） • 音效卡 • USB 連接埠
作業系統	原廠安裝： Windows XP Media Center Edition 2005/ Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/ Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional (Service Pack 3 或以上) /Windows Millennium Edition/ Windows 98 Second Edition
顯示螢幕	高彩（16 位元）以上，800 × 600 點以上（建議使用 1024 × 768 點以上）
其他	•網際網路連線：用於 Web 註冊、EMD 服務與 CDDB •已安裝 Windows Media Player（7.0 版或更新版本），可播放 WMA 檔案

續上頁 ⇩

註

- 下列環境不支援 SonicStage:
  - 第 16 頁未說明的作業系統。
  - 個人組裝的個人電腦或作業系統
  - 在原廠安裝的作業系統上升級的環境
  - 多啟動環境
  - 多監視器環境
  - Macintosh
- 我們並不保證在滿足系統需求的所有電腦上進行操作時都不會發生故障。
- Windows XP/Windows 2000 Professional 的 NTFS 格式只能與標準（原廠）設定一起使用。
- 我們並不保證在電腦上的系統暫停、睡眠或休眠功能的操作都不會發生故障。

安裝 SonicStage

請在安裝 SonicStage 軟體前閱讀下列各項說明。

- 關閉所有其他軟體，其中包括病毒檢查軟體。
- 確定使用隨附的 CD-ROM 安裝 SonicStage。
  - 如果已安裝 OpenMG Jukebox 或 SonicStage，則現有軟體將被具有新功能的新版本覆寫。
  - 如果已安裝 SonicStage Premium、SonicStage Simple Burner 或 MD Simple Burner，則現有軟體將與 SonicStage 共存。
  - 您仍然可以使用現有軟體註冊的音訊資料。作為一種預防措施，我們建議您對音訊資料進行備份。如欲備份資料，參考 SonicStage 說明中的“備份我的曲庫”。

    部分管理音樂資料的方式和傳統方式有所不同。欲知詳情，參考 SonicStage 說明中的“致 SonicStage 先前版本的使用者”。
- 若隨身聽是透過 USB 纜線連接至電腦，從隨身聽中切斷 USB 纜線連接，然後再安裝隨附的 CD-ROM 至電腦中。

續上頁 ⇩

1 關閉所有其他執行中的軟體。

安裝 SonicStage 軟體之前檢查下列項目，確定並沒有任何可執行的項目，因為這些軟體有可能會使安裝程式失敗。

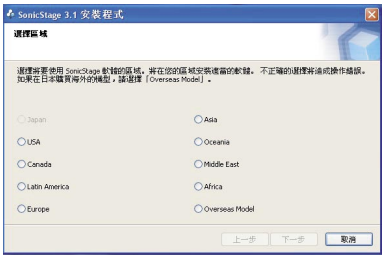
- 您是以“管理員”的身分登入（當使用 Windows 2000/Windows XP 的時候）。
- 正在執行病毒檢查軟體。（這些軟體通常需要大量的系統資源。）

2 將隨附的 CD-ROM 插入電腦的光碟機中。

安裝程式將自動啟動，且會出現安裝視窗。

3 當右邊的視窗出現時，點選您會使用 SonicStage 軟體的地區。

若未顯示任何視窗，繼續第 4 步。



4 點選“安裝 SonicStage”，然後按照顯示的說明進行。

請仔細閱讀說明。

視您的區域而定，“安裝 SonicStage”之外的按鈕可能不同於右圖所示。



根據系統環境的不同，安裝可能需要 20 至 30 分鐘。請確定只在安裝完成後才重新啟動電腦。

如果在安裝期間發生任何問題，請參閱“故障排除”（☞ 第 68 頁）。

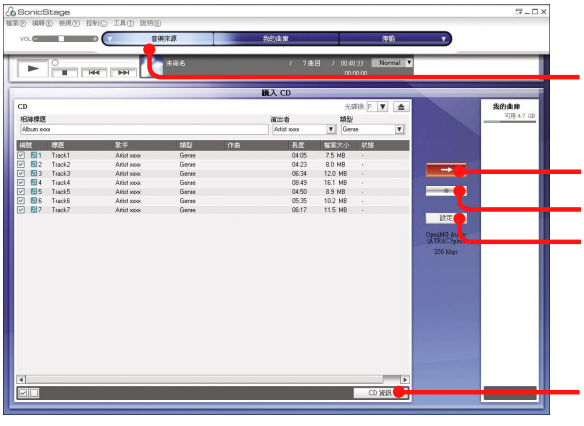
匯入音訊資料至電腦中

從音訊 CD 錄製和儲存（音訊資料）至電腦硬碟驅動器的 SonicStage“我的曲庫”中。

如欲自動取得光碟資訊（演出者姓名、曲目名稱等）先把電腦連接版至網際網路。

您可以從網際網路與電腦的硬碟（MP3 檔案）等其他來源錄製或匯入曲目。

請參閱 SonicStage 說明，以獲得詳細資料（☞ 第 73 頁）。



1 雙擊桌面上的 SonicStage（SonicStage）。
選擇“開始”–“所有程式”*–“SonicStage”–“SonicStage”。

SonicStage 將啟動。

如果使用較早版本的 SonicStage，安裝後第一次啟動 SonicStage 時，“SonicStage 檔案轉換工具”** 視窗將會出現。請按照視窗中的說明進行。

* 在 Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition 中，“程式集”。

** 此工具會將以 SonicStage 2.0 或更早版本匯入電腦的音訊檔案，轉換為最適於本隨身聽的資料格式（OpenMG），以便將音訊資料高速傳輸到隨身聽。



續上頁 ⇩

2 將要錄製的音訊 CD 插入電腦的光碟機中。

3 指出“▼ 音樂來源”的 ▼ 然後在功能選單中選擇“匯入 CD”。

音樂 CD 的目錄會出現在音樂來源清單中。

如果無法自動取得專輯標題、演出者姓名及曲目名稱等光碟資訊（☞ 第 21 頁）請將電腦連線至網際網路，然後點選視窗右側的“CD 資訊”，從 CDDB 中取得。

4 按一下 →。

開始錄製選定曲目。

若不希望錄製某些曲目，點選曲目編號，在 SonicStage 視窗中取消 ☑，然後再點選 →。

欲更改音訊 CD 錄音帶的格式和位元速率（☞ 第 21 頁）

按一下 SonicStage 視窗右邊的“設定”，顯示“CD 匯入格式[我的曲庫]”對話方塊，然後再點選第 4 步的 →。

預設值為 OpenMG Audio（ATRAC3plus）格式與 64 kbps 位元速率。

停止錄製

按一下 SonicStage 視窗上的 ▭。

註

只有具有 標記的音樂 CD 才能與 SonicStage 一起使用。我們並不保證可以正常操作防複製 CD。

續上頁 ⇩

什麼是 CD 資訊?

CD 資訊指的是有關音訊 CD 的資訊，例如專輯名稱、演出者姓名、曲目名稱等。使用 SonicStage，就可在插入音訊 CD 至電腦的 CD 光碟機後，透過網際網路免費而自動從 Gracenote CDDB（Gracenote Compact Disc DataBase，Gracenote CD 資料庫）服務取得 CD 資訊。

請注意，若 CD 並沒有在 CDDB 註冊的話，您就無法取得相關資料。

什麼是 ATRAC3/ATRAC3plus?

ATRAC3（Adaptive Transform Acoustic Coding3，自適應變換聲編碼 3）是一種符合高音質與高壓縮率要求的音訊壓縮技術。ATRAC3plus 是 ATRAC3 更新版本，可在 64 kbps 的速度下壓縮音訊檔案至原來體積的二十分之一。

什麼是格式和位元速率?

格式指的是錄音格式，例如 WAV 或 ATRAC3plus。

位元速率指的是每秒可處理的數據量。位元速率越高，越能提供高音質。可是，位元速率越高，就需要越多的容量來儲存數據。

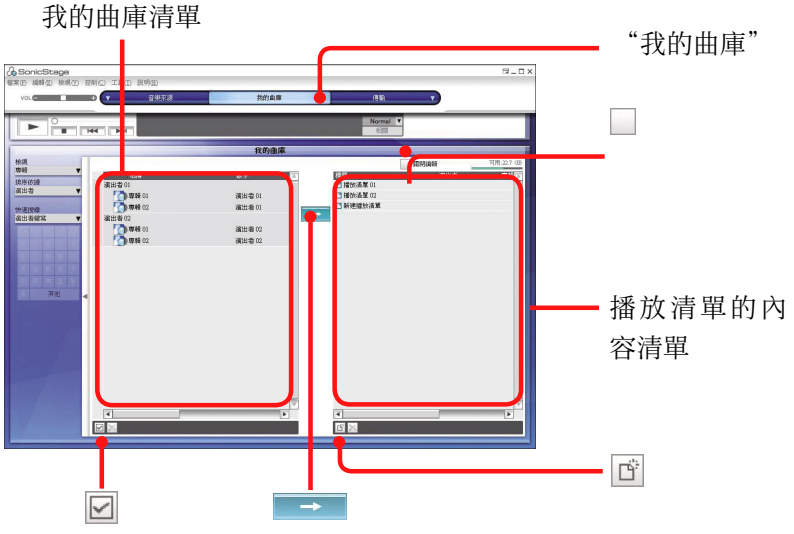
預設值為 OpenMG Audio（ATRAC3plus）格式與 64 kbps 位元速率。

如欲更改格式和位元速率點選 SonicStage 視窗右邊的“設定”。

利用 SonicStage 管理曲目

您可以在 SonicStage 的“我的曲庫”畫面中管理或編輯曲目。
您也可以透過最喜愛曲目或曲目主題分類曲目，以建立播放清單，並以專輯的方式管理之。
請參閱 SonicStage 說明，以獲得 SonicStage 詳細資料（☞ 第 73 頁）。

我的曲庫畫面



編輯播放清單

播放清單可播放您歸類的喜愛曲目，或以某個主題作分類的曲目，例如電影主題曲等。

1 點選“我的曲庫”。

畫面將轉換至我的曲庫。

2 點選 □（建立/編輯播放清單）。

主視窗將轉換至建立/編輯播放清單畫面。

3 從左邊的內容清單中選擇一首或多首曲目。

欲選擇多首曲目，按下“Ctrl”按鍵時點選曲目。
欲選擇內容清單中的所有曲目，點選 ☑（全選）。

續上頁 ⇩

4 從右邊清單選擇要加入的播放清單。

如欲在新的播放清單中加入曲目，點選 （新建播放清單）。
將建立空白的播放清單，並顯示在播放清單的內容清單中。您現在就可以為播放清單輸入命名。

5 按一下 。

選取的曲目將新增至右側的播放清單的內容清單中。

6 當您已加入所有喜愛的曲目後，點選 （關閉編輯）。

畫面將返回我的曲庫。

欲利用拖曳的方式新增曲目

您可以從左邊的我的曲庫清單，拖曳一首曲目至右邊的播放清單的內容清單中。在此情況下，曲目將增至清單中您放下它的位置上。 如果您拖曳整個專輯，新的清單將增加至清單的末端，整張專輯的曲目都會加至播放清單中。

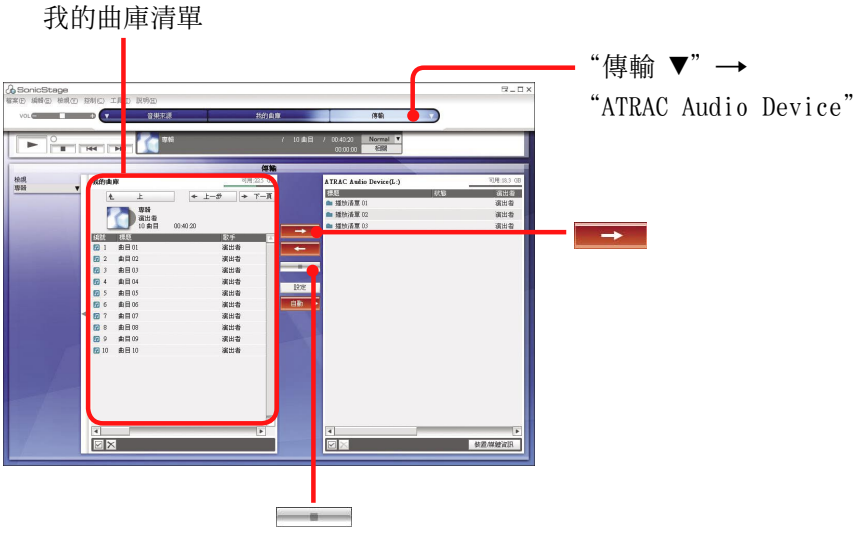
如欲檢查專輯或曲目的詳細資訊

SonicStage 視窗上，在欲檢查詳細資的專輯或曲目上右擊滑鼠，然後在功能表上選擇“內容”。
將顯示“專輯內容”視窗或“曲目內容”視窗。您可以在視窗中檢查和編輯資訊。您在“屬性”視窗中所編輯的內容將引用至我的曲庫畫面上。

把音訊資料傳輸至隨身聽

將儲存在電腦上的 SonicStage“我的曲庫”中的曲目（音訊資料），以 ATRAC3plus/MP3 格式傳輸到隨身聽。

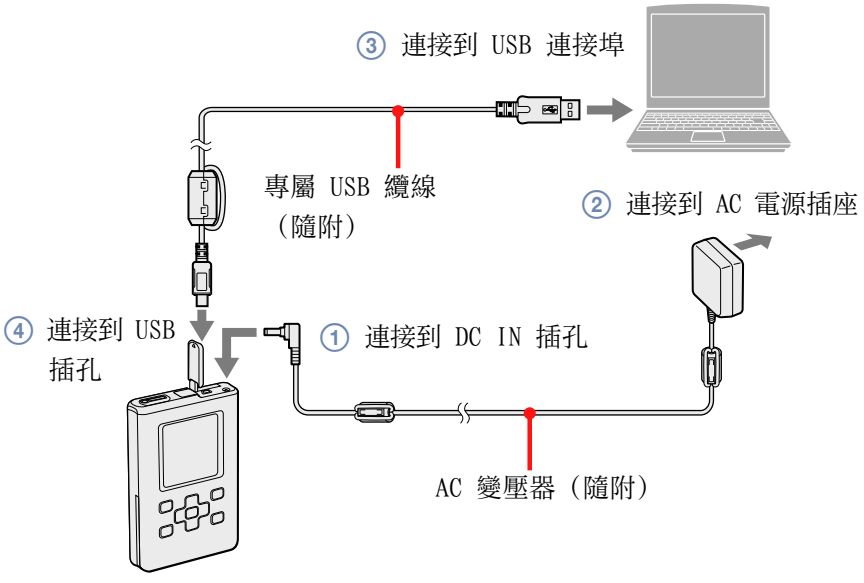
要傳輸的音訊資料包括 CD 資訊中演出者姓名與專輯名稱等。



1 根據下列順序從 ① 至 ④ 把隨身聽連接至電腦和 AC 變壓器上。

顯示幕上將出現“PC 連線”。

SonicStage 視窗中將會出現自動傳輸的設定顯示幕。請按照視窗中的說明進行。如需詳細資料，請參閱 SonicStage 說明（☞ 第 73 頁）。



續上頁 ⇩

2 指向 ▼，其為“傳輸 ▼”的一部分，然後選取清單中的“ATRAC Audio Device”。

畫面將轉換至另外一個視窗，顯示 SonicStage 傳輸到隨身聽的曲目。

3 點選 SonicStage 視窗左側“我的曲庫”清單中要傳輸的專輯。

如欲只傳輸選擇的曲目，點選您希望傳輸的曲目。欲選擇多首曲目或專輯，按下“Ctrl”按鍵時點選曲目或專輯。

您也可以把播放清單傳輸至隨身聽（最高可達 8,187 張播放清單，每張清單 999 首曲目）。

當您試圖傳輸的播放清單中，其中有一首曲目已傳輸至隨身聽中，將只傳輸這首曲目的播放清單資訊而已。

4 點選 →。

選定曲目後即開始傳輸。

您可以在 SonicStage 視窗上檢查傳輸狀態。

欲停止傳輸

按一下 SonicStage 視窗上的 ■。

註

- 請勿在傳輸音訊資料時容易發生振動的地方使用隨身聽。另外，請勿將隨身聽放在靠近磁性物體的地方。
- 傳輸數據時，不得中斷 USB 纜線，或從隨身聽中移除電池。否則，正在傳輸的資料可能會損毀。
- 使用 USB 集線器或 USB 延長線時不能保證隨身聽的效能。請永遠使用隨附的 USB 纜線，將隨身聽直接連接到電腦。
- 部分連接到電腦的 USB 裝置可能會干擾隨身聽的正常操作。
- 連接到電腦時，隨身聽上的控制鈕全部無法使用。如果在播放期間將隨身聽連接到電腦時，播放將停止，並且在隨身聽顯示幕上會出現“正在連線到 PC”字樣。

續上頁 ⇩

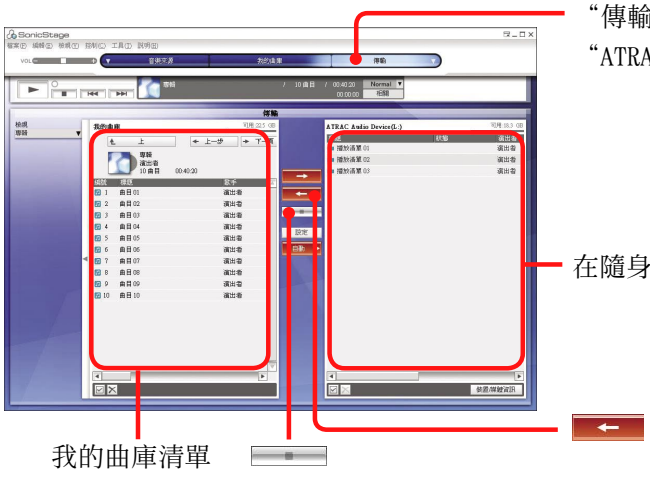
- 隨身聽上沒有足夠的可用空間來儲存要傳輸的音訊資料時，傳輸將會失敗。
- 曲目的傳輸次數可能會因版權之故而受限。
- 由於版權所有者設定的限制，可能無法傳輸限定播放時間或播放次數的曲目。
- 在傳輸期間，系統暫停、睡眠或休眠功能將無法操作。
- 視文字類型與字元數而定，SonicStage 輸入的文字可能不會在隨身聽上顯示。這是由於隨身聽的限制造成的。
- 如果隨身聽連接到已開機的電腦一段時間，或者在大量的資料傳輸到隨身聽之後，隨身聽可能會變熱。但是，這並不是故障。從 AC 變壓器上拔下隨身聽專用 USB 接線，並將隨身聽擱置一段時間。

  若您長時間將隨身聽傳熱的部分與身體相同部位保持接觸，即使隨身聽所散發的熱力溫度不高，也可能會引起低溫燒燙傷。避免隨身聽長時間與您的肌膚接觸，尤其當您的膚質是敏感性肌膚時。
- 當隨身聽硬碟空間不足時，即使已完全正確傳送音訊資料，“找不到資料庫”的訊息也可能會出現。

  在此情形下，再度把隨身聽連接至電腦， 然後把不必要的音訊資料傳送到電腦，以釋出隨身聽的可用空間。

將音訊資料傳回到電腦

音訊資料可以傳回到電腦上的 SonicStage“我的曲庫”。



1 將隨身聽連接到電腦（請參閱“將音訊資料傳輸到隨身聽”中 1 的步驟，☞ 第 24 頁）。

2 指向 ▼ 其為“傳輸 ▼”的一部分，然後從清單中選擇“ATRAC Audio Device”。

畫面將轉換至另外一個視窗，顯示隨身聽傳輸到 SonicStage 的曲目。

3 在 SonicStage 視窗右邊的“我的曲庫”清單中，點選要傳輸的專輯。

如欲只傳輸選擇的曲目，點選您希望傳輸的曲目。

欲選擇多首曲目或專輯，按下“Ctrl”按鍵時點選曲目或專輯。

4 點選 ← 。

選定專輯後即開始傳輸。

您可以在 SonicStage 視窗上檢查傳輸狀態。

續上頁 ⇩

欲停止傳輸

按一下 SonicStage 視窗上的  。

註

- 從另一台電腦傳輸到隨身聽的曲目無法傳輸到您電腦上“我的曲庫”中。
- 傳輸數據時，不得中斷 USB 纜線，或從隨身聽中移除電池。否則，正在傳輸的資料可能會損毀。

播放

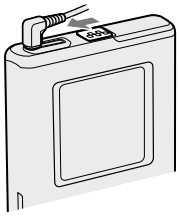
您可以利用 SonicStage，播放傳輸至隨身聽的曲目（☞ 第 19 頁）。
您可以將顯示幕上的功能表與訊息語言變更為您的母語（☞ 第 54 頁）。

1 把耳機連接至隨身聽的 ∩（耳機）/ LINE OUT 插孔。



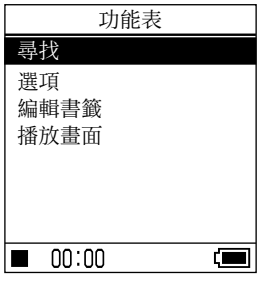
2 如圖示，朝箭頭方向滑動鎖住開關，以解除控制鈕。

所有按鈕都已解除鎖定。



3 按隨身聽的任何按鈕，除了 ▶II 之外。

功能表顯示幕將會出現。



4 按下 ⏮/⏭ 選擇“尋找”，然後按下 ▶II。

尋找顯示幕將會出現。



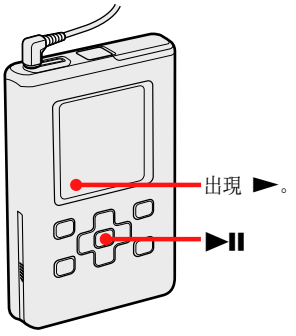
5 按下 ⏮/⏭ 選擇搜尋模式。

如欲搜尋曲目模式，按下 ⏭。

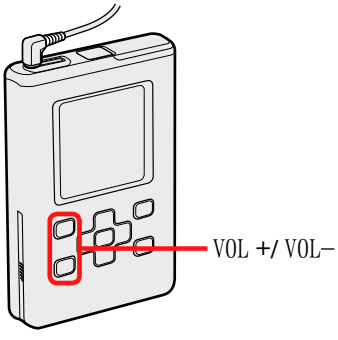
續上頁 ⇩

6 **按下 ►II。**

► 出現在顯示幕左下方，隨身聽開始播放。再次按下 ►II ，暫停播放。



7 **按下 VOL+/ VOL− 以調整音量。**



可播放哪種類型的音訊資料?

此隨身聽可以播放以 ATRAC3plus/MP3 格式壓縮的音訊資料。

可以播放的 MP3 檔案格式如下所示:

–MPEG-1 Audio Layer-3

–位元速率為 32 至 320 kbps(CBR/VBR)

–取樣頻率為 32/44.1/48 kHz

註

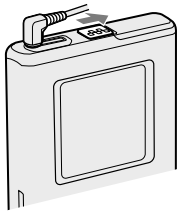
- 隨身聽無法播放的 MP3 格式檔案仍然可以傳輸至隨身聽中。
- 如果嘗試播放此隨身聽無法播放的 MP3 曲目，播放將會停止。按下 ⁝› 可選擇其他曲目。
- 使用可充電鋰電池時，如果隨身聽在停止模式下約 30 秒內沒有任何操作，顯示幕電源會自動關閉。捲動曲目標題等項目時，顯示幕電源會在捲動完成約 30 秒後關閉。
- 如果隨身聽沒有開始播放，請確認 HOLD 開關是否已設為關閉（☞ 第 31 頁）。

續上頁 ⇩

鎖定控制鈕（鎖定）

您可以鎖定控制鈕以免攜帶隨身聽時不小心按下按鈕。啟用鎖定功能後，如果按下任何按鈕，“鎖定”將在顯示幕上閃爍。

如圖示，朝箭頭方向滑動鎖住開關。



解除鎖定控制鈕

如上圖示，朝箭頭所示相反方向滑動鎖住開關。

基本播放操作（播放、停止、搜尋）

動作	操作
從隨身聽先前停止處開始播放	按下 ►II。可從先前停止處開始播放。
停止播放	按下 ■。
尋找目前曲目的起始處	按下 ⟨ 一次。
尋找上一首曲目的起始處*	重複按下 ⟨。
尋找下一首曲目的起始處*	按下 ⟩ 一次。
尋找後續曲目的起始處*	重複按下 ⟩。
倒轉	按住 ⟨。
快轉	按住 ⟩。

* 如果選擇了隨機播放或播放單元隨機播放（☞ 第 47 頁），則播放順序會有所不同。

關閉隨身聽電源

按住 ■ 直到顯示幕關閉。

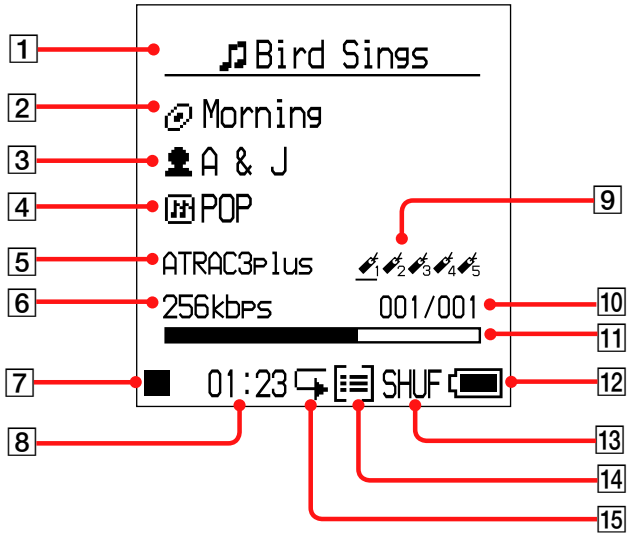
要重新開啟隨身聽電源，請按下任何按鈕。

續上頁 ⇩

在顯示幕上查看資訊

您可以在隨身聽顯示幕上查看音訊資料與播放狀態。

播放過程中的隨身聽顯示幕



1 曲目名稱
2 專輯名稱
3 演出者名稱
4 類別
5 ATRAC3/ATRAC3plus/MP3 (☞ 第 21 頁)
6 位元速率* (☞ 第 21 頁)
7 播放狀態
- ►:播放
- ■:停止
- ►►:快轉
- ◄◄:倒轉
- I◄◄ /►►I:尋找曲目的起始處

8 已播放時間
9 書籤 (☞ 第 39 頁)
10 曲目編號
11 播放進度列
12 電池的剩餘電力 (☞ 第 15 頁)
13 播放模式標示 (☞第 45 頁)、音效標示 (調整音量時, ☞ 第 52 頁)
14 機體指示燈 (☞ 第 48 頁)
15 重複 (☞ 第 49 頁)

* 如果 MP3 曲目支援 VBR(Variable Bit Rate, 變動位元速率), 此處所示的位元速率可能會與 SonicStage 軟體所示的速率不相符。

註

可以顯示從 A 到 Z、a 到 z、0 到 9 等字元以及各種符號 (/ 除外)。

選擇要播放的曲目（演出者、專輯、類別等）

透過搜尋隨身聽中的“演出者”或“專輯”等，您可選擇欲收聽的曲目。
欲知顯示詳情，請參閱“尋找顯示幕的檔案夾結構”（第 35 頁）。

1 按下 SEARCH/MENU。

尋找顯示幕將會出現。



2 按下 / 選擇搜尋模式。

若您按下 ▶II 任何其他模式，而不是“播放清單”或“首字母搜尋”模式，將開始播放。
例如，當您選擇“演出者”，將從您選擇的演出者第一個專輯、第一首曲目開始播放。
列在選定演出者之後的演出者所有專輯，將按曲目編號順序播放。

3 如欲搜尋更多曲目，按下 。

4 按下 選擇播放的項目，然後按下 ▶II。

播放會從選定曲目或選定項目（演出者或專輯等）的第一首曲目開始。列在選定項目後的所有曲目將按曲目編號順序播放。

續上頁 ⇩

返回尋找顯示幕

按下 SEARCH/⬬ MENU。

如欲返回功能表顯示幕

按住 SEARCH/⬬ MENU。

如欲返回播放畫面，選取選單中的“播放畫面”，然後再按 ▶II。

返回曲目清單

按下 ^/v。

在尋找顯示幕中停止播放

按下 ■。

一次捲動多個項目

在尋找顯示幕上快速按下 ^ 或 v 兩次，然後按住按鈕數秒。

顯示幕顯示的所有項目向上捲動時，會一次捲動好幾個項目。

當您按住 ^ 或 v 數秒後，項目捲動的速度會加快。

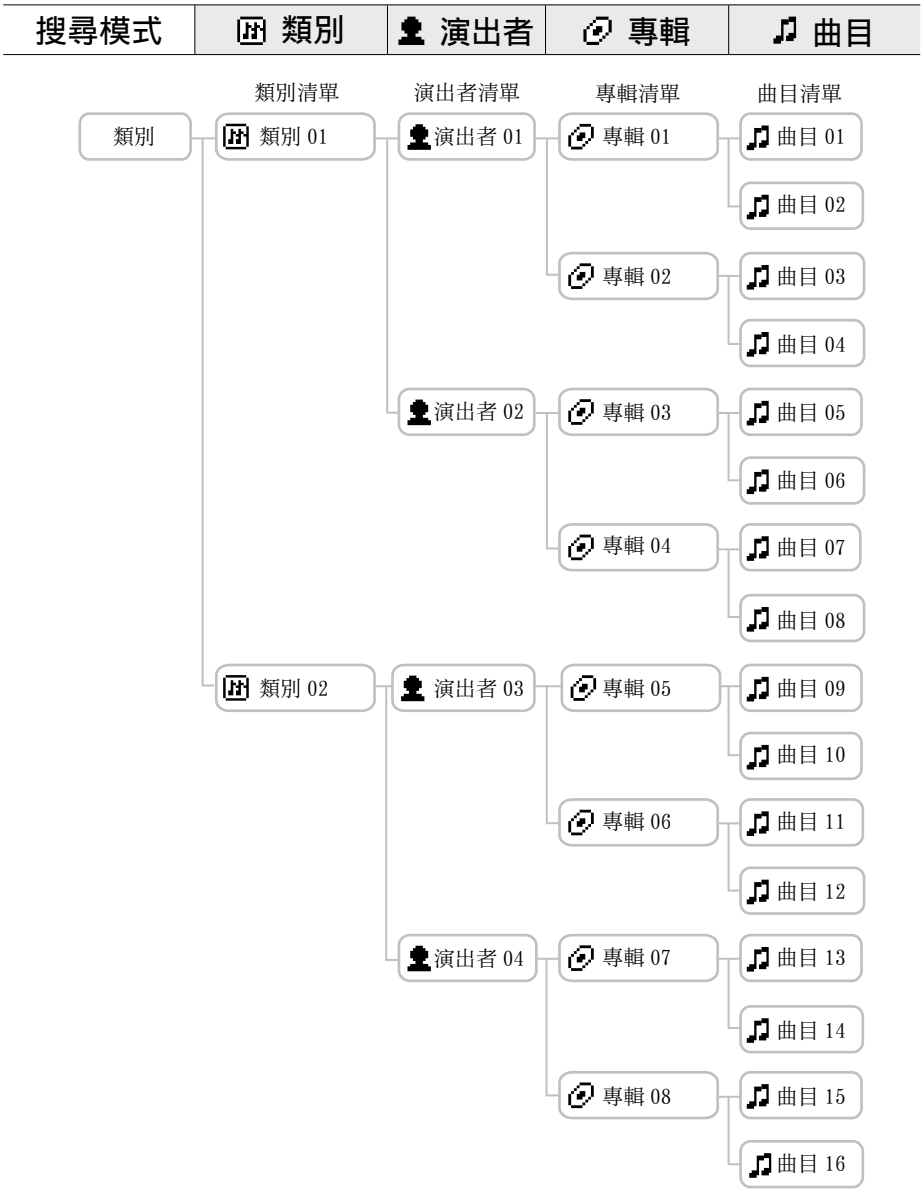
續上頁 ⇩

尋找顯示幕的檔案夾結構

尋找顯示幕中具備下列搜尋模式 - “演出者” - “專輯” - “曲目” - “類別” - “新曲目” - “首字母搜尋”和“播放清單”。類別、演出者、專輯和曲目的結構如下。

在演出者、專輯、曲目、類別、新類別的任何一個尋找顯示幕中，您可以按下 ▶II 開始播放曲目。

如欲從新曲目中選擇和播放曲目，見 ☞ 第 36 頁，欲從首字母搜尋，見 ☞ 第 36 頁，欲從播放清單，見 ☞ 第 38 頁。



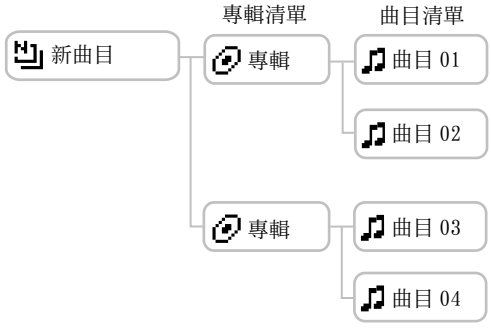
續上頁 ⇩

從“新曲目”

您可以從專輯中選擇最新傳輸至隨身聽的曲目（最後五次所作的傳輸）。

1 **在尋找顯示幕中選擇“新曲目”（在步驟 2，☞ 第 33 頁），然後按下 >。**

新曲目清單將出現。以下為“新曲目”的結構。



2 **按下 ^/v 選擇播放的項目，然後按下 ▶II。**

將從選擇的曲目或專輯第一首曲目開始播放。列在選定項目後的所有曲目將按曲目編號順序播放。

根據曲目的一個首字母選擇曲目（首字母搜尋）

您可以搜尋曲目名稱的一個英文字母來選擇曲目。
隨身聽將在 SonicStage 的 CD 資訊中搜尋曲目名稱。

1 **按下 SEARCH/MENU。**

尋找顯示幕將會出現。



續上頁 ⇩

2 按下 ⏮/⏭ 以便選擇“🔍 首字母搜尋”，然後按下 ▶II。

將顯示清單，然後再顯示選擇的英文字母。



3 按下 ⏮/⏭/◀/▶ 以選擇曲目名稱的英文字母，然後按下 ▶II。

以您選擇的英文字母作開始的曲目將出現在清單中。若沒有您所選擇的英文字母作開始的曲目，英文字母出現後將列出所有曲目。



4 按下 ⏮/⏭ 選擇播放的曲目，然後按下 ▶II。

將開始播放您所選擇的曲目。列在選定曲目後的所有曲目，將按曲目編號順序播放。

返回尋找顯示幕

按下 SEARCH/⬬ MENU。

如欲返回功能表顯示幕

按住 SEARCH/⬬ MENU。

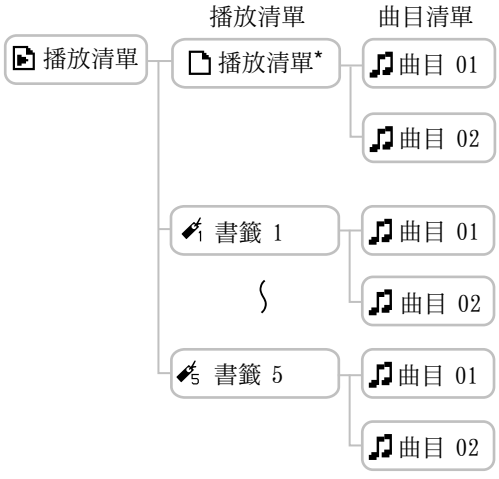
續上頁 ⇩

從“播放清單”

您可選擇利用 SonicStage 編輯的播放清單曲目或在隨身聽中以書籤類別登陸的曲目（書籤 1 至 書籤 5）。如欲在書籤中登陸曲目，見 ☞ 第 39 頁。

1 在尋找顯示幕中選擇“播放清單”（在步驟 2，☞ 第 33 頁），然後按下 ＞。

將顯示播放清單。以下為“播放清單”的結構。



* 在播放清單的內容清單中，將出現您在 SonicStage 所建立的播放清單名稱。

2 按下 ∧/∨ 選擇播放的項目，然後按下 ►II。

編輯隨身聽中的書籤

播放清單共有兩種，一種是 SonicStage 中的播放清單，另一種是隨身聽中的播放清單。隨身聽中的播放清單包括 SonicStage 中建立的播放清單，以及在隨身聽中建立的書籤類別。欲知播放清單的結構，見 ☞ 第 38 頁。您只能利用建立播放清單的器材來編輯播放清單。隨身聽中建立的書籤類別，無法在 SonicStage 中編輯或顯示。

在書籤中登錄曲目（播放書籤中的曲目）

您可以在書籤中登錄喜愛的曲目。如欲播放登錄曲目，在尋找顯示幕中選擇“播放清單”（☞ 第 33 頁）。

1 播放曲目時，如果您要登錄該曲目至書籤中，按住 ^。

“書籤”顯示幕將會出現。



2 在曲目登錄之處，按下 ^ / v 選擇書籤類別，然後按下 ►II。

“已設有書籤”以及書籤編號（設有已登錄書籤的曲/可用的書籤數目）將會出現，隨後書籤圖示將會亮起。

3 如果要將書籤新增到兩個或兩個以上的曲目，請重複步驟 1 和 2。

您可以在每個書籤上登錄最多 100 首曲目。

續上頁 ⇩

如欲播放登錄在書籤中的曲目

1 按下 SEARCH/ MENU。
尋找顯示幕將會出現。
2 按下 / 選擇“ 播放清單”，然後按下 ▶II。
3 按下 / 選擇“ 書籤”，然後按下 。
當在此步驟按下 ▶II 而不是 ，將從選取的書籤第一首曲目開始播放。
4 按下 / 選擇 曲目， 然後按下 ▶II。
播放顯示幕的書籤圖示下方會畫線。

移除書籤

播放曲目時，如果您要移除該曲目的書籤，按照上述步驟操作，並且按住 。
將顯示“已清除書籤”，書籤圖示也會從顯示幕中消失。

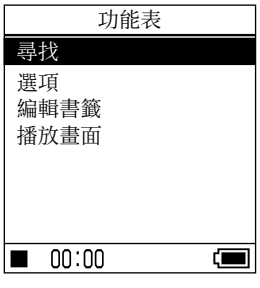
註

- 您只能在播放的時候把曲目登錄至書籤中。
- 您只能在播放曲目的時候，按照上述步驟移除書籤。

在書籤中重新安排曲目的順序

您可以重新安排某個書籤類別中的曲目順序。

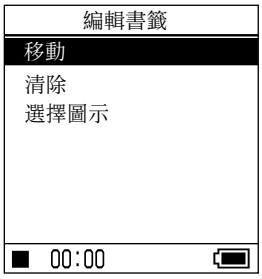
1 按住 SEARCH/ MENU。
“功能表”顯示幕將會出現。



續上頁 ⇩

2 **按下 ⏮/⏭，選擇“編輯書籤”，然後按下 ▶II 或 ⏵。**

編輯書籤顯示幕將會出現。



3 **按下 ⏮/⏭ 選擇“移動”，然後按下 ▶II 或 ⏵。**

書籤清單將會出現。



4 **按下 ⏮/⏭ 選擇要編輯的書籤，然後按下 ▶II 或 ⏵。**

將顯示選取書籤類別的曲目清單。



5 **按下 ⏮/⏭ 選擇要移動的的曲目，然後按下 ▶II。**

選取的曲目將會閃爍。

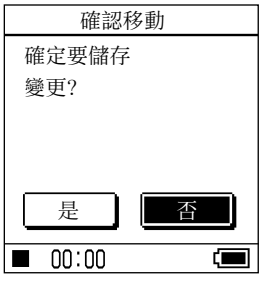
6 **按下 ⏮/⏭ ，選擇要移動曲目到哪一個位置，然後按下 ▶II。**

在步驟 5 所選取的曲目將移動至步驟 6 所選取的位置。

如欲移動其他曲目，重複步驟 5 和 6。

7 **按下 ⏵ 或 ■。**

將出現確認對話方塊。



續上頁 ⇩

8 **按下 ＜/＞ 選擇“是”，然後按下 ▶II 。**

“變更已儲存。”將出現在隨身聽的顯示幕中。

若選擇“否”，將取消編輯播放清單，隨身聽將返回編輯書籤顯示幕中。

清除已登錄至書籤的曲目

您可以清除已登錄至書籤類別的曲目。

1 **在步驟 3 說明“在書籤中重新安排曲目的順序”，選擇“清除”（☞ 見第 40 頁），然後按下 ▶II 或 ＞。**

清除顯示幕將會出現。



2 **按下 ∧/∨，選擇“♫ 曲目”或“♪ 書籤”，然後按下 ▶II。**

書籤清單將會出現。



3 **按下 ∧/∨ 選擇書籤，然後按下 ▶II 或 ＞。**

當選擇步驟 2 中的“曲目”時，將顯示曲目清單。

當選擇步驟 2 中的“書籤”時，繼續步驟 6。



續上頁 ⇩

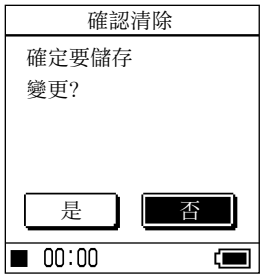
4 按下 ^/v 選擇要清除的曲目，然後按下 ▶II。

選取的曲目將從清單中移除。

如欲從一個書籤中清除多首曲目，重複本步驟。

5 按下 > 或 ■。

將出現確認對話方塊。



6 按下 < / > 選擇“是”，然後按下 ▶II。

“變更已儲存。”將會出現，隨身聽將返回編輯書籤顯示幕中。

當您已選取步驟 2 中的“ 書籤”時

“確定要清除所有已設有書籤的曲目？”將出現在顯示幕中。選擇“是”。

若在此步驟選擇“否”，將取消編輯書籤，隨身聽將返回編輯書籤顯示幕。

一次捲動多個項目

快速按下“重新安排書籤中曲目的順序”（☞ 第 40 頁）或 “清除已登錄至書籤的曲目”（☞ 第 42 頁）所列出的曲目清單里，顯示的 ^ 或 v 兩次，然後按住按鈕數秒鐘。

顯示幕顯示的所有項目向上捲動時，會一次捲動好幾個項目。

當您按住 ^ 或 v 數秒後，項目捲動的速度會加快。

註

在播放或暫停曲目時，無法編輯已登錄書籤的曲目。

續上頁 ⇩

變更書籤圖示

您可選擇出現在已設有書籤曲目的書籤圖示。為每一個書籤分別設定不同的書籤（書籤 1 至 5），讓您更能方便管理曲目。

1 在步驟 3 說明“在書籤中重新安排曲目的順序”，選擇“選取圖示”（☞ 第 40 頁），然後按下 ►II 或 ›。

將出現選取圖示顯示幕。



2 按下 ^/v 選取您想要變更圖示的書籤類別，然後按下 ►II。

將出現選取圖示顯示幕。



3 按下 ^/v/</› 選擇圖示，然後按下 ►II。

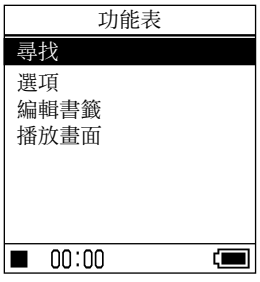
所選取的圖示將與已設有書籤的曲目一起出現。

變更播放選項（播放模式）

您可以使用各種播放選項（播放模式），例如選擇要聽的歌曲，以及利用隨機的方式播放歌曲。
欲知播放選項和播放範圍的詳情，見“播放選項”（☞ 第 47 頁）。
您也可以隨機播放曲目（☞ 第 47、49 頁）或利用選取的播放選項重複播放曲目（重複播放，☞ 第 49 頁）。

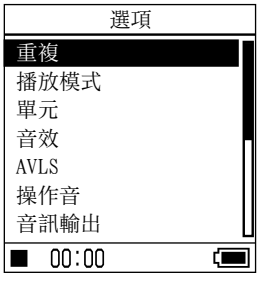
1 按住 SEARCH/⬬ MENU。

“功能表”顯示幕將會出現。



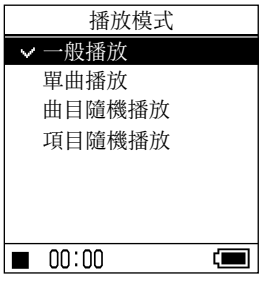
2 按下 ⏮/⏭ 選擇“選項”，然後按下 ▶II。

選項顯示幕將會出現。



3 按下 ⏮/⏭ 選擇“播放模式”，然後按下 ▶II。

播放模式清單將出現。



續上頁 ⇩

4 按下 ^/v 選擇播放模式，然後按下 ▶II。

預設值為“一般播放”（一般播放）。

5 按下 SEARCH/⬬ MENU 顯示尋找顯示幕，然後選取要播放的搜尋類別（☞ 第 33 頁）。

如欲縮小搜尋類別的選擇範圍，按下 >。

6 按下 ▶II。

將依照選定的播放選項開始播放。

取消設定

按下 ■ 返回“選項”顯示幕。

返回一般播放

在步驟 4 中，選擇“一般播放”。

如欲返回功能表顯示幕

按住 SEARCH/⬬ MENU。

註

當您變更播放模式時，播放單元（☞ 第 48 頁）亦會變更為隨身聽中錄製的所有曲目。如果僅要播放播放單元中的曲目，請在尋找顯示幕中選擇項目（演出者、專輯、曲目等）。

續上頁 ⇩

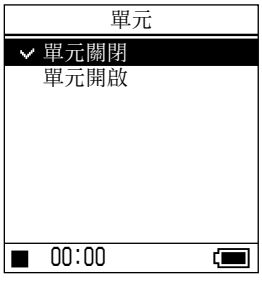
播放選項（播放模式）

隨身聽顯示幕/圖示	說明
一般/無圖示 （一般播放）	選定項目之後的所有曲目將按曲目編號順序播放一次。 如果選擇曲目以外的項目（專輯、演出者等），會從項目的第一首曲目開始，按照曲目編號順序將所有曲目播放一次。
單曲播放/ 1 （單一播放）	選定曲目只播放一次。 如果選擇曲目以外的項目（專輯、演出者等），則只有第一首曲目會播放一次。
曲目隨機播放/SHUF	隨機播放一次錄製的所有曲目。
項目隨機播放/SHUF	所有專輯將以隨機的方式播放一次（專輯隨機播放）。專輯中播放的順序就是曲目編號的順序。當“單元”設定為“單元開啟”（☞ 第 47 頁），曲目將以單元隨機播放的方式播放（☞ 第 49 頁）。

在選取的搜尋類別中播放曲目（單元播放）

1 在步驟 3 說明“變更播放選項”中選取“單元”（☞ 第 45 頁），然後按下 ►II。

“單元”顯示幕將會出現。



2 按下 ^/v 選擇“單元開啟”，然後按下 ►II。

續上頁 ⇩

3 按下 SEARCH/– MENU 顯示尋找顯示幕，然後選取要播放的搜尋類別（☞ 第 33 頁）。

4 按下 ▶II。

單元將根據曲目編號順序開始播放。

什麼是單元（播放搜尋類別）？

播放開始時，選取項目中的所有項目（演出者、專輯、曲目等）均稱為“單元”。

例如 當選取“類別 01”後開始播放

單元中的曲目 01 至 08 將成為一個單元。

當選取“演出者 02”後開始播放

單元中的曲目 05 至 08 將成為一個單元。



註

- 當您把“單元開啟”轉換至“單元關閉”，或從“單元關閉”轉換至“單元開啟”，單元將重新設定，以便包含隨身聽的所有曲目。
- 當您在步驟 3 選擇一首曲目作為播放時的搜尋類別，內含這首曲目的專輯將被設定為單元。

續上頁 ⇩

在單元中的曲目隨機播放（當“單元”設定為“單元開啟”時所進行的“隨機播放曲目”播放模式）

若在選項顯示幕中把“單元”設定至“單元開啟”，一旦開始播放後，所有列在單元的項目（演出者、專輯、曲目）都將以隨機播放的方式播放。

在單元中的“隨機播放項目”（當“單元”設定為“單元開啟”時所進行的“隨機播放項目”播放模式）

若在選項顯示幕中把“單元”設定至“開啟單元”，單元中第一層項目將以隨機播放的方式播放。單元中播放的順序就是曲目編號的順序。

註

- 當您在尋找顯示幕中選取“♫ 曲目”，並以隨機模式開始播放，隨身聽中所有曲目將以隨機的方式播放，不論您已設定了。“單元開啟/關閉”或“曲目/項目隨機”模式。
- 當您在尋找顯示幕中選取“播放清單”，然後再選取“播放清單”或“書籤”以隨機模式開始播放時，隨身聽播放清單中所有曲目將以隨機的方式播放，不論您已設定了“單元開啟/關閉”或“曲目/項目隨機”模式。

重複播放曲目（重複播放）

根據選舉的播放選項 ☞ 第 47 頁，將重複播放曲目。

1 在步驟 3 說明“變更播放選項”中選取“重複”（☞ 第 45 頁），然後按下 ▶II。

“重複”顯示幕將會出現。



2 按下 ⏮/⏭ 選擇“重複開啟”，然後按下 ▶II。



出現。

續上頁 ⇩

3 **按下 SEARCH/MENU ⬬ 顯示尋找顯示幕，然後選取要播放的搜尋類別（☞ 第 33 頁）。**

4 **按下 ▶II。**

播放會依照選定的播放選項開始。

在隨身聽操作的任何時刻取消設定

按下 ■ 返回“選項”顯示幕。

如欲取消重複播放

在步驟 2 中，選擇“重複關閉”。

返回尋找顯示幕

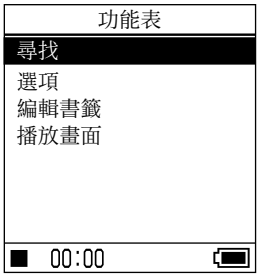
按下 SEARCH/⬬ MENU。

變更音效品質與設定

如需各項設定的詳細資訊，☞ 請參閱第 52 頁。

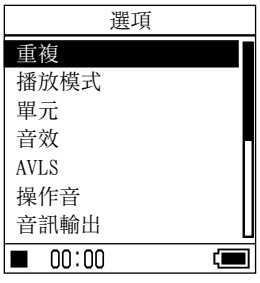
1 按住 SEARCH/● MENU。

“功能表”顯示幕將會出現。



2 按下 ^/v 選擇“選項”，然後按下 ►II。

選項顯示幕將會出現。



3 按下 ^/v 選擇選項，然後按下 ►II。

變更音效品質

步驟 3 之後，按下 ^/v 選擇“音效”（☞ 第 52 頁），然後按下 ►II。

返回前一個顯示幕

按下 <。

如欲取消設定

按下 ■ 返回“選項”顯示幕。

如欲返回功能表顯示幕

按住 SEARCH/● MENU。

續上頁 ⇩

為音效品質和顯示幕設定項目

項目	選項（●：預設值）		
音效	●音效關閉		以一般音效品質播放曲目。
	VPT 音效引擎 1)2)	錄音室(VS)	重現錄音室音效。
		現場表演(VL)	重現音樂廳音效。
		俱樂部(VC)	重現舞廳音效。
		舞台(VA)	重現運動場音效。
	6 段等化器 1)2)	強勁(SH)	以強勁的音效播放曲目，進一步以流行音樂的方式強調高與低音頻範圍。
		流行(SP)	以聲樂音效播放曲目，加強中音。
		爵士(SJ)	以輕快音效播放曲目，強調高音與低音。
		獨特(SU)	以特殊音效播放曲目，相對中音而言，更強調高音與低音。
		自訂 1(S1)	以自訂音效播放曲目（請參閱 ☞ 第 55 頁以獲得詳細資料）。
		自訂 2(S2)	
	數位音效預設值 2)	自訂 3(S3)	以預設高音與低音音效播放曲目（請參閱 ☞ 第 56 頁以獲得詳細資料）。
		自訂 4(S4)	

1) 這些設定僅在播放 ATRAC3plus 音訊曲目時有效。播放 MP3 音訊曲目時，這些設定無效。

2) 顯示幕上的音效設定以括號中的字母顯示（☞ 第 32 頁）。

續上頁 ⇩

項目	選項（●：預設值）	
AVLS [1]	●AVLS 關閉	將會變更音量而不限制音量。
	AVLS 開啟	限制最大音量，以保護您的聽覺。
操作音	●操作音開啟	操作隨身聽時會發出操作音。
	操作音關閉	操作音已關閉。
音訊輸出	●耳機	連接隨附的耳機時選擇此選項。
	線路輸出	使用音源線連接其他裝置（如揚聲器）時，選擇此選項（☞ 第 58 頁）。
背光 [2]	●10 秒	當您按下按鈕或在捲動時，背光燈將根據選取的時間亮起。
	30 秒	
	永遠關閉	背光燈已關閉，以便省電。
對比 [3]	●中間值	顯示幕使用一般亮度。如果隨身聽機身為黑色，則預設值為左起第二個。
	– 至 +	向 – 方向調整，可使顯示幕變亮，向 + 方向調整，可使用顯示幕變暗。在任何顯示幕中按下 SEARCH/MENU 後，當按下 時，等級將設定為中間值。
畫面反轉顯示	●反白	字元與圖示顯示為白色，背景為黑色。
	一般	字元與圖示顯示為黑色，背景為白色。

1)AVLS 是 Automatic Volume Limiter System（自動音量限制系統）的縮寫。

2)背光燈關閉時，按下 VOL+/VOL– ，就能把它再度打開。

3)在按下 SEARCH/MENU 的同時按下 ，所有設定將回復至原廠設定。

續上頁 ⇩

項目	選項（●：預設值）	
畫面顯示方向	●垂直	把顯示幕垂直固定。
	自動	利用重力加速感應器[1]來自動調整顯示幕指示功能。當您開啟隨身聽時，顯示幕的指示將固定在適當的位置。
	右	把顯示幕捲動至左邊，方便右手操作隨身聽。
	左	把顯示幕捲動至右邊，方便左手操作隨身聽。
語言	日本語	訊息與功能表以日文顯示。
	●English	訊息與功能表以英文顯示。
	Français	訊息與功能表以法文顯示。
	Deutsch	訊息與功能表以德文顯示。
	Italiano	訊息與功能表以義大利文顯示。
	Español	訊息與功能表以西班牙文顯示。
	簡体中文 [2]	訊息與功能表以簡體中文顯示。
	繁體中文 [2]	訊息與功能表以繁體中文顯示。
	한글 [2]	訊息與功能表以韓文顯示。
初始化系統 [3]	原廠設定	功能表所有設定都已設定為原廠設定（☞ 第 60 頁）。
	初始化硬碟機	隨身聽上所有數據都已清除（☞ 第 62 頁）。
	更新韌體	更新隨身聽的韌體（☞ 第 64 頁）[4]。

1)重力加速感應器的功能是感應隨身聽的方向。

2)視您使用隨身聽的國家/地區而定，上述語言可能不會顯示。

3)您無法在播放或暫停時重新進行設定。

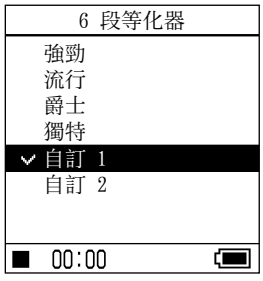
4)目前尚未適用本功能。請等待發布新資訊。

續上頁 ⇩

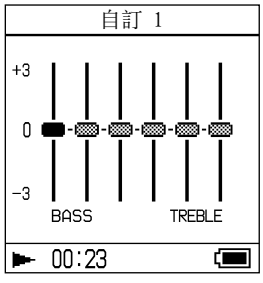
自訂音效品質（6 段等化器 – 自訂）

透過在顯示幕上檢查設定，可分別調整每種頻率範圍的音效品質。

1 **在步驟 3 說明“變更音效品質與設定”中選取“音效”之後（☞ 第 51 頁），選取“6 段等化器”，然後按下 ►II。**

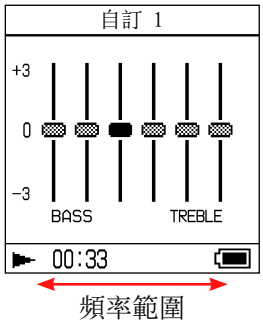


2 **按下 ^/v 選取“自訂 1”或“自訂 2”，然後按下 ►II。**



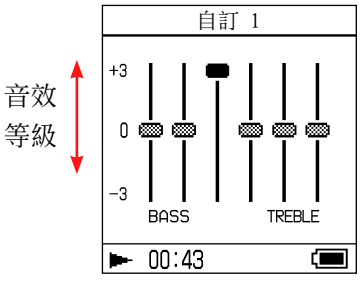
3 **按下 </> 選取頻率範圍。**

有六種頻率範圍可供選擇。



4 **按下 ^/v 選取音效等級。**

可選擇的音效等級有七種。



續上頁 ⇩

5 **重複步驟 3 與 4 以調整其他頻率範圍。**

6 **按下 ▶II。**

隨身聽將返回 6 段等化器顯示幕。

如欲取消設定

按下 ■ 返回“6 段等化器”顯示幕。

如欲返回功能表顯示幕

按住 SEARCH/⬬ MENU。

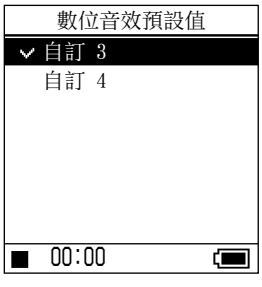
註

- 如果音量調高後造成聲音失真，請調低音量。
- 如果覺得“自訂 1”或“自訂 2”音效設定與其他音效設定之間的音量有所不同，請根據您的喜好調整音量。
- 播放 MP3 音訊曲目時，這些設定無效。

調整高音與重低音（預設數位音效）

您可以根據個人喜好預設高音與低音等級。在查看顯示幕的同時調整加強設定。

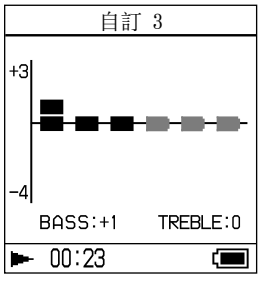
1 **在步驟 3 說明“變更品質與設定”中選取“音效”之後（☞ 第 51 頁），選取“數位音效預設值”，然後按下 ▶II。**



2 **按下 ^/v 選取“自訂 3”或“自訂 4”，然後按下 ▶II。**

預設值

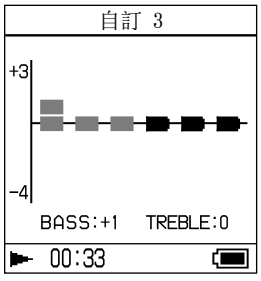
音效品質	自訂 3(S3)	自訂 4(S4)	關閉（一般音效）
BASS	+1	+3	±0
TREBLE	±0	±0	±0



續上頁 ⇩

3 **按下 ⟨/⟩ 選取“Treble”或“Bass”。**

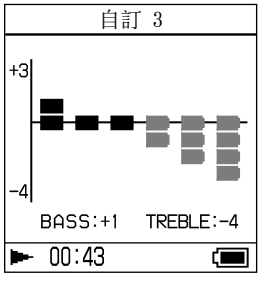
您可以調整高音與低音的音效品質。



4 **按下 ⌒/⌒ 選取音效等級。**

可選擇的音效等級有八種。

音效品質	加強等級
BASS	−4 至 +3
TREBLE	−4 至 +3



5 **按下 ▶II。**

畫面返回數位音效預設值。

如欲取消設定

按下 ■ 返回數位音效預設值顯示幕。

如欲返回功能表顯示幕

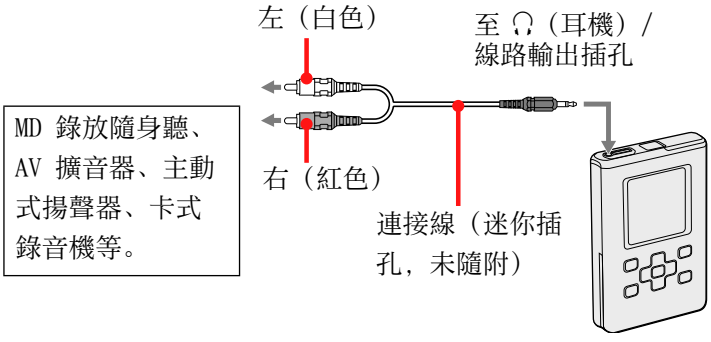
按住 SEARCH/⬬MENU。

註

- 高音與低音分別出現在“自訂 3”或“自訂 4”圖表的左右兩端。您不能分別調整高音與低音之間的等級，因為所有等級與高低音等級相連結，將會自動變更。
- 如果音量調高後造成聲音失真，請調低音量。
- 如果覺得“自訂 3”或“自訂 4”音效設定與其他音效設定之間的音量有所不同，請根據您的喜好調整音量。

連接其他裝置

您可以透過立體聲音響來聆聽曲目，並可將隨身聽上的曲目錄製到 MD 或錄音帶中。請參閱要連接的裝置所隨附之使用說明書。
請務必關閉所有裝置電源，然後按以下所述進行連接並變更設定。



您必須變更“選項”顯示幕中的“音訊輸出”設定，才能將音效輸出到連接的裝置。“音訊輸出”的設定如下所示。要進行設定，請參閱 ☞ 第 51 頁。

連接裝置	設定
耳機	耳機
使用連接線連接的裝置	線路輸出

連接另一個裝置時，請將其設定為“線路輸出”。設定為“線路輸出”時，無法調整音量，“音效”中的設定無法使用且不起作用。

註

- 將隨附的耳機連接到隨身聽時，請勿將“音訊輸出”設定為“線路輸出”。如果將其設定為“線路輸出”，就無法調整音量，且聲音會失真並伴有雜音。
- 播放前，請將連接裝置的音量調低，以免損壞連接的揚聲器。

儲存音訊檔案以外的資料

您可以使用 Windows Explorer 檔案總管，將資料從電腦的硬碟傳輸到隨身聽的內建硬碟中。
隨身聽的內建硬碟在 Windows Explorer 中會顯示為外接式磁碟機（卸除式儲存裝置）。

註

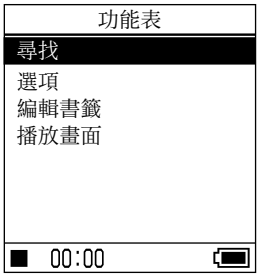
- 使用 Windows 檔案總管操作隨身聽的硬碟時，請勿使用 SonicStage。
- 使用檔案總管傳輸到隨身聽的 WAV 與 MP3 檔案將無法播放， 請使用 SonicStage 進行傳輸。
- 請勿在傳輸資料時拔下 USB 纜線。否則，正在傳輸的資料可能會損毀。
- 請勿在電腦上初始化隨身聽硬碟。

重設至原廠設定

將“功能表”顯示幕中的所有設定重設為原廠設定。

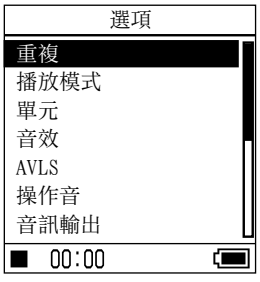
1 隨身聽停止操作時，按住 SEARCH/MENU。

“功能表”顯示幕將會出現。



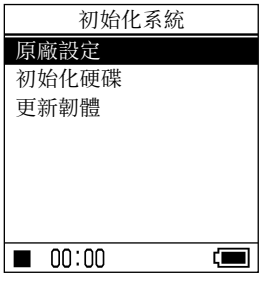
2 按下 / 選擇“選項”，然後按下 ►II。

選項顯示幕將會出現。



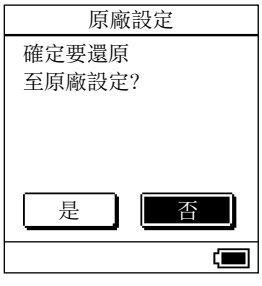
3 按下 / 選擇“初始化系統”，然後按下 ►II。

將出現初始化系統顯示幕。



4 按下 / 選擇“原廠設定”，然後按下 ►II。

“原廠設定”顯示幕將會出現。



續上頁 ⇩

5 按下 ⏮/⏭ 選擇“是”，然後按下 ▶II。

將出現訊息，然後隨身聽將再返回初始化系統顯示幕。

如欲取消設定

按下 ■。您也可以在步驟 5 選取“否”，然後按下 ▶II。
隨身聽將返回格式顯示幕。

註

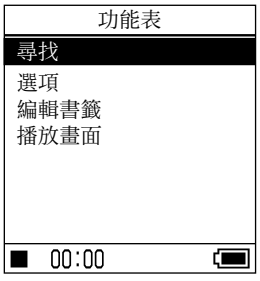
您無法在播放時重設為原廠設定。

初始化硬碟

您可以初始化隨身聽的內建硬碟。如果初始化硬碟，其中儲存的所有音訊資料及其他資料均會清除。請務必在初始化之前檢查硬碟中儲存的資料。

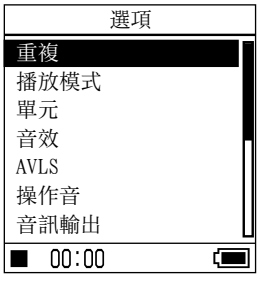
1 **隨身聽停止操作時，按住 SEARCH/⬬ MENU。**

“功能表”顯示幕將會出現。



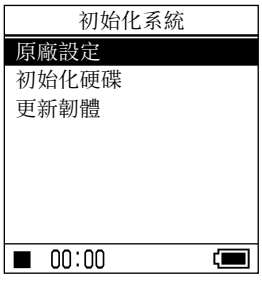
2 **按下 ⏮/⏭ 選擇“選項”，然後按下 ▶II。**

選項顯示幕將會出現。



3 **按下 ⏮/⏭ 選擇“初始化系統”，然後按下 ▶II。**

將出現初始化系統顯示幕。



4 **按下 ⏮/⏭ 選擇“初始化硬碟”，然後按下 ▶II。**

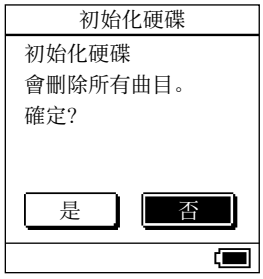
將出現初始化硬碟顯示幕。



續上頁 ⇩

5 **按下 ＜/＞ 選擇“是”，然後按下 ▶II。**

將出現確認對話方塊。



6 **按下 ＜/＞ 選擇“是”，然後按下 ▶II。**

將出現訊息，然後隨身聽將再返回初始化系統顯示幕。

如欲取消設定

按下 ■。您也可以在步驟 6 選取“否”，然後按下 ▶II。
隨身聽將返回初始化系統顯示幕。

註

- 請勿在電腦上初始化隨身聽硬碟。
- 您無法在播放時格式化硬碟。
- 如果初始化隨身聽，所有音訊資料及音訊資料以外的檔案均會刪除。
- 如果曲目因初始化而被清除，在將隨身聽連接到電腦時，SonicStage 會將這些曲目視為要傳回到電腦的曲目。因此，剩餘可傳輸數會自動增加。

解除 SonicStage 的安裝

按照下列步驟，解除 SonicStage 的安裝。

1 點選“開始”–“控制台”。*

* 在 Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition 中，則為“設定”–“控制台”

2 雙擊“新增/移除程式”。

3 在“最近安裝的程式”清單中，點選“SonicStage 3.1”，然後點選“變更或移除程式”。*

根據顯示的說明移除程式，然後重新啟動電腦。電腦重新啟動之後，就已解除程式安裝。

* 若是 Windows 2000 Professional 的話，則是“變更/移除程式”，若是 Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition 的話，則是“新增/移除”

註

當您安裝 SonicStage 版 3.1 時，也將同時安裝 OpenMG Secure Module 4.1。不要刪除 OpenMG Secure Module 4.1 ，因為其他軟體可能也會用到它。

故障排除

如果隨身聽發生故障，請嘗試下列解決方法。

1 移除電池並再次插入。
2 檢查“故障排除”中的症狀。
3 在使用 SonicStage 時，檢查 SonicStage 說明中所列出的症狀。
4 若檢查上述參考後仍無法解決問題，檢查下列表格，然後就近咨詢 SONY 的經銷商。

電源

問題	起因與/或更正措施
電池壽命過短	➔ 操作溫度低於 5°C。這是因為電池特性，不是故障。 ➔ 您已長期未使用隨身聽。重複充電與放電即可改善電池效能。 ➔ 電池組的壽命也許已耗盡。重新裝置新的電池組。 ➔ 電池充電時間不足。一直充電直到顯示幕出現 。

續上頁 ⇩

音效

問題	起因與/或更正措施
無聲音。 聽到雜音。	➔ 音量設定為零。調高音量（☞ 第 30 頁）。 ➔ 未正確連接耳機插頭。將之妥善連接至 🎧（耳機）/LINE OUT 插孔（☞ 第 29 頁）。 ➔ 耳機插頭髒了。使用柔軟的乾布清潔耳機插頭。 ➔ 硬碟中未儲存音訊資料。
音量無法增加。	➔ “AVLS”設定為“AVLS 開啟”。將其設定為“AVLS 關閉”（☞ 第 53 頁）。
耳機的右聲道無聲音。	➔ 未正確連接耳機插頭。將之妥善連接至 🎧（耳機）/LINE OUT 插孔（☞ 第 29 頁）。
無法調整音量。	➔ “音訊輸出”設定為“線路輸出”。使用連接裝置上的音量控制鈕調整音量，或將“音訊輸出”設定為“耳機”（☞ 第 53 頁）。
使用與立體聲音響連接的隨身聽時，聲音失真或有雜音。	➔ “音訊輸出”設定為“耳機”。請將其設定為“線路輸出”（☞ 第 53 頁）。

續上頁 ⇩

操作/播放

問題	起因與/或更正措施
按鈕不起作用。	➔ 按鈕已鎖定。把 HOLD 開關往反方向滑動（☞ 第 31 頁）。 ➔ 發生濕氣凝結。（若隨身聽是直接從寒冷的地方帶至溫暖的地方，濕氣可能會在隨身聽內凝結。）將隨身聽擱置幾小時，直至濕氣蒸發。 ➔ 剩餘電池電力不足。請為電池充電（☞ 第 13 頁）。
播放突然停止。	➔ 剩餘電池電力不足。為電池充電（☞ 第 13 頁）。 ➔ 如果嘗試播放此隨身聽無法播放的 MP3 曲目，播放將會停止。按下 ⏭ 選擇其他曲目（☞第 30 頁）。 ➔ 隨身聽可能長期遭受震動。停止震動然後再開始播放。
背光未開啟。	➔ “背光”設定為“永遠關閉”。請將其設定為“10 秒”或“30 秒”（☞ 第 53 頁）。
“□”顯示為標題。	➔ 內含無法在隨身聽上顯示的字元。請使用 SonicStage 軟體用適當的字元重命名標題。
顯示幕關閉。	➔ 在使用電池時，若在 30 秒內沒有進行任何操作，顯示幕將自動關閉為停止模式。捲動曲目標題等項目時，顯示幕電源會在捲動完成約 30 秒後關閉。另外，按住 ■ 也將關閉顯示幕。對於上述任何情況，但任何按鈕再次開啟顯示幕。

續上頁 ⇩

連接電腦/SonicStage

問題	起因與/或更正措施
無法安裝 SonicStage 軟體。	➔ 使用了與軟體不相容的作業系統（☞ 第 16 頁）。 ➔ 所有 Windows 應用程式均未關閉。如果其他程式正在執行時開始安裝，則可能會發生故障。特別是對於需要佔用大量系統資源的程式，更會出現這種情況，例如病毒檢查軟體。 ➔ 電腦硬碟沒有足夠的空間。需要 200 MB 以上的可用空間。請刪除電腦上不必要的檔案。
安裝似乎在尚未完成之前即已停止。	➔ 查看安裝視窗下方顯示的錯誤訊息。請在按住“Alt”鍵的同時按下“Tab”鍵。如果出現錯誤訊息，請按下“Enter”鍵。安裝將繼續進行。如果沒有訊息，則安裝仍在進行中。請等待更長時間。
電腦顯示幕上的進度列沒有移動。電腦存取指示燈持續幾分鐘未亮起。	➔ 安裝在正常進行。請稍候。根據您的 CD 光碟機或系統環境，安裝時間可能需要 30 分鐘以上。
SonicStage 沒有啟動。	➔ 系統環境因為更新 Windows 作業系統之類的因素而改變。就近諮詢您的 Sony 經銷商。

續上頁 ⇩

使用 USB 纜線連接到電腦時，“正在連線到 PC”並未顯示。	➔ 請等待 SonicStage 軟體的驗證。 ➔ 電腦正在執行另一應用程式。請稍等一段時間或重新連接 USB 纜線。如果問題仍然存在，請拔下 USB 纜線，重新啟動電腦，然後重新連接 USB 纜線。 ➔ 未正確連接 USB 纜線。拔下 USB 纜線，然後重新連接。 ➔ 使用了 USB 集線器。不保證能順利使用 USB 集線器連接。請將 USB 纜線直接連接到電腦。 ➔ SonicStage 軟體的安裝失敗。中斷隨身聽與電腦的連接，然後使用隨附的 CD-ROM 重新安裝軟體（☞ 第 17 頁）。您仍然可以使用現有軟體註冊的音訊資料。 ➔ 電池電量消退中。利用 AC 變壓器為電池充電。
連接到電腦時，隨身聽不被電腦識別。	➔ 未正確連接 USB 纜線。 拔下 USB 纜線，然後重新連接。 ➔ 使用了 USB 集線器。不保證能順利使用 USB 集線器連接。請將 USB 纜線直接連接到電腦。 ➔ 未安裝隨身聽的驅動程式檔案。利用隨附的 CD-ROM 為隨身聽重新安裝 SonicStage 軟體（☞ 第 17 頁）同時安裝驅動器。 ➔ SonicStage 軟體的安裝失敗。中斷隨身聽與電腦的連接，然後使用隨附的 CD-ROM 重新安裝軟體（☞ 第 17 頁）。您仍然可以使用現有軟體註冊的音訊資料。

續上頁 ⇩

您無法從電腦將音訊資料傳輸到隨身聽。	➔ 未正確連接 USB 纜線。拔下 USB 纜線，然後重新連接。 ➔ 隨身聽硬碟的可用空間不足。將任何不必要的曲目傳回電腦，以增加可用空間（☞ 第 27 頁）。 ➔ 已經傳輸了 65,535 以上的曲目或 8,187 以上播放清單到隨身聽硬碟。或您正在試圖傳輸擁有超過 999 首曲目的播放清單。 ➔ 具有限播放期間的曲目或由於版權所有人所設定的限制，也許將無法傳輸播放次數。如需有關每個音訊檔案設定的詳細資料，請與經銷商聯絡。 ➔ SonicStage 軟體的安裝失敗。中斷隨身聽與電腦的連接，然後使用隨附的 CD-ROM 重新安裝軟體（☞ 第 17 頁）。您仍然可以使用現有軟體註冊的音訊資料。
可傳輸到隨身聽的曲目數不多（可用錄製時間過短）。	➔ 隨身聽硬碟的可用空間不足以儲存您嘗試傳輸的音訊資料。請傳回任何不必要的曲目，以增加可用空間（☞ 第 27 頁）。 ➔ 隨身聽的硬碟儲存了音訊資料以外的資料。請將音訊資料以外的資料移到電腦，以增加可用空間。
您無法從隨身聽將音訊資料傳回電腦。	➔ 另外一台電腦被選為傳輸目標，而不是用於傳輸到隨身聽的電腦。您無法將音訊資料傳回到另外一台電腦，只能傳回到用於傳輸隨身聽的電腦中。 ➔ 音訊資料已從用於傳輸到隨身聽的電腦中刪除。如果曲目已從用於傳輸到隨身聽的電腦中刪除，則無法將音訊資料傳回電腦。

續上頁 ⇩

隨身聽連接到電腦時，音訊資料傳回電腦，剩餘可傳輸數量在沒有操作的情況下偶然增加。	➔ 如果使用安裝在用於傳輸到隨身聽的電腦以外的電腦上的 SonicStage 軟體從隨身聽中刪除了曲目，當隨身聽連接到用於傳輸到隨身聽的電腦時，曲目將自動傳回。因此，剩餘可傳輸數會自動增加。
隨身聽連接到電腦時，隨身聽的操作不穩定。	➔ 使用 USB 集線器或 USB 延長線。不保證能順利透過 USB 集線器或 USB 延長線連接。請將 USB 纜線直接連接到電腦。
隨身聽連接到電腦時，電腦螢幕上顯示“無法驗證裝置/媒體”。	➔ 隨身聽未正確連接到電腦。請結束 SonicStage 軟體，並確認 USB 纜線的連接。重新啟動 SonicStage 軟體。

續上頁 ⇩

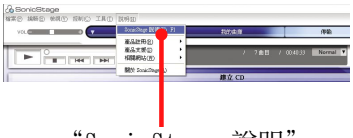
其他

問題	起因與/或更正措施
隨身聽操作時無操作音。	➔ “操作音”設定為“操作音關閉”。將其設定為“操作音開啟”（☞ 第 53 頁）。
隨身聽的溫度上升。	➔ 隨身聽在電池正在充電以及剛充完電之後會發熱，這是因為快速充電的緣故。除此以外，隨身聽在傳輸大量曲目時也會發熱。請將隨身聽擱置一段時間。
聽到隨身聽內部發出聲音。隨身聽晃動。	➔ 隨身聽的內建硬碟移動時，您可能會聽到操作的聲音，且隨身聽出現震動。這並不是故障。

使用 SonicStage 說明

SonicStage 說明提供了有關如何使用 SonicStage 的更多詳細資料。SonicStage 說明可讓您輕易地透過下列方式搜尋相關資訊：從諸如“匯入音訊資料”或“傳輸音訊資料”等操作清單，或者主要關鍵字清單中，或者透過鍵入可讓您進入相應說明的文字。

在 SonicStage 執行時，點選“說明”－“SonicStage 說明”。



“SonicStage 說明”

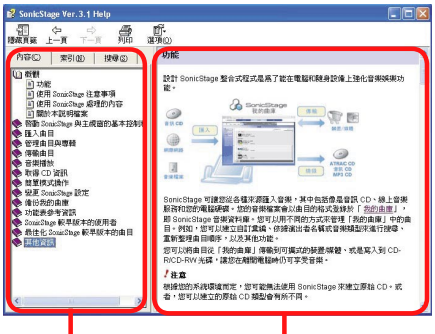
說明將會出現。

隨身聽在 SonicStage 說明中以“ATRAC Audio Device”表示。

註

- 在 SonicStage 說明中，“裝置/媒體”是表示網路隨身聽或 MD Walkman 的一般術語。
- 針對系統的建議，請按照網際網路供應商的相關事項說明。

瞭解 SonicStage 說明



1 雙擊 SonicStage 說明左框格中的“ 概觀”。

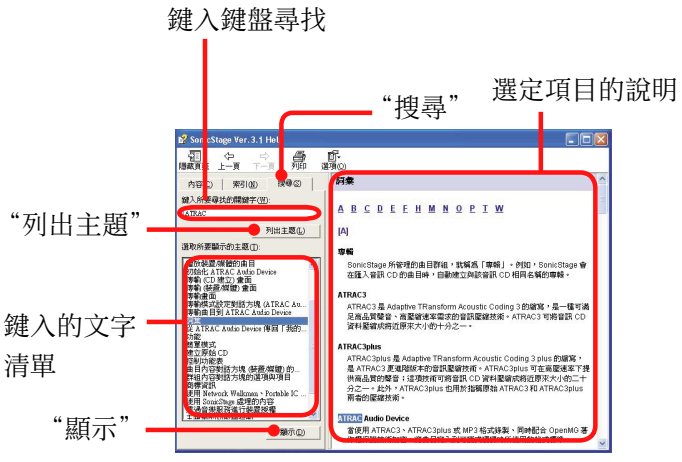
2 點選“ 關於本說明檔案”。

右框格中將會出現說明。

如有必要，請捲動顯示幕。點選畫底線的文字，跳到其對應說明中。

續上頁 ⇩

欲搜尋說明中的某個字



1 點選“搜尋”。
2 鍵入文字。
3 點選“列出主題”。
鍵入的文字清單將會顯示。
4 點選顯示文字中所需的項目。
5 點選“顯示”。
選定項目的說明將會顯示。

錯誤訊息

如果顯示幕上出現錯誤訊息，請按照下列說明進行。

訊息	含義	更正措施
AVLS 無音量操作	音量超過 AVLS 的最大音量。	➔ 將 “AVLS” 設定為“AVLS 關閉”（☞ 第 53 頁）。
能設定的書簽種類已滿	您正試圖為所有已登錄的書籤類別，再新增書籤。	➔ 一個書籤類別只能登陸一次曲目。
沒有電池	• 您正試圖透過 AC 變壓器連接操作隨身聽，卻沒有安裝電池。 • 您在隨身聽連接至電腦時從隨身聽中移除電池。	➔ 連接 AC 變壓器至 AC 插座時插入電池。
書籤已滿	書籤數量超過限制。	➔ 移除不必要的書籤（☞ 第 40 頁）。
取消	已取消設定或操作。	—
播放中無法編輯書籤	您正試圖在播放或停止模式下編輯書籤。	➔ 您無法在播放或停止模式下編輯書籤。
無法停止	“播放期間在“選項”顯示幕中選擇了“初始化系統”。	➔ 停止播放並再次選取“初始化系統”。
停止時無法操作	您嘗試在隨身聽停止時新增書籤。	➔ 在播放方式時新增書籤（☞ 第 39 頁）。
無法播放 連接至 PC	隨身聽中的時鐘不運作。	➔ 連接至電腦（☞ 第 24 頁）。
無法播放 曲目錯誤	音訊資料損壞。	➔ 再次將音訊資料傳輸到隨身聽（☞ 第 24 頁）。

續上頁 ⇩

無法播放 裝置上的曲目	•不允許在隨身聽上播放該曲目。 •播放限定播放次數的曲目。	➔ 您無法播放不允許在隨身聽上播放的曲目。
無法播放 無法用於播放	您嘗試在曲目的限制播放期間的之前或之後播放曲目。	➔ 限定播放時間的曲目只能在指定的播放時間內播放。
無法更新 電池電量不足	上載韌體時電池不足。	完全更換電池並重新嘗試上載。
充電 5°C – 35°C	在溫度超過 5°C 到 35°C 範圍的環境下為隨身聽充電。	➔ 在 5°C 到 35°C 之間的環境溫度下充電。
清除正在播放的書籤	您試圖在播放時清除曲目的書籤。	➔ 您只能在曲目播放時，先選取曲目所在的播放清單，然後再清除曲目所登錄的書籤類別，才能清除曲目的書籤。
連接 AC 變壓器	您正試圖不使用 AC 變壓器來更新韌體。	➔ 把 AC 變壓器連接至隨身聽（☞ 第 13 頁）。
錯誤: 無法設定書籤	由於某些錯誤，曲目無法新增至書籤中。	➔ 嘗試把曲目再度新增至書籤中。
錯誤: 無法清除	由於某些錯誤，無法清除書籤。	➔ 嘗試再度清除書籤。
建立資料庫失敗	無法建立資料庫。	➔ 請稍候。正在更新資料庫。
硬碟可寫入 5°C – 35°C	在溫度超過 5°C 到 35°C（41°F 到 95°F）範圍的環境下將音訊資料傳輸到隨身聽。	➔ 在 5°C 到 35°C（41°F 到 95°F）之間的環境溫度下作業。

續上頁 ⇩

硬碟初始化不正確	•隨身聽硬碟未正確初始化。 •隨身聽硬碟在電腦上進行初始化。 •隨身聽硬碟未初始化，因為已被變更。	➔再次初始化隨身聽的硬碟（☞ 第 62 頁）。
鎖定	HOLD 開關設定為開啟。	➔朝箭頭所示相反方向滑動 HOLD 開關，解除鎖定控制鈕（☞ 第 31 頁）。
線路輸出無法操作	“音訊輸出”設定為“線路輸出”時，您嘗試變更音量或“音效”的設定。	➔將“音訊輸出”設定為“耳機”（☞ 第 53 頁）。
電池電量不足	沒有剩餘電力。	➔為電池充電（☞ 第 13 頁）。
超過最大群組數	群組（專輯、演出者等）數超過限制（8,192）。	➔在尋找顯示幕的項目總數（除了曲目清單之外）超過了 8,192 首的限制。把不必要的曲目傳輸回 SonicStage 的我的曲庫（☞ 第 27 頁）。
系統檔案不符	系統檔案中有不相符項。	➔再次初始化隨身聽的硬碟（☞ 第 62 頁）並再度把音訊資料傳輸至隨身聽（☞ 第 24 頁）。
找不到資料庫	中斷與電腦的連接時，沒有曲目傳輸到隨身聽，或缺少資訊。	➔再度把隨身聽連接至電腦，然後再中斷連接。 ➔將音訊資料傳輸到隨身聽（☞ 第 24 頁）。
無曲目	曲目清單中無曲目。	➔移至有曲目的曲目清單。 將音訊資料傳輸到隨身聽（☞ 第 24 頁）。

續上頁 ⇩

系統錯誤 <No.***>（編號在括號中顯示。）	系統出現錯誤。	➔ 記下編號，並就近與 Sony 經銷商聯絡。

規格

可錄製的最大曲目數（近似值）*

NW-HD5

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5,000 (132 kbps)	2,500 (256 kbps)	5,000 (128 kbps)
6,000 (105 kbps)	10,000 (64 kbps)	10,000 (64 kbps)
10,000 (66 kbps)	13,000 (48 kbps)	

NW-HD5H

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
7,500 (132 kbps)	3,500 (256 kbps)	7,500 (128 kbps)
9,000 (105 kbps)	15,000 (64 kbps)	15,000 (64 kbps)
15,000 (66 kbps)	20,000 (48 kbps)	

* 傳輸四分鐘曲目時

取樣頻率

44.1 kHz(ATRAC3plus)、32/44.1/48 kHz(MP3)

音訊壓縮技術

Adaptive Transform Acoustic Coding3plus (ATRAC3plus)

MPEG-1 Audio Layer-3(MP3)

頻率響應

20 到 20,000 Hz（在播放期間測量單一訊號）

輸出

🎧（耳機）/LINE OUT*:

立體聲迷你插孔/180 mV

* 插孔用於耳機與 LINE OUT。

操作溫度

5°C 到 35°C

續上頁 ⇩

電源

可充電鋰電池：LIP-880PD、3.7V 880mAh、鋰電池

AC 變壓器：DC IN 6V

電池壽命（連續播放）

ATRAC3plus 格式(48 kbps)：約 40 小時

MP3 格式(128 kbps)：約 30 小時

尺寸

不含突出零件：

約 59.9 × 88.7 × 14.2 mm

（寬/高/深）

含突出零件：

約 59.9 × 89.3 × 14.5 mm

（寬/高/深）

重量

約 135 g

設計與規格如有變更，恕不另行通知。

由 Dolby Laboratories 取得美國與其他國家之專利授權。

索引

符號

1（單一播放） 47
專輯 35
演出者 35
類別 35
首字母搜尋 36
新曲目 36
播放清單 38
剩餘電源 15
重複播放 49
SHUF 項目隨機播放 47
SHUF 曲目隨機播放 47
曲目 35
SHUF 單元中的曲目隨機播放 49
SHUF 隨機播放項目 49

A

AC 變壓器 11
ATRAC3/ATRAC3plus 21, 30
AVLS 53

C

CD 資訊 21
CD-ROM 11

D

Deutsch 54

E

English 54
Español 54

F

Français 54

H

HOLD 開關 12

I

Italiano 54

M

MP3 30

S

SonicStage 16

U

USB 纜線 11

V

VPT 音效引擎 52
VOL+/ VOL- 30

一劃

一般 53
一般（一般播放） 47

四劃

反白 53
日文 54

五劃

右 54
左 54

六劃

耳機 11, 12, 53
曲目隨機播放 47
有限播放期間的曲目 70
有限播放次數的曲目 70

七劃

我的曲庫 22
我的曲庫(SonicStage) 19
初始化系統 54
初始化硬碟 62
初始化硬碟機 54
位元速率 21, 32

八劃

垂直 54

續上頁 ⇩

九劃
背光 53
重力加速感應器 54
重複播放 49
音訊輸出 53
音訊裝置 58
音效 52
音量 12
首字母搜尋 36

十劃
俱樂部 52
流行 52
原廠設定 60
書籤 39
書籤圖示 44
格式 21

十一劃
捲動多個項目 34
停止 12, 31
清除（書籤） 42
現場表演 52
專輯隨機播放 47

十二劃
強勁 52
單元 48
單元播放 47
單元中的曲目隨機播放 49
單曲播放 （單一播放） 47
尋找下一首曲目的起始處 31
尋找上一首曲目的起始處 31
尋找曲目的起始處 31
畫面反轉顯示 53
畫面顯示方向 54
搜尋 31
搜尋(SonicStage) 74
搜尋模式 35

十三劃
傳輸音訊資料 24
匯入音訊資料 19
新曲目 36
解除安裝 64
詳細資訊（曲目） 23
電池充電時間 13
電池剩餘電源 15
電池壽命 15
電池（移除） 14

十四劃
對比 53
管理曲目 22
舞台 52
語言 54

十五劃
播放模式 45
播放清單(SonicStage) 22
播放清單（在隨身聽上） 38
播放書籤中的曲目 39
播放選項 47
編輯書籤 39
數位音效預設值 52
線路輸出 53

十六劃
操作音 53
獨特 52
隨機播放項目 49
隨身聽顯示幕 12, 32
錄音室 52

十七劃
檔案夾結構（尋找顯示幕） 35
爵士 52
繁體中文 54

十八劃
韓文 54
簡體中文 54
鎖定功能 31

二十一劃
攜帶盒 11

SONY

目录

索引

Portable Hard Disk Audio Player

Network Walkman

使用说明书

▶ 使用入门 11

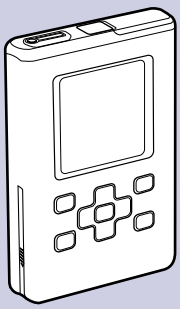
▶ 将音频数据传输到播放机 19

▶ 播放音乐 29

▶ 其它功能 51

▶ 故障检修 65

▶ 附加信息 79



WALKMAN

Atrac3plus MP3

NW-HD5/NW-HD5H

"WALKMAN"是 Sony 公司注册的商标，代表 Headphone Stereo 产品。 WALKMAN 是 Sony 公司的商标。

© 2005 Sony Corporation

警告

为防火灾或触电危险，切勿让机器暴露于雨中或潮湿处。

请勿把机器安装在诸如书橱或壁橱等密闭处。

为防止火灾，请勿让报纸、桌布、窗帘等盖住装置的通风孔。也不可把点燃的蜡烛放在装置上。

为防火灾或触电危险，不可在装置上摆饰花瓶等装满液体的物体。

接下页 ⇩

目录

用户须知 5
使用须知 8
安全性 8
安装 8
热量积聚 8
耳机 9
清洁 10

使用入门

检查附带的附件 11
部件和控件指南 12
准备好电源 13
检查电池的剩余电量 15
在计算机上安装 SonicStage 16
准备需要的系统 16
安装 SonicStage 17

将音频数据传输到播放机

将音频数据导入到计算机 19
使用 SonicStage 管理曲目 22
编辑播放列表 22
将音频数据传输到播放机 24
将音频数据传回计算机 27

播放音乐

播放 29
锁定控制器（HOLD 功能） 31
基本播放操作（播放、停止、搜索） 31
在显示屏上查看信息 32
选择曲目进行播放（艺术家、曲集、流派等） 33
有关查看显示屏的文件夹结构 35

接下页 ⇩

从“ 新曲目”选择曲目 36
通过曲目的第一个字母选择曲目（首字母搜索） ... 36
从“ 播放列表”选择曲目 38
编辑播放机上的书签 39
在书签中登记曲目（书签曲目播放） 39
重新编排书签中的曲目顺序 40
清除标为书签的曲目 42
更改书签图标 44
更改播放选项（播放模式） 45
播放选项（播放模式） 47
以所选搜索类别播放曲目（单元播放） 47
重复播放曲目（重复播放） 49

其它功能

更改音质和设置 51
音质和屏幕的设置项目 52
定制音质（六波段均衡器 – 定制） 55
调节高音和低音增强（数码音效预设） 56
连接其它设备 58
存储音频文件以外的数据 59
重置出厂设置 60
初始化硬盘 62
卸载 SonicStage 64

故障检修

故障检修 65
使用 SonicStage 帮助 73
错误消息 75

附加信息

规格 79
索引 81

用户须知

附带的软件

- 版权法规定，未经版权所有者许可，不得完全或部分复制软件或随软件附带的手册，或者出租软件。
- 对于因使用本播放机附带软件而造成的财政损失或利润亏损，包括第三方的索赔，SONY 公司概不负责。
- 如果因为质量缺陷而导致软件出现问题，SONY 公司将予以更换。但是，SONY 公司不承担其它责任。
- 除明确指出的设备之外，本播放机附带的软件不能用于其它设备。
- 请注意，由于我们致力于不断提高产品质量，因此软件规格如有更改，恕不另行通知。
- 本保修不适用于因使用附带软件以外的其它软件操作本播放机而出现的问题。
- 软件能够显示的语言将因个人计算机上安装的操作系统而异。为达到最佳效果，请确保安装的操作系统与想要显示的语言兼容。
  - 我们并不保证所有语言均能在软件上正确显示。
  - 用户创建的字符和某些特殊字符可能无法显示。
- 视文本和字符的类型而定，软件上显示的文本在设备上可能无法正确显示。

  这是因为：
  - 所连接设备的能力。
  - 设备没有正确工作。
- 本手册中的说明假设用户熟悉 Windows 的基本操作。

  有关使用计算机和操作系统的详情，请参阅相关的手册。

Program ©2001, 2002, 2003, 2004, 2005 Sony Corporation
Documentation ©2005 Sony Corporation

接下页 ⇩

- SonicStage 和 SonicStage 徽标是 Sony Corporation 的商标或注册商标。
- OpenMG, ATRAC, ATRAC3, ATRAC3plus 及其徽标均为 Sony Corporation 的商标。
- Microsoft, Windows, Windows NT 和 Windows Media 是 Microsoft Corporation 在美国和（或）其它国家（地区）的商标或注册商标。
- IBM 和 PC/AT 是 International Business Machines Corporation 的注册商标。
- Macintosh 是 Apple Computer, Inc. 在美国和（或）其它国家（地区）的商标。
- Pentium 是 Intel Corporation 的商标或注册商标。
- Adobe 和 Adobe Reader 是 Adobe Systems Incorporated 在美国和（或）其它国家（地区）的商标或注册商标。
- 美国及他国专利许可由 Dolby Laboratories 授予。
- MPEG Layer-3 音频编码技术和专利由 Fraunhofer IIS 和 Thomson 授权。
- 其它所有商标和注册商标均属各自所有者的商标或注册商标。
- 在本手册中，未指定 ™ 和 ® 标志。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.
  Gracenote CDDB Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. Untied States Patent 6,304,523.
  Gracenote is a registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.

感谢您购买本款 Sony 产品。
本款 Network Walkman 预先安装有试用音乐数据，因此您可以立即尝试使用它。预先安装的试用音乐数据仅可用于试听之目的，所以不可以将其传输至您的电脑。如要删除此音乐数据，使用 SonicStage3.1 将其删除。
视您使用播放机的地区而定，试用音乐数据可能无法安装到本播放机上。

使用须知

安全性

- 请勿使任何外物堵住播放机的 DC IN 插孔。
- 切勿使播放机的端子与其它金属物体短接。

安装

- 请勿在易受强光、高温、湿气或振动影响的地方使用播放机。
- 在使用 AC 电源转接器为播放机供电时，请勿使用任何物品将播放机包住。播放机中的热量积聚可能会导致播放机出现故障或损坏。

热量积聚

如果使用播放机的时间过长，在充电时热量就会积聚在播放机内部。

接下页 ⇩

耳机

交通安全

请勿在驾驶、骑车或操作任何机动车辆时使用耳机。这样可能会发生交通事故，而且在许多地区，这属于违法行为。另外，在行走，尤其是通过十字路口时，将音量调得过高也可能产生危险。在具有潜在危险的情况下，您应小心谨慎地使用或停止使用。

保护听力

避免以高音量使用耳机。听力专家建议不要连续、高音量、长时间地播放。如果您出现了耳鸣现象，请调低音量或停止使用。

顾及他人

将音量保持适中，以便您既可以听到外界的声音，又可以照顾到周围的人。

警告

如果使用播放机时出现闪电，请立即取下耳机。

接下页 ⇩

清洁

- 请使用在水或柔性清洁剂中稍微浸湿的软布来清洁播放机外壳。
- 定期清洁耳机插头。

说明

- 请不要使用任何种类的砂纸、擦洗粉或诸如酒精或苯之类的溶剂来清洁，因为它们可能会损伤外壳。
- 小心不要让水从连接器附近的孔进入播放机。

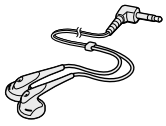
如果您有关于播放机的任何疑问或问题，请与最近的 Sony 经销商联系。

说明

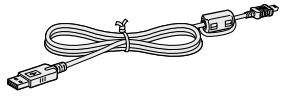
- 录制的音乐仅限于私人使用。超出此限制使用音乐需要获得版权所有人的许可。
- 对于因播放机或计算机问题导致数据的录制/下载不完整或数据的损坏，Sony Corporation 不承担责任。

检查附带的附件

- 耳机（1）



- 专用 USB 电缆（1）



- AC 电源转接器（1）(AC-ES608K3)
- 便携盒（1）
- CD-ROM（1）*
  （SonicStage 软件，操作说明书的 PDF 文件）
- 快速入门指南（1）

*请不要在音频 CD 播放机上播放此 CD-ROM。

（可充电电池已装入播放机）

说明

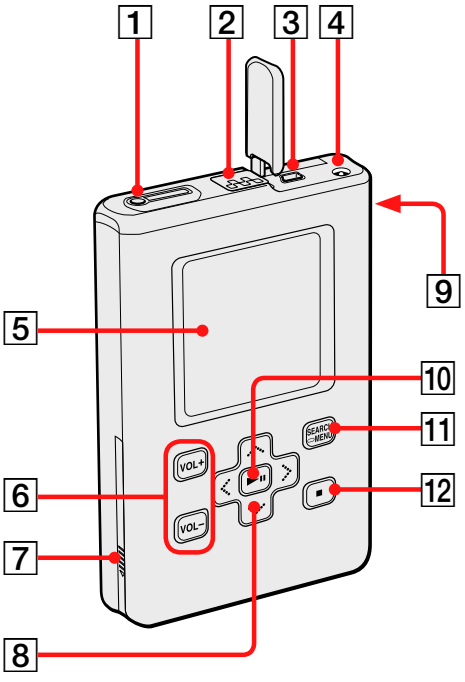
使用本装置时，务必遵守下列使用须知，以防机壳变形或导致装置发生故障。

– 确保装置放在后面口袋的时候不要坐下去。



– 确保不要将耳机线绕在机身上装到包里，以免播放机包受到强力挤压。

部件和控件指南



1 ☊（耳机）/LINE OUT 插孔（☞ 第 29 页）

2 HOLD 开关（☞ 第 31 页）

3 USB 接口（☞ 第 24 页）

4 DC IN 插孔（☞ 第 13、24 页）

5 播放机显示屏（☞ 第 32 页）

6 VOL +*/VOL –（音量）按钮（☞ 第 30 页）

7 电池舱盖（☞ 第 14 页）

8 ^/v/</> 按钮（☞ 第 29 页）

9 手带插孔**

10 ▶II（播放/暂停）按钮（☞ 第 31 页）

11 SEARCH/MENU 按钮（☞ 第 33 页）

12 ■（停止）按钮（☞ 第 31 页）

* 触摸点用作在操作播放机时的标记。

** 您可以附接上您自己的手带。

关于序列号

客户注册时需提供此播放机的序列号。该号码位于播放机底部的标签上。请勿移除标签。

准备好电源

在首次使用电池，或电池电量耗尽时对充电式锂离子电池进行充电。

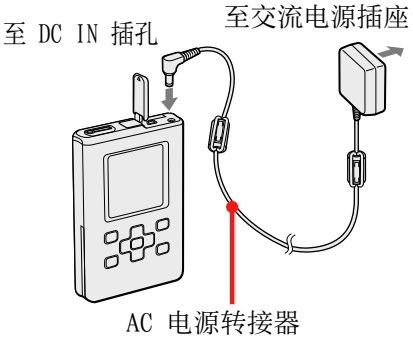
将 AC 电源转接器连接到 DC IN 插孔。

首先连接 AC 电源转接器，然后将其连接到交流电源插座。

显示屏上的电池指示变为“正在充电”，电池开始充电。

约 3 小时* 后充电完成，然后“充电完成”和 亮起。

约 1.5 小时* 后，电池充电完成 80%。



* 这是在室温条件下对完全没电的电池的近似充电时间。充电时间视剩余电量和电池状况而定。如果电池在低温环境下充电，充电时间将更长。

使用 USB 接口为电池充电

打开计算机电源并将 USB 电缆接到计算机（第 24 页）。显示屏上的电池指示变化，电池开始充电。充电约需 6 小时。当播放机连接至 AC 电源转接器时，电源将会由 AC 电源转接器提供。但是，充电时间将会变长。

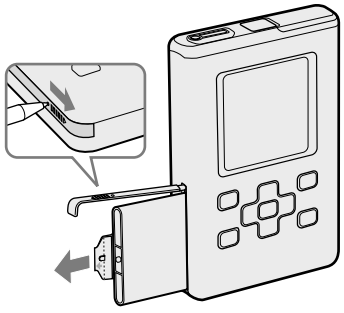
播放机通过 USB 电缆连接到计算机而未连接 AC 电源转接器时，如果计算机进入系统挂起、休眠或休止模式，则电池不是充电而是放电。

* 电池耗尽时，充电时间将会变长。
  仅当您边充电边使用播放机时，电池充电指示才在显示屏上出现。如果未出现电池充电指示，请使用 AC 电源转接器给电池充电。

接下页 ⇩

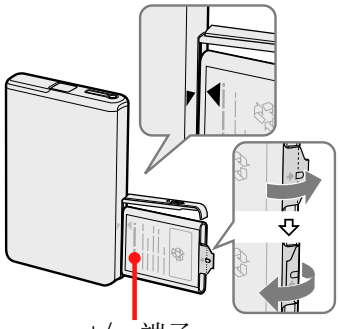
取出电池

将细小的尖头工具（如自动铅笔的笔尖）插入电池舱盖的小孔，然后按照“▷”标记的方向滑动舱盖，将其打开。然后沿箭头方向拉出电池上的标记，将电池取出。
如果从播放机取出电池，则即使播放机连接到 AC 电源转接器也无法打开电源。



插入电池

打开电池舱盖，然后将播放机侧面的“▶”标记与电池上的“▶”标记对齐，插入电池。将标记折入电池舱盖，然后关闭舱盖。



说明

- 使用 USB 接口为电池充电时，如果您的计算机电量不足，则充电时间可能会更长。
- 使用 USB 接口为电池充电时，视您的系统环境而定，充电将会停止。
- 如果在充电的同时播放机长时间连接到计算机，充电可能停止以防止播放机的温度过高。从播放机取下 USB 电缆，稍过一段时间后将重新开始充电。
- 如果三个月或更长时间不使用播放机，请从播放机取出电池。
- 在 5 至 35℃ 的环境温度下对电池充电。

接下页 ⇩

关于 AC 电源转接器的说明



- 仅使用播放机附带的 AC 电源转接器。请不要使用任何其它 AC 电源转接器，以防播放机出现故障。
- 只要本播放机的电源线仍连接在墙上电源插座上，即使播放机本身电源已关闭，实际上并没有断开交流电源。
- 如果您长期不使用本机，请务必拔下电源线。要从墙上插座拔下 AC 电源转接器，请握住转接器插头本身，切勿拉扯电线。

检查电池的剩余电量

显示屏指示电池的剩余电量。随着黑色指示格的减少，剩余电量将进一步减少。



* 显示屏显示“LOW BATTERY”并发出哔声。

电池电量用完后，请对电池充电。

说明

- 显示屏显示近似的电池剩余电量。例如，一格并不始终表示电池电量的四分之一。
- 视操作条件和环境而定，显示屏的显示与实际剩余电量相比可能会有所增加或减少。
- 即使播放机连接到 AC 电源转接器，如果取出电池，则播放机也会关闭。

电池寿命（连续使用）

ATRAC3plus 48 kbps 的播放时间约为 40 小时。MP3 128 kbps 的播放时间约为 30 小时。
时间视播放机的操作情况而定。

在计算机上安装 SonicStage

使用附带的 CD-ROM，在计算机上安装 SonicStage。

准备需要的系统

要求以下系统环境。

计算机	IBM PC/AT 或兼容机
	•CPU：Pentium III 450 MHz 或更高 •硬盘驱动器空间：200 MB 或更高（建议使用 1.5 GB 或更高。）（空间容量将随 Windows 版本和存储在硬盘上的音乐文件数量的不同而异。） •内存：128 MB 或更高
	其它 •CD 驱动器（能够通过 WDM 进行数字播放）（CD 刻录需要 CD-R/RW 驱动器。） •声卡 •USB 端口
操作系统	出厂安装： Windows XP Media Center Edition 2005/ Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/ Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/ Windows 2000 Professional（Service Pack 3 或更高版本）/Windows Millennium Edition/Windows 98 第二版
显示器	增强色（16 位）或以上，800 × 600 点或以上（建议使用 1024 × 768 点或以上。）
其它	•互联网访问：用于 Web 注册、EMD 服务和 CDDB •用于播放 WMA 文件而安装的 Windows Media Player（7.0 或更高版本）

接下页 ⇩

说明

- 以下环境不支持 SonicStage。
  - 第 16 页所述以外的操作系统。
  - 个人组装的 PC 或操作系统
  - 在原厂商安装的操作系统基础上升级的环境
  - 多引导环境
  - 多显示器环境
  - Macintosh
- 我们不保证在满足系统要求的所有计算机上进行操作时不会出现故障。
- Windows XP/Windows 2000 Professional 的 NTFS 格式只能与标准（出厂）设置一起使用。
- 我们不保证在计算机上的系统挂起、休眠或休止功能的操作不会出现故障。

安装 SonicStage

请在安装 SonicStage 软件前查看以下各项。

- 请务必关闭包括防病毒软件在内的所有其它软件。
- 请务必使用附带的 CD-ROM 安装 SonicStage。
  - 如果已经安装 OpenMG Jukebox 或 SonicStage，则现有软件将被具有新功能的新版本覆盖。
  - 如果已经安装 SonicStage Premium、SonicStage Simple Burner 或 MD Simple Burner，则现有软件将与 SonicStage 共存。
  - 您仍然可以使用现有软件注册的音频数据。作为一种预防措施，我们建议您对音频数据进行备份。如需备份数据，请参阅 SonicStage 帮助的“备份我的曲库”。

    管理音乐数据的方法部分视易用性而异。有关详情，请参阅 SonicStage 帮助的“对于使用 SonicStage 较早版本的用户”。
- 如果播放机通过 USB 电缆连接到计算机，请从播放机断开 USB 电缆，然后在计算机上安装附带的 CD-ROM。

接下页 ⇩

1 关闭所有其它正在运行的软件。

由于正在运行的应用程序可能导致软件安装失败，因此请在安装 SonicStage 软件之前检查下列各点，查看是否还有应用程序正在运行。

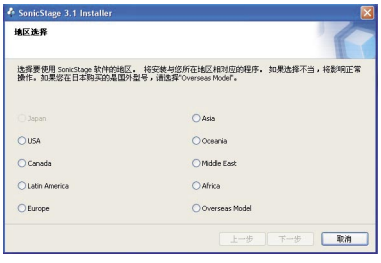
- 没有使用“Administrator”登录（使用 Windows 2000/Windows XP 时）。
- 防病毒软件正在运行。（此类软件通常需要大量的系统资源。）

2 将附带的 CD-ROM 插入计算机的 CD 驱动器。

安装程序将自动启动，并在屏幕上显示安装窗口。

3 出现右侧的窗口时，单击使用 SonicStage 软件的区域。

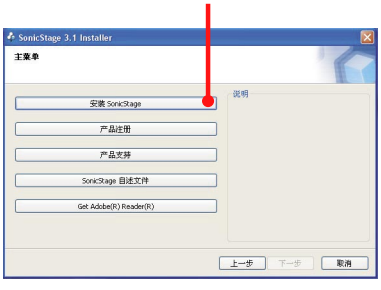
如果没有出现窗口，请跳到步骤 4。



4 单击“安装 SonicStage”，然后按显示的说明进行操作。

仔细阅读说明。

视您的区域而定，除“安装 SonicStage”之外的按钮可能不同于右图中的按钮。

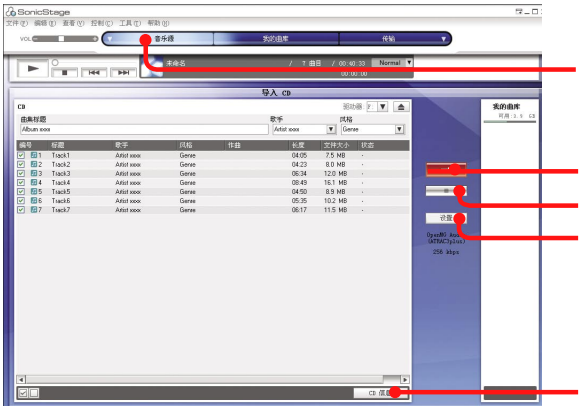


视系统环境而定，安装过程可能需要 20 到 30 分钟。请务必只在安装完成后才重新启动计算机。

安装过程中如有任何问题，请参阅“故障检修”（☞ 第 68 页）。

将音频数据导入到计算机

将音频 CD 上的曲目（音频数据）录制及存储到计算机硬盘上的 SonicStage“我的曲库”中。
如要自动获取 CD 信息（歌手姓名、曲目标题等），请先将计算机连接到互联网。
您可以从互联网和计算机硬盘驱动器等其它来源录制或导入曲目（MP3 文件）。
有关详情，请参阅“SonicStage 帮助”（☞ 第 73 页）。

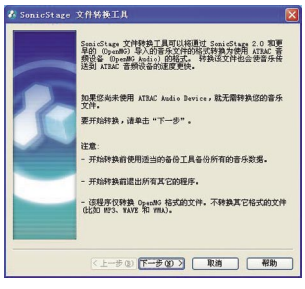


1 双击桌面上的 SonicStage（SonicStage）。
或者选择“开始”–“所有程序”*–“SonicStage”–“SonicStage”。

SonicStage 启动。
如果使用早期版本的 SonicStage，安装后第一次启动 SonicStage 时，“SonicStage 文件转换工具”**窗口出现。请按照窗口中的说明进行操作。

* 对于 Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition，则为“程序”

** 此工具将导入到装有 SonicStage 2.0 或早期版本的计算机的音频文件转换为最适于此播放机的数据格式（OpenMG），以便将音频数据高速传输到播放机。



接下页 ⇩

2 **将您要录制的音频 CD 放入计算机的 CD 驱动器中。**

3 **指向“▼ 音乐源”的 ▼，然后从菜单选择“导入 CD”。**

音频 CD 的目录会显示在音乐源列表中。

如果不能自动获取曲集标题、歌手姓名和曲目名称等 CD 信息（☞ 第 21 页），请将计算机连接到互联网并单击窗口右侧的“CD 信息”来从 CDDB 中获取 CD 信息。

4 **单击 →。**

开始录制选定曲目。

如果不要录制某些曲目，请在单击 → 前，单击 SonicStage 窗口上曲目编号，取消选择 ☑。

更改音频 CD 录制的格式和比特率（☞ 第 21 页）

请在步骤 4 单击 → 之前，单击 SonicStage 窗口右侧的“设置”，显示“CD 导入格式[我的曲库]”对话框。

默认设置为 OpenMG Audio（ATRAC3plus）格式和 64 kbps 比特率。

停止录制

单击 SonicStage 窗口上的 ▭。

说明

只有具有 CD 标记的音频 CD 才能与 SonicStage 一起使用。我们不保证可以正常运行具有复制控制的 CD。

接下页 ⇩

什么是 CD 信息?

CD 信息是指曲集名称、歌手姓名、曲目标题等有关音频 CD 的信息。使用 SonicStage 时，如果将音频 CD 插入计算机的 CD 驱动器，则可以自动通过互联网从 Gracenote CDDB（Gracenote Compact Disc DataBase）服务免费获取 CD 信息。

请注意，您无法获取未经 CDDB 注册的 CD 的 CD 信息。

什么是 ATRAC3/ATRAC3plus?

ATRAC3（自适应变换声学编码 3）是适应高音质和高压缩率要求的音频压缩技术。ATRAC3plus 是 ATRAC3 的更高版本，可用 64 kbps 的速度将音频文件压缩到原来大小的 1/20。

什么是格式和比特率?

格式是指录制格式，如 WAV 或 ATRAC3plus。

比特率是指每秒压缩数据量。比特率越大，音质越佳。但是，较大的比特率需要更多的容量存储数据。

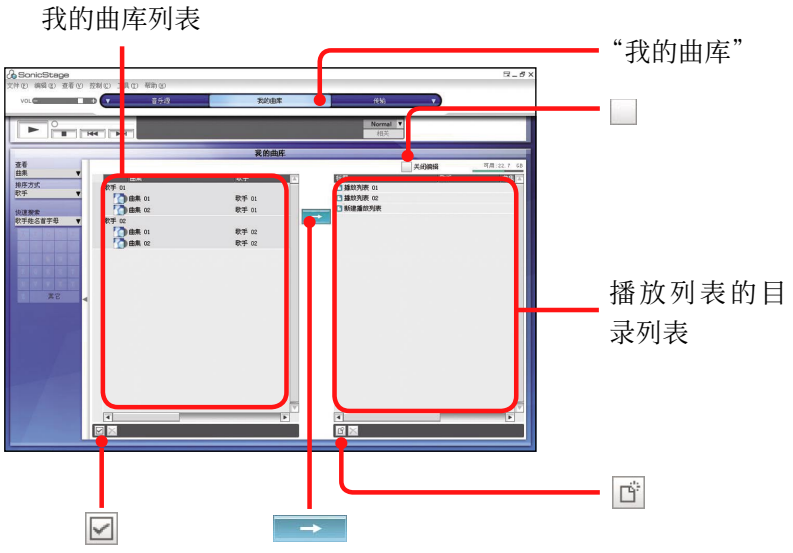
默认设置为 OpenMG Audio（ATRAC3plus）格式和 64 kbps 比特率。

如需更改格式和比特率，请单击 SonicStage 窗口右侧的“设置”。

使用 SonicStage 管理曲目

可以在 SonicStage 的“我的曲库”屏幕管理或编辑曲目。
也可以将您喜欢的曲目或按主题将曲目分组，创建播放列表，然后作为曲集管理该播放列表。
有关 SonicStage 的详情，请参阅 SonicStage 帮助（☞ 第 73 页）。

我的曲库屏幕



编辑播放列表

播放列表能让您分组并播放您喜欢的曲目或由电影等某个主题整理的曲目。

1 单击“我的曲库”。

屏幕切换到我的曲库屏幕。

2 单击 □（创建/编辑播放列表）。

主窗口切换到创建/编辑播放列表屏幕。

3 从左侧的目录列表选择一首或多首曲目。

如需选择多首曲目，请按住“Ctrl”键的同时单击曲目。
如需选择目录列表中的所有曲目，单击 ☑（全选）。

接下页 ⇩

4 从右侧列表选择播放列表进行添加。

如需将曲目添加到新的播放列表，单击 （新建播放列表）。
创建一个空的播放列表并显示在播放列表的目录列表中。此时可以输入播放列表的名称。

5 单击 。

所选的曲目被添加到右侧播放列表的目录列表。

6 完成添加全部所需的曲目后，单击 （关闭编辑）。

屏幕返回到我的曲库屏幕。

使用拖放添加曲目

通过将曲目从左侧我的曲库列表拖拉到右侧播放列表的目录列表可以添加曲目。此时，曲目被添加到放下曲目位置所在的列表。如果拖拉曲集，则在列表末尾创建新的播放列表，曲集的所有曲目都被添加到该播放列表。

查看曲集或曲目上的详细信息

在 SonicStage 窗口上右击要查看详细信息的曲集或曲目，然后从菜单选择“属性”。
出现“曲集属性”窗口或“曲目属性”窗口。可以在窗口中查看和编辑信息。“属性”窗口中编辑的内容将被应用到我的曲库屏幕。

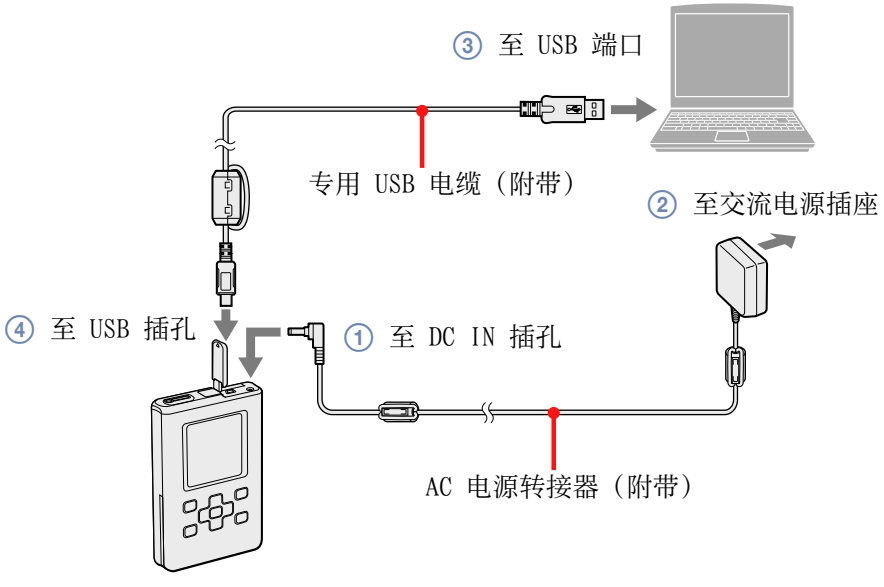
将音频数据传输到播放机

将储存在计算机上的 SonicStage“我的曲库”中的曲目（音频数据）以 ATRAC3plus/MP3 格式传输到播放机。
要传输的音频数据包括 CD 信息中歌手姓名和曲集名称等信息。



1 按照 ① 到 ④ 的顺序，将播放机连接到计算机和 AC 电源转接器。

显示屏上显示“正在连接至 PC”。
SonicStage 窗口显示自动传输的设置屏幕。请按照窗口中的说明进行操作。有关详情，请参阅 SonicStage 帮助（☞ 第 73 页）。



接下页 ⇩

2 指向“传输 ▼”的 ▼，然后从列表选择“ATRAC Audio Device”。

屏幕切换到从 SonicStage 传输曲目到播放机的窗口。

3 单击 SonicStage 窗口左侧“我的曲库”列表中要传输的曲集。

仅要传输所选的曲目时，单击想要传输的曲目。如需选择多首曲目或多个曲集，请按住“Ctrl”键的同时单击曲目或曲集。

也可以将播放列表传输到播放机（多达 8,187 个播放列表且每个播放列表 999 首曲目）。

试图传输包含已经传输到播放机的曲目的列表时，仅传输该曲目的播放列表数据。

4 单击 →。

开始传输选定曲目。

您可以在 SonicStage 窗口上检查传输状态。

停止传输

单击 SonicStage 窗口上的 ■。

说明

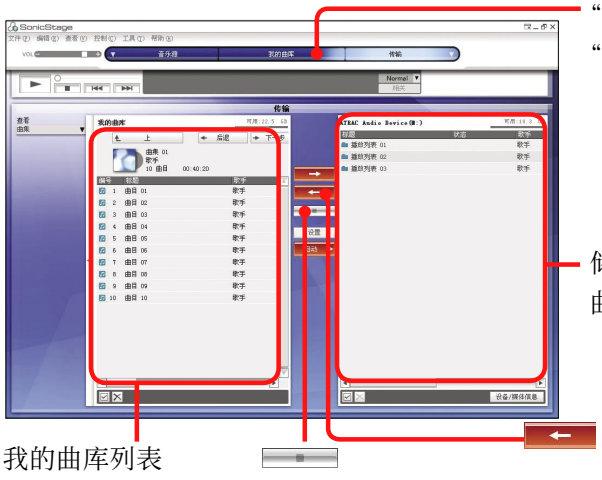
- 不要在传输音频数据时容易发生振动的地方使用播放机。此外，不要将播放机放置在靠近磁性物体的地方。
- 正在传输数据时，请勿断开 USB 电缆或从播放机取出电池。否则，正在传输的数据可能损坏。
- 使用 USB 集线器或 USB 延长线时不能保证播放机的性能。请始终用附带的 USB 电缆将播放机直接连接到计算机。
- 某些连接到计算机的 USB 设备可能干扰播放机的正常操作。
- 连接到计算机时，播放机上的控制按钮全部被禁用。如果在播放期间将播放机连接到计算机，播放将停止，并且在播放机显示屏上出现“正在连接至 PC”。

接下页 ⇩

- 播放机上没有足够的可用空间用于存储要传输的音频数据时，传输将会失败。
- 一首曲目的传输次数会受版权因素的限制。
- 由于版权所有者设定的限制，可能无法传输带限制播放时间或播放次数的曲目。
- 在传输期间，系统挂起、休眠或休止功能将不起作用。
- 视文本类型和字符数量而定，SonicStage 输入的文本可能不会在播放机上显示。这是由于播放机的限制造成的。
- 如果播放机连接到已开机的计算机一段时间，或者在大量的数据传输到播放机之后，播放机可能变热。但是，这并不是故障。从播放机断开 AC 电源转接器和专用 USB 电缆并静置播放机一段时间。
  如果您长时间使播放机的发热部分接触您身体的同一部位，即使播放机处于较低温度，将可能导致低温燃烧。请避免将播放机长时间紧贴皮肤放置，尤其当你属于敏感性皮肤时。
- 当播放机的硬盘空间不足时，尽管正常完成了音频数据的传输，仍可能显示“找不到数据库”。
  此时，请再次将播放机连接到计算机上，然后将不需要的音频数据传输到计算机上，以增大播放机上的可用空间。

将音频数据传回计算机

音频数据可传回到计算机上的 SonicStage“我的曲库”。



1 **将播放机连接到计算机（请参阅“将音频数据传输到播放机”中的步骤 1，☞ 第 24 页）。**

2 **指向“传输 ▼”的 ▼，然后从列表选择“ATRAC Audio Device”。**

屏幕切换到从播放机传输曲目到 SonicStage 的窗口。

3 **单击想要传输到 SonicStage 窗口右侧“我的曲库”列表的曲集。**

仅要传输所选的曲目时，单击想要传输的曲目。
如需选择多首曲目或多个曲集，请按住“Ctrl”键的同时单击曲目或曲集。

4 **单击 ←。**

开始传输选定曲集。
您可以在 SonicStage 窗口上检查传输状态。

停止传输

单击 SonicStage 窗口上的  。

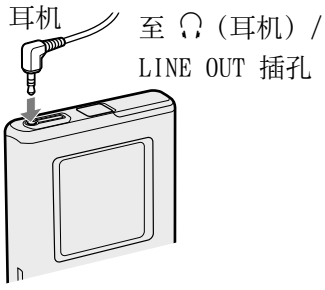
说明

- 从另一台计算机传输到播放机的曲目不能传输到计算机的“我的曲目”中。
- 正在传输数据时，请勿断开 USB 电缆或从播放机取出电池。否则，正在传输的数据可能损坏。

播放

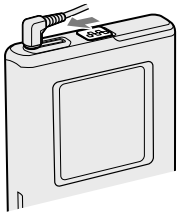
可以使用 SonicStage 播放传输到播放机的曲目（☞ 第 19 页）。
可以将菜单及屏幕中信息的语言改为您自己的语言（☞ 第 54 页）。

1 将耳机连接到播放机的 ☊（耳机）/LINE OUT 插孔。



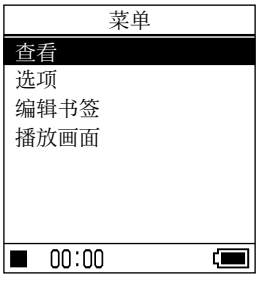
2 按图中箭头方向滑动 HOLD 开关来解锁控制。

所有按钮都被解锁。



3 按播放机上不同于 ▶II 的任意按钮。

“菜单”屏幕出现。



4 按 ⌒/⌒ 选择“查看”，然后按 ▶II。

“查看”屏幕出现。



5 按 ⌒/⌒ 选择搜索模式。

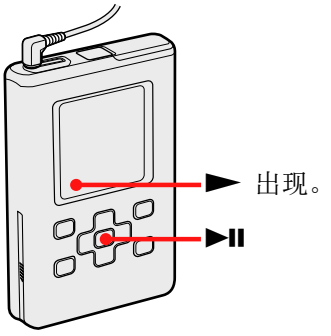
如需再次搜索曲目，按 ⌒。

接下页 ⇩

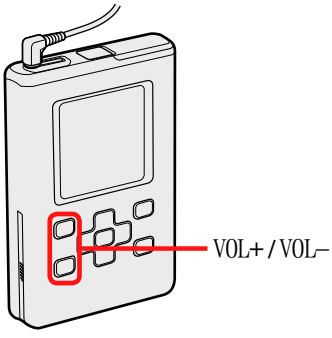
6 **按 ►II。**

► 出现在屏幕的左下方，播放机开始播放。

再次按 ►II 暂停。



7 **按 VOL+ / VOL− 调节音量。**



可以播放何种类型的音频数据?

本播放机可以播放以 ATRAC3plus/MP3 格式压缩的音频数据。

可播放的 MP3 文件格式如下:

– MPEG-1 Audio Layer-3

– 比特率为 32 至 320 kbps (CBR/VBR)

– 采样频率为 32/44.1/48 kHz

说明

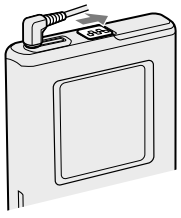
- 播放机上不可播放的 MP3 格式文件仍然可以传输到播放机上。
- 在尝试播放此播放机无法播放的 MP3 音频曲目时，播放将停止。按 > 选择其它曲目。
- 在使用充电式锂离子电池时，如果播放机在停止模式下约 30 秒内没有操作，显示屏将自动关闭。在滚动曲目标题等时，显示屏在滚动完成之后约 30 秒关闭。
- 如果播放未开始，请确保 HOLD 开关被设为关（☞ 第 31 页）。

接下页 ⇩

锁定控制器（HOLD 功能）

通过锁定控制器，您可以防止在携带播放器时意外按下按钮。在启动 HOLD 功能后，如果按下任意按钮，“HOLD”将在显示屏上闪烁。按箭头所示的方向滑动 HOLD 开关。

按图中箭头的方向滑动 HOLD 开关。



解除对控制器的锁定

按上图中箭头的相反方向滑动 HOLD 开关。

基本播放操作（播放、停止、搜索）

要	操作
从之前的停止播放处开始播放	按 ▶II。从停止播放处开始播放。
停止播放	按 ■。
查找当前曲目的起点	按 ⏮ 一次。
查找以前曲目的起点*	反复按 ⏮。
查找下一首曲目的起点*	按 ⏭ 一次。
查找后续曲目的起点*	反复按 ⏭。
快退	按住 ⏮。
快进	按住 ⏭。

* 选择随机曲目播放或随机项目播放（☞ 第 47 页）时，播放顺序会有所不同。

要关闭播放机时

按住 ■ 直到显示消失。

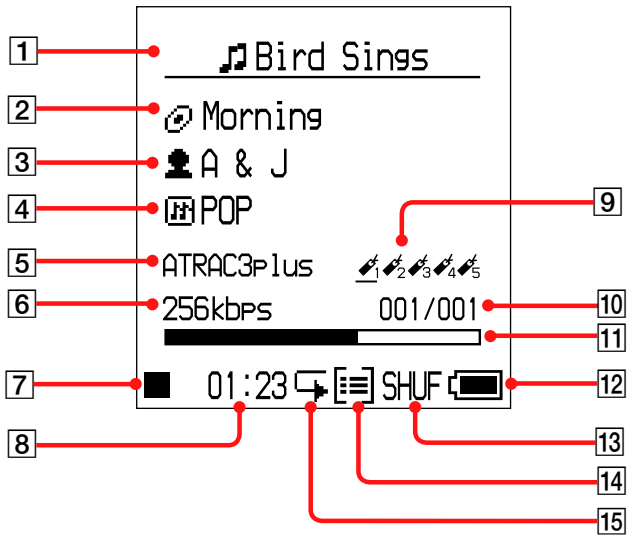
要再次打开播放机，按任意按钮。

接下页 ⇩

在显示屏上查看信息

可以在播放机显示屏中检查音频数据和播放状态。

播放期间的播放机显示屏



1 曲目标题
2 曲集名称
3 艺术家姓名
4 流派
5 ATRAC3/ATRAC3plus/MP3（☞ 第 21 页）
6 比特率*（☞ 第 21 页）
7 播放状态
- ►：播放
- ■：停止
- ►►：快进
- ◄◄：快退
- I◄◄/►►I：寻找曲目的起点

8 已播放时间
9 书签（☞ 第 39 页）
10 曲目编号
11 播放进度条
12 电池的剩余电量（☞ 第 15 页）
13 播放模式（☞ 第 45 页）、声音指示（调节音量时，☞ 第 52 页）
14 单元指示（☞ 第 48 页）
15 重复（☞ 第 49 页）

* 如果正好 MP3 曲目支持 VBR（可变比特率），则此处出现的比特率与 SonicStage 软件上显示的比特率可能会不一致。

说明

可以显示从 A 到 Z、a 到 z、0 到 9 等字符及各种符号（/ 除外）。

选择曲目进行播放（艺术家、曲集、流派等）

通过“艺术家”或“专辑”等搜索播放机中的曲目，可以选择想要聆听的曲目。
有关显示屏的详情，请参阅“有关查看显示屏的文件夹结构”（☞ 第 35 页）。

1 按 SEARCH/– MENU。

“查看”屏幕出现。



2 按 ^/v 选择搜索模式。

如果在“播放列表”或“首字母搜索”模式以外的任何模式按 ▶II，则播放开始。
例如，选择“艺术家”时，从所选艺术家首个曲集中的第一首曲目开始播放。
按曲目编号顺序播放列在所选艺术家之后所有艺术家的全部曲集。

3 如需再次搜索曲目，按 >。

4 按 ^/v 选择播放项目，然后按 ▶II。

从选定曲目或选定项目（艺术家或专辑等）的第一首曲目开始播放。选定项目下列举的所有曲目将按照曲目编号的顺序播放。

接下页 ⇩

返回“查看”屏幕

按 SEARCH/● MENU。

返回“菜单”屏幕

按住 SEARCH/● MENU。

要返回播放画面，在“菜单”屏幕上选择“播放画面”，然后按 ►II。

返回曲目列表

按 ^/v。

在查看显示屏中停止播放

按 ■。

一次滚动多个项目

在查看显示屏上快速按 ^ 或 v 两次，然后按住并保持几秒钟。

显示屏上列举的所有项目一次滚动多个项目。

当您按住并保持 ^ 或 v 几秒钟时，项目以比正常速度更快的速度滚动。

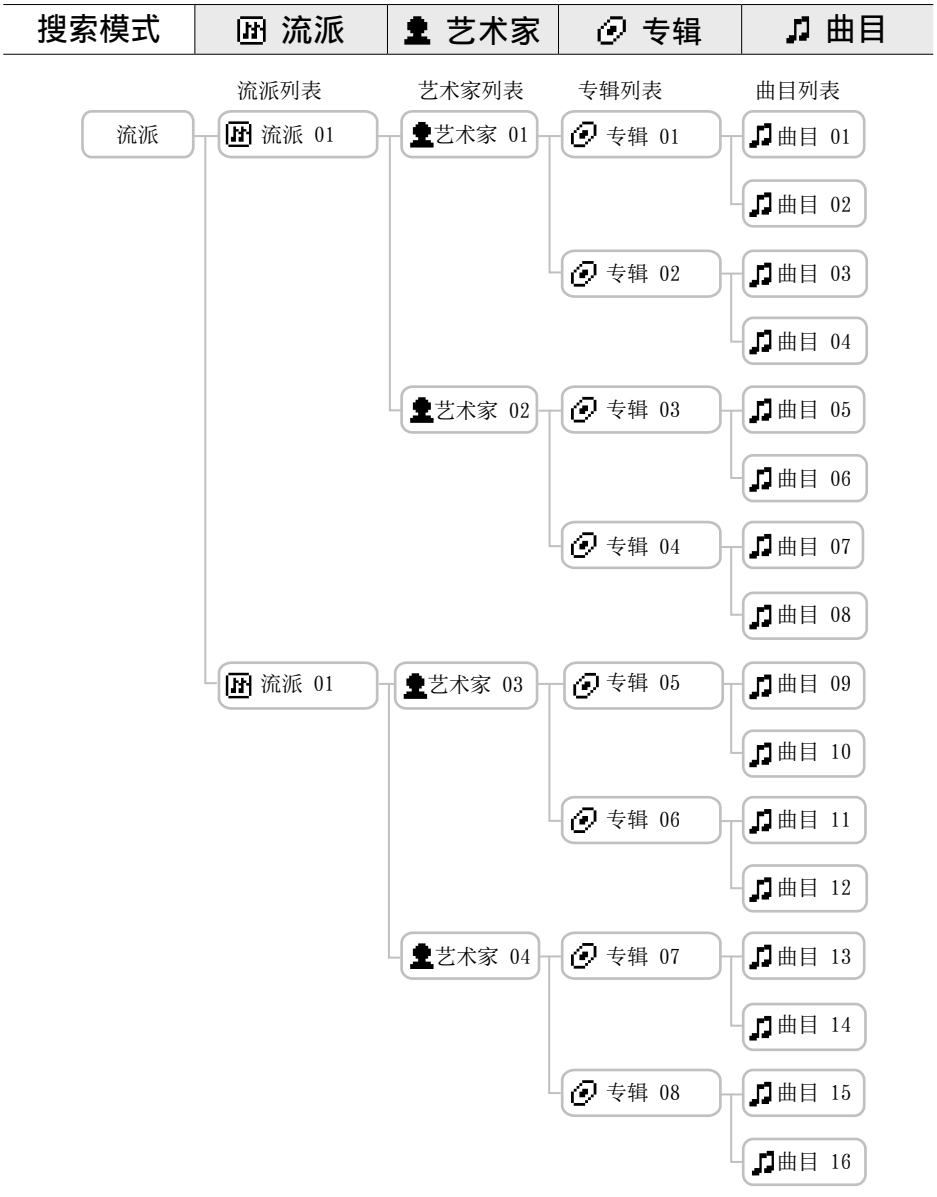
接下页 ⇩

有关查看显示屏的文件夹结构

查看显示屏上有以下搜索模式：–“艺术家”、–“专辑”、–“曲目”、“流派”、–“新曲目”、–“首字母搜索”和“播放列表”。流派、艺术家、曲集和曲目的结构如下。

在艺术家、曲集、曲目、流派和新曲目的查看显示屏上，可以通过按 ▶II 开始播放。

如需从新曲目播放曲目，请参阅 ☞ 第 36 页；如需从“首字母搜索”播放，请参阅 ☞ 第 36 页，如需从“播放列表”播放，请参阅 ☞ 第 38 页。



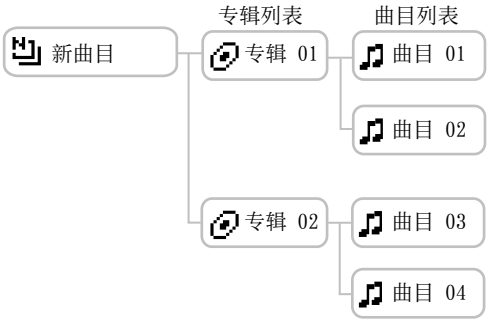
接下页 ⇩

从“新曲目”选择曲目

可以从最新传输到播放机的曲集选择曲目（最后 5 次）。

1 选择查看显示屏上的“新曲目”（步骤 2，☞ 第 33 页），然后按 。

新曲目的列表出现。以下为“新曲目”的结构。



2 按 / 选择播放项目，然后按 ▶II 。

从所选曲目或所选曲集的第一首曲目开始播放。所选项目下列举的所有曲目将按照曲目编号顺序播放。

通过曲目的第一个字母选择曲目（首字母搜索）

通过搜索曲目标题的第一个字母选择曲目。
播放机在 SonicStage 的 CD 信息中搜索曲目标题。

1 按 SEARCH/ MENU。

“查看”屏幕出现。



接下页 ⇩

2 **按 ∧/∨ 选择“ 首字母搜索”，然后按 ►II。**

出现曲目列表，然后出现字符选择显示。



3 **按 ∧/∨/</> 选择曲目标题的首字母，然后按 ►II。**

以所选首字母开头的曲目出现在列表中。如果没有以所选首字母开头的曲目，则首字母之后所列的曲目出现。



4 **按 ∧/∨ 选择要播放的曲目，然后按 ►II。**

从所选曲目开始播放。按曲目编号顺序播放列在所选曲目之后的所有曲目。

返回“查看”屏幕

按 SEARCH/MENU。

返回“菜单”屏幕

按住 SEARCH/MENU。

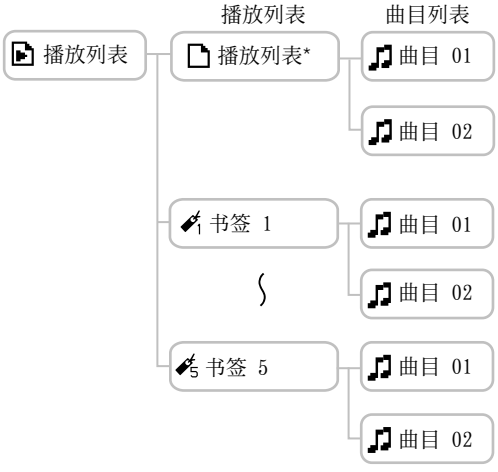
接下页 ⇩

从“播放列表”选择曲目

可以从使用 SonicStage 编辑的播放列表或播放机书签类型（书签 1 至书签 5 ）中登记的曲目中选择曲目。如需在书签中登记曲目，请参阅 ☞ 第 39 页。

1 选择查看显示屏上的“播放列表”（步骤 2，☞ 第 33 页），然后按 ⟩。

播放列表出现。以下为播放列表的结构。



* 播放列表的目录列表中的播放列表名称以 SonicStage 中创建的名称出现。

2 按 ⟨/⟩ 选择播放项目，然后按 ►II。

编辑播放机上的书签

存在两种类型的播放列表：SonicStage 中的播放列表和播放机中的播放列表。播放机中的播放列表包括 SonicStage 中创建的播放列表和播放机上创建的书签类型。有关播放列表结构的详情，请参阅 ☞ 第 38 页。仅可以使用创建该播放列表的设备对其进行编辑。播放机上创建的书签类型无法在 SonicStage 中编辑或显示。

在书签中登记曲目（书签曲目播放）

可以将喜欢的曲目登记在书签中。如需播放登记的曲目，请在查看显示屏中选择“播放列表”（☞ 第 33 页）。

1 播放想要登记到书签的曲目期间，按住 ^。

书签屏幕出现。



2 按 ^ / v 选择登记曲目的书签类型，然后按 ►II。

“已添加到书签”和书签编号（加书签的曲目的编号/可能的书签编号）出现，然后书签图标亮起。

3 如果要向两首或更多的曲目添加书签，请重复步骤 1 和 2。

每个书签可以添加多达 100 首的曲目。

接下页 ⇩

播放登记在书签中的曲目

1 按 SEARCH/MENU。
“查看”屏幕出现。
2 按 /选择“播放列表”，然后按 ▶II。
3 按 /选择“ 书签”，然后按 。
此处按 ▶II 而没有按 时，从所选书签的第一首曲目开始播放。
4 按 /选择曲目，然后按 ▶II。
播放显示中的书签图标底部出现下划线。

擦除书签

播放想要从中擦除书签的曲目期间，请按照上述步骤，按住并保持 。
“书签已清除”出现，而书签图标从显示屏上消失。

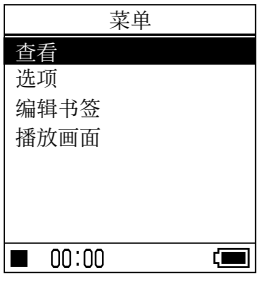
说明

- 您仅能在播放期间在书签中登记曲目。
- 曲目正在播放时，仅按照上述步骤才能从曲目中擦除书签。

重新编排书签中的曲目顺序

可以重新编排书签类型中登记的曲目顺序。

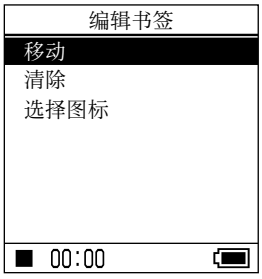
1 按住 SEARCH/MENU。
“菜单”屏幕出现。



接下页 ⇩

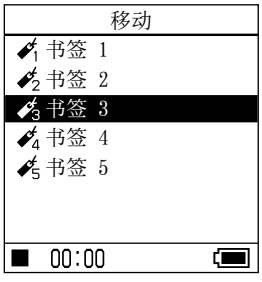
2 按 ^/v 选择“编辑书签”，然后按 ▶II 或 >。

编辑书签屏幕出现。



3 按 ^/v 选择“移动”，然后按 ▶II 或 >。

书签列表出现。



4 按 ^/v 选择要编辑的书签，然后按 ▶II 或 >。

所选书签类型的曲目列表出现。



5 按 ^/v 选择要移动的曲目，然后按 ▶II。

所选曲目闪烁。

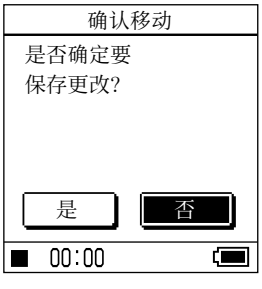
6 按 ^/v 选择移动曲目的目的地，然后按 ▶II。

步骤 5 选择的曲目移动到步骤 6 选择的地方。

想要移动其它曲目时，重复步骤 5 和 6。

7 按 > 或 ■。

确认对话框出现。



接下页 ⇩

8 **按 ⏮/⏭ 选择“是”，然后按 ▶II。**

“已保存更改”出现在播放机显示屏上。

如果选择“否”，则取消播放列表编辑且显示屏返回到编辑书签显示。

清除标为书签的曲目

可以清除书签类型中登记的曲目。

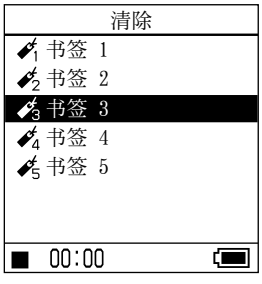
1 **在“重新编排书签中的曲目顺序”步骤 3 中选择“清除”（☞ 第 40 页），然后按 ▶II 或 ⏭。**

清除屏幕出现。



2 **按 🔉/🔊 选择“♫ 曲目”或“书签”，然后按 ▶II。**

书签列表出现。



3 **按 🔉/🔊 选择书签，然后按 ▶II 或 ⏭。**

当您在步骤 2 选择“曲目”时，曲目列表出现。

当您在步骤 2 选择“书签”时，跳到步骤 6。



接下页 ⇩

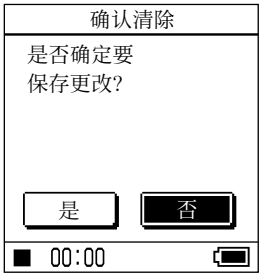
4 按 ⏮/⏭ 选择要清除的曲目，然后按 ▶II。

所选的曲目从列表中清除。

当您想要从一个书签中清除多首曲目时，请重复该步骤。

5 按 ⏭ 或 ■。

确认对话框出现。



6 按 ⏮/⏭ 选择“是”，然后按 ▶II。

“已保存更改”出现在显示屏上，显示屏返回编辑书签显示。

步骤 2 选择“ 书签”时

显示屏上出现“是否确定要清除所有添加到书签的曲目？”。选择“是”。

如果此处选择“否”，则取消书签编辑且显示屏返回到编辑书签显示。

一次滚动多个项目

在“重新编排书签中的曲目顺序”（☞ 第 40 页）或在“清除标为书签的曲目”（☞ 第 42 页）内，在曲目列表显示屏上快速按 ⏮ 或 ⏭ 两次，然后按住并保持几秒钟。

显示屏上列举的所有项目一次滚动多个项目。

当您按住并保持 ⏮ 或 ⏭ 几秒钟时，项目以比正常速度更快的速度滚动。

说明

播放或暂停播放登记到书签的曲目时，无法编辑书签。

接下页 ⇩

更改书签图标

可以选择标为书签的曲目上出现的书签图标。便于区分每个书签的书签图标（书签 1 到 5）。

1 在“重新编排书签中的曲目顺序”步骤 3 中选择“选择图标”（☞ 第 40 页），然后按 ►II 或 ›。

选择图标显示出现。



2 按 ^/v 选择想要更改图标的书签类型，然后按 ►II。

图标选择显示出现。



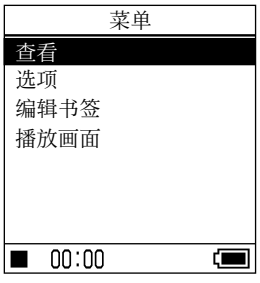
3 按 ^/v/‹/› 选择图标，然后按 ►II。

所选图标与标为书签的曲目一同出现。

更改播放选项（播放模式）

您可以使用各种各样的播放选项（播放模式），例如选择您想听的曲目，以随机顺序播放曲目等。
有关播放选项和播放范围的详情，请参阅“播放选项”（☞ 第 47 页）。
也可以使用所选的播放选项以随机顺序（重复播放，☞ 第 47、49 页）或重复播放（☞ 第 49 页）曲目。

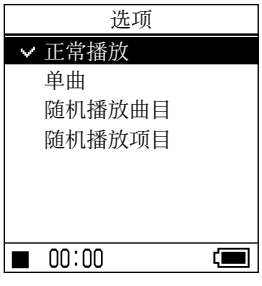
1 **按住 SEARCH/– MENU。**
“菜单”屏幕出现。



2 **按 ∧/∨ 选择“选项”，然后按 ►II。**
“选项”屏幕出现。



3 **按 ∧/∨ 选择“播放模式”，然后按 ►II。**
播放模式列表出现。



接下页 ⇩

4 **按 ⏮/⏭ 选择播放选项，然后按 ▶II。**

默认设置为“正常播放”。

5 **按 SEARCH/⬬ MENU 显示“查看”屏幕，然后选择播放的搜索类别（☞ 第 33 页）。**

如需缩小播放的搜索类别，请按 ⏭。

6 **按 ▶II。**

播放将按选定的播放选项开始。

取消设置

按 ■ 返回“选项”屏幕。

返回正常播放

在步骤 4 中，选择“正常播放”。

返回“菜单”屏幕

按住 SEARCH/⬬ Menu。

说明

更改播放模式时，单元（☞ 第 48 页）也将更改为播放机中录制的所有曲目。如需播放单元中的曲目，请在“查看”屏幕中选择项目（艺术家、曲集或曲目等）。

接下页 ⇩

播放选项（播放模式）

播放机显示/图标	说明
正常播放/无图标	按曲目编号顺序播放所选项目之后的所有曲目一次。 选定曲目以外的项目（唱片、艺术家等）时，按曲目顺序从项目的第一首曲目起播放所有曲目一次。
单曲/ 1（单曲播放）	播放选定曲目一次。 选择曲目以外的项目时（唱片、艺术家等），只播放第一首曲目一次。
随机播放曲目/SHUF	随机播放所有曲目一次。
随机播放项目/SHUF	随机播放所有曲集一次（曲集随机）。曲集中的播放顺序为曲目编号顺序。“单元”设置为“单元开启”（☞ 第 47 页），单元随机播放曲目（☞ 第 49 页）。

以所选搜索类别播放曲目（单元播放）

1 **在“更改播放选项”步骤 3 中选择“单元”（☞ 第 45 页），然后按 ►II。**

“单元”屏幕出现。



2 **按 ^/v 选择“单元开启”，然后按 ►II。**

接下页 ⇩

3 按 SEARCH/⊖ MENU 显示“查看”屏幕，然后选择播放的搜索类别（☞ 第 33 页）。

4 按 ▶II。

在单元中以曲目编号顺序开始播放。

什么是单元（播放的搜索类别）？

开始播放时属于所选项目的所有项目（艺术家、曲集或曲目等）被称为“单元”。

例如： **选择“流派 01”后开始播放时**

曲目 01 到 08 的曲目将是单元。

选择“艺术家 02”后开始播放时

曲目 05 到 08 的曲目将是单元。



说明

- 当您将“单元开启”切换为“单元关闭”，或是将“单元关闭”切换为“单元开启”时，单元重置，包括播放机内所有的曲目。
- 当您在步骤 3 中选择一个曲目作为播放的搜索类别时，包含该曲目的唱片被指定为该单元。

接下页 ⇩

有关单元中的曲目随机播放（“单元”设置为“单元开启”时的“随机曲目播放”）

如果在选项屏幕上将“单元”设置为“单元开启”，则开始播放时，单元中所列的所有项目（艺术家、曲集和曲目）随机播放。

有关单元随机（“单元”设置为“单元开启”时的“随机播放项目”播放模式）

如果在选项屏幕上将“单元”设置为“单元开启”，单元中在首层的项目将随机播放。单元中的播放顺序为曲目编号顺序。

说明

- 当您选择查看屏幕上的“♫ 曲目”并以随机模式开始播放时，无论“单元开启/关闭”或“随机播放曲目/项目”模式的设置如何，播放机上所有的曲目都以随机顺序播放。
- 当您选择“查看”屏幕上的“播放列表”，然后选择“播放列表”或“书签”以随机模式开始播放时，无论“单元开启/关闭”或“随机播放曲目/项目”模式的设置如何，播放列表或书签中所有的曲目都以随机顺序播放。

重复播放曲目（重复播放）

按照 ☞ 第 47 页选择的播放选项重复播放曲目。

1 **在“更改播放选项”步骤 3 中选择“重复”（☞ 第 45 页），然后按 ▶II。**

“重复”屏幕出现。



2 **按 /选择“重复开启”，然后按 ▶II。**



出现。

接下页 ⇩

3 **按 SEARCH/⬬ MENU 显示“查看”屏幕，然后选择播放的搜索类别（☞ 第 33 页）。**

4 **按 ▶II。**

播放将按选定的播放选项开始。

使用期间在任意时刻要取消设置

按 ■ 返回“选项”屏幕。

取消重复播放

在步骤 2 中，选择“重复关闭”。

返回“查看”屏幕

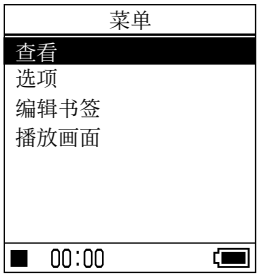
按 SEARCH/⬬ MENU。

更改音质和设置

有关各种设置项目的详情，请参阅 ☞ 第 52 页。

1 **按住 SEARCH/⬬MENU。**

“菜单”屏幕出现。



2 **按 ∧/∨ 选择“选项”，然后按 ►II。**

“选项”屏幕出现。



3 **按 ∧/∨ 选择选项，然后按 ►II。**

调节音质

完成步骤 3 之后，按 ∧/∨ 选择“音效”（☞ 第 52 页），然后按 ►II。

返回之前的屏幕

按 ⟨。

取消设置

按 ■ 返回“选项”屏幕。

返回“菜单”屏幕

按住 SEARCH/⬬MENU。

接下页 ⇩

音质和屏幕的设置项目

项目	选项（●：默认设置）		
音效	● 音效关闭		以正常音质播放曲目。
	VPT 听觉引擎 1) 2)	录音室 (VS)	重现录音室的声效。
		现场 (VL)	重现音乐厅的声效。
		俱乐部 (VC)	重现舞厅的声效。
		舞台 (VA)	重现体育馆的声效。
	六波段均衡器 1) 2)	强劲 (SH)	以强劲的声音播放曲目，与“流行”声音相比，进一步加强高频和低频音域
		流行 (SP)	以声乐般的声音播放曲目，加强中频音域。
		爵士 (SJ)	以轻快的声音播放曲目，加强高频和低频音域。
		(SU)	以特殊的声音播放曲目，加强中频以外的高频和低频音域。
		定制 1 (S1)	以定制的声音播放曲目（有关详情，☞ 第 55 页）。
		定制 2 (S2)	
	数码音效预设 2)	定制 3 (S3)	用预设的高音和低音播放曲目（有关详情，☞ 第 56 页）。
		定制 4 (S4)	

1) 这些设置仅在播放 ATRAC3plus 音频曲目时起作用。在播放 MP3 音频曲目时，这些设置不起作用。

2) 声音设置以括号括住字母的形式出现在显示屏中（☞ 第 32 页）。

接下页 ⇩

项目	选项（●：默认设置）	
AVLS 1)	●AVLS 关闭	音量变化无限制。
	AVLS 开启	限制最大音量以保护您的听力。
提示音	●提示音开启	操作播放机时发出哔声。
	提示音关闭	哔声关闭。
音频输出	●耳机	连接到附带的耳机时选择此项。
	线路输出	连接到带音频线的音箱等时选择此项（☞ 第 58 页）。
背景光 2)	●10秒	按某个按钮或滚动时，背景光在所选时间内亮起。
	30秒	
	始终关闭	背景光熄灭以节约电能。
对比度 3)	●中等	显示屏亮度适中。如果播放机的机身颜色为黑色，则默认设置为左起二档。
	– 到 +	向 – 方向调节，以使显示屏变亮或向 + 方向调节，以使显示屏变暗。如果按 SEARCH/⬬ MENU 的同时按 ⌒，则亮度被设置为“中等”。
画面倒转	●阴极	字符和图标以白色显示，背景为黑色。
	阳极	字符和图标以黑色显示，背景为白色。

1) AVLS 是 Automatic Volume Limiter System（自动音量限制器系统）的缩写。

2) 如果在背景光熄灭时按 VOL+/VOL–，则背景光会打开。

3) 如果按 SEARCH/⬬ MENU 的同时按 ⌒，设置返回到出厂设置。

接下页 ⇩

项目	选项（●：默认设置）	
画面方向	●垂直	固定垂直显示。
	自动	使用 G-Sensor [1] 功能自动调节显示方向。打开播放机时，显示方向固定为合适的方向。
	右侧	将显示转至左侧使您可用右手操作播放机。
	左侧	将显示转至右侧使您可用左手操作播放机。
语言	日本語	消息和菜单以日语显示。
	●English	消息和菜单以英语显示。
	Français	消息和菜单以法语显示。
	Deutsch	消息和菜单以德语显示。
	Italiano	消息和菜单以意大利语显示。
	Español	消息和菜单以西班牙语显示。
	簡体中文 [2]	消息和菜单以简体中文显示。
	繁體中文 [2]	消息和菜单以繁体中文显示。
	한글 [2]	消息和菜单以韩语显示。
初始化系统 [3]	出厂设置	MENU 显示上的所有设置被设为出厂设置（☞ 第 60 页）。
	初始化硬盘	播放机上的所有数据被清除（☞ 第 62 页）。
	更新固件	更新播放机固件（☞ 第 64 页）[4]。

1) G-Sensor是感知播放机方向的功能。

2) 视您使用播放机的国家/地区而定，这些语言可能无法显示。

3) 在播放或暂停播放期间不能重置设置。

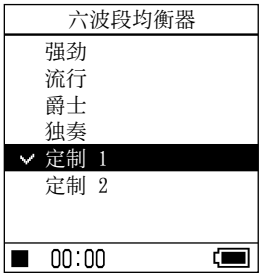
4) 本功能目前不可用，请等待通知信息。

接下页 ⇩

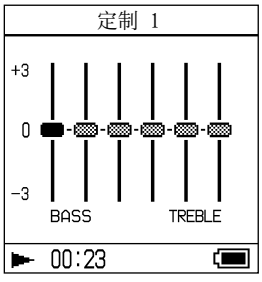
定制音质（六波段均衡器 – 定制）

通过选择屏幕上的设定，您可以为各个频率范围单独调整音质。

1 **在“更改音质和设置”步骤 3 中选择“音效”（☞ 第 51 页）之后，请选择“六波段均衡器”，然后按 ▶II。**

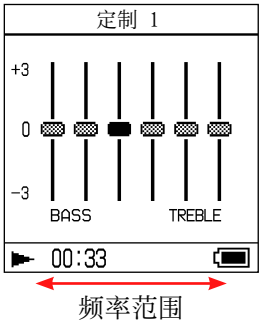


2 **按 ^/v 选择“定制 1”或“定制 2”，然后按 ▶II。**



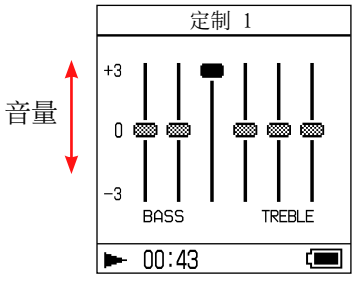
3 **按 </> 选择频率范围。**

有 6 级频率范围。



4 **按 ^/v 来选择音量。**

音量有 7 级大小。



接下页 ⇩

5 重复步骤 **3** 和 **4** 调节其余的频率范围。

6 按 ▶II。

屏幕返回“六波段均衡器”屏幕。

取消设置

按 ■ 返回“六波段均衡器”屏幕。

返回“菜单”屏幕

按住 SEARCH/MENU。

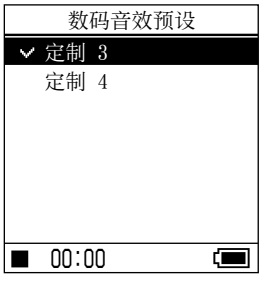
说明

- 如果调高音量时声音出现失真，请调低音量。
- 如果您在“定制 1”或“定制 2”声音设置和其它声音设置之间感觉到差音，请将音量调整到您喜欢的大小。
- 播放 MP3 音频曲目时，设置不起作用。

调节高音和低音增强（数码音效预设）

您可以根据自己的喜好预先设置高音和低音级别。在查看显示屏的同时，调节增强设置。

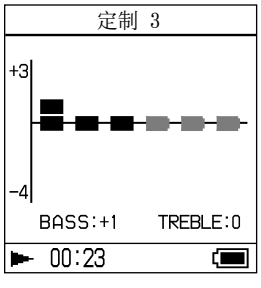
1 在“更改音质和设置”步骤 **3** 中选择“音效”（☞ 第 51 页）之后，请选择“数码音效预设”，然后按 ▶II。



2 按 / 选择“定制 3”或“定制 4”，然后按 ▶II。

默认设置

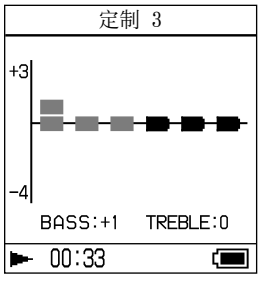
音质	定制 3 (S3)	定制 4 (S4)	关闭 (NORMAL SOUND)
BASS	+1	+3	±0
TREBLE	±0	±0	±0



接下页 ⇩

3 **按 ＜/＞ 选择“TREBLE”或“BASS”。**

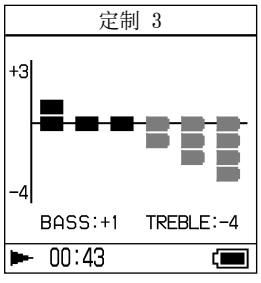
您可以调节高音和低音的音质。



4 **按 ∽/∽ 选择音量。**

音量有八级大小。

音质	增强级别
BASS	-4 到 +3
TREBLE	-4 到 +3



5 **按 ▶II。**

屏幕返回到“数码音效预设”屏幕。

取消设置

按 ■ 返回到“数码音效预设”屏幕。

返回“菜单”屏幕

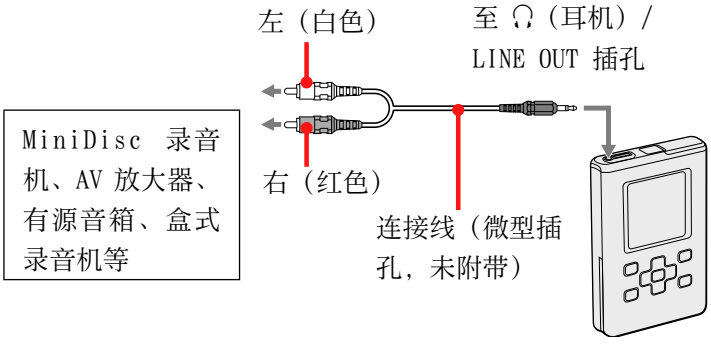
按住 SEARCH/⬬ MENU。

说明

- 低音和高音级别分别出现在“定制 3”或“定制 4”图表的左右两端。您不能在两种级别之间分开调节，这是因为它们是与高音和低音级别连结在一起的，并会自动更改。
- 如果调高音量时声音出现失真，请调低音量。
- 如果您在“定制 3”或“定制 4”声音设置和其它声音设置之间感觉到差音，请将音量调整到您喜欢的大小。

连接其它设备

您可以通过立体声系统欣赏曲目，也可以将播放机中的曲目录制到 MiniDisc 或磁带。请参阅待连接设备的说明手册。
务必在进行连接及更改以下解释的设置之前关闭所有设备的电源。



需要在“选项”屏幕中更改“音频输出”设置以便用连接的设备输出声音。“音频输出”设置如下所示。要进行设置，请参阅 ☞ 第 51 页。

连接的设备	设置
耳机	耳机
用连接线连接的设备	线路输出

在连接其它设备时，请将该项设为“线路输出”。设为“线路输出”时，不能调节音量，“音效”设置不可用且不起作用。

说明

- 附带的耳机连接到播放机时，请勿将“音频输出”设为“线路输出”。如果设为“线路输出”，则不能调节音量，且声音将会失真并伴有噪声。
- 播放之前，调低所连设备的音量以避免破坏连接的扬声器。

存储音频文件以外的数据

您可以用 Windows 资源管理器将数据从计算机的硬盘传输到本播放机的内置硬盘。
播放机的内置硬盘在 Windows 资源管理器中作为外接设备（可移动存储装置）显示。

说明

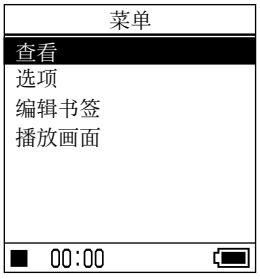
- 用 Windows 资源管理器操作播放机的硬盘时请勿使用 SonicStage。
- 如果用资源管理器将 WAV 和 MP3 文件传输到播放机，这些文件将不会播放。使用 SonicStage 传输它们。
- 正在传输数据时，请勿断开 USB 电缆。否则，正在传输的数据可能损坏。
- 请勿在计算机上对播放机的硬盘进行初始化。

重置出厂设置

将“菜单”屏幕中的所有设置重置为出厂设置。

1 **播放机停止时，按住并保持 SEARCH/MENU。**

“菜单”屏幕出现。



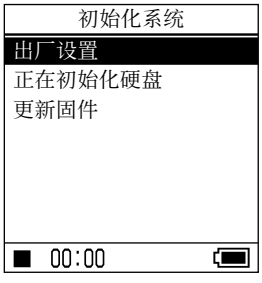
2 **按 ∧/∨ 选择“选项”，然后按 ▶II。**

“选项”屏幕出现。



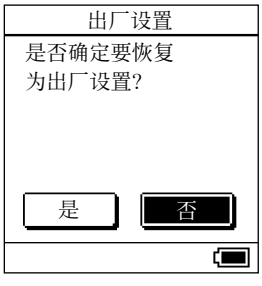
3 **按 ∧/∨ 选择“初始化系统”，然后按 ▶II。**

“初始化系统”屏幕出现。



4 **按 ∧/∨ 选择“出厂设置”，然后按 ▶II。**

“出厂设置”屏幕显示。



接下页 ⇩

5 按 ‹/› 选择“是”，然后按 ►II。

出现消息，然后显示屏返回到“初始化系统”屏幕。

取消设置

按 ■。相反，在步骤 5 中选择“否”，然后按 ►II。
显示屏返回到“初始化系统”屏幕。

说明

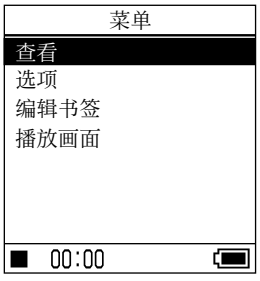
在播放期间不能重置为出厂设置。

初始化硬盘

您可以初始化播放机的硬盘。如果硬盘被初始化，则存储的所有音频数据和其它数据将被删除。在初始化之前，请务必检查存储在硬盘中的数据。

1 播放机停止时，按住并保持 SEARCH/MENU。

“菜单”屏幕出现。



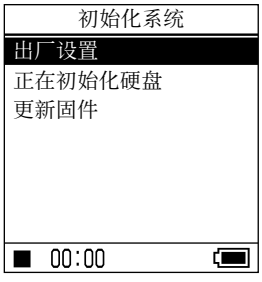
2 按 ⏮/⏭ 选择“选项”，然后按 ▶II。

“选项”屏幕出现。



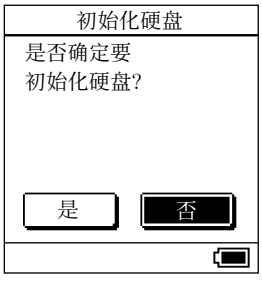
3 按 ⏮/⏭ 选择“初始化系统”，然后按 ▶II。

“初始化系统”屏幕出现。



4 按 ⏮/⏭ 选择“初始化硬盘”，然后按 ▶II。

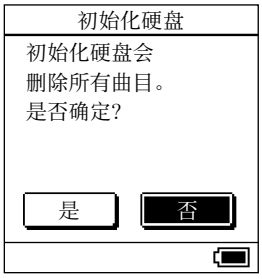
“初始化硬盘”屏幕出现。



接下页 ⇩

5 **按 ＜/＞ 选择“是”，然后按 ▶II。**

确认对话框出现。



6 **按 ＜/＞ 选择“是”，然后按 ▶II。**

出现消息，然后显示屏返回到“初始化系统”屏幕。

取消设置

按 ■。相反，在步骤 6 中选择“否”，然后按 ▶II。
显示屏返回到“初始化系统”屏幕。

说明

- 请勿在计算机上对播放机的硬盘进行初始化。
- 在播放期间不能格式化硬盘。
- 如果播放机被初始化，所有音频数据和音频数据以外的文件均被删除。
- 如果曲目因初始化而被删除，在播放机连接到计算机时，SonicStage 将这些曲目视为要传输回计算机的曲目。因此，剩余可传输数量自动增加。

卸载 SonicStage

如需卸载 SonicStage，请按照以下操作进行。

1 单击“开始”–“控制面板”。*

* 对于 Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition，则为“设置”–“控制面板”。

2 双击“添加/删除程序”。

3 单击“当前安装的程序”列表中的“SonicStage 3.1”，然后单击“删除”。

按照显示指示操作，然后重新启动计算机。计算机重新启动后，完成卸载。

* 对于 Windows 2000 Professional，则为“更改/删除”，对于 Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition，则为“添加/删除”。

说明

安装 SonicStage Ver. 3.1 的同时安装 OpenMG Secure Module 4.1。由于其它软件可能使用 OpenMG Secure Module 4.1，因此请勿将其删除。

故障检修

如果您的播放机出现故障，请尝试以下解决方法。

1 取出电池并重新插入。
2 检查“故障检修”中列出的症状。
3 使用 SonicStage 时，请在 SonicStage 帮助中检查症状。
4 如果检查上述参考后依然无法解决问题，请查看下表，然后与最近的 Sony 经销商联系。

电源

症状	原因和（或）解决方法
电池寿命过短	→ 工作温度低于 5°C。这是电池特性的原因，不是故障。 → 长期未使用播放机。反复充电和放电即可改善电池性能。 → 电池可能已经达到其使用寿命末期。用新的电池予以更换。 → 电池充电时间不够。持续对电池充电，直到 出现。

接下页 ⇩

声音

症状	原因和（或）解决方法
无声音。 听到噪声。	➔ 音量设置为零。调高音量（☞ 第 30 页）。 ➔ 未正确连接耳机插头。将其牢牢地连接到 🎧（耳机）/LINE OUT 插孔（☞ 第 29 页）。 ➔ 耳机插头脏了。用干的软布清洁耳机插孔。 ➔ 硬盘中无音频数据。
音量不增大	➔ “AVLS”设置为“ “AVLS 开启”。将其设置为“AVLS 关闭”（☞ 第 53 页）。
耳机的右声道无声音。	➔ 未正确连接耳机插头。将其牢牢地连接到 🎧（耳机）/LINE OUT 插孔（☞ 第 29 页）。
不能调节音量。	➔ “音频输出”设置为“线路输出”。用所连设备上的音量控制器调节音量，或将“音频输出”设为“耳机”（☞ 第 53 页）。
使用连接了立体声系统的播放机时，声音失真或有噪音。	➔ “音频输出”设置为“耳机”。将其设置为“线路输出”（☞ 第 53 页）。

接下页 ⇩

操作/播放

症状	原因和（或）解决方法
按钮不起作用。	➔ 按钮已被锁定。将 HOLD 开关滑回（☞ 第 31 页）。 ➔ 出现水汽冷凝。（如果播放机直接从寒冷的地方带到温暖的地方，则湿气可能在播放机内部凝结）。静置播放机数小时，直到水汽蒸发。 ➔ 剩余电池电量不足。为电池充电（☞ 第 13 页）。
播放突然停止。	➔ 剩余电池电量不足。对电池充电（☞ 第 13 页）。 ➔ 在尝试播放此播放机无法播放的 MP3 音频曲目时，播放将停止。按 ⏭ 选择其它曲目（☞ 第 30 页）。 ➔ 播放机受到长时间的振动。停止振动并重新打开播放机。
背景光没有打开。	➔ “背景光”设为“始终关闭”。将其设为“10 秒”或“30 秒”（☞ 第 53 页）。
标题显示“□”。	➔ 字符不能在播放机上显示。使用 SonicStage 软件用正确重命名标题。
显示屏关闭。	➔ 使用电池时，如果在停止模式下约 30 秒钟内没有进行操作，则显示屏自动关闭。在滚动曲目标题等时，显示屏在滚动完成之后约 30 秒关闭。同样的，按住 ■ 也将关闭显示屏。此时，按任意按钮重新打开显示屏。

接下页 ⇩

连接计算机/SonicStage

症状	原因和（或）解决方法
无法安装 SonicStage 软件。	➔ 使用了与软件不兼容的操作系统（☞ 第 16 页）。 ➔ 所有 Windows 应用程序均未关闭。如果其它程序正在运行时开始安装，则可能会出现故障。尤其是需要大量系统资源的程序，如防病毒软件。 ➔ 计算机硬盘没有足够的空间。需要 200 MB 或更多的可用空间。删除计算机上不必要的文件。
安装似乎在尚未完成之前即已停止。	➔ 查看安装窗口下方显示的错误消息。在按住“Alt”键的同时按“Tab”键。如果出现错误消息，请按“Enter”键。安装将继续进行。如果没有消息，则表示安装仍在进行。请等待更长时间。
计算机显示器上的进度栏没有活动。计算机访问指示灯持续几分钟未发亮。	➔ 安装在正常进行。请等待。安装过程将用时 30 分钟或更长时间，这取决于您的 CD 驱动器或系统环境。
SonicStage 没有启动。	➔ 系统环境由于升级 Windows 操作系统等而发生改变。请与最近的 Sony 经销商联系。

接下页 ⇩

用 USB 电缆连接到计算机时，“正在连接至 PC”没有显示。	→ 请等待 SonicStage 软件的授权。 → 另一应用程序正在计算机上运行。稍等一段时间或重新连接 USB 电缆。如果仍然无法解决问题，请断开 USB 电缆，然后重新连接电缆。 → 未正确连接 USB 电缆。断开 USB 电缆，然后重新连接。 → 使用了 USB 集线器。通过 USB 集线器进行连接并不能得到保证。请将 USB 电缆直接连接到计算机。 → SonicStage 软件的安装失败。断开播放机与计算机的连接，然后使用附带的 CD-ROM 重新安装软件（☞ 第 17 页）。您仍然可以使用现有软件注册的音频数据。 → 电池耗尽。请使用 AC 电源转接器为电池充电。
连接到计算机时，播放机不被计算机识别。	→ 未正确连接 USB 电缆。 断开 USB 电缆，然后重新连接。 → 使用了 USB 集线器。通过 USB 集线器进行连接并不能得到保证。请将 USB 电缆直接连接到计算机。 → 未安装播放机的驱动程序文件。使用附带的 CD-ROM 重新安装播放机的 SonicStage 软件（☞ 第 17 页），以便同时安装驱动程序。 → SonicStage 软件的安装失败。断开播放机与计算机的连接，然后使用附带的 CD-ROM 重新安装软件(☞ 第 17 页）。您仍然可以使用现有软件注册的音频数据。

接下页 ⇩

不能从计算机将音频数据传输到播放机。	→ 未正确连接 USB 电缆。断开 USB 电缆，然后重新连接。 → 播放机硬盘的可用空间不足。将任何不必要的文件传回计算机以增大可用空间（☞ 第 27 页）。 → 已经传输了 65,535 以上的曲目或 8,187 以上的播放列表到播放机硬盘。或者正在尝试传输单个包含超过 999 首曲目的播放列表。 → 带播放时间或播放次数限制的曲目。有关各个音频文件的设置，请联络发行者。 → SonicStage 软件的安装失败。断开播放机与计算机的连接，然后使用附带的 CD-ROM 重新安装软件（☞ 第 17 页）。您仍然可以使用现有软件注册的音频数据。
可传输到播放机的曲目数量不多。（可用录制时间过短。）	→ 播放机硬盘的可有空间不足以存储要传输的音频数据的大小。将任何不必要的文件传回计算机以增大可用空间（☞ 第 27 页）。 → 播放机的硬盘存储了音频数据以外的数据。将音频数据以外的数据移到计算机以增大可用空间。
不能从播放机将音频数据传回计算机。	→ 选择了用于将音频数据传输到播放机以外的计算机作为传输目标。如果传输目标不是将音频数据传输到播放机时所用的计算机，则不能传输音频数据。 → 音频数据已从用于传输到播放机的计算机中删除。如果曲目已从用于传输到播放机的计算机中删除，则音频数据不能传输回计算机。

接下页 ⇩

播放机连接到计算机时，音频数据传输回计算机，剩余可传输数量在没有操作的情况下偶然增加。	→ 如果用安装在将音频数据传输到播放机的计算机以外的计算机上的 SonicStage 软件删除了曲目，当播放机连接到用于将音频数据传输到播放机的计算机时，曲目将自动传回。因此，剩余可传输数量自动增加。
播放机连接到计算机时，播放机的操作不稳定。	→ 使用了 USB 集线器或 USB 延长线。通过 USB 集线器或 USB 延长线进行连接并不能得到保证。请将 USB 电缆直接连接到计算机。
播放机连接到计算机时，计算机屏幕显示“无法验证设备/媒体。”。	→ 播放机未正确连接到计算机。退出 SonicStage 软件并检查 USB 电缆的连接。重新启动 SonicStage 软件。

接下页 ⇩

其它

症状	原因和（或）解决方法
播放机操作时无哔声。	➔ “提示音”设为“提示音关闭”。将其设置为“提示音开启”（☞ 第 53 页）。
播放机变暖。	➔ 播放机在电池正在充电以及刚刚充完电之后会发热，这是因为快速充电的缘故。除此以外，播放机在传输大量曲目时也会发热。静置播放器一段时间。
听到播放机内部发出声音。播放机晃动。	➔ 播放机的内置硬盘运动时，可能听到操作的声音，播放机出现振动。这并不是故障。

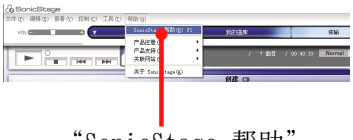
使用 SonicStage 帮助

SonicStage 帮助提供了有关如何使用 SonicStage 的更多详情。SonicStage 帮助使您可以轻易地通过以下方式搜索相关信息：从诸如“导入音频数据”或“传输音频数据”等操作列表，或者主要关键字列表中,或者通过键入可让您进入相应说明的关键字。

在 SonicStage 运行时，单击“帮助”－“SonicStage 帮助”。

帮助出现。

播放机在 SonicStage 帮助中以“ATRAC Audio Device”表示。

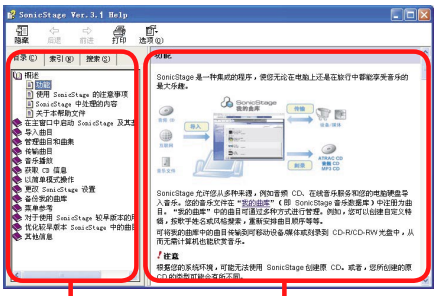


“SonicStage 帮助”

说明

- 在 SonicStage 帮助中，“设备/媒体”是表示 Network Walkman 或 MD Walkman 的一般术语。
- 务必遵循您的因特网服务提供商关于建议系统的相关事项的说明。

了解 SonicStage 帮助



左框　　右框

1 双击 SonicStage 帮助左窗格的“概述”。

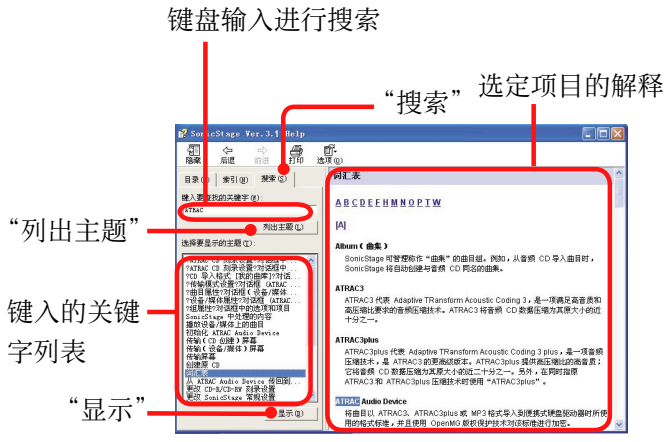
2 单击“关于本帮助文件”。

右窗格中将显示说明。

必要时可滚动查看显示屏。单击带有下划线的文字，跳到其相应的说明中。

接下页 ⇩

搜索解释中的某个词



1 单击“搜索”。
2 键入关键字。
3 单击“列出主题”。
此时将会显示键入的关键字列表。
4 单击以选择所显示关键字中所需的项目。
5 单击“显示”。
此时选定项目的说明将会显示。

错误消息

如果屏幕显示错误消息，请按以下说明进行操作。

消息	含义	纠正措施
AVLS 无操作音	音量超过 AVLS 的最大音量。	→ 将“AVLS”设为“AVLS 关闭”（☞ 第 53 页）。
能设定的书签种类已满	正在尝试添加将已经登记到所有书签类型的书签。	→ 一个曲目仅可被标为每一种书签类型一次。
没有电池	•正在尝试不插入电池通过 AC 电源转接器连接操作播放机。 •播放机连接到计算机时，从播放机取出电池。	→ 将 AC 电源转接器连接到交流电源插座时，插入电池。
书签已满	书签数量超过限制。	→ 清除不需要的书签（☞ 第 40 页）。
取消	设置或操作被取消。	—
无法编辑播放状态的书签	播放或停止模式期间尝试编辑书签。	→ 无法在播放或停止模式期间编辑书签。
无法操作停止	播放期间在“选项”屏幕中选择了“初始化系统”。	→ 停止播放，然后再次选择“初始化系统”。
停止状态无法操作	在播放机停止时试图添加书签。	→ 播放期间添加书签（☞ 第 39 页）。
无法播放连接至 PC	播放机中的时钟不工作。	→ 连接到计算机（☞ 第 24 页）。
无法播放曲目错误	音频数据损坏。	→ 将音频数据重新传输到播放机（☞ 第 24 页）。

接下页 ⇩

无法播放 该设备上的曲目	•不允许在播放机上播放该曲目。 •播放带限制播放次数的曲目。	→ 不能播放不允许在本播放机上播放的曲目。
无法播放 不可播放	试图在曲目的限制播放时间范围之外播放曲目。	→ 带限制播放时间的曲目只能在指定的播放时间内播放。
无法更新 电池电量不足	上载固件时，电池电量不足。	→ 给电池完全充电，再次尝试上载。
充电 5°C - 35°C	在温度超过 5 至 35°C 范围的环境下充电。	→ 在 5 至 35°C 的环境温度下充电。
清除播放状态 书签	正在播放标为书签的曲目时尝试将其清除。	→ 正在播放曲目时，仅通过在播放列表中选择才能试图从登记的书签类型清除曲目，进而可以清除标为书签的曲目。
连接交流电源转接器	曾尝试不使用 AC 电源转接器更新固件。	→ 将 AC 电源转接器连接到播放机（☞ 第 13 页）。
错误: 无法设定书签	由于某些错误导致无法将曲目添加到书签。	→ 再次尝试将曲目添加到书签。
错误: 无法清除	由于某些错误导致无法清除书签。	→ 再次尝试清除书签。
无法创建数据库	无法创建数据库。	→ 请稍等片刻。数据库正在更新。
可重写硬盘 5°C-35°C	在温度超过 5 至 35°C 的环境下将音频数据传输到播放机。	→ 在 5 至 35°C 的环境温度下操作。

接下页 ⇩

硬盘未正确初始化	•播放机硬盘未正确初始化。 •播放机硬盘在计算机上进行初始化。 •播放机硬盘未初始化，因为已经被更改。	→ 再次初始化播放机的硬盘。（☞ 第 62 页）。
锁定	HOLD 开关滑到 ON 位置。	→ 按箭头所示的相反方向滑动 HOLD 开关，解除对控制按钮的锁定。（☞ 第 31 页）。
线路输出无法操作	当“音频输出”设为“线路输出”时，您试图调节音量或改变“音效”设置。	→ 将“音频输出”设为“耳机”（☞ 第 53 页）。
电池电量不足	没有剩余电量。	→ 对电池充电（☞ 第 13 页）。
群组数量已满	分组（专辑、艺术家等）的数量超过限制（8,192）。	→ “查看”屏幕上的项目总数（曲目列表除外）超过 8,192。将任何不需要的曲目传回 SonicStage 上“我的曲库”（☞ 第 27 页）。
系统文件不匹配	系统文件中有不匹配项。	→ 再次初始化播放机的硬盘（☞ 第 62 页），然后将音频数据传回播放机（☞ 第 24 页）。
找不到数据库	从计算机断开时，没有曲目传输到播放机，或缺少信息。	→ 再次将播放机连接到计算机，然后将其断开。 → 将音频数据传输到播放机（☞ 第 24 页）。
无曲目	曲目列表中无曲目。	→ 转到有曲目的曲目列表。 → 将音频数据传输到播放机（☞ 第 24 页）。

接下页 ⇩

系统错误 <No.***>（带括号的编号。）	这是系统错误。	➜ 记下编号并咨询最近的 Sony 经销商。

规格

可录制的最大曲目数量（近似值）*

NW-HD5

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5,000 (132 kbps)	2,500 (256 kbps)	5,000 (128 kbps)
6,000 (105 kbps)	10,000 (64 kbps)	10,000 (64 kbps)
10,000 (66 kbps)	13,000 (48 kbps)	

NW-HD5H

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
7,500 (132 kbps)	3,500 (256 kbps)	7,500 (128 kbps)
9,000 (105 kbps)	15,000 (64 kbps)	15,000 (64 kbps)
15,000 (66 kbps)	20,000 (48 kbps)	

* 传输四分钟曲目时

采样频率

44.1 kHz (ATRAC3plus), 32/44.1/48 kHz (MP3)

音频压缩技术

自适应变换声学编码 3 增强版
(ATRAC3plus)
MPEG-1 音频动态压缩第 3 层 (MP3)

频率响应

20 到 20,000 Hz（在播放期间测量单一信号）

输出

🎧（耳机）/LINE OUT*:
立体声微型插孔/180 mV
* 插孔用于耳机和 LINE OUT。

工作温度

5 至 35°C

接下页 ⇩

电源

可充电锂离子电池：LIP-880PD，3.7V 880mAh，锂离子
AC 电源转接器（AC-ES608K3）：DC IN 6V
额定电流：800mAh

电池寿命（连续播放）

ATRAC3plus 格式（48 kbps）：约 40 小时
MP3 格式（128 kbps）：约 30 小时

尺寸

不含突出部件：
约 59.9 × 88.7 × 14.2 mm（宽/高/厚）

含突出部件：

约 59.9 × 89.3 × 14.5 mm（宽/高/厚）

质量

约 135 g

设计和规格如有更改，恕不另行通知。

美国及他国专利许可由 Dolby Laboratories 授予。

索引

符号

1（单曲播放） 47
专辑 35
艺术家 35
流派 35
首字母搜索 36
新曲目 36
播放列表 38
剩余电量 15
重复播放 49
SHUF 随机播放项目 47
SHUF 随机播放曲目 47
曲目 35
SHUF 单元中的曲目随机 49
SHUF 单元随机 49
한글 54

A

ATRAC3/ATRAC3plus 21, 30
AVLS 53
AC 电源转接器 11

B

背景光 53
编辑书签 39
便携盒 11
比特率 21, 32
播放机显示屏 12, 32
播放列表（SonicStage） 22
播放列表（在播放机上） 38
播放模式 45
播放选项 47

C

CD-ROM 11
CD 信息 21
查找曲目的起点 31
查找下一首曲目的起点 31
查找以前曲目的起点 31
传输音频数据 24
出厂设置 60
垂直 54
初始化系统 54
初始化硬盘 54, 62

D

Deutsch 54
带播放次数限制的曲目 70
带播放时间限制的曲目 70
单曲 47
单元 48
单元播放 47
单元随机 49
单元中的曲目随机 49
导入音频数据 19
电池（充电时间） 13
电池的剩余电量 15
电池（取出） 14
电池寿命 15
对比度 53
独奏 52

E

English 54
Español 54
耳机 11, 12, 53

F

Français 54
繁體中文 54

G

G-Sensor 54
格式 21
管理曲目 22
滚动多个项目 34

H

HOLD 功能 31

接下页 ⇩

HOLD 开关 12
画面倒转 53
画面方向 54

I

Italiano 54

J

简体中文 54
爵士 52
俱乐部 52

L

流行 52
录音室 52

M

MP3 30

Q

强劲 52
清除（书签） 42
曲集随机 47

R

日本語 54

S

SonicStage 16
数码音效预设 52
书签 39
书签曲目播放 39
书签图标 44
搜索 31
搜索模式 35
搜索(SonicStage) 74

T

停止 12, 31
提示音 53

U

USB 电缆 11

V

VOL+/VOL - 30
VPT 听觉引擎 52

W

文件夹结构（查看显示屏） 35
我的曲库 22
我的曲库(SonicStage) 19
舞台 52

X

现场 52
详细信息（曲目） 23
线路输出 53
卸载 64
新曲目 36

Y

阳极 53
阴极 53
音量 12
音频设备 58
音频输出 53
音效 52
右侧 54
语言 54

Z

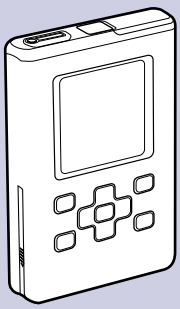
正常播放 47
左侧 54

SONY

Portable Hard Disk Audio Player

Network Walkman

사용 설명서



WALKMAN

Atrac3plus MP3

NW-HD5/NW-HD5H

"WALKMAN"은 Sony Corporation의 등록 상표이며 Headphone Stereo 제품을 의미합니다. WALKMAN는 Sony Corporation의 상표입니다.

© 2005 Sony Corporation

목차

색인

▶ 시작하기 11

▶ 오디오 데이터를 플레이어에 전송 19

▶ 음악을 재생 29

▶ 기타 기능 51

▶ 문제 해결 65

▶ 추가 정보 79

경고

제품에 빗물이 들어가거나 습기가 차면 화재나 감전의 위험이 있습니다.

제품을 책장이나 조립형 캐비넷과 같은 밀폐된 장소에 놓지 마십시오.

화재가 날 수 있으므로 신문, 헝겊, 커튼 등으로 기기의 환풍구를 막지 마십시오. 또한 불이 붙은 양초를 장치에 올려놓지 마십시오.

꽃병과 같이 액체가 들어 있는 물체를 기기 위에 올리지 마십시오. 화재가 발생하거나 감전될 수 있습니다.

한국 소비자용

이 기기는 가정용으로 전자파 적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

계속 ⇩

목차

사용자 공지 사항 5
사용전 주의 사항 8
안전에 대한 참고 사항 8
설치시 참고 사항 8
과열에 대한 참고 사항 8
헤드폰 9
청소 10

시작하기

기본 제공 부속품 확인 11
부품 및 조절 장치 설명 12
전원 준비 13
배터리 잔량을 확인 15
사용중인 컴퓨터에 SonicStage를 설치 16
필요한 시스템 환경 준비 16
SonicStage 설치 17

플레이어에 오디오 데이터 전송

사용중인 컴퓨터에 오디오 데이터 가져오기 19
SonicStage를 사용한 트랙 관리 22
재생 목록을 편집 22
오디오 데이터를 플레이어에 전송 24
컴퓨터에 오디오 데이터 다시 전송 27

음악을 재생

재생 29
조정키를 잠금 (HOLD) 31
기본 재생 조작 (재생, 정지, 검색) 31
디스플레이에 표시되는 정보 확인 32
재생할 트랙을 선택 (음악가, 앨범, 장르, 등) 33
찾기 디스플레이의 폴더 구조에 대해 35

계속 ⇩

"새 트랙" 으로부터 트랙 선택 36
트랙의 첫 글자로 트랙을 선택 (초기 검색) 36
"재생 목록" 으로 부터 트랙을 선택 38
플레이어의 북마크 39
북마크에 트랙을 등록 (북마크 트랙 재생) 39
북마크의 트랙 순서를 재배열 40
북마크한 트랙 삭제 42
북마크 아이콘 44
재생 옵션 변경 (재생 모드) 45
재생 옵션 (재생 모드) 47
선택한 검색 카테고리의 트랙을 재생 (재생 단위 재생) 47
트랙을 반복해서 재생 (반복 재생) 49

기타 기능

음질 및 설정 변경 51
음질 및 디스플레이용 항목 설정 52
음질 사용자 지정 (6밴드 이퀄라이저 – 사용자 지정) 55
고음 및 저음 강조 조정 (디지털 사운드 프리셋) 56
다른 장치를 연결 58
오디오 파일 이외의 데이터 저장 59
출하시 설정으로 재설정 60
하드디스크 초기화 62
SonicStage 삭제 64

문제 해결

문제 해결 65
SonicStage 도움말 사용 73
에러 메시지 75

추가 정보

사양 79
색인 81

사용자 공지 사항

제공된 소프트웨어

- 저작권 법에서는 소프트웨어 및 소프트웨어와 함께 제공되는 설명서를 전체적 또는 부분적으로 복사하거나, 저작권 소유주의 허가 없이 소프트웨어를 대여하는 행위를 금지하고 있습니다.
- SONY는 해당 플레이어와 함께 제공된 소프트웨어를 지정 용도 이외로 사용한 결과 야기되는 어떠한 재정적인 손상이나 이익 손실에 대해 책임지지 않으며 여기에는 제삼자의 손실 비용 청구에 대한 면책도 포함됩니다.
- 제조상의 결함으로 인하여 소프트웨어에 문제가 발생한 경우, SONY는 제품을 교환해 드립니다. 그러나, 그 외의 경우에 대해서 SONY는 어떠한 책임도 지지 않습니다.
- 해당 플레이어와 함께 제공된 소프트웨어는 지정된 장치 이외의 다른 장치에서 사용할 수 없습니다.
- 품질 개선을 위한 지속적인 노력의 일환으로 소프트웨어의 사양이 예고 없이 변경될 수 있음을 유념하시기 바랍니다.
- 함께 제공된 소프트웨어 이외의 다른 소프트웨어로 이 플레이어를 작동하면 보증을 받을 수 없습니다.
- SonicStage에서 표시할 수 있는 언어는 사용중인 컴퓨터에 설치된 운영체제에 따라 달라집니다. 더 나은 결과를 원하시는 경우, 설치한 운영체제가 표시하고자 하는 언어와 호환성이 있는지 확인하여 주십시오.
  - SonicStage에서 모든 종류의 언어가 올바르게 표시되지는 않습니다.
  - 사용자가 만든 문자 및 일부의 특수 문자는 표시되지 않을 수 있습니다.
- 텍스트 및 문자의 종류에 따라 SonicStage에 표시된 텍스트가 장치에서 올바르게 표시되지 않을 수 있습니다. 이유는 다음과 같습니다.
  - 연결된 플레이어의 성능.
  - 플레이어가 정상적으로 작동하지 않습니다.
- 이 사용설명서의 설명은 사용자 여러분이 윈도우즈의 기본 조작에 익숙하다는 가정하에 작성되었습니다.
  컴퓨터 및 운영체제의 사용방법에 대해 더 자세한 내용은, 각각의 사용설명서를 참조하여 주십시오.

Program ©2001, 2002, 2003, 2004, 2005 Sony Corporation
Documentation ©2005 Sony Corporation

계속 ⇩

- SonicStage 및 SonicStage 로고는 Sony Corporation의 상표 또는 등록 상표입니다.
- OpenMG, ATRAC, ATRAC3, ATRAC3plus 및 각 로고는 Sony Corporation의 상표입니다.
- Microsoft, Windows, Windows NT 및 Windows Media는 미국 또는 기타 국가에서 Microsoft Corporation의 상표 또는 등록 상표입니다.
- IBM 및 PC/AT는 International Business Machines Corporation의 등록 상표입니다
- Macintosh는 미국 또는 기타 국가에서 Apple Computer, Inc.의 상표입니다.
- Pentium은 Intel Corporation의 상표 또는 등록 상표입니다.
- Adobe 및 Adobe Reader는 미국 또는 기타 국가에서 Adobe Systems Incorporated의 상표 또는 등록 상표입니다.
- 미국 및 외국 특허들은 Dolby Laboratories로부터 사용 허가된 것입니다.
- Fraunhofer IIS 및 Thomson 으로부터 인가된 MPEG Layer-3 오디오 코딩 기술 및 특허.
- 기타 모든 상표 및 등록 상표는 해당 소유자의 상표이거나 등록 상표입니다.
- 본 설명서에서, ™ 및 ® 마크는 명시하지 않았습니다.
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.
  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. Untied States Patent 6,304,523. Gracenote is a registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

Sony 제품을 구입해 주셔서 감사합니다.
Network Walkman에는 샘플 음악 데이터가 미리 저장되어 있으므로 바로 시험삼아 들으실 수 있습니다. 미리 저장되어 있는 샘플 음악 데이터는 시험 시청을 위한 것으로, 컴퓨터에 전송할 수는 없습니다. 이 오디오 데이터를 삭제하려면, SonicStage3.1을 사용해서 삭제하십시오.
사용하는 지역에 따라서는, 샘플 뮤직 데이터가 플레이어에 설치되어 있지 않을 수 있습니다.

사용전 주의 사항

안전에 대한 참고 사항

- 플레이어의 DC IN 잭에 이물질을 넣지 마십시오.
- 플레이어의 단자에 금속 물체로 인한 단락이 발생하지 않도록 하십시오.

설치시 참고 사항

- 직사광선, 열, 습기, 진동 등이 심한 곳에서 플레이어를 사용하지 마십시오.
- AC 전원 어댑터로 플레이어를 사용하고 있는 중에는 레코더를 감싸지 마십시오. 플레이어가 과열되어 오작동을 일으키거나 고장날 수 있습니다.

과열에 대한 참고 사항

장시간 동안 충전하면 플레이어가 과열될 수 있습니다.

헤드폰

교통 안전

자동차, 자전거, 기타 엔진이 있는 차량 등을 운전하고 있을 때는 헤드폰을 사용하지 마십시오. 교통 사고가 발생할 수 있으며 일부 지역에서는 위법 행위입니다. 또한 보행 중에 특히 횡단 보도에서 음량을 높이면 위험할 수 있습니다. 위험 가능성이 많은 상황에서는 세심한 주의를 기울이거나 연속해서 사용하지 않아야 합니다.

청각 장애 예방

헤드폰으로 들을 때에는 볼륨을 높게 하지 마십시오. 장시간 동안 큰 사운드를 들으면 청력에 문제가 발생할 수 있습니다. 귀에서 울리는 소리가 들리면 음량을 줄이거나 사용을 정지하십시오.

주위에 대한 배려

주변의 소리를 들을 수 있고 주변 사람들에게 피해가 가지 않도록 적절한 레벨로 볼륨을 유지하십시오.

경고

플레이어 사용 중에 번개가 치면 즉시 헤드폰을 벗으십시오.

계속 ⇩

청소

- 부드러운 헝겊에 물이나 약한 세제를 조금 묻혀서 플레이어 케이스를 닦으십시오.
- 헤드폰 플러그를 정기적으로 닦으십시오.

참고

- 거친 수세미, 연마제, 알콜이나 벤젠과 같은 용제를 사용하면 케이스의 광택이 손상될 수 있습니다.
- 커넥터를 열 때 플레이어에 물이 들어가지 않도록 주의하십시오.

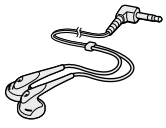
플레이어에 대해 궁금한 사항이나 문제가 있으면 가까운 Sony 제품 대리점에 문의하십시오.

참고

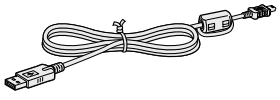
- 녹음한 음악의 사용은 개인 용도로 제한됩니다. 이 제한을 벗어나 공개적으로 사용하려면 저작권 소유자의 승인이 필요합니다.
- Sony는 플레이어 또는 컴퓨터의 문제로 인해 녹음/다운로드가 불완전하거나 데이터가 손상된 경우에도 이에 대해 책임지지 않습니다.

기본 제공 부속품 확인

- 헤드폰 (1)



- 지정 USB 케이블 (1)



- AC 전원 어댑터 (1)
- 휴대용 케이스 (1)
- CD-ROM (1)*
  (SonicStage 소프트웨어, 조작 설명의 PDF)
- 빠른 시작 안내서 (1)

*이 CD-ROM을 오디오 CD 플레이어에서 재생하지 마십시오. (충전지는 플레이어에 미리 설치되어 있습니다.)

참고

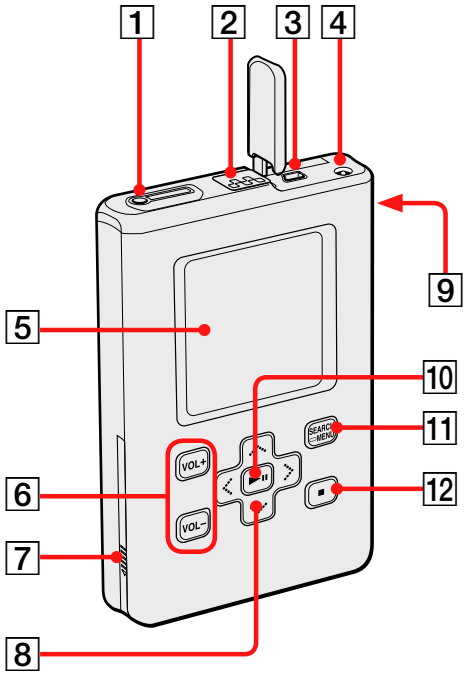
플레이어를 사용할 때는 케이스가 휘거나 오작동이 발생하지 않도록 아래의 주의 사항을 준수하십시오.

– 뒷주머니에 플레이어를 넣은채 앉지 마십시오.



– 플레이어에 리모콘이나 헤드폰/이어폰을 감아 가방에 넣었을 때 가방에 충격이 가해지지 않도록 하십시오.

부품 및 조절 장치 설명



1 ∩ (헤드폰)/LINE OUT 잭 (☞ 29 페이지)
2 HOLD 스위치 (☞ 31 페이지)
3 USB 커넥터 (☞ 24 페이지)
4 DC IN 잭 (☞ 13, 24 페이지)
5 플레이어 디스플레이 (☞ 32 페이지)
6 VOL+/VOL– (음량) 버튼 (☞ 30 페이지)
7 배터리 수납부 덮개 (☞ 14 페이지)
8 ^/ v/ </ > 버튼 (☞ 29 페이지)
9 손잡이 끈 구멍**
10 ▶II (재생/일시정지) 버튼 (☞ 31 페이지)
11 SEARCH/MENU 버튼 (☞ 33 페이지)
12 ■ (정지) 버튼 (☞ 31 페이지)

* 플레이어를 조작할 경우 촉각점을 참고로 사용하십시오.
**취향에 맞는 줄을 부착할 수 있습니다.

시리얼 번호에 대해

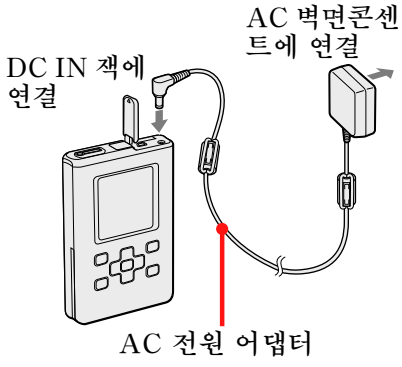
이 플레이어에 제공된 시리얼 번호는 고객 등록시에 필요합니다. 번호는 플레이어 뒷면의 라벨에 적혀 있습니다. 라벨을 제거하지 마십시오.

전원 준비

리튬-이온 충전지를 처음 사용하기 전 또는 소모된 경우에는 충전합니다.

AC 전원 어댑터를 DC IN 잭에 연결합니다.

AC 전원 어댑터를 먼저 연결한 다음, AC 콘센트에 연결합니다.



디스플레이에서 배터리 인디케이터가 “Charging(충전중)” 으로 변하고 배터리의 충전이 시작됩니다.
충전은 대략 3 시간에* 완료되며, 충전 후에는 “충전 완료” 가 점등합니다.
배터리의 약 80 % 가 1.5 시간내에* 충전됩니다.

* 이 값은 실온에서 소모된 배터리를 충전하는데 걸리는 대략적인 충전 시간입니다. 충전 시간은 배터리의 남은 전원과 상태에 따라 달라집니다. 배터리를 저온 환경에서 충전할 경우, 충전 시간이 길어집니다.

USB 연결로 배터리 충전

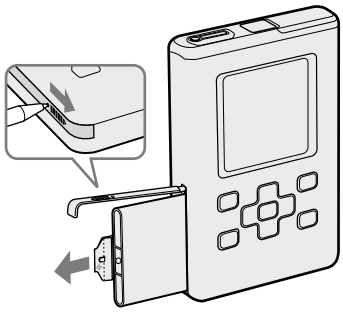
컴퓨터를 켜고 USB 케이블을 컴퓨터에 연결하십시오(☞ 24 페이지). 디스플레이에서 배터리 인디케이터가 변하고 배터리의 충전이 시작됩니다. 충전에는 약 6시간이 걸립니다. 플레이어에 AC 전원 어댑터를 연결한 경우, AC 전원 어댑터에서 전원이 공급됩니다. 하지만, 충전 시간은 길어집니다.
만약 컴퓨터가 대기, 슬립, 하이버네이션 모드로 들어가 있는 경우, 플레이어가 AC 전원 어댑터에 연결되지 않은채로 USB 케이블을 경유하여 컴퓨터에 연결되어 있으면, 배터리는 충전되지 않고 방전됩니다.

* 배터리가 소모되었을 경우, 충전 시간이 길어집니다.
배터리 충전을 나타내는 표시는 충전중에 플레이어를 조작할 경우에만 스크린에 나타탑니다. 배터리 충전 표시가 나타나지 않는 경우, AC 전원 어댑터를 사용하여 배터리를 충전하십시오.

계속 ⇩

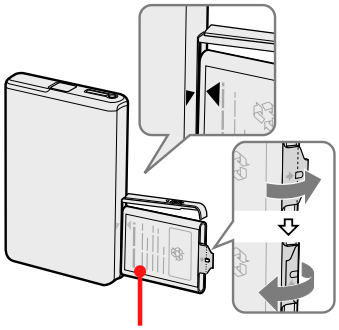
배터리 제거

샤프펜과 같이 가늘고, 뾰족한 끝을 가진 도구를 배터리 수납부의 뚜껑에 밀어넣고, “▷” 표시의 방향으로 뚜껑을 밀어 여십시오. 그리고나서 화살표 방향으로 배터리의 라벨을 밀어서 배터리를 꺼내십시오.
플레이어를 AC 어댑터에 연결한 경우에도 배터리를 플레이어로부터 제거하면 전원이 들어오지 않습니다.



배터리 삽입

배터리 수납부의 커버를 열고 나서, 플레이어 쪽에 위치한 “▶” 마크가 배터리의 마크와 일치하도록 배터리를 삽입한 다음, 배터리 수납부의 커버에 라벨을 접은 후에 뚜껑을 닫아 주십시오.



참고

- USB 연결로 배터리를 충전할 경우, 컴퓨터에서 공급되는 전원이 부족하면 충전 시간이 길어집니다.
- USB 연결로 배터리를 충전할 때에는 시스템 환경에 따라 충전이 중단될 수 있습니다.
- 플레이어를 컴퓨터에 장시간 연결하여 충전할 경우, 플레이어의 과열을 방지하기 위해 충전이 중단될 수 있습니다. USB 어댑터를 플레이어로부터 제거하고, 잠시후에 다시 충전을 시작하십시오.
- 플레이어를 3개월 이상 사용하지 않을 경우, 배터리를 플레이어로부터 제거하십시오.
- 충전지는 주위 온도가 5 ~ 35°C인 환경에서 충전하십시오.

계속 ⇩

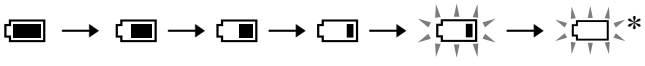
AC 전원 어댑터에 대한 참고 사항



- 이 플레이어와 함께 제공된 AC 전원 어댑터만 사용하십시오. 다른 AC 전원 어댑터를 사용하면 플레이어의 오작동을 일으킬 수 있습니다.
- 플레이어가 꺼져 있더라도 콘센트에 연결되어 있는 경우 플레이어는 AC 전원(주전원)에 연결된 상태입니다.
- 플레이어를 장시간 사용하지 않을 경우에는 전원을 분리하십시오. 벽면 콘센트의 AC 전원 어댑터는 어댑터 플러그를 잡고 빼십시오. 절대 코드를 잡아 당기지 마십시오.

배터리 잔량을 확인

배터리의 남은 전원은 디스플레이에 표시됩니다. 검정 표시 칸이 감소할수록 남은 전력이 많이 소모된 것입니다.



* 디스플레이에 “LOW BATTERY” 가 나타나면서 신호음이 울립니다.

배터리가 소모되면 다시 충전하십시오.

참고

- 디스플레이에 표시되는 것은 대략적인 배터리 잔량입니다. 예를 들어, 한 칸이 항상 배터리 전원의 4분의 1을 나타내는 것은 아닙니다.
- 작동 상태 및 환경에 따라 실제 남은 전원보다 디스플레이가 늘어나거나 줄어들 수 있습니다.
- 플레이어가 AC 전원 어댑터에 연결되어 있는 경우에도, 배터리를 플레이어로부터 제거하면 전원이 꺼집니다.

배터리 수명 (연속 사용시)

ATRAC3plus 48 kbps의 재생 시간은 약 40시간입니다. MP3 128 kbps의 재생 시간은 약 30시간입니다.
이 시간은 플레이어의 사용 방법에 따라 달라집니다.

사용중인 컴퓨터에 SonicStage를 설치

제공된 CD-ROM을 사용하여 SonicStage를 컴퓨터에 설치하십시오.

필요한 시스템 환경 준비

다음 시스템 환경이 필요합니다.

컴퓨터	IBM PC/AT 또는 호환성이 있는 컴퓨터
	• CPU: Pentium III 450 MHz 이상 • 하드 디스크 드라이브 공간: 200 MB 이상(1.5 GB 이상 권장) (필요한 공간은 Windows 버전 및 하드 디스크에 저장된 음악 파일의 수에 따라 다릅니다.) • RAM: 128 MB 이상
	기타 • CD드라이브 (WDM에 의한 디지털 재생이 가능한 드라이브) (CD에 데이터를 저장하기 위해서는 CD-R/RW 드라이브가 필요합니다.) • 사운드 카드 • USB 포트
운영 체제	출하시 설치: Windows XP Media Center Edition 2005/ Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Media Center Edition/ Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional (서비스팩 3 이상)/Windows Millennium Edition/ Windows 98 Second Edition
디스플레이	High Color(16 비트) 이상, 800 × 600 도트 이상(1024 × 768 도트 이상 권장.)
기타	• 인터넷 액세스: 웹 등록, EMD 서비스 및 CDDB용 • WMA 파일 재생용으로 설치된 Windows Media Player(버전 7.0 이상)

계속 ⇩

참고

- SonicStage는 다음 환경에서 지원되지 않습니다:
  - 16 페이지에 표시되지 않은 OS.
  - 개인적으로 구축한 PC 또는 운영 체제
  - 원래 제조업체가 설치한 운영 체제의 업그레이드 환경
  - 다중 부팅 환경
  - 다중 모니터 환경
  - Macintosh
- Sony는 시스템 요구 사항을 만족하는 경우에도 모든 컴퓨터에서 작동 결함이 없음을 보장하지 않습니다.
- Windows XP/Windows 2000 Professional의 NTFS 포맷은 표준(출하시) 설정으로만 사용할 수 있습니다.
- Sony는 컴퓨터에서 시스템 일시 중단, 절전 모드 또는 최대 절전 모드 기능이 결함 없이 작동됨을 보장하지 않습니다.

SonicStage 설치

SonicStage 소프트웨어를 설치하기 전에 다음 사항을 확인하십시오.

- 바이러스 체크 소프트웨어를 포함하여, 다른 모든 소프트웨어를 종료시킵니다.
- 제공된 CD-ROM을 사용하여 SonicStage를 설치합니다.
  - OpenMG Jukebox 또는 SonicStage가 설치되어 있는 경우, 새로운 기능의 새 버전이 기존 소프트웨어를 덮어씁니다.
  - SonicStage Premium, SonicStage Simple Burner, MD Simple Burner가 설치되어 있는 경우, 이 소프트웨어와 SonicStage가 공존하게 됩니다.
  - 기존 소프트웨어로 등록한 오디오 데이터는 그대로 사용할 수 있습니다. 그러나 예방 차원에서 오디오 데이터를 백업할 것을 권장합니다. 데이터를 백업하려면, SonicStage 도움말에서 “내 라이브러리를 백업”을 참조하여 주십시오. 음악 데이터를 관리하는 방법은 기존의 방법과 비교하여 부분적으로 다릅니다. 자세한 내용은, SonicStage 도움말의 “이전 버전의 SonicStage 사용자용”을 참조하여 주십시오.
- 만약 플레이어가 USB 케이블을 경유하여 컴퓨터에 연결되어 있는 경우, USB 케이블을 플레이어로부터 제거한 다음, 제공된 CD-ROM을 컴퓨터에 설치하십시오.

계속 ⇩

1 동작중인 다른 소프트웨어를 모두 종료합니다.

SonicStage 소프트웨어를 설치하기 전에 다음을 참조하여 소프트웨어 설치가 실패할 수 있는 항목이 있는지 확인하십시오.

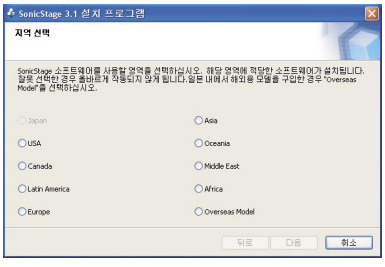
- “시스템 관리자” 로 로그온하지 않았습니다. (Windows 2000/Windows XP를 사용하는 경우)
- 바이러스 체크 소프트웨어가 동작중입니다. (이러한 소프트웨어는 일반적으로 많은양의 시스템 리소르를 차지합니다.)

2 컴퓨터의 CD 드라이브에 제공된 CD-ROM을 넣으십시오.

설치 프로그램이 자동으로 시작되고 설치 창이 나타납니다.

3 오른쪽의창이나타나면, SonicStage 소프트웨어를 사용할 지역을 클릭합니다.

창이 나타나지 않을 경우, 4 단계로 갑니다.



4 “SonicStage 설치” 를 클릭하고 표시되는 설명을 따릅니다.

설명을 주의 깊게 읽으십시오.
지역에 따라 “SonicStage 설치” 이외의 버튼이 오른쪽의 그림과 다를 수 있습니다.

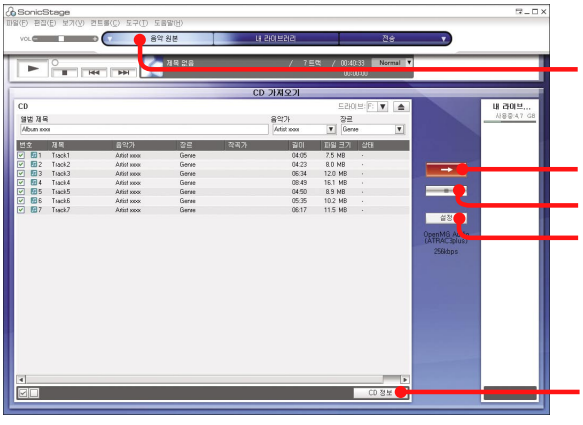
“SonicStage 설치”



시스템 환경에 따라 설치 소요 시간은 20에서 30분 정도 걸립니다. 설치가 완료된 후에만 컴퓨터를 다시 시작해야 합니다.
설치 중에 문제가 발생한 경우, “문제 해결” 을 참조하십시오 (☞ 68 페이지).

사용중인 컴퓨터에 오디오 데이터 가져오기

오디오 CD의 트랙(오디오 데이터)을 컴퓨터 하드 드라이브의 SonicStage “내 라이브러리” 에 녹음 및 저장합니다.
자동적으로 CD 정보(음악가 이름, 트랙 이름, 등)를 획득하고자 할 경우, 사용중인 컴퓨터를 미리 인터넷에 연결하십시오.
인터넷 및 컴퓨터의 하드 디스크 등과 같은 음원(MP3 파일)으로부터 트랙을 녹음하거나 가져올 수도 있습니다.
자세한 내용은 SonicStage 도움말을 참조하십시오(☞ 73 페이지).

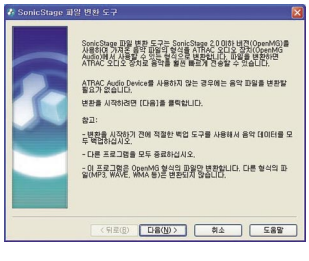


**1 데스크탑에서 (SonicStage) 를 더블클릭합니다.
또는, “시작” – “모든 프로그램” *– “SonicStage” –
“SonicStage” 를 선택하십시오.**

SonicStage가 시작됩니다.
이전 버전의 SonicStage를 사용하는 경우, SonicStage를 설치하고 처음으로 시작할 때 “SonicStage 파일 변환 도구” ** 창이 나타납니다. 창의 설명을 따릅니다.

* Windows Millennium Edition/Windows 2000 Professional/Windows 98 Second Edition의 경우 “프로그램” 이 표시됩니다.

** 이 도구는 SonicStage2.0 또는 이전 버전으로 컴퓨터에 가져온 오디오 파일을 플레이어에 가장 적합한 데이터 포맷(OpenMG)으로 변환하여 플레이어로 오디오 데이터 전송이 고속으로 이루어지도록 합니다.



계속 ⇩

2 컴퓨터의 CD 드라이브에 녹음할 오디오 CD를 넣으십시오.

3 "▼음악 원본" 을 클릭하고 메뉴에서 "CD 가져오기" 를 선택합니다.

오디오 CD의 내용이 음악 원본 목록에 나타납니다.
앨범 제목, 음악가 이름, 트랙 이름 등의 CD 정보 (☞ 21 페이지)를 자동으로 가져오지 못하는 경우, 컴퓨터를 인터넷에 연결하고 오른쪽 창의 "CD 정보" 를 클릭하여 CDDB로부터 정보를 획득합니다.

4 → 를 클릭합니다.

선택한 트랙의 녹음이 시작됩니다.
녹음하고 싶지 않은 트랙이 있을 경우, ☑ 를 클릭하기 전에 SonicStage 창에서 트랙 번호를 클릭하고 → 의 체크를 제거하십시오.

오디오 CD 녹음용 포맷 및 비트 레이트를 변경 (☞ 21 페이지)

SonicStage 창의 오른쪽에서 "설정" 을 클릭하여 4 단계에서 → 를 클릭하기 전에 "CD 가져오기 포맷 [내 라이브러리]" 대화 상자를 표시합니다.
기본 설정은 OpenMG Audio(ATRAC3plus) 포맷, 64 kbps 비트 전송입니다.

녹음을 중지하려면

SonicStage 창에서 ■ 를 클릭합니다.

참고

SonicStage에서는 COMPACT DISC DIGITAL AUDIO 마크가 있는 오디오 CD만 사용할 수 있습니다.
복제 방지 CD를 사용하는 경우, 정상적인 작동을 보장할 수 없습니다.

계속 ⇩

CD 정보란 무엇입니까?

CD 정보란 앨범 이름, 음악가 이름, 트랙 타이틀 등과 같은 오디오 CD에 관한 정보를 의미합니다. SonicStage를 사용하면, 오디오 CD를 컴퓨터의 CD 드라이브에 넣었을 경우 인터넷을 경유하여 Gracenote CDDB (Gracenote Compact Disc DataBase) 서비스로부터 자동적으로 CD 정보를 무료로 획득할 수 있습니다.
CDDB에 등록되어 있지 않은 CD의 CD 정보는 획득할 수 없으므로 이점에 유의하십시오.

ATRAC3/ATRAC3plus란 무엇입니까?

ATRAC3(Adaptive Transform Acoustic Coding3)는 고품질 사운드와 고압축율의 기준을 만족시키는 오디오 압축 기술입니다. ATRAC3plus는 ATRAC3의 고급 버전이며, 오디오 파일을 64 kbps로 원래 크기의 약 1/20 크기로 압축할 수 있습니다.

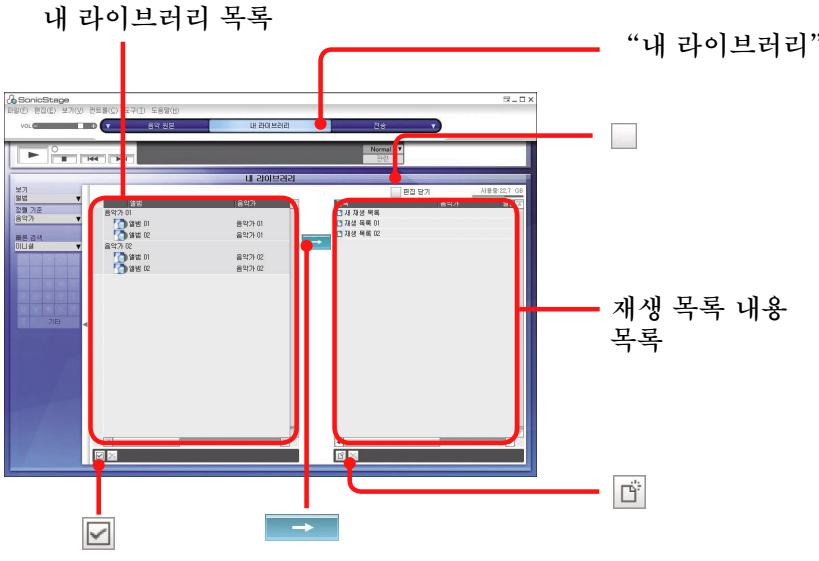
포맷 및 비트 레이트란 무엇입니까?

포맷이란 WAV 또는 ATRAC3plus와 같은 녹음 형식을 의미합니다.
비트 레이트란 초당 처리되는 데이터의 양을 의미합니다. 비트 레이트가 커질수록, 음질이 좋아집니다. 그러나, 큰 비트 레이트는 많은 저장 용량을 필요로 하게 됩니다.
기본 설정은 OpenMG Audio(ATRAC3plus) 포맷, 64 kbps 비트 전송입니다.
포맷 및 비트 레이트를 변경하려면, SonicStage 창의 오른쪽에서 “설정” 을 클릭하십시오.

SonicStage를 사용한 트랙 관리

SonicStage의 “내 라이브러리” 화면에서 트랙을 관리 또는 편집할 수 있습니다.
즐겨찾는 트랙 또는 트랙을 재생 목록으로 주제에 따라 그룹화할 수도 있으며, 재생 목록을 앨범으로 관리할 수 있습니다.
자세한 내용은 SonicStage 도움말을 참조하십시오(☞ 73 페이지).

내 라이브러리 화면



재생 목록을 편집

재생 목록은 즐겨찾는 트랙 또는 영화 등과 같은 특정 테마별로 구분된 트랙을 그룹화하거나 재생할 수 있게 해줍니다.

1 **“내 라이브러리” 를 클릭합니다.**
화면이 “내 라이브러리” 화면으로 전환됩니다.

2 **(재생 목록 생성/편집)를 클릭합니다.**
메인창이 재생 목록 생성/편집 화면으로 전환됩니다.

3 **왼쪽의 내용 목록으로부터 하나 이상의 트랙을 선택합니다.**
복수의 트랙을 선택하려면, “Ctrl” 키를 누른채로 트랙을 클릭합니다.
내용 목록에 있는 모든 트랙을 선택하려면, (모두 선택)을 클릭합니다.

계속 ⇩

4 오른쪽의 목록으로부터 추가할 재생 목록을 선택합니다.
트랙을 새로운 재생 목록에 추가하려면, (새 재생 목록)을 클릭합니다.
빈 재생 목록이 생성되고 재생 내용 목록이 표시됩니다. 재생 목록의 이름을 입력합니다.

5 를 클릭합니다.
선택한 트랙이 재생 목록의 오른쪽에 추가됩니다.

6 원하는 트랙을 모두 추가했으면, (편집 닫기)를 클릭합니다.
화면이 “내 라이브러리” 화면으로 전환됩니다.

드래그 앤 드롭으로 트랙을 추가

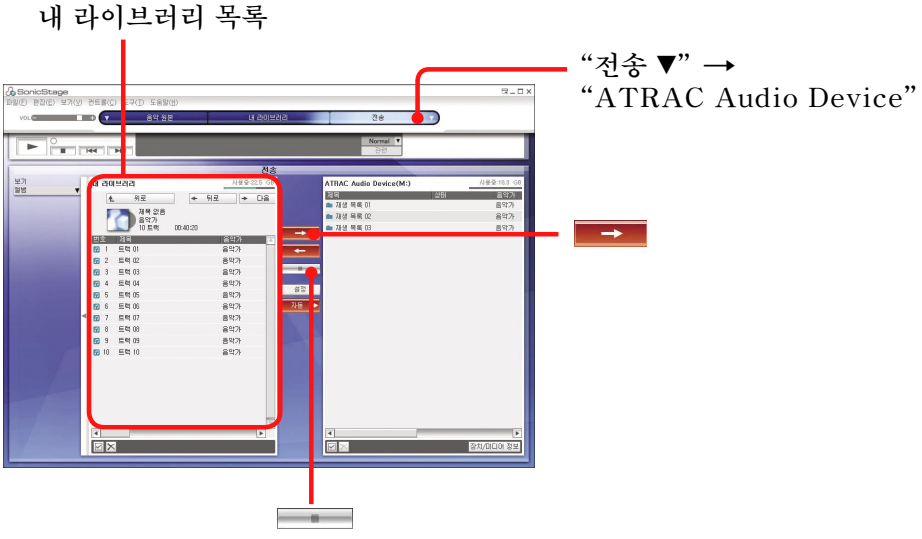
트랙을 왼쪽의 내 라이브러리로부터 드래그하여 오른쪽의 재생 목록의 내용에 추가할 수 있습니다. 이 경우, 목록에서 드롭한 위치에 트랙이 추가됩니다. 앨범을 드래그한 경우, 새로운 재생 목록이 목록의 끝에 생성되며 앨범의 모든 트랙이 재생 목록에 추가됩니다.

앨범 또는 트랙의 상세한 정보를 검색

SonicStage 창에서 상세 정보를 확인하고자하는 앨범 또는 트랙을 오른쪽 클릭한 다음, 메뉴에서 “등록 정보” 를 선택합니다.
“앨범 등록정보” 창 또는 “트랙 등록정보” 창이 나타납니다. 창에서 정보를 확인 및 편집할 수 있습니다. “등록 정보” 창에서 편집하는 내용은 내 라이브러리 화면에 적용됩니다.

오디오 데이터를 플레이어에 전송

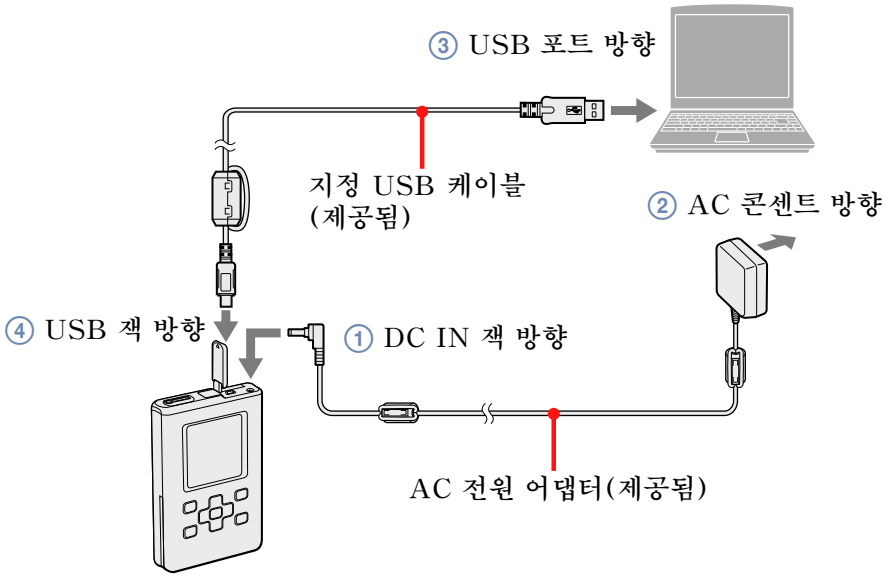
컴퓨터의 SonicStage “내 라이브러리” 에 저장된 트랙(오디오 데이터)을 ATRAC3plus/MP3 포맷으로 플레이어에 전송합니다. 전송되는 오디오 데이터에는 CD 정보의 음악가 이름, 앨범 이름과 같은 정보도 포함됩니다.



1 플레이어를 컴퓨터와 AC 전원 어댑터에 다음과 같은 ① 에서 ④ 까지의 순서에 따라 연결하십시오.

디스플레이에 “PC 연결” 이 나타납니다.

SonicStage 창에 자동 전송 설정 디스플레이가 나타납니다. 창의 설명을 따르십시오. 자세한 내용은 SonicStage 도움말을 참조하십시오 (☞ 73 페이지).



계속 ⇩

2 ▼를 “전송 ▼” 에서 가리키고 목록으로부터 “ATRAC Audio Device” 를 선택합니다.

화면이 트랙을 SonicStage에서 플레이어로 전송하는 창으로 전환됩니다.

3 SonicStage 창의 왼쪽 내 라이브러리 목록에서 전송할 앨범을 클릭하십시오.

선택한 트랙만을 전송하고자 하는 경우, 전송하고자 하는 트랙을 클릭합니다. 복수의 트랙 또는 앨범을 전송하려면, “Ctrl” 키를 누른채로 트랙 또는 앨범을 클릭합니다.
재생 목록을 플레이어로 전송할 수도 있습니다. (8,187 까지의 재생 목록 및 재생 목록당 999 트랙).
이미 플레이어로 전송된 트랙을 포함한 재생 목록을 전송하려고 하는 경우, 트랙의 재생 목록 데이터만이 전송됩니다.

4 → 를 클릭합니다.

선택한 트랙의 전송이 시작됩니다.
SonicStage 창에서 전송 상태를 확인할 수 있습니다.

전송을 중지하려면

SonicStage 창에서 ▬ 를 클릭합니다.

참고

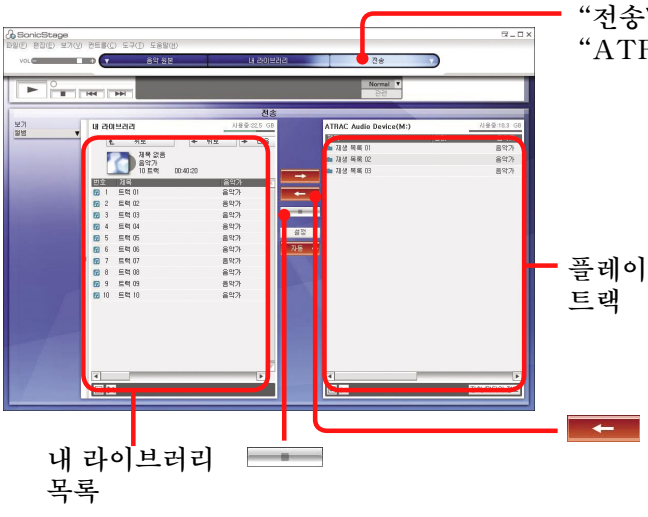
- 오디오 데이터 전송시 진동이 있는 곳에서 플레이어를 사용하지 마십시오. 또한 자성이 있는 물체와 가까운 곳에 두지 마십시오.
- 데이터를 전송하는 동안, 플레이어로부터 USB 케이블의 연결을 끊거나 배터리를 제거하지 마십시오. 전송중인 데이터가 삭제될 수 있습니다.
- USB 허브 또는 USB 확장 케이블을 플레이어와 함께 사용하는 경우, 올바른 작동이 보장되지 않습니다. 언제나 제공된 USB 케이블로 플레이어와 컴퓨터를 직접 연결하십시오.
- 컴퓨터에 연결된 일부 USB 장치로 인해 플레이어가 올바르게 작동되지 않을 수 있습니다.
- 컴퓨터에 연결되어 있는 동안 플레이어의 제어 버튼은 모두 비활성화됩니다. 재생 중에 플레이어를 컴퓨터에 연결된 USB 어댑터에 연결할 경우, 재생이 정지되고 플레이어 디스플레이에 “PC 연결” 이 나타납니다.

계속 ⇩

- 플레이어에 오디오 데이터를 전송할 여유 공간이 부족한 경우, 전송이 실패합니다.
- 트랙 전송 횟수는 저작권에 의해 제한될 수 있습니다.
- 재생 기간 또는 재생 횟수가 제한된 트랙은 저작권 소유자가 설정한 제한으로 인해 전송이 불가능할 수 있습니다.
- 전송 도중에는 시스템 일시 중단, 절전, 최대 절전 기능이 작동하지 않습니다.
- SonicStage에 입력되어 있는 텍스트는 글꼴과 글자 수에 따라 플레이어에 표시되지 않을 수 있습니다. 이는 플레이어 자체의 제한 사항 때문입니다.
- 전원이 연결된 컴퓨터에 플레이어를 장시간 연결해 두거나 플레이어에 많은 양의 데이터를 전송할 경우, 플레이어가 과열될 수 있습니다. 그러나 이러한 경우도 정상적인 것입니다. 플레이어를 AC 전원 어댑터 및 지정된 USB 케이블로부터 잠시 분리해 놓으십시오.
  만약 플레이어의 과열된 부분을 신체의 동일한 일부분에 오랫동안 접촉시키면, 낮은 온도라고 하더라도, 저온 화상을 일으킬 수 있습니다. 민감한 피부를 가지고 있는 경우 피부에 플레이어가 오랫동안 닿지 않도록 주의하여 주십시오.
- 플레이어의 하드디스크에 충분한 공간이 없으면, 오디오 데이터의 전송이 올바르게 완료된 경우라도 “데이터베이스 없음” 가 나타납니다.
  이러한 경우, 플레이어를 컴퓨터에 다시 연결한 다음 불필요한 오디오 데이터를 컴퓨터로 전송하여 플레이어의 빈 공간을 확보하십시오.

컴퓨터에 오디오 데이터 다시 전송

오디오 데이터를 컴퓨터의 SonicStage “내 라이브러리” 에 다시 전송할 수 있습니다.



1 플레이어를 컴퓨터에 연결합니다. (“오디오 데이터를 플레이어에 연결” 에서 1단계를 참조하십시오. ☞ 24 페이지)

2 ▼를 “전송▼” 에서 가리키고 목록으로부터 “ATRAC Audio Device” 를 선택합니다.
화면이 트랙을 플레이어에서 SonicStage로 전송하는 창으로 전환됩니다.

3 SonicStage 창에서 왼쪽 내 라이브러리 목록으로 전송할 앨범을 클릭하십시오.
선택한 트랙만을 전송하고자 하는 경우, 전송하고자 하는 트랙을 클릭합니다.
복수의 트랙 또는 앨범을 전송하려면, “Ctrl” 키를 누른채로 트랙 또는 앨범을 클릭합니다.

4 ← 를 클릭합니다.
선택한 앨범의 전송이 시작됩니다.
SonicStage 창에서 전송 상태를 확인할 수 있습니다.

계속 ⇩

전송을 중지하려면

SonicStage 창에서  를 클릭합니다.

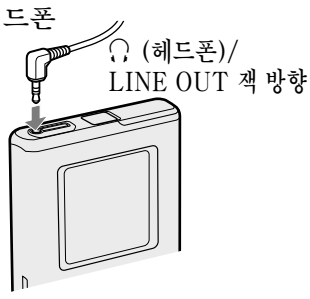
참고

- 다른 컴퓨터에서 플레이어로 전송한 트랙은 컴퓨터의 내 라이브러리로 전송할 수 없습니다.
- 데이터를 전송하는 동안, 플레이어로부터 USB 케이블을 분리하거나 배터리를 제거하지 마십시오. 전송중인 데이터가 삭제될 수 있습니다.

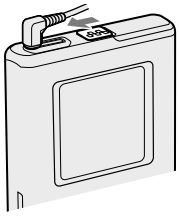
재생

SonicStage를 사용하여 플레이어로 전송된 트랙을 재생할 수 있습니다 (☞ 19 페이지).
디스플레이 메뉴와 메시지의 언어를 사용자의 언어로 변경할 수 있습니다 (☞ 54 페이지).

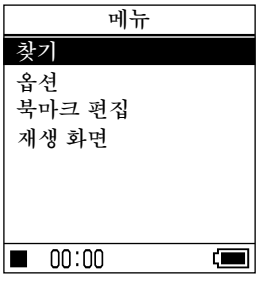
1 헤드폰을 플레이어의 ∩ (헤드폰)/LINE OUT 잭으로 연결합니다.



2 조정키 잠금을 해제하려면 그림에서와 같이 HOLD 스위치를 화살표 방향으로 미십시오.
모든 버튼은 잠겨있습니다.



3 플레이어의 ▶II 이외의 아무 버튼이나 누르십시오.
메뉴 디스플레이가 나타납니다.



4 /를 눌러 “찾기” 를 선택한 다음, ▶II를 누르십시오.
찾기 디스플레이가 나타납니다.

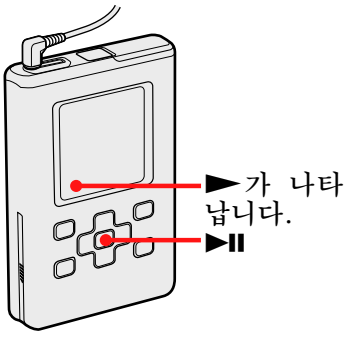


5 /를 눌러 검색 모드를 선택합니다.
트랙을 더 검색하려면, 를 누릅니다.

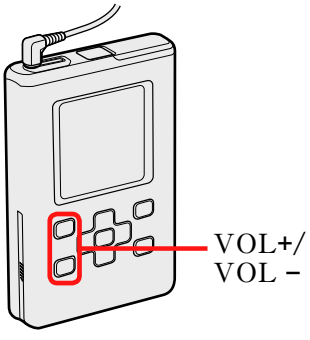
계속 ⇩

6 ▶II를 누릅니다.

플레이어의 디스플레이 왼쪽 하단에 ▶가 나타나면서 재생이 시작됩니다.
▶II를 다시 눌러 일시정지합니다.



7 VOL+/ VOL− 를 눌러 음량을 조정합니다.



재생할 수 있는 오디오 데이터의 종류에는 어떤 것이 있습니까?

이 플레이어는 ATRAC3plus/MP3포맷으로 압축되어 있는 오디오 데이터를 재생할 수 있습니다.
재생 가능한 MP3 파일 포맷은 다음과 같습니다:
–MPEG-1 Audio Layer-3
–비트 레이트 32 에서 320 kbps (CBR/VBR)
–샘플링 주파수 32/44.1/48 kHz

참고

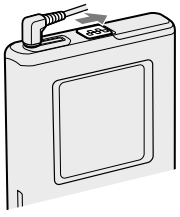
- 플레이어에서 재생할 수 없는 MP3 파일 포맷도 전송은 할 수 있습니다.
- 그러나 플레이어에서 재생할 수 없는 MP3 오디오 트랙 재생을 시도하면 재생이 정지됩니다. >를 눌러 다른 트랙을 선택하십시오.
- 리튬-이온 충전지를 사용하는 경우, 플레이어가 약 30초간 정지 모드에 있으면 디스플레이가 자동으로 꺼집니다. 트랙 제목 등을 스크롤할 때는 스크롤이 끝나고 약 30초가 지나면 디스플레이가 꺼집니다.
- 재생이 시작되지 않는 경우, HOLD 스위치가 해제되어 있는지 확인하십시오 (☞ 31 페이지).

계속 ⇩

조정키를 잠금 (HOLD)

조절 장치를 잠그면 플레이어를 휴대중에 실수로 버튼을 누르는 것을 예방할 수 있습니다. HOLD 기능을 사용하면 버튼을 누를 때 디스플레이에서 “HOLD” 가 깜박입니다.

그림에서와 같이 HOLD 스위치를 화살표 반대 방향으로 미십시오.



조절 장치의 잠금을 해제하려면

위의 그림에서와 같이 HOLD 스위치를 화살표 반대 방향으로 미십시오.

기본 재생 조작 (재생, 정지, 검색)

조작 내용	조작 방법
플레이어가 정지되어 있는 위치부터 재생	▶II를 누릅니다. 정지되어 있는 위치부터 재생됩니다.
재생 정지	■를 누릅니다.
현재 트랙의 시작을 검색합니다	.를 반복해서 누르십시오.
이전 트랙의 시작을 검색합니다*	.를 반복해서 누르십시오.
다음 트랙의 시작을 검색합니다*	>를 반복해서 누르십시오.
이어지는 다음 트랙의 시작 부분 찾기*	>를 반복해서 누르십시오.
빨리 되감기	.를 계속해서 누르고 있습니다.
앞으로 빨리 감기	>를 계속해서 누르고 있습니다.

* 혼합 재생 또는 재생 단위 혼합 재생을 선택한 경우 (☞ 47 페이지), 재생 순서가 달라집니다.

플레이어를 끄려면

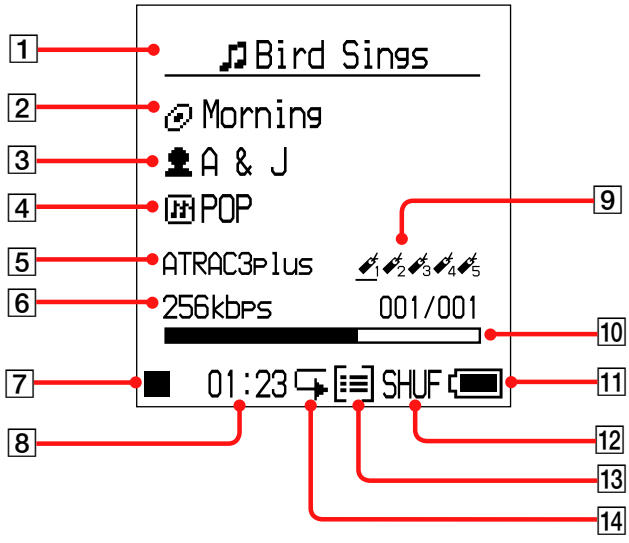
디스플레이가 꺼질 때까지 ■를 계속해서 누르고 있습니다.
플레이어를 다시 켜려면, 아무 버튼이나 누르십시오.

계속 ⇩

디스플레이에 표시되는 정보 확인

플레이어의 디스플레이에서 오디오 데이터와 재생 상태를 확인할 수 있습니다.

재생중에 플레이어 표시



1 트랙 제목
2 앨범 이름
3 음악가 이름
4 장르
5 ATRAC3/ATRAC3plus/MP3 (☞ 21 페이지)
6 비트 레이트* (☞ 21 페이지)
7 재생 상태
►: 재생
■: 정지
►►: 빨리 감기
◄◄: 빨리 되감기
I◄◄/►►I: 트랙 시작 부분 위치
8 경과한 재생 시간
9 북마크 (☞ 39 페이지)
10 트랙 번호
11 재생 진행 바
12 배터리 잔량 (☞ 15 페이지)
13 재생 모드 (☞ 45 페이지), 사운드 인디케이터 (음량을 조정할 경우, ☞ 52 페이지)
14 재생 단위 인디케이터 (☞ 48 페이지)
15 반복 (☞ 49 페이지)

* VBR(가변 비트 전송률)을 지원하는 MP3 트랙의 경우, 여기에 표시된 비트 전송률은 SonicStage 소프트웨어에 표시된 비트 전송률과 일치하지 않을 수 있습니다.

참고

문자 A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9 그리고 기호(/ 제외)가 표시됩니다.

재생할 트랙을 선택 (음악가, 앨범, 장르, 등)

플레이어에 들어있는 트랙을 "음악가" 또는 "앨범" 등으로 찾아서, 듣고 싶은 트랙을 선택할 수 있습니다.
표시에 대해 자세한 내용은, "찾기 디스플레이의 폴더 구조에 대해" 를 참조하여 주십시오 (☞ 35 페이지).

1 SEARCH/–MENU를 누릅니다.
찾기 디스플레이가 나타납니다.



2 /를 눌러 검색 모드를 선택합니다.
"재생 목록" 또는 "초기 검색" 이외의 다른 모드에서 ▶II 를 누르면, 재생이 시작됩니다.
예를 들어, "음각가" 를 선택하면 선택한 음악가의 첫번째 앨범에 있는 첫번째 트랙으로부터 재생이 시작됩니다.
선택한 음악가 다음에 나열된 모든 음악가들의 모든 앨범이 트랙 번호 순서대로 재생됩니다.

3 트랙을 더 검색하려면, 를 누릅니다.

4 /를 눌러서 재생할 항목을 선택한 다음 ▶II를 누릅니다.
선택한 트랙 또는 선택한 항목(음악가, 앨범 등)의 첫 번째 트랙에서부터 재생이 시작됩니다. 선택한 항목 이후의 열거된 모든 트랙은 트랙 번호의 순서대로 재생됩니다.

계속 ⇩

찾기 디스플레이로 돌아가기

SEARCH/●MENU를 누릅니다.

메뉴 디스플레이로 돌아가기

SEARCH/●MENU를 계속해서 누르고 있습니다.
재생 화면으로 돌아가려면, MENU 디스플레이에서 “재생 화면”을 선택한 다음 ►II를 누릅니다.

트랙 목록으로 돌아가려면

^/v를 누릅니다.

찾기 디스플레이에서 재생을 정지

■를 누릅니다.

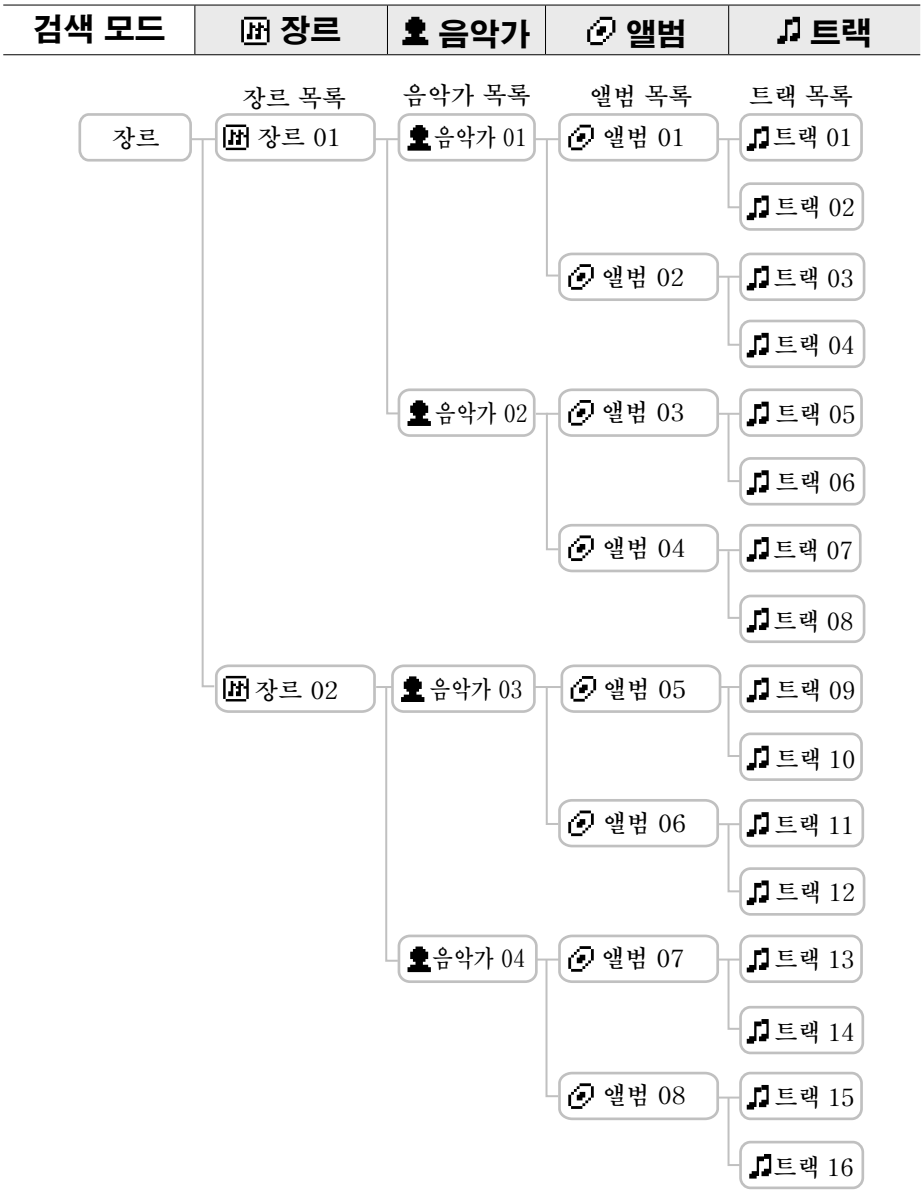
복수 항목을 한번에 스크롤

찾기 디스플레이에서 ^ 또는 v 를 빠르게 두 번 누른 다음, 수 초간 계속해서 누르고 있습니다.
디스플레이에 나열된 모든 항목이 여러개의 항목씩 한 번에 스크롤 됩니다.
^ 또는 v 를 수 초이상 계속해서 누르고 있으면, 항목들이 일반 속도 보다 빠르게 스크롤 됩니다.

계속 ⇩

찾기 디스플레이의 폴더 구조에 대해

찾기 디스플레이에는 다음과 같은 검색 모드가 있습니다, – "음악가" – "앨범" – "트랙" – "장르" – "새 트랙" – "초기 검색" 및 "재생 목록" 장르, 음악가, 앨범, 트랙의 구조는 다음과 같습니다.
음악가, 앨범, 트랙, 장르, 새 트랙중에서 어떤 찾기 디스플레이에서라도 ▶II를 누르면 재생이 시작됩니다.
새 트랙으로부터 재생 트랙을 선택하려면, 페이지 36 ☞ 를 참조하고, 초기 검색으로부터는, 페이지 36 ☞ 을 참조, 재생 목록으로부터는, 페이지 38 ☞ 을 참조하여 주십시오.

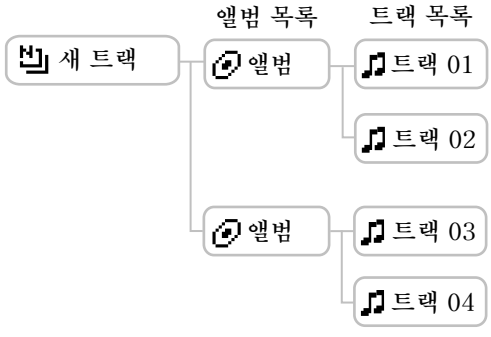


계속 ⇩

“새 트랙” 으로부터 트랙 선택

플레이어로 새롭게 전송된 앨범으로부터 트랙을 선택할 수 있습니다 (최근 5 번).

1 찾기 디스플레이에서 “새 트랙” 을 선택합니다 (2 단계에서 ☞ 33 페이지). 그리고 나서, ＞를 누릅니다.
새 트랙의 목록이 나타납니다. 다음은 “새 트랙” 의 구조입니다.



2 ∧/∨를 눌러서 재생할 항목을 선택한 다음 ▶II 를 누릅니다.
선택한 트랙 또는 선택한 앨범의 첫번째 트랙에서 부터 재생이 시작됩니다. 선택한 항목 이후의 열거된 모든 트랙은 트랙 번호의 순서대로 재생됩니다.

트랙의 첫 글자로 트랙을 선택 (초기 검색)

트랙 제목의 첫 글자로 검색하여 트랙을 선택할 수 있습니다.
플레이어는 SonicStage에서 CD 정보로 트랙 제목을 검색합니다.

1 SEARCH/−MENU를 누릅니다.
찾기 디스플레이가 나타납니다.



계속 ⇩

2 **∧/∨를 눌러 “초기 검색” 을 선택한 다음, ►II를 누르십시오.**
트랙 목록이 나타난 다음, 문자 선택 디스플레이가 나타납니다.



3 **∧/∨/</>를 눌러 트랙 제목의 첫 글자를 선택한 다음, ►II를 누릅니다.**
선택한 글자로 시작하는 트랙이 목록에 나타납니다. 선택한 첫 글자의 트랙이 없는 경우, 그 첫 글자의 다음으로 나열된 트랙이 나타납니다.



4 **∧/∨ 를 눌러 재생할 트랙을 선택한 다음, ►II를 누르십시오.**
선택한 트랙으로 부터 재생이 시작합니다. 선택한 항목 이후에 나열된 모든 트랙이 트랙 번호 순서대로 재생됩니다.

찾기 디스플레이로 돌아가기
SEARCH/●MENU를 누릅니다.

메뉴 디스플레이로 돌아가기
SEARCH/●MENU를 계속해서 누르고 있습니다.

계속 ⇩

“재생 목록” 으로 부터 트랙을 선택

SonicStage을 사용하여 편집한 재생 목록으로부터 트랙을 선택하거나, 플레이어의 북마크 형식(북마크 1 에서 북마크 5)에 등록되어 있는 트랙을 선택할 수 있습니다. 북마크에 트랙을 등록하려면, ☞ 39페이지를 참조하여 주십시오.

1 찾기 디스플레이에서 “재생 목록” 을 선택합니다 (2 단계에서 ☞ 33페이지). 그리고 나서, ›를 누릅니다.

재생 목록의 목록이 나타납니다. 다음은 재생 목록의 구조입니다.



* 재생 목록의 목록이름은 SonicStage에서 생성한 이름으로 나타납니다.

2 ^/v를 눌러서 재생할 항목을 선택한 다음 ▶II 를 누릅니다.

플레이어의 북마크

재생 목록에는 SonicStage의 재생 목록과 플레이어의 재생 목록의 두 가지 종류가 있습니다. 플레이어의 재생 목록은 SonicStage에서 만든 재생 목록과 플레이어에서 만든 북마크 형식을 포함하고 있습니다. 재생 목록의 구조에 대해 자세한 내용은, ☞ 페이지 38을 참고하여 주십시오. 재생 목록을 편집하려면, 작성한 장치를 사용해야만 합니다. 플레이어에서 만든 북마크 형식은 SonicStage에서 편집하거나 표시할 수 없습니다.

북마크에 트랙을 등록 (북마크 트랙 재생)

북마크에 즐겨찾는 트랙을 등록할 수 있습니다. 등록한 트랙을 재생하려면, 찾기 디스플레이에서 "재생 목록"을 선택하십시오 (☞ 33 페이지).

1 북마크에 등록하고자 하는 트랙의 재생중에, ^를 계속해서 누르고 있습니다.
북마크 표시가 나타납니다.



2 ^ / v를 눌러 트랙이 등록된 북마크를 선택한 다음, ▶II를 누르십시오.
"북마크"와 북마크의 수(북마크한 트랙수/북마크 가능한 수)가 나타난 다음, 북마크 아이콘이 점등합니다.

3 두 개 이상의 트랙에 북마크를 추가하려면 1 및 2 단계를 반복하십시오.
각각의 북마크에는 최대 100개의 트랙을 추가할 수 있습니다.

계속 ⇩

북마크에 등록된 트랙을 재생

1 SEARCH/MENU를 누릅니다.
찾기 디스플레이가 나타납니다.
2 /를 눌러 “재생 목록” 을 선택한 다음 ▶II를 누릅니다.
3 /를 눌러 “북마크” 를 선택한 다음 를 누릅니다.
여기서 대신에 ▶II 를 누르면, 선택한 북마크의 첫번째 트랙에서부터 재생이 시작합니다.
4 /를 눌러 트랙을 선택한 다음, ▶II를 누르십시오.
재생 디스플레이에서 북마크 아이콘의 아랫쪽에 하선이 나타납니다.

북마크를 제거하려면

북마크로부터 제거하고자 하는 트랙의 재생중에, 위의 단계를 따라, 를 계속해서 누르고 있습니다.
“북마크 삭제됨” 이 나타나고 북마크 아이콘이 디스플레이로부터 사라집니다.

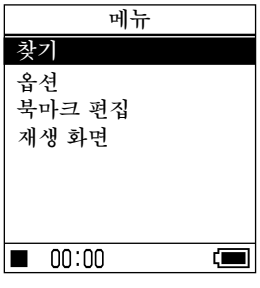
주의

- 재생중에만 트랙을 북마크에 등록할 수 있습니다.
- 트랙을 재생하는 동안에만 위와 같은 단계를 따라 트랙으로부터 북마크를 제거할 수 있습니다.

북마크의 트랙 순서를 재배열

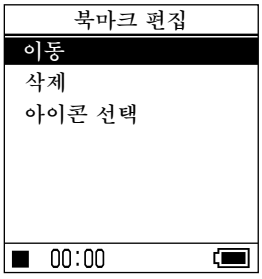
북마크 형식에 등록되어 있는 트랙의 순서를 재배열 할 수 있습니다.

1 SEARCH/MENU를 계속해서 누르고 있습니다.
메뉴 디스플레이가 나타납니다.

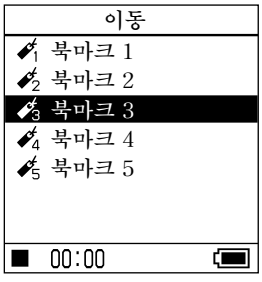


계속 ⇩

2 **∧/∨를 눌러 “북마크 편집” 을 선택한 다음, ▶II 또는 >를 누르십시오.**
북마크 편집 디스플레이가 나타납니다.



3 **∧/∨를 눌러 “이동” 을 선택한 다음, ▶II 또는 >를 누르십시오.**
북마크 목록이 나타납니다.



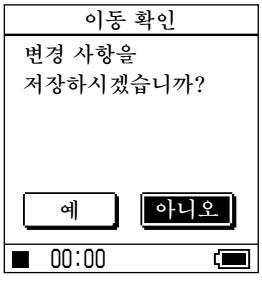
4 **∧/∨를 눌러 편집할 북마크를 선택한 다음, ▶II 또는 >를 누르십시오.**
선택한 북마크 종류의 트랙 목록이 나타납니다.



5 **∧/∨를 눌러 이동시킬 트랙을 선택한 다음, ▶II를 누르십시오.**
선택한 트랙이 점멸합니다.

6 **∧/∨를 눌러 트랙을 이동시킬 위치를 선택한 다음, ▶II를 누르십시오.**
5 단계에서 선택한 트랙이 6 단계에서 선택한 장소로 이동합니다.
다른 트랙을 이동하고자 하는 경우, 5 및 6 단계를 반복합니다.

7 **> 또는 ■ 를 누릅니다.**
확인 대화상자가 나타납니다.



계속 ⇩

8 **/를 눌러 “예” 를 선택한 다음, ▶II 를 누릅니다.**
“변경 사항이 저장되었습니다.” 가 플레이어 디스플레이에 나타납니다.
“아니오” 를 선택한 경우 재생 목록의 편집은 취소되며, 디스플레이는 북마크 편집 디스플레이로 돌아갑니다.

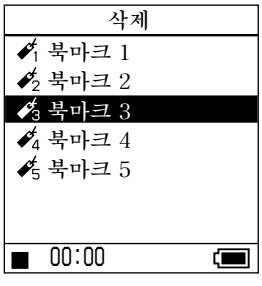
북마크한 트랙 삭제

북마크 형식에 등록한 트랙을 삭제할 수 있습니다.

1 **3 “북마크에서 트랙 순서 재배열” 에서 (☞ 40 페이지) “삭제” 를 선택한 다음, ▶II 또는 를 누릅니다.**
삭제 디스플레이가 나타납니다.



2 **/ 를 눌러 “♫ 트랙” 또는 “ 북마크” 를 선택한 다음, ▶II 를 누르십시오.**
북마크 목록이 나타납니다.



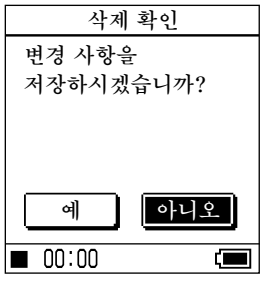
3 **/를 눌러 북마크를 선택한 다음, ▶II 또는 를 누릅니다.**
2 단계에서 “트랙” 을 선택한 경우, 트랙 목록이 나타납니다.
2 단계에서 “북마크” 를 선택한 경우, 6 단계로 진행합니다.



계속 ⇩

4 **ᨒ/ᨓ 를 눌러 삭제할 트랙을 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
선택한 트랙이 목록으로부터 제거됩니다.
북마크로부터 복수의 트랙을 삭제하려고 하는 경우, 이 단계를 반복하여 주십시오.

5 **ᨔ 또는 ■를 누르십시오.**
확인 대화창이 나타납니다.



6 **ᨕ/ᨔ 를 눌러 “예” 를 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
“변경 사항이 저장되었습니다.” 가 디스플레이에 나타나고 디스플레이가 북마크 편집 디스플레이로 돌아갑니다.

2단계에서 “북마크” 를 선택한 경우.
“모든 북마크한 트랙을 삭제하시겠습니까?” 가 디스플레이에 나타납니다. “예” 를 선택합니다.
여기서 “아니오” 를 선택하면, 북마크의 편집은 취소되며 디스플레이는 북마크 편집 디스플레이로 돌아갑니다.

복수 항목을 한번에 스크롤

“북마크에서 트랙 순서 재배열” (☞ 40페이지)의 트랙 목록의 디스플레이에에서, 또는 “북마크한 트랙 삭제” 에서, ᨒ 또는 ᨓ 를 빠르게 두 번 누른 다음, 수 초간 계속해서 누르고 있습니다.
디스플레이에 나열된 모든 항목이 여러개의 항목씩 한 번에 스크롤됩니다.
ᨒ 또는 ᨓ 를 수 초이상 계속해서 누르고 있으면, 항목들이 일반 속도 보다 빠르게 스크롤 됩니다.

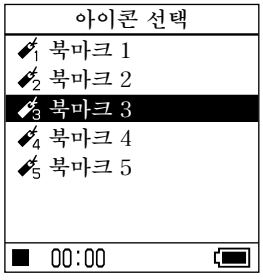
참고
등록된 트랙을 재생 또는 일시정지하고 있는 동안에는 북마크를 편집할 수 없습니다.

계속 ⇩

북마크 아이콘

북마크된 트랙에 북마크 아이콘이 나타나도록 선택할 수 있습니다. 각각의 북마크에 다른 북마크 아이콘을 사용하면 편리합니다 (북마크 1 에서 5).

1 **“북마크에서 트랙 순서 재배열” 의 3 단계에서 (☞ 40 페이지) “아이콘 선택” 을 선택한 다음, ▶II 또는 > 를 누르십시오.**
아이콘 선택 디스플레이가 나타납니다.



2 **^/v를 눌러 변경하고자 하는 북마크 형식의 아이콘을 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
아이콘 선택 디스플레이가 나타납니다.

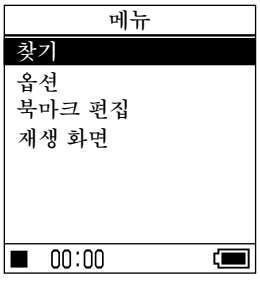


3 **^/v/</>를 눌러 아이콘을 선택한 다음, ▶II 를 누릅니다.**
선택한 아이콘이 북마크된 트랙과 함께 나타납니다.

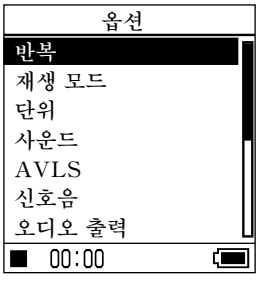
재생 옵션 변경 (재생 모드)

듣고 싶은 트랙 선택, 트랙 무작위 재생과 같은 다양한 재생 옵션(재생 모드)을 사용할 수 있습니다.
재생 옵션 및 재생 범위에 대한 자세한 내용은, “재생 옵션” 을 참조하여 주십시오 (☞ 47페이지).
트랙을 무작위로 재생하거나 (☞ 47, 49페이지) 선택한 재생 옵션을 사용하여 트랙을 반복할 수도 있습니다 (반복 재생 ☞ 49페이지).

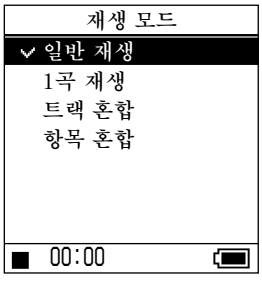
1 SEARCH/–MENU를 계속해서 누르고 있습니다.
메뉴 디스플레이가 나타납니다.



2 /를 눌러 “옵션” 을 선택한 다음, ►II를 누릅니다.
옵션 디스플레이가 나타납니다.



3 /를 눌러 “재생 모드” 를 선택한 다음, ►II를 누르십시오.
재생 모드의 목록이 나타납니다.



계속 ⇩

4 **/ 를 눌러 재생 옵션을 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
기본 설정은 “일반 재생” 입니다.

5 **SEARCH/MENU를 눌러 찾기 디스플레이를 표시한 다음, 재생용 검색 카테고리를 선택합니다 (☞ 33 페이지).**
재생용 검색 카트리지를 줄이려면, 를 누릅니다.

6 **▶II를 누릅니다.**
선택한 재생 옵션으로 재생이 시작됩니다.

설정을 취소하려면

■를 눌러 옵션 디스플레이로 돌아갑니다.

일반 재생으로 돌아가려면

4 단계에서, “일반 재생” 을 선택합니다.

MENU 디스플레이로 돌아가기

SEARCH/MENU를 계속해서 누르고 있습니다.

참고

재생 모드를 변경하면, 재생 단위도 (☞ 48 페이지) 플레이어에 저장된 모든 트랙에 따라 변화합니다. 재생 단위의 트랙을 재생하려면, 찾기 디스플레이에서 항목(음악가, 앨범, 트랙 등)을 선택합니다.

계속 ⇩

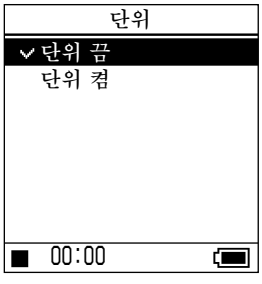
재생 옵션 (재생 모드)

플레이어 디스플레이/아이콘	설명
일반/아이콘 없음 (일반 재생)	선택한 트랙 이후의 모든 트랙이 트랙 번호 순서대로 한 번씩 재생됩니다. 트랙이 아닌 항목(앨범, 음악가 등)을 선택할 경우, 해당 항목의 첫 번째 트랙부터 모든 트랙이 트랙 번호 순서대로 한 번씩 재생됩니다.
1곡/ 1 (단일 재생)	선택한 트랙이 한 번 재생됩니다. 트랙이 아닌 항목(앨범, 음악가 등)을 선택할 경우, 첫 번째 트랙만 한 번 재생됩니다.
트랙 혼합/ SHUF	모든 트랙이 무작위 순서로 재생됩니다.
항목 혼합/ SHUF	모든 앨범이 무작위로 한 번 재생됩니다 (앨범 혼합). 앨범의 재생 순서는 트랙 번호의 순서입니다. “재생 단위” 가 “단위 켬” 으로 설정되어 있을 경우 (☞ 47 페이지), 트랙은 재생 단위 혼합으로 재생됩니다 (☞ 49 페이지).

선택한 검색 카테고리의 트랙을 재생 (재생 단위 재생)

1 “재생 옵션 변경” 의 3 단계에서 “재생 단위” 를 선택한 다음 (☞ 45 페이지), ▶II를 누릅니다.

재생 단위 디스플레이가 나타납니다.



2 ⏮/⏭ 를 눌러 “단위 켬” 을 누른 다음, ▶II를 누릅니다.

계속 ⇩

3 SEARCH/MENU를 눌러 찾기 디스플레이를 표시한 다음, 재생용 검색 카테고리를 선택합니다 (☞ 33 페이지).

4 ▶II를 누릅니다.
트랙 번호의 순서에서 재생 단위로 재생됩니다.

재생 단위(재생용 검색 카테고리)란 무엇입니까?

재생을 시작했을 경우 선택한 아이템에 표시되어 있는 모든 항목 (음악가, 앨범, 트랙 등)을 "재생 단위" 라고 합니다.

예: "장르 01" 을 선택하고 재생을 시작하는 경우
트랙01에서 08까지의 트랙이 하나의 재생 단위가 됩니다.

"아티스트 02" 를 선택하고 재생을 시작하는 경우
트랙05에서 08까지의 트랙이 하나의 재생 단위가 됩니다.



주의

- "단위 켬" 에서 "단위 끔" 또는 "단위 끔" 에서 "단위 켬" 으로 전환했을 경우, 재생 단위는 플레이어의 모든 트랙을 포함하도록 초기화 됩니다.
- 3단계에서 하나의 트랙을 재생용 검색 카테고리로 선택했을 경우, 트랙을 포함하는 앨범이 재생 단위로 지정됩니다.

계속 ⇩

재생 단위에서 트랙 혼합 재생에 관해 (“재생 단위” 가 “단위 켬” 으로 설정되어 있는 경우 “트랙 혼합” 재생 모드)

옵션 디스플레이에서 “재생 단위” 를 “단위 켬” 으로 설정하면, 재생을 시작했을 경우 재생 단위에 나열된 모든 항목(음악가, 앨범, 트랙)이 무작위로 재생됩니다.

재생 단위 혼합 에 관해 (“재생 단위” 가 “단위 켬” 으로 설정되어 있는 경우 “항목 혼합”)

옵션 디스플레이에서 “재생 단위” 를 “단위 켬” 으로 설정하면, 재생 단위가 무작위로 재생됩니다. 재생 단위의 재생 순서는 트랙 번호의 순서입니다.

참고

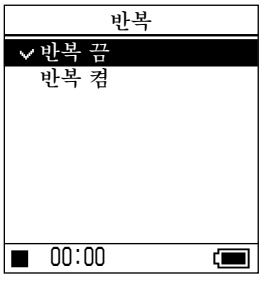
- 찾기 디스플레이에서 “♫ 트랙” 을 선택하고 혼합 모드에서 재생을 시작하는 경우, 플레이어의 모든 트랙은 “단위 켬/끔” 또는 “트랙/항목 혼합” 모드의 설정과 관계없이 무작위 순서로 재생됩니다.
- 찾기 표시에서 “재생 목록” 를 선택하고, “재생 목록” 또는 “북마크” 를 선택해서 셔플 모드로 재생을 시작한 경우, 재생 리스트 또는 북마크의 모든 리스트가 “단위 켬/끔” 또는 “트랙/항목 혼합” 모드의 설정에 관계없이, 랜덤한 순서로 재생됩니다.

트랙을 반복해서 재생 (반복 재생)

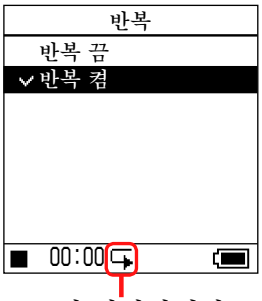
☞ 47 페이지에서 선택한 재생 옵션에서 트랙의 재생이 반복됩니다.

1 “재생 옵션 변경” 의 3 단계에서 “반복” 을 선택한 다음, (☞ 45 페이지), ▶II를 누릅니다.

반복 디스플레이가 나타납니다.



2 /를 눌러 “반복 켬” 을 선택한 다음, ▶II 를 누릅니다.



가 나타납니다.

계속 ⇩

3 SEARCH/●MENU를 눌러 찾기 디스플레이를 표시한 다음, 재생용 검색 카테고리를 선택합니다 (☞ 33 페이지).

4 ▶II를 누릅니다.
선택한 재생 옵션으로 재생이 시작됩니다.

조작중에 언제라도 설정을 취소하려면
■를 눌러 옵션 디스플레이로 돌아갑니다.

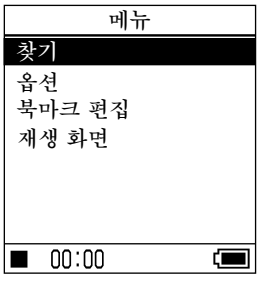
반복 재생을 취소
2단계에서, “반복 끔” 을 선택합니다.

찾기 디스플레이로 돌아가기
SEARCH/●MENU를 누릅니다.

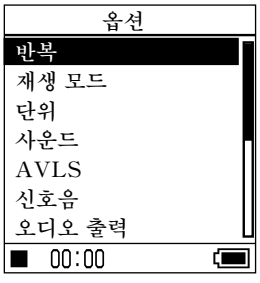
음질 및 설정 변경

다양한 설정 항목에 관한 자세한 내용은, ☞ 52 페이지를 참조하십시오.

1 SEARCH/▬MENU를 계속해서 누르고 있습니다.
메뉴 디스플레이가 나타납니다.



2 ^/v를 눌러 “옵션” 을 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.
옵션 디스플레이가 나타납니다.



3 ^/v를 눌러 옵션을 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.

음질을 변경하려면

3단계 후에, ^/v를 눌러 “사운드” 를 선택하고 나서 (☞ 52 페이지), ▶II를 누릅니다.

이전 디스플레이로 돌아가려면

<를 누릅니다.

설정을 취소하려면

■를 눌러 옵션 디스플레이로 돌아갑니다.

메뉴 디스플레이로 돌아가기

SEARCH/▬MENU를 계속해서 누르고 있습니다.

계속 ⇩

음질 및 디스플레이용 항목 설정

항목	옵션 (●: 기본 설정)		
사운드	●사운드 끔		트랙이 일반 음질로 재생됩니다.
	VPT음향 엔진[1) 2)]	스튜디오 (VS)	녹음 스튜디오의 사운드 효과를 만듭니다.
		라이브 (VL)	콘서트홀의 사운드 효과를 만듭니다.
		클럽 (VC)	나이트 클럽의 사운드 효과를 만듭니다.
		공연장 (VA)	공연장의 사운드 효과를 만듭니다.
	6밴드 이퀄라이저[1) 2)]	헤비 (SH)	강력한 사운드로, 보다 강조하여 트랙을 재생합니다.팝 사운드와 비교하여 높고 낮은 범위
		팝 (SP)	중간 대역 오디오가 강조된 보컬의 사운드로 재생합니다.
		재즈 (SJ)	고음과 저음을 강조한 생생한 사운드로 재생합니다.
		유니크 (SU)	중간 대역보다 고대역과 저대역 오디오를 강조한 특별한 사운드로 재생합니다.
		사용자 지정 1 (S1)	사용자가 지정한 사운드로 재생합니다 (자세한 내용은 ☞ 55 페이지 참조).
		사용자 지정 2 (S2)	
	디지털사운드설정 [2)]	사용자 지정3 (S3)	고음과 저음이 미리 설정된 사운드로 재생합니다(자세한 내용은 ☞ 56 페이지 참조).
		사용자 지정 4 (S4)	

1) 이 설정은 ATRAC3plus 오디오 트랙을 재생할 때만 작동합니다. MP3 오디오 트랙을 재생할 때는 작동하지 않습니다.
2) 이 사운드 설정은 디스플레이에 괄호 안의 문자로 나타납니다(☞ 32 페이지).

계속 ⇩

항목	옵션 (●: 기본 설정)	
AVLS [1]	●AVLS 끔	볼륨 수준의 제한 없이 볼륨을 조절합니다.
	AVLS 켬	청력을 보호하기 위해 최대 볼륨을 제한합니다.
신호음	●Beep 켬	플레이어를 작동할 때 신호음이 들립니다.
	Beep 끔	신호음이 꺼집니다.
오디오 출력	●헤드폰	제공된 헤드폰을 연결할 때 이 옵션을 선택합니다.
	라인 출력	스피커 등의 장치를 오디오 코드로 연결할 때 이 옵션을 선택합니다 (☞ 58 페이지).
백라이트[2]	●10초	버튼을 누르거나 스크롤중에 선택한 시간동안 백라이트가 점등합니다.
	30초	
	항상 끔	절전을 위해 백라이트가 꺼집니다.
대비[3]	●중앙	디스플레이가 중간 밝기로 설정됩니다. 플레이어 본체가 검은색인 경우, 기본 설정은 왼쪽에서 두 번째입니다.
	– 에서 +	디스플레이를 밝게 하려면 – 쪽으로, 어둡게 하려면 + 쪽으로 설정합니다. 디스플레이에서 SEARCH/●MENU를 누르고 있는 동안 ^를 누르면 레벨이 중앙으로 설정됩니다.
화면 반전	●네거티브	문자와 아이콘은 흰색으로, 배경은 검은색으로 나타납니다.
	포지티브	문자와 아이콘은 검은색으로, 배경은 흰색으로 나타납니다.

1) AVLS는 Automatic Volume Limiter System(자동 볼륨 조절 시스템)의 약어입니다.
2) 백라이트가 꺼져 있을 때 VOL+/VOL– 버튼을 누르면, 백라이트가 켜집니다.
3) SEARCH/●MENU를 누르는 동안 ^ 를 누르면 설정이 출하시의 설정으로 돌아갑니다.

계속 ⇩

항목	옵션 (●: 기본 설정)	
화면 방향	●수직	디스플레이를 수직으로 고정합니다.
	자동	G-센서 [1] 기능을 사용하여 디스플레이 방향을 자동으로 조정합니다. 플레이어의 전원을 켰을 때 디스플레이의 방향은 올바른 방향으로 고정됩니다.
	우	디스플레이를 왼쪽으로 회전시키면 플레이어를 오른손으로 조작할 수 있습니다.
	좌	디스플레이를 오른쪽으로 회전시키면 플레이어를 왼손으로 조작할 수 있습니다.
언어	日本語	메시지와 메뉴가 일본어로 표시됩니다.
	●English	메시지와 메뉴가 영어로 표시됩니다.
	Français	메시지와 메뉴가 프랑스어로 표시됩니다.
	Deutsch	메시지와 메뉴가 독일어로 표시됩니다.
	Italiano	메시지와 메뉴가 이태리어로 표시됩니다.
	Español	메시지와 메뉴가 스페인어로 표시됩니다.
	簡体中文 [2]	메시지와 메뉴가 중국어 간체로 표시됩니다.
	繁體中文 [2]	메시지와 메뉴가 중국어 번체로 표시됩니다.
	한글 [2]	메시지와 메뉴가 한국어로 표시됩니다.
시스템 초기화 [3]	초기화 설정	메뉴 디스플레이의 모든 설정이 출하시의 설정으로 설정됩니다 (☞ 60 페이지).
	하드 디스크 초기화	플레이어의 모든 데이터가 삭제됩니다 (☞ 62 페이지).
	펌웨어 업데이트	플레이어 펌웨어를 업데이트합니다 (☞ 64 페이지). [4]

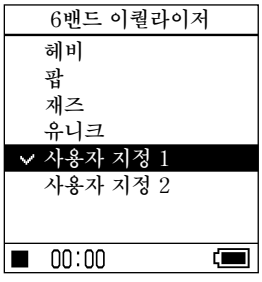
1) G-센서는 플레이어의 방향을 감지하는 기능입니다.
2) 플레이어를 사용하는 국가에 따라서는 이 언어가 표시되지 않습니다.
3) 재생 또는 일시정지중에는 출하시 설정으로 재설정할 수 없습니다.
4) 이 기능은 이 경우에는 사용할 수 없습니다. 정보가 표시될 때까지 기다려 주십시오.

계속 ⇩

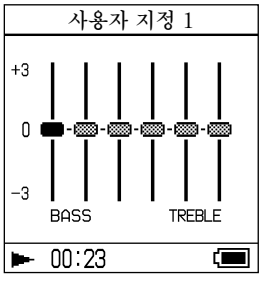
음질 사용자 지정 (6밴드 이퀄라이저 – 사용자 지정)

디스플레이에서 설정을 확인하면서 각 주파수 대역별로 음질을 조절할 수 있습니다.

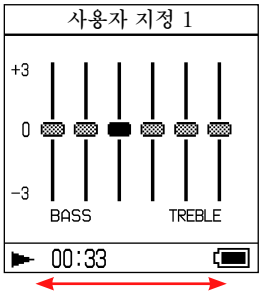
1 **“음질 및 설정 변경” 의 ❸ 단계에서 “사운드” 를 선택한 다음(☞ 51 페이지), “6밴드 이퀄라이저” 를 선택하십시오. 그리고 나서 ▶II를 누릅니다.**



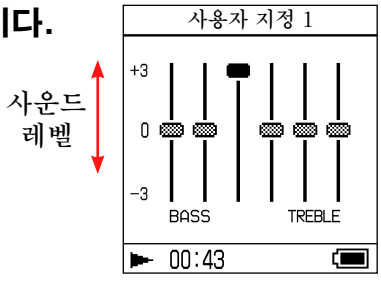
2 **∧/∨을 눌러서 “사용자 지정 1” 또는 “사용자 지정 2” 를 선택한 후, ▶II를 누르십시오.**



3 **</>를 눌러 주파수 대역을 선택합니다.**
6개의 주파수 대역이 있습니다.



4 **∧/∨를 눌러 사운드 레벨을 선택합니다.**
사운드 레벨은 7단계로 조절할 수 있습니다.



계속 ⇩

5 **③ 및 ④단계를 반복하여 남은 주파수 대역을 조정합니다.**

6 **▶II를 누릅니다.**
디스플레이가 6-밴드 이퀄라이저 디스플레이로 되돌아갑니다.

설정을 취소하려면
■를 눌러 6밴드 이퀄라이저 디스플레이로 돌아갑니다.

메뉴 디스플레이로 돌아가기
SEARCH/MENU를 계속해서 누르고 있습니다.

참고

- 사운드 설정으로 볼륨을 높일 때 소리가 왜곡되는 경우, 볼륨을 낮추십시오.
- "사용자 지정 1", "사용자 지정 2" 사운드 설정 및 다른 사운드 설정에서 볼륨이 서로 다를 경우, 원하는 대로 볼륨을 조절하십시오.
- MP3 오디오 트랙을 재생할 경우, 설정은 작동하지 않습니다.

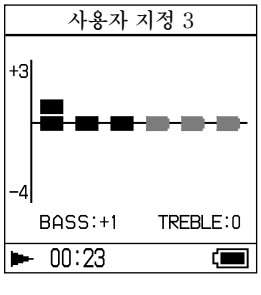
고음 및 저음 강조 조정 (디지털 사운드 프리셋)

고음 및 저음 레벨을 원하는 대로 미리 설정해 둘 수 있습니다. 디스플레이를 확인하면서 강조 설정을 조절하십시오.

1 **"음질 및 설정 변경"의 ③ 단계에서 "사운드"를 선택한 다음 (☞ 51페이지), "디지털 사운드 설정"을 선택하고 나서 ▶II를 누릅니다.**



2 **/을 눌러서 "사용자 지정 3" 또는 "사용자 지정 4"를 선택한 후, ▶II를 누르십시오.**

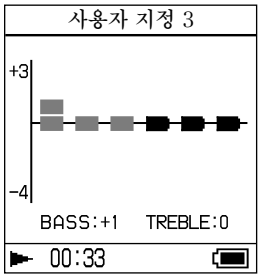


기본 설정

음질	사용자 지정 3 (S3)	사용자 지정 4 (S4)	끔 (일반 사운드)
BASS	+1	+3	±0
TREBLE	±0	±0	±0

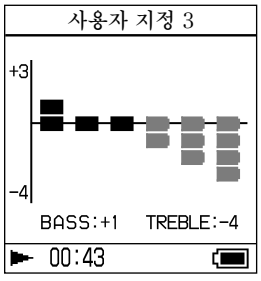
계속 ⇩

3 **</>를 눌러 “TREBLE” 또는 “BASS”을 선택합니다.**
고음과 저음의 음질을 조절할 수 있습니다.



4 **/를 눌러 사운드 레벨을 선택합니다.**
사운드 레벨은 8단계로 조절할 수 있습니다.

음질	강조 레벨
BASS	−4 ~ +3
TREBLE	−4 ~ +3



5 **▶II를 누릅니다.**
스크린이 디지털 사운드 설정 디스플레이로 돌아갑니다.

설정을 취소하려면
■를 누르면 디지털 사운드 설정 디스플레이로 돌아갑니다.

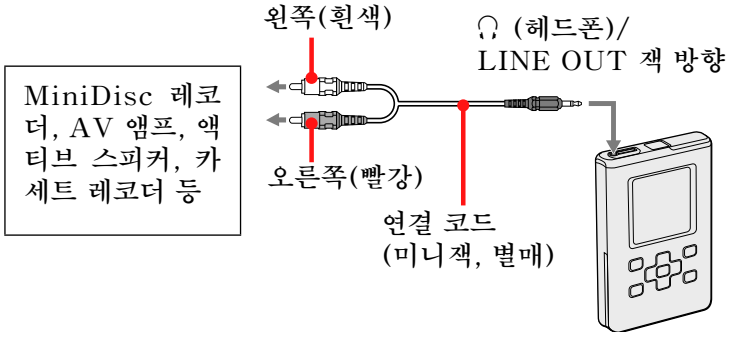
메뉴 디스플레이로 돌아가기
SEARCH/MENU를 계속해서 누르고 있습니다.

참고

- “사용자 지정 3” 또는 “사용자 지정 4” 의 그래프에서 고음 및 저음 사운드 레벨은 양쪽 끝입니다. 그 사이에 있는 레벨들은 고음 및 저음 레벨과 연결되어 자동으로 바뀌므로 각각 따로 조절할 수 없습니다.
- 사운드 설정으로 볼륨을 높일 때 소리가 왜곡되는 경우, 볼륨을 낮추십시오.
- “사용자 지정 3” , “사용자 지정 4” 사운드 설정 및 다른 사운드 설정에서 볼륨이 서로 다를 경우, 원하는 대로 볼륨을 조절하십시오.

다른 장치를 연결

플레이어의 트랙을 스테레오 시스템을 통해 감상하고 MiniDisc 또는 카세트 테이프에 녹음할 수 있습니다. 연결할 장치와 함께 제공된 사용 설명서를 참조하십시오.
아래 설명대로 연결하여 설정을 변경하기 전에 모든 장치의 전원을 껐는지 확인하십시오.



연결된 장치에서 소리를 출력하도록 옵션 디스플레이에서 “오디오 출력” 설정을 변경해야 합니다. “오디오 출력” 설정은 다음과 같습니다. 설정 방법은 ☞ 51 페이지를 참조하십시오.

연결 장치	설정
헤드폰	헤드폰
연결 코드로 연결되어 있는 장치	라인 출력

다른 장치를 연결할 경우, “라인 출력” 으로 설정하십시오. “라인 출력” 으로 설정되어 있으면 볼륨을 조절할 수 없습니다. 또한 “사운드” 의 설정을 사용할 수 없고 작동하지도 않습니다.

참고

- 제공된 헤드폰을 플레이어에 연결할 경우, “오디오 출력” 을 “라인 출력” 으로 설정하지 마십시오. “라인 출력” 으로 설정하면 볼륨이 조절되지 않고 소리가 왜곡되거나 잡음이 발생합니다.
- 연결된 스피커에 무리가 가지 않도록 재생하기 전에 연결된 장치의 볼륨을 낮추십시오.

오디오 파일 이외의 데이터 저장

윈도우즈 익스플로러를 사용하여 컴퓨터 하드 디스크의 데이터를 플레이어의 내장 하드 디스크로 전송할 수 있습니다.
플레이어의 내장 하드 디스크는 윈도우즈 익스플로러에서 외부 장치(이동식 저장메모리)로 표시됩니다.

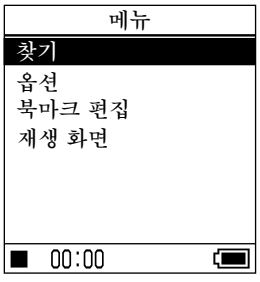
참고

- Windows 탐색기로 플레이어의 하드 디스크를 작동하는 중에는 SonicStage를 사용하지 마십시오.
- 탐색기로 플레이어에 전송한 WAV 파일과 MP3 파일은 재생할 수 없습니다. SonicStage로 전송하십시오.
- 데이터 전송 중에 USB 케이블을 분리하지 마십시오. 전송중인 데이터가 손상될 수 있습니다.
- 컴퓨터에서 플레이어의 하드 디스크를 초기화하지 마십시오.

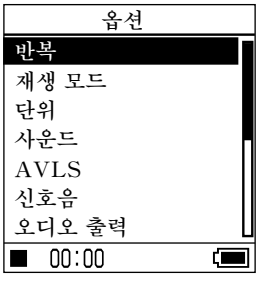
출하시 설정으로 재설정

모든 메뉴 디스플레이 설정을 출하시 설정으로 재설정합니다.

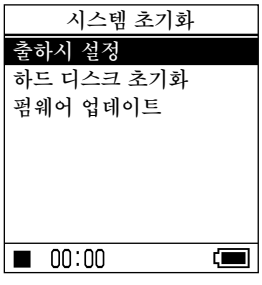
1 **플레이어가 정지하고 있을 때, SEARCH/ MENU를 계속해서 누르고 있습니다.**
메뉴 디스플레이가 나타납니다.



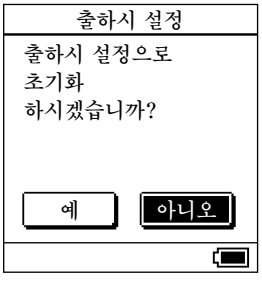
2 **/를 눌러 “옵션” 을 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
옵션 디스플레이가 나타납니다.



3 **/를 눌러 “시스템 초기화” 를 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
시스템 초기화 디스플레이가 표시됩니다.



4 **/를 눌러 “출하시 설정” 을 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
출하시 설정 디스플레이가 나타납니다.



계속 ⇩

5 </> 를 눌러 “예” 를 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.
메세지가 나타난 다음, 디스플레이가 시스템 초기화 디스플레이로 돌아갑니다.

설정을 취소하려면

■를 누릅니다. 또는, 5 단계에서 “아니오” 를 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.
디스플레이가 포맷 디스플레이로 돌아갑니다.

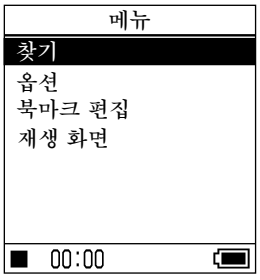
참고

재생 중에는 출하시 설정으로 재설정할 수 없습니다.

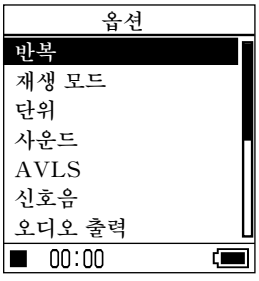
하드디스크 초기화

플레이어의 내장 하드 디스크를 초기화할 수 있습니다. 하드 디스크를 초기화하면 모든 오디오 데이터와 기타 데이터가 삭제됩니다. 하드 디스크를 초기화하기 전에 저장되어 있는 데이터를 확인하십시오.

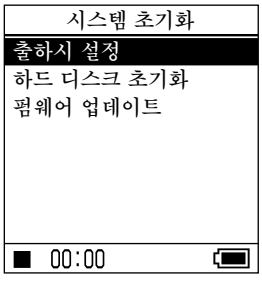
1 **플레이어가 정지하고 있을 때, SEARCH/ -MENU를 계속해서 누르고 있습니다.**
메뉴 디스플레이가 나타납니다.



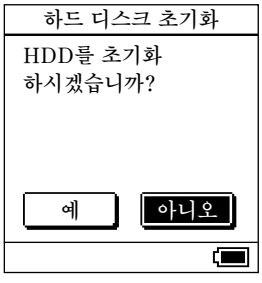
2 **/를 눌러 "옵션" 을 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
옵션 디스플레이가 나타납니다.



3 **/를 눌러 "시스템 초기화" 를 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
시스템 초기화 디스플레이가 표시됩니다.

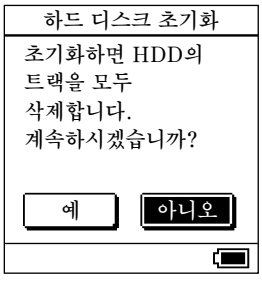


4 **/를 눌러 "하드디스크 초기화" 를 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
하드디스크 초기화 디스플레이가 나타납니다.



계속 ⇩

5 **</>를 눌러 “예” 를 선택한 다음, ▶II 를 누릅니다.**
확인 대화상자가 나타납니다.



6 **</>를 눌러 “예” 를 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.**
메세지가 나타난 다음, 디스플레이가 시스템 초기화 디스플레이로 돌아갑니다.

설정을 취소하려면

■를 누릅니다. 또는, 6 단계에서 “아니오” 를 선택한 다음, ▶II를 누릅니다.
디스플레이가 시스템 초기화 디스플레이로 돌아갑니다.

참고

- 컴퓨터에서 플레이어의 하드 디스크를 초기화하지 마십시오.
- 재생 중에는 하드 디스크를 초기화할 수 없습니다.
- 플레이어를 초기화하면 모든 오디오 데이터 및 다른 파일이 삭제됩니다.
- 초기화를 사용하여 트랙을 삭제한 경우, 플레이어를 컴퓨터에 연결하면 SonicStage가 삭제된 트랙을 컴퓨터에 다시 전송할 트랙으로 인식합니다. 따라서 남은 전송 횟수도 자동으로 늘어나게 됩니다.

SonicStage 삭제

SonicStage를 삭제하려면, 아래의 순서를 따르십시오.

1. **“시작” – “제어판” *을 클릭합니다.**
   * Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition의 경우 “설정” – “제어판” 이 표시됩니다.

2. **“프로그램 추가/제거” 를 더블클릭 합니다.**

3. **“현재 설치된 프로그램” 리스트에서 “SonicStage 3.1” 를 클릭한 다음, “변경 및 제거” 를 클릭합니다*.**
   표시된 지시에 따라 컴퓨터를 재기동합니다. 삭제는 컴퓨터가 재기동한 다음에 완료됩니다.
   * Windows 2000 Professional의 경우 “변경/제거” , Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition의 경우 “추가/제거” 입니다.

참고

SonicStage 3.1 버전을 설치할 경우. OpenMG Secure Module 4.1 이 동시에 설치됩니다. 다른 소프트웨어에 의해 사용될 수 있으므로 OpenMG Secure Module 4.1을 제거하지 마십시오.

문제 해결

플레이어에 문제가 발생하면 다음 해결 방법을 시도해 보십시오.

1 배터리를 제거하고 다시 넣습니다.
2 “문제 해결”에 나온 증상을 확인하십시오.
3 SonicStage를 사용하는 경우 SonicStage 도움말에서 증상을 확인합니다.
4 위의 사항을 확인한 후에도 문제가 해결되지 않았을 경우, 아래의 표를 확인한 다음 가까운 소니 대리점으로 문의하여 주십시오.

전력

증상	원인 및 해결 방법
배터리 수명이 오래 가지 않습니다	➔ 작동 온도가 5°C 이하입니다. 배터리 특성상 발생하는 문제로 오작동은 아닙니다. ➔ 플레이어를 장기간 사용하지 않았습니다. 충전과 방전을 반복하면 배터리 성능이 개선됩니다. ➔ 배터리 팩의 수명이 다했을 수 있습니다. 새 것으로 교환하십시오. ➔ 배터리 충전 시간이 충분하지 않습니다. CHG가 나타날 때까지 배터리를 계속해서 충전시키십시오.

계속 ⇩

사운드

증상	원인 및 해결 방법
사운드가 들리지 않습니다. 잡음만 들립니다.	➔ 볼륨이 영(0)으로 설정되어 있습니다. 볼륨을 높이십시오(☞ 30 페이지). ➔ 헤드폰 플러그가 제대로 연결되어 있지 않습니다. ∩(헤드폰)/LINE OUT 잭으로 단단히 연결합니다 (☞ 29 페이지). ➔ 헤드폰 플러그에 먼지가 끼었습니다. 헤드폰 플러그를 부드러운 마른 천으로 닦으십시오. ➔ 하드 디스크에 저장된 오디오 데이터가 없습니다.
볼륨이 커지지 않습니다.	➔ “AVLS” 가 “AVLS 켬” 으로 설정되어 있습니다. “AVLS 끔” (☞ 53 페이지)으로 설정합니다.
헤드폰 오른쪽 채널에서 사운드가 들리지 않습니다.	➔ 헤드폰 플러그가 올바르게 연결되어 있지 않습니다. ∩(헤드폰)/LINE OUT 잭으로 단단히 연결합니다 (☞ 29 페이지).
볼륨을 조절할 수 없습니다.	➔ “오디오 출력” 이 “라인 출력” 으로 설정되어 있습니다. 연결된 장치의 볼륨 조절기를 사용하여 볼륨을 조절하거나 “오디오 출력” 을 “헤드폰” 으로 설정하십시오(☞ 53 페이지).
플레이어를 스테레오 시스템과 연결하여 사용하면 소리가 왜곡되거나 잡음이 발생합니다.	➔ “오디오 출력” 이 “헤드폰” 으로 설정되어 있습니다. “라인 출력” (☞ 53 페이지)으로 설정합니다.

계속 ⇩

작동/재생

증상	원인 및 해결 방법
버튼이 작동하지 않습니다.	➔ 버튼이 잠겨 있습니다. HOLD 스위치를 밀어 내립니다 (☞ 31 페이지).
	➔ 수분 응결이 발생했습니다(플레이어를 차가운 곳에서 따뜻한 곳으로 급하게 이동시켰을 경우 플레이어의 내부에 수분이 응결할 수 있습니다). 습기가 마를 때까지 몇 시간 플레이어를 다른 곳에 두십시오.
	➔ 배터리의 남은 전원이 부족합니다. 배터리를 충전하십시오 (☞ 13 페이지).
재생이 갑자기 멈췄습니다.	➔ 배터리의 남은 전원이 부족합니다. 배터리를 충전합니다 (☞ 13 페이지).
	➔ 플레이어에서 재생할 수 없는 MP3 오디오 트랙 재생을 시도하면 재생이 정지됩니다. ⏭를 눌러 다른 트랙을 선택합니다 (☞ 30 페이지).
	➔ 플레이어가 장시간에 걸쳐 진동에 노출되었습니다. 진동을 멈추고 다시 재생을 시작합니다.
백라이트가 켜지지 않습니다.	➔ “백라이트” 가 “항상 끔” 으로 설정되어 있습니다. “10초” 또는 “30초” 로 설정합니다 (☞ 53 페이지).
“□” 이 제목에 표시됩니다.	➔ 플레이어에 표시되지 않는 문자와 관련된 문제입니다. SonicStage 소프트웨어에서 해당 제목을 적합한 문자로 바꾸십시오.
디스플레이가 꺼집니다.	➔ 대략 30초 동안 아무런 조작이 없을 경우 디스플레이는 자동적으로 꺼집니다. 배터리를 사용하는 경우 정지 모드에서 트랙 제목 등을 스크롤할 때는 스크롤이 끝나고 약 30초가 지나면 디스플레이가 꺼집니다. 또한, ■를 계속 누르고 있어도 디스플레이가 꺼집니다. 모든 경우, 아무 버튼이나 눌러서 디스플레이를 다시 켭니다.

계속 ⇩

컴퓨터와의 연결/SonicStage

증상	원인 및 해결 방법
SonicStage 소프트웨어를 설치할 수 없습니다.	➔ 운영 체제가 사용 중인 소프트웨어와 호환되지 않습니다 (☞ 16 페이지). ➔ Windows 프로그램이 모두 종료되지 않았습니다. 다른 프로그램이 실행되는 동안 설치를 시작하면 오작동이 발생할 수 있습니다. 특히 바이러스-체크 소프트웨어와 같은 많은 양의 시스템 리소스를 요구하는 프로그램의 경우 더욱 그러합니다. ➔ 컴퓨터 하드 디스크의 여유 공간이 충분하지 않습니다. 200 MB 이상의 여유 공간이 필요합니다. 컴퓨터의 불필요한 파일들을 삭제하십시오.
설치가 완료되기 전에 중단된 것으로 나타납니다.	➔ 설치 창 아래에 에러 메시지가 나타나는지 확인하십시오. “Alt” 키를 누르면서 “Tab” 키를 누르십시오. 에러 메시지가 표시된 경우, “Enter” 키를 누르십시오. 설치가 다시 시작될 것입니다. 메시지가 표시되지 않는 경우, 설치가 진행 중입니다. 좀 더 기다리십시오.
컴퓨터 화면의 진행 표시 막대가 움직이지 않습니다. 컴퓨터 액세스 램프에 몇 분 동안 불이 들어오지 않습니다.	➔ 설치가 정상적으로 진행 중입니다. 기다려 주십시오. CD 드라이브 또는 시스템 환경에 따라 설치에 30분 이상 걸릴 수 있습니다.
SonicStage가 기동하지 않습니다.	➔ 시스템 환경이 윈도우즈 OS등을 업데이트하여 변경되었습니다. 가까운 소니 대리점으로 문의하여 주십시오.

계속 ⇩

“PC로 연결” 은 컴퓨터에 USB 케이블을 사용하여 연결했을 경우에 표시되지 않습니다.	➔ SonicStage 소프트웨어가 인증되는 동안 기다리십시오. ➔ 컴퓨터에서 다른 응용 프로그램이 실행 중입니다. 잠시 기다린 다음, USB 케이블을 다시 연결하십시오. 문제가 지속되면 USB 케이블을 분리하고 컴퓨터를 재시작한 다음, USB 케이블을 다시 연결하십시오. ➔ USB 케이블이 올바르게 연결되지 않았습니다. USB 케이블을 분리한 다음, 다시 연결하십시오. ➔ USB 허브를 사용합니다. USB 허브를 통한 연결은 보장하지 않습니다. USB 케이블을 컴퓨터에 직접 연결하십시오. ➔ SonicStage 소프트웨어 설치가 실패했습니다. 플레이어와 컴퓨터를 분리한 다음, 제공된 CD-ROM으로 소프트웨어를 다시 설치하십시오 (☞ 17 페이지). 기존 소프트웨어로 등록한 오디오 데이터는 그대로 사용할 수 있습니다. ➔ 배터리가 소모되어 있습니다. AC 전원 어댑터를 사용하여 배터리를 충전하여 주십시오.
플레이어를 컴퓨터에 연결했을 때 컴퓨터에서 플레이어를 인식하지 못합니다.	➔ USB 케이블이 올바르게 연결되지 않았습니다. USB 케이블을 분리한 다음, 다시 연결하십시오. ➔ USB 허브를 사용합니다. USB 허브를 통한 연결은 보장하지 않습니다. USB 케이블을 컴퓨터에 직접 연결하십시오. ➔ 플레이어용 드라이버 파일이 설치되지 않았습니다. 드라이버를 같이 설치하기 위해 제공된 CD-ROM을 사용하여 플레이어용 SonicStage 소프트웨어를 다시 설치합니다 (☞ 17 페이지). ➔ SonicStage 소프트웨어 설치가 실패했습니다. 플레이어와 컴퓨터를 분리한 다음, 제공된 CD-ROM으로 소프트웨어를 다시 설치하십시오 (☞ 17 페이지). 기존 소프트웨어로 등록한 오디오 데이터는 그대로 사용할 수 있습니다.

계속 ⇩

컴퓨터에서 플레이어로 오디오 데이터를 전송할 수 없습니다.	➔ USB 케이블이 올바르게 연결되지 않았습니다. USB 케이블을 분리한 다음, 다시 연결하십시오.
	➔ 플레이어의 하드 디스크 여유 공간이 부족합니다. 불필요한 트랙을 컴퓨터로 다시 전송해서 여유 공간을 늘리십시오 (☞ 27 페이지).
	➔ 플레이어의 하드 디스크로 65,535개가 넘는 트랙 또는 8,187개가 넘는 그룹을 전송했습니다. 또는 재생리스트로 999이상의 트랙을 포함하는 재생리스트를 전송하려고 했습니다.
	➔ 제한된 재생 기간의 트랙 또는 재생 수는 저작권자에의해 설정된 규약에 의해 전송되지 않을 수 있습니다. 각 오디오 파일의 설정에 대한 자세한 내용은 배포자에게 문의하십시오.
	➔ SonicStage 소프트웨어 설치가 실패했습니다. 플레이어와 컴퓨터를 분리한 다음, 제공된 CD-ROM으로 소프트웨어를 다시 설치하십시오 (☞ 17 페이지). 기존 소프트웨어로 등록한 오디오 데이터는 그대로 사용할 수 있습니다.
플레이어로 전송할 수 있는 트랙의 수가 많지 않습니다 (녹음할 수 있는 시간이 짧습니다).	➔ 전송을 시도한 오디오 데이터 크기에 비해 플레이어의 하드 디스크 여유 공간이 부족합니다. 불필요한 트랙을 다시 전송해서 여유 공간을 늘리십시오 (☞ 27 페이지).
	➔ 오디오 데이터 이외의 데이터가 플레이어 하드 디스크에 저장되어 있습니다. 오디오 데이터 이외의 데이터를 컴퓨터로 이동하여 여유 공간을 늘리십시오.
플레이어에서 컴퓨터로 오디오 데이터를 전송할 수 없습니다.	➔ 플레이어에 전송할 때 사용한 컴퓨터가 아닌 다른 컴퓨터가 전송 대상으로 선택되어 있습니다. 플레이어에 전송할 때 사용한 컴퓨터가 아닌 다른 컴퓨터에는 오디오 데이터를 전송할 수 없습니다.
	➔ 플레이어에 전송할 때 사용한 컴퓨터에서 해당 오디오 데이터가 삭제되었습니다. 플레이어에 전송할 때 사용한 컴퓨터에서 트랙을 삭제한 경우, 해당 오디오 데이터를 컴퓨터로 다시 전송할 수 없습니다.

계속 ⇩

컴퓨터와의 연결/SonicStage(계속)

오디오 데이터를 컴퓨터로 다시 전송한 다음, 플레이어를 컴퓨터에 연결했을 때 아무 작동을 하지 않았는데도 남은 전송 횟수가 늘어나는 경우가 있습니다.	➔ 플레이어 전송시 사용한 컴퓨터가 아닌 다른 컴퓨터에 설치된 SonicStage 소프트웨어로 플레이어의 트랙을 삭제한 경우, 플레이어 전송시 사용한 컴퓨터에 플레이어를 연결하면 해당 트랙이 컴퓨터에 자동으로 다시 전송됩니다. 따라서 남은 전송 횟수도 자동으로 늘어나게 됩니다.
컴퓨터에 연결되어 있는 동안 플레이어의 작동이 불안정합니다.	➔ USB 허브 또는 USB 연장 케이블을 사용했습니다. USB 허브 또는 USB 연장을 통한 연결은 보장하지 않습니다. USB 케이블을 컴퓨터에 직접 연결하십시오.
플레이어를 컴퓨터에 연결하면 컴퓨터 화면에 “Failed to authenticate Device/Media” 라는 메시지가 표시됩니다.	➔ 플레이어가 컴퓨터에 올바르게 연결되지 않았습니다. SonicStage 소프트웨어를 종료하고 USB 케이블 연결을 확인하십시오. SonicStage 소프트웨어를 다시 시작하십시오.

계속 ⇩

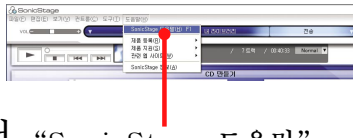
기타

증상	원인 및 해결 방법
플레이어를 작동할 때 신호음이 울리지 않습니다.	➔ “신호음” 이 “신호음 끔” 으로 설정되어 있습니다. “신호음 켬” (☞ 53 페이지)으로 설정합니다.
플레이어가 따뜻해집니다.	➔ 배터리 충전 도중 또는 충전 직후에는 고속 충전의 영향으로 플레이어가 과열될 수 있습니다. 이 밖에도 많은 수의 트랙을 전송할 때 플레이어가 과열될 수 있습니다. 플레이어를 잠시 내버려 두십시오.
플레이어 내부에서 소리가 납니다. 플레이어가 떨립니다.	➔ 플레이어에 내장된 하드 디스크가 움직일 때 작동하는 소리가 들릴 수 있고 플레이어 진동 현상도 발생합니다. 기능에 문제가 있는 것은 아닙니다.

SonicStage 도움말 사용

SonicStage 도움말은 SonicStage의 사용 방법을 자세히 설명합니다.
SonicStage 도움말을 사용하면 “오디오 데이터 가져오기”, “오디오 데이터 전송” 등의 작업 목록 또는 키워드 목록을 사용하거나 단어 입력 시 해당하는 설명이 나타나므로 사용자가 쉽게 정보를 검색할 수 있습니다.

SonicStage 실행 중에 “도움말” – “SonicStage 도움말” 을 클릭합니다.

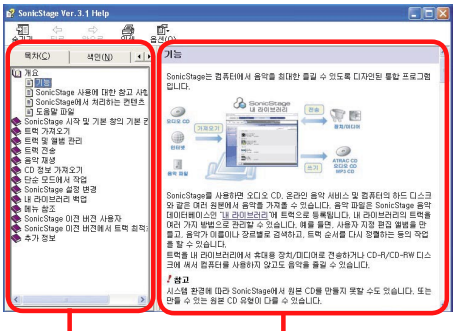


도움말이 나타납니다.
SonicStage 도움말에서 이 플레이어는 “ATRAC Audio Device” 입니다.

참고

- SonicStage 도움말에서 “장치/미디어” 는 네트워크 워크맨 또는 MD 워크맨을 통칭하는 용어입니다.
- 권장 시스템 등에 관한 자세한 내용은 인터넷 서비스 제공업체의 지침을 따르십시오.

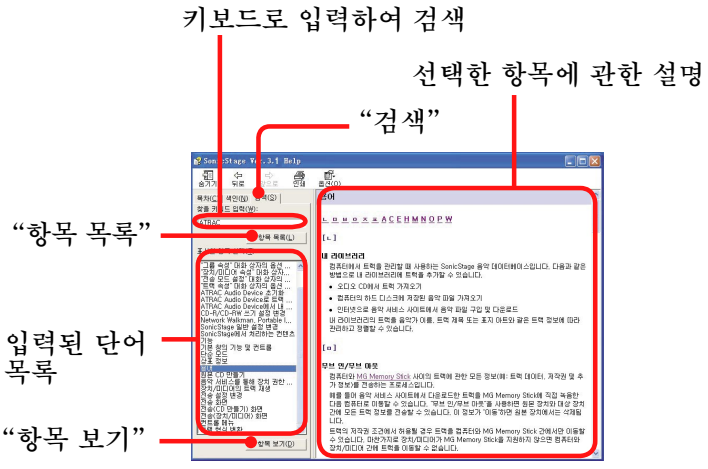
SonicStage 도움말에 관해 알아보려면



1 SonicStage 도움말 왼쪽 프레임에서 “개요” 를 더블 클릭합니다.
2 “도움말 파일” 를 클릭합니다.
오른쪽 프레임에 설명이 나타납니다.
필요한 경우 화면을 스크롤합니다. 하선이 표시된 단어를 클릭하면 해당 설명을 볼 수 있습니다.

계속 ⇩

설명서내의 단어를 검색



1 “검색” 을 클릭합니다.
2 단어를 입력합니다.
3 “항목 목록” 을 클릭합니다.
입력한 단어의 목록이 표시됩니다.
4 표시된 단어 중에서 원하는 것을 클릭하여 선택합니다.
5 “항목 보기” 를 클릭합니다.
선택된 단어에 대한 설명이 표시됩니다.

에러 메시지

디스플레이에 에러 메시지가 나타나면 아래의 설명을 따르십시오.

메시지	의미	해결 방법
AVLS 볼륨 작동 불가	볼륨이 AVLS 최대 볼륨을 초과했습니다.	→ “AVLS”를 “AVLS 끔”으로 설정합니다 (☞ 53 페이지).
등록 가능 북마크 없음	모든 북마크 형식으로 이미 등록된 북마크를 추가하려고 했습니다.	→ 하나의 트랙이 각각의 북마크 형식에 한 번씩 북마크됩니다.
배터리를 넣지 않음	• 배터리를 넣지 않은 채로 AC 전원 어댑터를 연결하여 플레이어를 조작하려고 했습니다. • 플레이어가 컴퓨터에 연결되어 있는 동안에 배터리를 제거했습니다.	→ AC 전원 어댑터를 AC 콘센트에 연결했을 때 배터리를 넣습니다.
북마크 풀	북마크 수 제한을 초과했습니다.	→ 필요없는 북마크를 삭제합니다 (☞ 40 페이지).
취소	설정 및 조작이 취소되었습니다.	—
재생중 북마크 편집 불가	재생 또는 정지 모드에서 북마크를 편집하려고 했습니다.	→ 재생 또는 정지 모드에서 북마크를 편집할 수 없습니다.
작동 불가 정지 바람	“재생 중에 메뉴 디스플레이에서 “시스템 초기화”를 선택했습니다.	→ 재생을 정지하고 “시스템 초기화”를 다시 선택합니다.
정지시 작동 불가	플레이어가 정지된 상태에서 북마크를 추가하려 했습니다.	→ 재생중에 북마크를 추가합니다 (☞ 39 페이지).
재생 불가 PC 연결 필요	플레이어의 시계가 작동하지 않습니다.	→ 컴퓨터에 연결합니다 (☞ 24 페이지).
재생 불가 트랙 오류	오디오 데이터가 손상되었습니다.	→ 오디오 데이터를 플레이어에 다시 전송합니다 (☞ 24 페이지).

계속 ⇩

재생 불가 재생이 불가능한 파일임	•플레이어에서 재생이 허용되지 않은 트랙입니다. •재생 횟수가 제한되어 있는 트랙입니다.	→ 플레이어에서 재생이 허용되지 않은 트랙은 재생할 수 없습니다.
현재 트랙 재생 불가	제한된 재생 기간 전 또는 후에 트랙을 재생하려 했습니다.	→ 재생 기간이 제한된 트랙은 지정된 재생 기간 내에서만 재생할 수 있습니다.
업데이트불가 배터리 부족	펌웨어의 업로드중에 배터리가 충분하지 않습니다.	→ 배터리를 완전히 충전하고 업로드를 다시 시도하십시오.
충전 온도 5°C – 35°C	주위 온도가 5 ~ 35°C 범위를 벗어난 환경에서 플레이어를 충전하려고 했습니다.	→ 주위 온도가 5 ~ 35°C인 환경에서 충전하십시오.
재생중 북마크 삭제 불가	재생중에 북마크된 트랙을 삭제하려 했습니다.	→ 북마크된 트랙은 트랙을 재생중에 재생 목록의 목록에서 선택하여 등록된 북마크 형식으로부터 트랙을 삭제하려고 하는 경우에만 삭제됩니다.
AC 전원 어댑터 연결	AC 전원 어댑터를 연결하지 않은 채로 펌웨어를 업데이트하려고 했습니다.	→ AC 전원 어댑터를 플레이어에 연결합니다 (☞ 13 페이지).
오류: 북마크 등록 불가	어떤 이유로 트랙을 북마크에 추가할 수 없습니다.	→ 트랙을 북마크에 다시 추가합니다.
오류: 삭제 불가	어떤 이유로 북마크를 삭제할 수 없습니다.	→ 북마크를 다시 삭제합니다.
데이터베이스 작성 실패	데이터 베이스를 만들 수 없습니다.	→ 잠시 기다려 주십시오. 업데이트 중인 데이터 베이스.
하드 디스크 쓰기 온도 5°C – 35°C	주위 온도가 5 ~ 35°C 범위를 벗어난 환경에서 플레이어에 오디오 데이터를 전송하려고 했습니다.	→ 주위 온도가 5 ~ 35°C인 환경에서 조작합니다.

계속 ⇩

하드 디스크 초기화 오류	•플레이어의 하드 디스크가 올바르게 초기화되지 않았습니다. •플레이어의 하드 디스크가 컴퓨터에서 초기화되었습니다. •플레이어의 하드 디스크가 변경되어 초기화되지 않았습니다.	→ 플레이어의 하드디스크를 다시 초기화 합니다 (☞ 62 페이지).
잠금	HOLD 스위치가 ON으로 설정되어 있습니다.	→ HOLD 스위치를 표시된 화살표의 반대 방향으로 밀어 조절 장치의 잠금을 해제합니다 (☞ 31 페이지).
라인 출력 작동 불가	“오디오 출력” 이 “라인 출력” 으로 설정된 상태에서 볼륨 또는 “사운드” 설정을 변경하려고 했습니다.	→ “오디오 출력” 을 “헤드폰” 으로 설정하십시오 (☞ 53 페이지).
배터리 부족	배터리에 남은 전원이 없습니다.	→ 배터리를 충전합니다 (☞ 13 페이지).
최대 그룹 수 초과	그룹(앨범, 음악가 등) 수가 제한(8,192개)을 초과했습니다.	→ 검색 디스플레이에서 아이템의 총 수(트랙 목록 제외)가 8,192를 넘었습니다. 불필요한 트랙을 SonicStage의 내 라이브러리에 되돌려 놓습니다 (☞ 27 페이지).
시스템 파일 불일치	시스템 파일이 일치하지 않습니다.	→ 플레이어의 하드디스크를 초기화 합니다 (☞ 62 페이지) 그리고 오디오 데이터를 플레이어에 다시 전송합니다 (☞ 24 페이지).
데이터베이스 없음	플레이어에 전송한 트랙이 없거나 정보가 부족한 상태에서 컴퓨터에서 분리했습니다.	→ 플레이어를 컴퓨터에 다시 연결한 다음, 분리합니다. → 플레이어에 오디오 데이터를 전송합니다 (☞ 24 페이지).
트랙 없음	트랙 목록에 트랙이 없습니다.	→ 트랙이 있는 트랙 목록로 이동합니다. → 플레이어에 오디오 데이터 전송 (☞ 24 페이지).

계속 ⇩

시스템 오류 <No.***> (괄호 안에 번호가 나타납니다.)	시스템 오류가 발생했습니다.	→ 번호를 적어서 가까운 소니 대리점에 문의하여 주십시오.

사양

녹음할 수 있는 최대 트랙 수(대략)*

NW-HD5

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5,000 (132 kbps)	2,500 (256 kbps)	5,000 (128 kbps)
6,000 (105 kbps)	10,000 (64 kbps)	10,000 (64 kbps)
10,000 (66 kbps)	13,000 (48 kbps)	

NW-HD5H

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
7,500 (132 kbps)	3,500 (256 kbps)	7,500 (128 kbps)
9,000 (105 kbps)	15,000 (64 kbps)	15,000 (64 kbps)
15,000 (66 kbps)	20,000 (48 kbps)	

* 4분 길이의 트랙 전송시

샘플링 주파수
44.1 kHz(ATRAC3plus), 32/44.1/48 kHz(MP3)

오디오 압축 기술
Adaptive Transform Acoustic Coding3plus (ATRAC3plus)
MPEG-1 Audio Layer-3 (MP3)

응답 주파수
20 ~ 20,000 Hz (재생 도중 신호 한 번 측정)

출력
🎧 (헤드폰)/LINE OUT*:
스테레오 미니잭/180 mV
* 헤드폰과 LINE OUT에 모두 사용되는 잭입니다.

작동 온도
5 ~ 35°C

계속 ⇩

전원
리튬 이온 충전지: LIP-880PD, 3.7V 880mAh, 리튬-이온
AC 전원 어댑터: DC IN 6V

배터리 수명 (연속 재생시)
ATRAC3plus 포맷(48 kbps): 대략 40 시간
MP3 포맷(128 kbps): 대략 30 시간

크기
돌출 부분 제외:
대략 59.9 × 88.7 × 14.2 mm

돌출 부분 포함:
대략 59.9 × 89.3 × 14.5 mm

무게
대략 135 g (4.82 oz)

디자인과 사양은 통보 없이 변경될 수 있습니다.

미국 및 외국 특허들은 Dolby Laboratories로부터 사용 허가된 것입니다.

색인

기호

1곡 (단일 재생) 47
앨범 35
음악가 35
장르 35
초기 검색 36
새 트랙 36
재생 목록 38
남은 전원 15
반복 재생 49
SHUF 항목 혼합 47
SHUF 트랙 혼합 47
트랙 35
SHUF 재생 단위에서 트랙 혼합 49
SHUF 재생 단위 혼합 49

A

AC 전원 어댑터 11
ATRAC3/ATRAC3plus 21, 30
AVLS 53

C

CD-ROM 11
CD 정보 21

D

Deutsch 54

E

English 54
Español 54

F

Français 54

G

G-센서 54

H

HOLD 기능 31
HOLD 스위치 12

I

Italiano 54

M

MP3 30

S

SonicStage 16

U

USB 케이블 11

V

VOL+/ VOL- 30
VPT 음향 엔진 52

가

검색 31
검색 (SonicStage) 74
검색 모드 35
공연장 52

나

내 라이브러리 22
내 라이브러리 (SonicStage) 19
네거티브 53

다

다음 트랙의 시작을 검색합니다 31
대비 53
디지털사운드설정 52

라

라이브 52
라인 출력 53

계속 ⇩

바

반복 재생 49
배터리 수명 15
배터리 잔량 15
배터리 (제거) 14
배터리 (충전 시간) 13
백라이트 53
복수의 항목을 스크롤 34
북마크 39
북마크 아이콘 44
북마크 트랙 재생 39
북마크 편집 39
비트 레이트 21, 32

사

사운드 52
삭제 64
삭제 (북마크) 42
상세 정보 (트랙) 23
새 트랙 36
수직 54
스튜디오 52
시스템 초기화 54
신호음 53

아

앨범 혼합 47
언어 54
오디오 데이터 가져오기 19
오디오 데이터 전송 24
오디오 장치 58
오디오 출력 53
우 54
유니크 52
음량 12
이전 트랙의 시작을 검색합니다 31
일반 (일반 재생) 47
일본어 54

자

재생 단위 48
재생 단위에서 트랙 혼합 49
재생 단위 재생 47
재생 단위 혼합 49
재생 모드 45
재생 목록 (SonicStage) 22
재생 목록 (플레이어에서) 38
재생 옵션 47
재즈 52
정지 12, 31
제한된 재생 기간의 트랙 70
제한된 재생 수의 트랙 70
좌 54
중국어 간체 54
중국어 번체 54

차

초기 검색 36
출하시 설정 60

카

클럽 52

타

트랙 관리 22
트랙 혼합 47

파

팝 52
포맷 21
포지티브 53
폴더 구조 (찾기 디스플레이) 35
플레이어 디스플레이 12, 32

하

하드디스크 초기화 62
하드 디스크 초기화 54
한국어 54
항목 혼합 47
헤드폰 11, 12, 53
헤비 52
현재 트랙의 시작을 검색합니다 31
화면 반전 53
화면 방향 54
휴대용 케이스 11